

**令和3年度**  
**区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査**  
**〔18歳以上の区民の方が対象〕**  
**〔中学生以上の区民の方が対象〕**

**【報告書】**

**令和4年2月**  
**大田区**



# 目次

|      |                                |    |
|------|--------------------------------|----|
| I    | 調査の概要                          | 1  |
| 1    | 調査の目的                          | 3  |
| 2    | 調査の内容                          | 3  |
| 3    | 調査の設計                          | 4  |
| 4    | 報告書の見方について                     | 5  |
| 5    | 標本誤差について                       | 5  |
| II   | 18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～ | 7  |
| 1    | 回答者の属性について                     | 9  |
| 2    | 各種認知度について                      | 16 |
| (1)  | 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度             | 16 |
| (2)  | 「エセナおおた」の認知度                   | 18 |
| (3)  | 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度             | 20 |
| (4)  | 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度              | 22 |
| (5)  | 「成年後見制度」の認知度                   | 24 |
| (6)  | 「大田区立消費者生活センター」の認知度            | 26 |
| (7)  | 外国語で生活相談ができる「多言語相談窓口」の認知度      | 28 |
| (8)  | 「ヘルプカード」の認知度                   | 30 |
| (9)  | 「障害者差別解消法」の認知度                 | 32 |
| (10) | 「社会的包摂」の認知度                    | 34 |
| 3    | 生涯学習について                       | 36 |
| (1)  | 最近1年間の生涯学習の活動及び今後行いたい活動        | 36 |
| (2)  | 生涯学習の活動場所                      | 41 |
| (3)  | 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていること    | 43 |
| (4)  | 生涯学習の状況                        | 46 |
| 4    | スポーツ・運動について                    | 47 |
| (1)  | この1年間に実施したスポーツ・運動              | 47 |
| (2)  | この1年間のスポーツ・運動の活動頻度             | 50 |
| (3)  | 東京2020大会による意識の変化               | 52 |
| 5    | 文化・芸術について                      | 55 |
| (1)  | 大田区の文化・芸術で思い浮かぶもの              | 55 |
| 6    | 観光について                         | 58 |
| (1)  | 友人・知人に勧めたい大田区の観光資源             | 58 |
| 7    | 普段の生活について                      | 60 |
| (1)  | 普段の生活の状況                       | 60 |
| 8    | 地域活動について                       | 71 |
| (1)  | ボランティア活動への参加状況                 | 71 |
| (2)  | 地域活動における新型コロナウイルス感染症の影響        | 73 |
| (3)  | 近所の方への手助けとしてできること              | 74 |

|    |  |     |
|----|--|-----|
| 9  | 健康づくりについて                              | 77  |
|    | (1) 「はねびょん健康ポイント」の認知度                  | 77  |
| 10 | 喫煙について                                 | 79  |
|    | (1) 喫煙状況                               | 79  |
|    | (2) 喫煙の際に気をつけていること                     | 81  |
|    | (3) 受動喫煙を経験した場所                        | 83  |
|    | (4) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組             | 85  |
| 11 | 医療について                                 | 88  |
|    | (1) かかりつけの医療機関                         | 88  |
|    | (2) 「在宅医療」の認知度                         | 90  |
| 12 | 災害時について                                | 92  |
|    | (1) 災害時の緊急医療開設場所の認知度                   | 92  |
| 13 | 食品ロス・フードドライブについて                       | 94  |
|    | (1) 「食品ロス」の認知度                         | 94  |
|    | (2) 「食品ロス」を減らすための取組                    | 96  |
|    | (3) 「食品ロス」の削減に取り組む店舗の利用意向              | 99  |
|    | (4) 「フードドライブ」への提供意向                    | 101 |
| 14 | 環境問題について                               | 103 |
|    | (1) 地球温暖化の問題意識                         | 103 |
| Ⅲ  | 18歳以上の区民の方が対象 ～ デジタル化・まちづくり・住まいの分野など ～ | 105 |
| 1  | 回答者の属性について                             | 107 |
| 2  | デジタル化について                              | 114 |
|    | (1) 区民サービスのデジタル化への希望                   | 114 |
|    | (2) オンライン化を希望する行政手続き                   | 116 |
|    | (3) 「地域社会のデジタル化」への希望                   | 118 |
| 3  | 商店街について                                | 120 |
|    | (1) 普段の買い物で利用する業態及び理由                  | 120 |
|    | (2) 買い物をする時間帯                          | 123 |
|    | (3) 商店街への印象                            | 125 |
|    | (4) 商店街に必要なだと思う施設等                     | 127 |
| 4  | キャッシュレスについて                            | 129 |
|    | (1) キャッシュレスでの支払い                       | 129 |
|    | (2) キャッシュレスの支払いで利用している手段               | 131 |
|    | (3) キャッシュレスで支払いをする理由                   | 133 |
|    | (4) キャッシュレスで支払いをしない理由                  | 136 |
|    | (5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段            | 138 |
| 5  | まちづくりについて                              | 140 |
|    | (1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況                | 140 |
|    | (2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況                   | 142 |
|    | (3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況                   | 144 |

|   |     |
|---|-----|
| (4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況                   | 146 |
| 6 公共交通機関について                            | 148 |
| (1) 公共交通機関の環境                           | 148 |
| (2) 大田区内の公共交通網への満足度                     | 150 |
| (3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策               | 152 |
| 7 空港臨海部について                             | 155 |
| (1) 空港臨海部へのアクセス                         | 155 |
| (2) 空港臨海部の魅力度                           | 157 |
| 8 羽田空港跡地について                            | 159 |
| (1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ          | 159 |
| (2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度                  | 161 |
| (3) 「羽田イノベーションシティ」において興味があるもの           | 163 |
| (4) 「羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備」の認知度              | 165 |
| (5) 整備される公園でいたいこと                       | 167 |
| (6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況                   | 169 |
| (7) 「ソラムナード羽田緑地」でいたいこと                  | 171 |
| 9 耐震改修について                              | 173 |
| (1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況                   | 173 |
| (2) 耐震改修を行っていない理由                       | 175 |
| 10 空家について                               | 178 |
| (1) 自宅周辺の空家の状況                          | 178 |
| (2) 空家によるトラブルや不都合                       | 180 |
| 11 移住について                               | 182 |
| (1) 自身の出身地                              | 182 |
| (2) 東京都外への移住意向                          | 185 |
| (3) 移住を考えるようになったきっかけ                    | 188 |
| (4) 移住先での住まい                            | 191 |
| (5) 移住したいと思う理由                          | 194 |
| IV 中学生以上の区民の方が対象 ～ 防災の分野・自転車の利用についてなど ～ | 197 |
| 1 回答者の属性について                            | 199 |
| 2 相談窓口について                              | 206 |
| (1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示          | 206 |
| 3 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて                 | 208 |
| (1) 「バリアフリー」の認知度                        | 208 |
| (2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度                    | 211 |
| 4 新型コロナウイルスワクチン接種について                   | 213 |
| (1) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況                  | 213 |
| 5 災害時の避難等について                           | 216 |
| (1) 「大田区防災アプリ」の認知度                      | 216 |
| (2) 「大田区防災ポータルサイト」の認知度                  | 218 |

|      |                                       |     |
|------|---------------------------------------|-----|
| (3)  | 災害時の避難先の決定状況                          | 220 |
| (4)  | 災害時の避難先                               | 222 |
| (5)  | 「マイ・タイムライン」の作成状況                      | 224 |
| (6)  | 「マイ・タイムライン」の作成方法                      | 226 |
| (7)  | 令和3年9月12日、情報伝達訓練として区から避難情報を発信したことの認知度 | 227 |
| (8)  | 災害から自身を守るための取組                        | 230 |
| (9)  | 防災に関する情報の収集方法                         | 232 |
| (10) | 警戒レベルに応じた避難行動の認知度                     | 234 |
| 6    | 図書館について                               | 236 |
| (1)  | 図書館等の利用頻度                             | 236 |
| (2)  | 図書館で主に利用する機能・サービス                     | 238 |
| (3)  | 図書館を利用しない理由                           | 240 |
| (4)  | 図書館に期待する機能・サービス                       | 242 |
| 7    | 自然環境について                              | 244 |
| (1)  | 「コアジサシ」の認知度                           | 244 |
| (2)  | 「アオスジアゲハ」を見たこと                        | 246 |
| 8    | 自転車の利用について                            | 248 |
| (1)  | 「コミュニティサイクル」の認知度                      | 248 |
| (2)  | 歩行時等における自転車に対する危機感                    | 250 |
| (3)  | 自転車の利用状況                              | 252 |
| (4)  | 自転車の盗難被害の有無                           | 254 |
| (5)  | 自転車の施錠状況                              | 256 |
| (6)  | 自転車を施錠しないときの状況                        | 258 |
| (7)  | 区営駐輪場で不便に感じていること                      | 259 |
| (8)  | サイクリングやサイクルスポーツの実施状況                  | 261 |
| (9)  | 守れていないと思う交通ルール                        | 263 |
| (10) | 「自転車等放置禁止区域」の認知度                      | 266 |
| (11) | 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度                  | 268 |
| (12) | 損害賠償保険への加入状況                          | 270 |
| (13) | 損害賠償保険に加入していない理由                      | 273 |
| V    | 資料編 ～ 使用した調査票 ～                       | 275 |

# I 調査の概要





## 1 調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

## 2 調査の内容

|                                      |                       |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～       |                       |
| (1) 回答者の属性について                       | (8) 地域活動について          |
| (2) 各種認知度について                        | (9) 健康づくりについて         |
| (3) 生涯学習について                         | (10) 喫煙について           |
| (4) スポーツ・運動について                      | (11) 医療について           |
| (5) 文化・芸術について                        | (12) 災害時について          |
| (6) 観光について                           | (13) 食品ロス・フードドライブについて |
| (7) 普段の生活について                        | (14) 環境問題について         |
| 18歳以上の区民の方が対象 ～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～ |                       |
| (1) 回答者の属性について                       | (7) 空港臨海部について         |
| (2) デジタル化について                        | (8) 羽田空港跡地について        |
| (3) 商店街について                          | (9) 耐震改修について          |
| (4) キャッシュレスについて                      | (10) 空家について           |
| (5) まちづくりについて                        | (11) 移住について           |
| (6) 公共交通機関について                       |                       |
| 中学生以上の区民の方が対象 ～防災の分野・自転車の利用についてなど～   |                       |
| (1) 回答者の属性について                       | (5) 災害時の避難等について       |
| (2) 相談窓口について                         | (6) 図書館について           |
| (3) バリアフリー・ユニバーサルデザインについて            | (7) 自然環境について          |
| (4) 新型コロナウイルスワクチン接種について              | (8) 自転車の利用について        |

## 3 調査の設計

|       |   |
|-------|---|
| 調査地域  | 大田区全域   |
| 調査対象  | [18歳以上の区民の方が対象]<br>大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）<br>[中学生以上の区民の方が対象]<br>大田区内に居住する満12歳以上の男女個人（外国人を含む）  |
| 標本数   | [18歳以上の区民の方が対象]<br>～暮らし・保健・環境の分野など～：2,000人<br>[18歳以上の区民の方が対象]<br>～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～：2,000人<br>[中学生以上の区民の方が対象]<br>～防災の分野・自転車の利用についてなど～：2,000人  |
| 抽出方法  | 層化無作為抽出法  |
| 調査方法  | 配布は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式   |
| 調査期間  | 令和3年11月10日～令和3年12月6日  |
| 有効回収数 | [18歳以上の区民の方が対象]<br>～暮らし・保健・環境の分野など～：785件<br>(郵送569件+電子申請216件)<br>[18歳以上の区民の方が対象]<br>～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～：837件<br>(郵送577件+電子申請260件)<br>[中学生以上の区民の方が対象]<br>～防災の分野・自転車の利用についてなど～：863件<br>(郵送615件+電子申請248件) |
| 有効回収率 | [18歳以上の区民の方が対象]<br>～暮らし・保健・環境の分野など～：39.3%<br>[18歳以上の区民の方が対象]<br>～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～：41.9%<br>[中学生以上の区民の方が対象]<br>～防災の分野・自転車の利用についてなど～：43.2%   |

## 4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) 年代別は、男女ともに「18～19歳（12～19歳）」の回答者数が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。
- (6) n=30未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (7) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。

## 5 標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

|               |
|---------------|
| N : 母集団の大きさ   |
| n : 回答者数      |
| p : 回答の比率 (%) |

【各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度95%で算出している）】

| 回答の比率<br>(p)<br>回答者数(n) | 90%または<br>10%前後 | 80%または<br>20%前後 | 70%または<br>30%前後 | 60%または<br>40%前後 | 50%前後  |
|-------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 1,000                   | ± 1.9%          | ± 2.5%          | ± 2.8%          | ± 3.0%          | ± 3.1% |
| 863                     | ± 2.0%          | ± 2.7%          | ± 3.1%          | ± 3.3%          | ± 3.3% |
| 837                     | ± 2.0%          | ± 2.7%          | ± 3.1%          | ± 3.3%          | ± 3.4% |
| 785                     | ± 2.1%          | ± 2.8%          | ± 3.2%          | ± 3.4%          | ± 3.5% |
| 500                     | ± 2.6%          | ± 3.5%          | ± 4.0%          | ± 4.3%          | ± 4.4% |

### 早見表の見方

たとえば、今回の「18歳以上の区民の方が対象～暮らし・保健・環境の分野など～」の回答者数(785人)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民(区内在住の18歳以上の方)のこの質問に対する回答は、46.5%～53.5%の間にあると考えられる。



## **Ⅱ 18 歳以上の区民の方が対象**

～ 暮らし・保健・環境の分野など ～



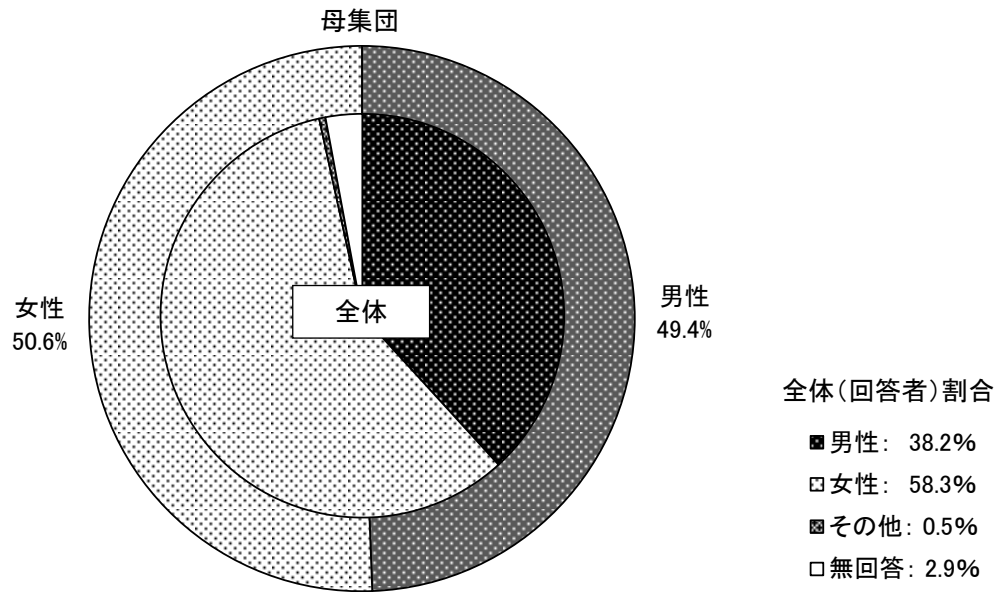
# 1 回答者の属性について

## (1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=635, 100) 令和 4 年 1 月 1 日現在

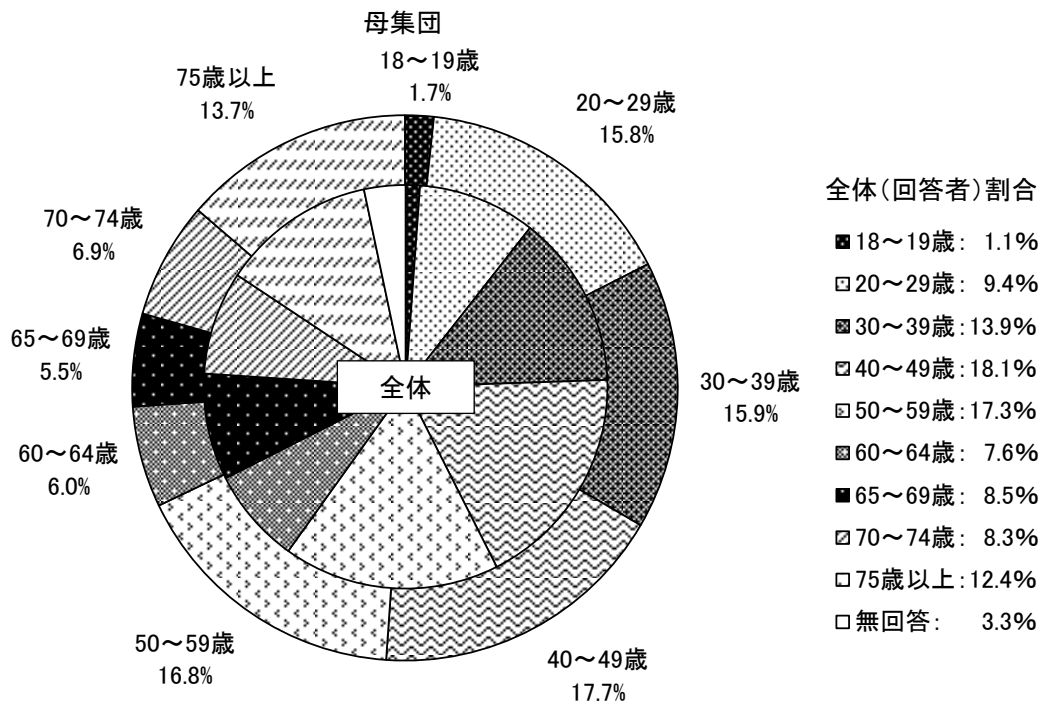
全 体：有効回収数 (n=785)

全体 n=785



## (2) 年齢

全体 n=785

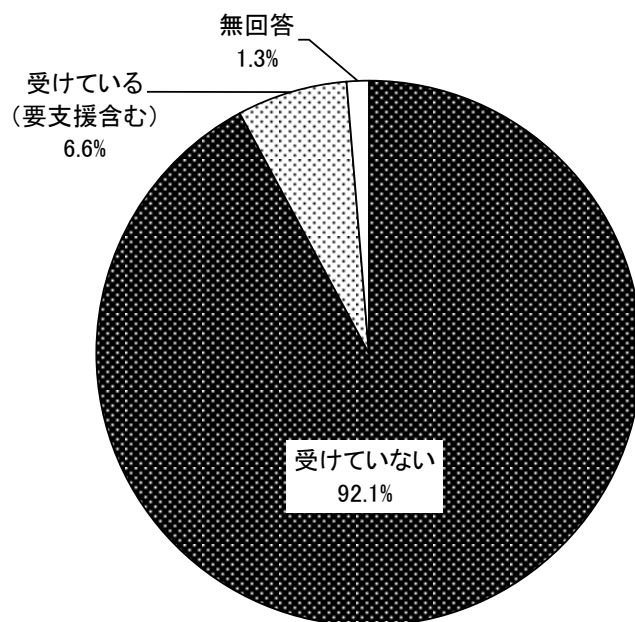


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 4 年 1 月 1 日現在

### (3) 要介護認定の状況

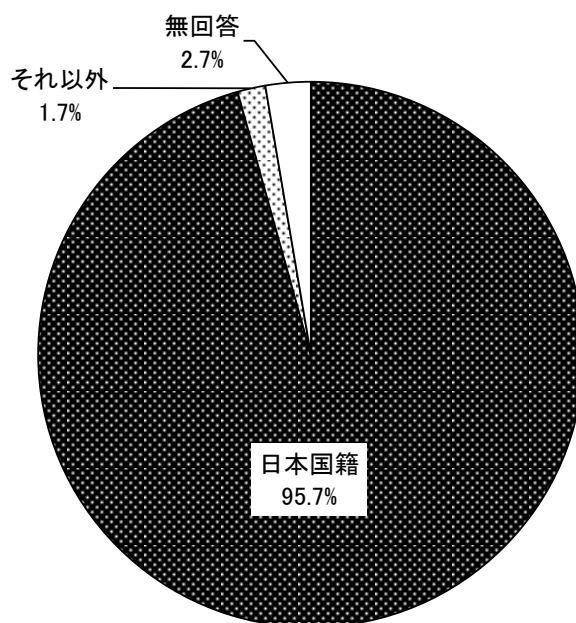
#### 【65歳以上の方】

全体 n=229



### (4) 国籍

全体 n=785



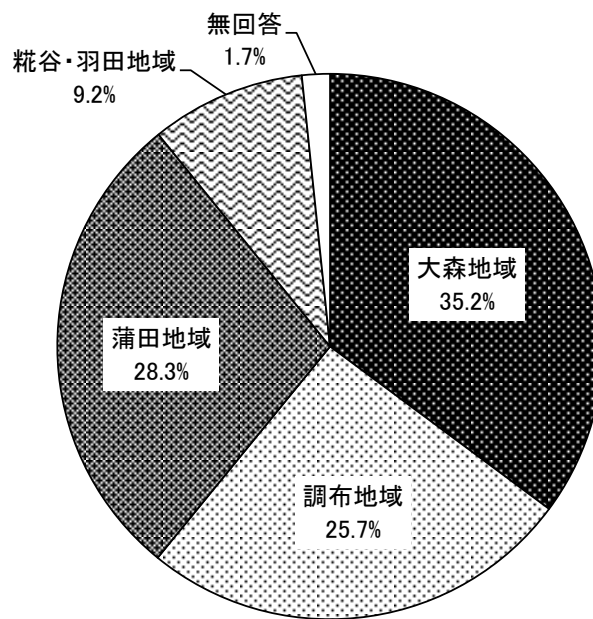
#### ■ 日本国籍以外

|    | 中国 | 台湾 | 香港 | 韓国 | ネパール | アメリカ | フィリピン | イギリス | フランス | パラグアイ | 無回答 |
|----|----|----|----|----|------|------|-------|------|------|-------|-----|
| 人数 | 3  | 1  | 1  | 1  | 1    | 1    | 1     | 1    | 1    | 1     | 1   |



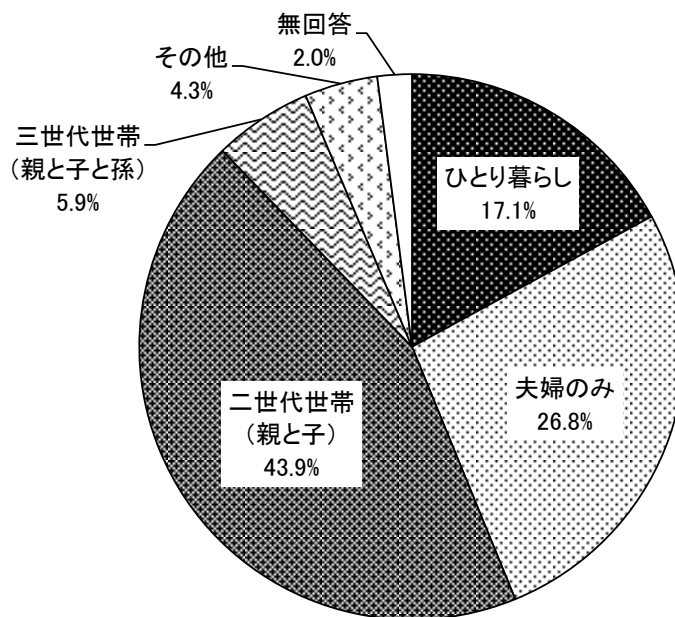
### (5) 居住地域

全体 n=785



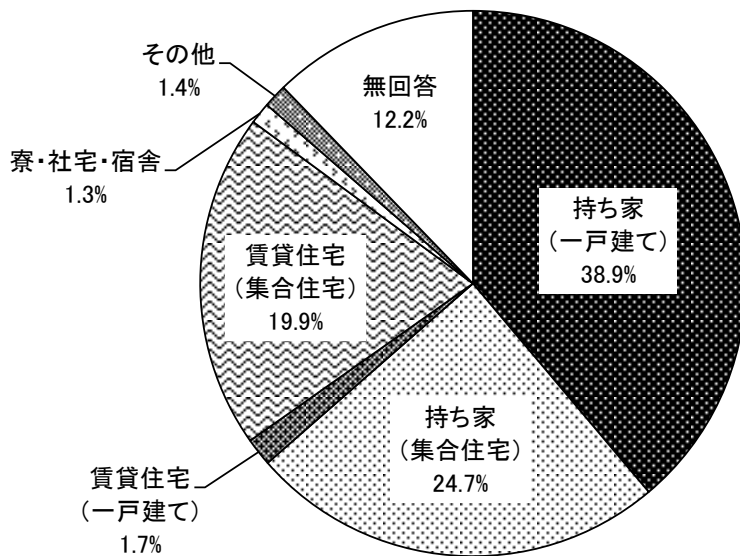
### (6) 家族構成

全体 n=785

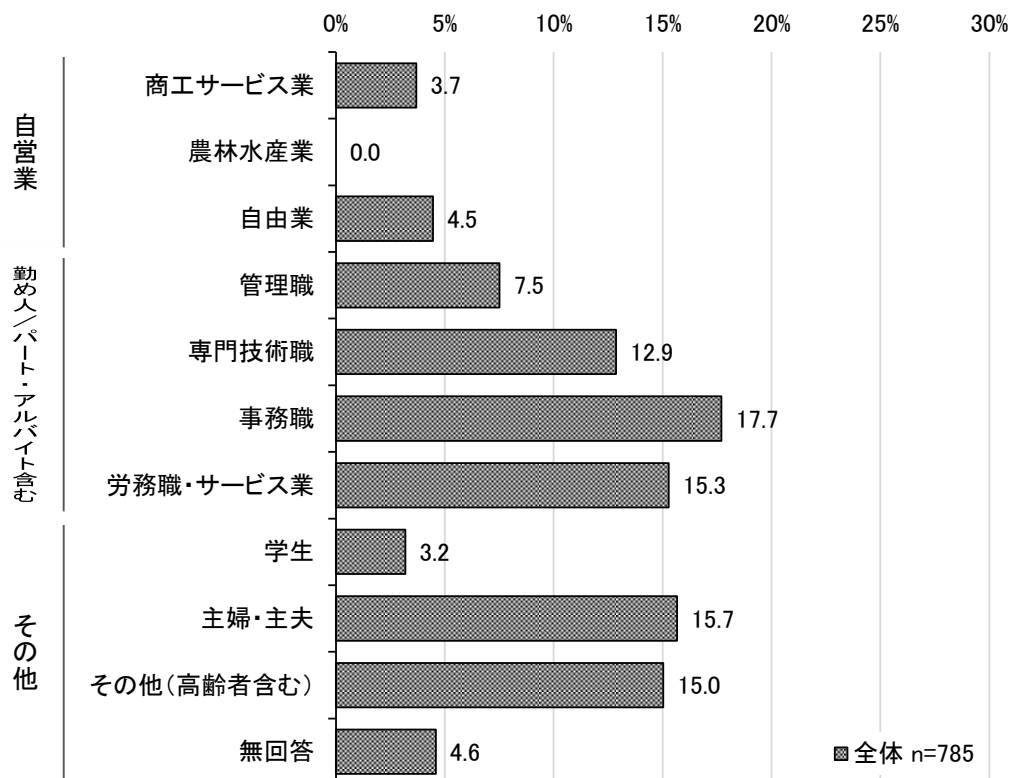


### (7) 住まいの種類

全体 n=785

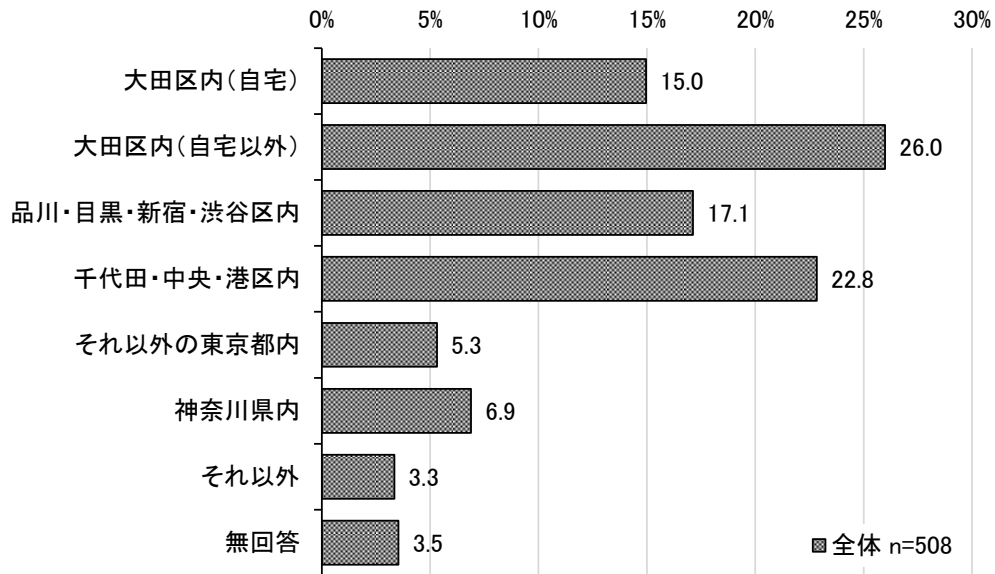


### (8) 職業

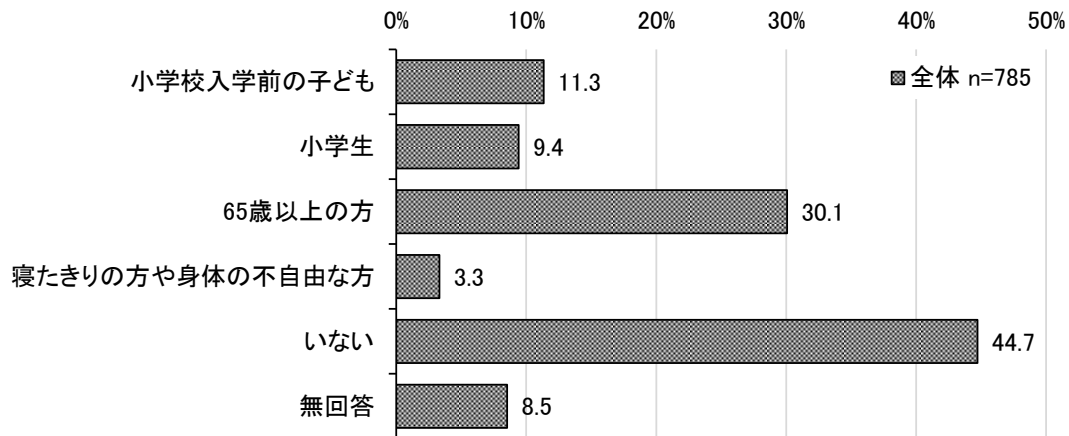


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

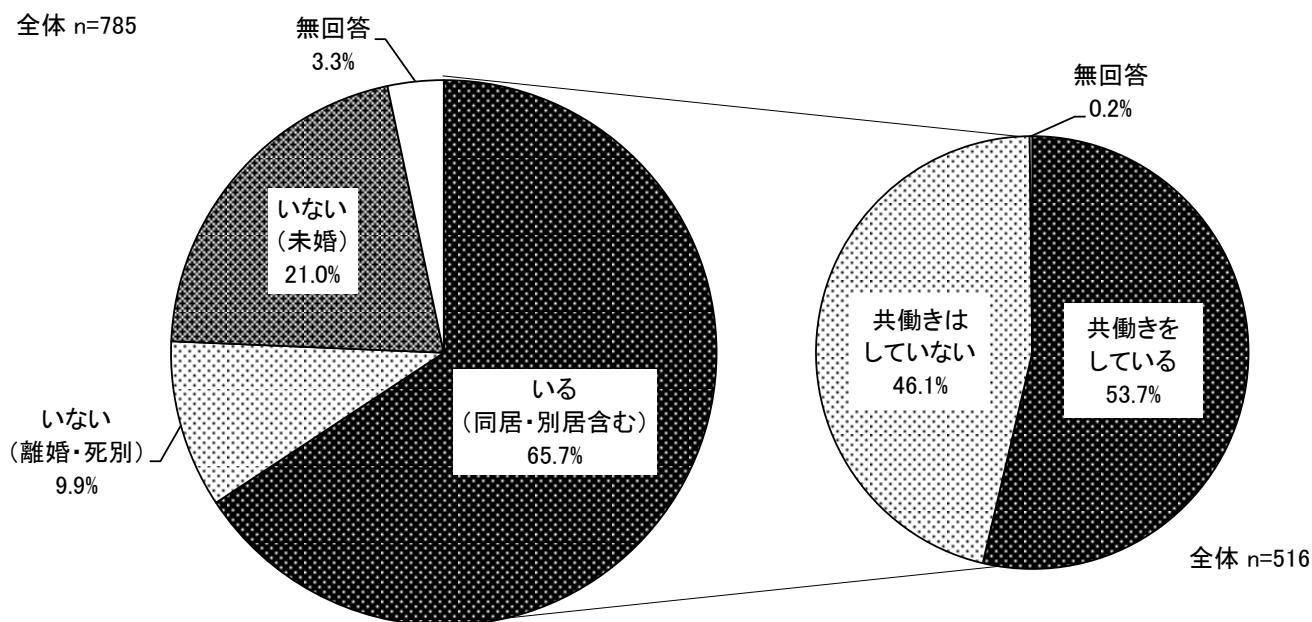


(10) 同居家族

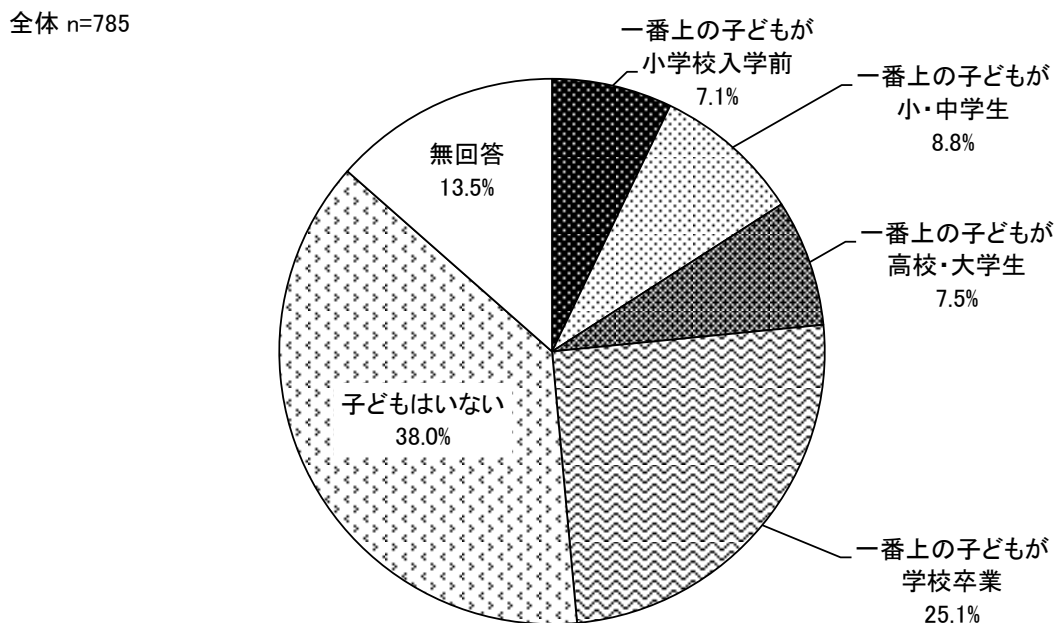


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

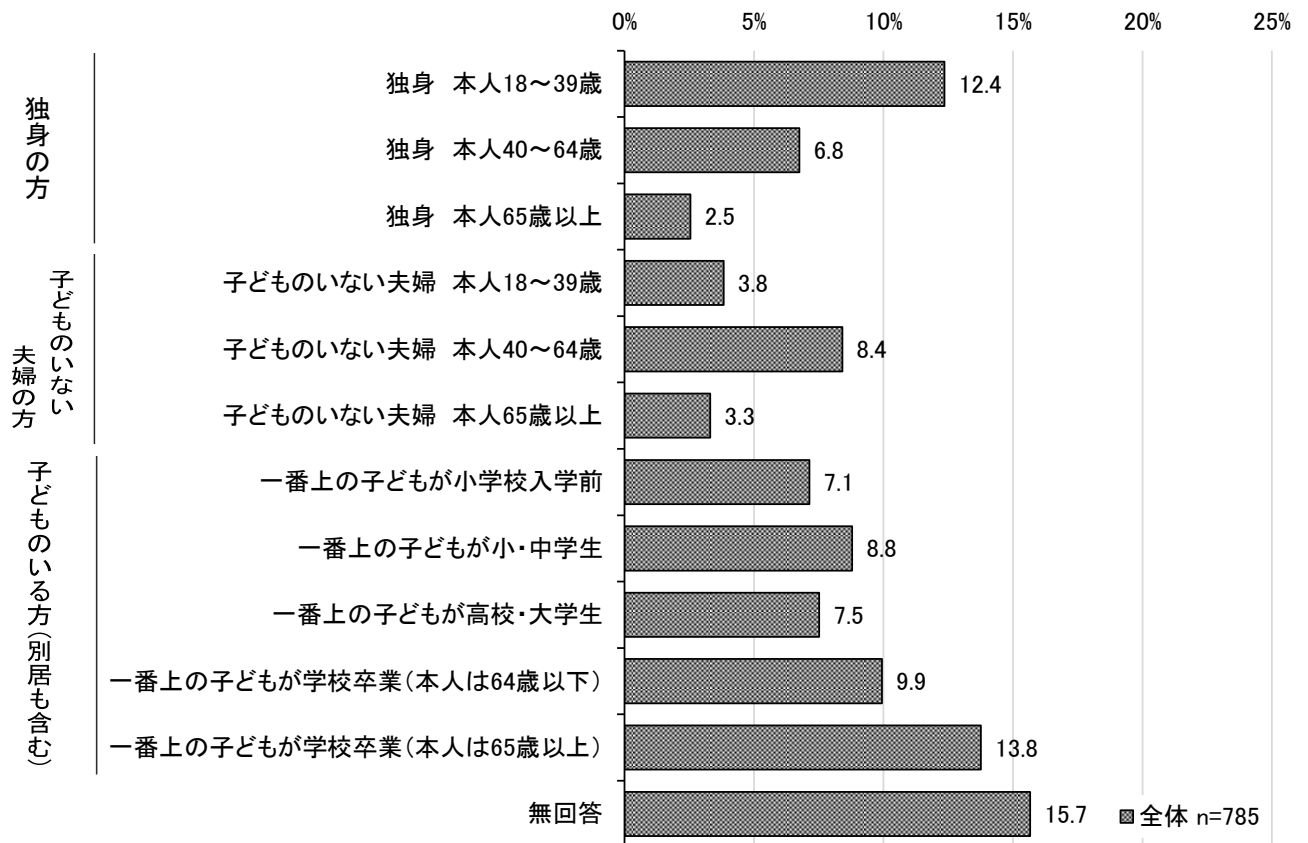
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



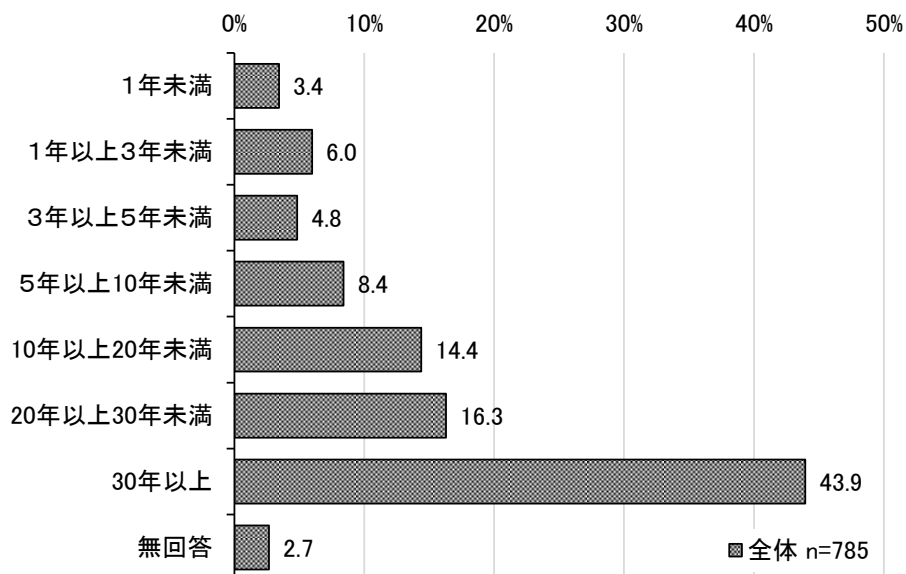
(13) 子どもの有無



### (14) 自身のステージ



### (15) 居住年数



## 2 各種認知度について

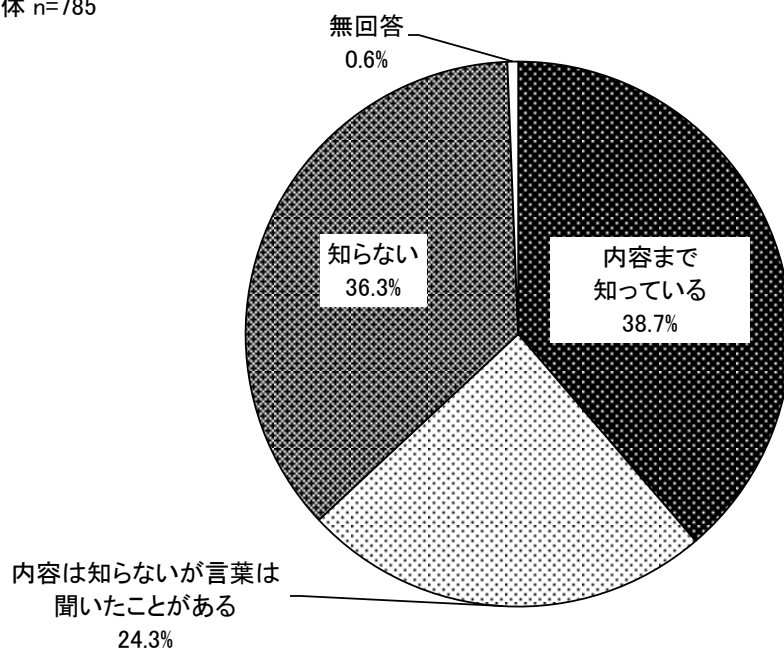
### (1) 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

◇「内容まで知っている」は4割弱となっている

**問1 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、あなたはこの言葉を知っていますか。(1つのみ)**

“ワーク・ライフ・バランス”の認知度については、「内容まで知っている」が38.7%で最も高く、次いで「知らない」が36.3%、「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が24.3%となっている。

全体 n=785

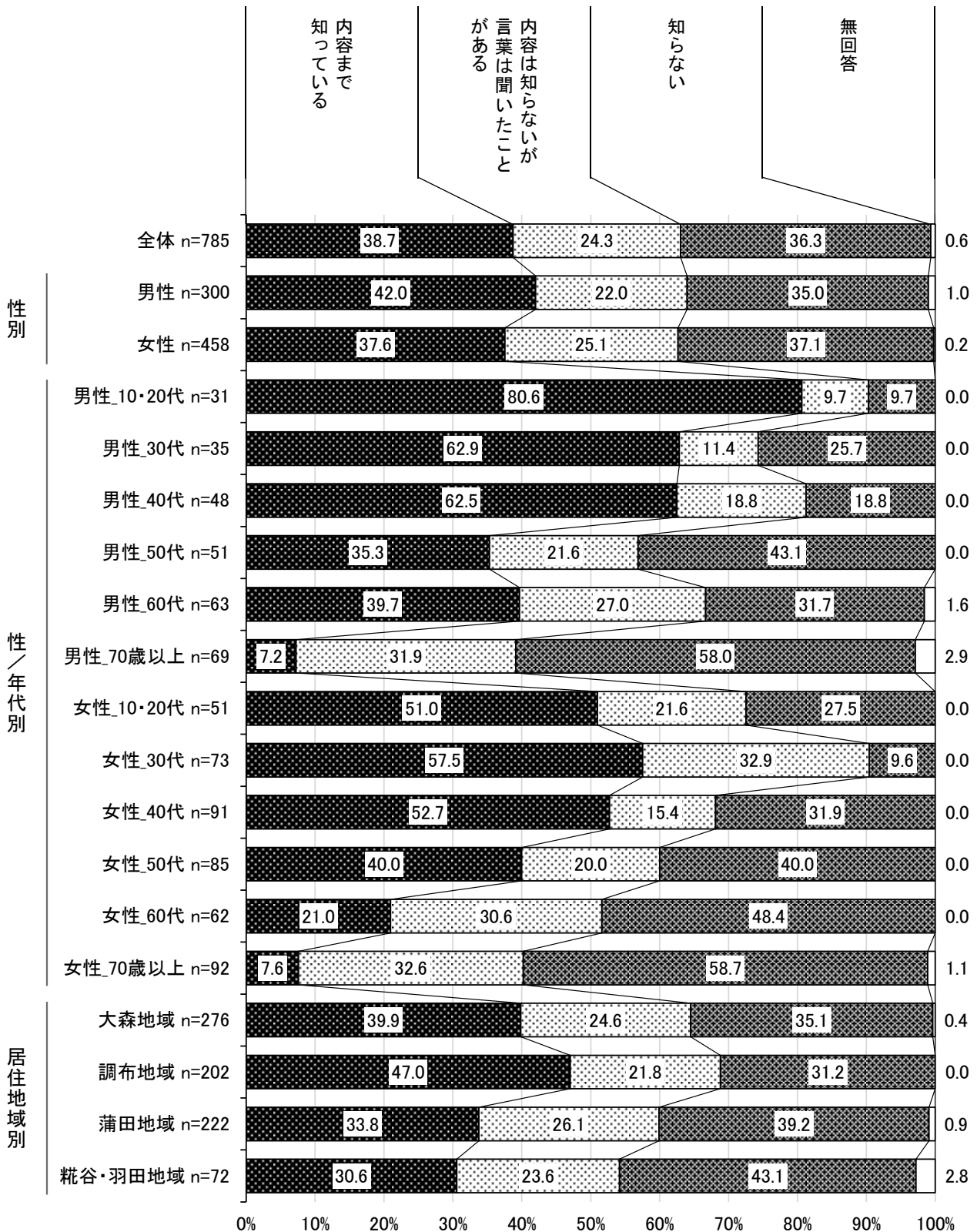


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「内容まで知っている」は男性が42.0%、女性が37.6%と、男性が4.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「内容まで知っている」は男性では10・20代が約8割、30代、40代が6割台となっている。女性では10・20代から40代で5割台となっている。

居住地域別でみると、「内容まで知っている」は調布地域で5割弱と高くなっている。

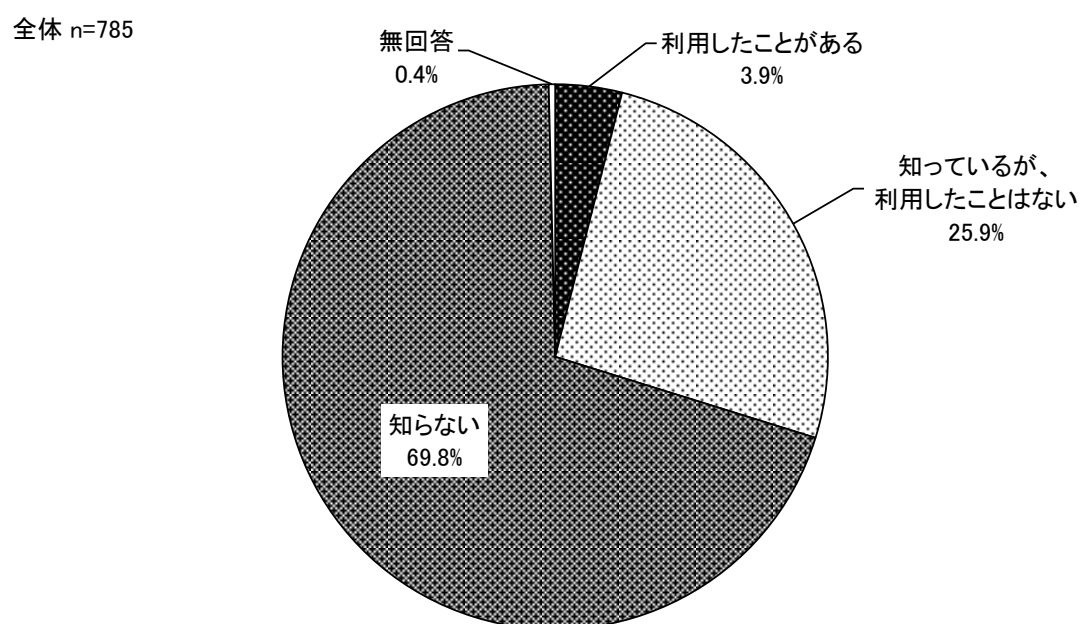


## (2) 「エセナおおた」の認知度

◇ 《知っている》（「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値）は約3割となっている

**問2 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施しています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を知っていますか。（1つのみ）**

“エセナおおた”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は29.8%である一方で、「知らない」が69.8%と、「知らない」が40.0ポイント上回っている。



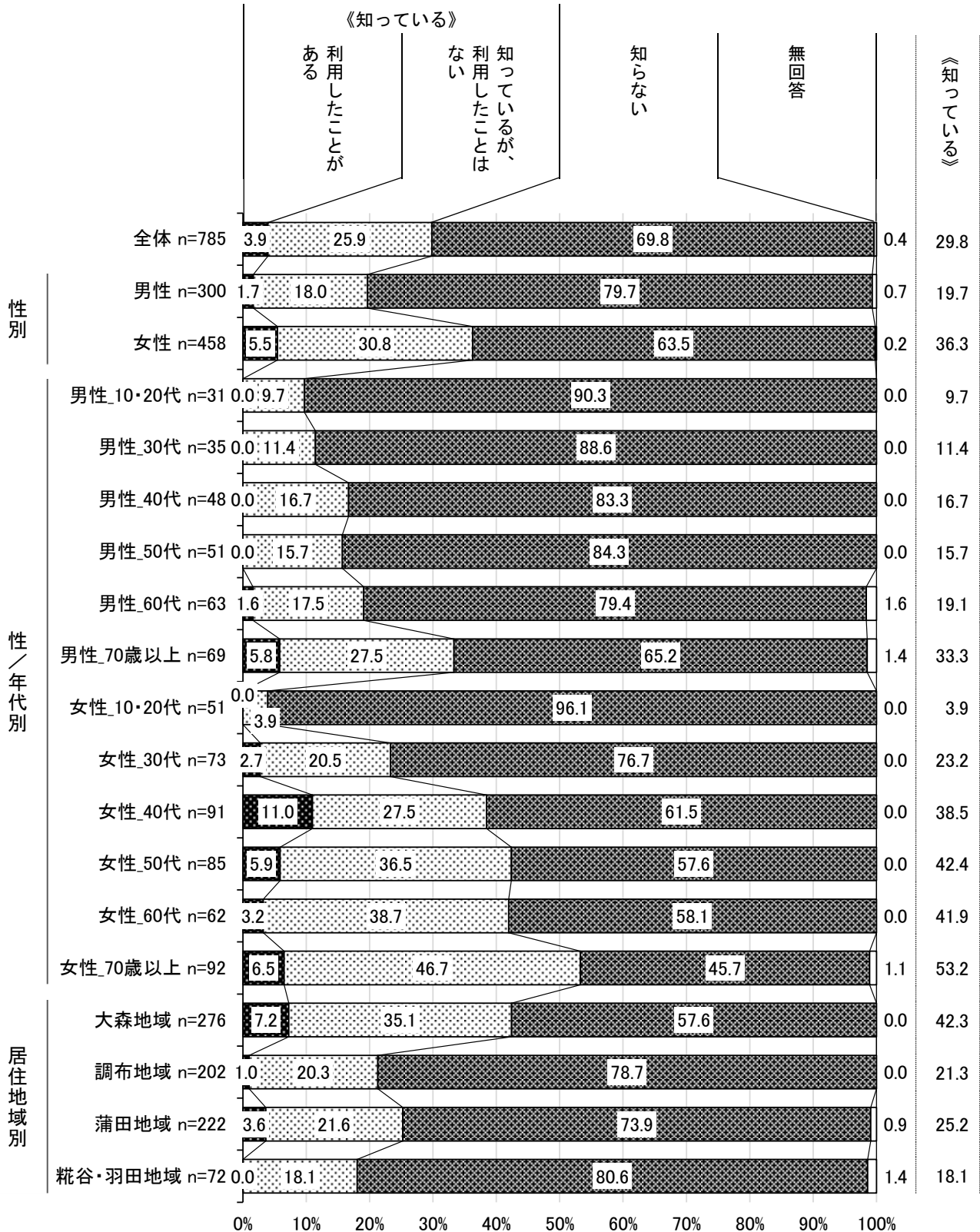


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が19.7%、女性が36.3%と、女性が16.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で3割前半、女性70歳以上で5割前半となっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域で4割前半と高くなっている。

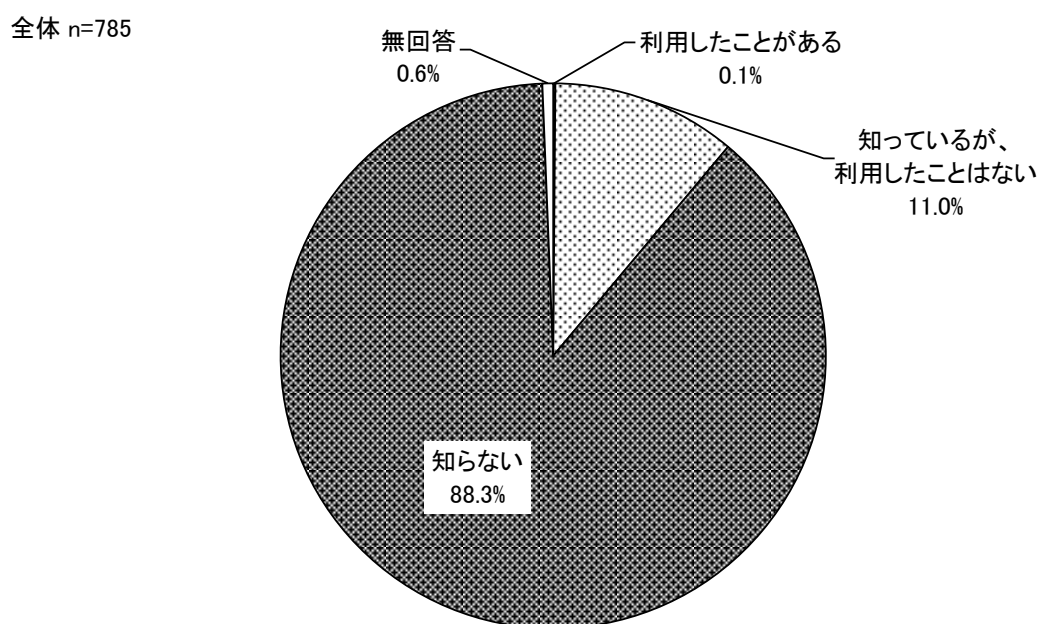


### (3) 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度

◇ 《知っている》（「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値）は1割前半となっている

#### 問3 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。（1つのみ）

“女性のためのたんぽぽ相談”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は11.1%である一方で、「知らない」が88.3%と、「知らない」が77.2ポイント上回っている。

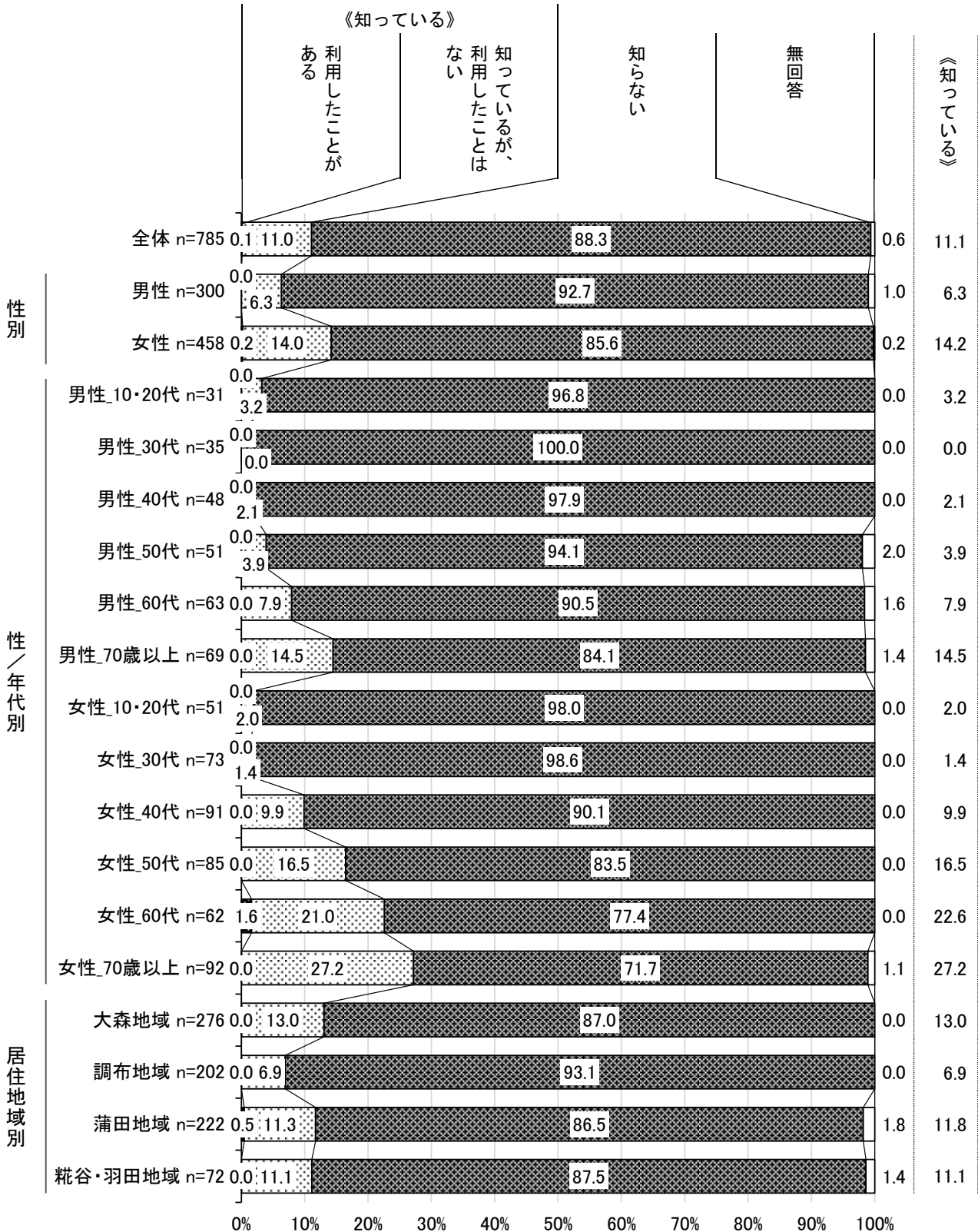


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が6.3%、女性が14.2%と、女性が7.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《知っている》は年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で1割半ば、女性70歳以上で3割弱となっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域で1割前半となっている。

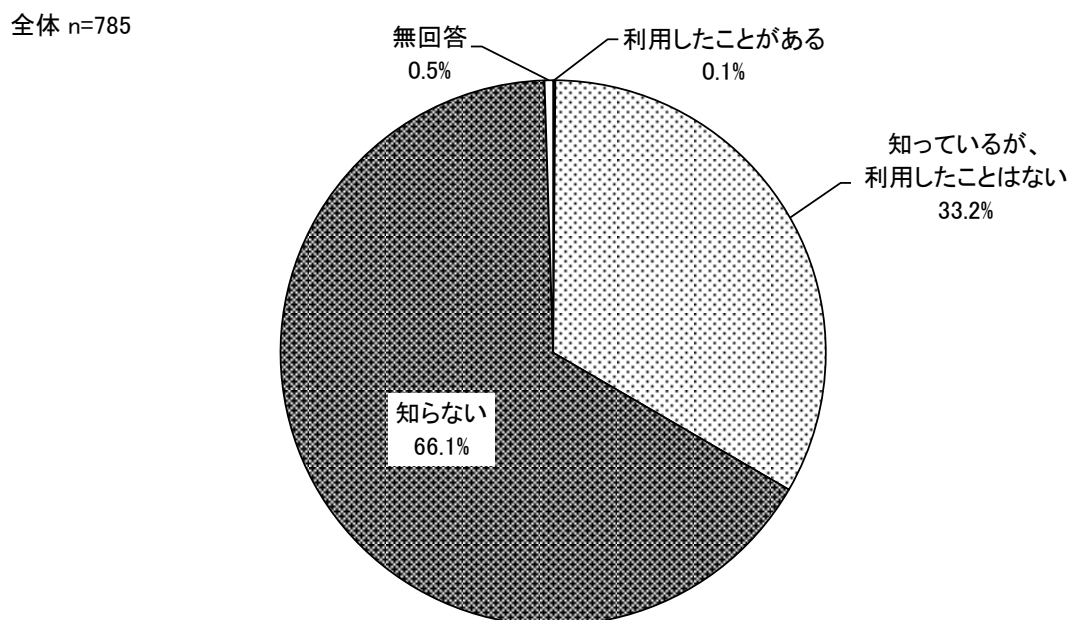


#### (4) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

◇ 《知っている》（「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値）は3割前半となっている

**問4 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）に関する相談を受け付けていることを知っていますか。（1つのみ）**

“大田区DV相談ダイヤル”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は33.3%である一方で、「知らない」が66.1%と、「知らない」が32.8ポイント上回っている。

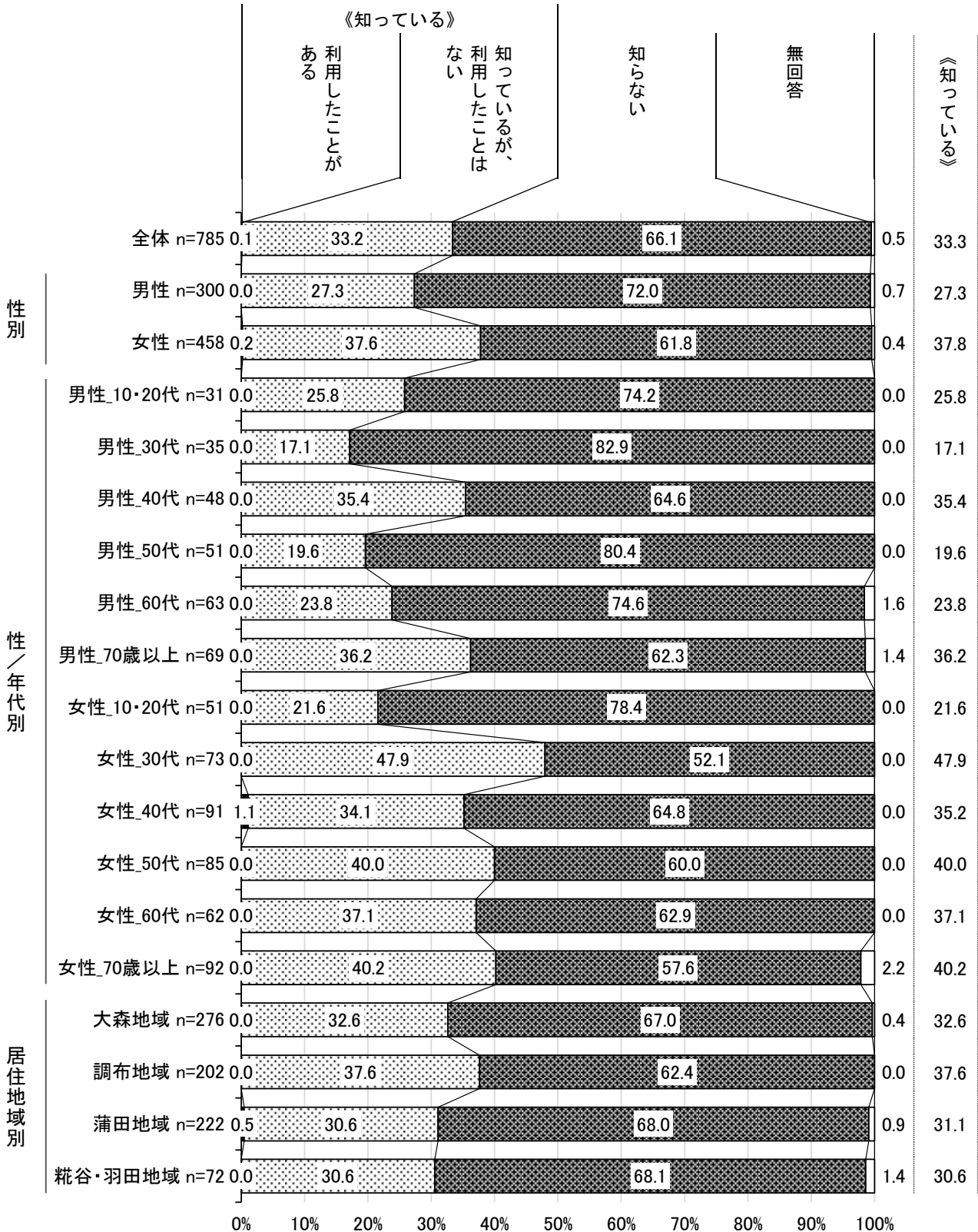


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が27.3%、女性が37.8%と、女性が10.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性40代、男性70歳以上で3割台、女性30代、女性50代、女性70歳以上で4割台となっている。

居住地域別でみると、《知っている》は調布地域で4割弱と高くなっている。



### (5) 「成年後見制度」の認知度

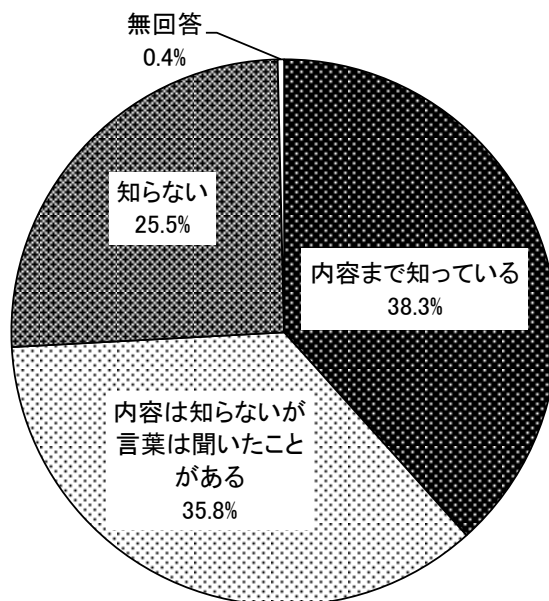
◇「内容まで知っている」は4割弱となっている

#### 問5 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障がい・精神障がいなどによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、  
法的に支援する制度。

“成年後見制度”の認知度については、「内容まで知っている」が38.3%で最も高く、次いで「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が35.8%、「知らない」が25.5%となっている。

全体 n=785

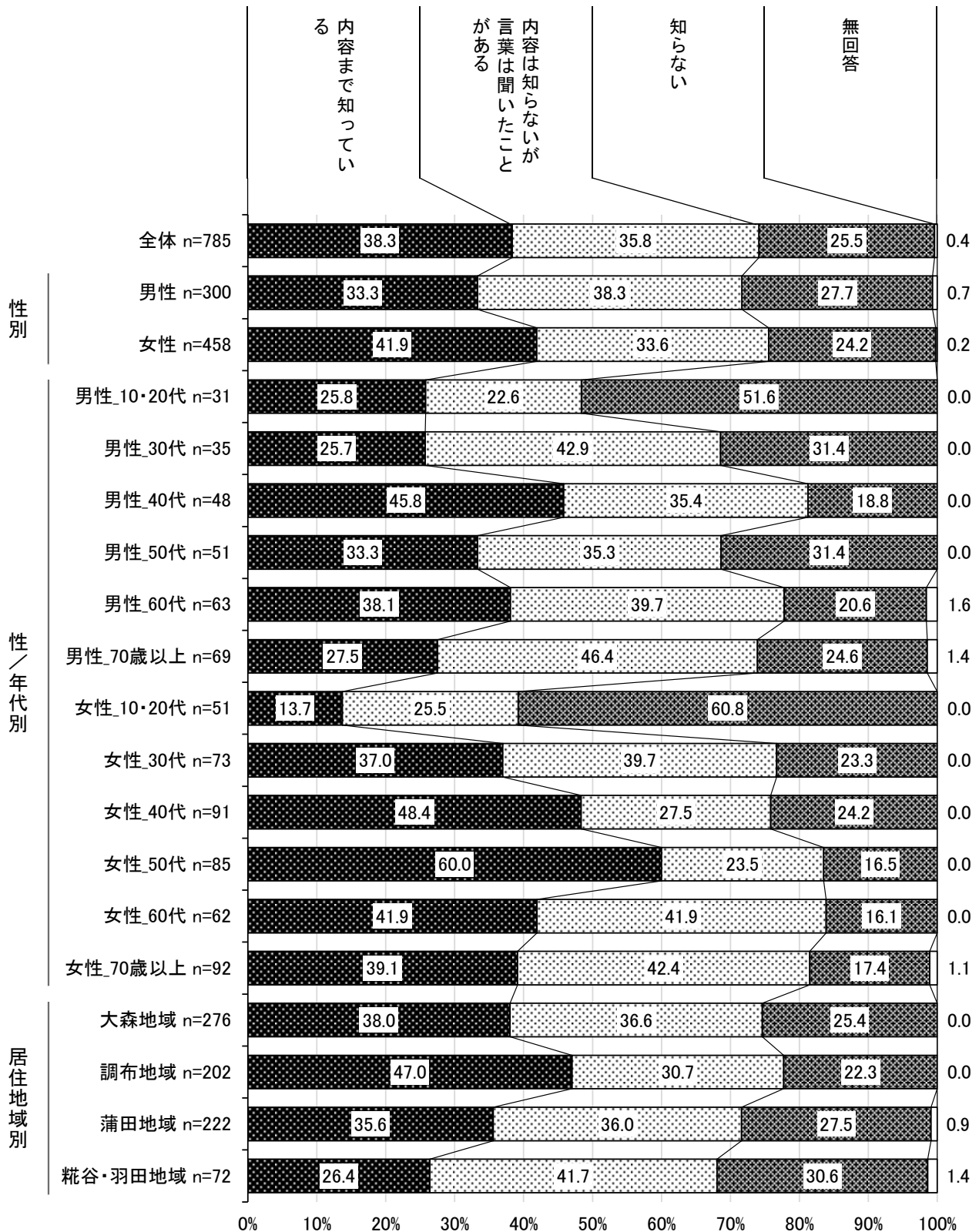


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「内容まで知っている」は男性が33.3%、女性が41.9%と、女性が8.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「内容まで知っている」は男性では40代で4割半ば、女性では50代で6割と高くなっている。

居住地域別でみると、「内容まで知っている」は調布地域で5割弱と高くなっている。



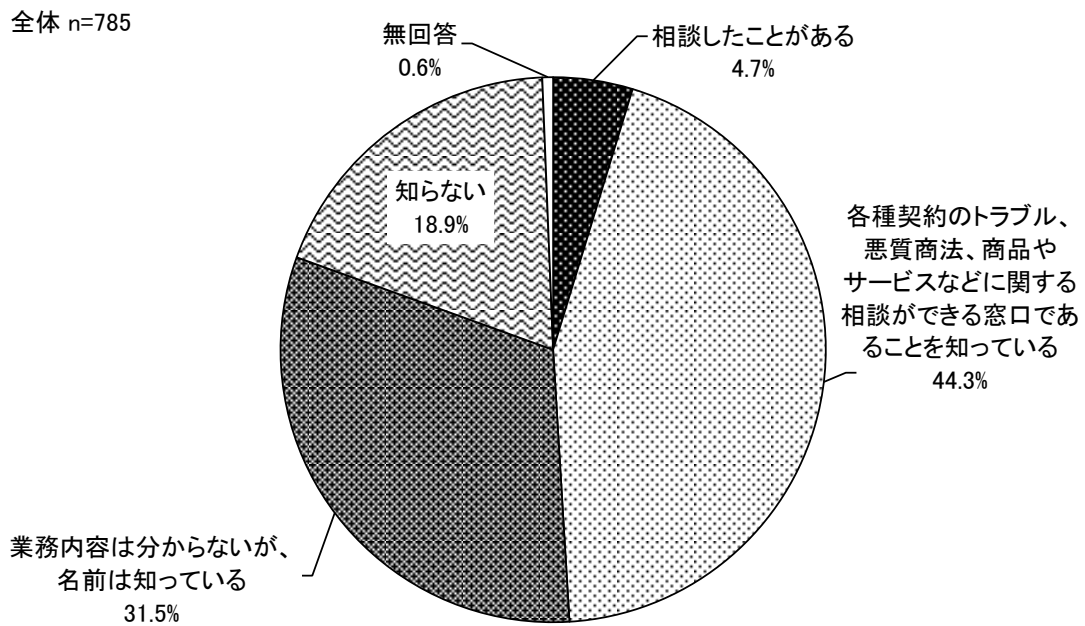
## (6)「大田区立消費者生活センター」の認知度

◇「相談したことがある」は1割未満となっている

### 問6 大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

“大田区立消費者生活センター”の認知度については、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が44.3%で最も高く、次いで「業務内容は分からないが、名前は知っている」が31.5%、「知らない」が18.9%となっている。

なお、「相談したことがある」は4.7%となっている。



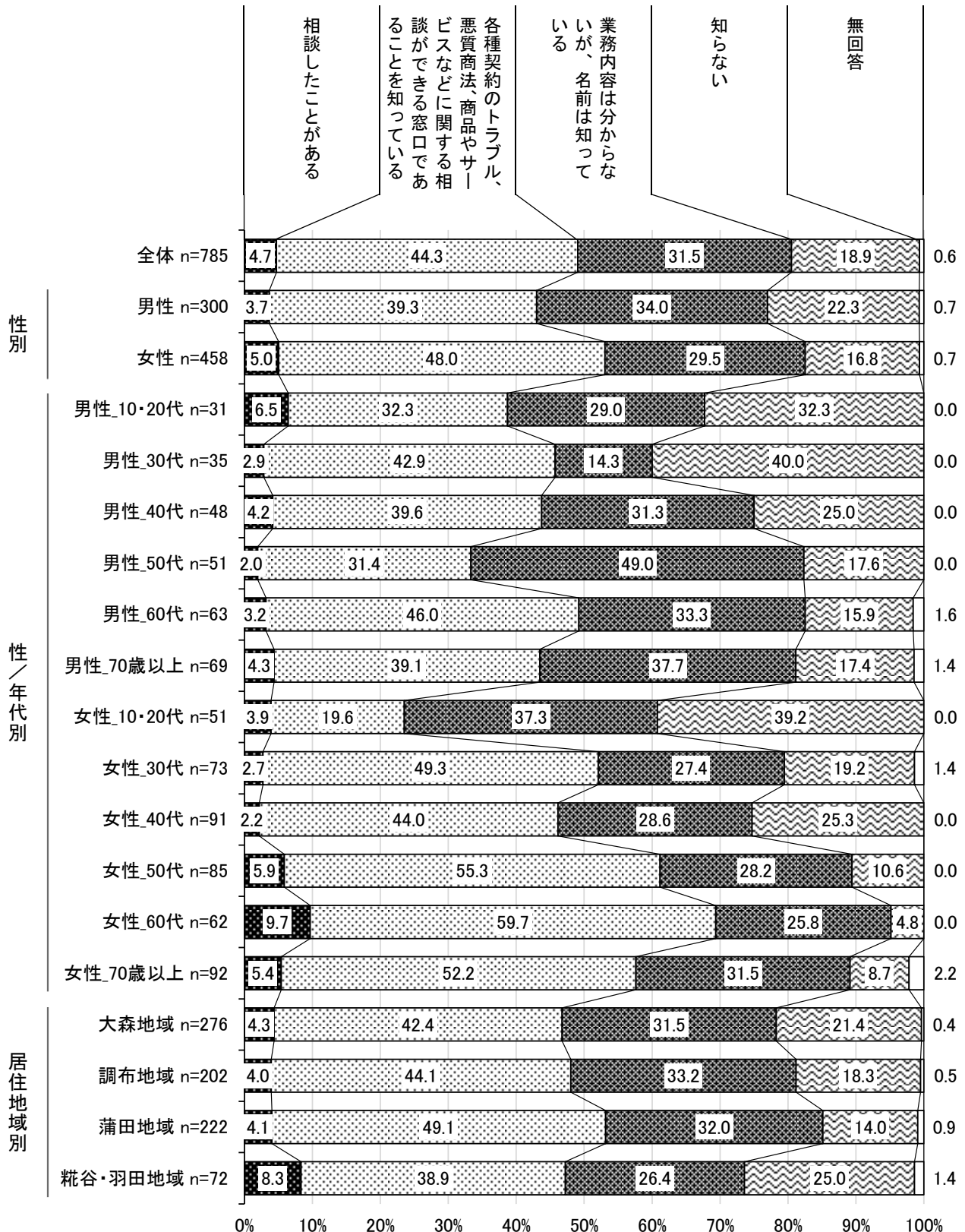


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「相談したことがある」に大きな差はみられないものの、「知らない」では男性が22.3%、女性が16.8%と、男性が5.5ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「相談したことがある」は女性60代で約1割と高くなっている。

居住地域別でみると、「相談したことがある」は糞谷・羽田地域で1割弱と高くなっている。



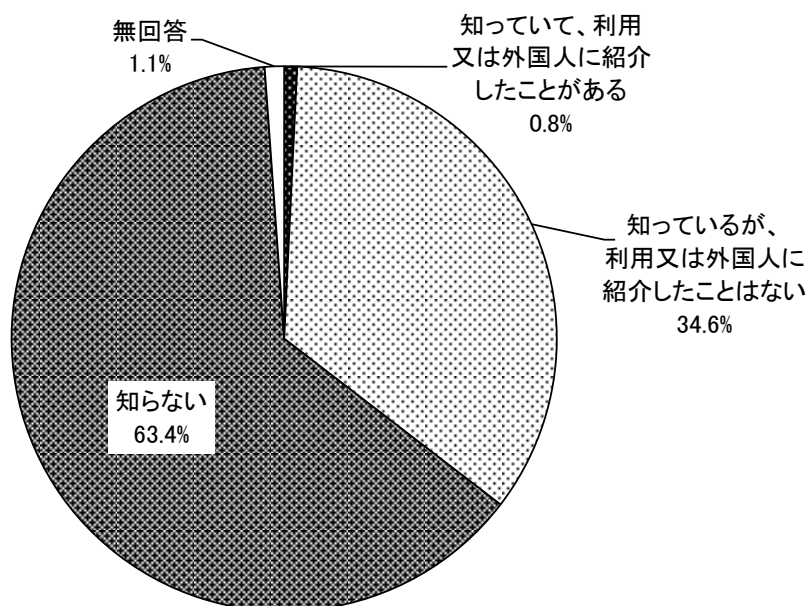
## (7) 外国語で生活相談ができる「多言語相談窓口」の認知度

◇「知っている、利用又は外国人に紹介したことがある」は1%未満となっている

### 問7 大田区に住む外国人向けに、外国語で生活相談ができる窓口（多言語相談窓口）があることを知っていますか。（1つのみ）

外国語で生活相談ができる“多言語相談窓口”の認知度については、「知らない」が63.4%で最も高く、次いで「知っているが、利用又は外国人に紹介したことはない」が34.6%、「知っている、利用又は外国人に紹介したことがある」が0.8%となっている。

全体 n=785

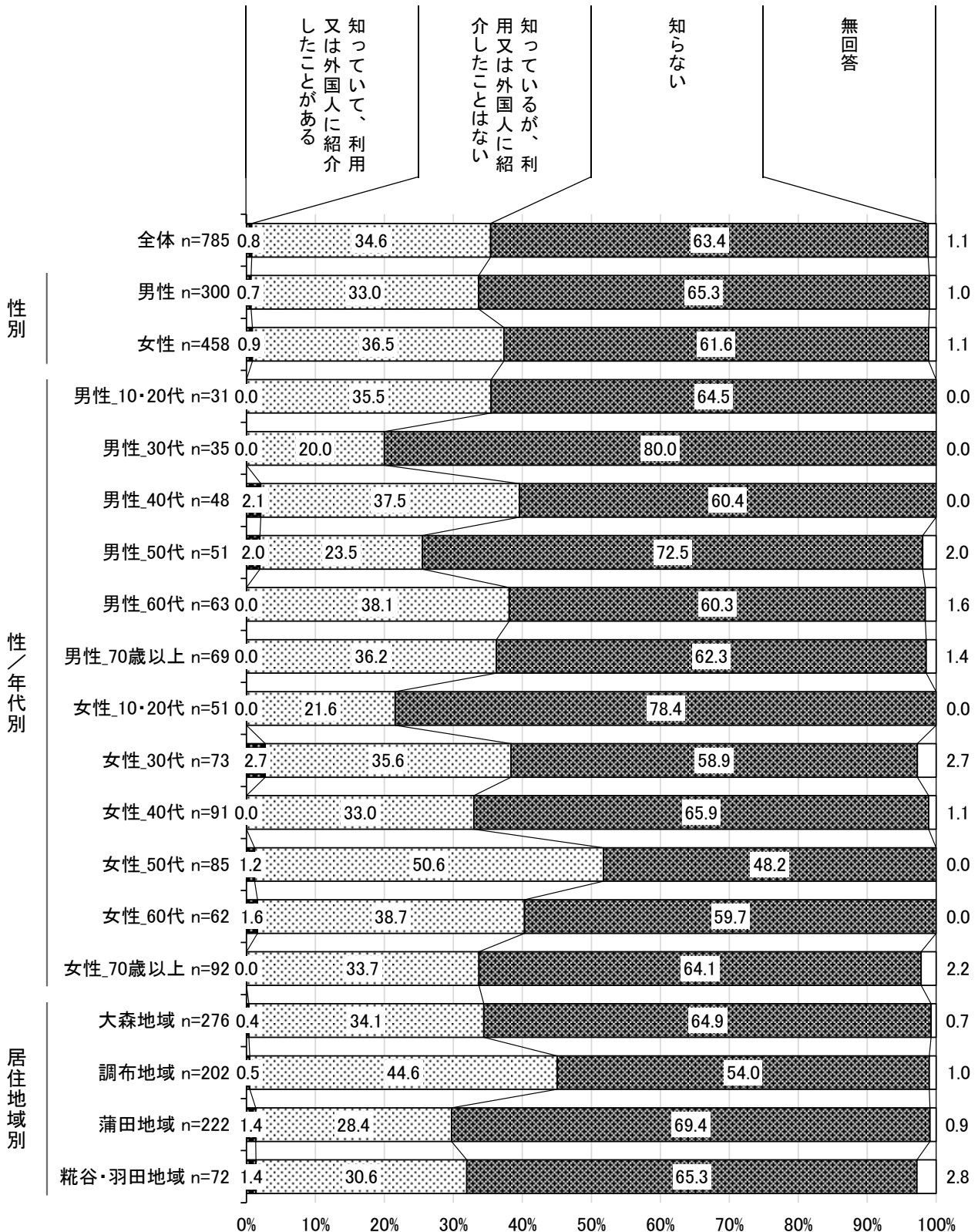


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「知っていて、利用又は外国人に紹介したことがある」は1%未満に留まり、「知らない」がそれぞれ6割台となっている。

性／年代別で見ると、「知っていて、利用又は外国人に紹介したことがある」はすべての性／年代で3%未満に留まり、「知らない」は男性30代、女性10・20代で約8割と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「知っていて、利用又は外国人に紹介したことがある」は2%未満に留まり、「知らない」は蒲田地域で約7割と高くなっている。



## (8) 「ヘルプカード」の認知度

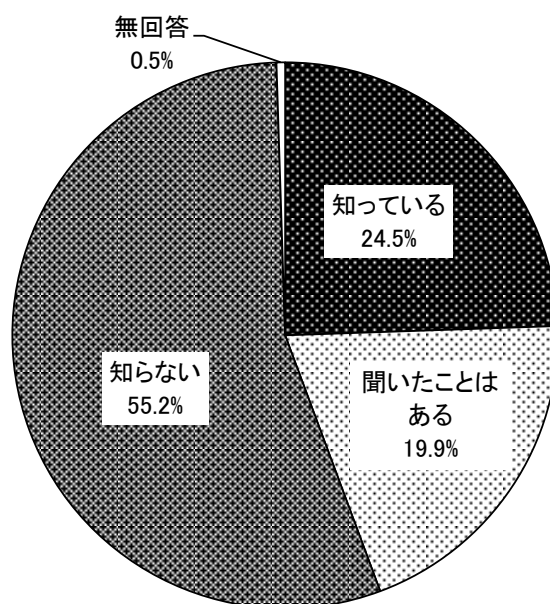
◇「知っている」は2割半ばとなっている

問8 「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（1つのみ）

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード（大田区が作成）。

“ヘルプカード”の認知度については、「知らない」が55.2%で最も高く、次いで「知っている」が24.5%、「聞いたことはある」が19.9%となっている。

全体 n=785

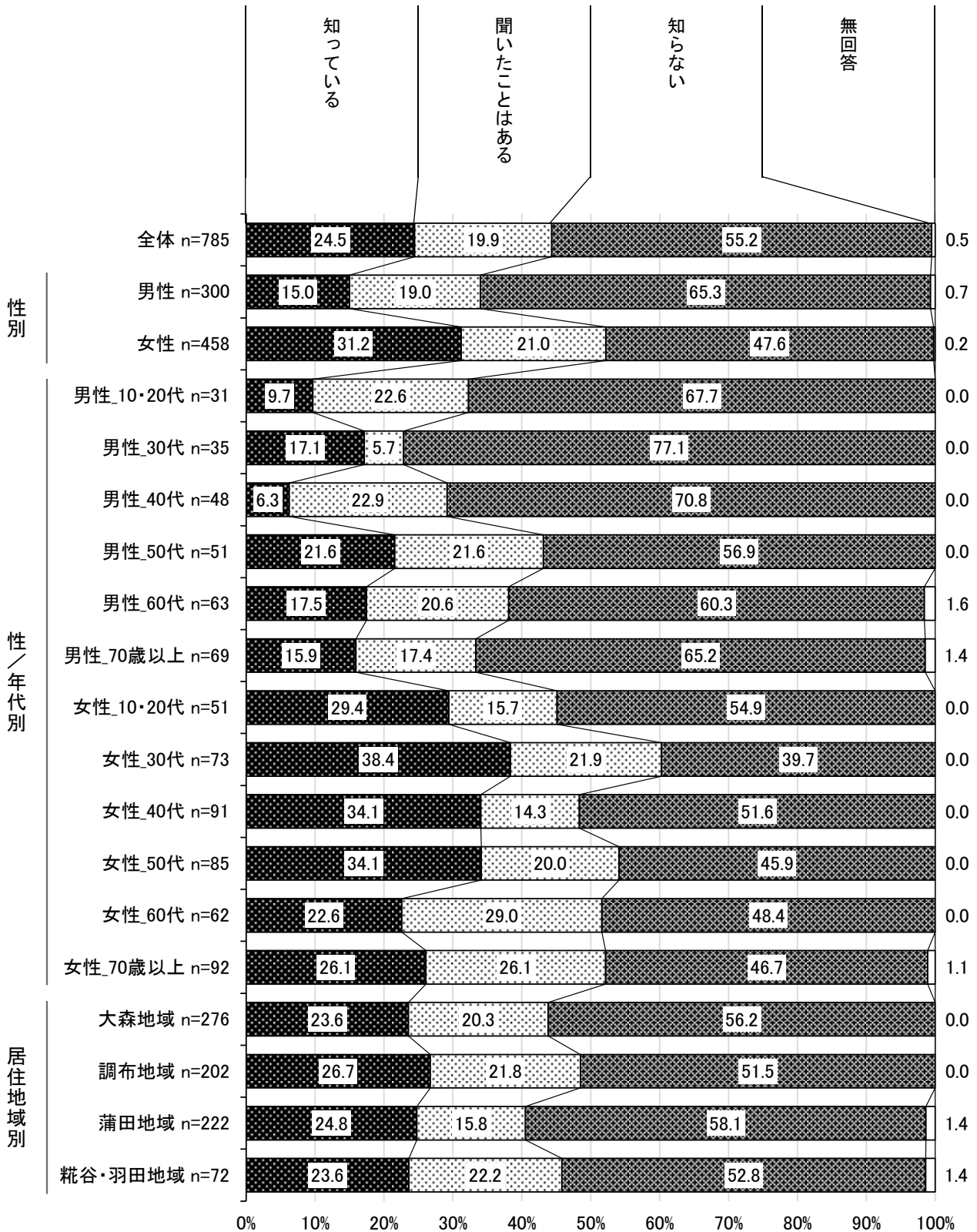


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が15.0%、女性が31.2%と、女性が16.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では50代で2割前半、女性では30代で4割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は調布地域で3割弱と高くなっている。



## (9) 「障害者差別解消法」の認知度

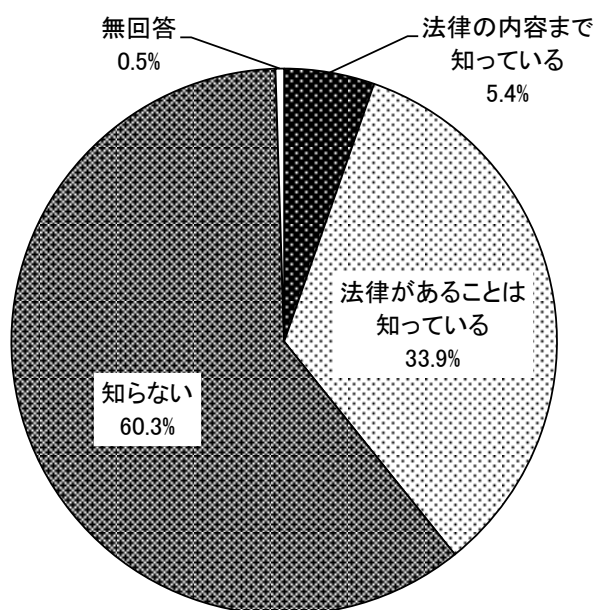
◇「法律の内容まで知っている」は1割未満となっている

**問9 「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」を知っていますか。  
（1つのみ）**

**※障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に施行、令和3年5月に改正された法律。**

“障害者差別解消法”の認知度については、「知らない」が60.3%で最も高く、次いで「法律があることは知っている」が33.9%、「法律の内容まで知っている」が5.4%となっている。

全体 n=785

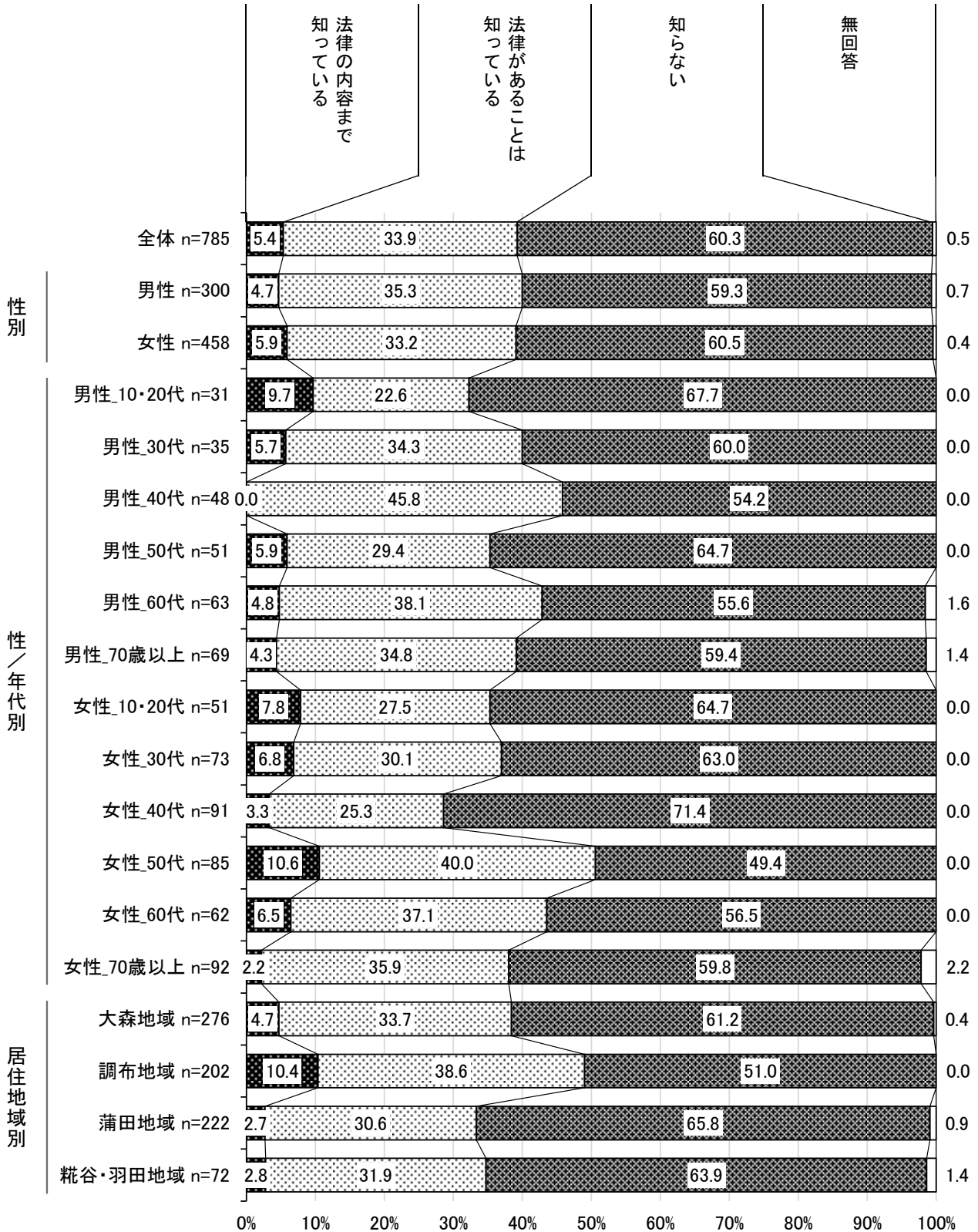


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「法律の内容まで知っている」は男性では10・20代で約1割、女性では50代で約1割と高くなっている。

居住地域別でみると、「法律の内容まで知っている」は調布地域で約1割と高くなっている。



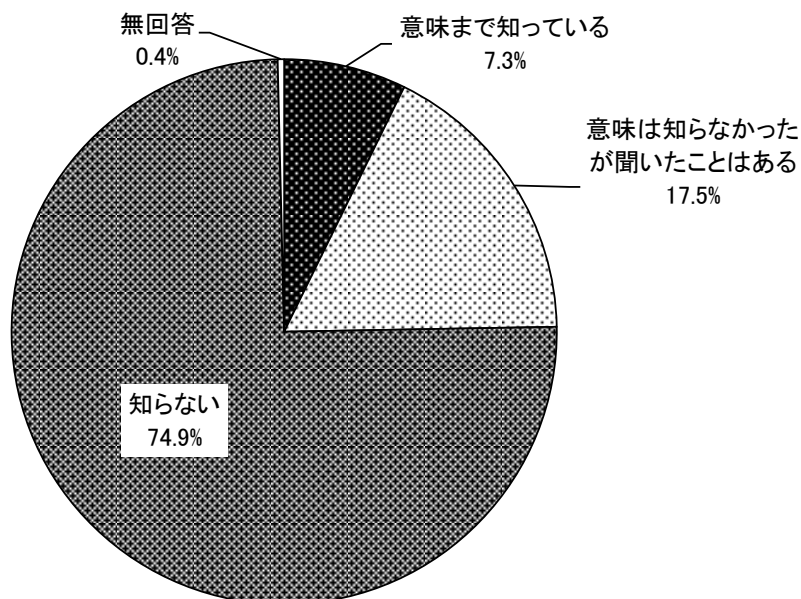
### (10) 「社会的包摂」の認知度

◇「意味まで知っている」は1割未満となっている

**問 10 大田区では、子どもたちを誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、社会的に包み込むような支援「社会的包摂」(ソーシャル・インクルージョン)に取り組んでいます。「社会的包摂」という言葉を知っていますか。(1つのみ)**

“社会的包摂”の認知度については、「知らない」が74.9%で最も高く、次いで「意味は知らなかったが聞いたことはある」が17.5%、「意味まで知っている」が7.3%となっている。

全体 n=785



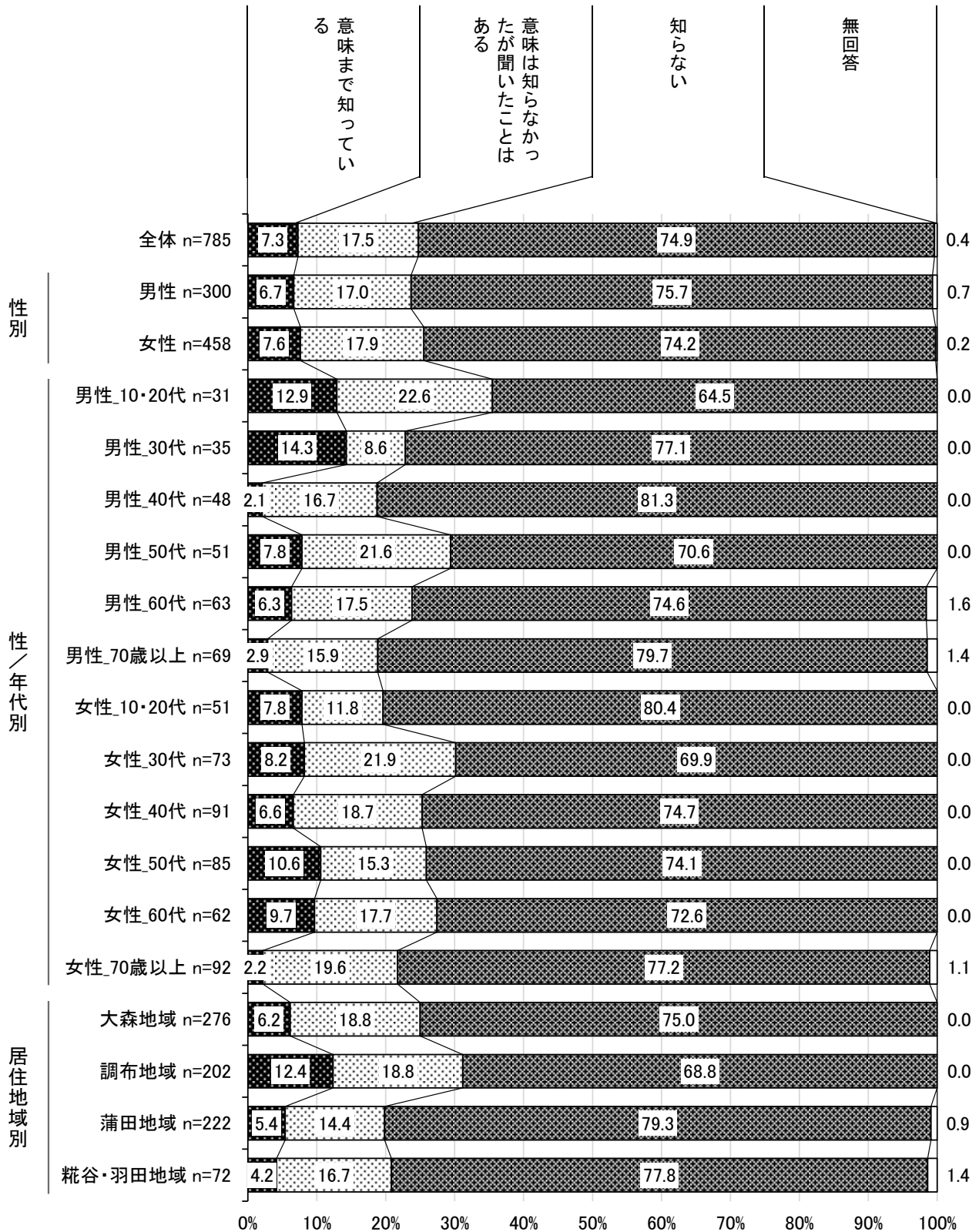


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「意味まで知っている」は男性では30代で1割半ば、女性では50代、60代で約1割と高くなっている。

居住地域別で見ると、「意味まで知っている」は調布地域で1割前半と高くなっている。



### 3

## 生涯学習について

### (1) 最近1年間の生涯学習の活動及び今後行いたい活動

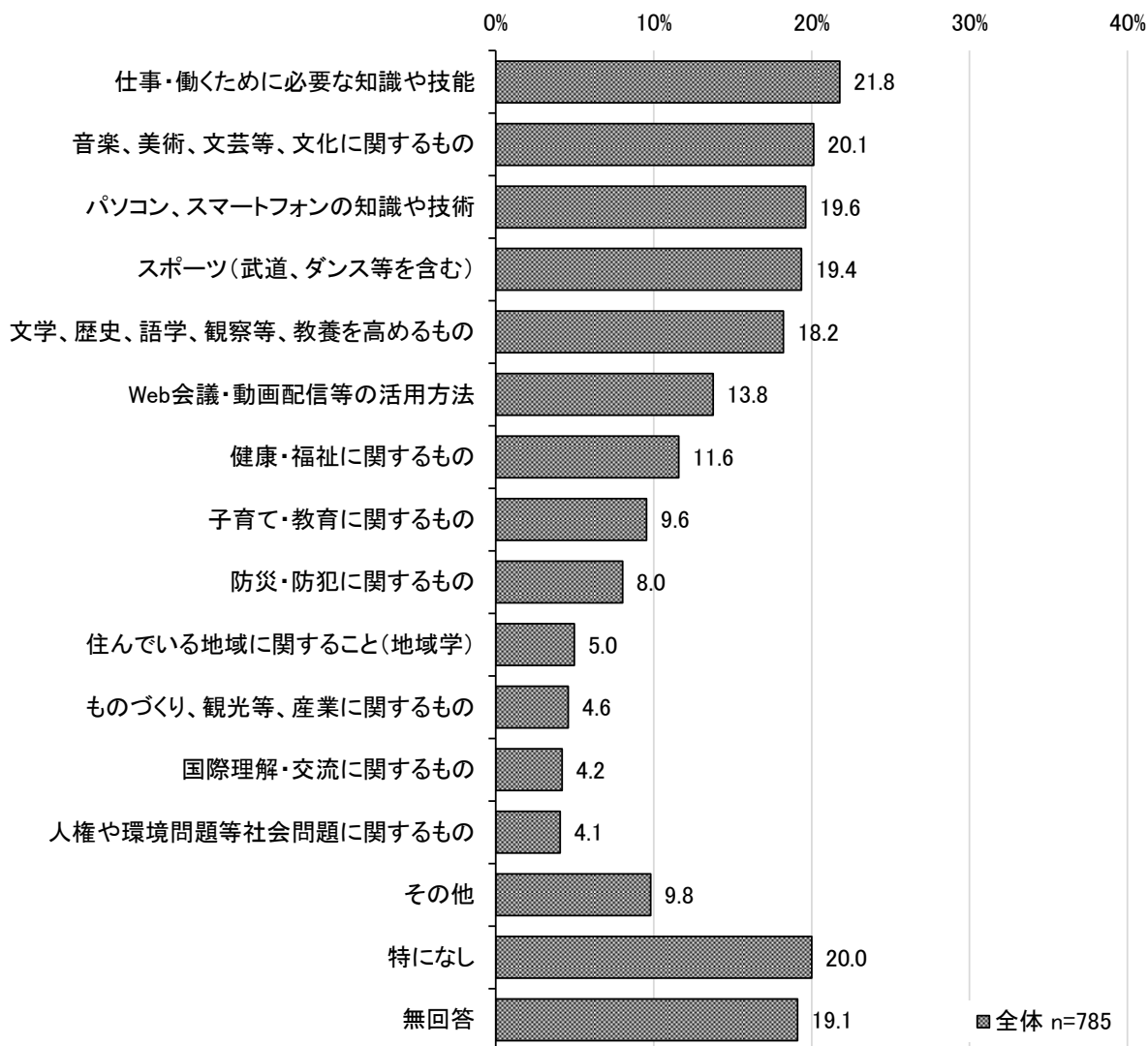
- ◇最近1年間で行った活動：「仕事・働くために必要な知識や技能」、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が2割台となっている
- ◇今後行いたい活動：「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」、「文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの」が3割台となっている

**問 11 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。また、今後行いたい生涯学習はありますか。**

※①「最近1年間で行ったこと」、②「今後行いたいこと」のそれぞれに回答してください。  
(それぞれいくつでも)

#### ■最近1年間で行った活動

最近1年間で行った活動については、「仕事・働くために必要な知識や技能」が21.8%で最も高く、次いで「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が20.1%、「パソコン、スマートフォンの知識や技術」が19.6%となっている。

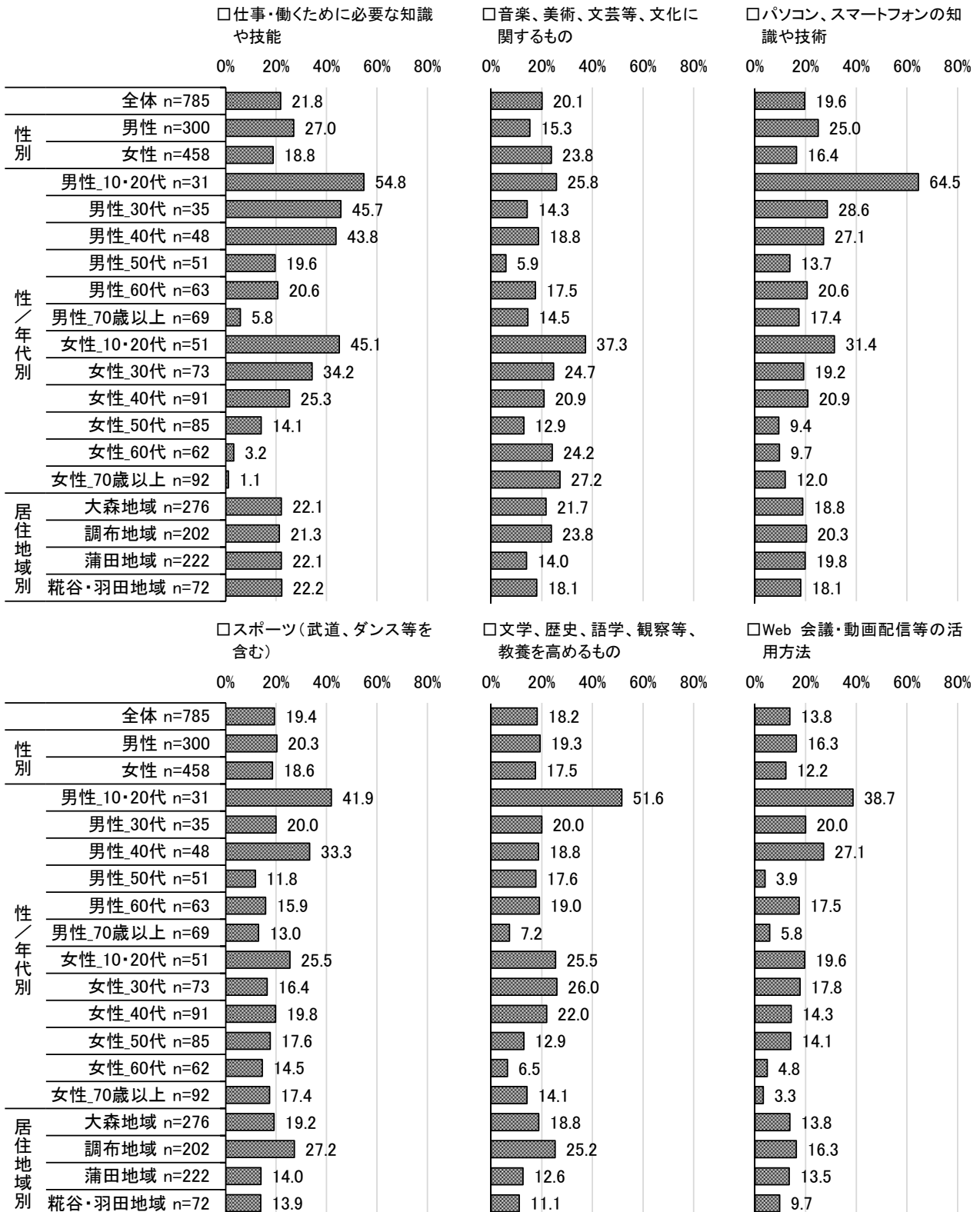


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「仕事・働くために必要な知識や技能」は男性が27.0%、女性が18.8%と、男性が8.2ポイント上回っている。

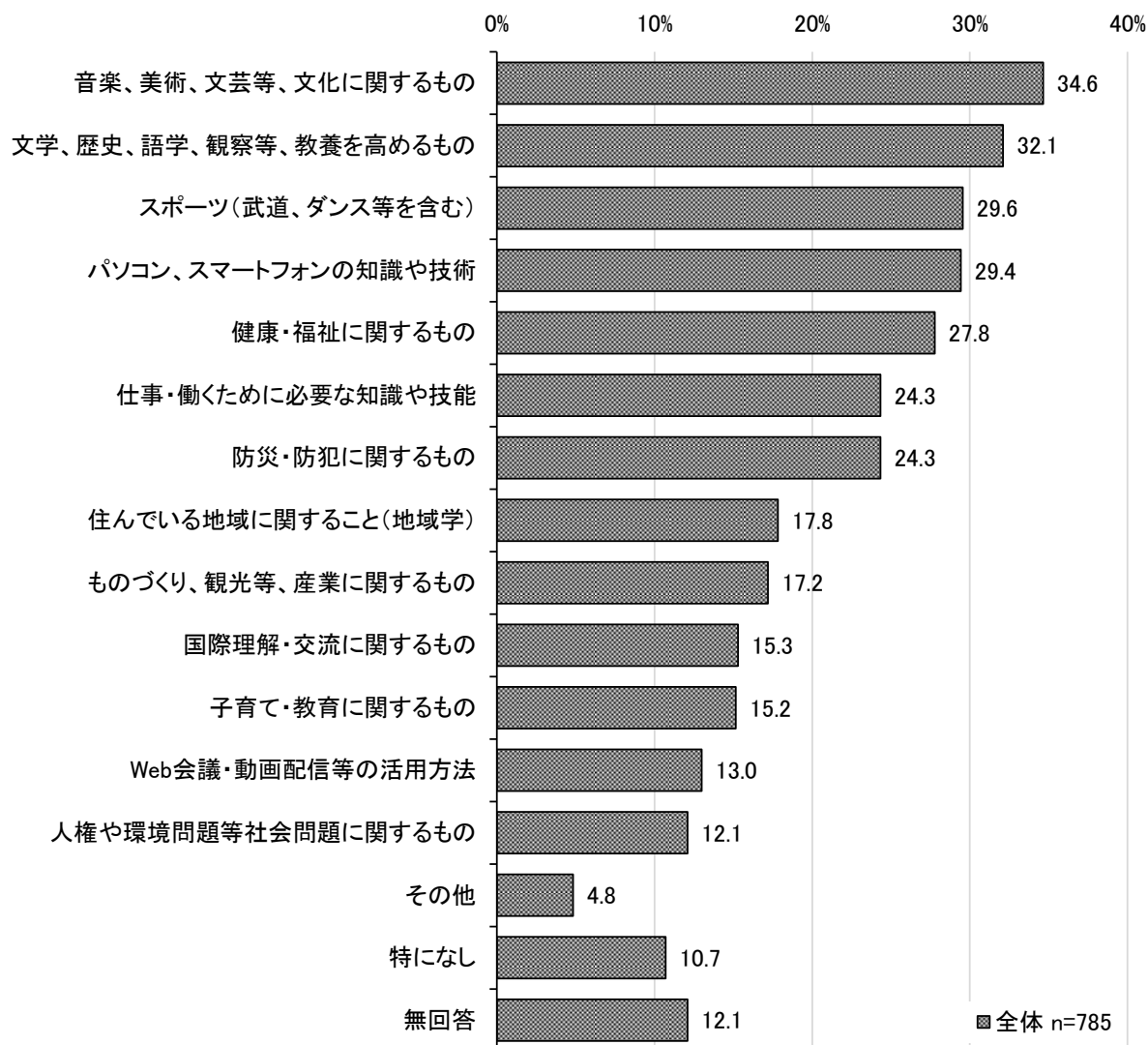
性／年代別でみると、「仕事・働くために必要な知識や技能」は男性、女性ともに年代が上がるにつれて減少傾向であり、男性10・20代で5割半ば、女性10・20代で4割半ばとなっている。

居住地域別でみると、「スポーツ（武道、ダンス等を含む）」は調布地域で3割弱と高くなっている。

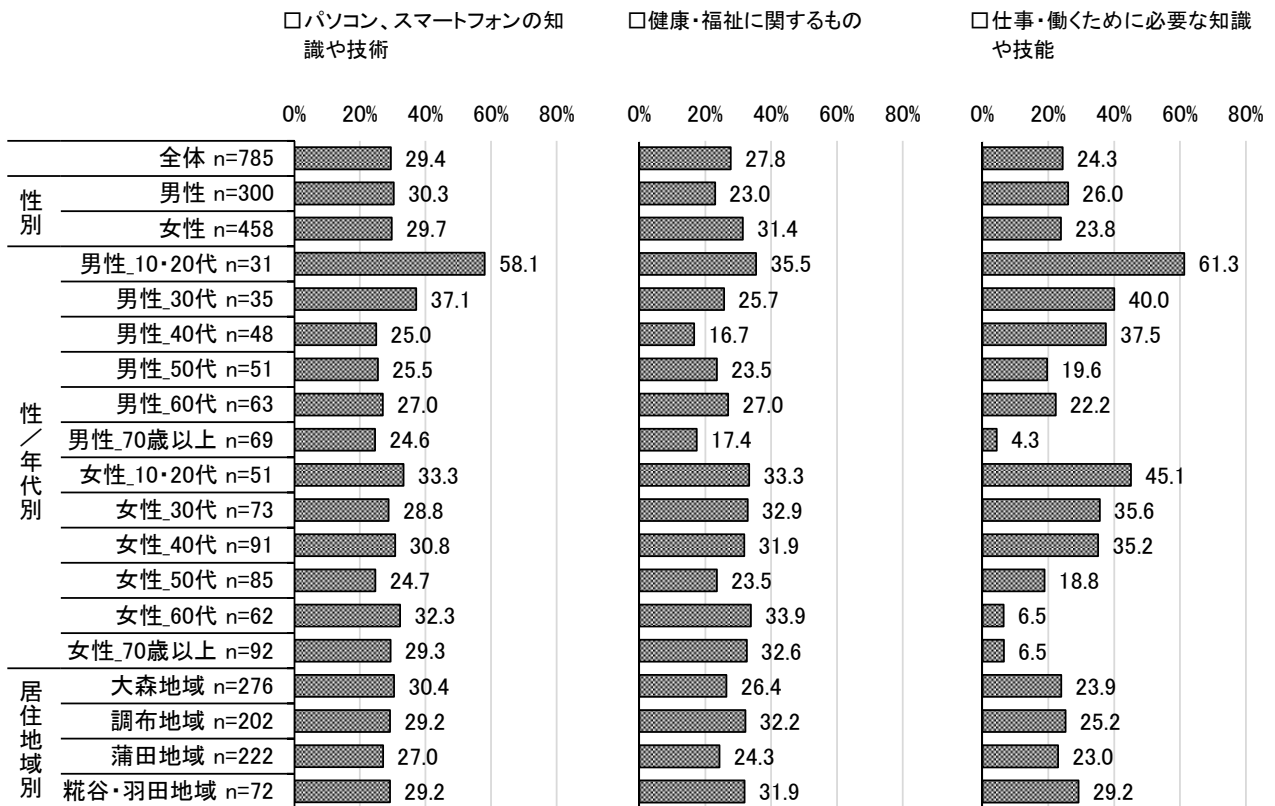
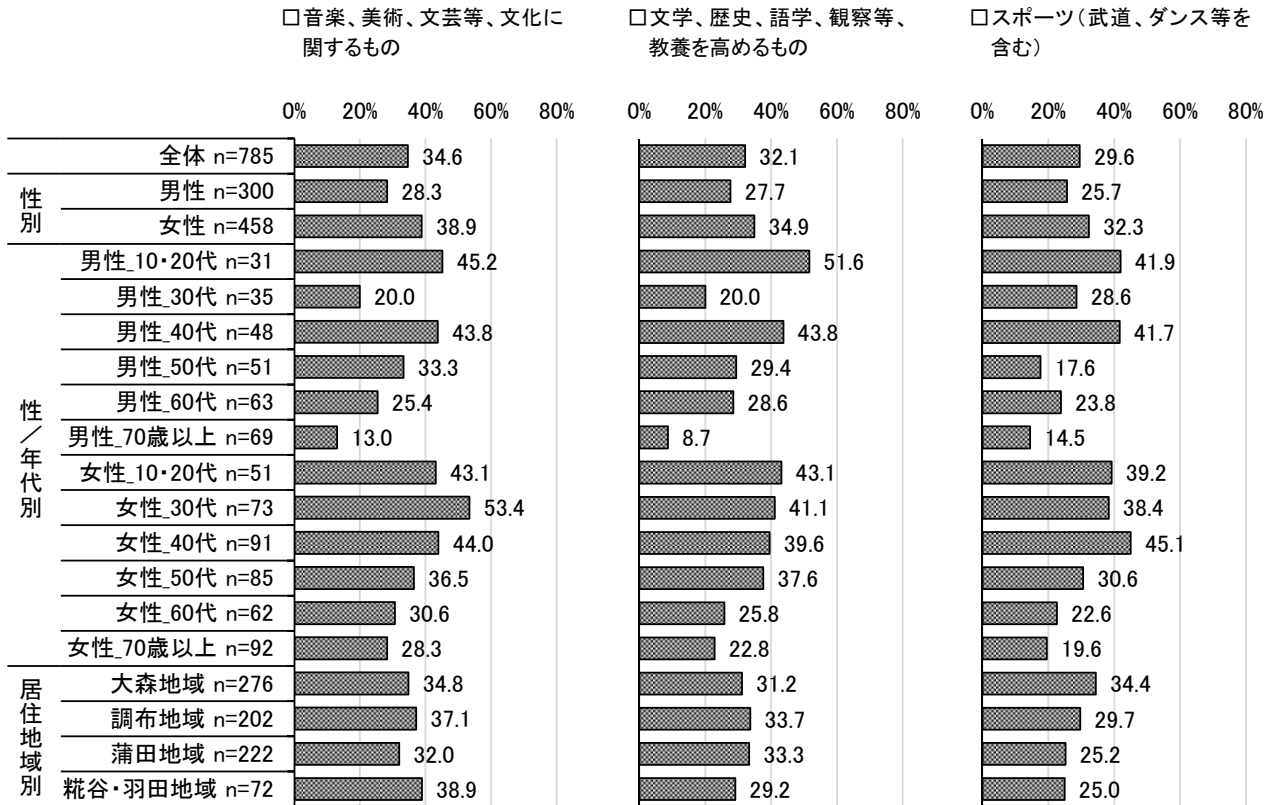


### ■今後行いたい活動

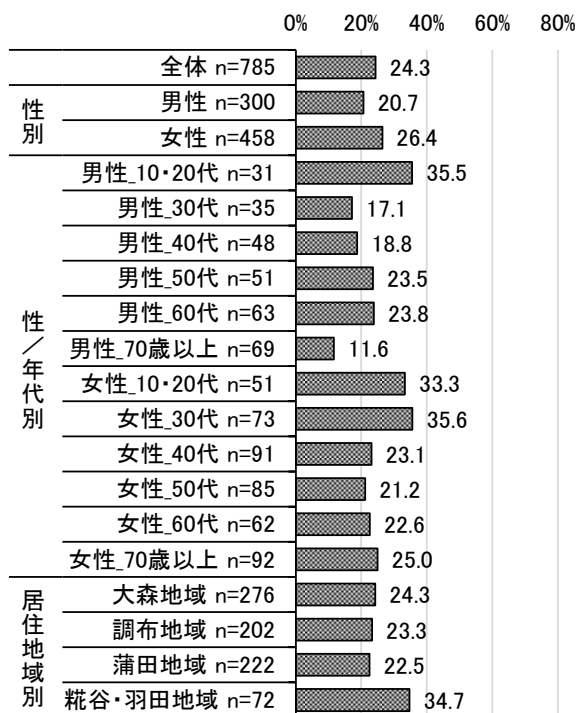
今後行いたい活動については、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が34.6%で最も高く、次いで「文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの」が32.1%、「スポーツ（武道、ダンス等を含む）」が29.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



□防災・防犯に関するもの



性別で見ると、男性では「パソコン、スマートフォンの知識や技術」が最も高く、女性では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」は女性30代で5割前半と高くなっている。男性10・20代では「パソコン、スマートフォンの知識や技術」が6割弱、「仕事・働くために必要な知識や技能」が6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が、蒲田地域では「文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの」が最も高くなっている。

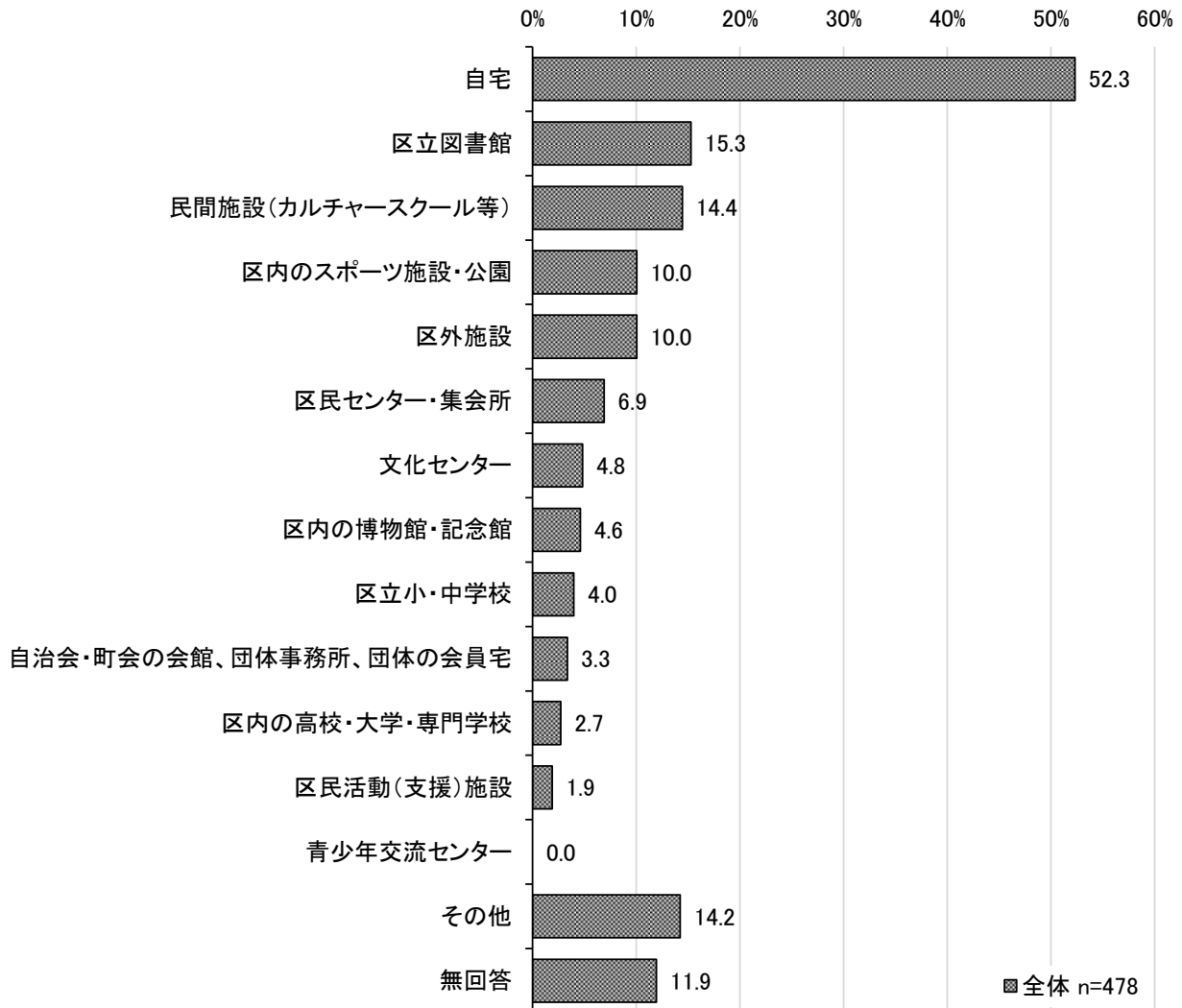
## (2) 生涯学習の活動場所

◇「自宅」が5割前半で最も高くなっている

【問 11 の①で「1」～「14」のいずれかに回答した方に伺います。】

### 問 11-1 あなたは生涯学習をどこで行いましたか。(いくつでも)

生涯学習の活動場所については、「自宅」が52.3%で最も高く、次いで「区立図書館」が15.3%、「民間施設（カルチャースクール等）」が14.4%となっている。

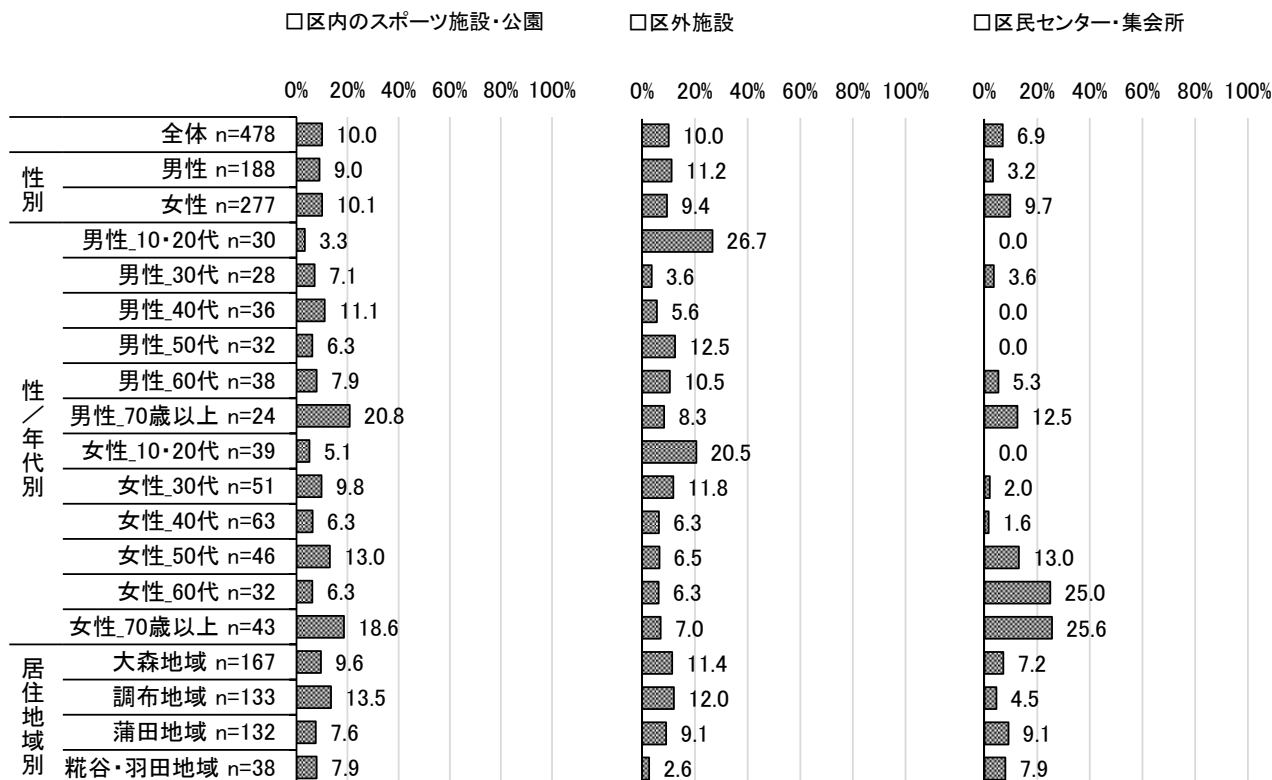
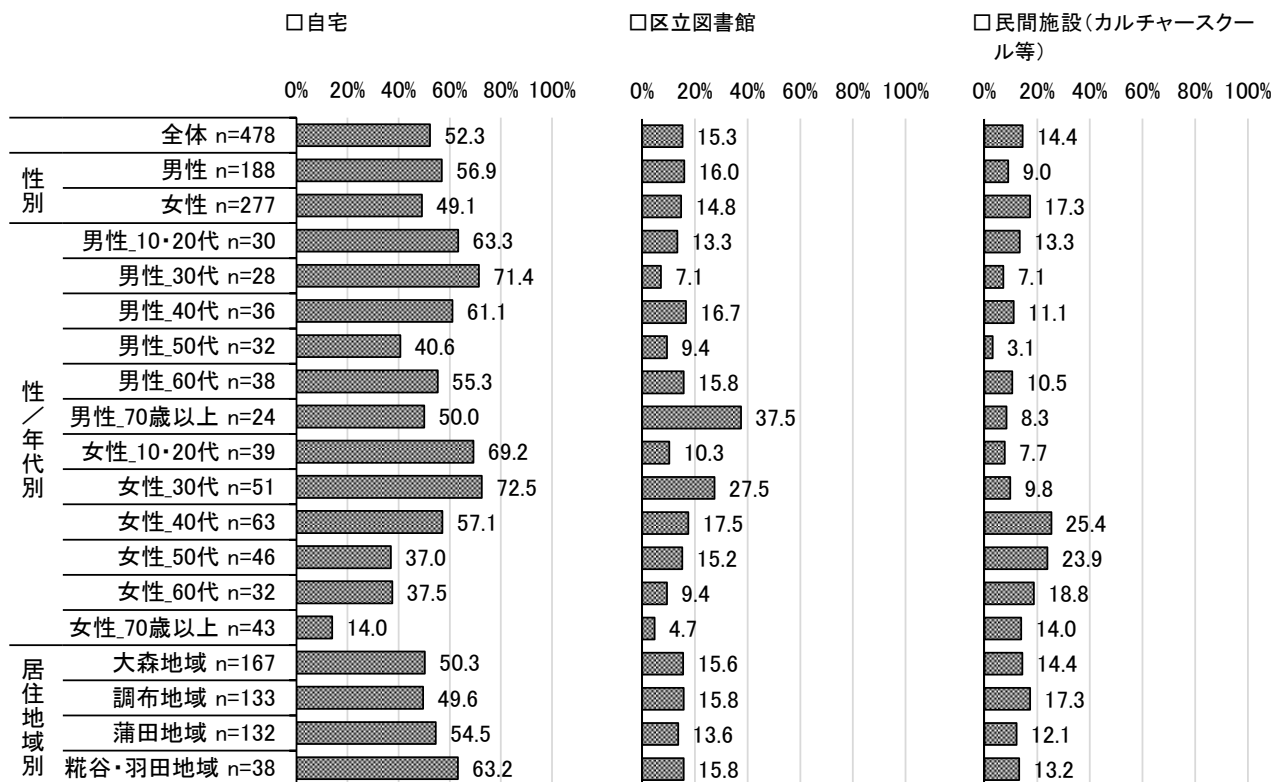


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「自宅」は男性が56.9%、女性が49.1%と、男性が7.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「自宅」は男性30代、女性30代で7割台となっている。「区立図書館」は男性70歳以上で4割弱と高くなっている。「区民センター・集会所」は女性60代、女性70歳以上で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「自宅」が最も高く、糀谷・羽田地域で6割前半となっている。





### (3) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていること

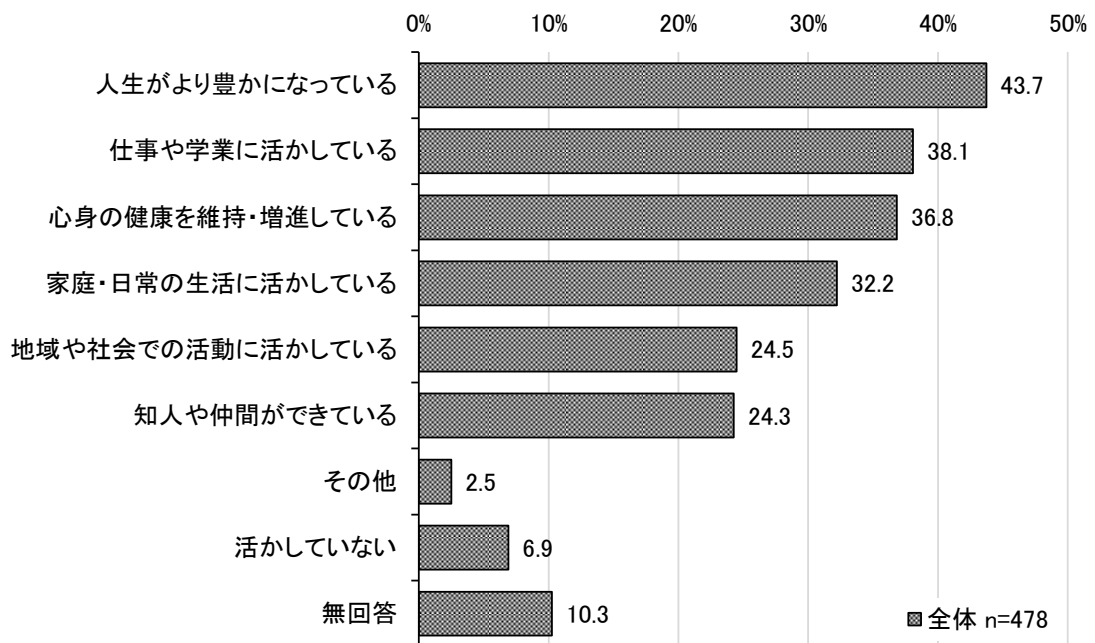
◇「人生がより豊かになっている」が4割前半で最も高くなっている

【問 11 の①で「1」～「14」のいずれかに回答した方に伺います。】

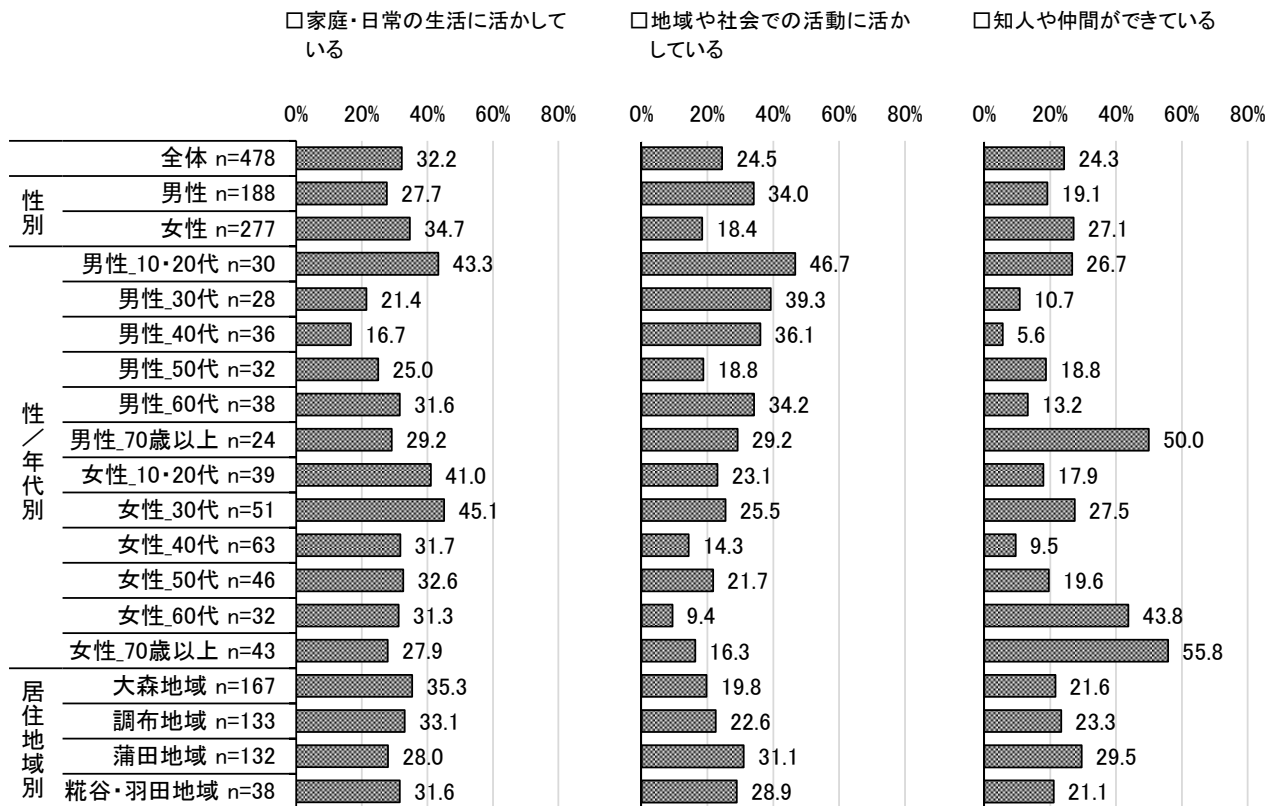
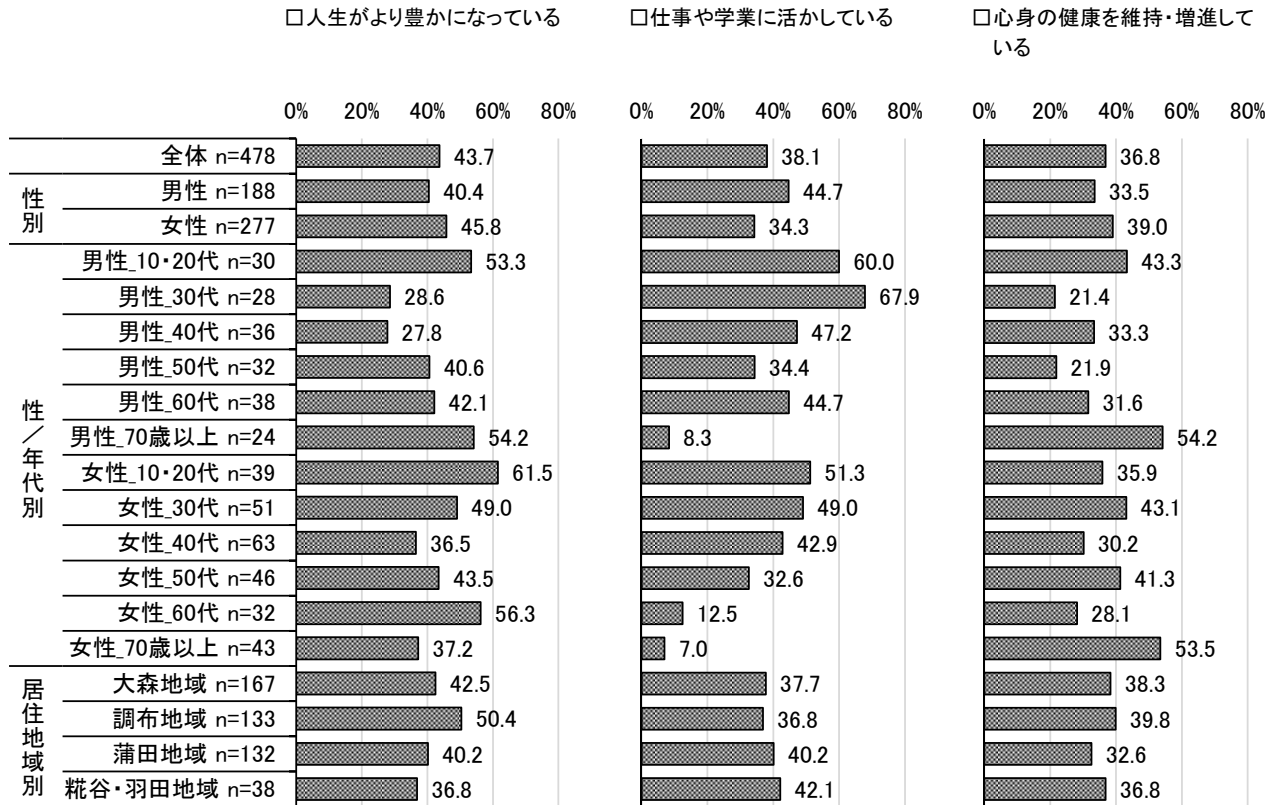
**問 11-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(いくつでも)**

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が43.7%で最も高く、次いで「仕事や学業に活かしている」が38.1%、「心身の健康を維持・増進している」が36.8%となっている。

なお、「活かしていない」は6.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、男性では「仕事や学業に活かしている」が最も高く、女性では「人生がより豊かになっている」が最も高くなっている。「仕事や学業に活かしている」は男性が44.7%、女性が34.3%と、男性が10.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「人生がより豊かになっている」は女性10・20代で6割前半と高くなっている。「仕事や学業に活かしている」は男性10・20代、男性30代で6割台と高くなっている。「心身の健康を維持・増進している」、「知人や仲間ができています」は男性、女性ともに70歳以上で5割台と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域では「人生がより豊かになっている」が最も高く、蒲田地域では「人生がより豊かになっている」、「仕事や学業に活かしている」が最も高い。糀谷・羽田地域では「仕事や学業に活かしている」が最も高くなっている。

### (4) 生涯学習の状況

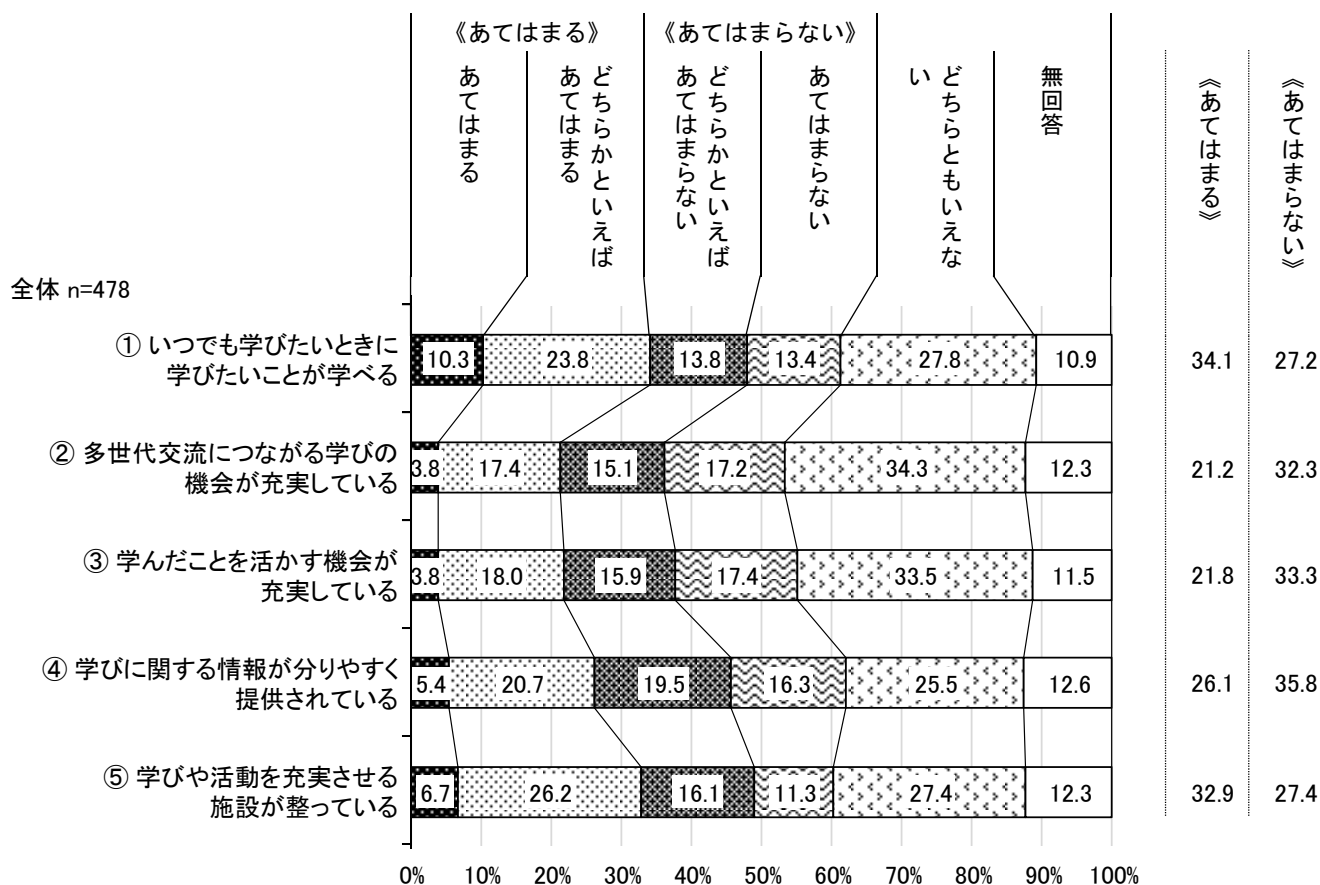
◇《あてはまる》(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は『①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる』が3割半ばで最も高くなっている

【問 11 の①で「1」～「14」のいずれかに回答した方に伺います。】

**問 11-3 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。**

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

生涯学習の状況については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は『①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる』が 34.1%で最も高く、次いで『⑤学びや活動を充実させる施設が整っている』が 32.9%、『④学びに関する情報が分りやすく提供されている』が 26.1%となっている。



## 4 スポーツ・運動について

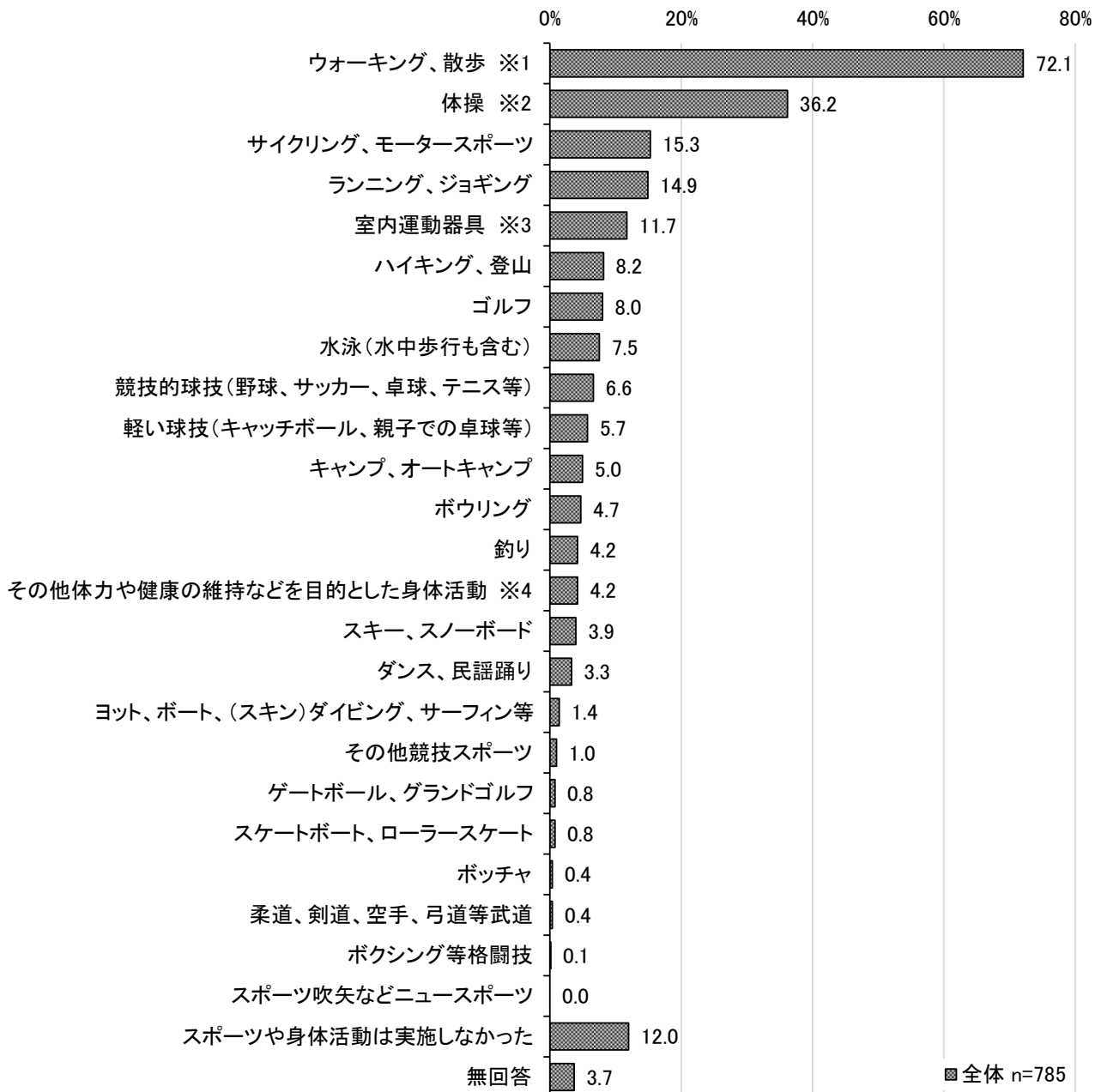
### (1) この1年間に実施したスポーツ・運動

◇「ウォーキング、散歩」が7割前半で最も高くなっている

#### 問 12 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべてお選びください。(いくつでも)

この1年間に実施したスポーツ・運動については、「ウォーキング、散歩」が72.1%で最も高く、次いで「体操」が36.2%、「サイクリング、モータースポーツ」が15.3%となっている。

なお、「スポーツや身体活動は実施しなかった」は12.0%となっている。



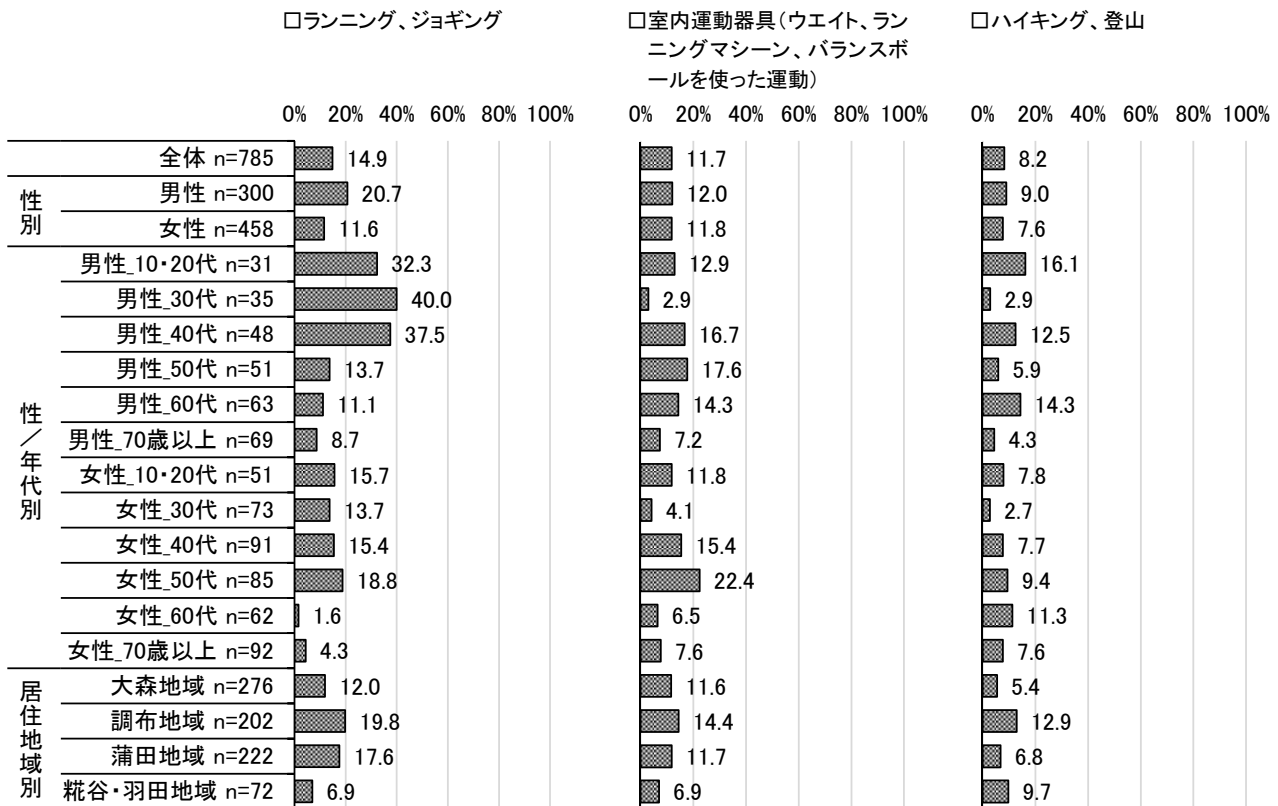
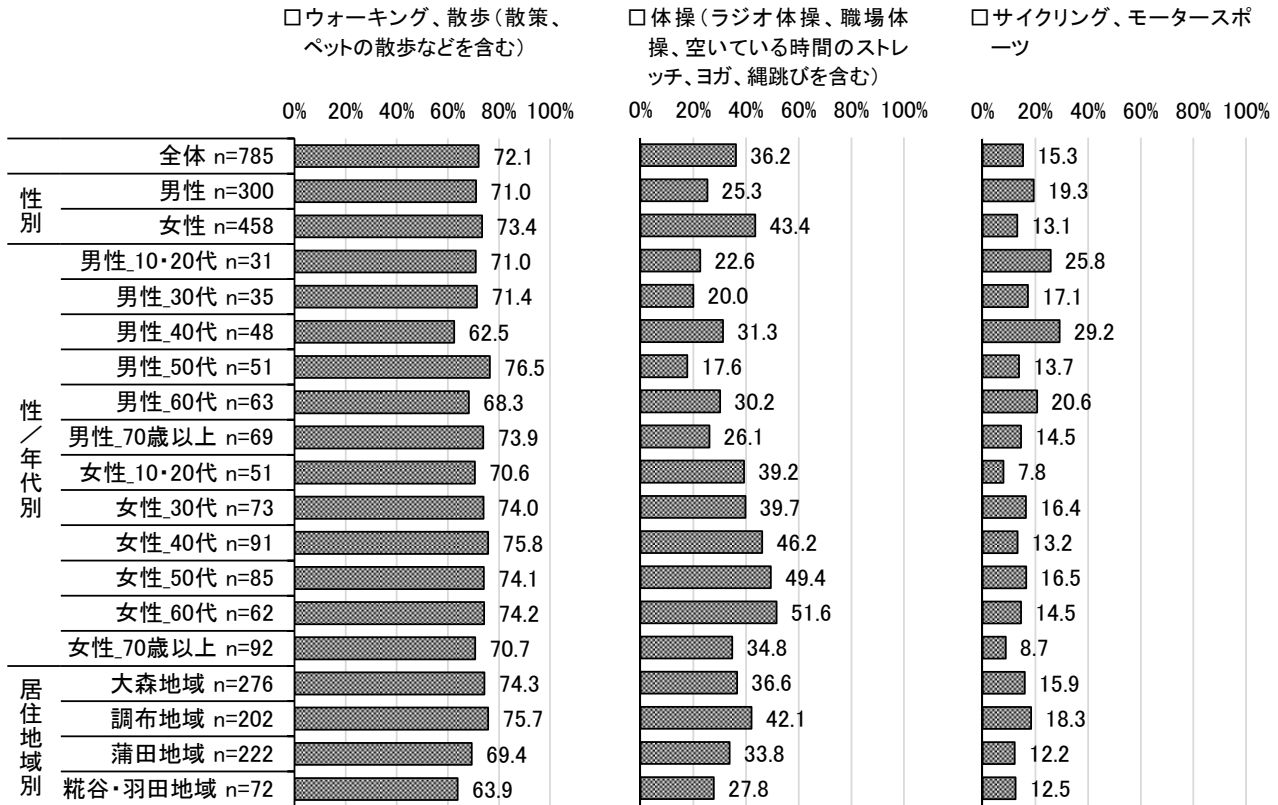
※1 ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)

※2 体操(ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む)

※3 室内運動器具(ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動)

※4 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動

■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」が最も高くなっている。「体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む）」は男性が25.3%、女性が43.4%と、女性が18.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、すべての性／年代で「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」が最も高く、男性40代、男性60代を除き7割台となっている。「体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む）」は女性60代で5割前半と高くなっている。「ランニング、ジョギング」は男性30代で4割、男性10・20代、男性40代が3割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」が最も高く、大森地域、調布地域で7割台となっている。

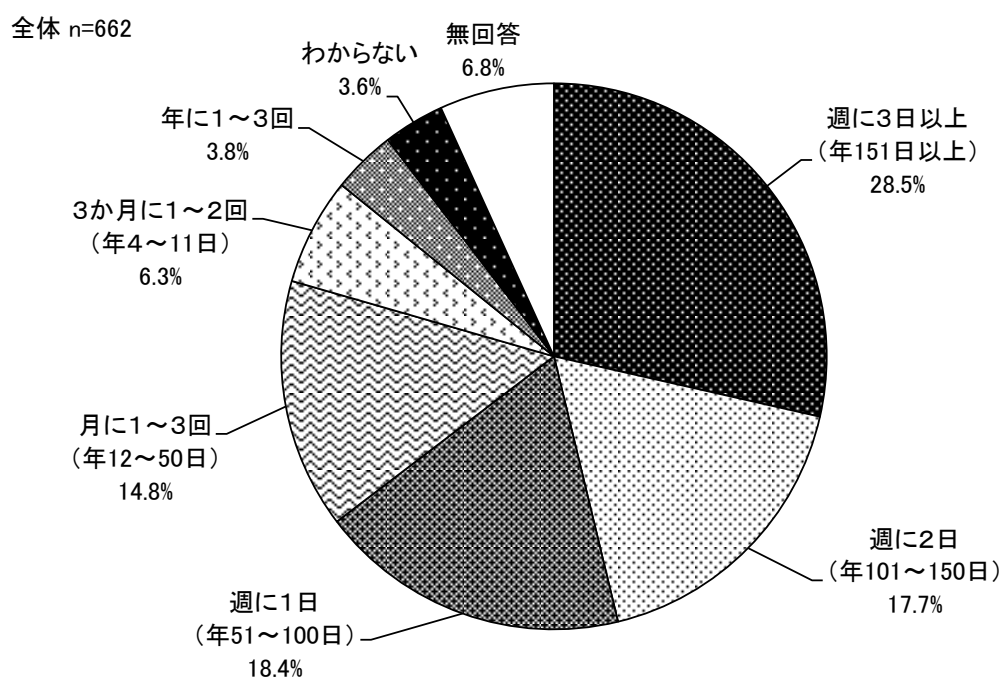
## (2) この1年間のスポーツ・運動の活動頻度

◇「週に3日以上（年151日以上）」が3割弱で最も高くなっている

【問12で「スポーツや身体活動は実施しなかった」「以外」を回答した方に伺います。】

**問12-1 この1年間にスポーツ・運動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。（週での換算日数）（1つのみ）**

この1年間のスポーツ・運動の活動頻度については、「週に3日以上（年151日以上）」が28.5%で最も高く、次いで「週に1日（年51～100日）」が18.4%、「週に2日（年101～150日）」が17.7%となっている。



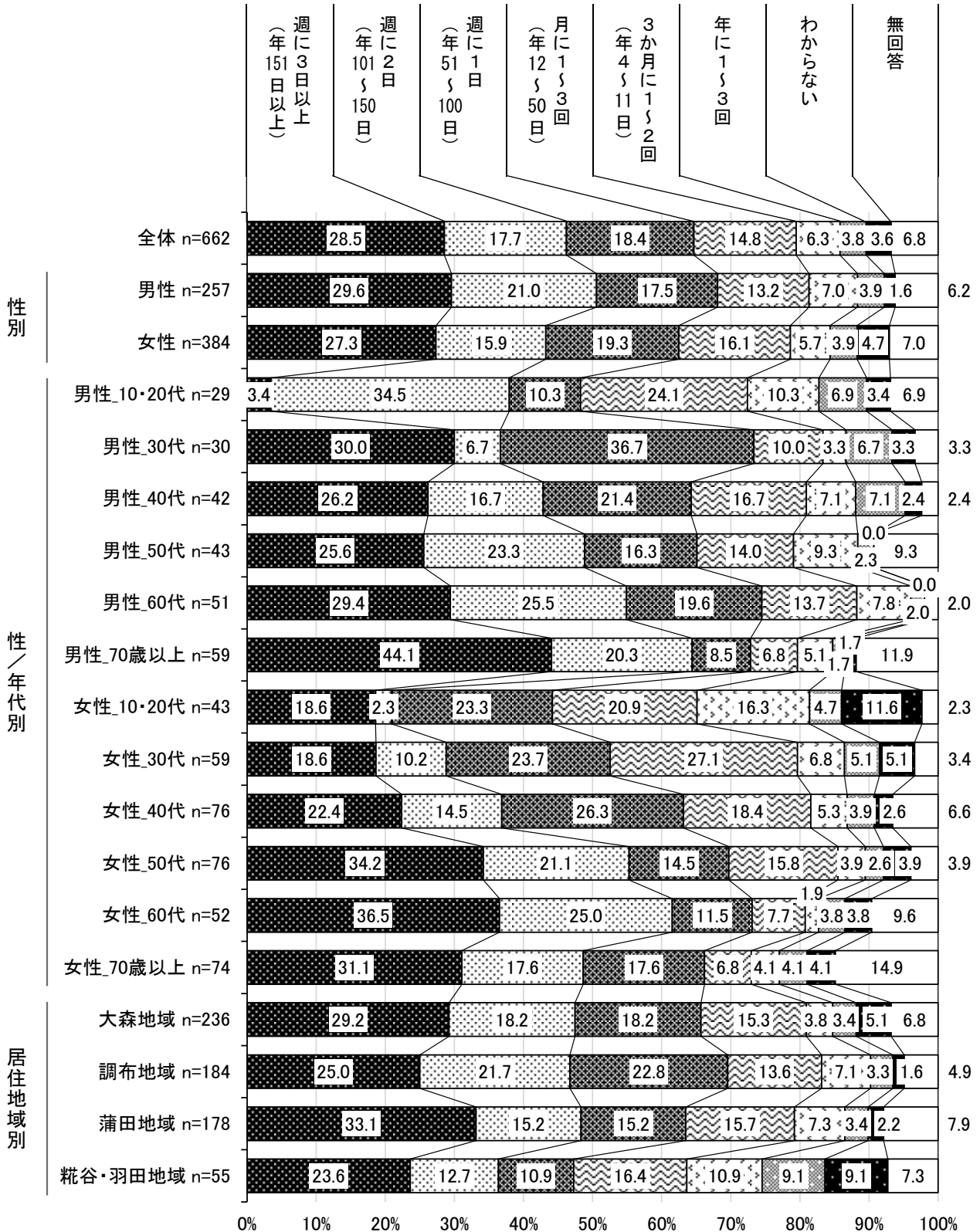


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」は男性では70歳以上で4割半ば、女性では50代から70歳以上で3割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」は蒲田地域で3割前半と高くなっている。



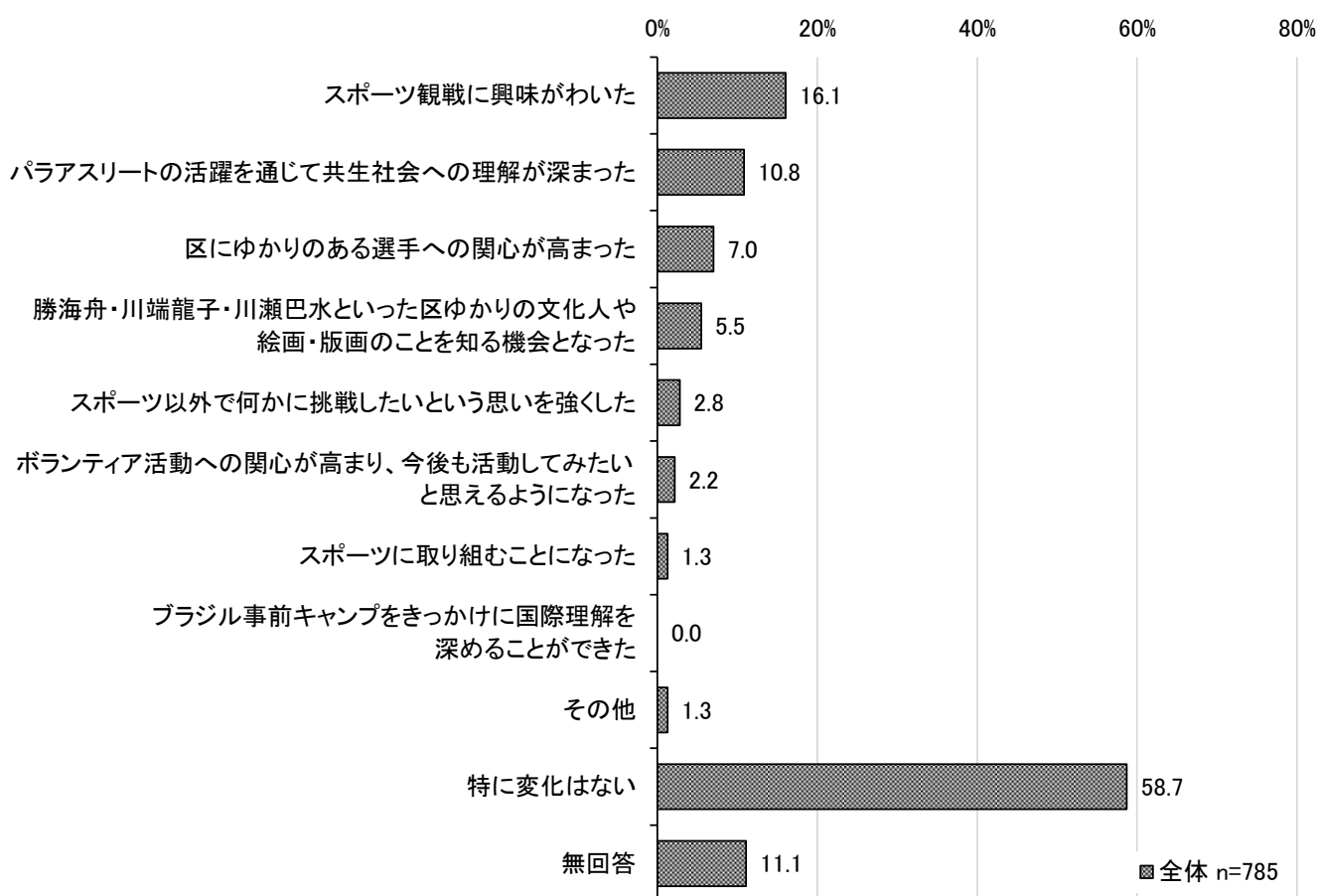
### (3) 東京 2020 大会による意識の変化

◇「スポーツ観戦に興味があった」、「パラアスリートの活躍を通じて共生社会への理解が深まった」が1割台となっている

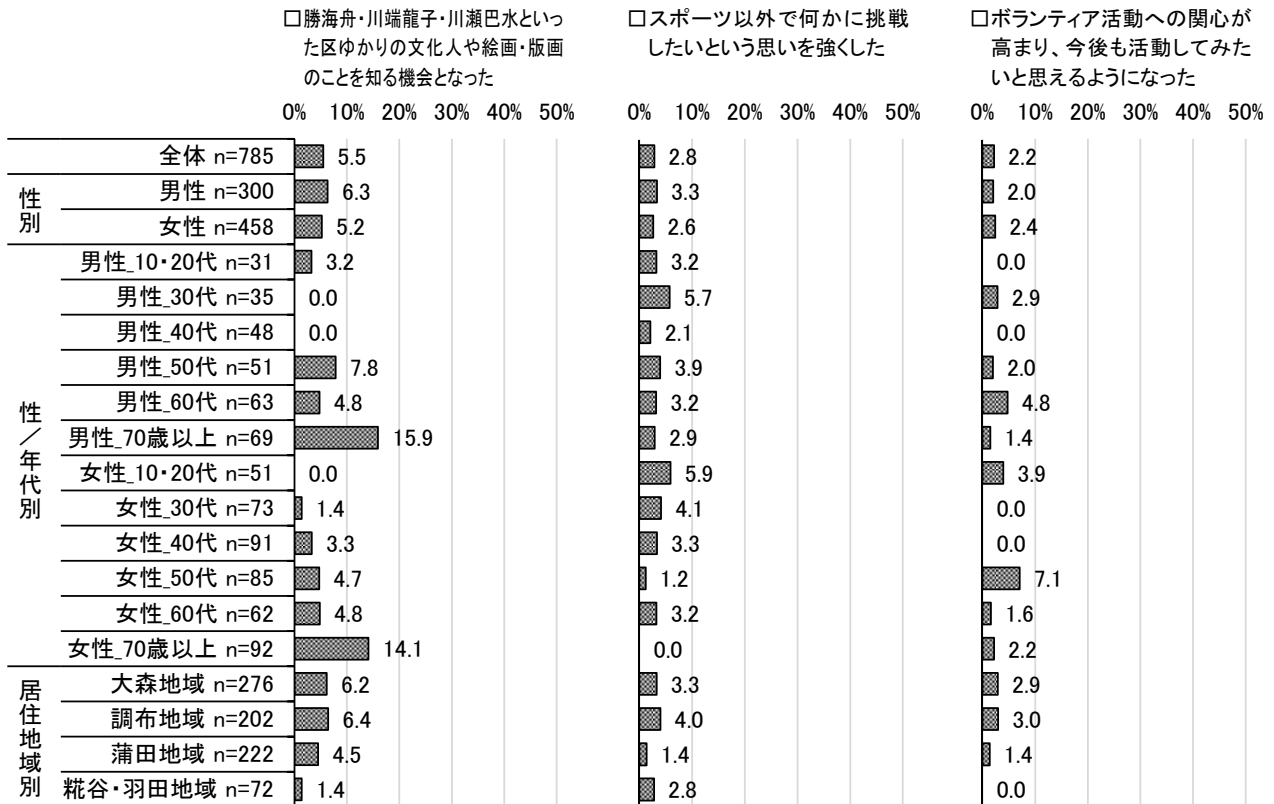
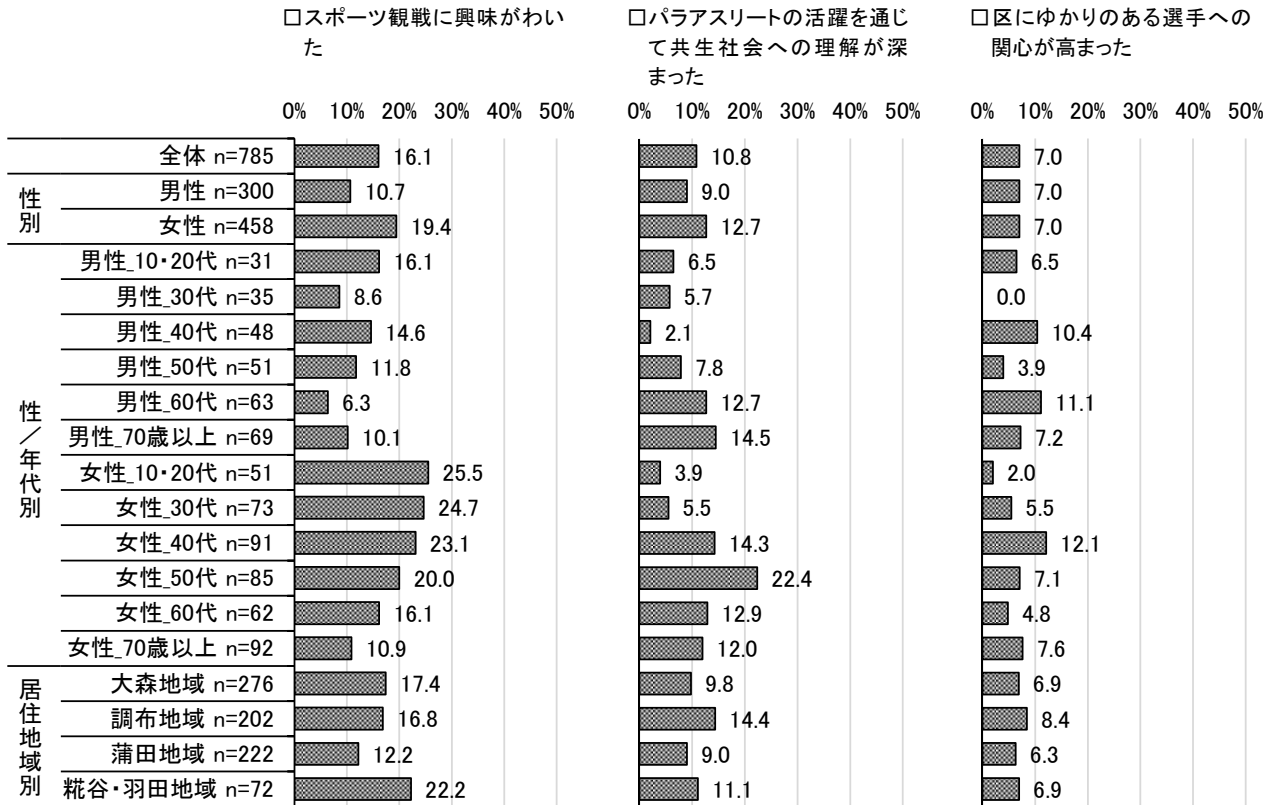
**問 13 東京 2020 大会を契機に大田区の事業を知り、経験したことで、自身の行動や意識に変化はありましたか。(いくつでも)**

東京 2020 大会による意識の変化については、「スポーツ観戦に興味があった」が 16.1%で最も高く、次いで「パラアスリートの活躍を通じて共生社会への理解が深まった」が 10.8%、「区にゆかりのある選手への関心が高まった」が 7.0%となっている。

なお、「特に変化はない」は 58.7%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「スポーツ観戦に興味があった」が最も高く、男性が10.7%、女性が19.4%と、女性が8.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「スポーツ観戦に興味があった」は女性では年代が下がるにつれて増加傾向であり、女性10・20代、女性30代で2割半ばとなっている。「パラアスリートの活躍を通じて共生社会への理解が深まった」は女性50代で2割前半と高くなっている。「勝海舟・川端龍子・川瀬巴水といった区ゆかりの文化人や絵画・版画のことを知る機会となった」は男性、女性ともに70歳以上で1割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「スポーツ観戦に興味があった」が最も高く、糀谷・羽田地域で2割前半となっている。

## 5 文化・芸術について

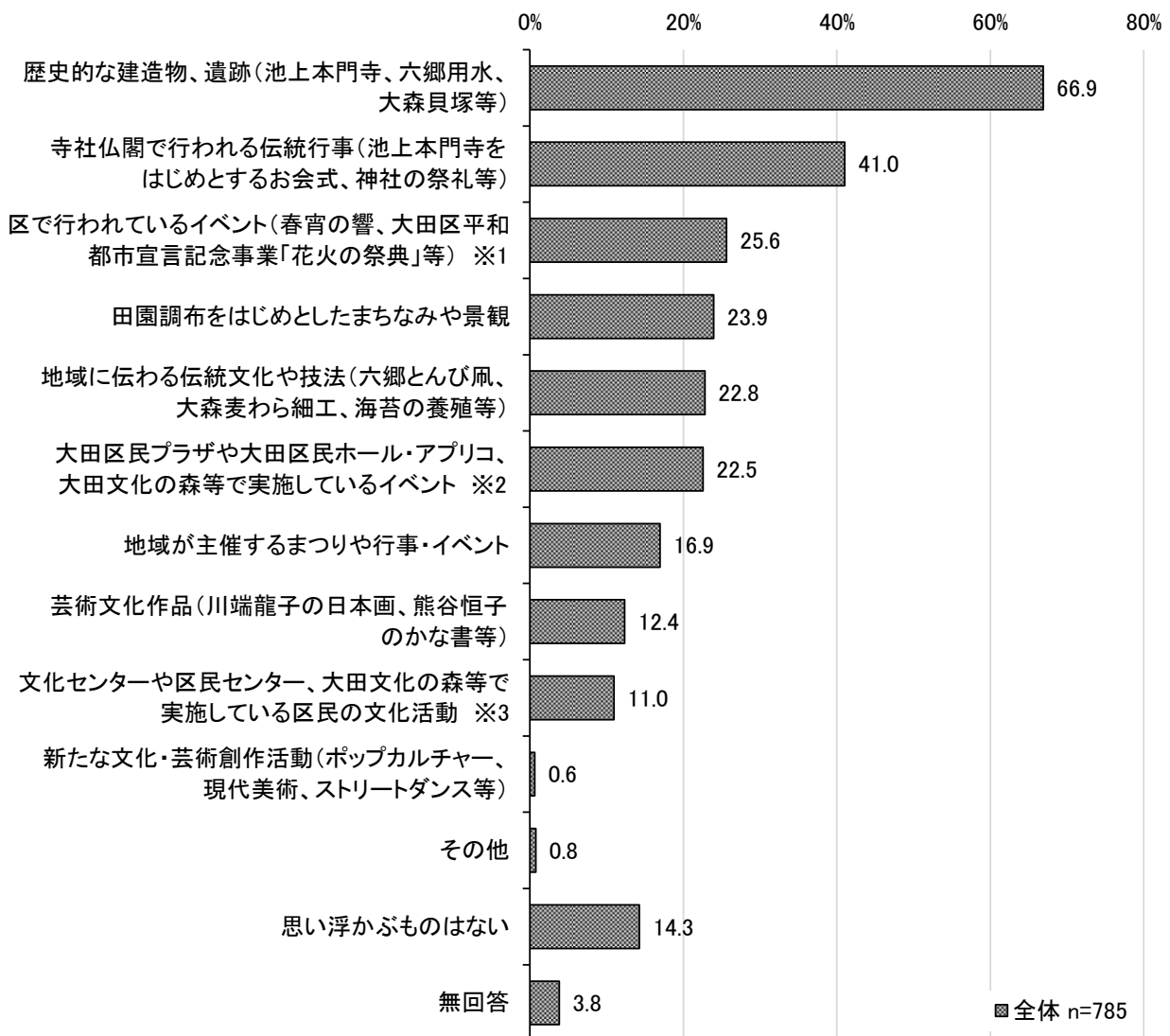
### (1) 大田区の文化・芸術で思い浮かぶもの

◇「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」が7割弱で最も高くなっている

#### 問 14 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものは、どのようなものですか。(いくつでも)

大田区の文化・芸術で思い浮かぶものについては、「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」が66.9%で最も高く、次いで「寺社仏閣で行われる伝統行事（池上本門寺をはじめとするお会式、神社の祭礼等）」が41.0%、「区で行われているイベント（春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」等）」が25.6%となっている。

なお、「思い浮かぶものはない」は14.3%となっている。

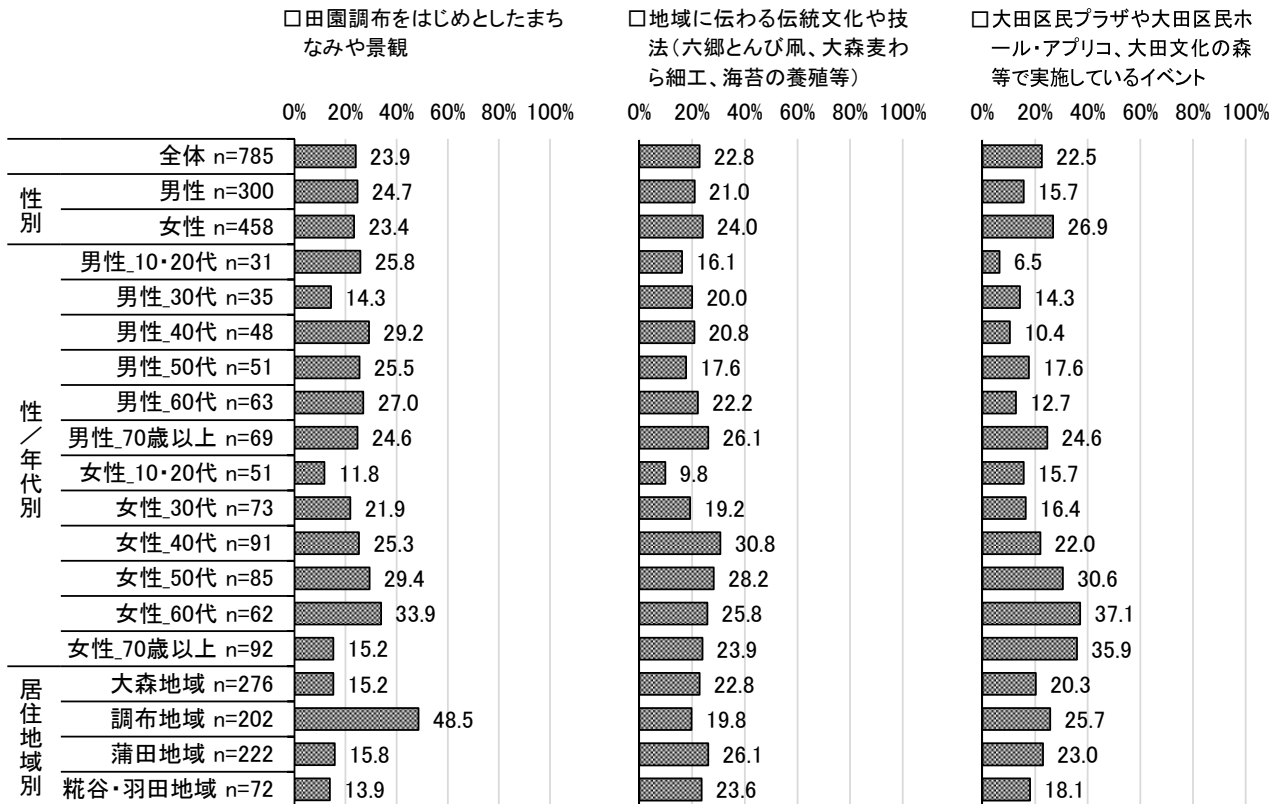
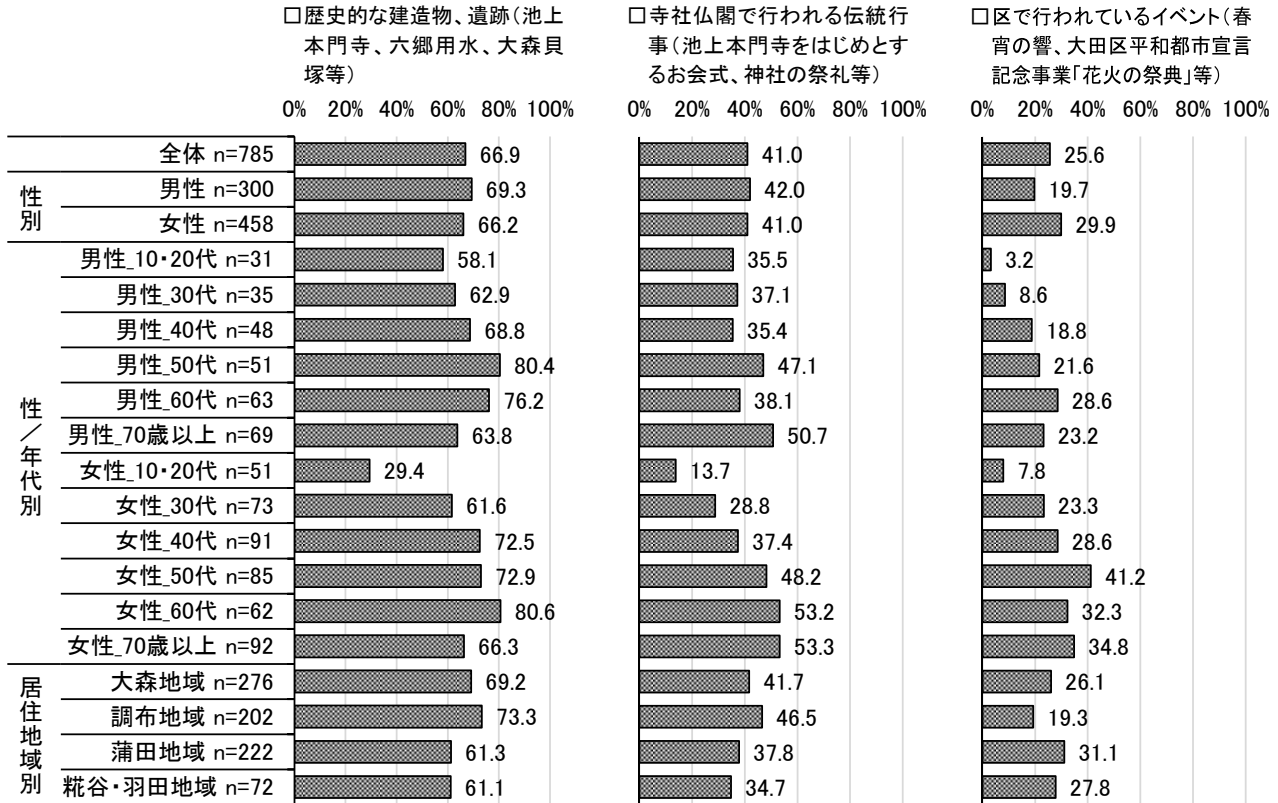


※1 区で行われているイベント(春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」、OTA ふれあいフェスタ等)

※2 大田区民プラザや大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森等で実施しているイベント(下丸子 JAZZ 倶楽部、下丸子らくご倶楽部、アプリコみんなの音楽祭、大田区在住作家美術展等)

※3 文化センターや区民センター、大田文化の森等で実施している区民の文化活動(絵画、写真、書道、華道、合唱等)

■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、「区で行われているイベント（春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」等）」は男性が19.7%、女性が29.9%と、女性が10.2ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、すべての性／年代で「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」が最も高く、男性50代、女性60代で8割台となっている。「寺社仏閣で行われる伝統行事（池上本門寺をはじめとするお会式、神社の祭礼等）」は男性70歳以上、女性60代、女性70歳以上で5割台となっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」が最も高く、調布地域で7割前半となっている。「田園調布をはじめとしたまちなみや景観」は調布地域で5割弱と高くなっている。

## 6 観光について

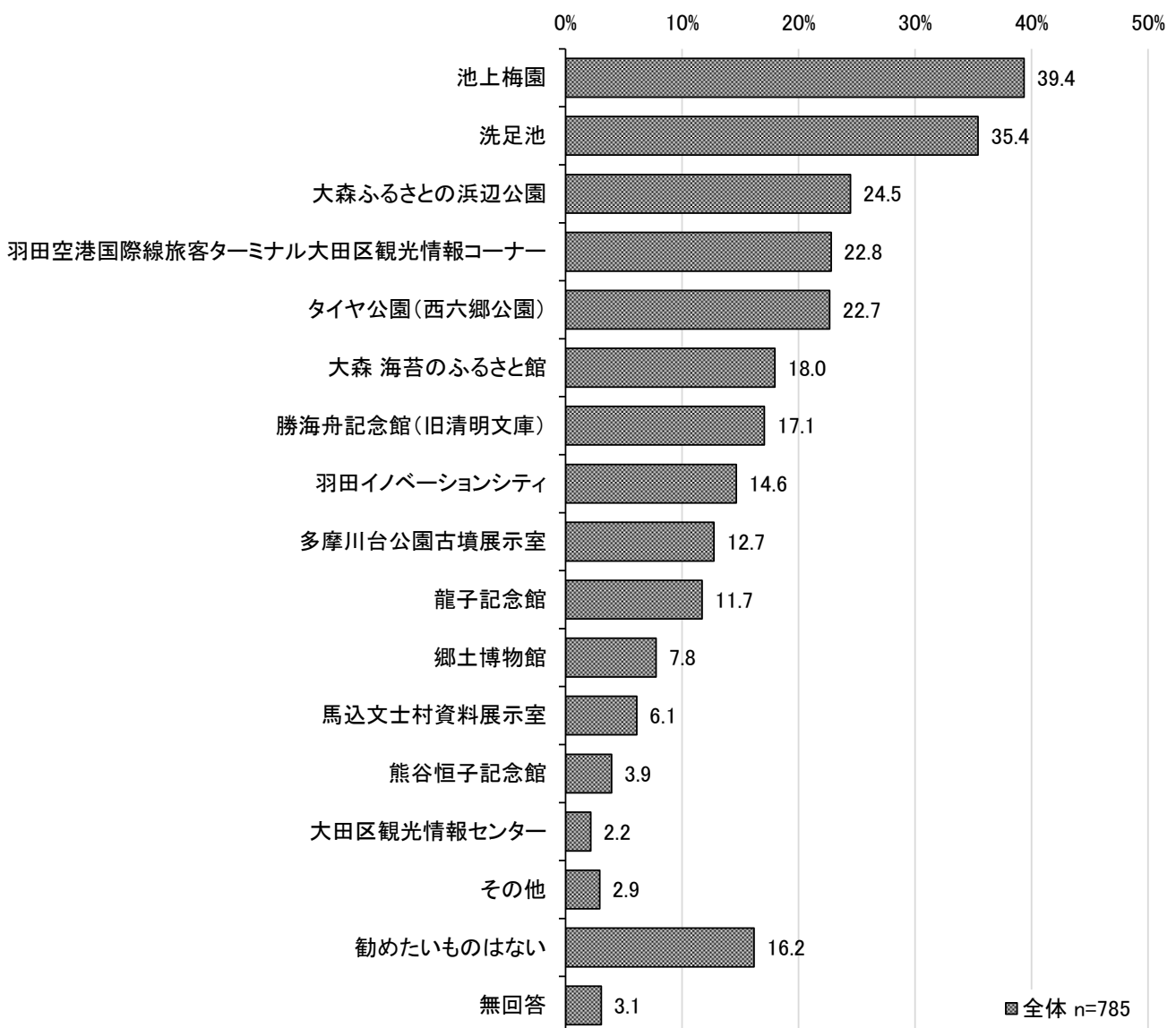
### (1) 友人・知人に勧めたい大田区の観光資源

◇「池上梅園」、「洗足池」が3割台となっている

#### 問 15 友人や知人にお勧めしたい大田区の観光資源はどれですか。(いくつでも)

友人・知人に勧めたい大田区の観光資源については、「池上梅園」が39.4%で最も高く、次いで「洗足池」が35.4%、「大森ふるさとの浜辺公園」が24.5%となっている。

なお、「勧めたいものはない」は16.2%となっている。



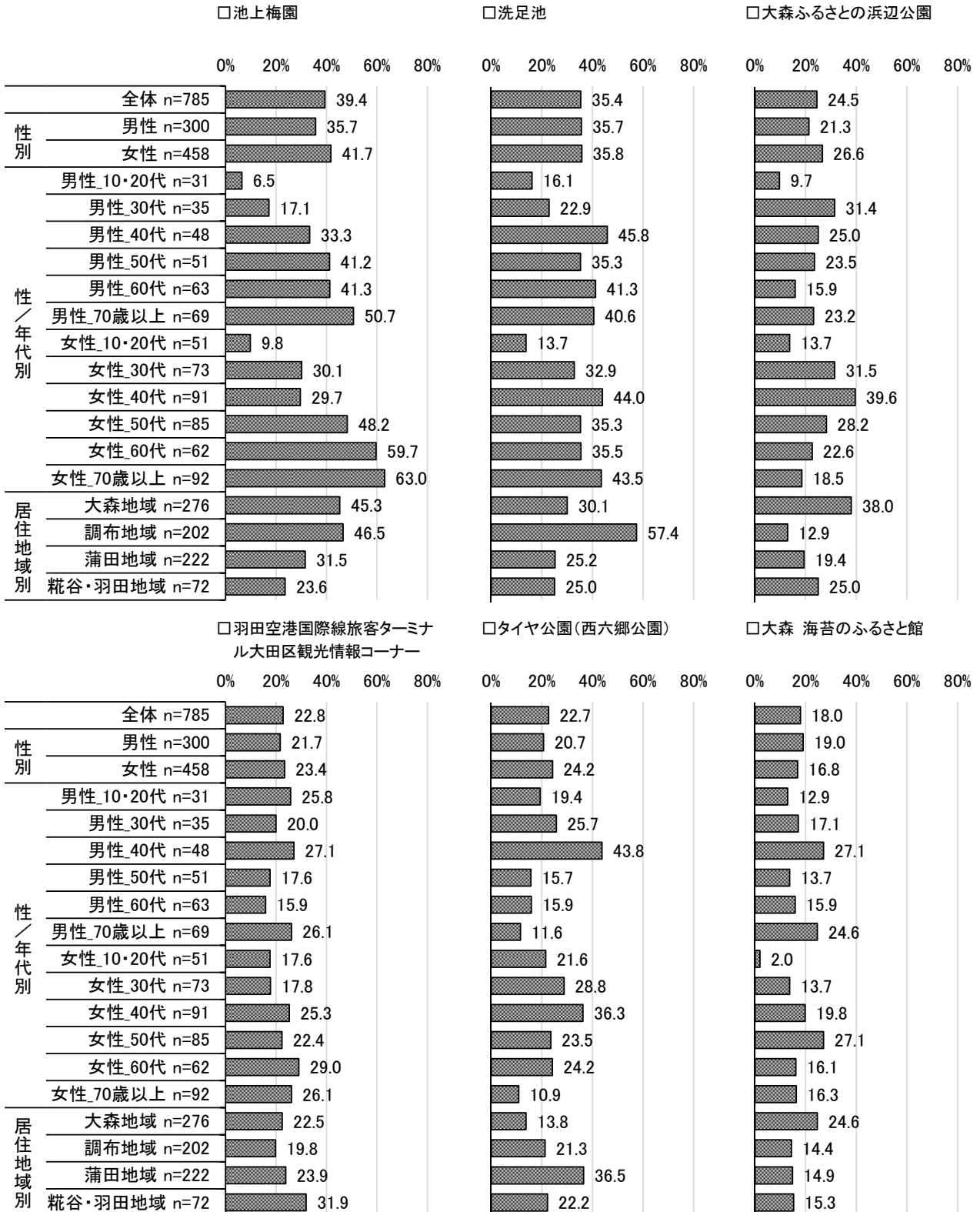


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「池上梅園」は男性が35.7%、女性が41.7%と、女性が6.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「池上梅園」は男性、女性ともに年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で約5割、女性70歳以上で6割前半となっている。「タイヤ公園（西六郷公園）」は男性では40代で4割前半、女性では40代で4割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「池上梅園」は大森地域、調布地域で4割台と高くなっている。「洗足池」は調布地域で6割弱と高くなっている。「大森ふるさとの浜辺公園」は大森地域で4割弱と高くなっている。



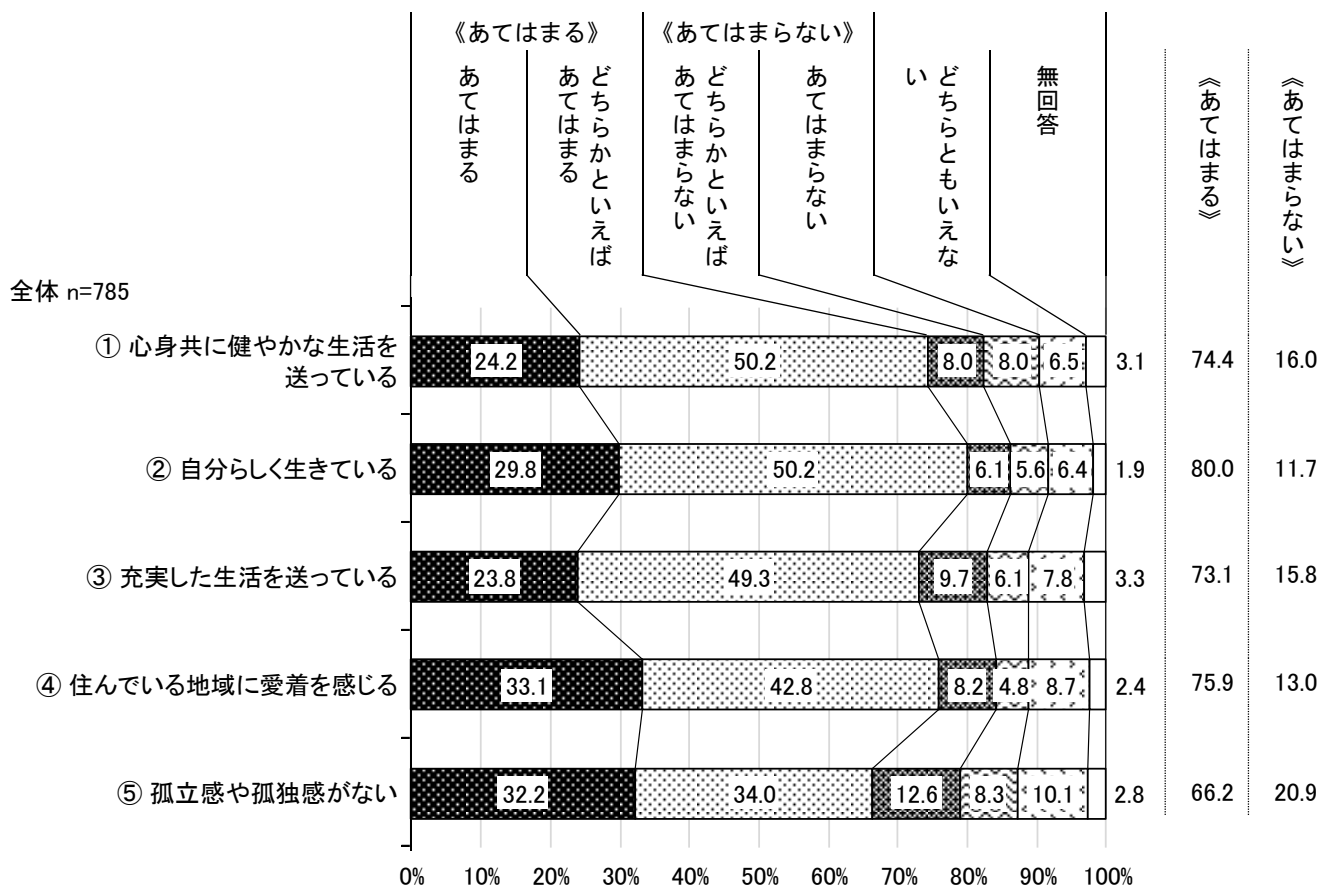
# 7 普段の生活について

## (1) 普段の生活の状況

◇ 《あてはまる》(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は『②自分らしく生きている』が8割で最も高くなっている

**問 16 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。**  
 ※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

普段の生活の状況については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は『②自分らしく生きている』が80.0%で最も高く、次いで『④住んでいる地域に愛着を感じる』が75.9%、『①心身共に健やかな生活を送っている』が74.4%となっている。

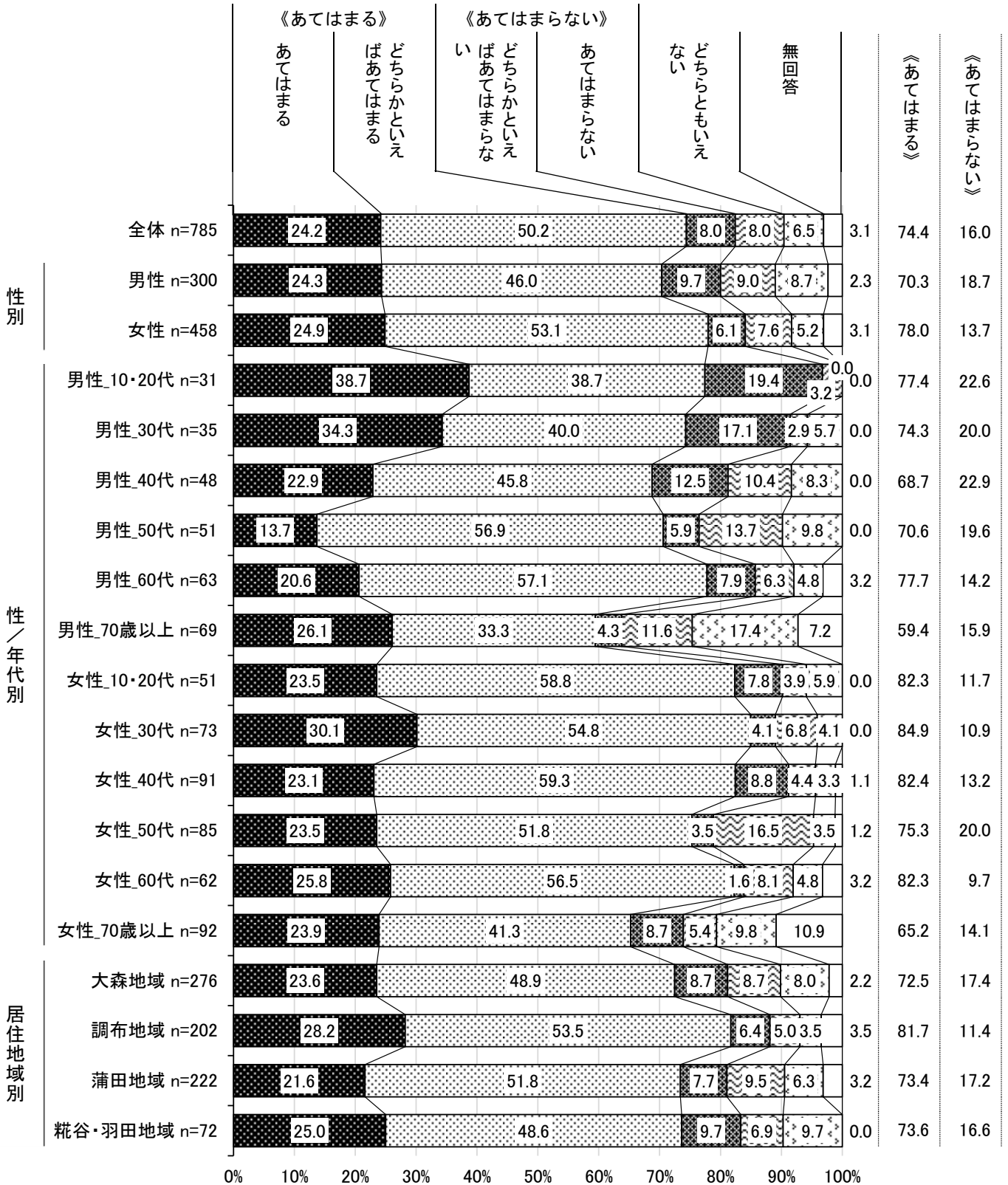


■性別・性／年代別・居住地域別\_①心身共に健やかな生活を送っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が70.3%、女性が78.0%と、女性が7.7ポイント上回っている。

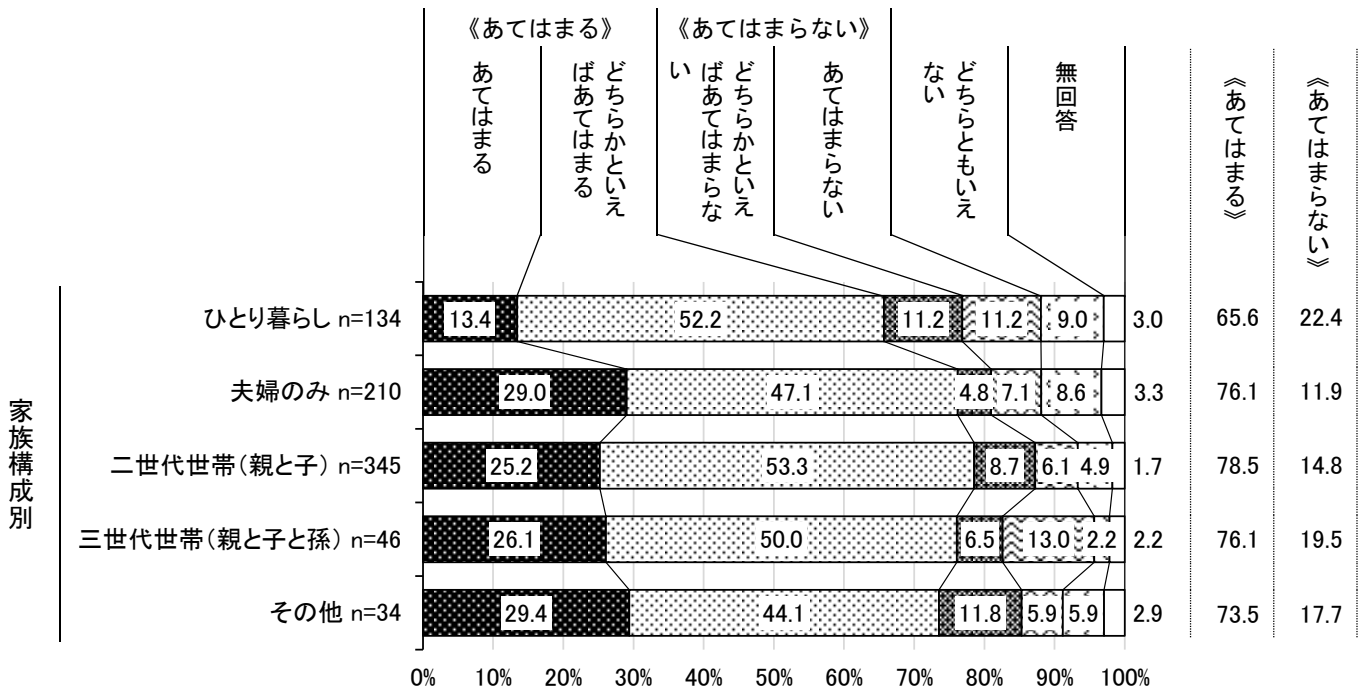
性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では10・20代、60代で8割弱、女性では30代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で8割前半と高くなっている。



■家族構成別\_①心身共に健やかな生活を送っている

家族構成別でみると、《あてはまる》は二世世代世帯（親と子）で8割弱と高くなっている。一方で、《あてはまらない》はひとり暮らしで2割前半と高くなっている。

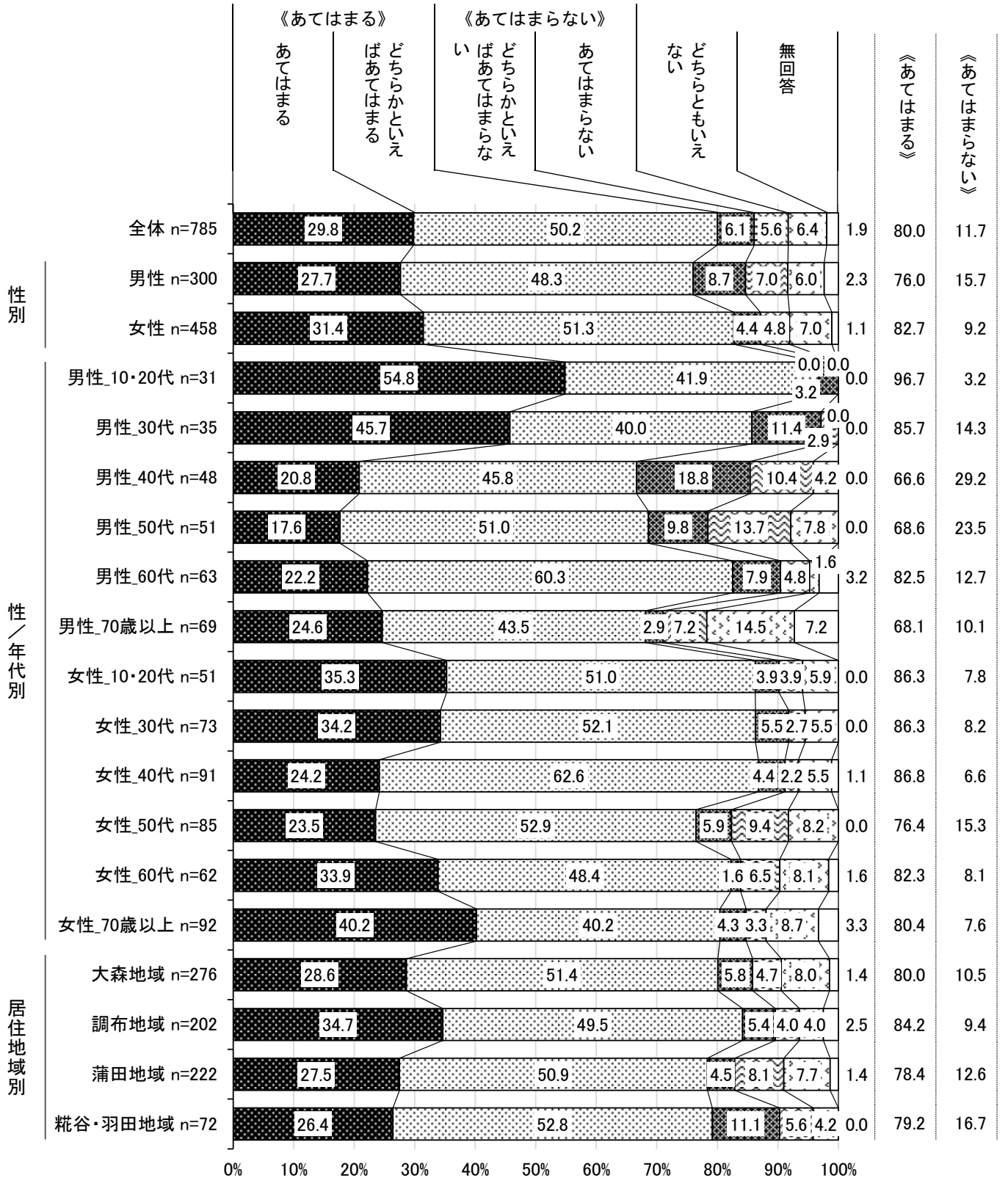


■性別・性／年代別・居住地域別\_②自分らしく生きている

性別でみると、《あてはまる》は男性が76.0%、女性が82.7%と、女性が6.7ポイント上回っている。

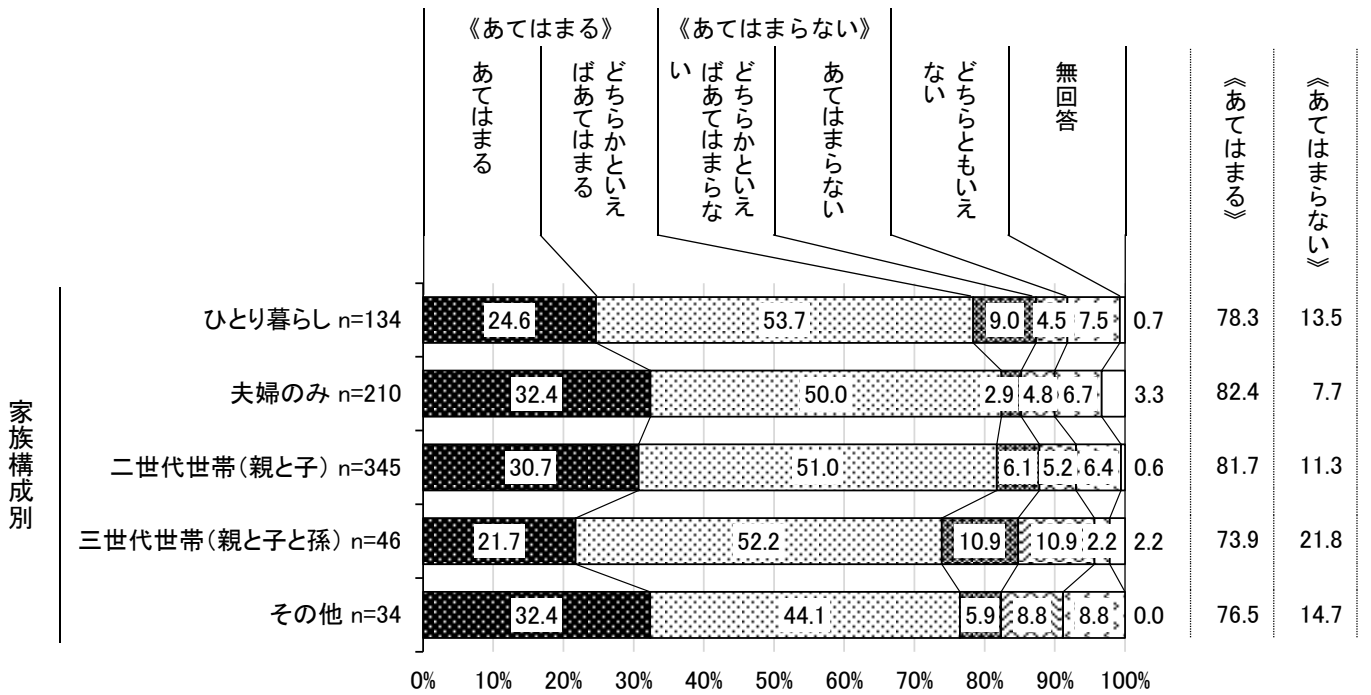
性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では10・20代で10割弱、女性では10・20代から40代で9割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で8割半ばと高くなっている。



■家族構成別\_②自分らしく生きている

家族構成別でみると、《あてはまる》は夫婦のみ、二世帯世帯（親と子）で8割前半と高くなっている。一方で、《あてはまらない》は三世帯世帯（親と子と孫）で2割前半と高くなっている。

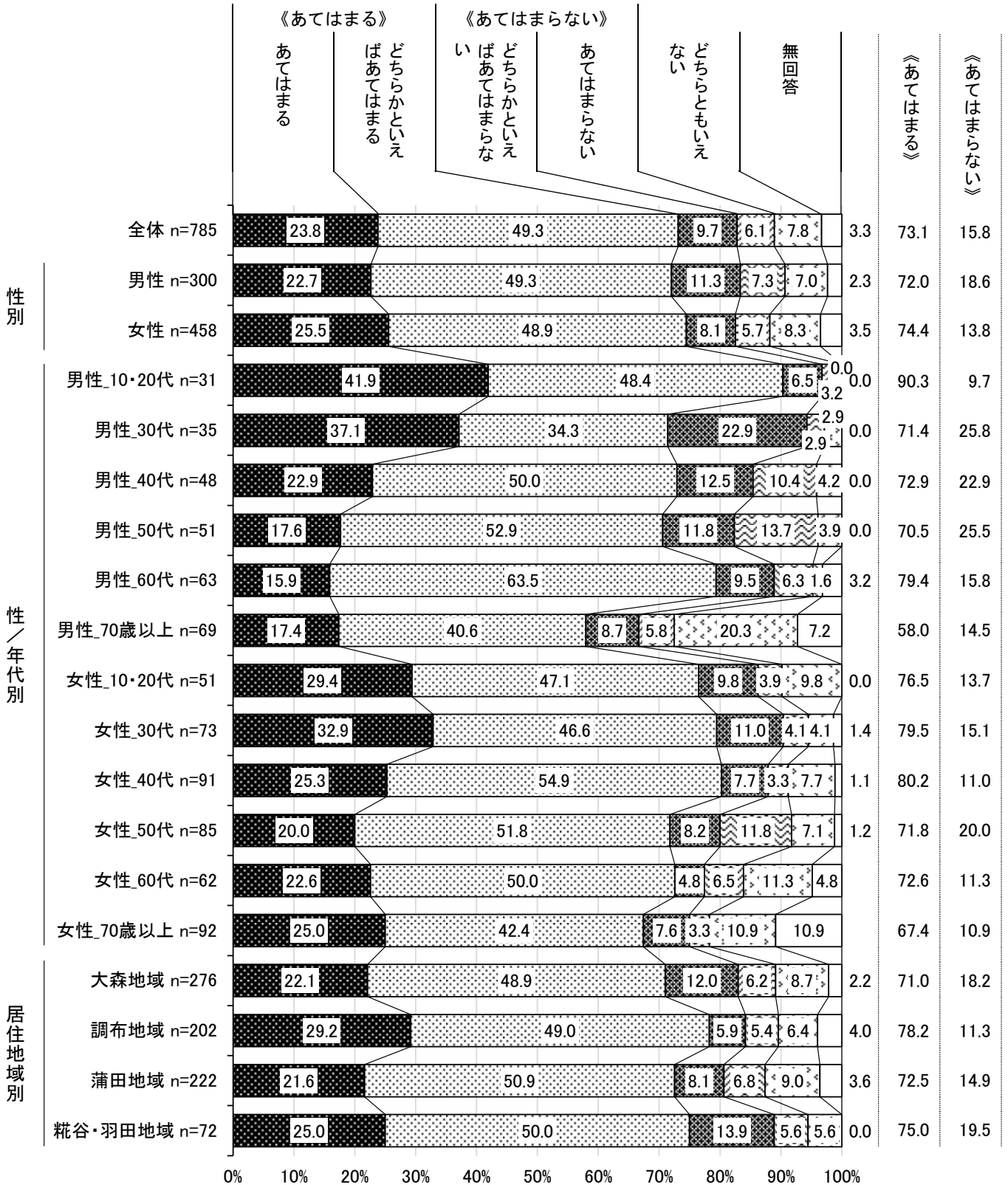


■性別・性／年代別・居住地域別\_③充実した生活を送っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が72.0%、女性が74.4%と、女性が2.4ポイント上回っている。

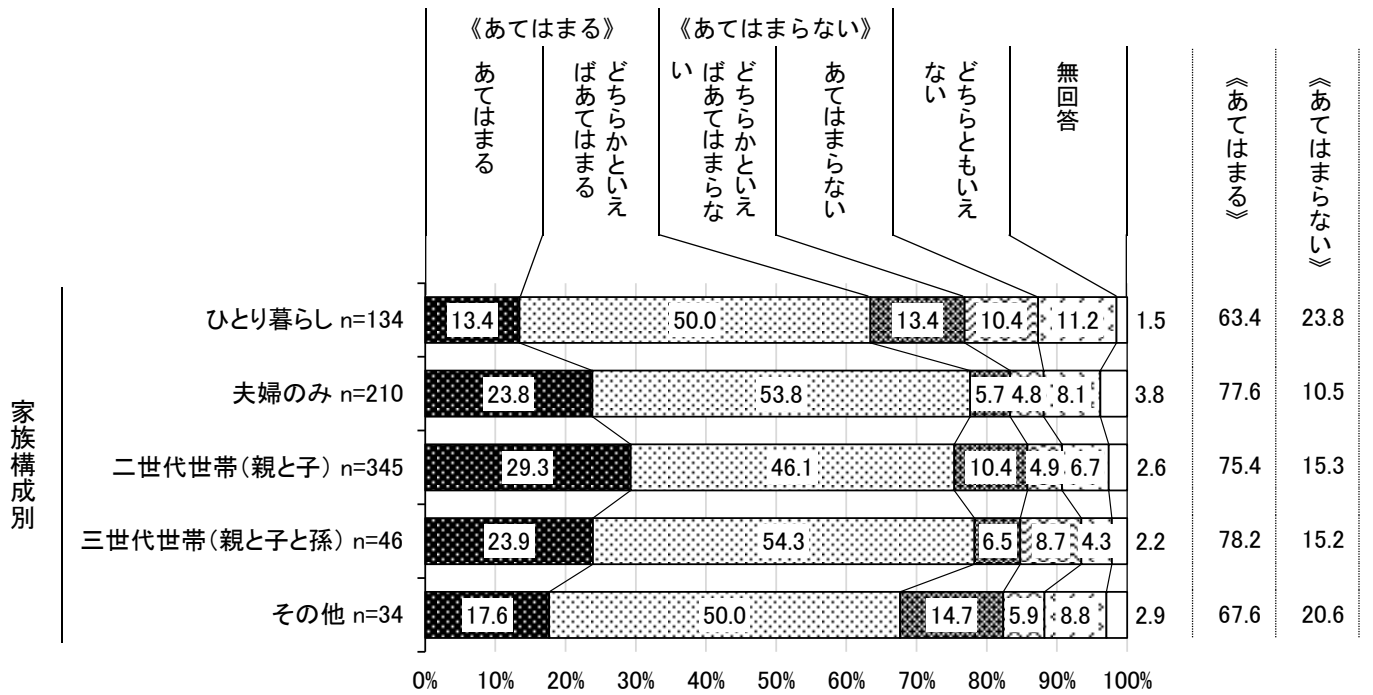
性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では10・20代で約9割、女性では30代、40代で約8割と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で8割弱と高くなっている。



■家族構成別\_③充実した生活を送っている

家族構成別でみると、《あてはまる》は夫婦のみ、三世代世帯（親と子と孫）で8割弱と高くなっている。一方で、《あてはまらない》はひとり暮らしで2割前半と高くなっている。



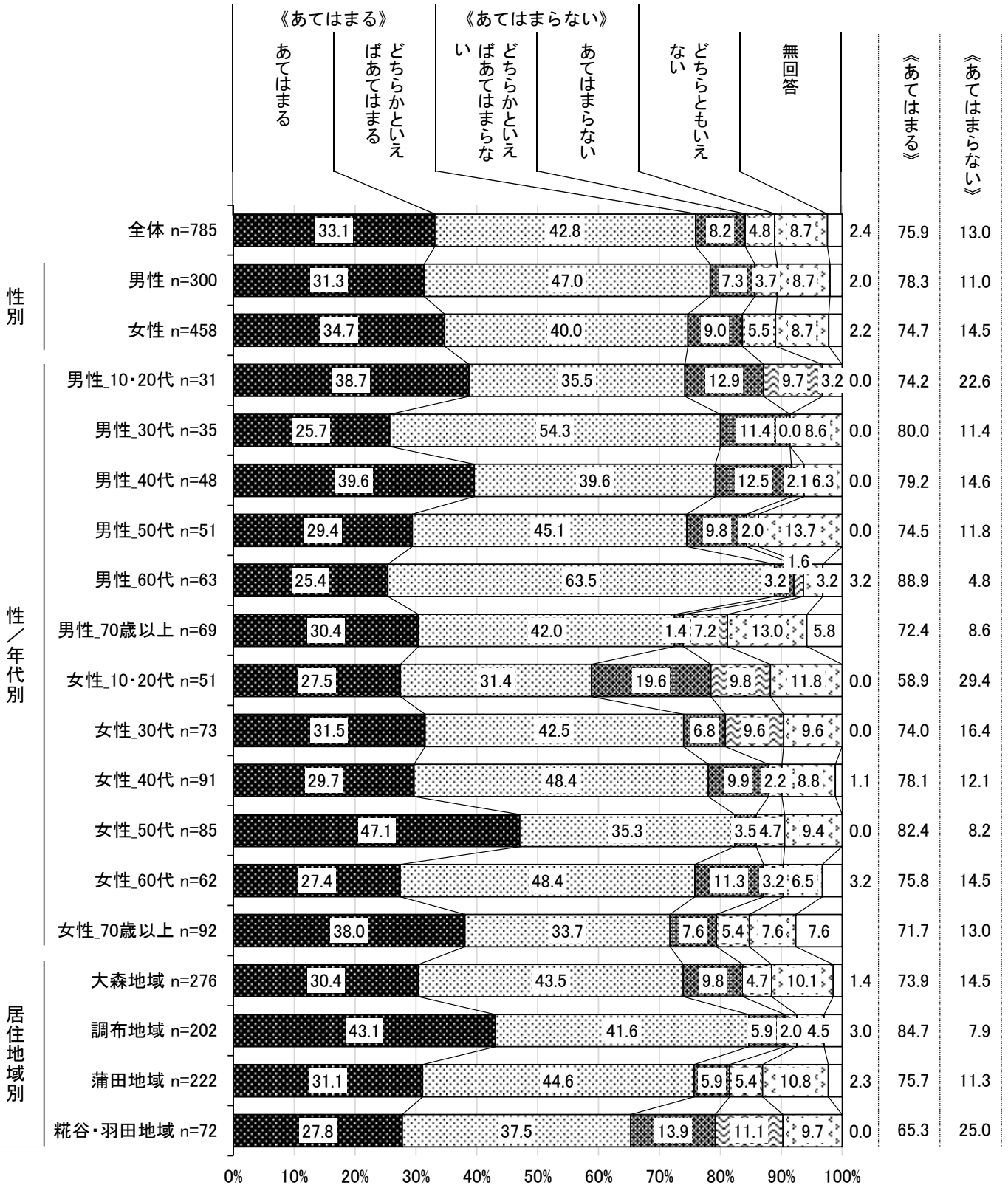


■性別・性／年代別・居住地域別\_④住んでいる地域に愛着を感じる

性別でみると、《あてはまる》は男性が78.3%、女性が74.7%と、男性が3.6ポイント上回っている。

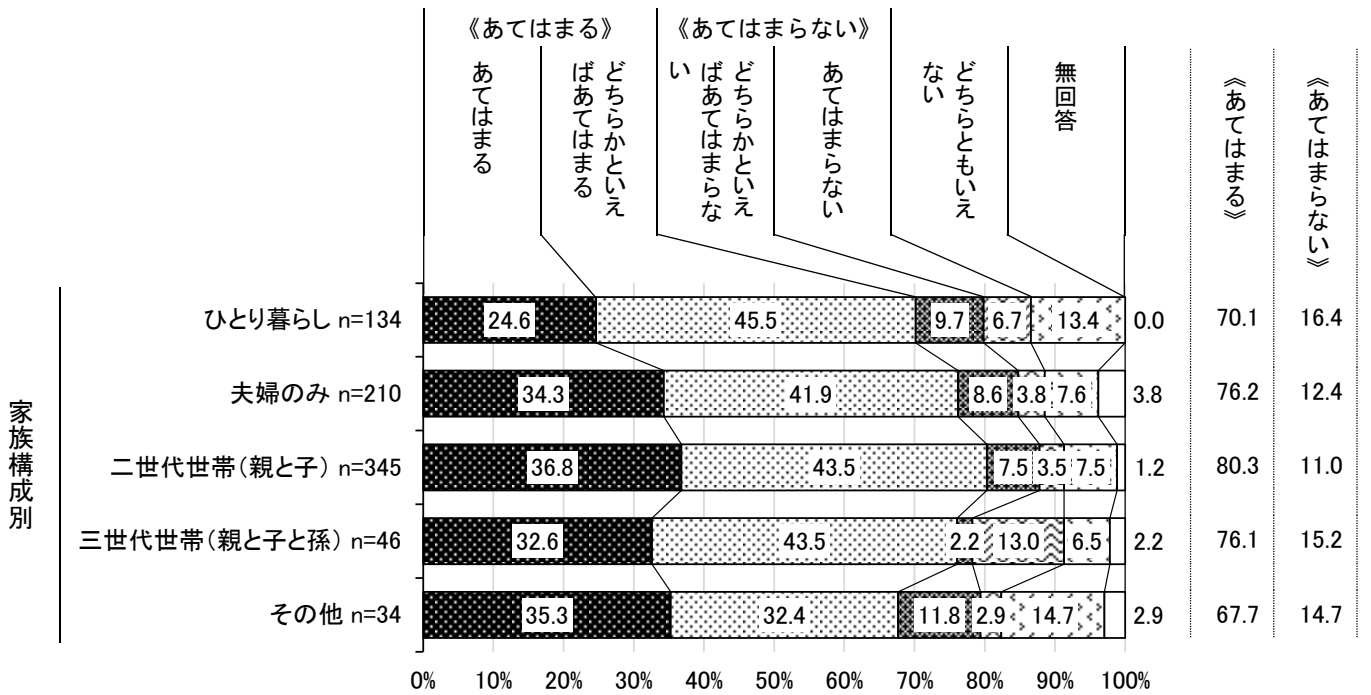
性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では60代で9割弱、女性では50代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で8割半ばと高くなっている。



■家族構成別\_④住んでいる地域に愛着を感じる

家族構成別でみると、《あてはまる》は二世世代世帯（親と子）で約8割と高くなっている。一方で、《あてはまらない》はひとり暮らしで2割弱と高くなっている。

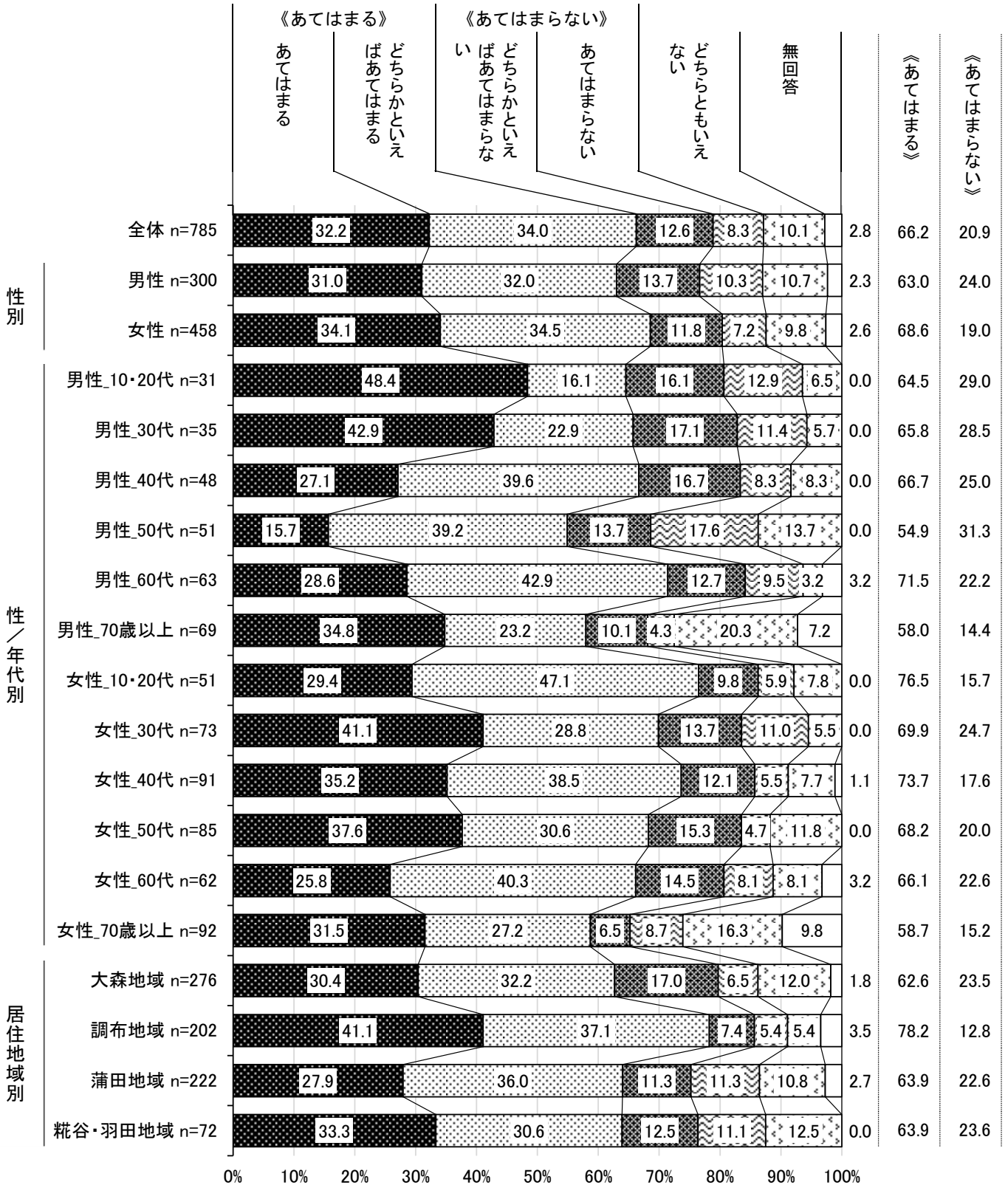


■性別・性／年代別・居住地域別\_⑤孤立感や孤独感がない

性別でみると、《あてはまる》は男性が63.0%、女性が68.6%と、女性が5.6ポイント上回っている。

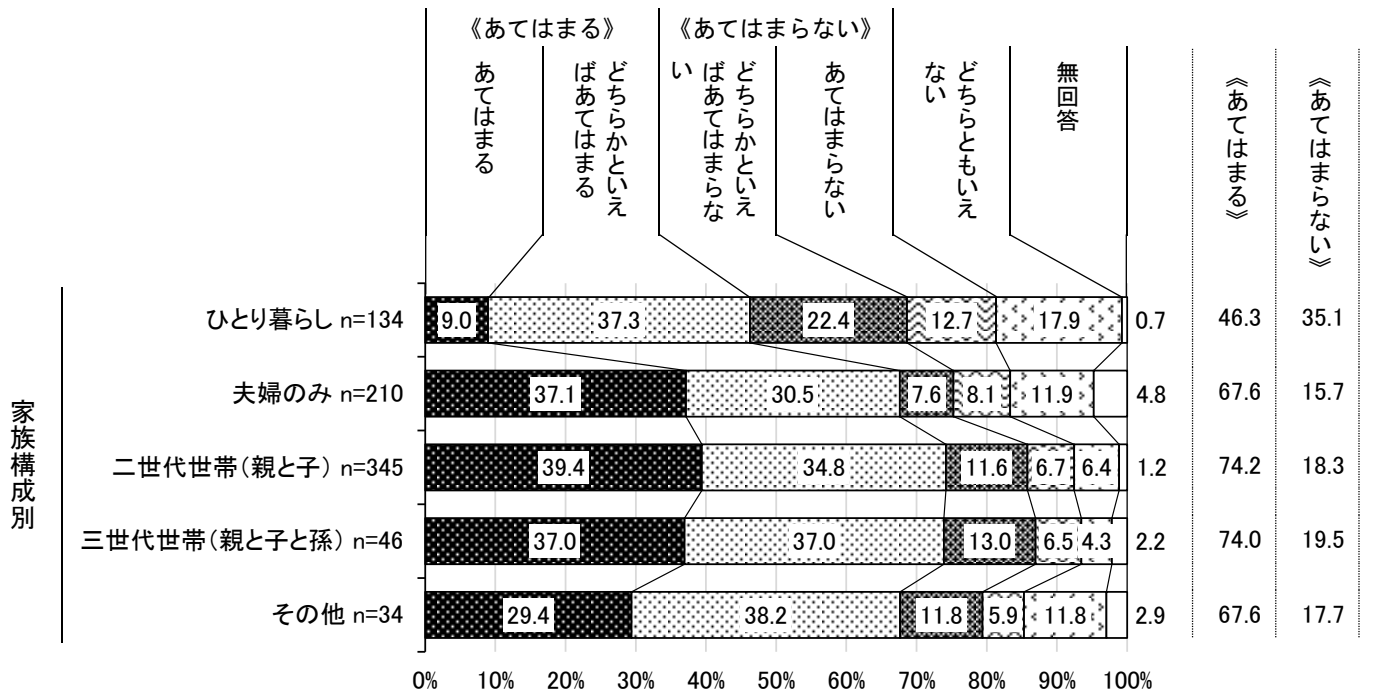
性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では60代で7割前半、女性では10・20代で8割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で8割弱と高くなっている。



■家族構成別\_⑤孤立感や孤独感がない

家族構成別でみると、《あてはまる》は二世世代世帯（親と子）、三世世代世帯（親と子と孫）で7割半ばと高くなっている。一方で、《あてはまらない》はひとり暮らしで3割半ばと高くなっている。



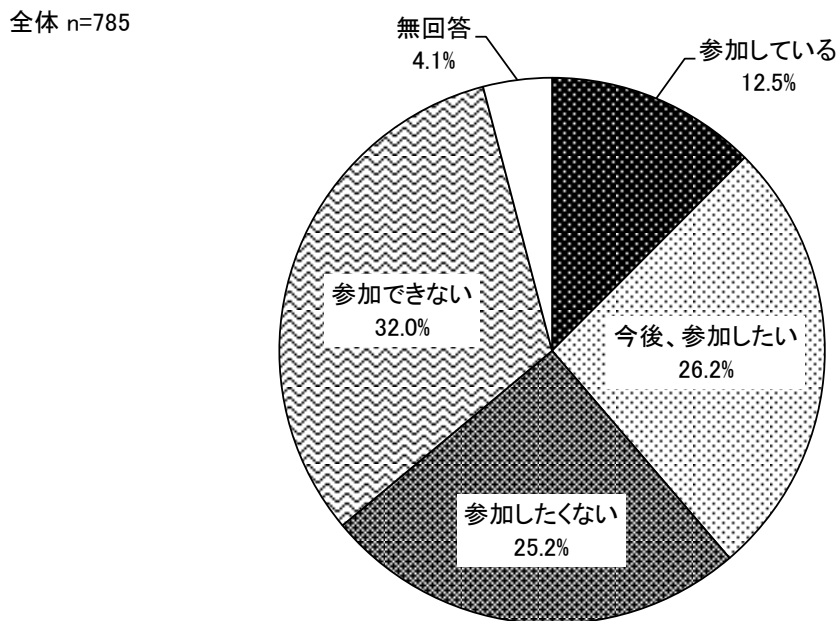
## 8 地域活動について

### (1) ボランティア活動への参加状況

◇「参加している」は1割前半となっている

#### 問 17 あなたは地域の行事やボランティア活動に参加していますか。(1つのみ)

ボランティア活動への参加状況については、「参加できない」が32.0%で最も高く、次いで「今後、参加したい」が26.2%、「参加したくない」が25.2%となっている。

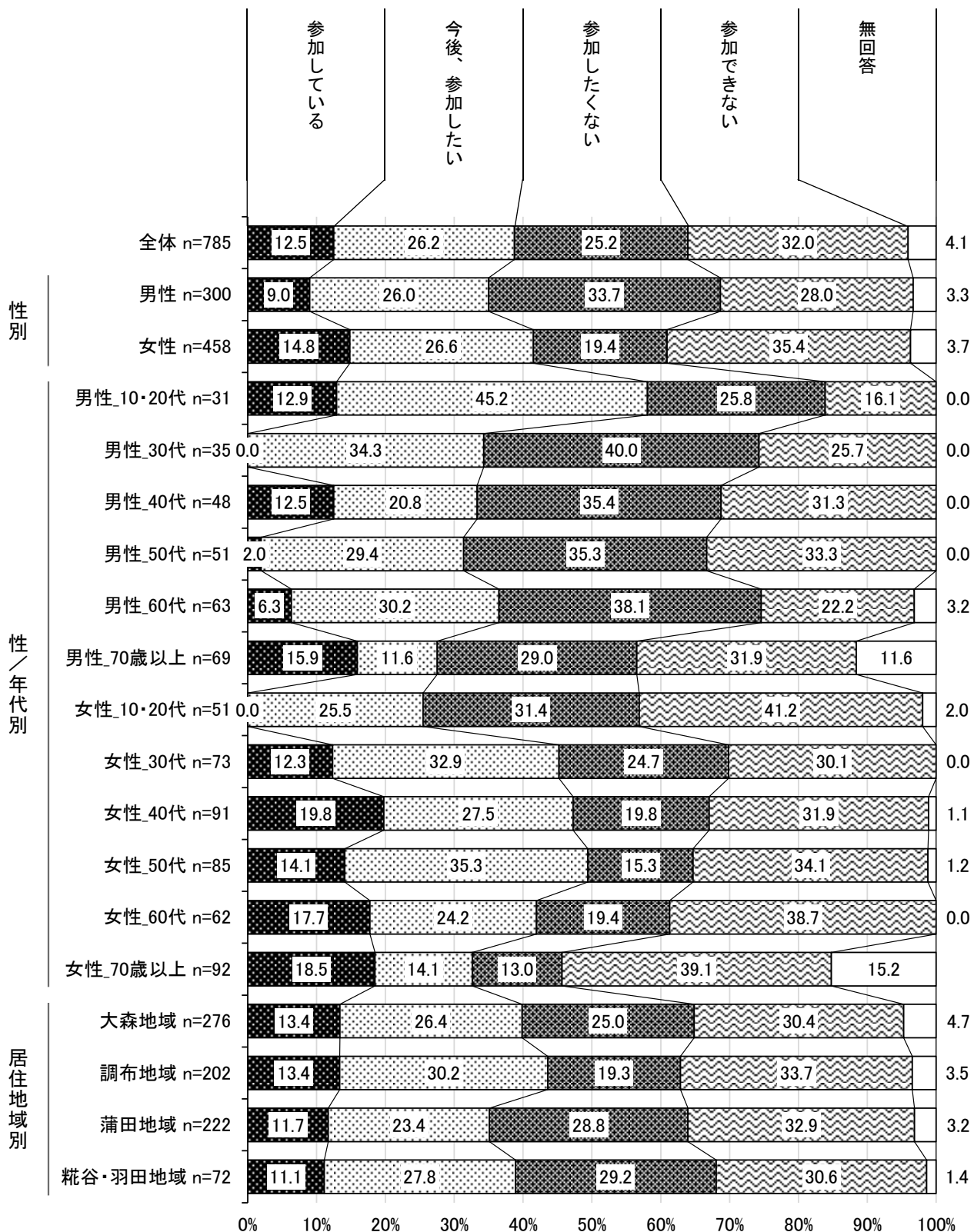


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「参加している」は男性が9.0%、女性が14.8%と、女性が5.8ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「参加している」は男性30代、女性10・20代で0%、男性50代で2.0%、男性60代で6.3%となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「参加している」が1割台となっている。



## (2) 地域活動における新型コロナウイルス感染症の影響

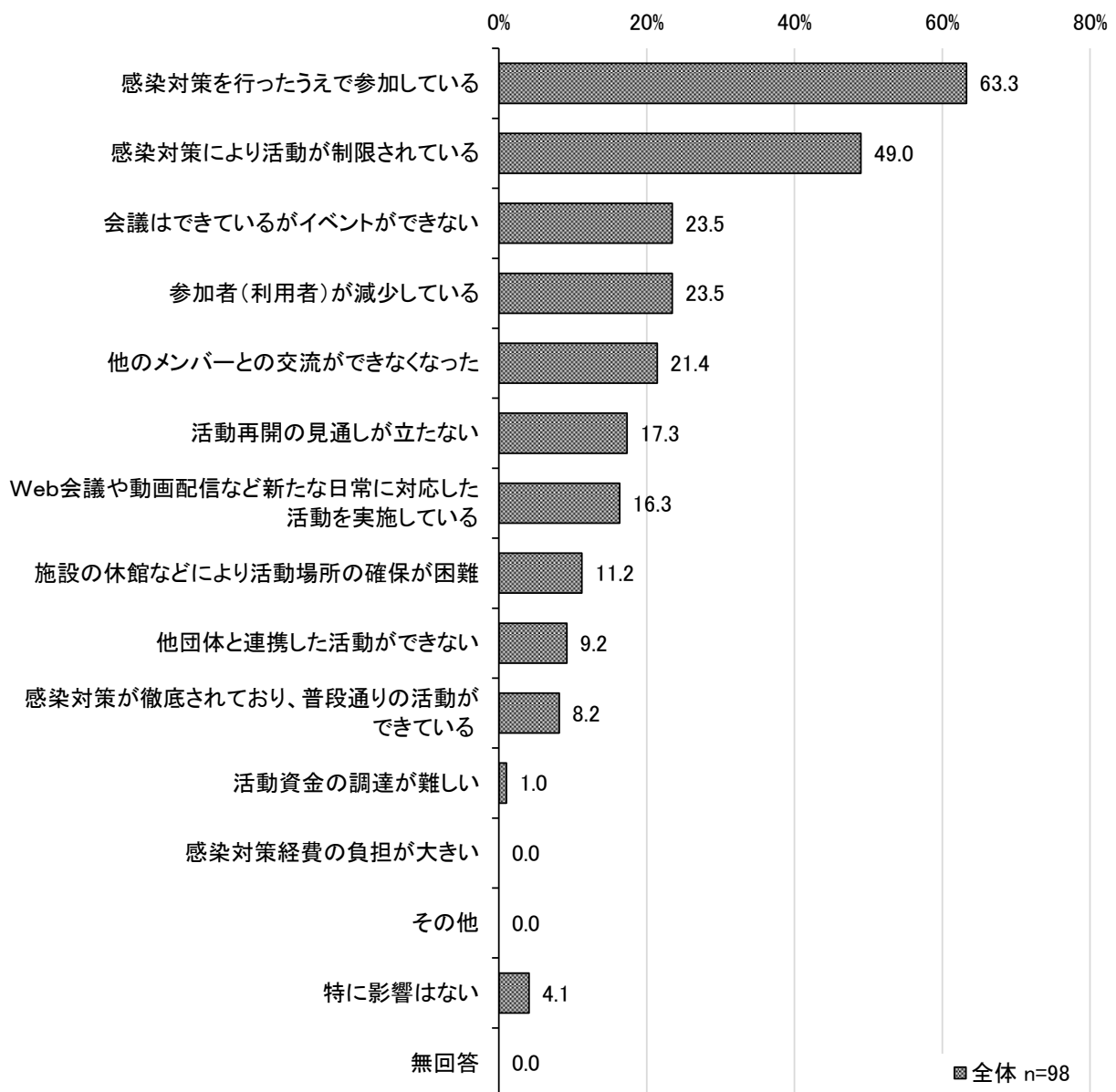
◇「感染対策を行ったうえで参加している」が6割前半で最も高くなっている

【問 17で「参加している」と回答した方に伺います。】

### 問 17-1 参加している地域活動で、新型コロナウイルス感染症の影響はどのようなものがあると感じますか。(いくつでも)

地域活動における新型コロナウイルス感染症の影響については、「感染対策を行ったうえで参加している」が63.3%で最も高く、次いで「感染対策により活動が制限されている」が49.0%、「会議はできているがイベントができない」、「参加者（利用者）が減少している」がともに23.5%となっている。

なお、「特に影響はない」は4.1%となっている。



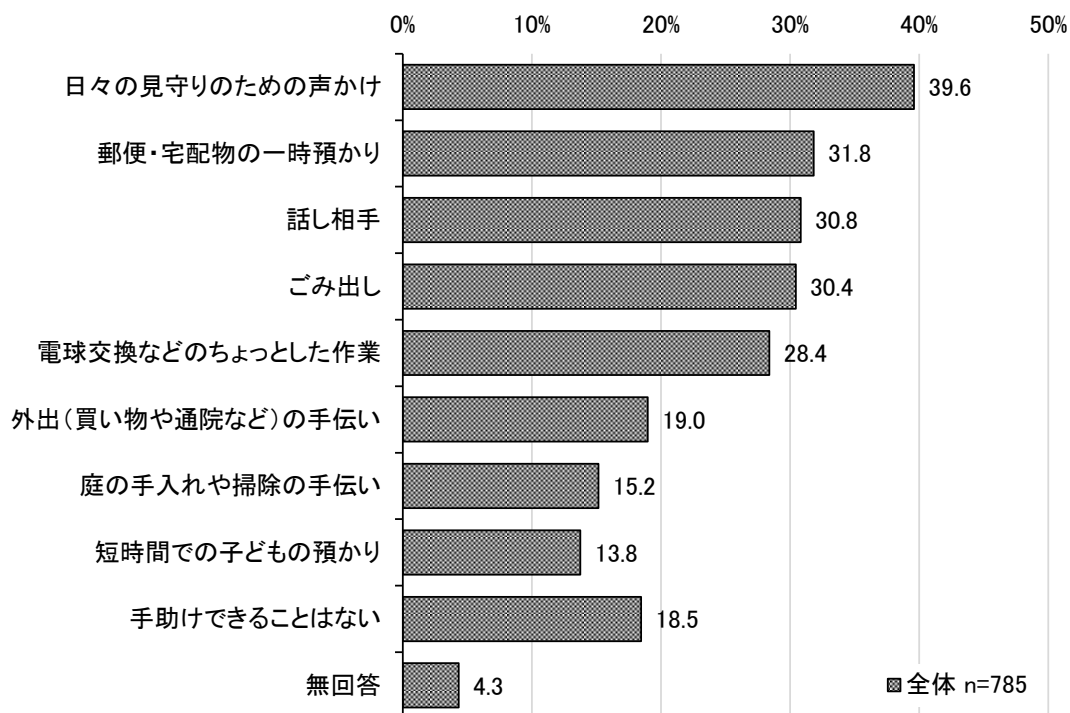
### (3) 近所の方への手助けとしてできること

◇「日々の見守りのための声かけ」が約4割で最も高くなっている

**問 18 あなたが近所の方から次のことを頼まれた場合、手助けできると思うことを教えてください。  
(いくつでも)**

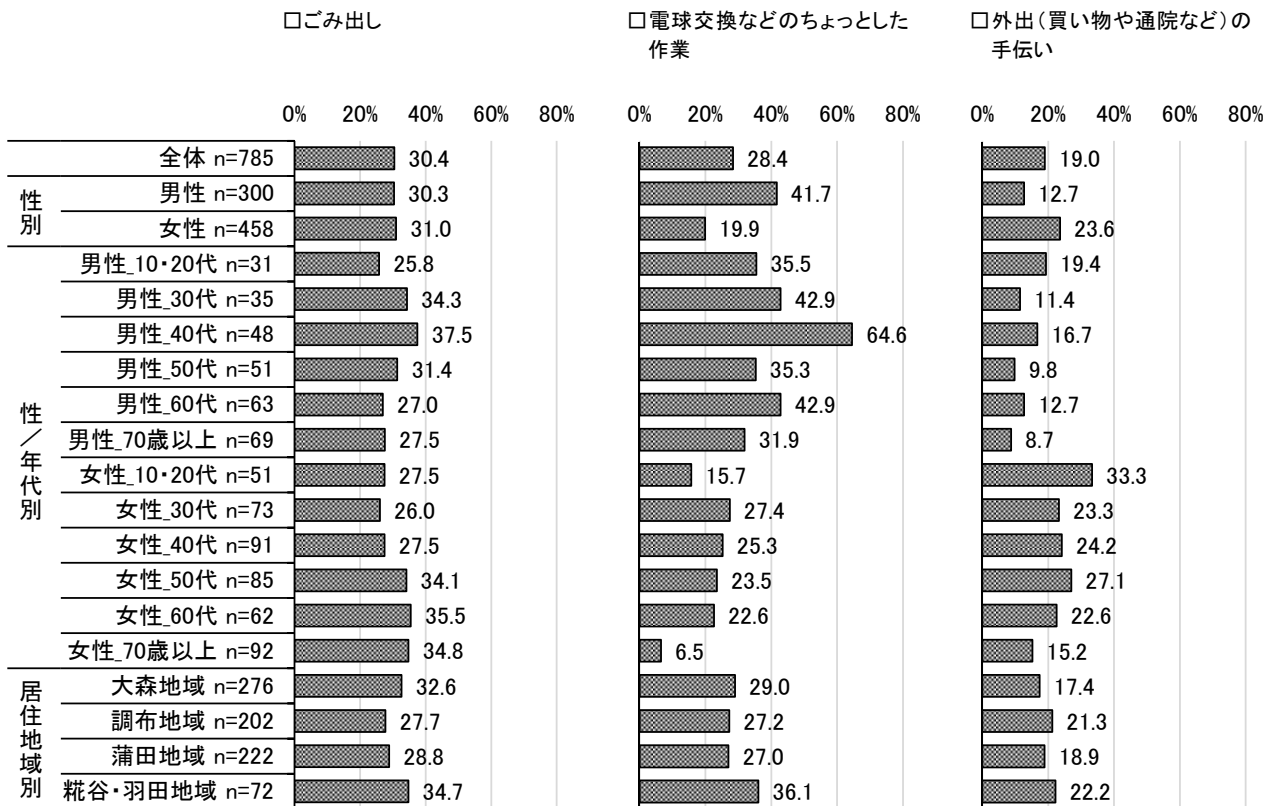
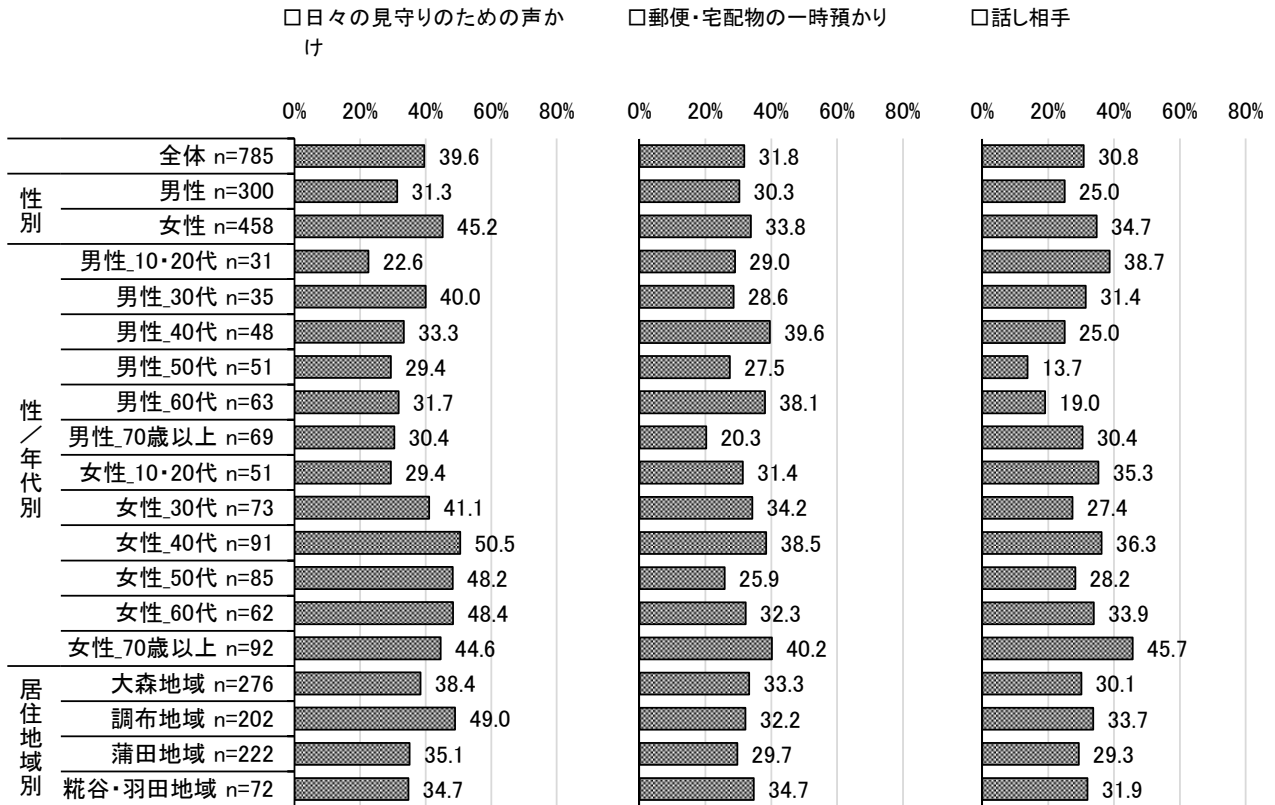
近所の方への手助けとしてできることについては、「日々の見守りのための声かけ」が39.6%で最も高く、次いで「郵便・宅配物の一時預かり」が31.8%、「話し相手」が30.8%となっている。

なお、「手助けできることはない」は18.5%となっている。





■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性では「電球交換などのちょっとした作業」が最も高く、女性では「日々の見守りのための声かけ」が最も高くなっている。「電球交換などのちょっとした作業」は男性が41.7%、女性が19.9%と、男性が21.8ポイント上回っている。「日々の見守りのための声かけ」は男性が31.3%、女性が45.2%と、女性が13.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「日々の見守りのための声かけ」はすべての年代で女性が男性を上回っている。「話し相手」は女性70歳以上で4割半ばと高くなっている。「電球交換などのちょっとした作業」は男性40代で6割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「日々の見守りのための声かけ」が最も高く、糀谷・羽田地域では「電球交換などのちょっとした作業」が最も高くなっている。

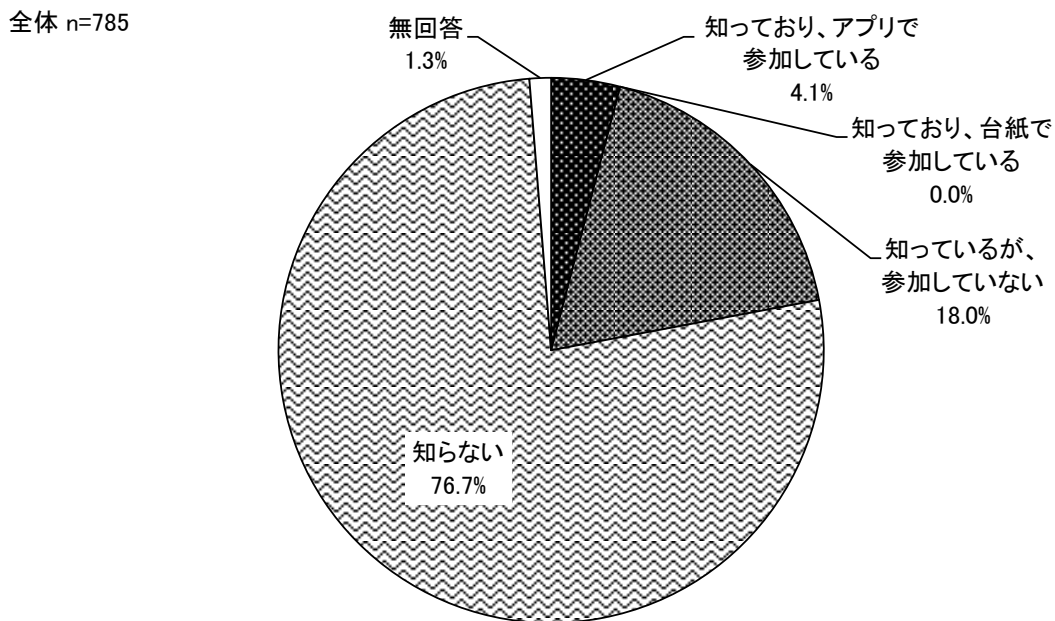
## 9 健康づくりについて

### (1) 「はねびよん健康ポイント」の認知度

◇ 《知っている》（「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値）は2割前半となっている

**問 19 大田区の健康づくりポイント事業「はねびよん健康ポイント」を知っていますか。  
(1つのみ)**

“はねびよん健康ポイント”の認知度については、「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値《知っている》は22.1%である一方で、「知らない」は76.7%と、「知らない」が54.6ポイント上回っている。

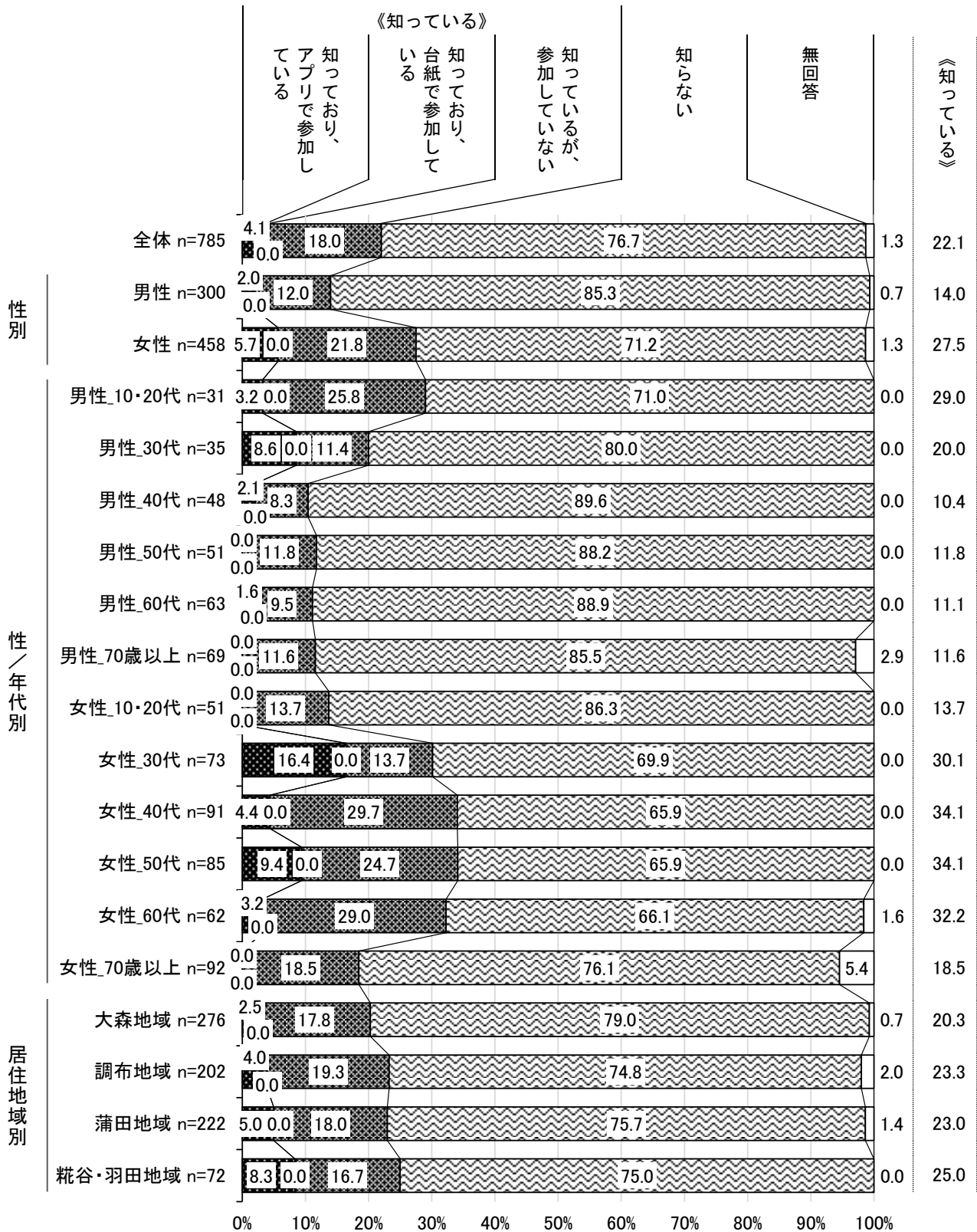


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が14.0%、女性が27.5%と、女性が13.5ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《知っている》は男性では10・20代で3割弱、女性では30代から60代で3割台と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《知っている》が2割台となっている。



## 10 喫煙について

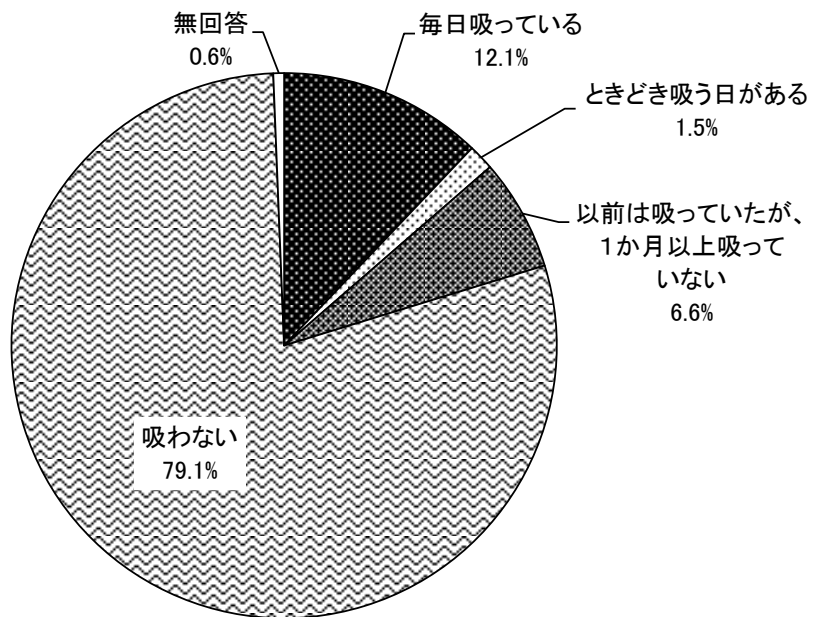
### (1) 喫煙状況

◇「毎日吸っている」は1割前半となっている

#### 問 20 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)

喫煙状況については、「吸わない」が79.1%で最も高く、次いで「毎日吸っている」が12.1%、「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」が6.6%となっている。

全体 n=785

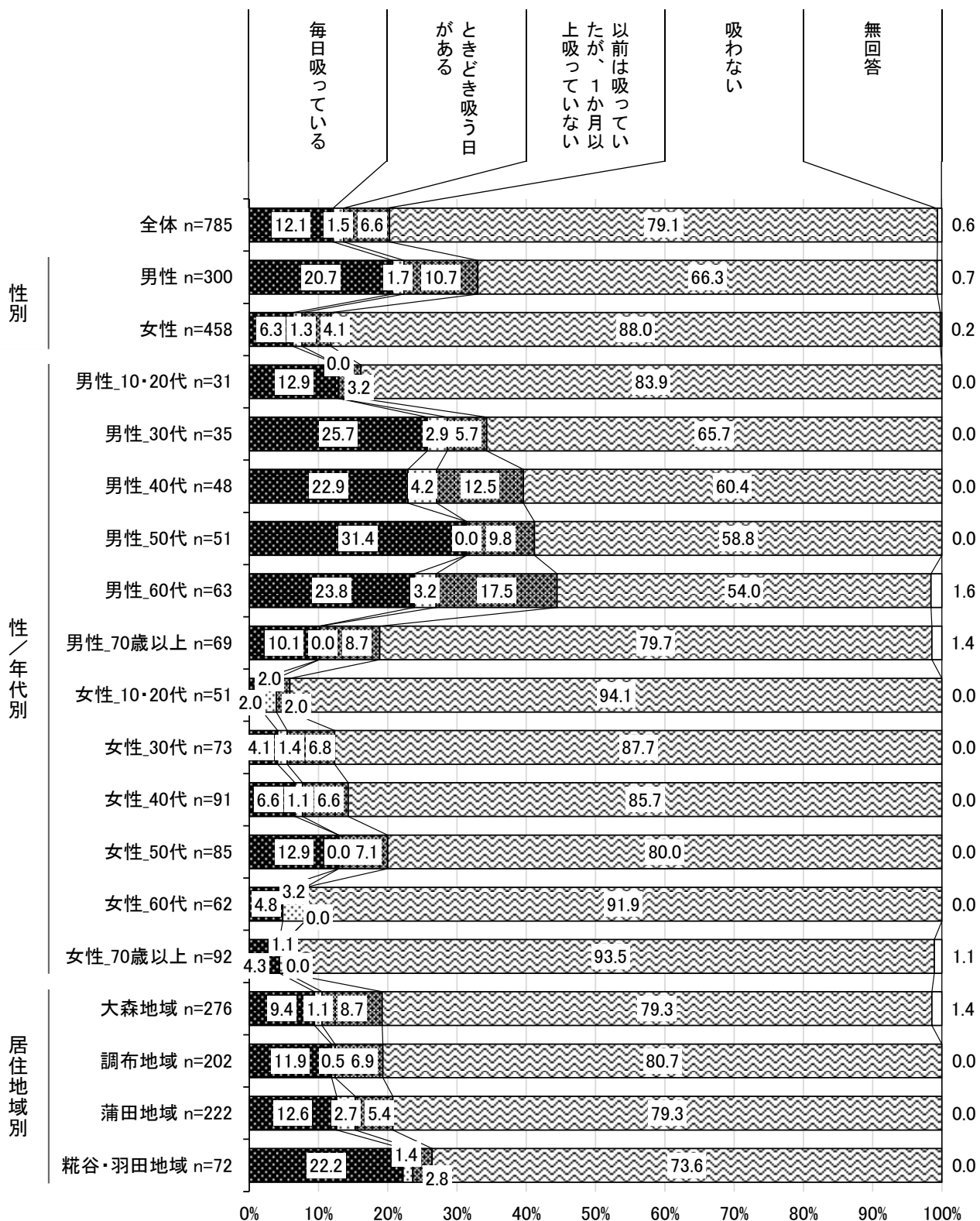


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「毎日吸っている」は男性が20.7%、女性が6.3%と、男性が14.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「毎日吸っている」は男性では50代で3割前半、女性では50代で1割前半と高くなっており、すべての年代で男性が女性を上回っている。

居住地域別でみると、「毎日吸っている」は糞谷・羽田地域で2割前半と高くなっている。



## (2) 喫煙の際に気をつけていること

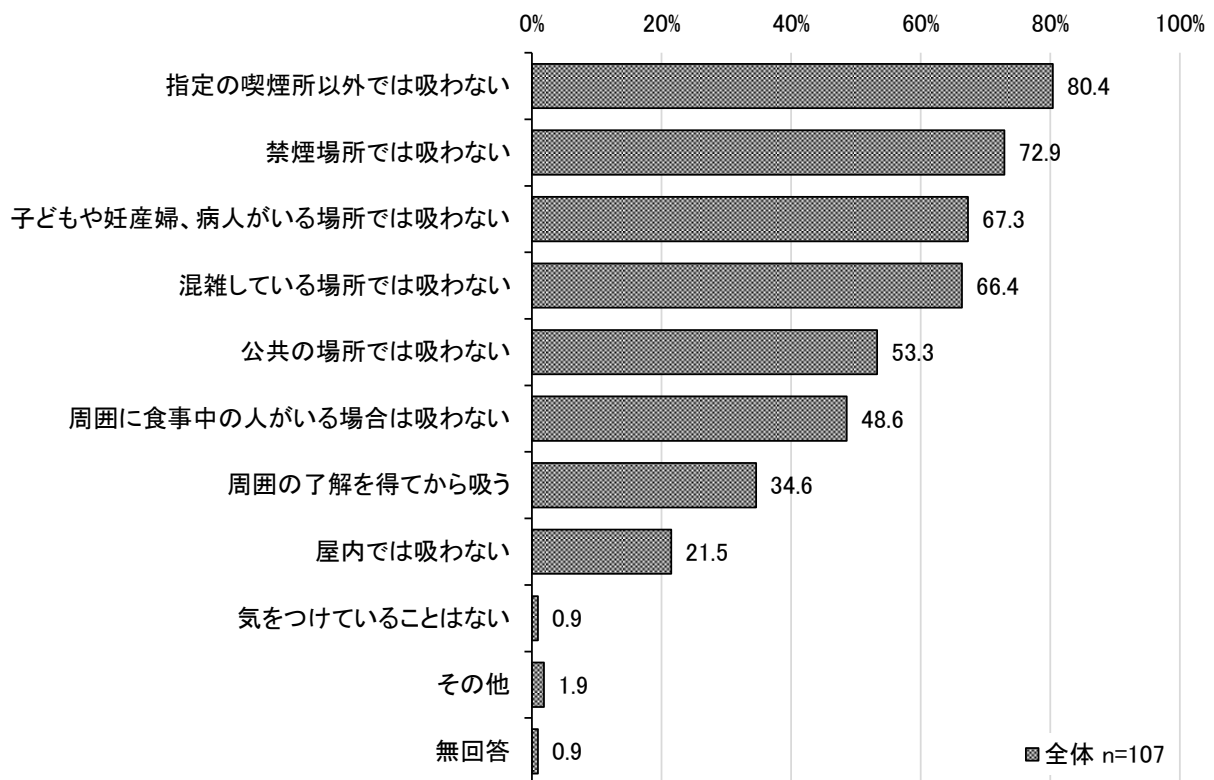
◇「指定の喫煙所以外では吸わない」が約8割で最も高くなっている

【問 20 で「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」と回答した方に伺います。】

### 問 20-1 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(いくつでも)

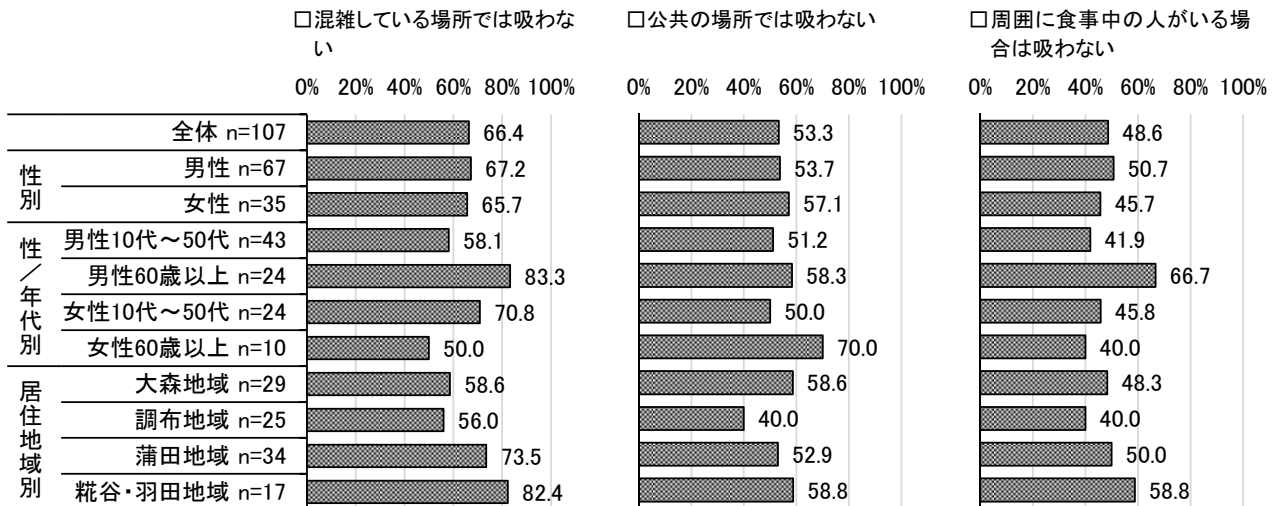
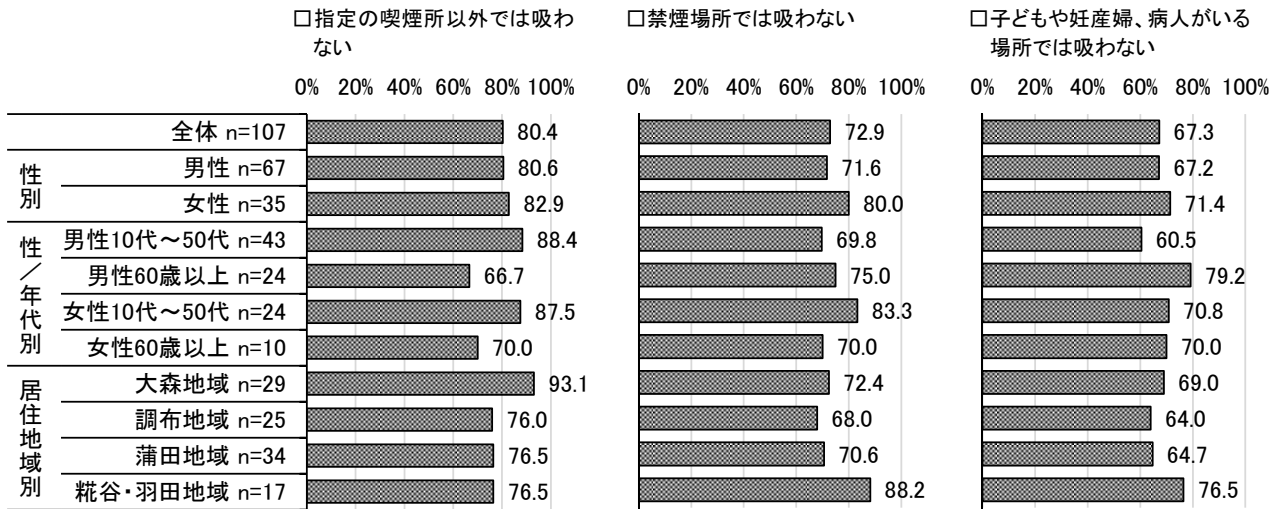
喫煙の際に気をつけていることについては、「指定の喫煙所以外では吸わない」が80.4%で最も高く、次いで「禁煙場所では吸わない」が72.9%、「子どもや妊産婦、病人がいる場所では吸わない」が67.3%となっている。

なお、「気をつけていることはない」は0.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「禁煙場所では吸わない」は男性が71.6%、女性が80.0%と、女性が8.4ポイント上回っている。





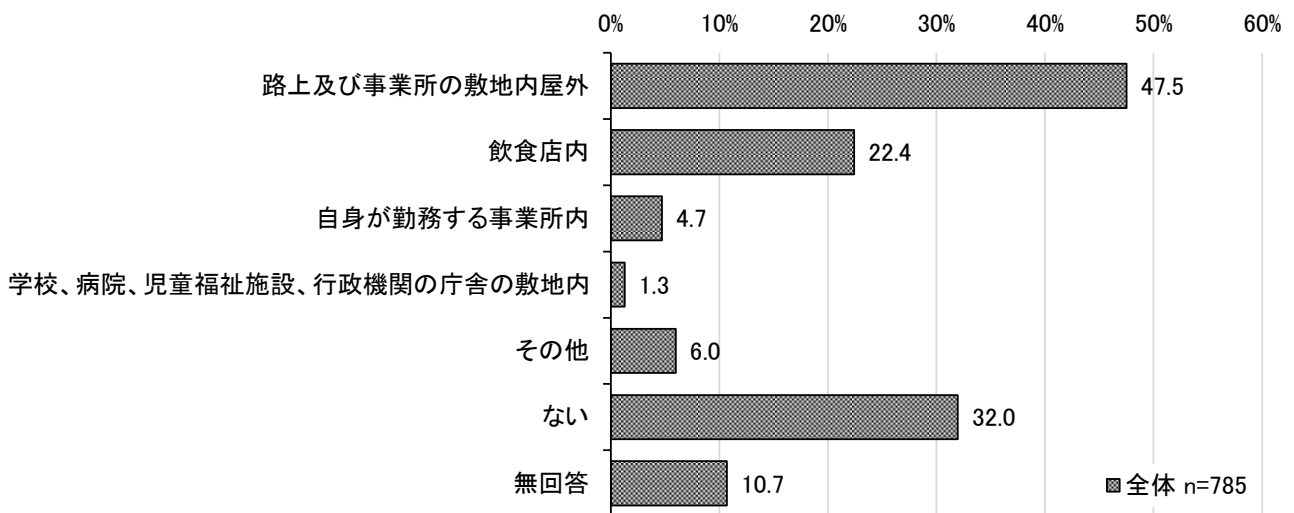
### (3) 受動喫煙を経験した場所

◇「路上及び事業所の敷地内屋外」が5割弱で最も高くなっている

#### 問 21 1年以内に、受動喫煙を経験された場所があれば教えてください。(いくつでも)

受動喫煙を経験した場所については、「路上及び事業所の敷地内屋外」が47.5%で最も高く、次いで「飲食店内」が22.4%、「自身が勤務する事業所内」が4.7%となっている。

なお、「ない」は32.0%となっている。

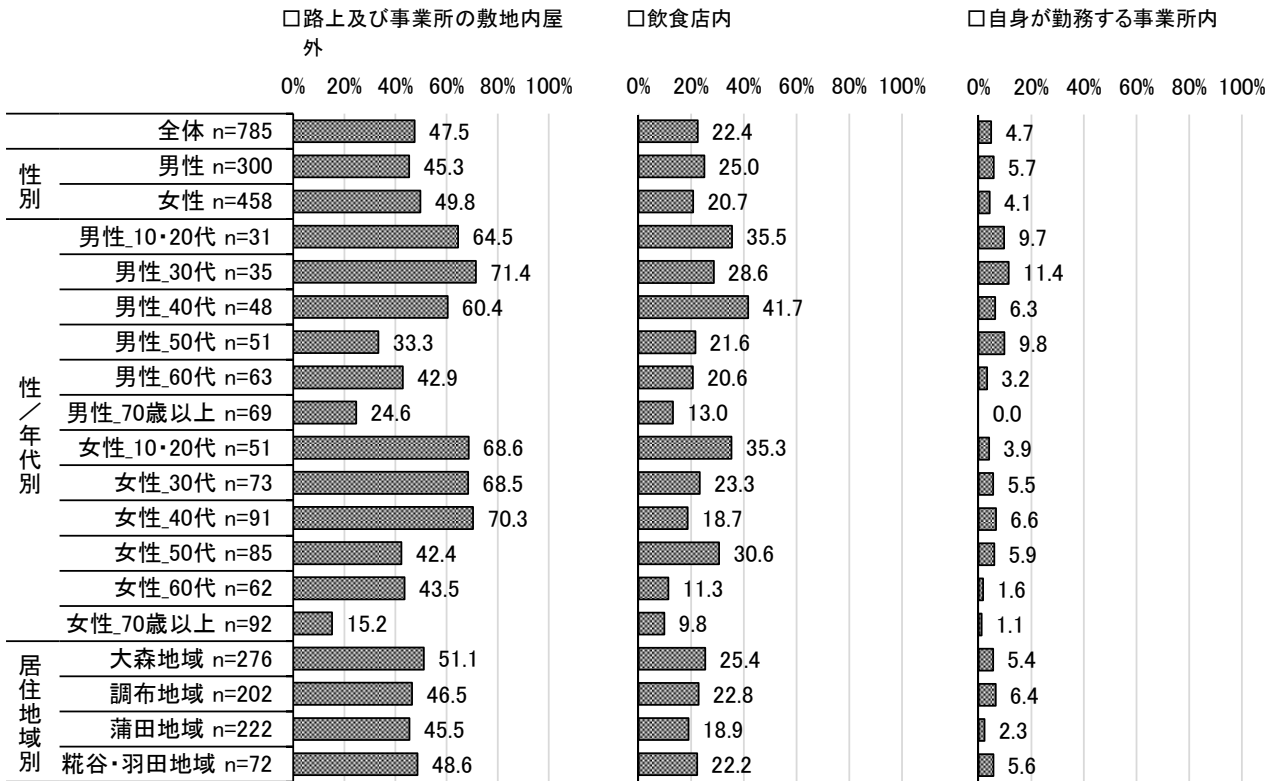


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「路上及び事業所の敷地内屋外」が最も高くなっている。

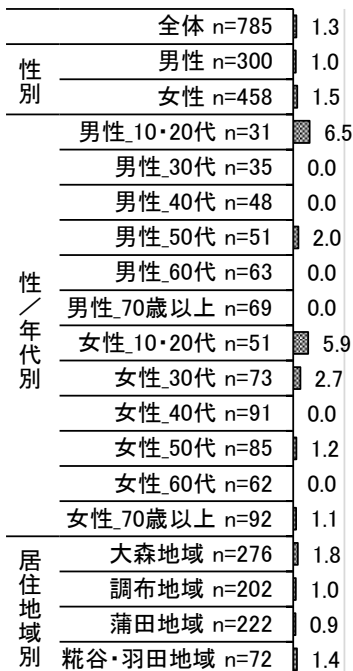
性／年代別でみると、「路上及び事業所の敷地内屋外」は男性30代、女性40代で7割台、男性10・20代、男性40代、女性10・20代、女性30代で6割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「路上及び事業所の敷地内屋外」が最も高く、大森地域で5割前半となっている。



□学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎の敷地内

0% 20% 40% 60% 80% 100%



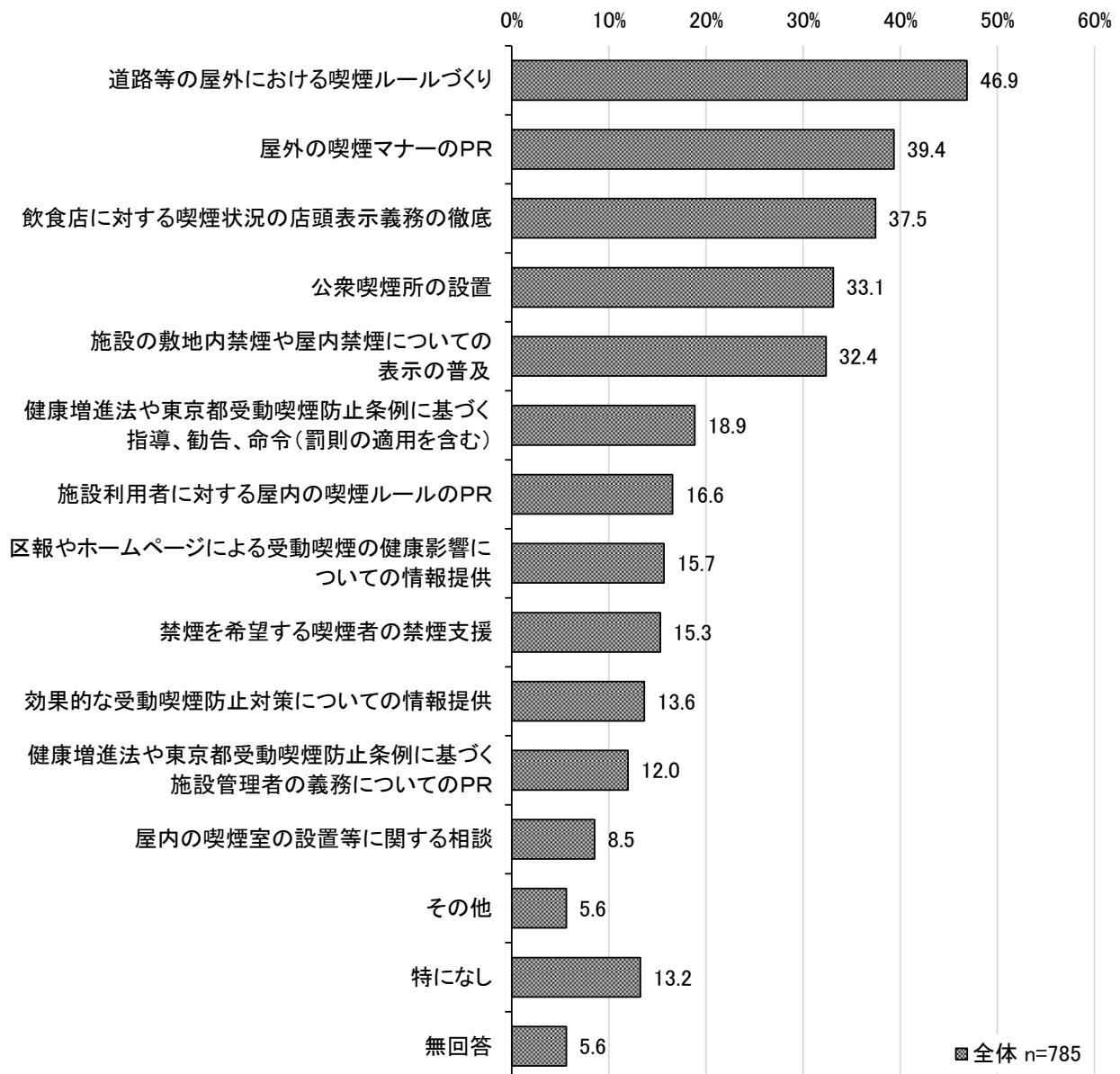
#### (4) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組

◇「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が5割弱で最も高くなっている

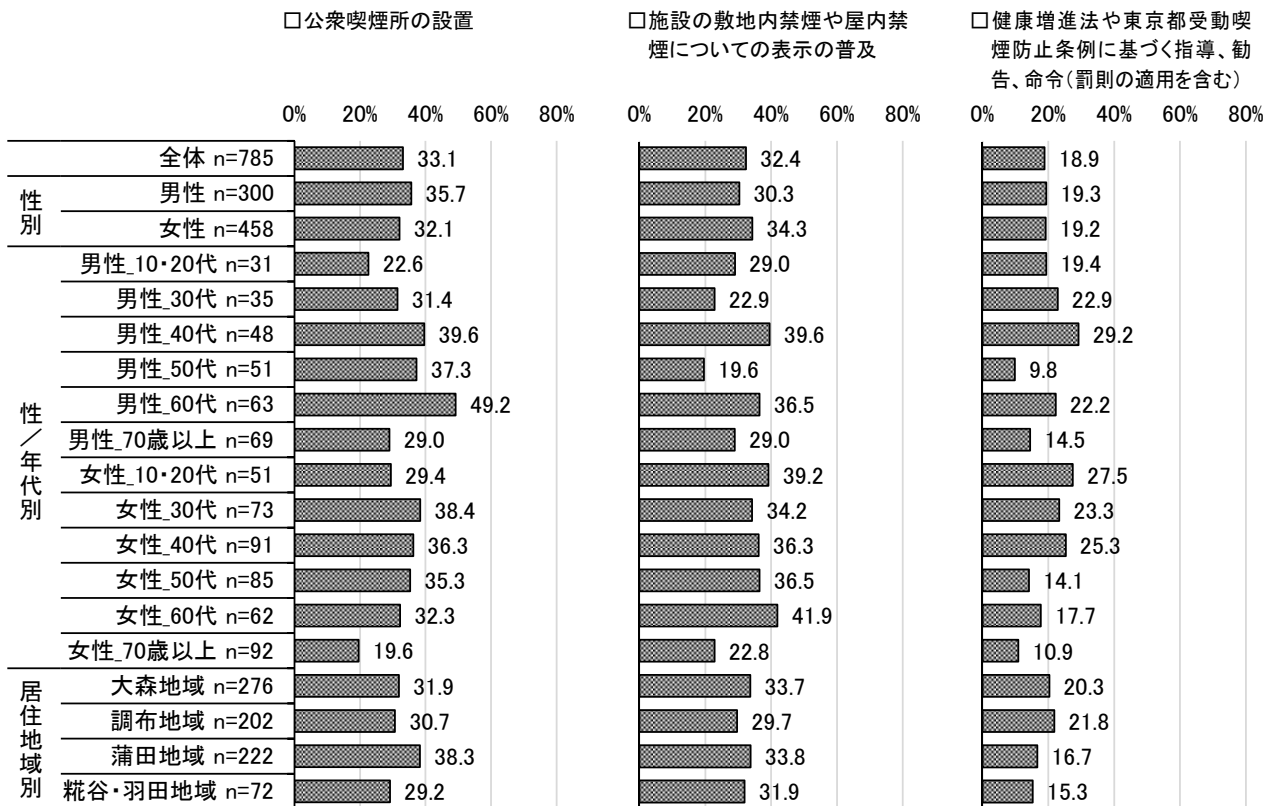
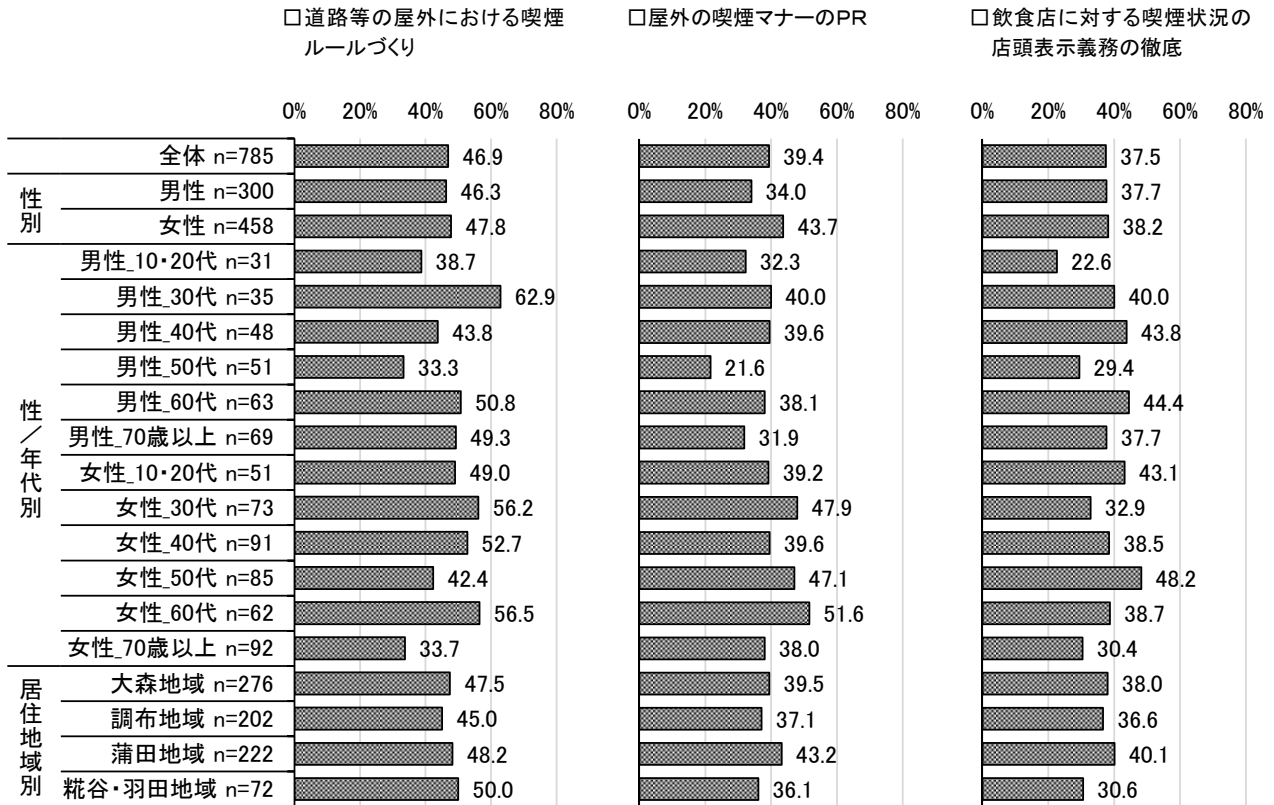
#### 問 22 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(いくつでも)

大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組については、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が46.9%で最も高く、次いで「屋外の喫煙マナーのPR」が39.4%、「飲食店に対する喫煙状況の店頭表示義務の徹底」が37.5%となっている。

なお、「特になし」は13.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、「屋外の喫煙マナーのPR」は男性が34.0%、女性が43.7%と、女性が9.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」は男性では30代で6割前半、女性では30代、60代で6割弱と高くなっている。「公衆喫煙所の設置」は男性60代で約5割と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が最も高く、糀谷・羽田地域で5割となっている。

## 11 医療について

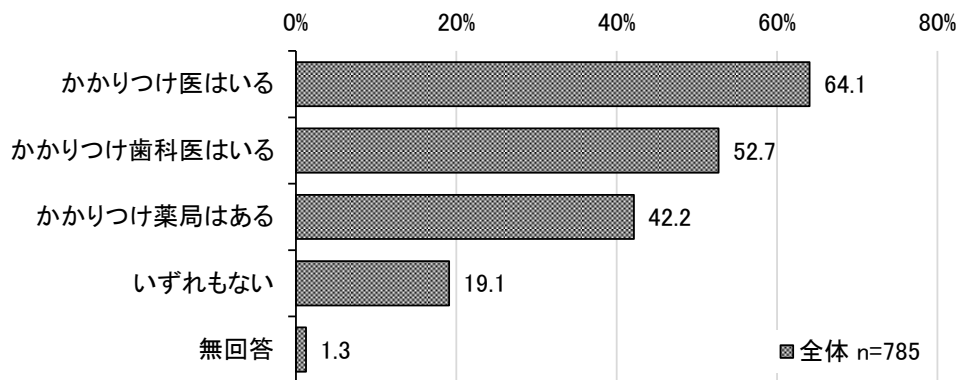
### (1) かかりつけの医療機関

◇「かかりつけ医はいる」は6割半ばとなっている

#### 問 23 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(いくつでも)

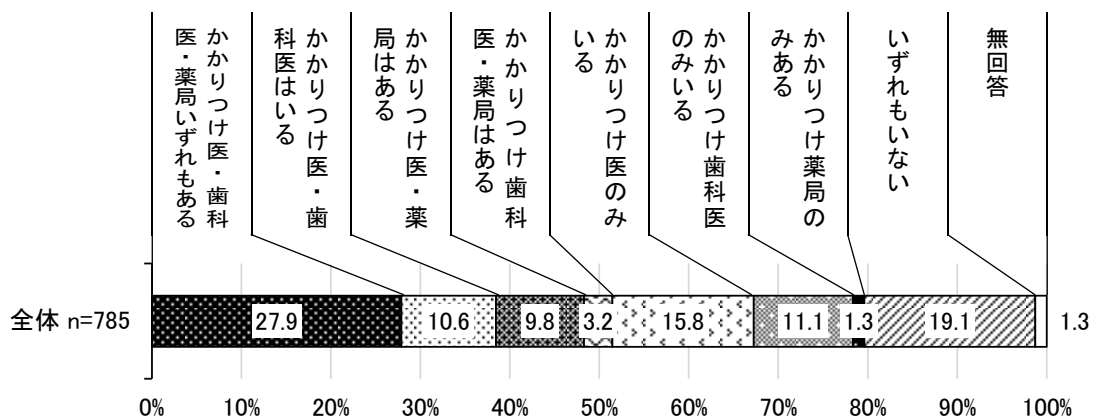
かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医はいる」が64.1%で最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいる」が52.7%、「かかりつけ薬局はある」が42.2%となっている。

なお、「いずれもない」は19.1%となっている。



#### ■ かかりつけの医療機関の状況

かかりつけの医療機関の状況については、「かかりつけ医・歯科医・薬局いずれもある」が27.9%、「かかりつけ医のみいる」が15.8%となっている。

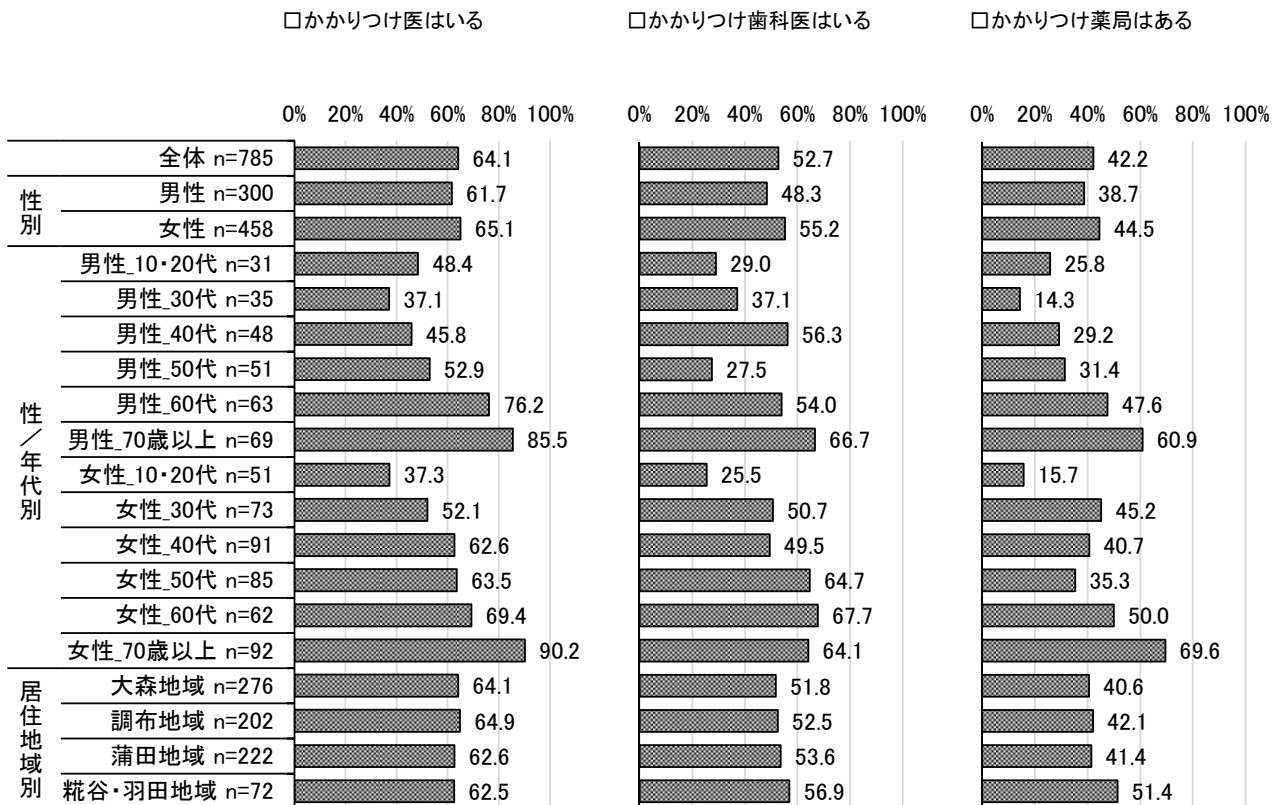


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性が61.7%、女性が65.1%と、女性が3.4ポイント上回っている。「かかりつけ歯科医はいる」は男性が48.3%、女性が55.2%と、女性が6.9ポイント上回っている。「かかりつけ薬局はある」は男性が38.7%、女性が44.5%と、女性が5.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性では70歳以上で8割半ば、女性では70歳以上で約9割と高くなっている。「かかりつけ歯科医はいる」は男性では70歳以上で7割弱、女性では60代で7割弱と高くなっている。「かかりつけ薬局はある」は男性では70歳以上で約6割、女性では70歳以上で約7割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「かかりつけ医はいる」が6割台となっている。



## (2) 「在宅医療」の認知度

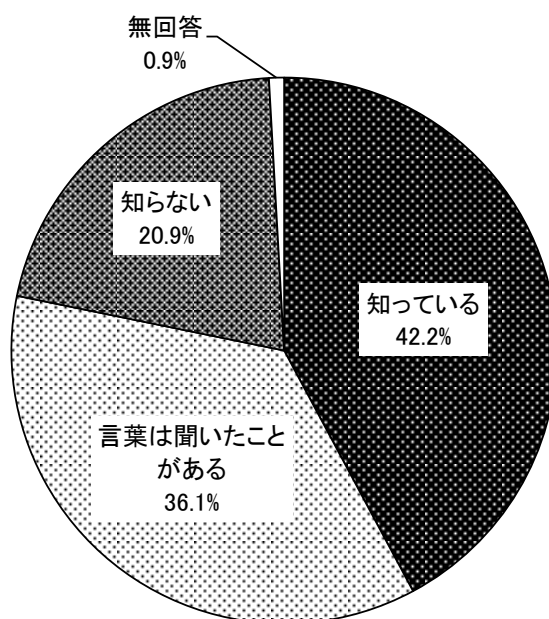
◇「知っている」は4割前半となっている

### 問 24 在宅医療の制度や仕組みについて知っていますか。(1つのみ)

※医師や看護師、薬剤師、理学療法士、ケアマネジャー、ホームヘルパーなど、医療や介護の専門職が連携して定期的にご自宅などを訪問し、チームとなって治療やケアを行うことで、住み慣れた自宅や施設での療養生活を支える仕組み

“在宅医療”の認知度については、「知っている」が42.2%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」が36.1%、「知らない」が20.9%となっている。

全体 n=785



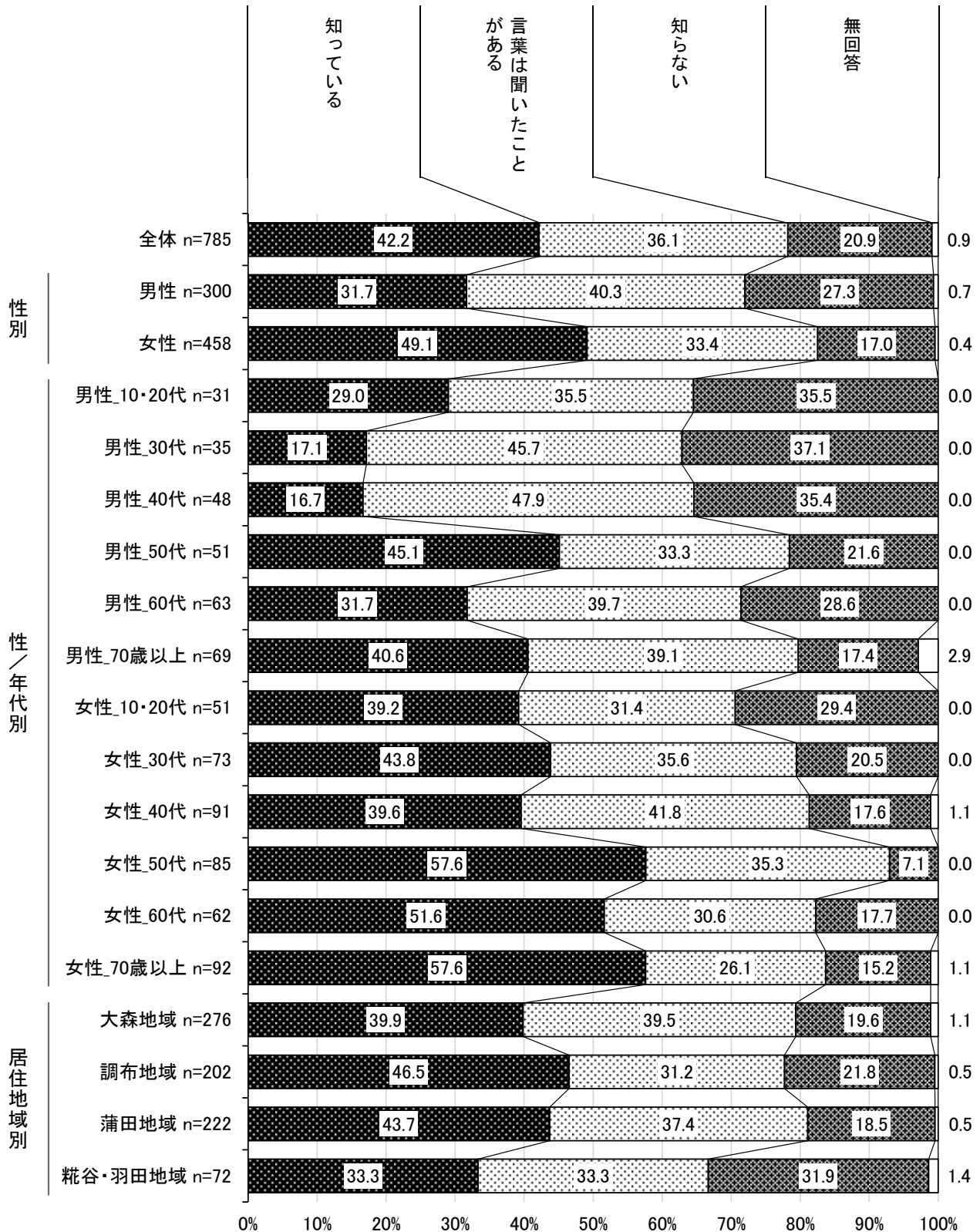


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が31.7%、女性が49.1%と、女性が17.4ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「知っている」は男性では50代、70歳以上で4割台、女性では50代から70歳以上で5割台となっており、すべての年代で女性が男性を上回っている。

居住地域別でみると、「知っている」は調布地域で5割弱と高くなっている。



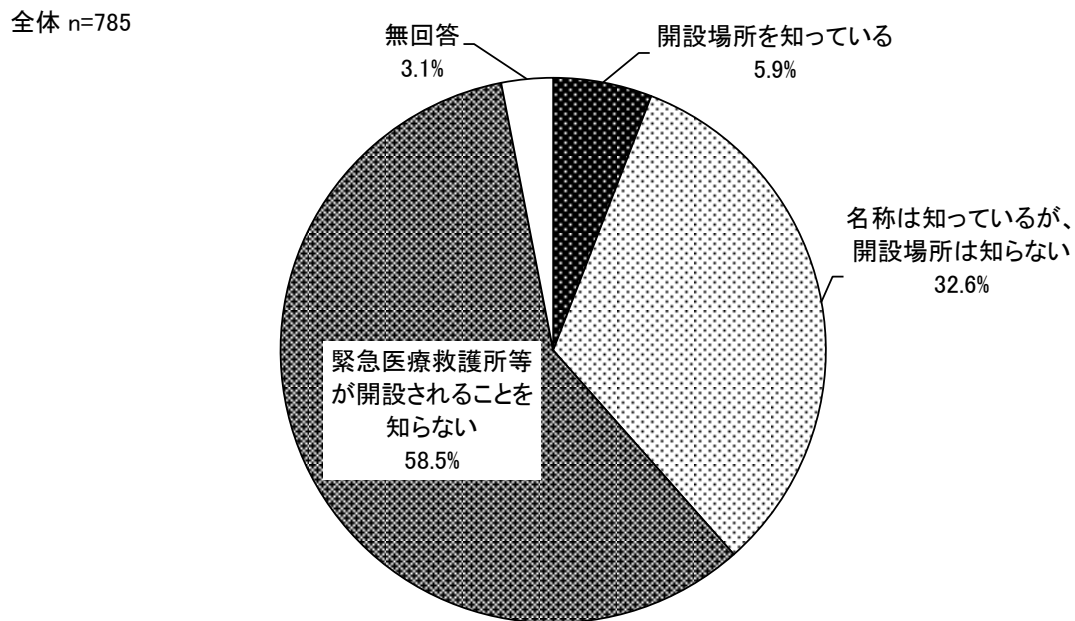
## 12 災害時について

### (1) 災害時の緊急医療開設場所の認知度

◇「開設場所を知っている」は1割未満となっている

**問 25 区内で震度6弱以上の大地震が発生し、ライフラインが停止した場合、診療所等は休診し、緊急医療救護所（16か所）及び軽症者救護所（3か所）を開設することになっています。あなたは緊急医療救護所及び軽症者救護所の開設場所を知っていますか。（1つのみ）**

災害時の緊急医療開設場所の認知度については、「緊急医療救護所等が開設されることを知らない」が58.5%で最も高く、次いで「名称は知っているが、開設場所は知らない」が32.6%、「開設場所を知っている」が5.9%となっている。

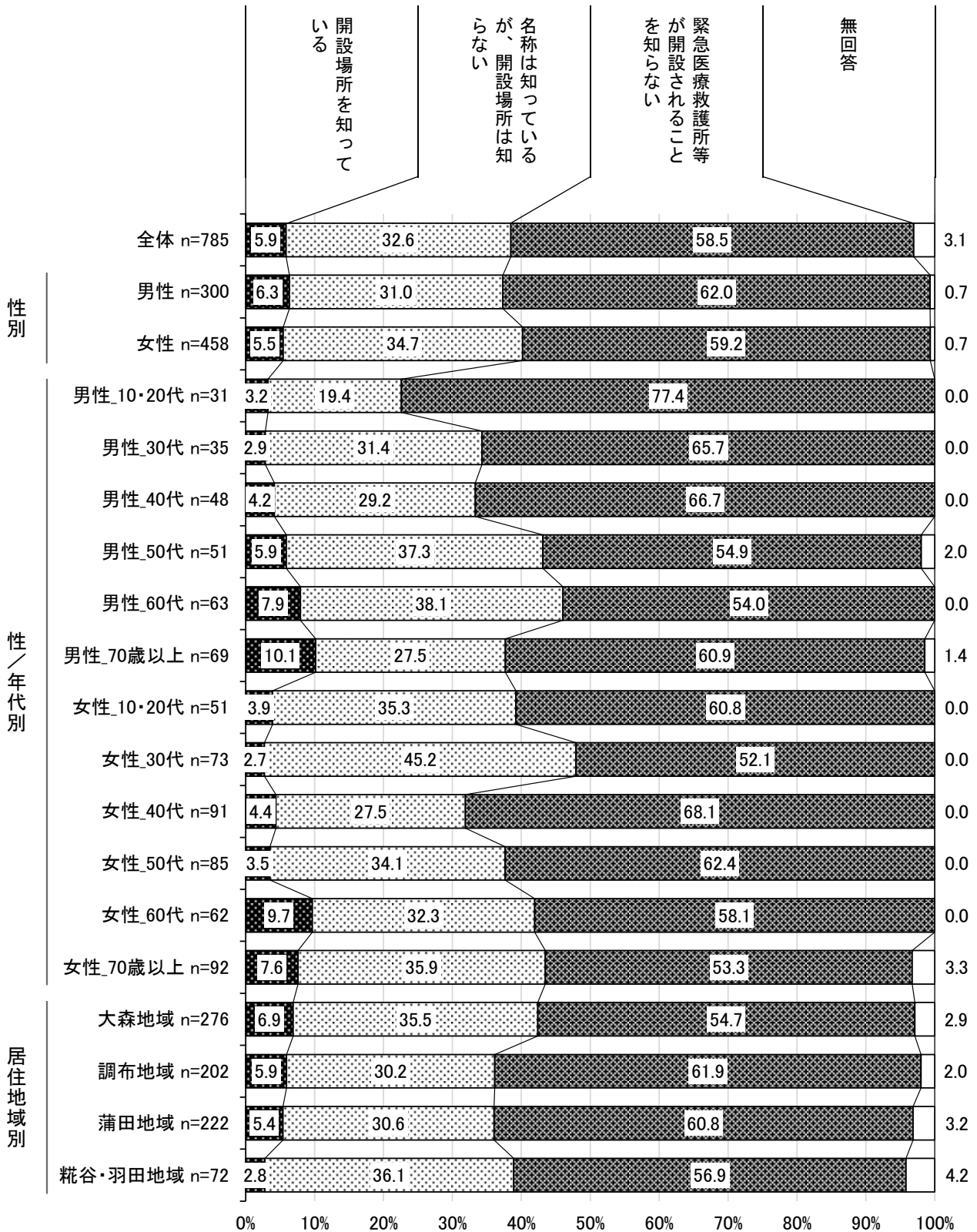


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「開設場所を知っている」は男性では70歳以上で約1割、女性では60代で約1割と高くなっている。

居住地域別でみると、「開設場所を知っている」は大森地域で1割弱と高くなっている。



## 13 食品ロス・フードドライブについて

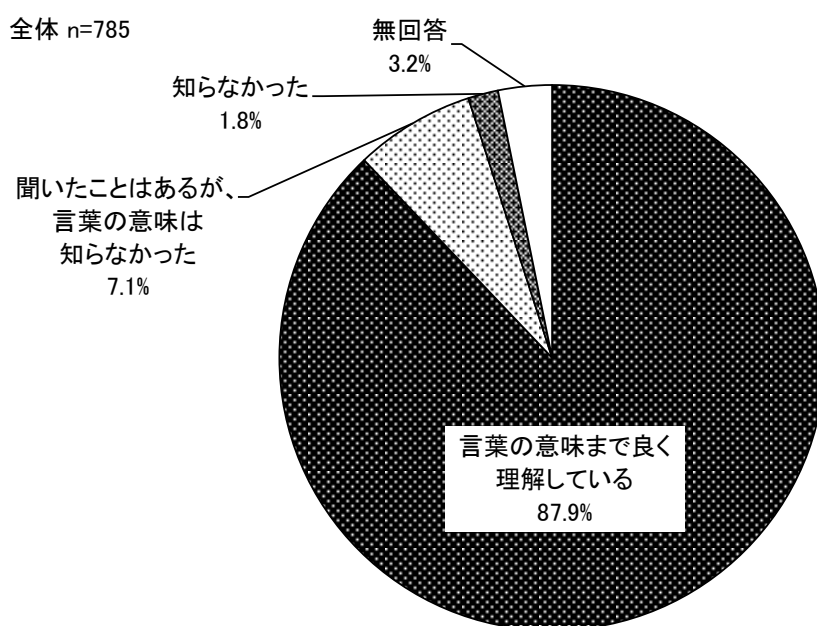
### (1) 「食品ロス」の認知度

◇「言葉の意味まで良く理解している」は9割弱となっている

問 26 あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか。(1つのみ)

※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。

“食品ロス”の認知度については、「言葉の意味まで良く理解している」が87.9%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」が7.1%、「知らなかった」が1.8%となっている。

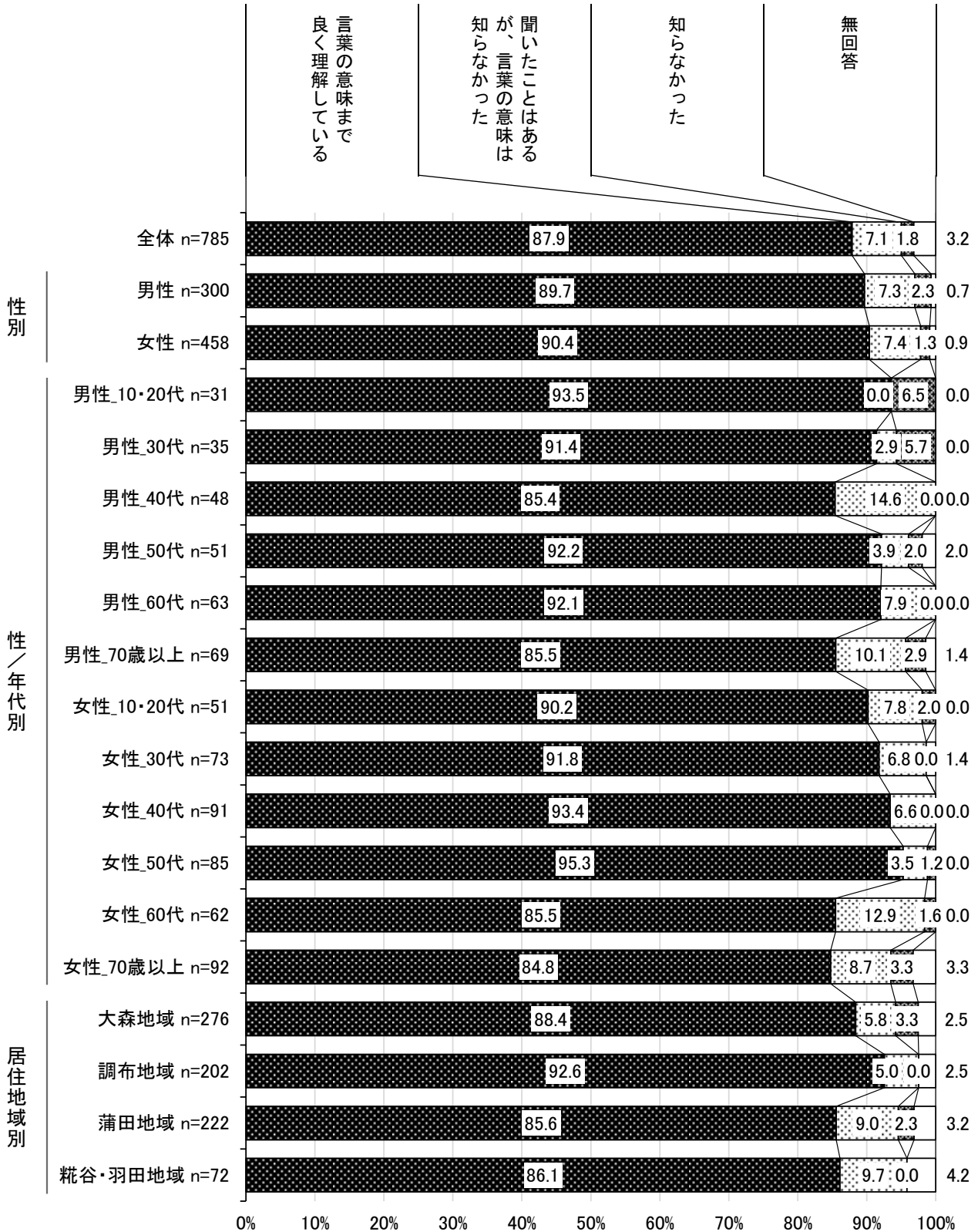


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「言葉の意味まで良く理解している」は男性10・20代、男性30代、男性50代、男性60代、女性10・20代から50代で9割台となっている。

居住地域別でみると、「言葉の意味まで良く理解している」は調布地域で9割前半と高くなっている。

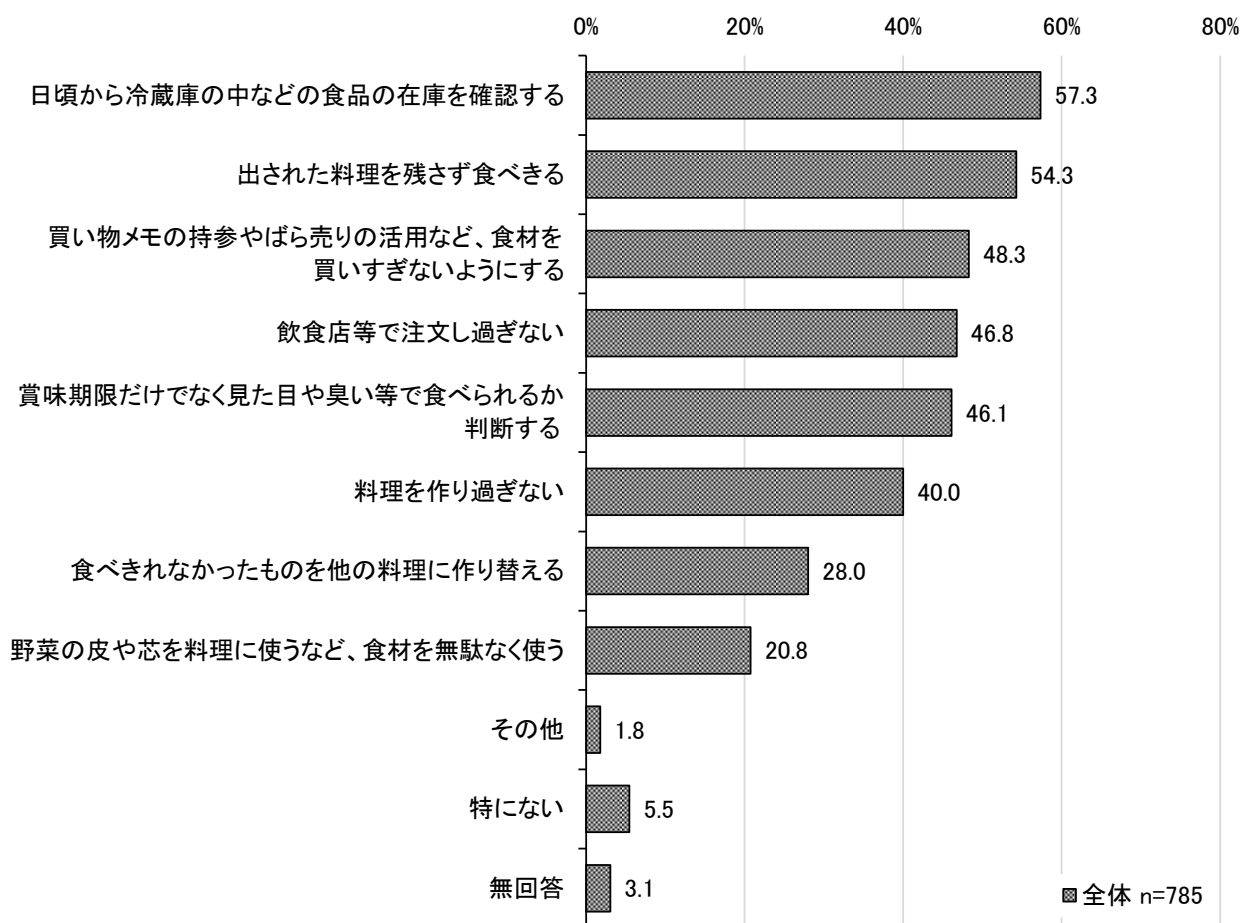


## (2) 「食品ロス」を減らすための取組

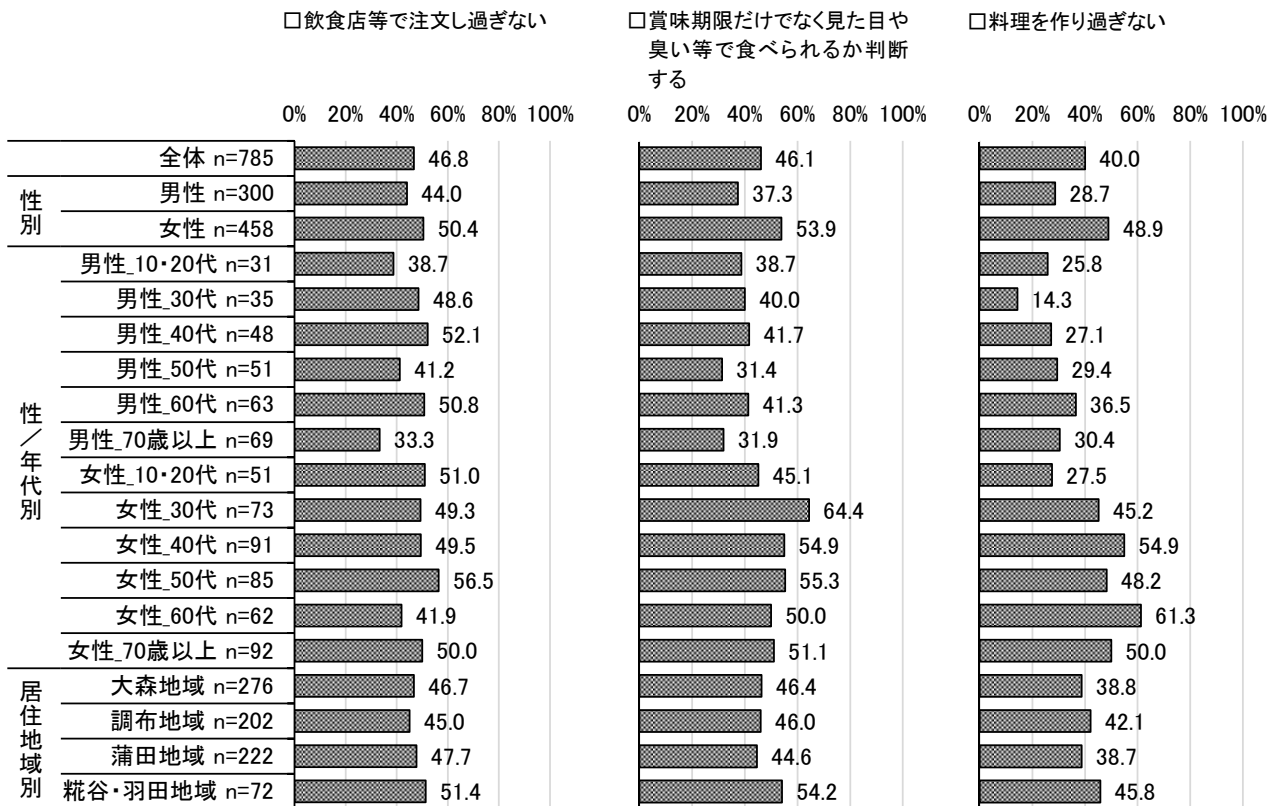
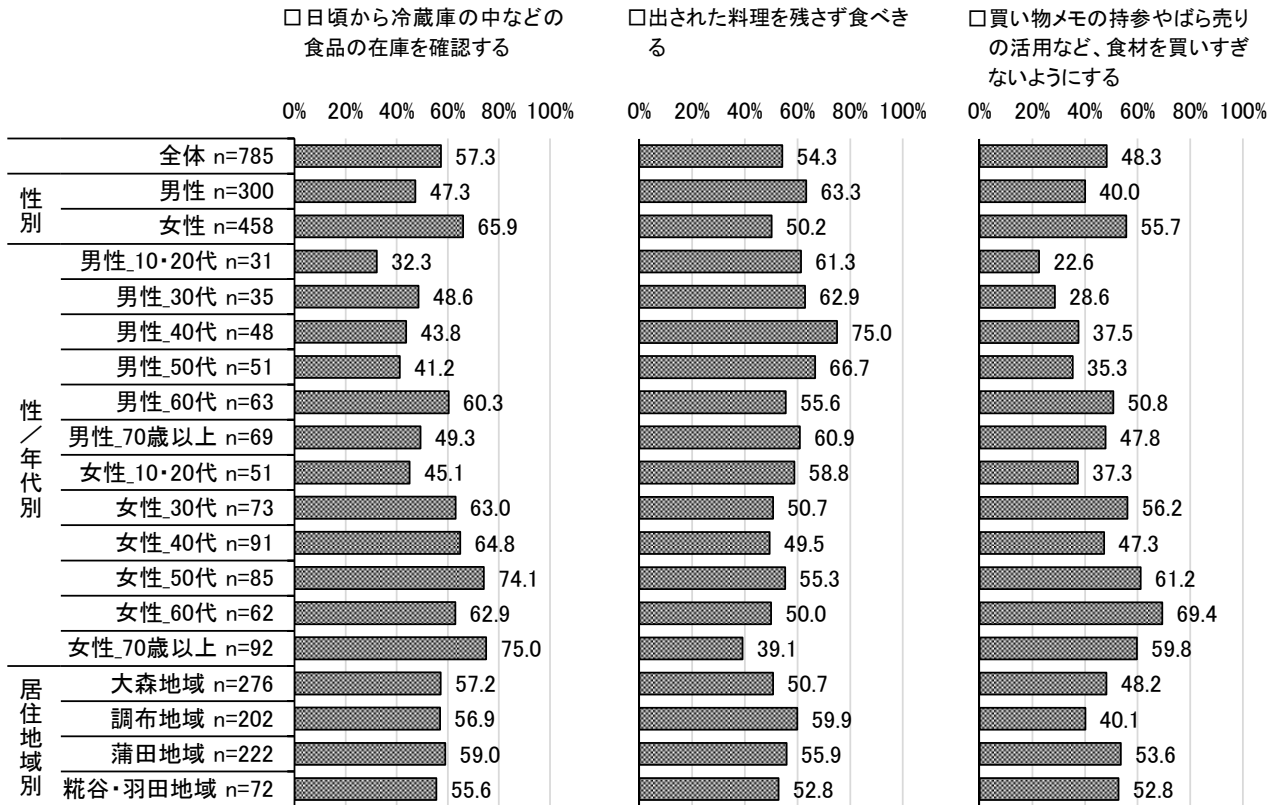
◇「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が6割弱で最も高くなっている

**問 27 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。  
(いくつでも)**

食品ロスを減らすための取組については、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が57.3%で最も高く、次いで「出された料理を残さず食べきる」が54.3%、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が48.3%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別でみると、男性では「出された料理を残さず食べきる」が最も高く、女性では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が最も高くなっている。「出された料理を残さず食べきる」は男性が63.3%、女性が50.2%と、男性が13.1ポイント上回っている。「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は男性が47.3%、女性が65.9%と、女性が18.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は女性50代、女性70歳以上で7割半ばと高くなっている。「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」は女性60代で約7割と高くなっている。「賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する」は女性30代で6割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が最も高く、調布地域では「出された料理を残さず食べきる」が最も高くなっている。

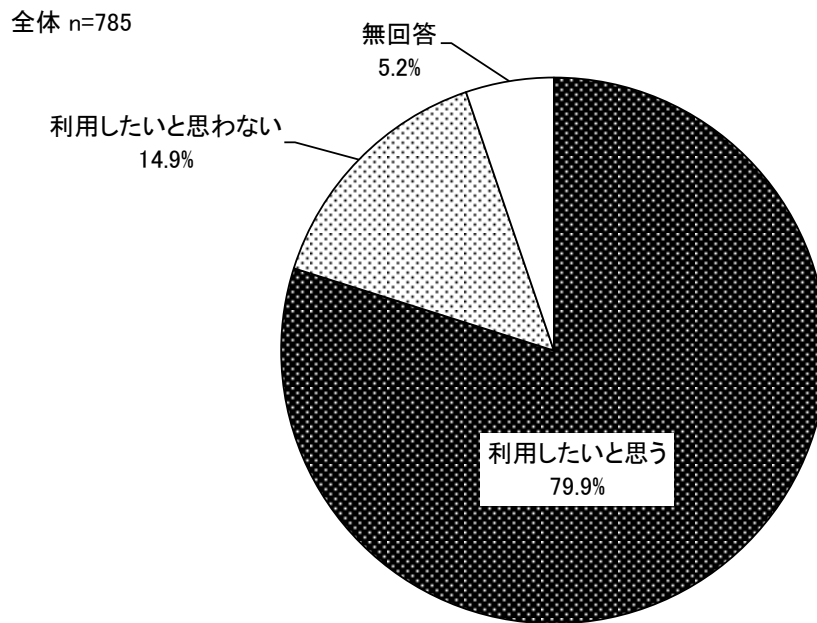


### (3) 「食品ロス」の削減に取り組む店舗の利用意向

◇「利用したいと思う」は約8割となっている

#### 問 28 食品ロス削減に取り組む飲食店や食料品小売店等の情報があれば、そのお店を利用したいと思いませんか。(1つのみ)

食品ロスの削減に取り組む店舗の利用意向については、「利用したいと思う」が79.9%、「利用したいと思わない」が14.9%と、「利用したいと思う」が65.0ポイント上回っている。

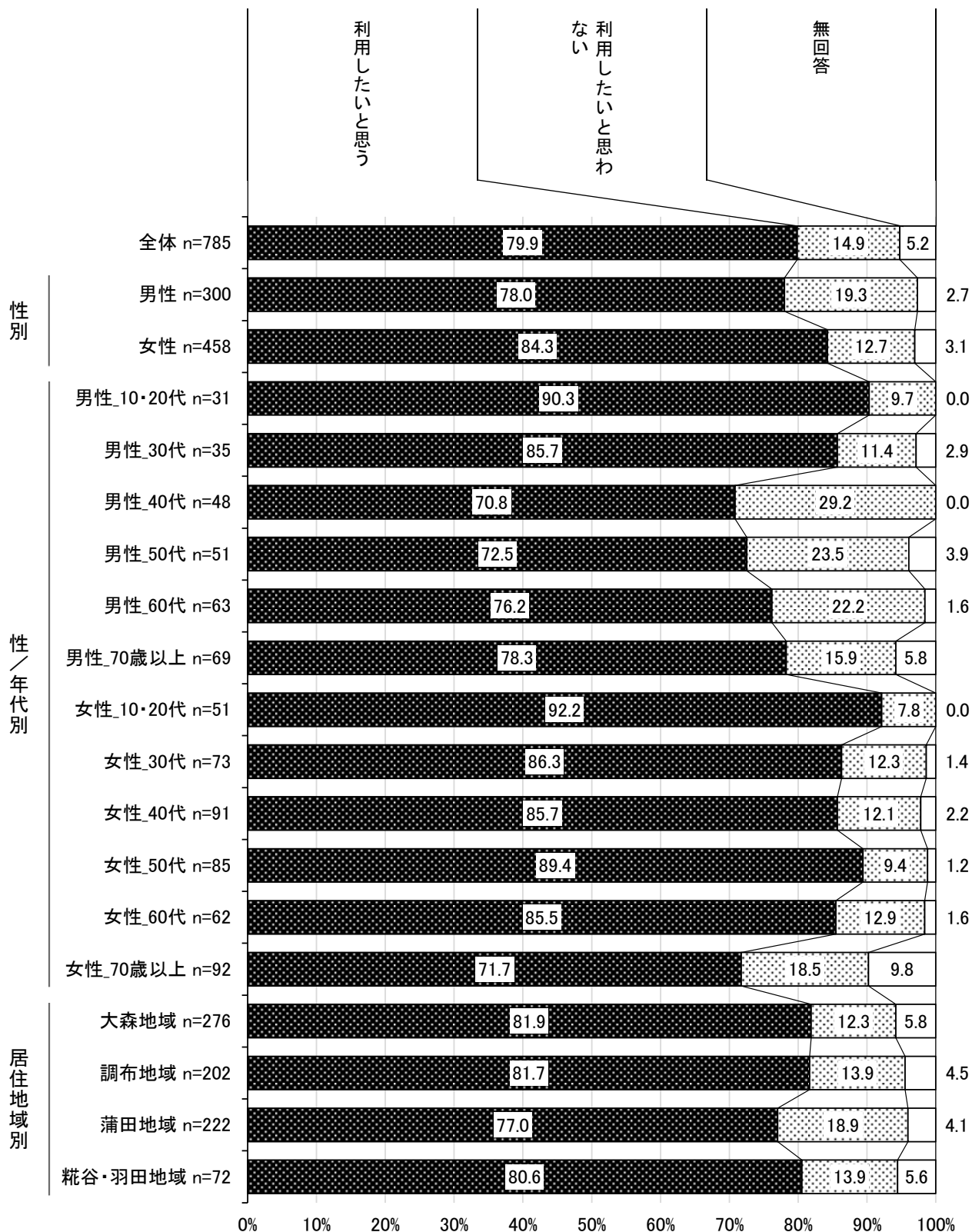


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「利用したいと思う」は男性が78.0%、女性が84.3%と、女性が6.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「利用したいと思う」は男性では10・20代で約9割、女性では10・20代で9割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「利用したいと思う」は大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域で8割台となっている。



#### (4) 「フードドライブ」への提供意向

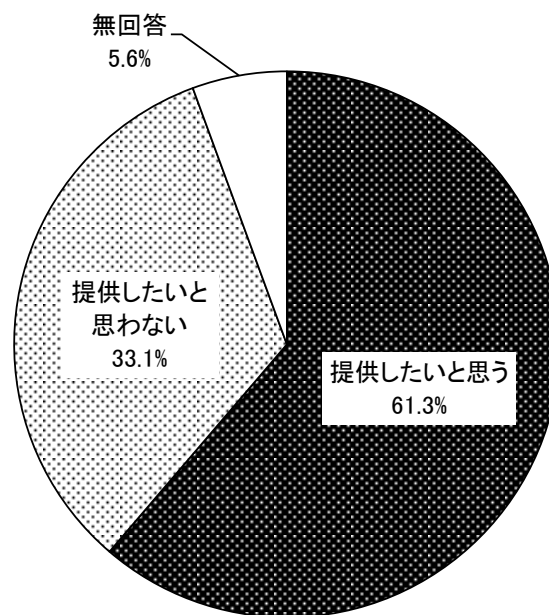
◇「提供したいと思う」は6割前半となっている

**問 29** ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。

**あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思えますか。(1つのみ)**

フードドライブへの提供意向については、「提供したいと思う」が61.3%、「提供したいと思わない」が33.1%と、「提供したいと思う」が28.2ポイント上回っている。

全体 n=785

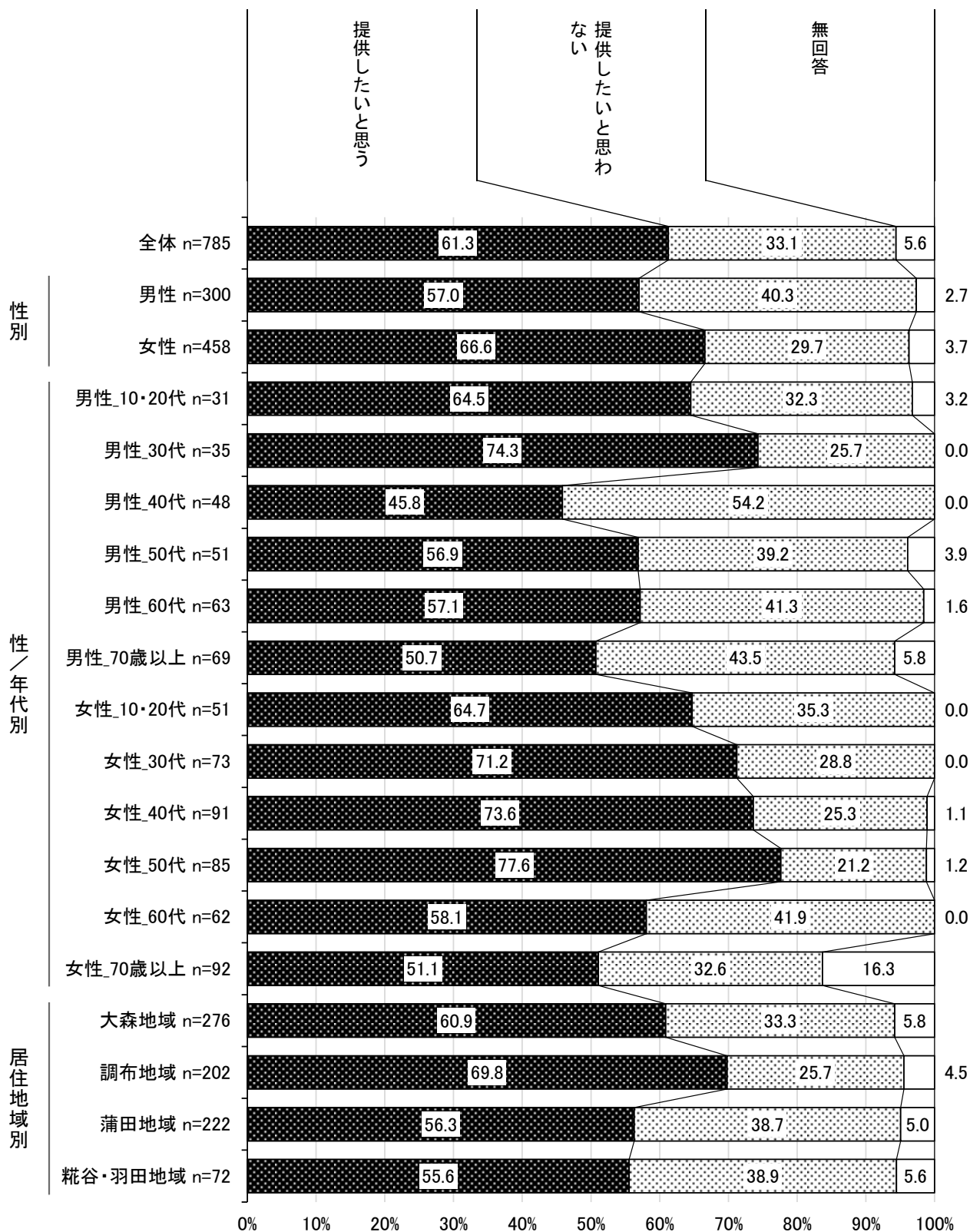


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「提供したいと思う」は男性が57.0%、女性が66.6%と、女性が9.6ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「提供したいと思う」は男性では30代で7割半ば、女性では50代で8割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「提供したいと思う」は調布地域で約7割と高くなっている。



## 14 環境問題について

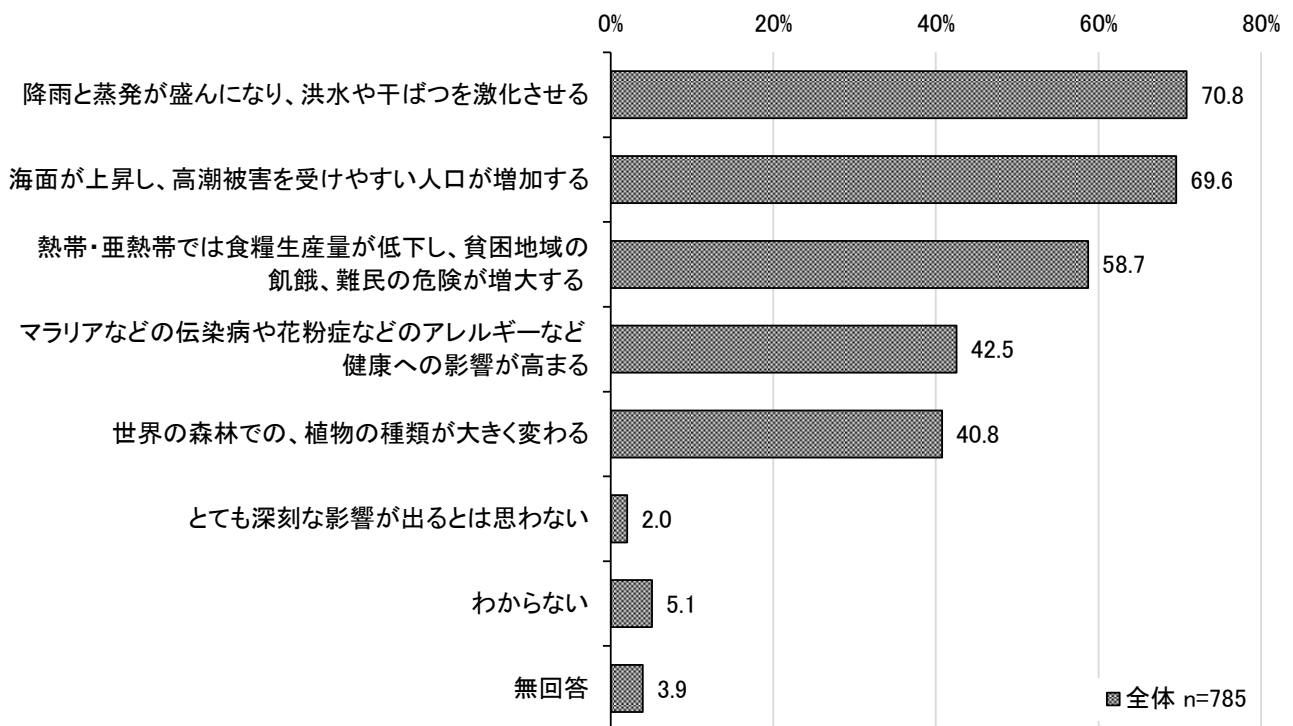
### (1) 地球温暖化の問題意識

◇「降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる」、「海面が上昇し、高潮被害を受けやすい人口が増加する」が約7割となっている

**問 30 地球温暖化によって、自然界や人間生活に様々な影響が出ることが予測されています。あなたはどのようなことが問題であると考えますか。(いくつでも)**

地球温暖化の問題意識については、「降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる」が70.8%で最も高く、次いで「海面が上昇し、高潮被害を受けやすい人口が増加する」が69.6%、「熱帯・亜熱帯では食糧生産量が低下し、貧困地域の飢餓、難民の危険が増大する」が58.7%となっている。

なお、「とても深刻な影響が出るとは思わない」は2.0%となっている。

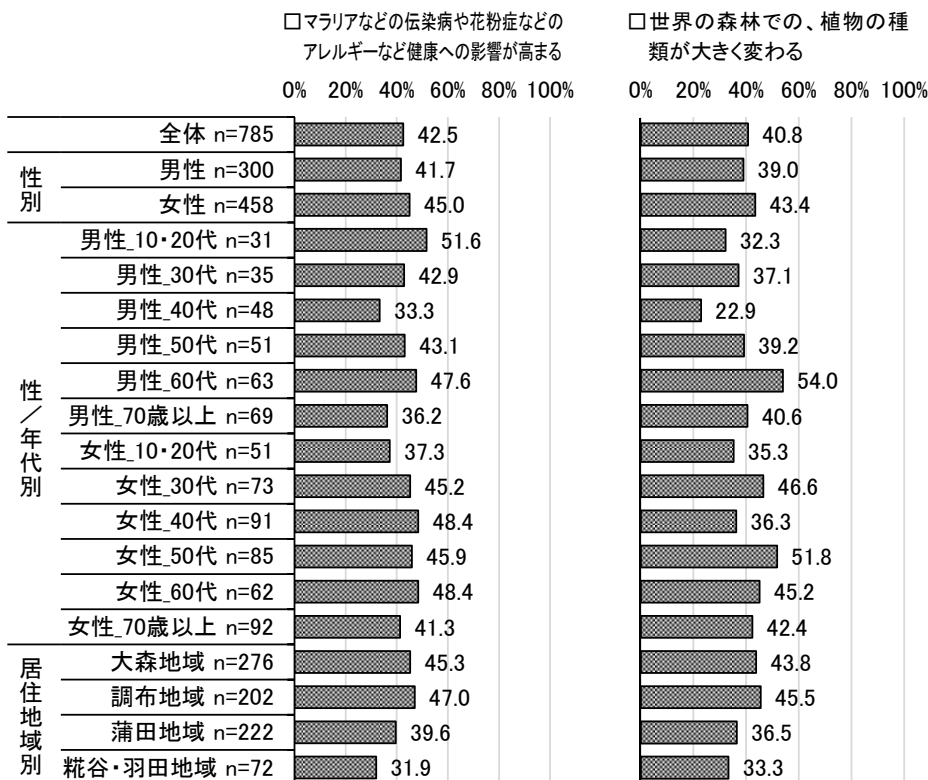
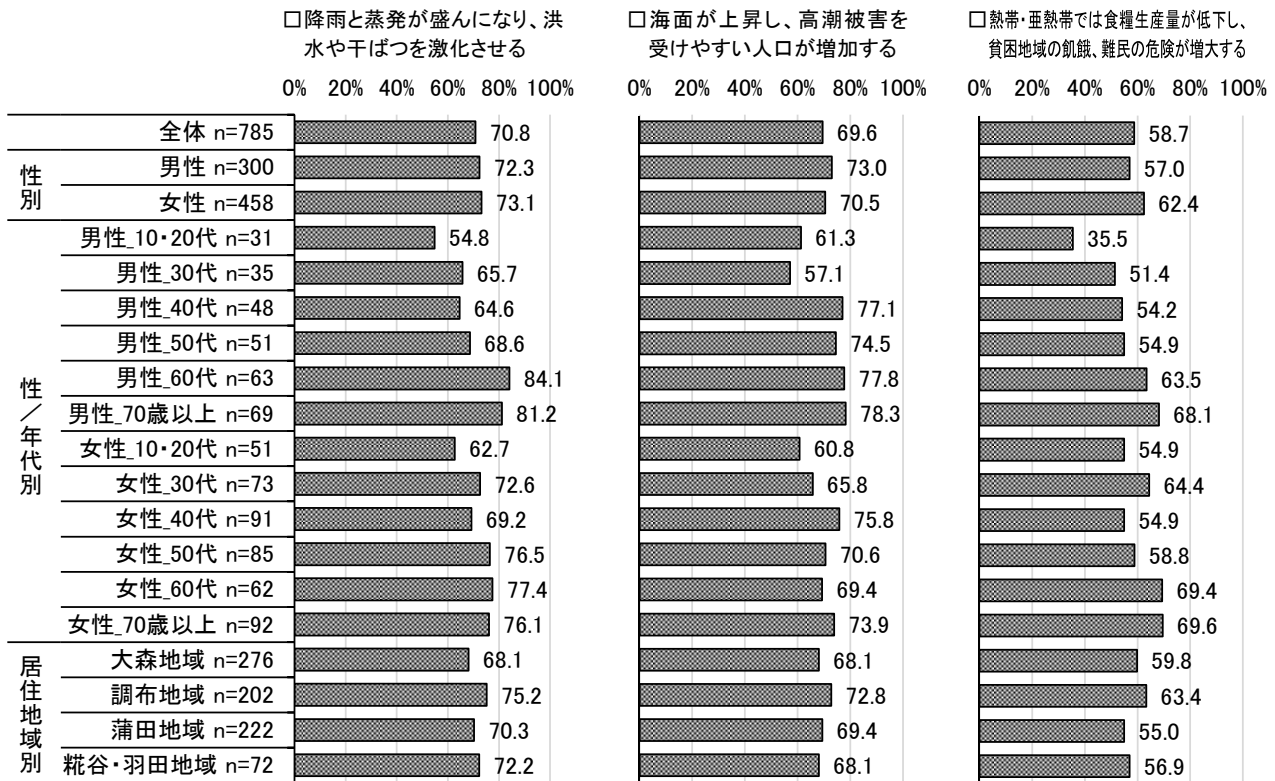


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「海面が上昇し、高潮被害を受けやすい人口が増加する」が最も高く、女性では「降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる」は男性60代、男性70歳以上で8割台と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる」が最も高く、調布地域で7割半ばとなっている。



### **Ⅲ 18 歳以上の区民の方が対象**

～ デジタル化・まちづくり・住まいの分野など ～





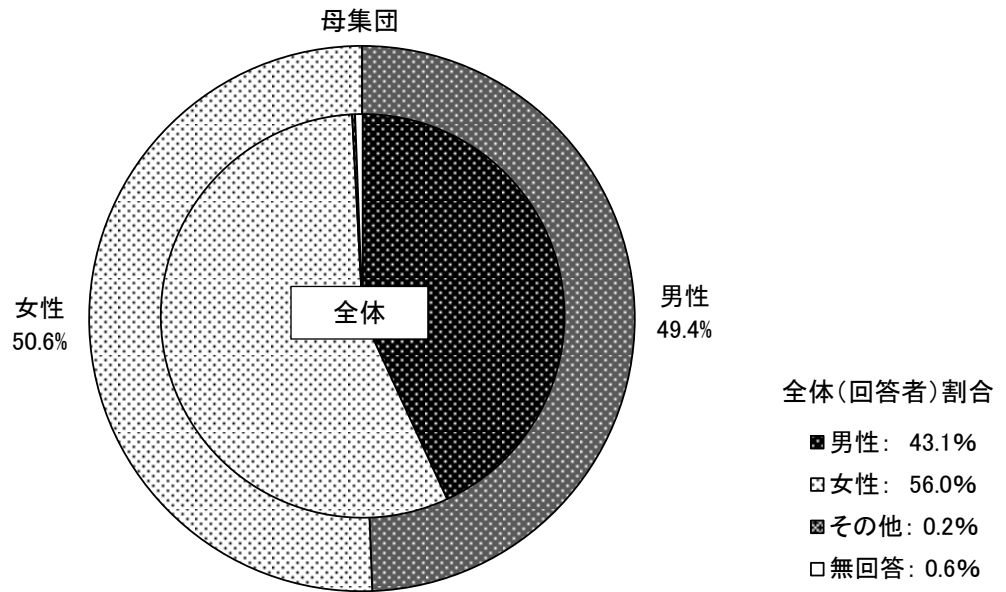
# 1 回答者の属性について

## (1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=635, 100) 令和 4 年 1 月 1 日現在

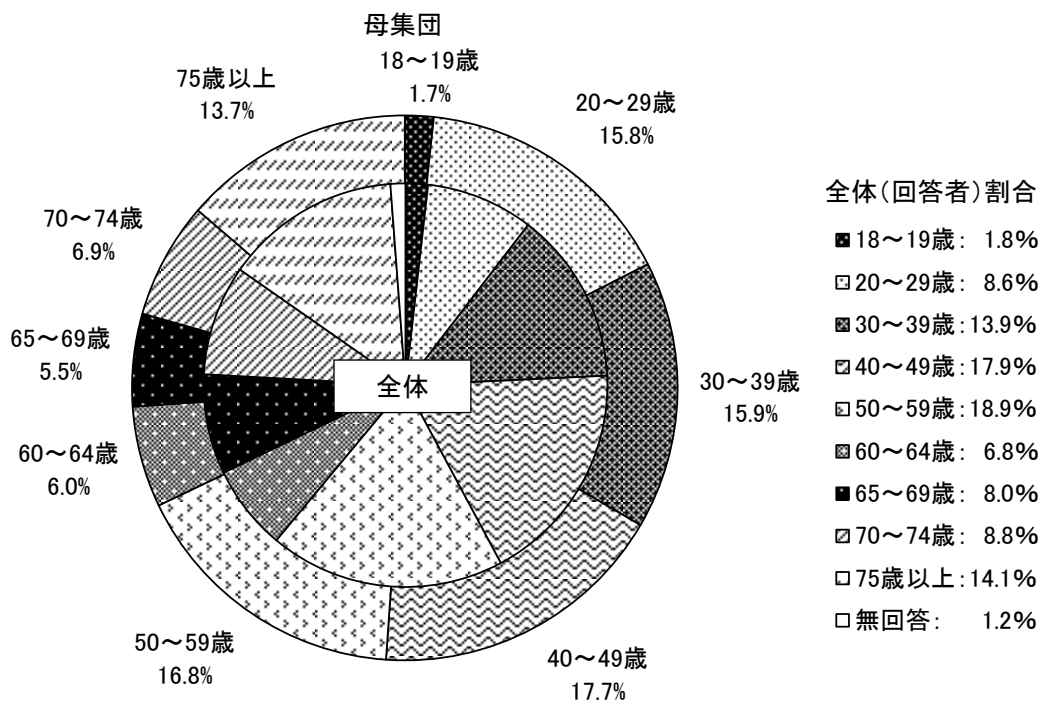
全 体：有効回収数 (n=837)

全体 n=837



## (2) 年齢

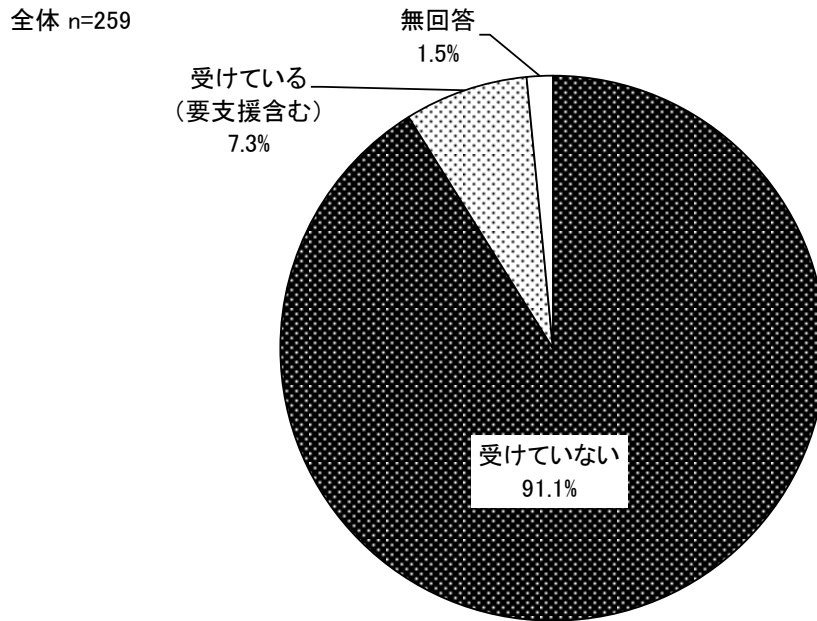
全体 n=837



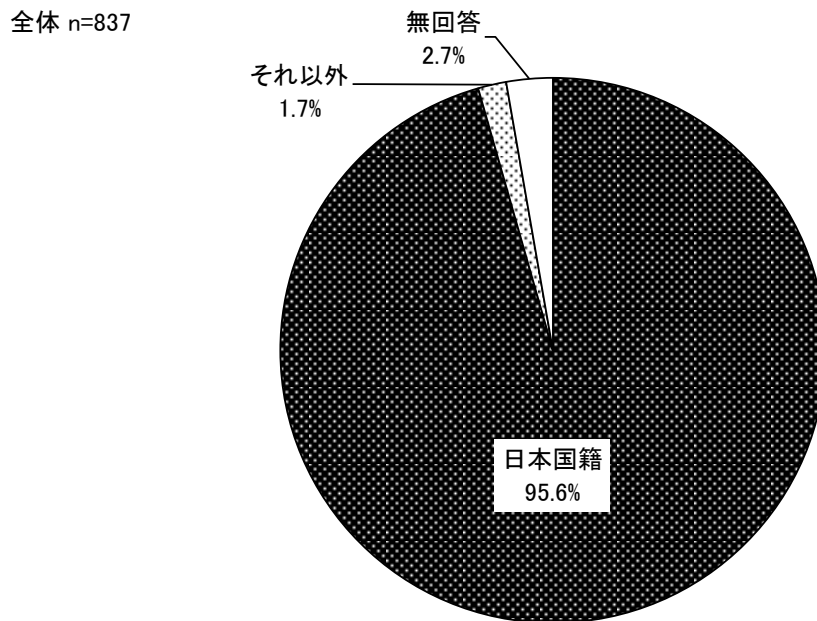
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 4 年 1 月 1 日現在

### (3) 要介護認定の状況

#### 【65歳以上の方】



### (4) 国籍

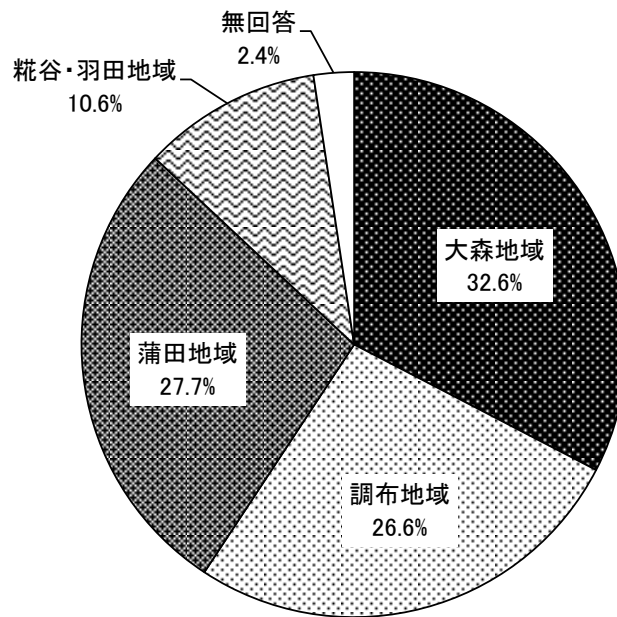


#### ■ 日本国籍以外

|    | 中国 | アメリカ | ロシア | 韓国 | 朝鮮 | ブラジル | フランス | 無回答 |
|----|----|------|-----|----|----|------|------|-----|
| 人数 | 5  | 2    | 2   | 1  | 1  | 1    | 1    | 1   |

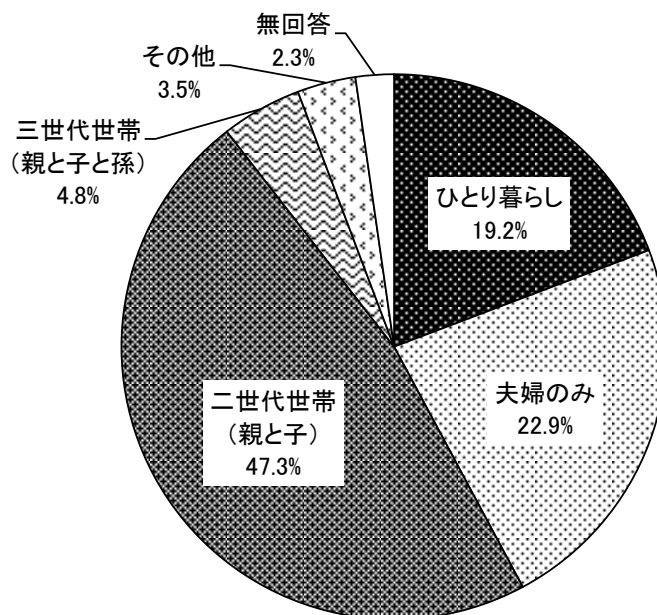
### (5) 居住地域

全体 n=837

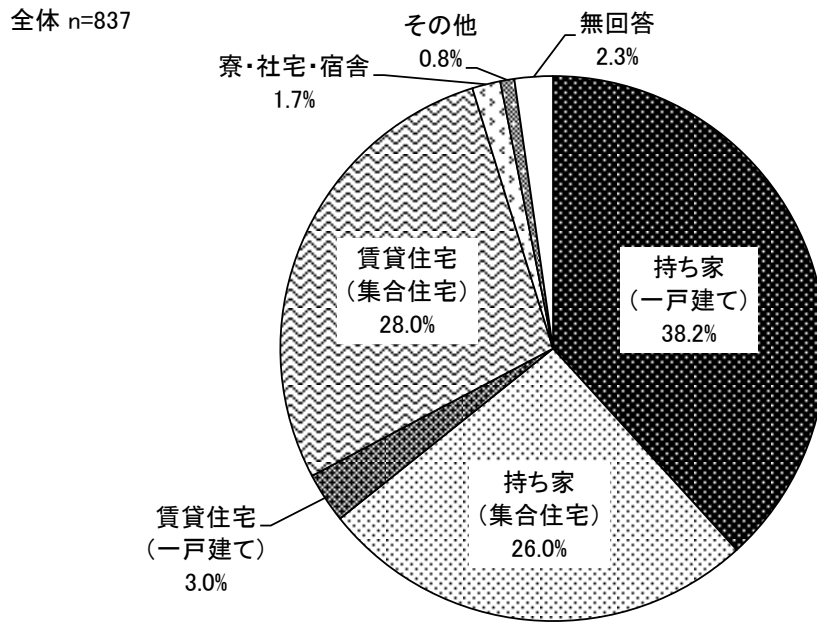


### (6) 家族構成

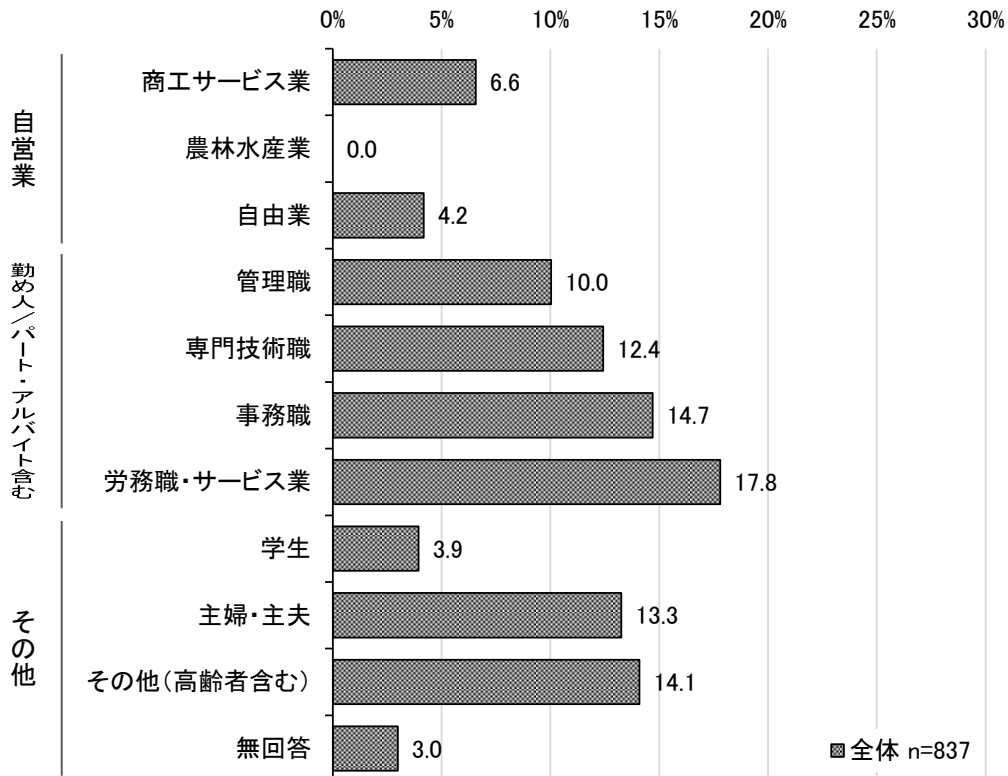
全体 n=837



### (7) 住まいの種類

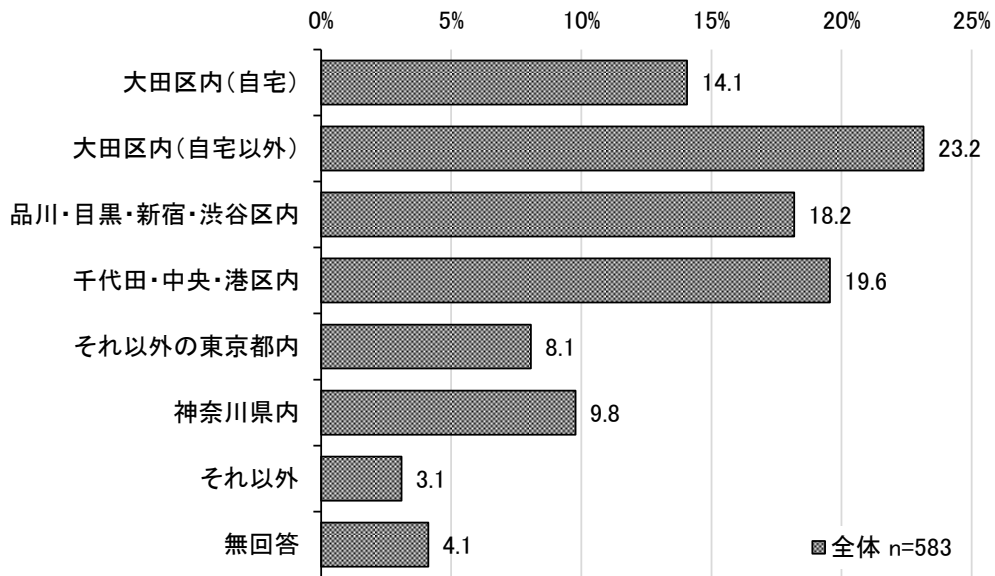


### (8) 職業

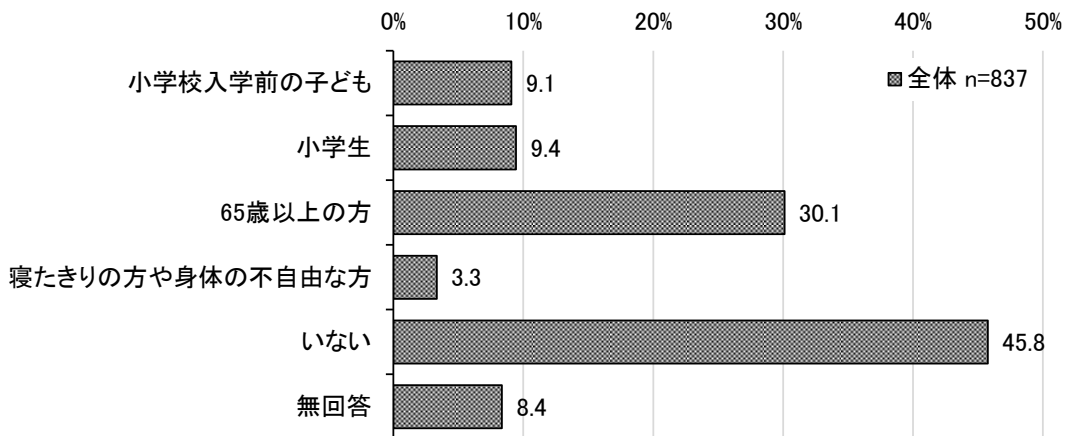


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

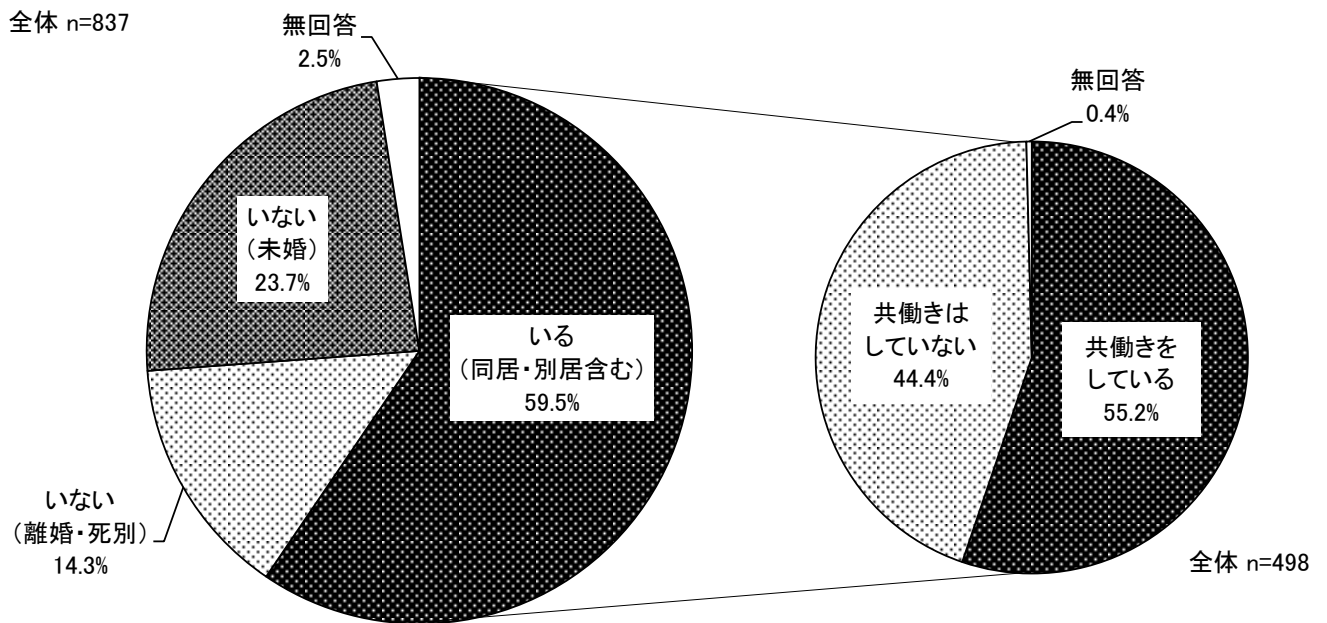


(10) 同居家族

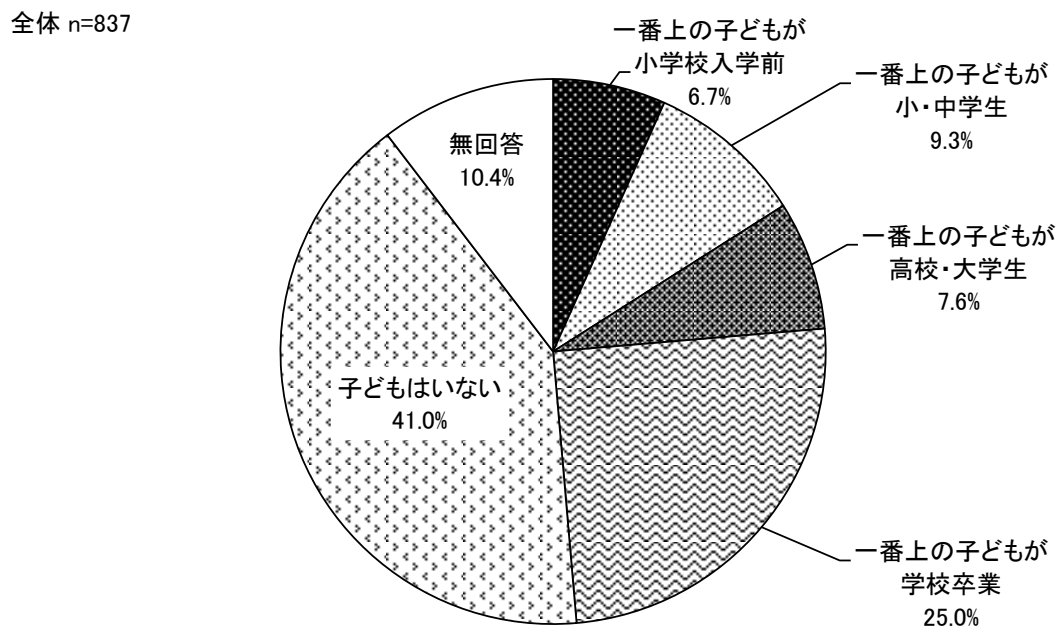


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

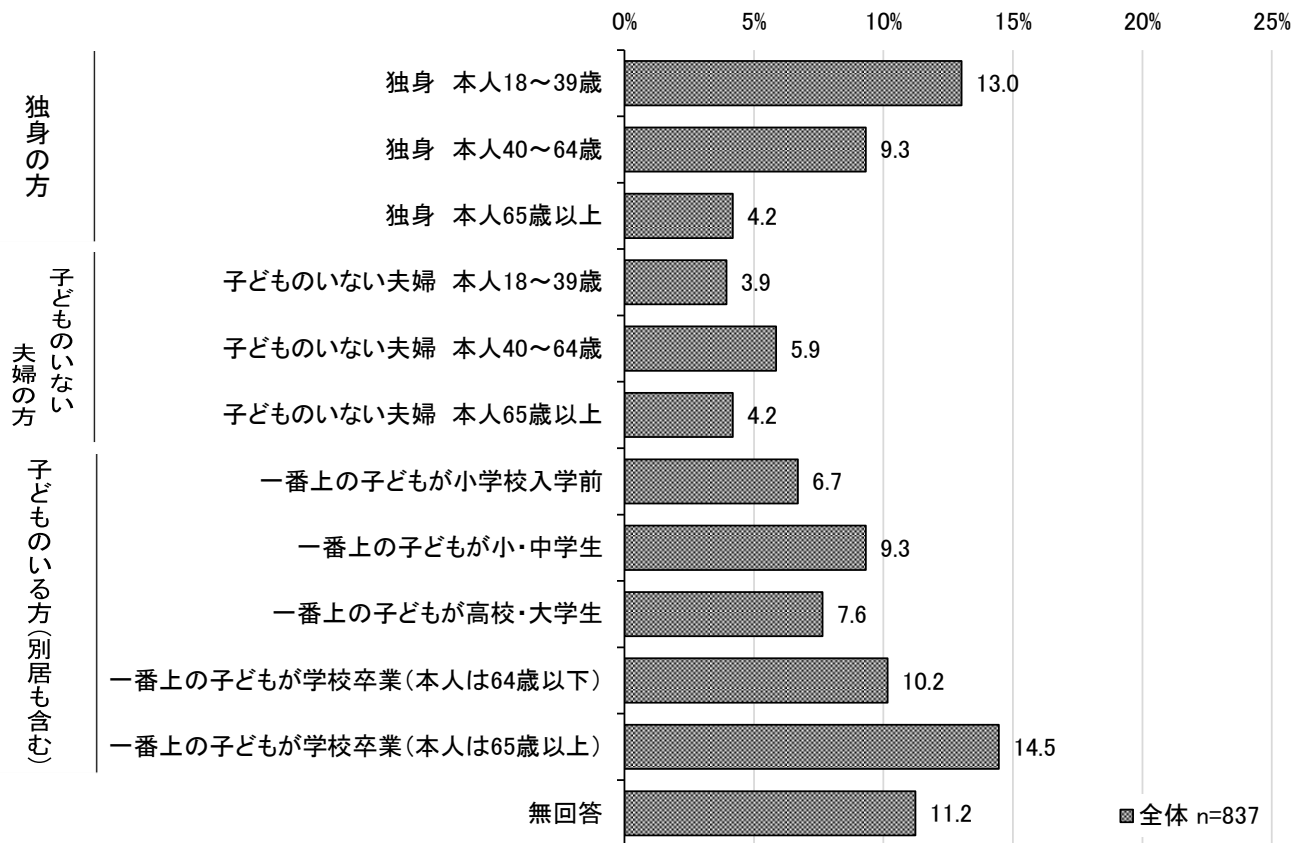
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



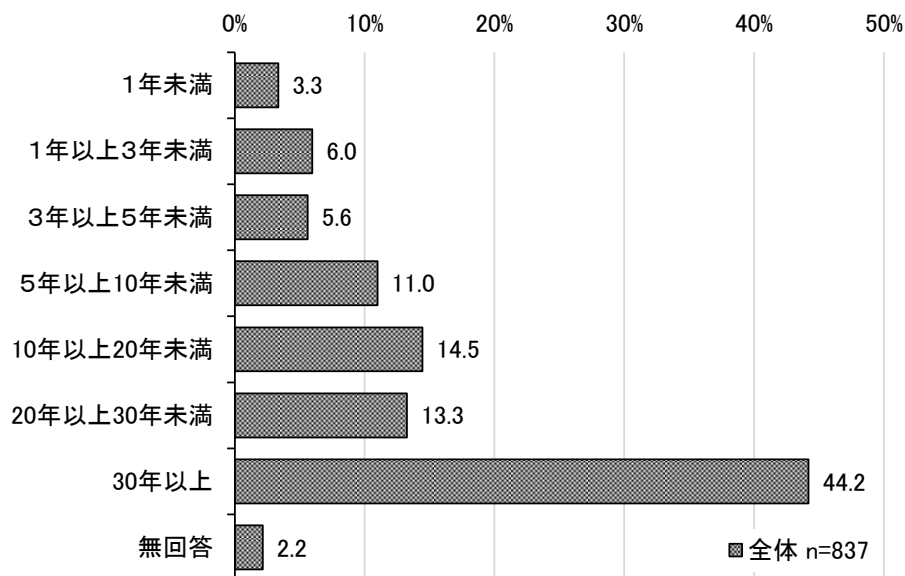
(13) 子どもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



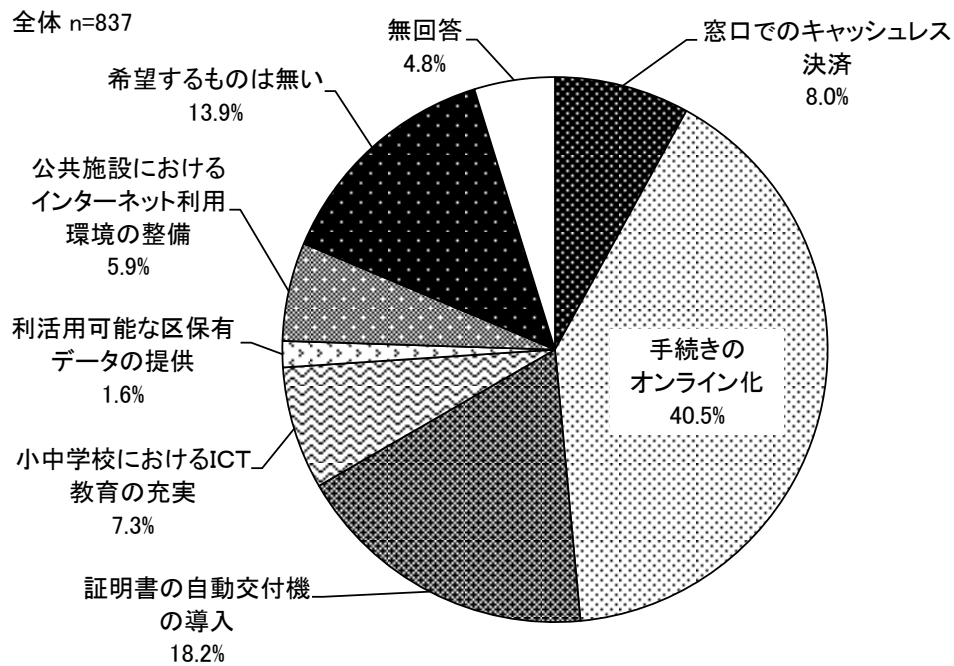
## 2 デジタル化について

### (1) 区民サービスのデジタル化への希望

◇「手続きのオンライン化」が約4割で最も高くなっている

#### 問1 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものは何ですか。(1つのみ)

区民サービスのデジタル化への希望については、「手続きのオンライン化」が40.5%で最も高く、次いで「証明書の自動交付機の導入」が18.2%、「希望するものは無い」が13.9%となっている。



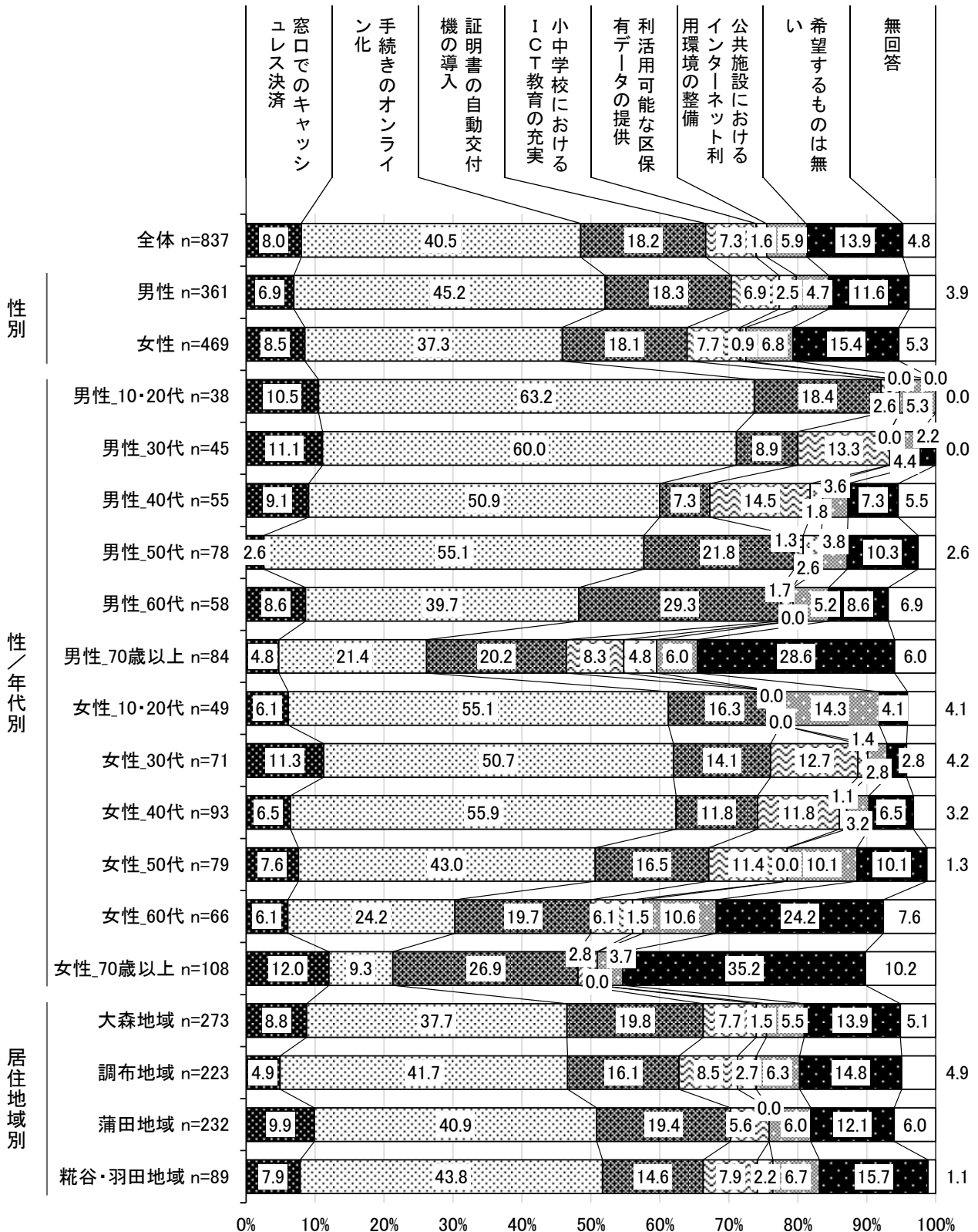


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「手続きのオンライン化」は男性が45.2%、女性が37.3%と、男性が7.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「手続きのオンライン化」は男性では年代が下がるにつれて増加傾向であり、10・20代で6割前半となっている。女性では10・20代から40代で5割台となっている。

居住地域別でみると、「手続きのオンライン化」は調布地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域で4割台となっている。

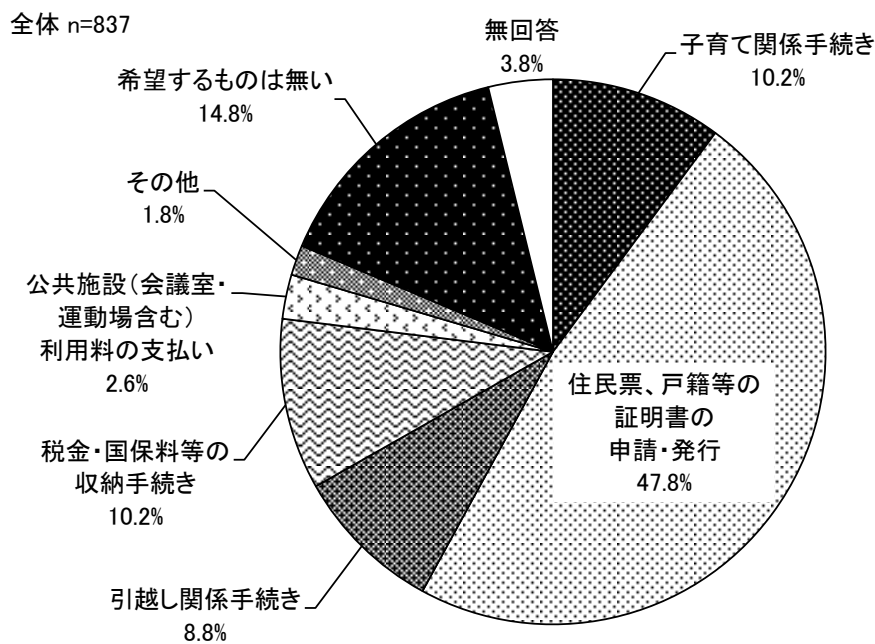


## (2) オンライン化を希望する行政手続き

◇「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」が5割弱で最も高くなっている

### 問2 行政手続きの中で最もオンライン化を希望するものは何ですか。(1つのみ)

オンライン化を希望する行政手続きについては、「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」が47.8%で最も高く、次いで「希望するものは無い」が14.8%、「子育て関係手続き」、「税金・国保料等の収納手続き」がともに10.2%となっている。

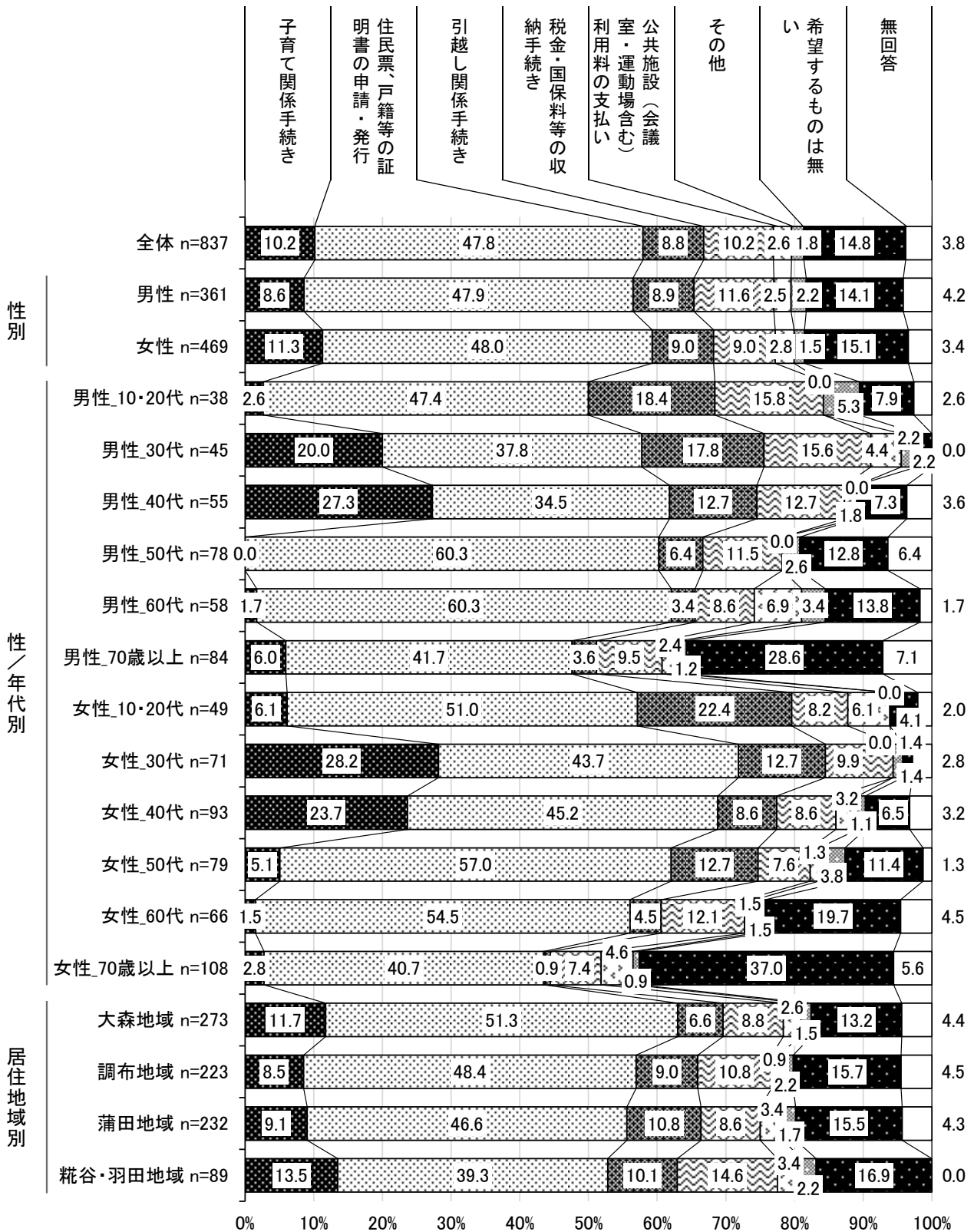


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」は男性では50代、60代で約6割、女性では10・20代、50代、60代で5割台となっている。

居住地域別で見ると、「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」は大森地域で5割前半と高くなっている。

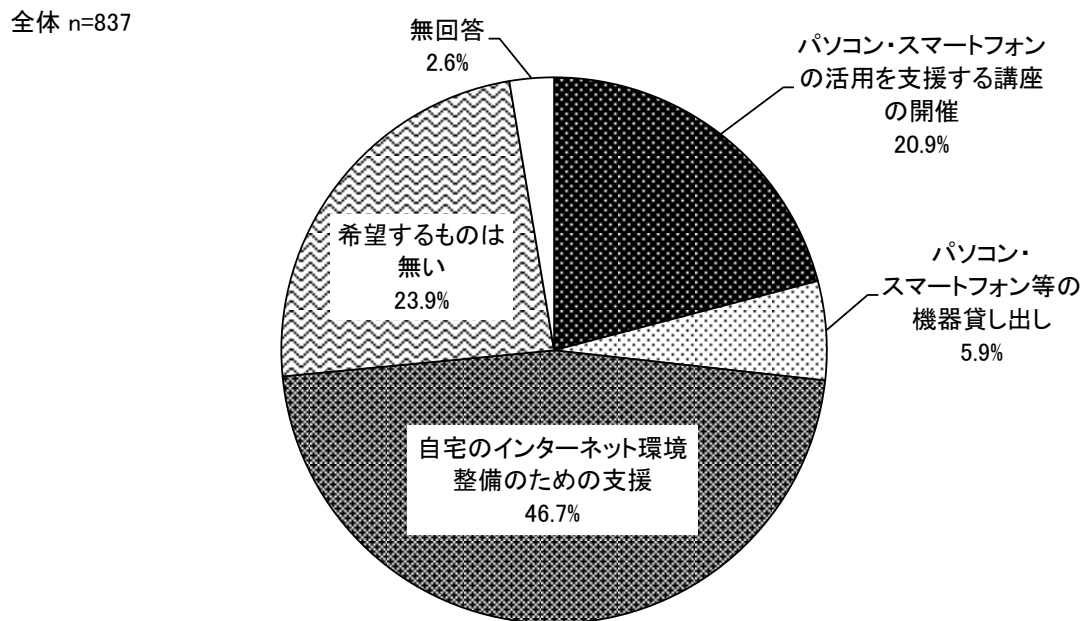


### (3) 「地域社会のデジタル化」への希望

◇「自宅のインターネット環境整備のための支援」が5割弱で最も高くなっている

**問3 国が今後進めていくとしている「地域社会のデジタル化」にあたり、最も支援・配慮を希望するものは何ですか。(1つのみ)**

“地域社会のデジタル化”への希望については、「自宅のインターネット環境整備のための支援」が46.7%で最も高く、次いで「希望するものは無い」が23.9%、「パソコン・スマートフォンの活用を支援する講座の開催」が20.9%となっている。

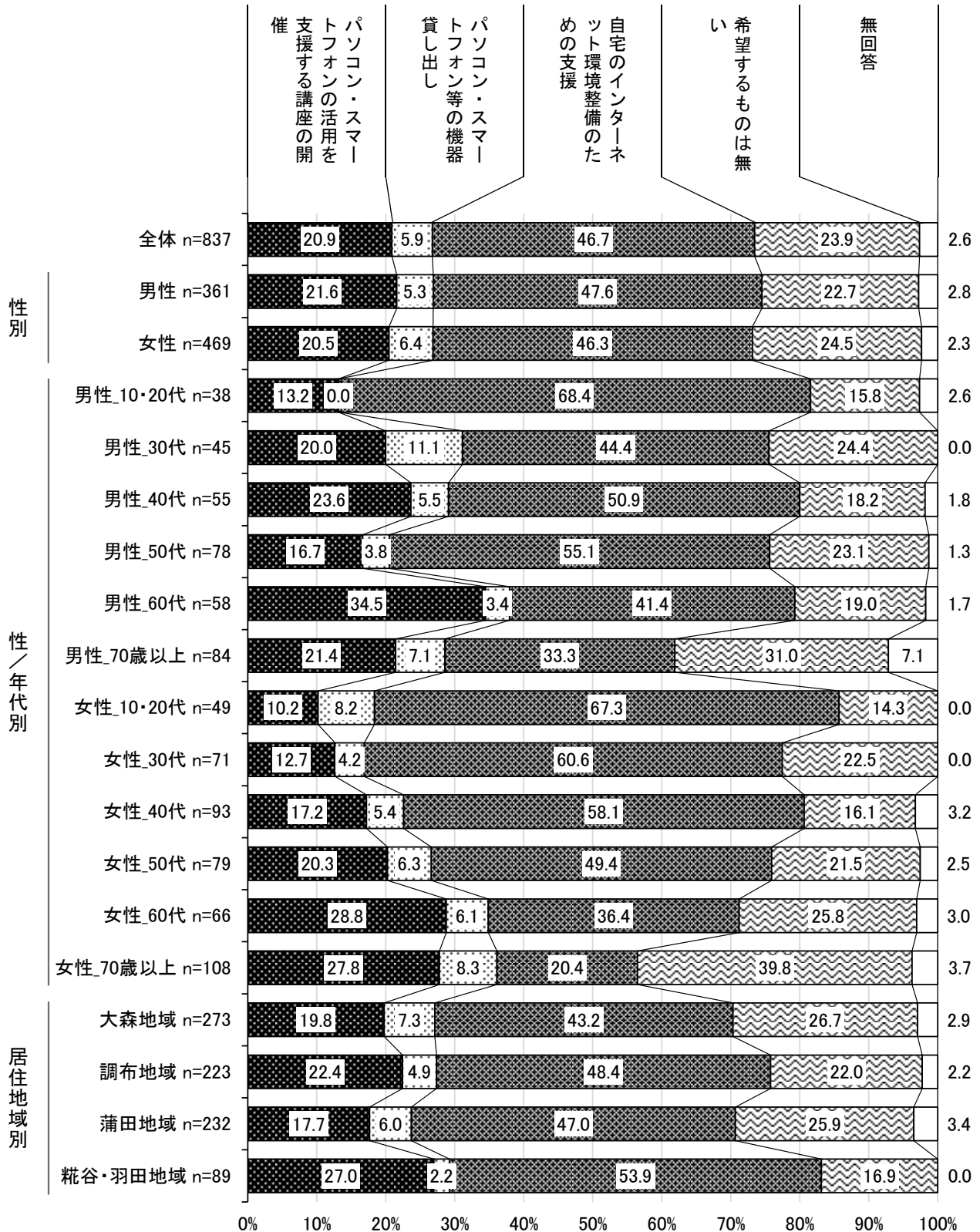


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「自宅のインターネット環境整備のための支援」は男性では10・20代で7割弱と高くなっている。女性では年代が下がるにつれて増加傾向であり、10・20代で7割弱となっている。

居住地域別でみると、「自宅のインターネット環境整備のための支援」は糞谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



### 3 商店街について

#### (1) 普段の買い物で利用する業態及び理由

◇食料品、日用雑貨：近所のスーパーマーケットを利用する割合が高い

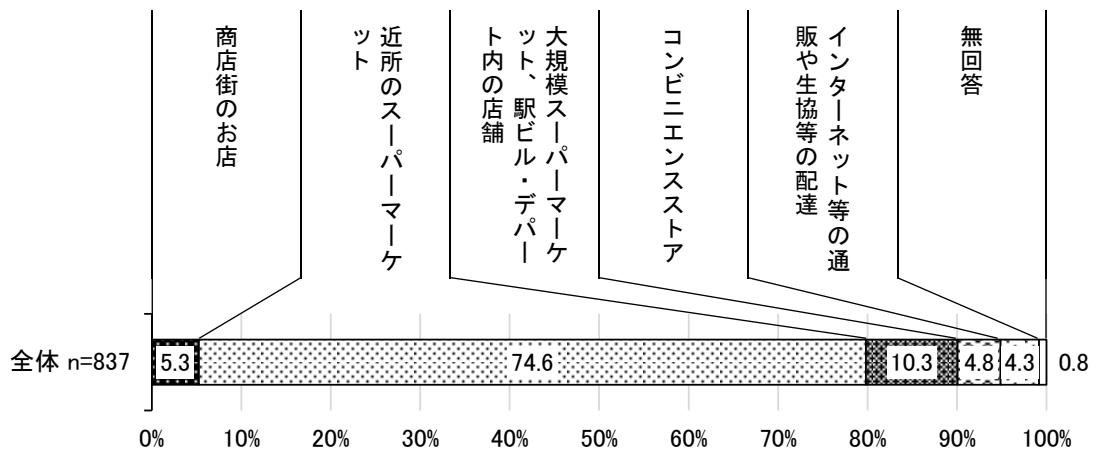
◇衣類：大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗を利用する割合が高い

**問4 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。**

**項目ごとに最も多く利用する「①業態」と、「②その理由」を、選択肢の中からそれぞれ1つを選んで、四角の中に数字とアルファベットを記入してください。(それぞれ1つのみ)**

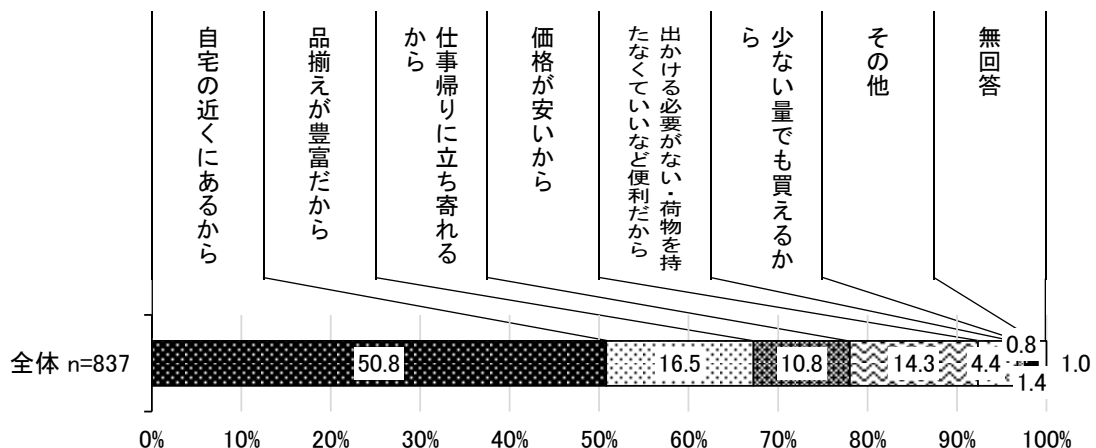
##### ■食料品【業態】

食料品を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が74.6%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が10.3%、「商店街のお店」が5.3%となっている。



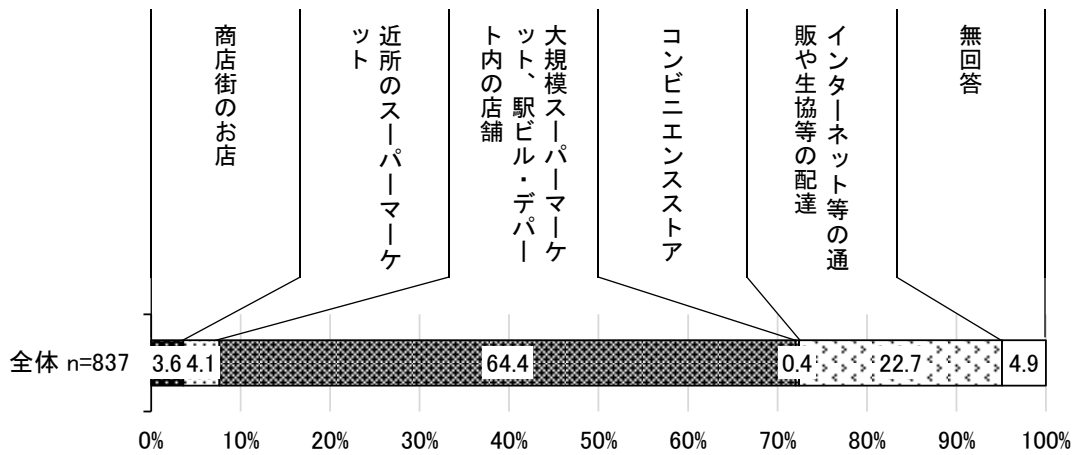
##### ■食料品【理由】

食料品を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が50.8%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が16.5%、「価格が安いから」が14.3%となっている。



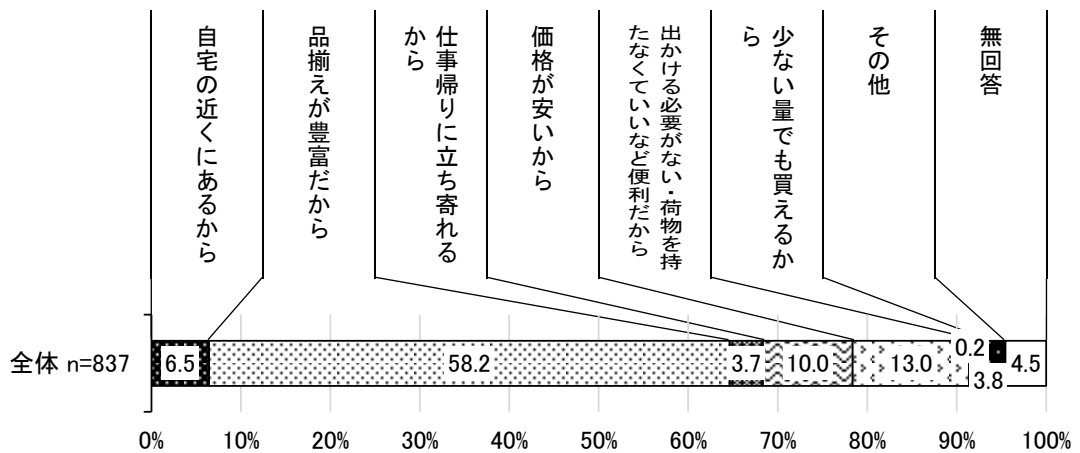
■衣類【業態】

衣類を購入するお店の業態については、「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が64.4%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」が22.7%、「近所のスーパーマーケット」が4.1%となっている。



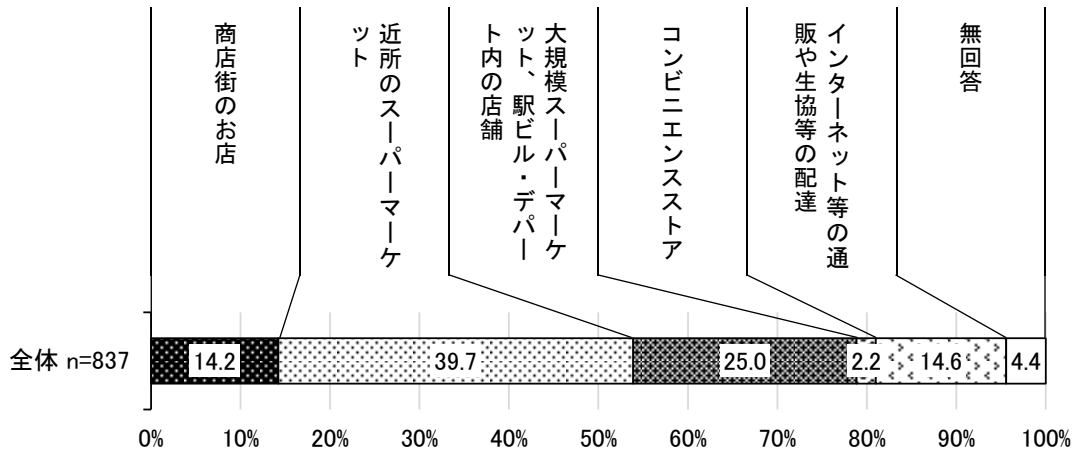
■衣類【理由】

衣類を購入するお店を選ぶ理由については、「品揃えが豊富だから」が58.2%で最も高く、次いで「出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから」が13.0%、「価格が安いから」が10.0%となっている。



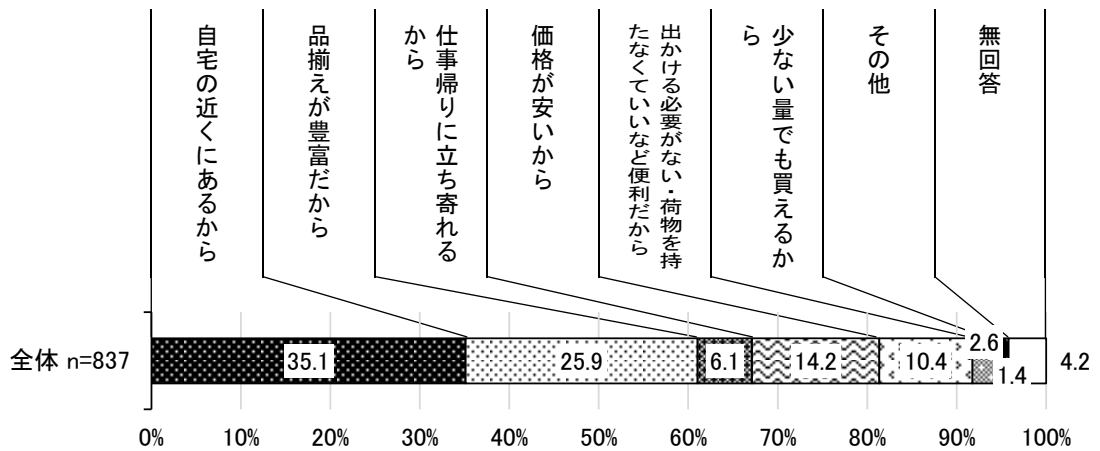
■ 日用雑貨【業態】

日用雑貨を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が39.7%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が25.0%、「インターネット等の通販や生協等の配達」が14.6%となっている。



■ 日用雑貨【理由】

日用雑貨を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が35.1%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が25.9%、「価格が安いから」が14.2%となっている。



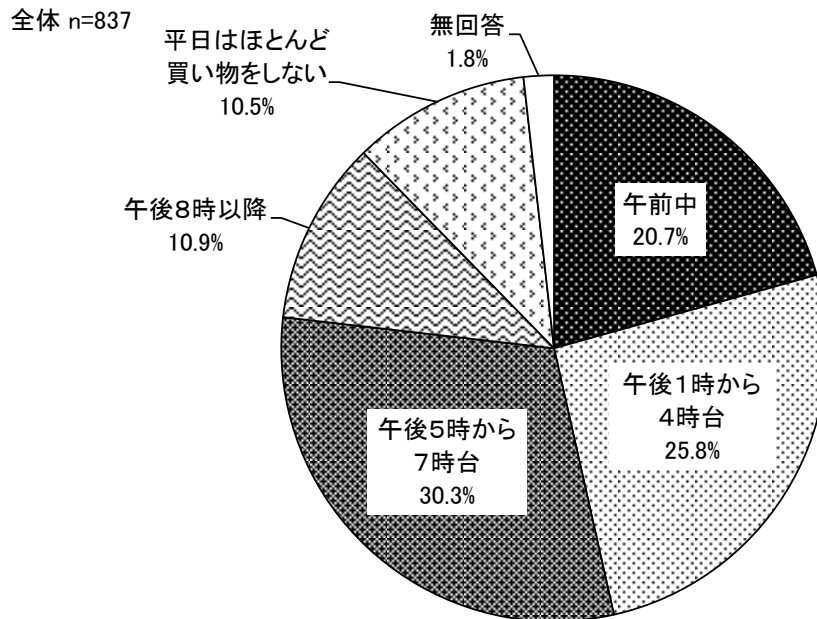


## (2) 買い物をする時間帯

◇「午後5時から7時台」が約3割で最も高くなっている

### 問5 平日に食料品や日用品の買い物をする主な時間帯はどれですか。(1つのみ)

買い物をする時間帯については、「午後5時から7時台」が30.3%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」が25.8%、「午前中」が20.7%となっている。

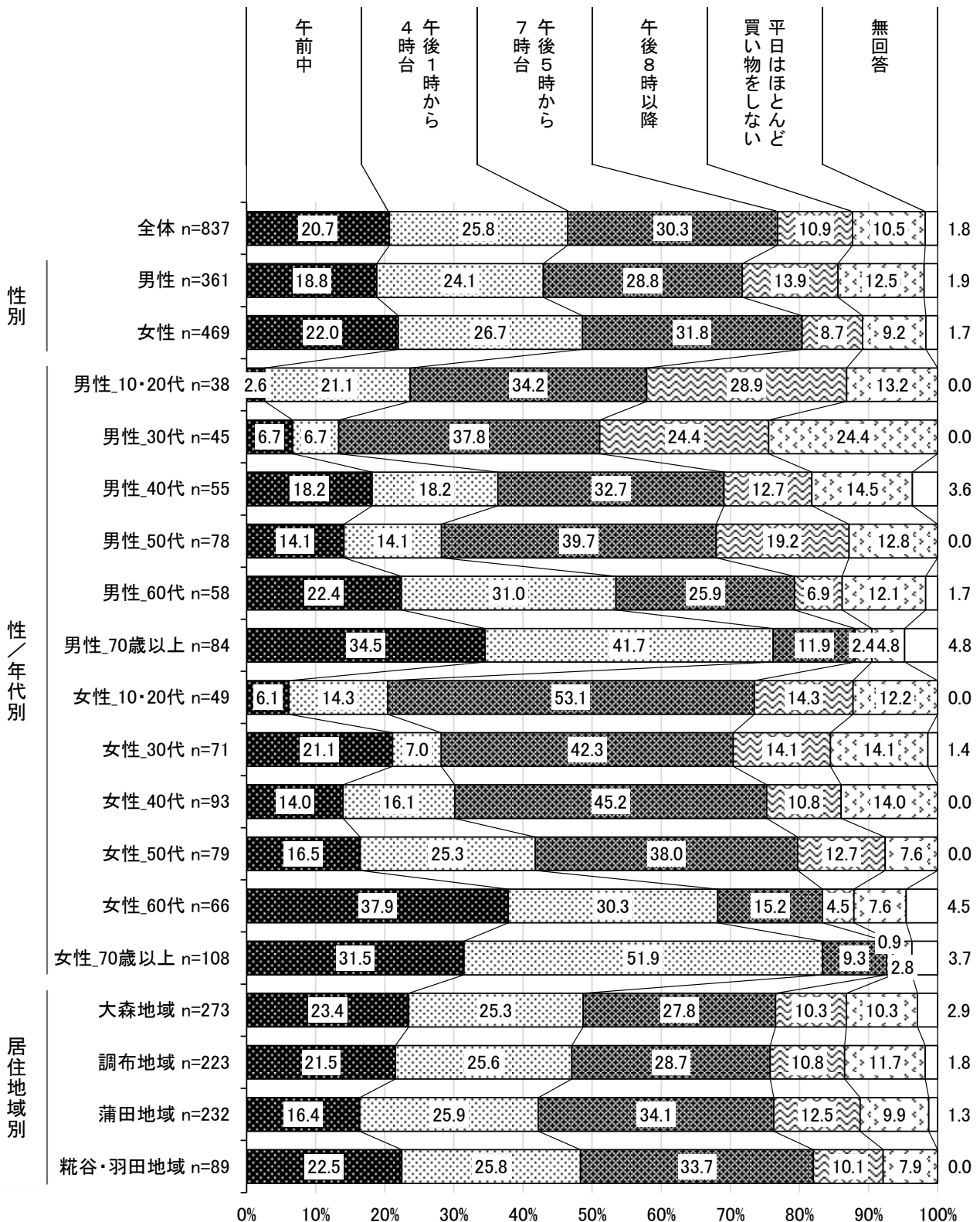


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「平日はほとんど買い物をしない」は男性が12.5%、女性が9.2%と、男性が3.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「午前中」は男性では年代が上がるにつれて増加傾向であり、70歳以上で3割半ばとなっている。「午後5時から7時台」は女性では年代が上がるにつれて減少傾向であり、70歳以上では1割未満となっている。

居住地域別でみると、「午後5時から7時台」は蒲田地域、糀谷・羽田地域で3割台となっている。



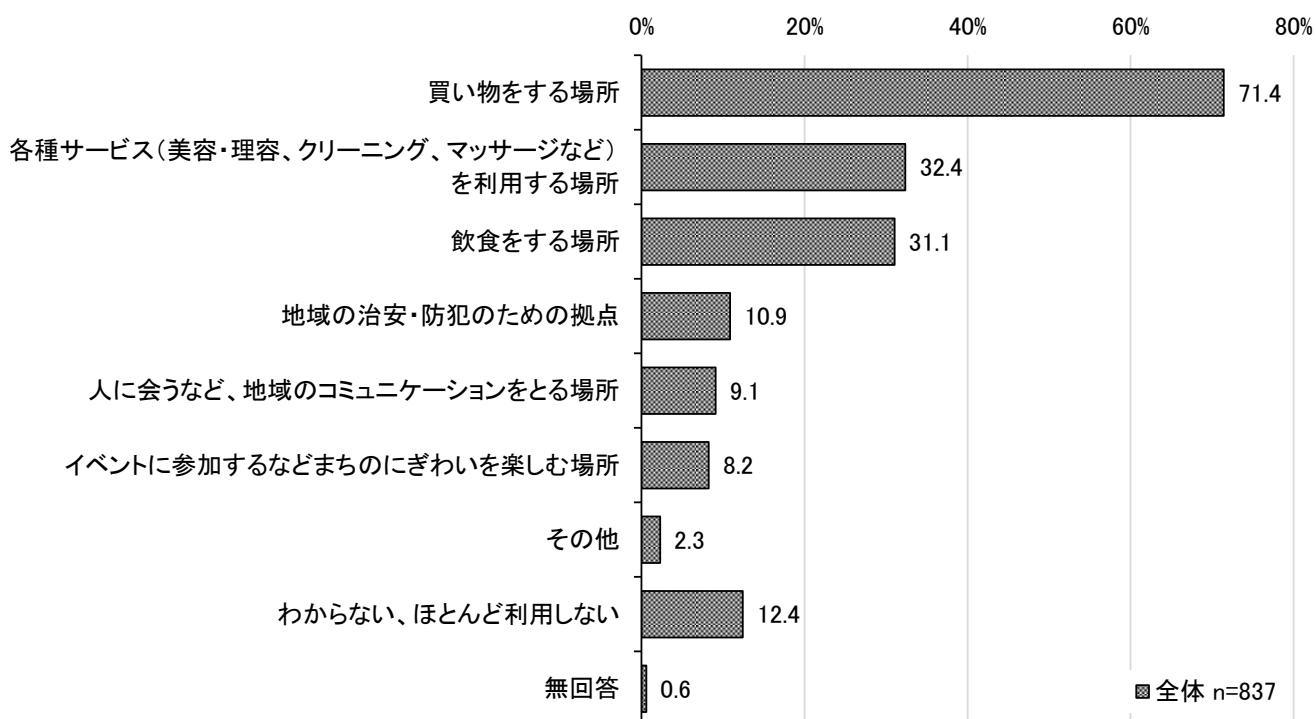
### (3) 商店街への印象

◇「買い物をする場所」が7割前半で最も高くなっている

#### 問6 あなたにとって、商店街はどのような場所ですか。(いくつでも)

商店街への印象については、「買い物をする場所」が71.4%で最も高く、次いで「各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所」が32.4%、「飲食をする場所」が31.1%となっている。

なお、「わからない、ほとんど利用しない」は12.4%となっている。

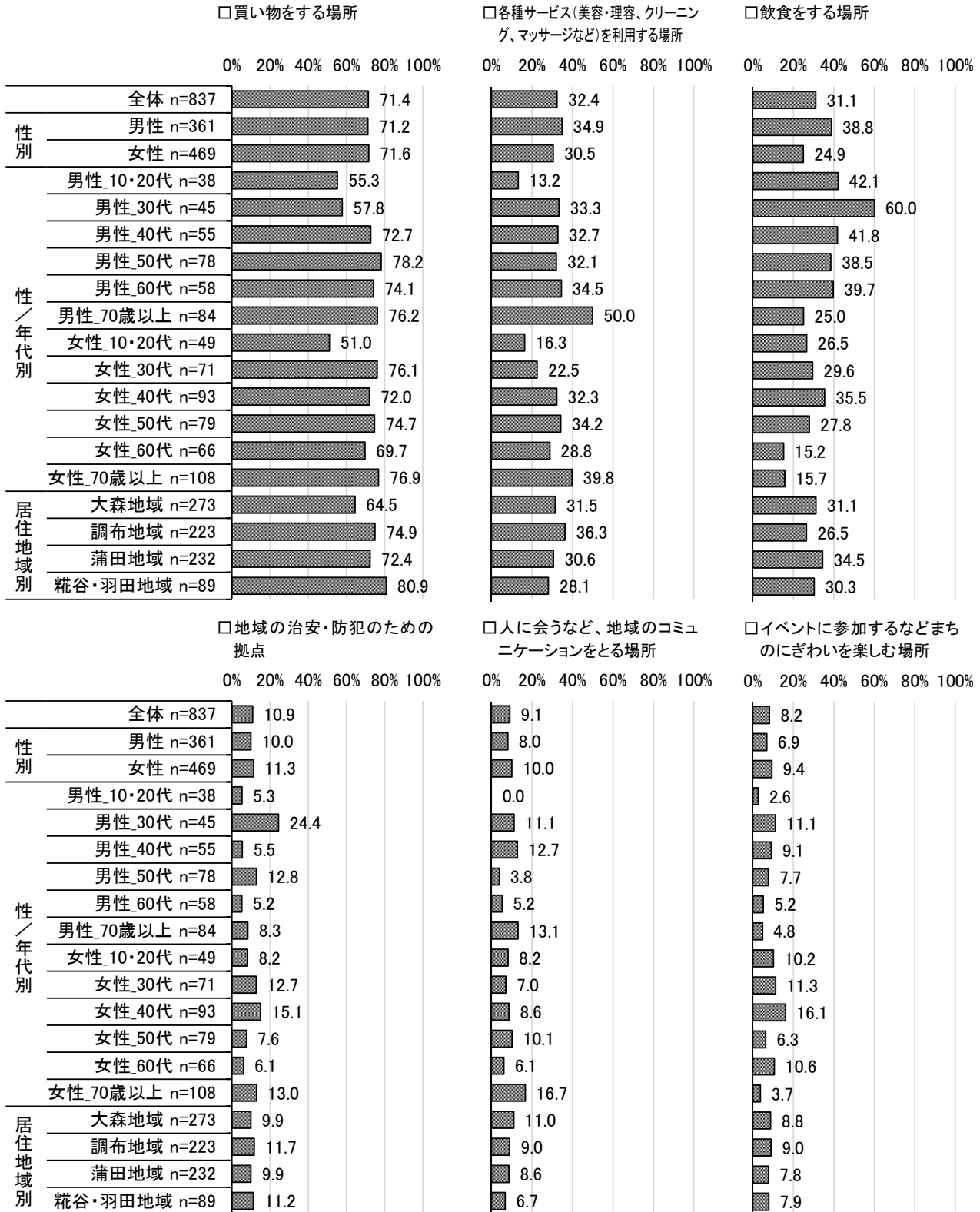


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「買い物をする場所」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、男性30代を除き「買い物をする場所」が最も高くなっている。「飲食をする場所」は男性30代で6割と高くなっている。「地域の治安・防犯のための拠点」は男性30代で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「買い物をする場所」が最も高く、糀谷・羽田地域で約8割と高くなっている。



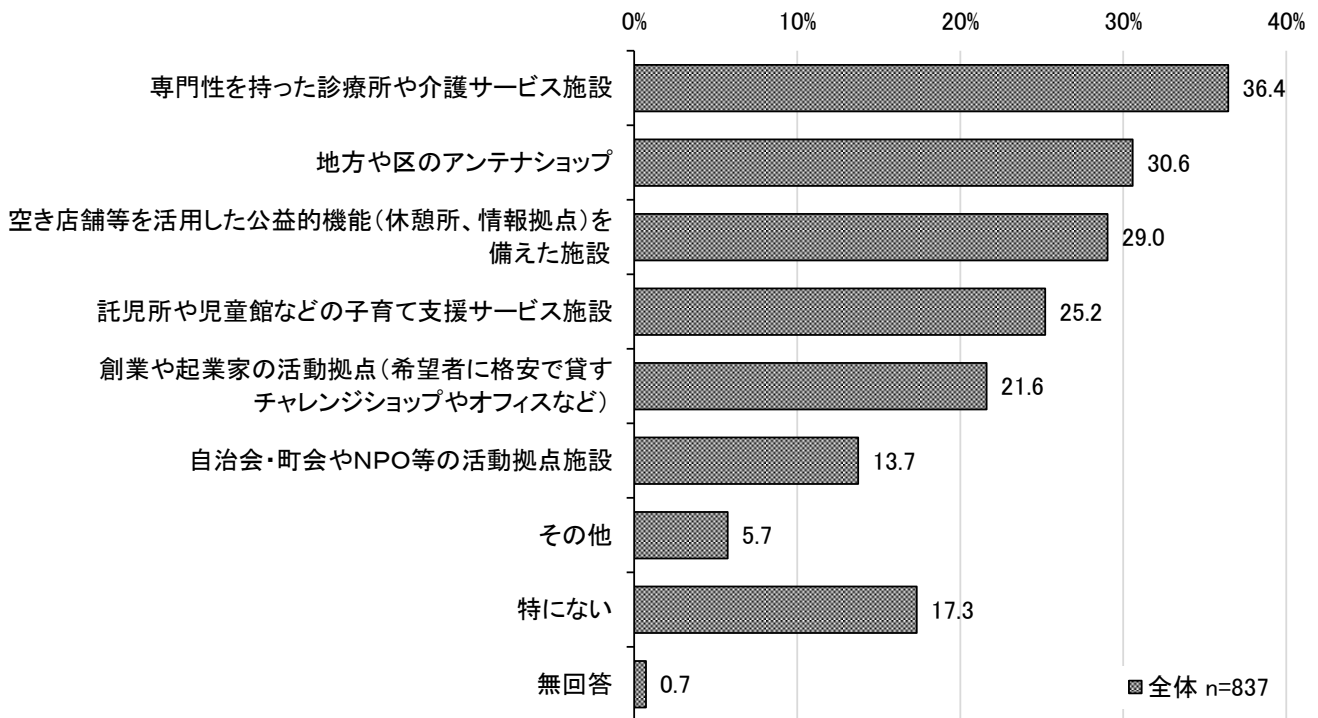
#### (4) 商店街に必要だと思う施設等

◇「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が4割弱で最も高くなっている

##### 問7 あなたが商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(いくつでも)

商店街に必要だと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が36.4%で最も高く、次いで「地方や区のアンテナショップ」が30.6%、「空き店舗等を活用した公益的機能(休憩所、情報拠点)を備えた施設」が29.0%となっている。

なお、「特にない」は17.3%となっている。

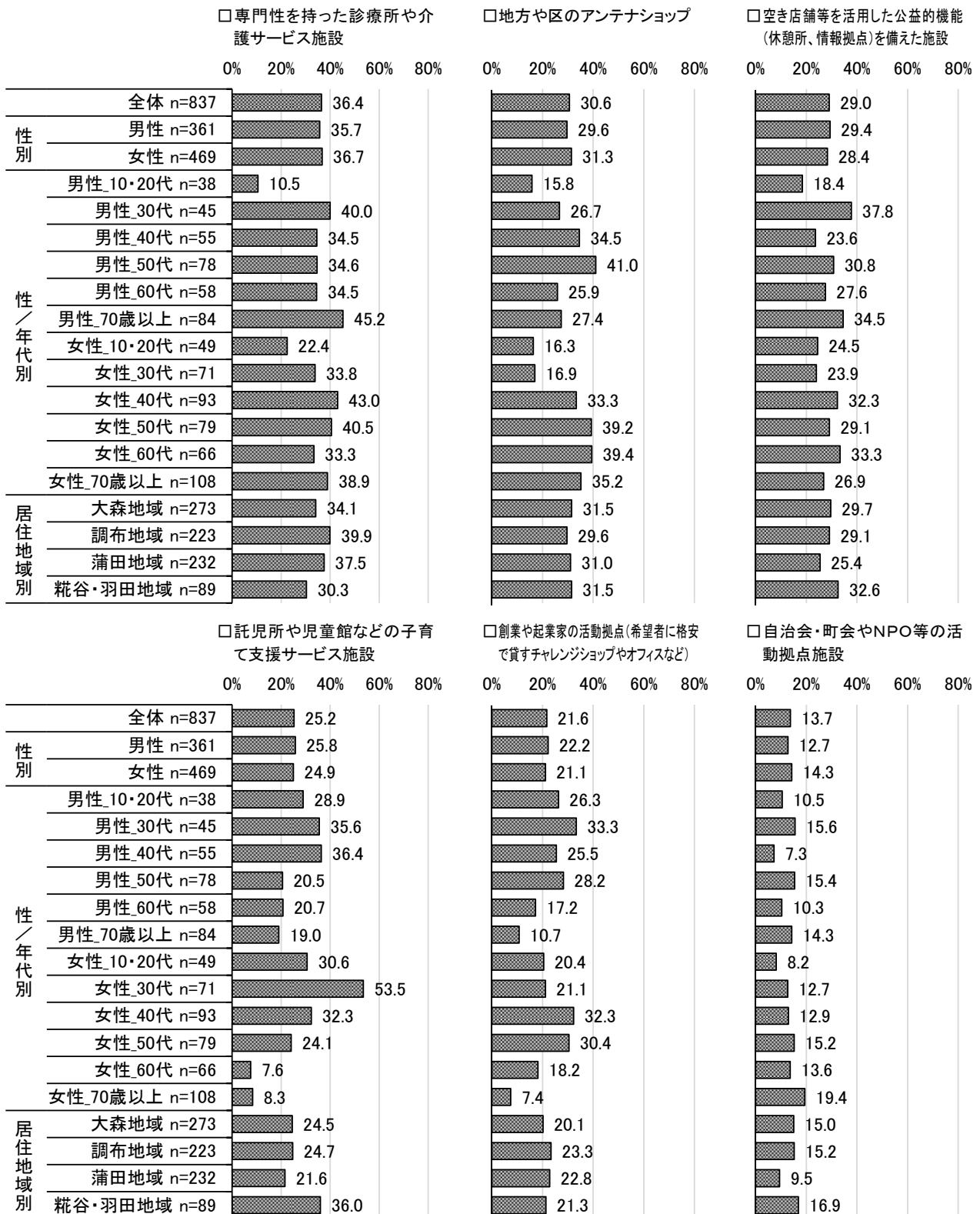


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」は男性では70歳以上で4割半ば、女性では40代で4割前半と高くなっている。「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」は女性30代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高く、糀谷・羽田地域では「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」が最も高くなっている。



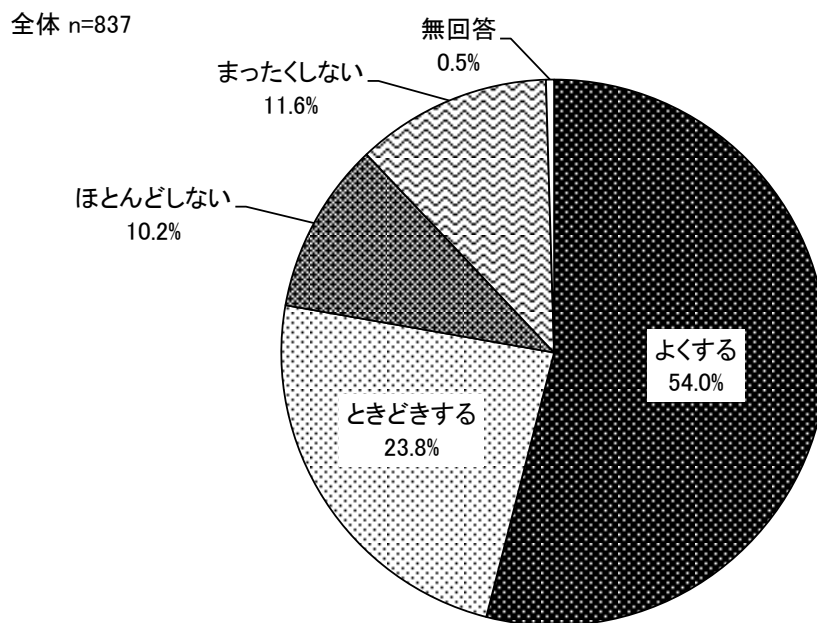
## 4 キャッシュレスについて

### (1) キャッシュレスでの支払い

◇「よくする」は5割前半となっている

**問8 あなたは普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払いをしていますか。（1つのみ）**

キャッシュレスでの支払いについては、「よくする」が54.0%で最も高く、次いで「ときどきする」が23.8%、「まったくしない」が11.6%となっている。

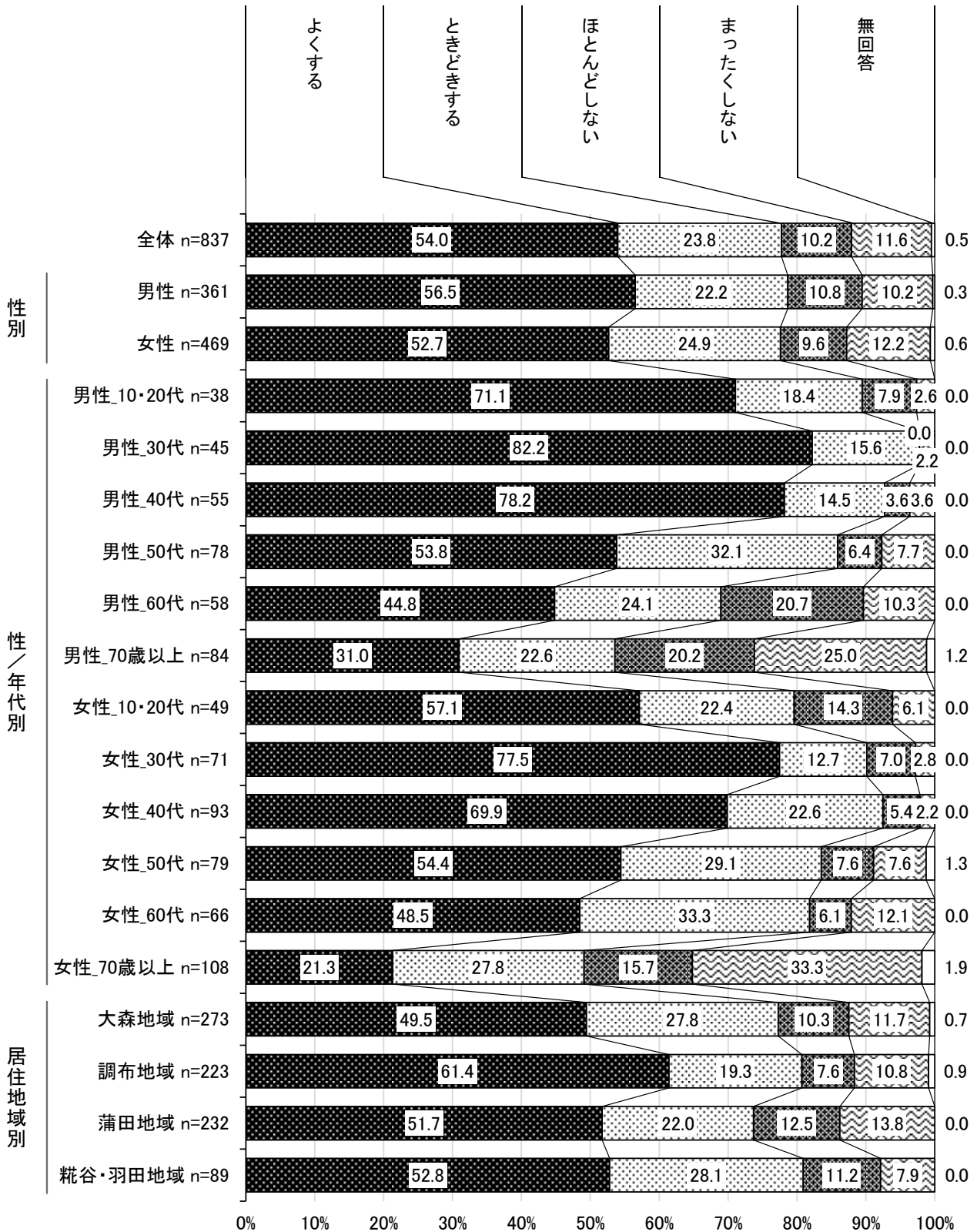


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よくする」は男性が56.5%、女性が52.7%と、男性が3.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よくする」は男性30代で8割前半、男性10・20代、男性40代、女性30代で7割台となっている。

居住地域別でみると、「よくする」は調布地域で6割前半と高くなっている。





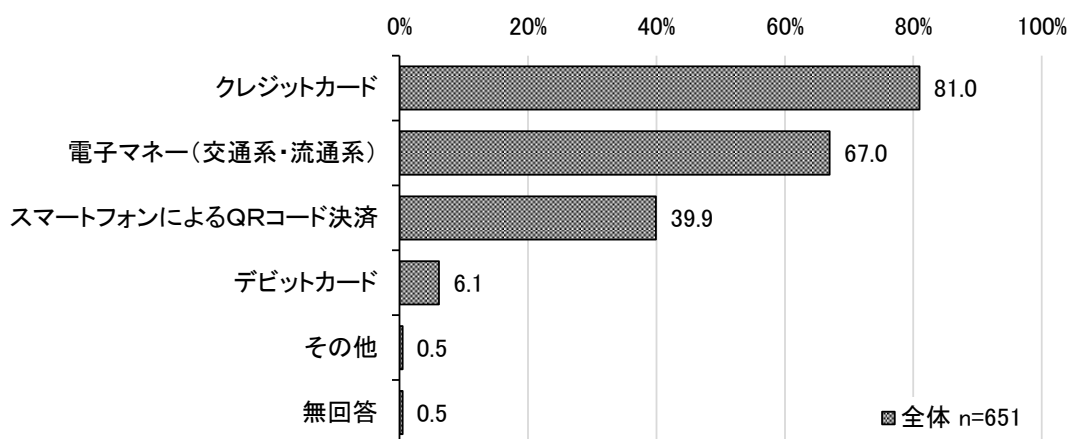
## (2) キャッシュレスの支払いで利用している手段

◇「クレジットカード」が約8割となっている

【問8で「よくする」「ときどきする」と回答した方に伺います。】

### 問8-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が81.0%で最も高く、次いで「電子マネー(交通系・流通系)」が67.0%、「スマートフォンによるQRコード決済」が39.9%となっている。

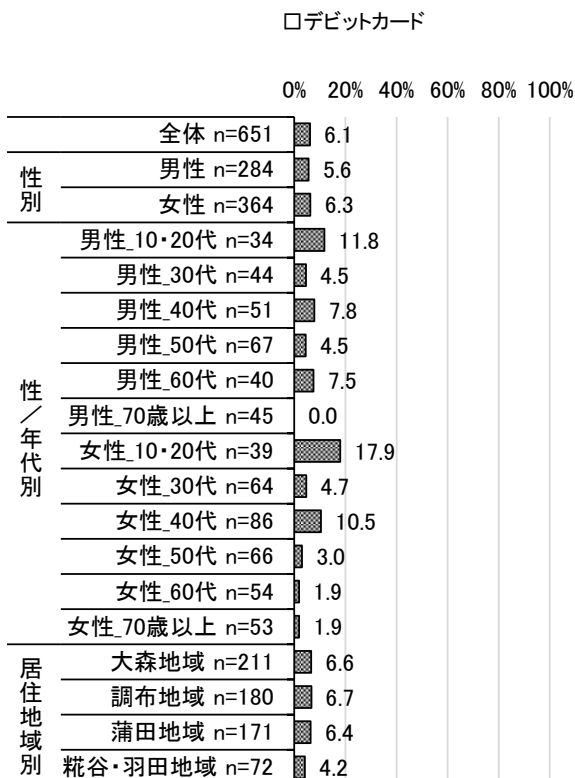
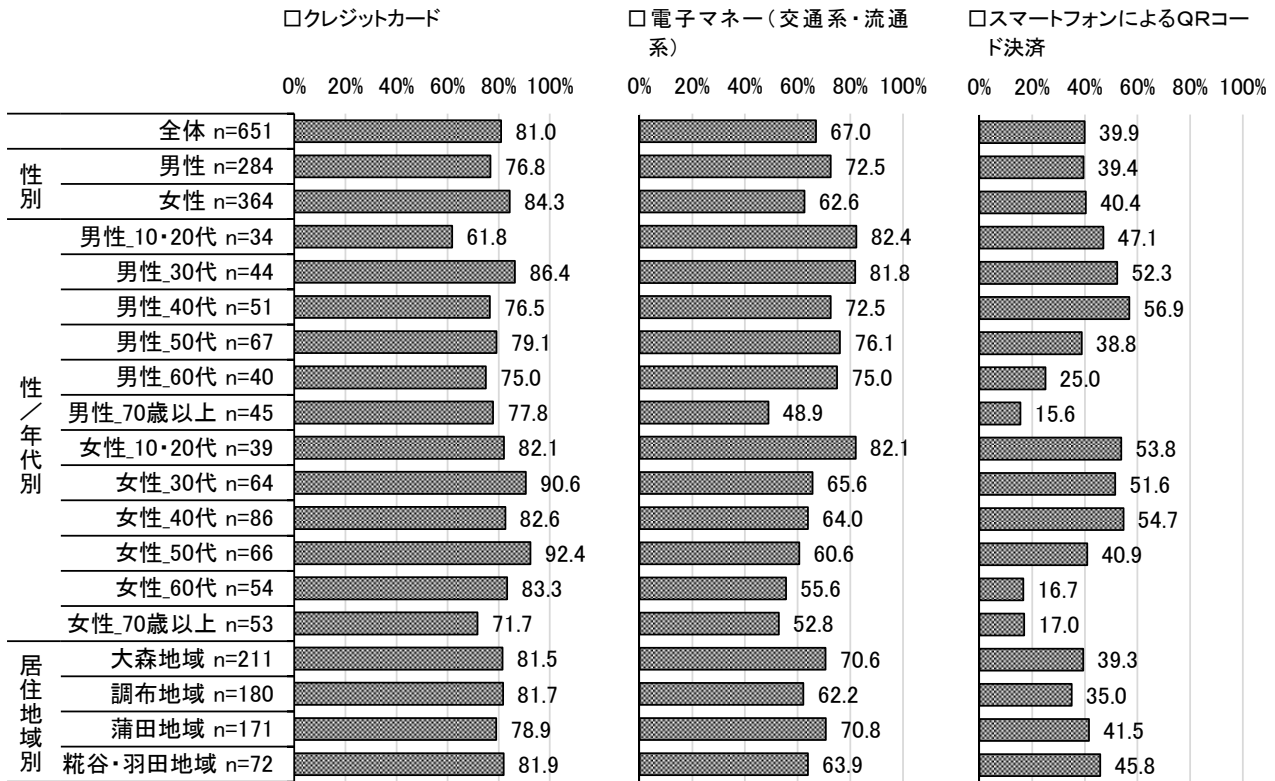


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高く、男性が76.8%、女性が84.3%と、女性が7.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は女性30代、女性50代では9割台と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「クレジットカード」が最も高く、大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域で8割前半となっている。



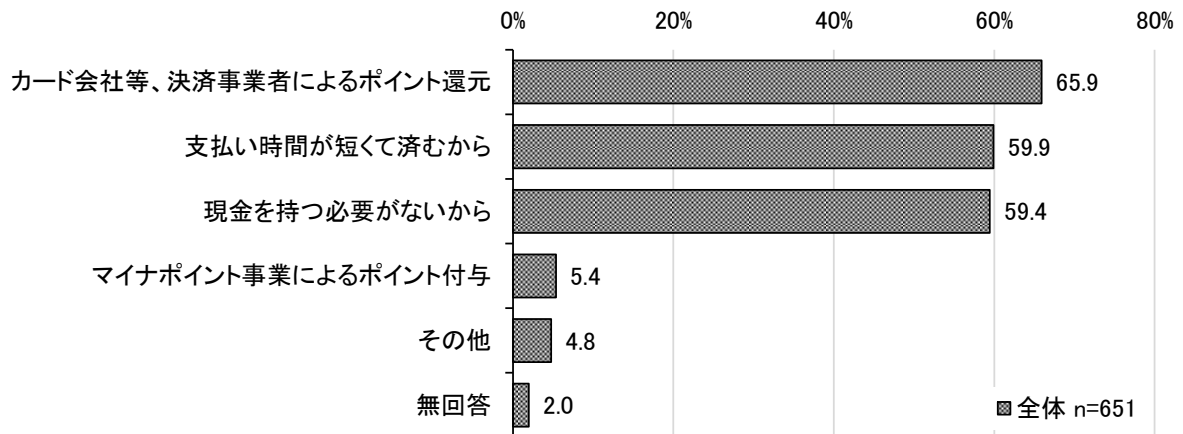
### (3) キャッシュレスで支払いをする理由

◇「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が6割半ばで最も高くなっている

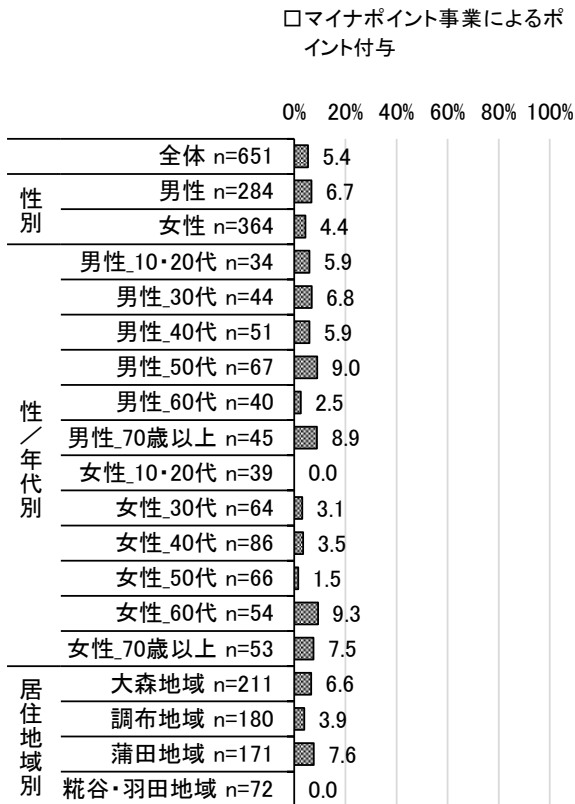
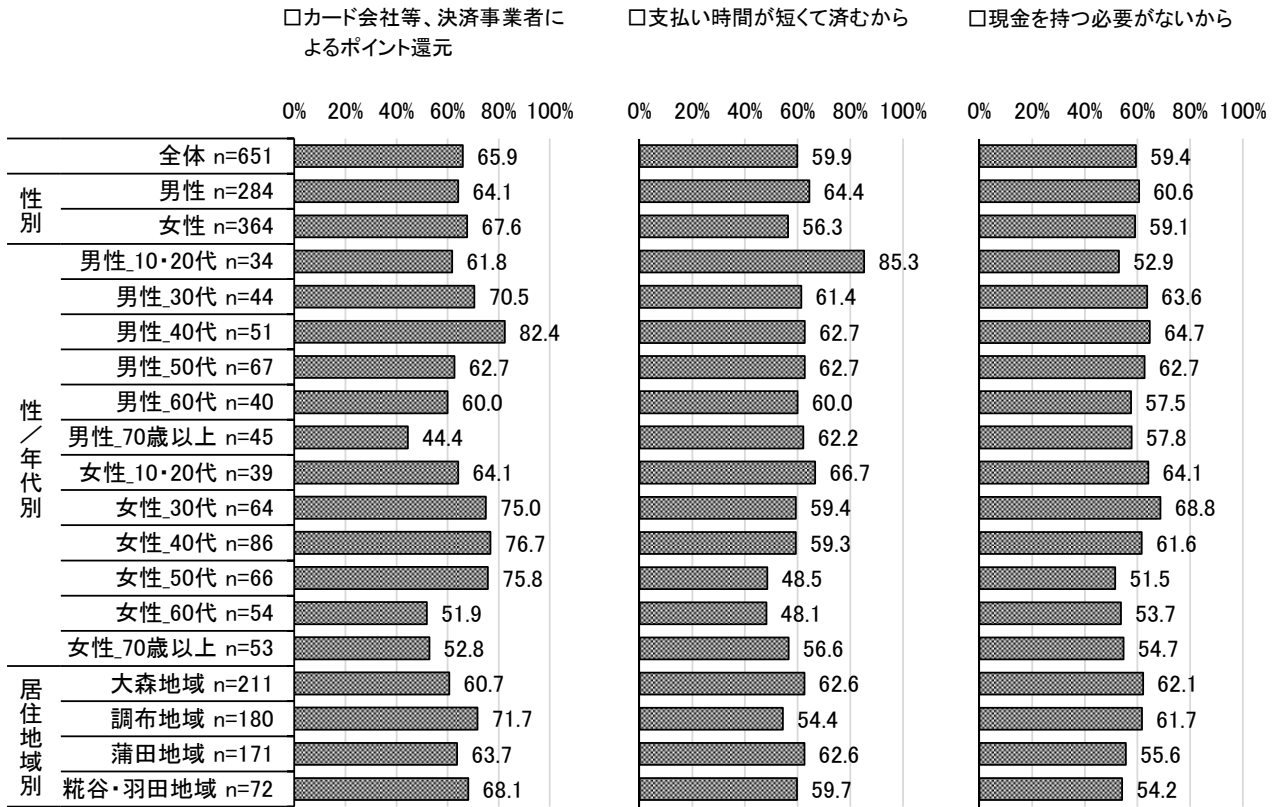
【問8で「よくする」「ときどきする」と回答した方に伺います。】

#### 問8-2 キャッシュレスで支払いをする理由は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスで支払いをする理由については、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が65.9%で最も高く、次いで「支払い時間が短くて済むから」が59.9%、「現金を持つ必要がないから」が59.4%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性では「支払い時間が短くて済むから」が最も高く、女性では「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が最も高くなっている。「支払い時間が短くて済むから」は男性が64.4%、女性が56.3%と、男性が8.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」は男性40代で8割前半、男性30代、女性30代から50代で7割台となっている。「支払い時間が短くて済むから」は男性10・20代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域では「支払い時間が短くて済むから」が最も高く、調布地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域では「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が最も高くなっている。

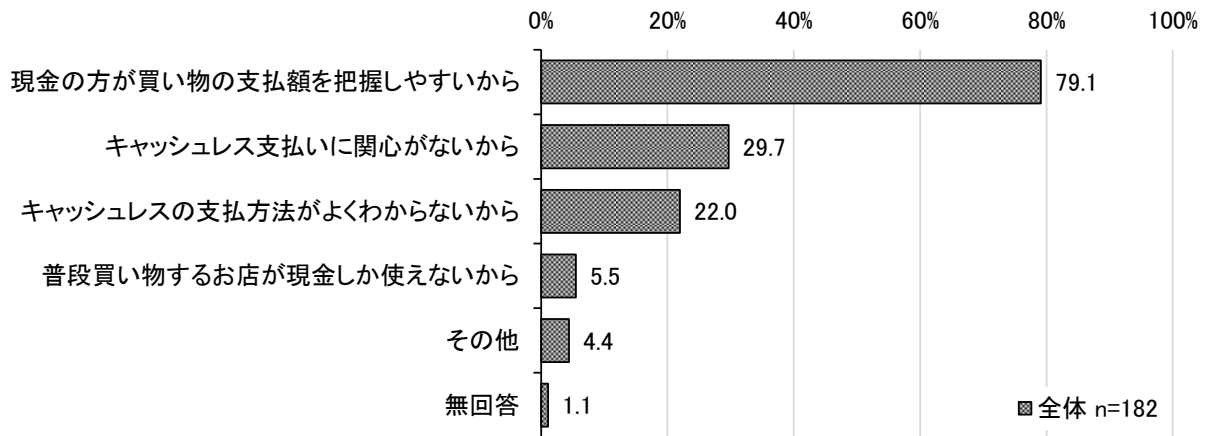
#### (4) キャッシュレスで支払いをしない理由

◇「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が約8割で最も高くなっている

【問8で「ほとんどしない」「まったくしない」と回答した方に伺います。】

##### 問8-3 キャッシュレスで支払いをしない（あまりしない）理由は何ですか。（いくつでも）

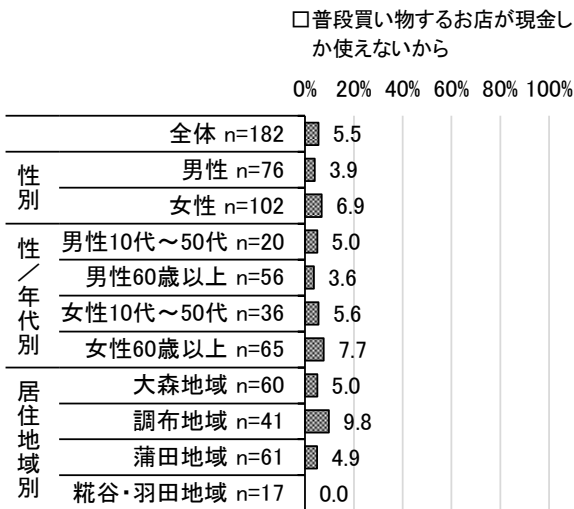
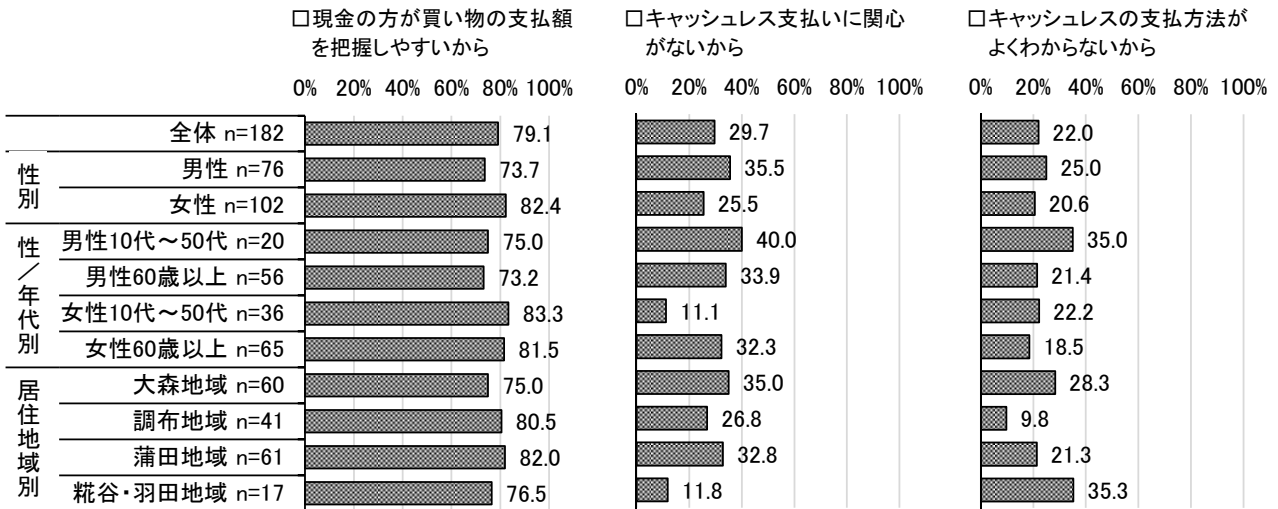
キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が79.1%で最も高く、次いで「キャッシュレス支払いに関心がないから」が29.7%、「キャッシュレスの支払方法がよくわからないから」が22.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は男性が73.7%、女性が82.4%と、女性が8.7ポイント上回っている。「キャッシュレス支払いに関心がないから」は男性が35.5%、女性が25.5%と、男性が10.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は女性10代～50代、女性60歳以上で8割前半となっている。



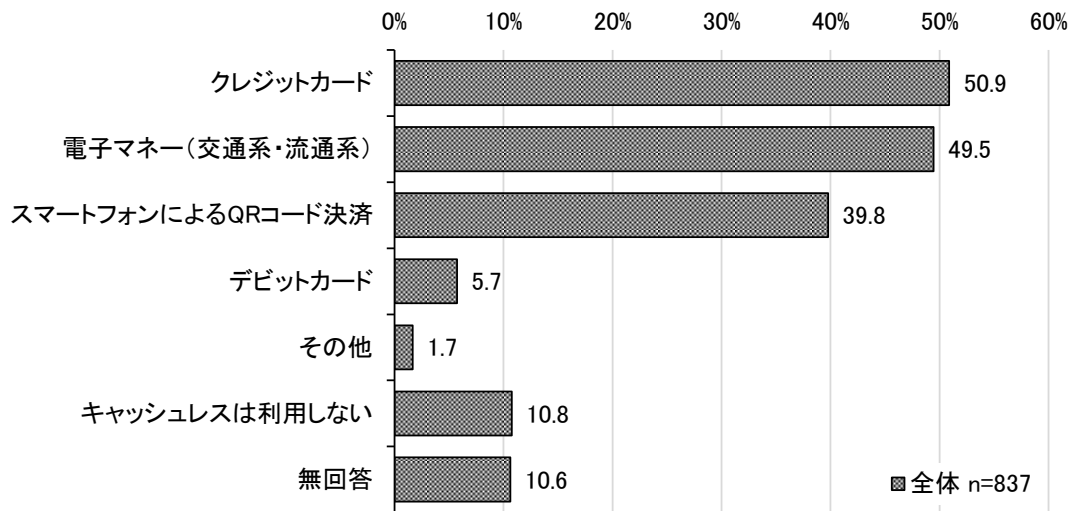
### (5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段

◇「クレジットカード」、「電子マネー（交通系・流通系）」が約5割となっている

#### 問9 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段については、「クレジットカード」が50.9%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が49.5%、「スマートフォンによるQRコード決済」が39.8%となっている。

なお、「キャッシュレスは利用しない」は10.8%となっている。



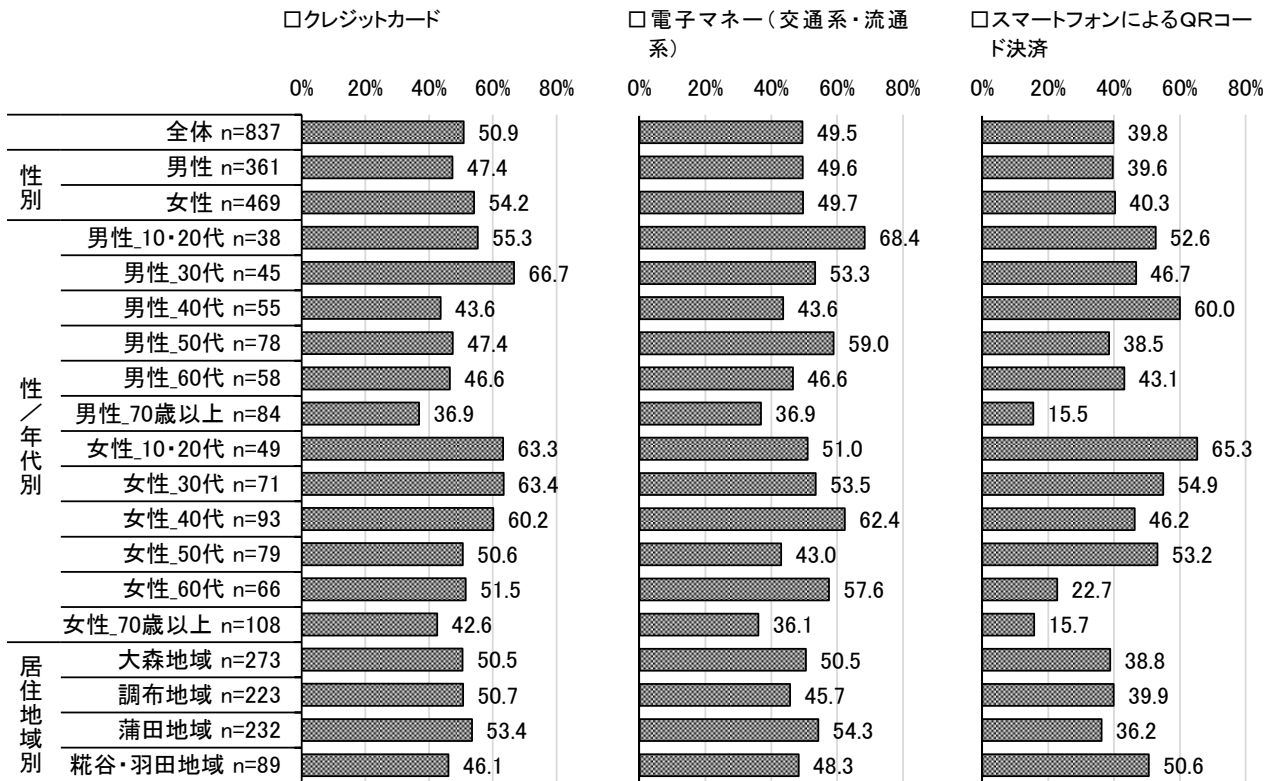


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「電子マネー（交通系・流通系）」が最も高く、女性では「クレジットカード」が最も高くなっている。「クレジットカード」は男性が47.4%、女性が54.2%と、女性が6.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は男性30代、女性10・20代から40代で6割台となっている。

居住地域別でみると、「スマートフォンによるQRコード決済」は糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。



## 5 まちづくりについて

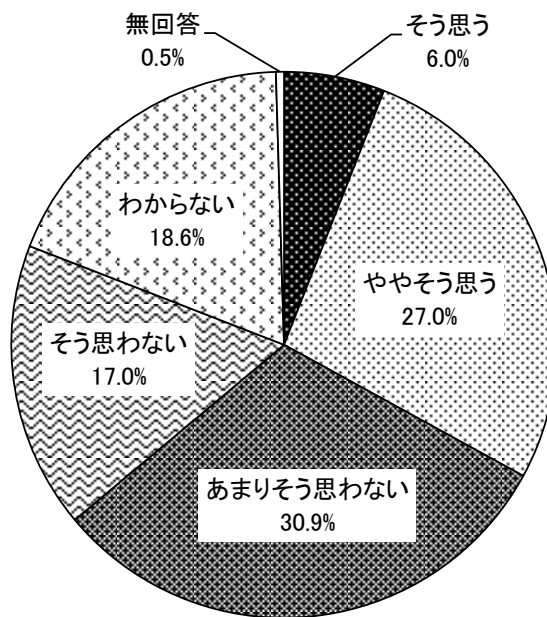
### (1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は3割前半となっている

#### 問 10 大田区では、活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が33.0%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が47.9%と、《思わない》が14.9ポイント上回っている。

全体 n=837

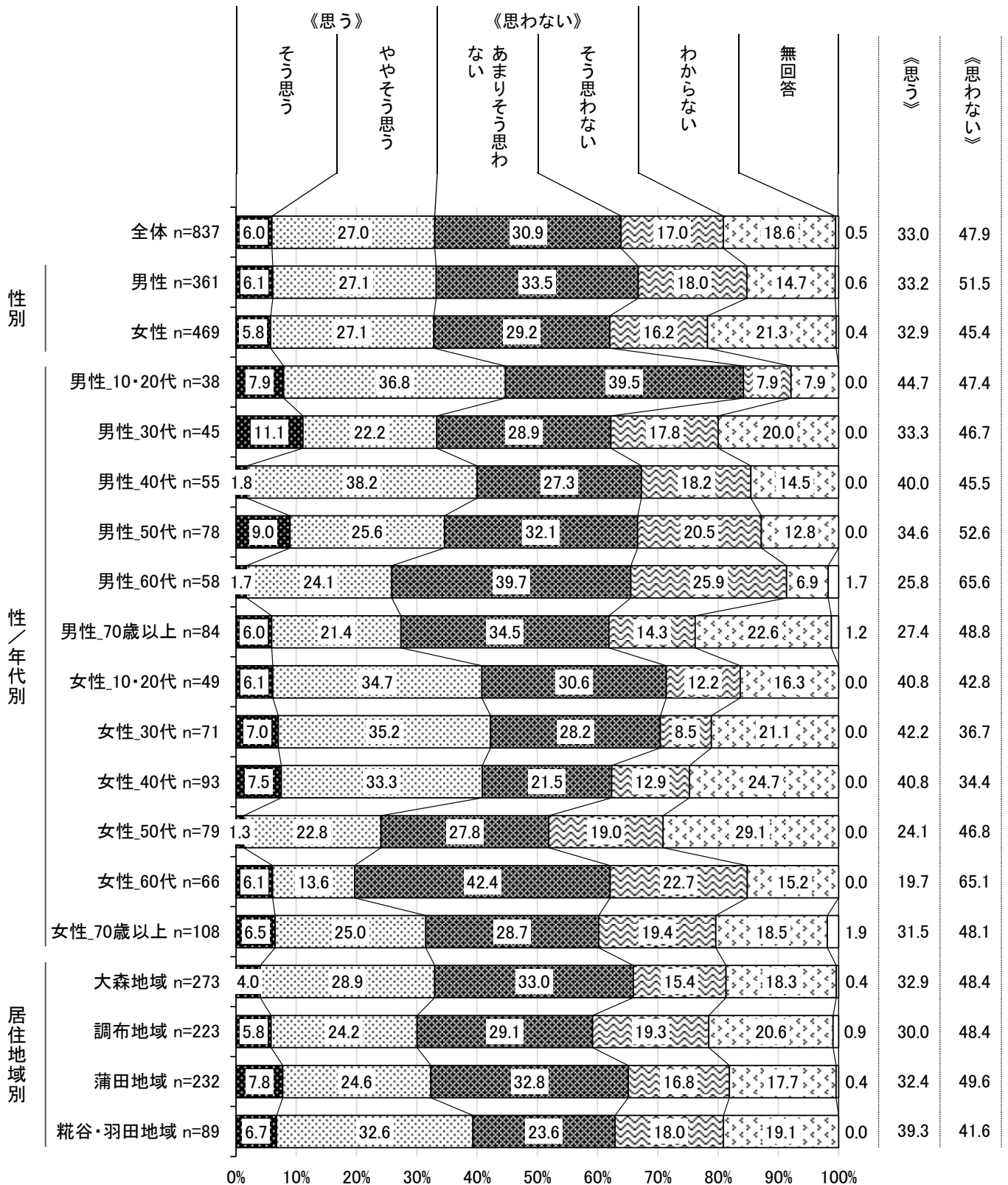


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が51.5%、女性が45.4%と、男性が6.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《思う》は男性では10・20代で4割半ば、女性では30代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は糀谷・羽田地域で約4割と高くなっている。

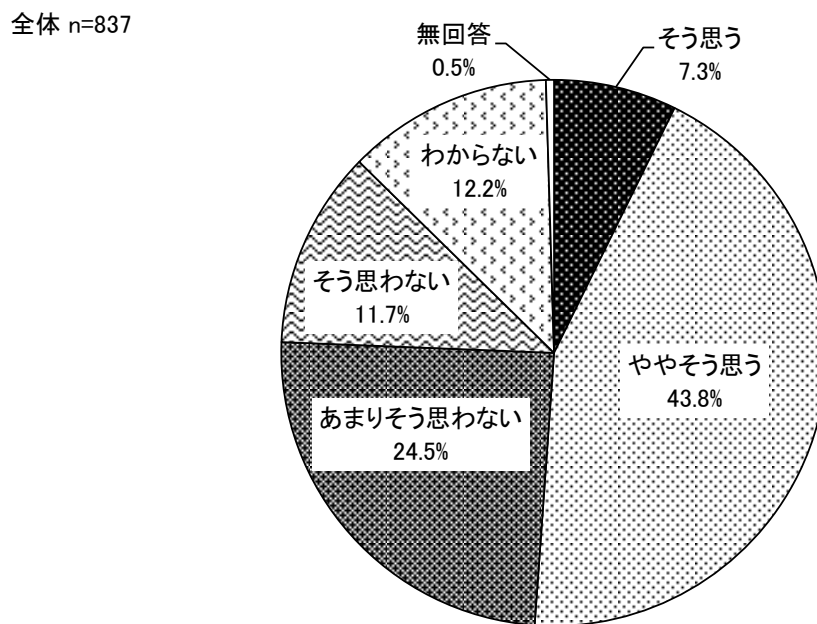


## (2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は5割前半となっている

### 問 11 大田区では、暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が51.1%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が36.2%と、《思う》が14.9ポイント上回っている。

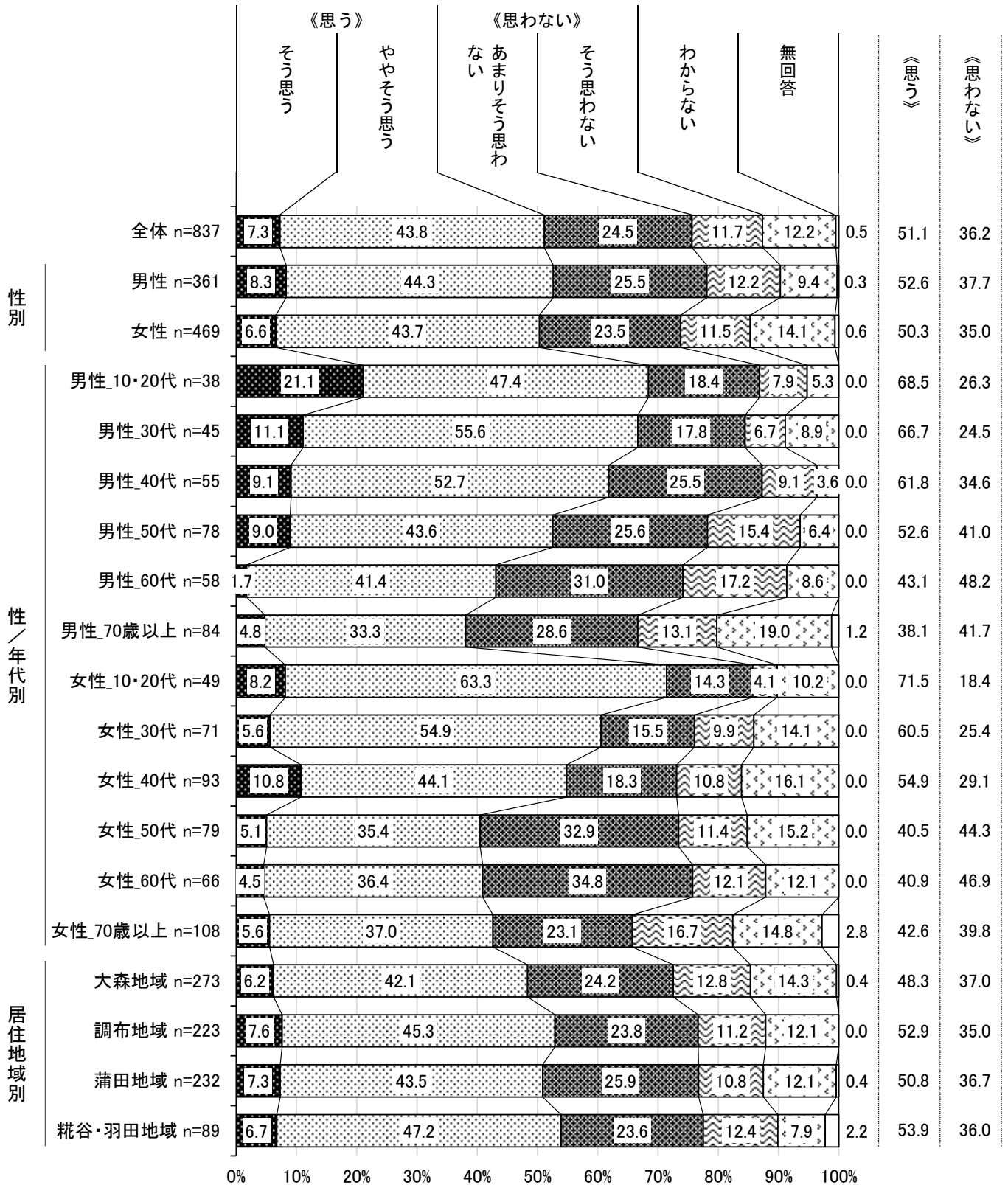


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《思う》は男性では10・20代、30代で7割弱、女性では10・20代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域、糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。

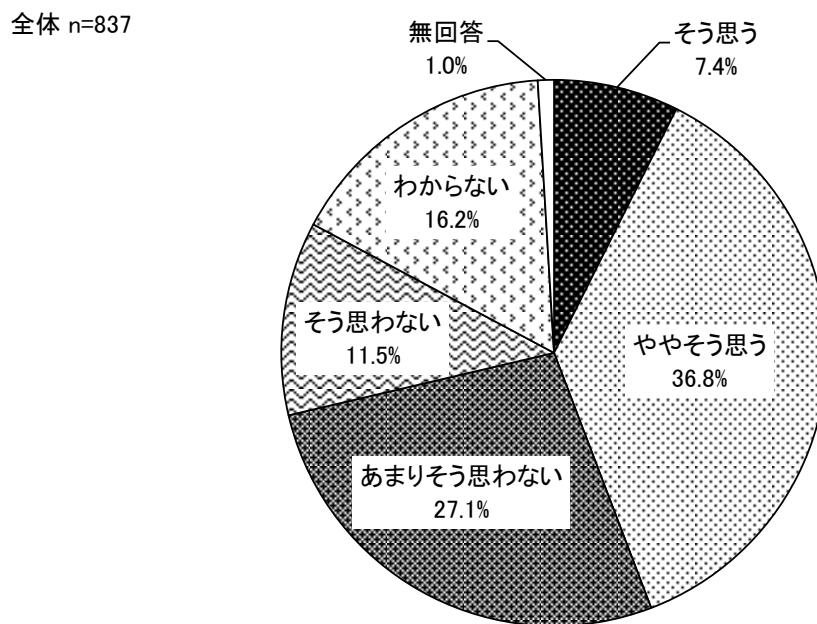


### (3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は4割半ばとなっている

#### 問 12 大田区では、安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が44.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が38.6%と、《思う》が5.6ポイント上回っている。

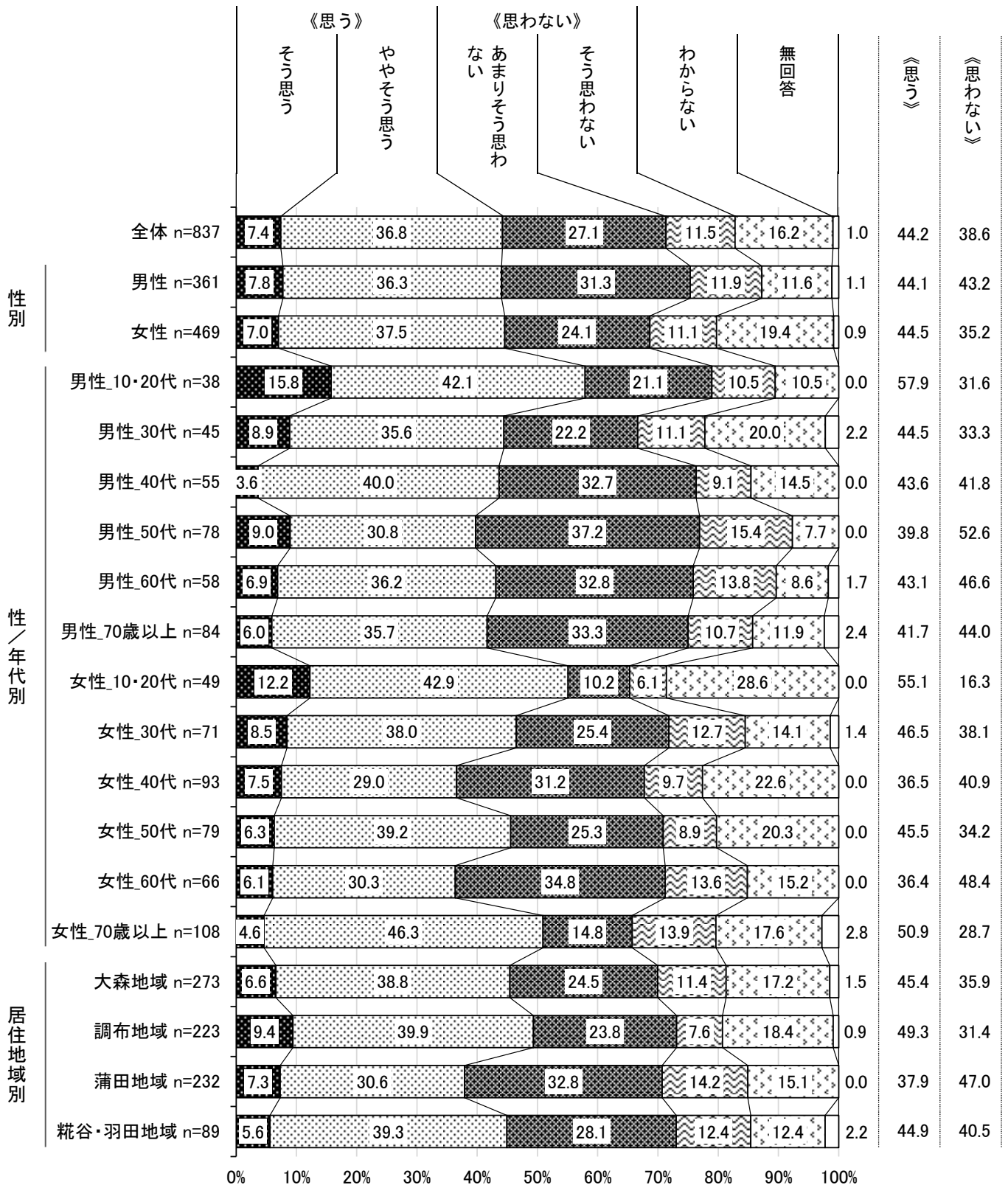


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が43.2%、女性が35.2%と、男性が8.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は男性では10・20代で6割弱、女性では10・20代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で約5割と高くなっている。

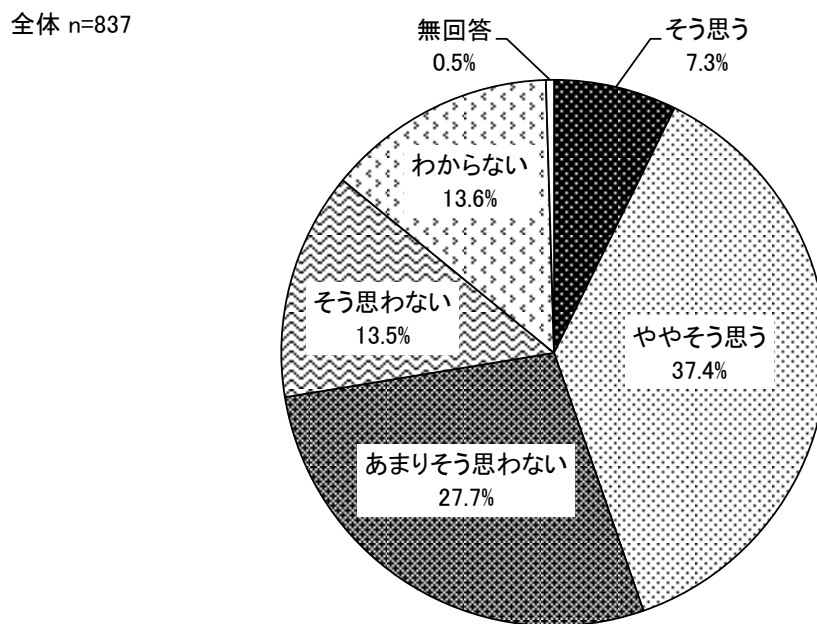


#### (4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割半ばとなっている

##### 問 13 大田区では、環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が44.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が41.2%と、《思う》が3.5ポイント上回っている。



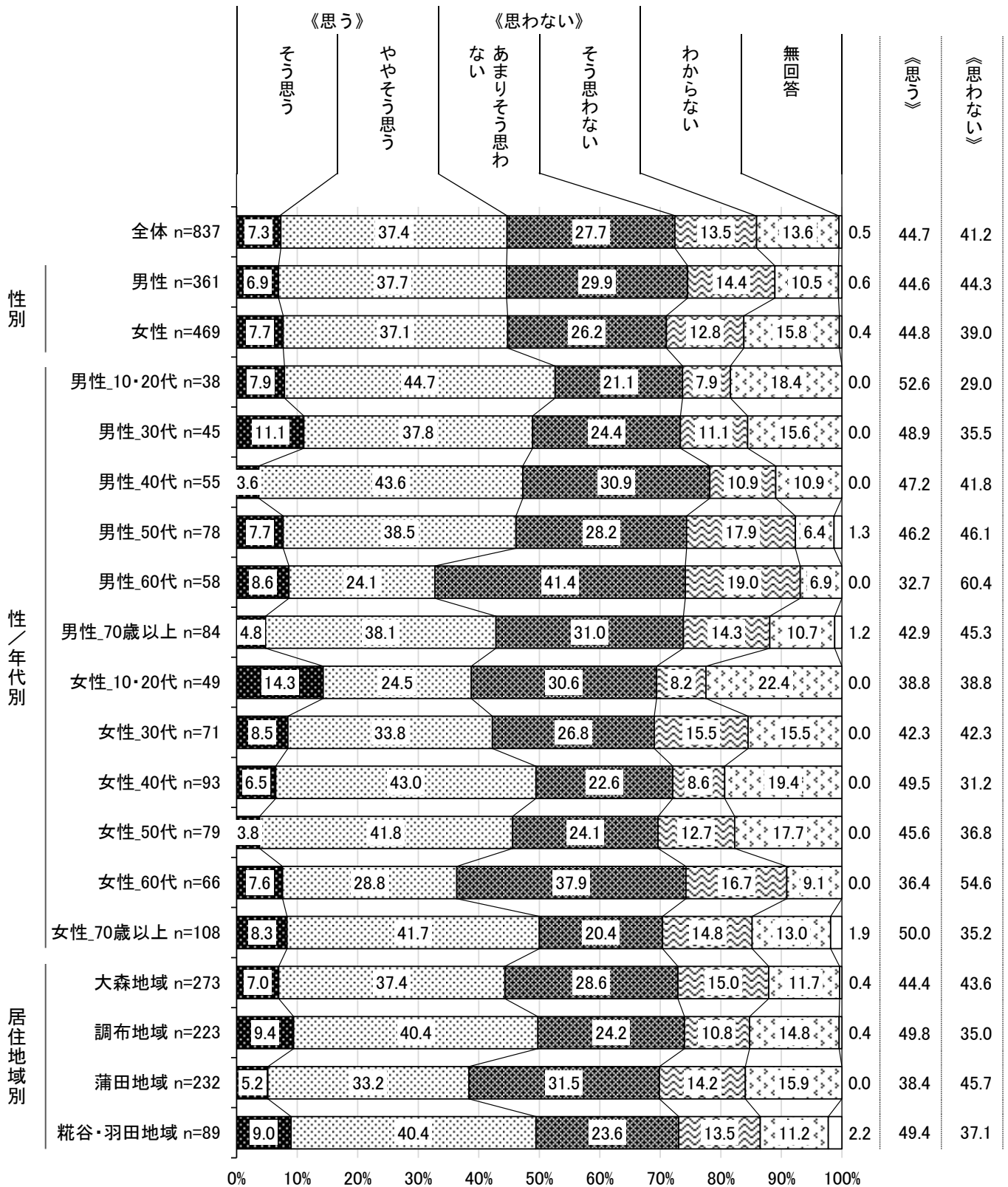


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が44.3%、女性が39.0%と、男性が5.3ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《思う》は男性では10・20代で5割前半、女性では40代、70歳以上で約5割と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で約5割と高くなっている。



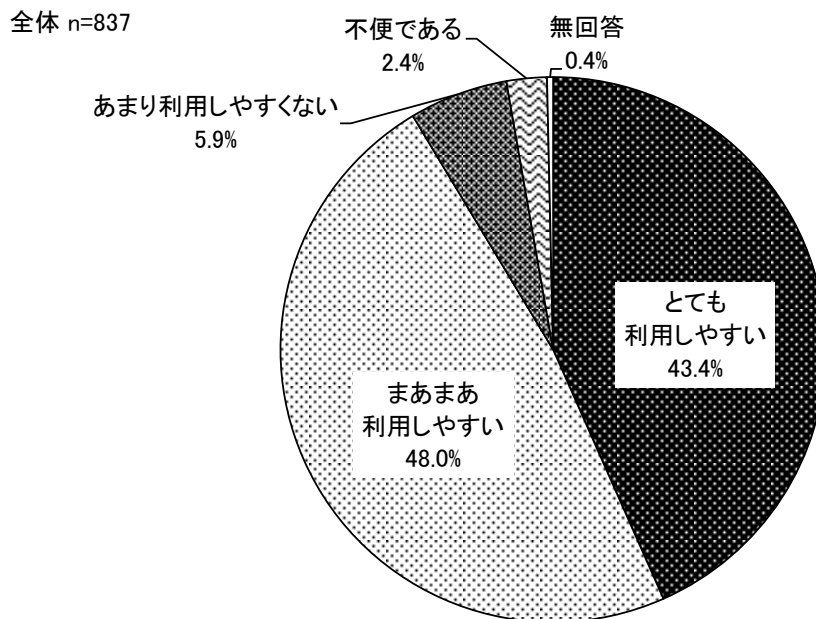
## 6 公共交通機関について

### (1) 公共交通機関の環境

◇「とても利用しやすい」は4割前半となっている

#### 問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通機関の環境については、「まあまあ利用しやすい」が48.0%で最も高く、次いで「とても利用しやすい」が43.4%、「あまり利用しやすすくない」が5.9%となっている。

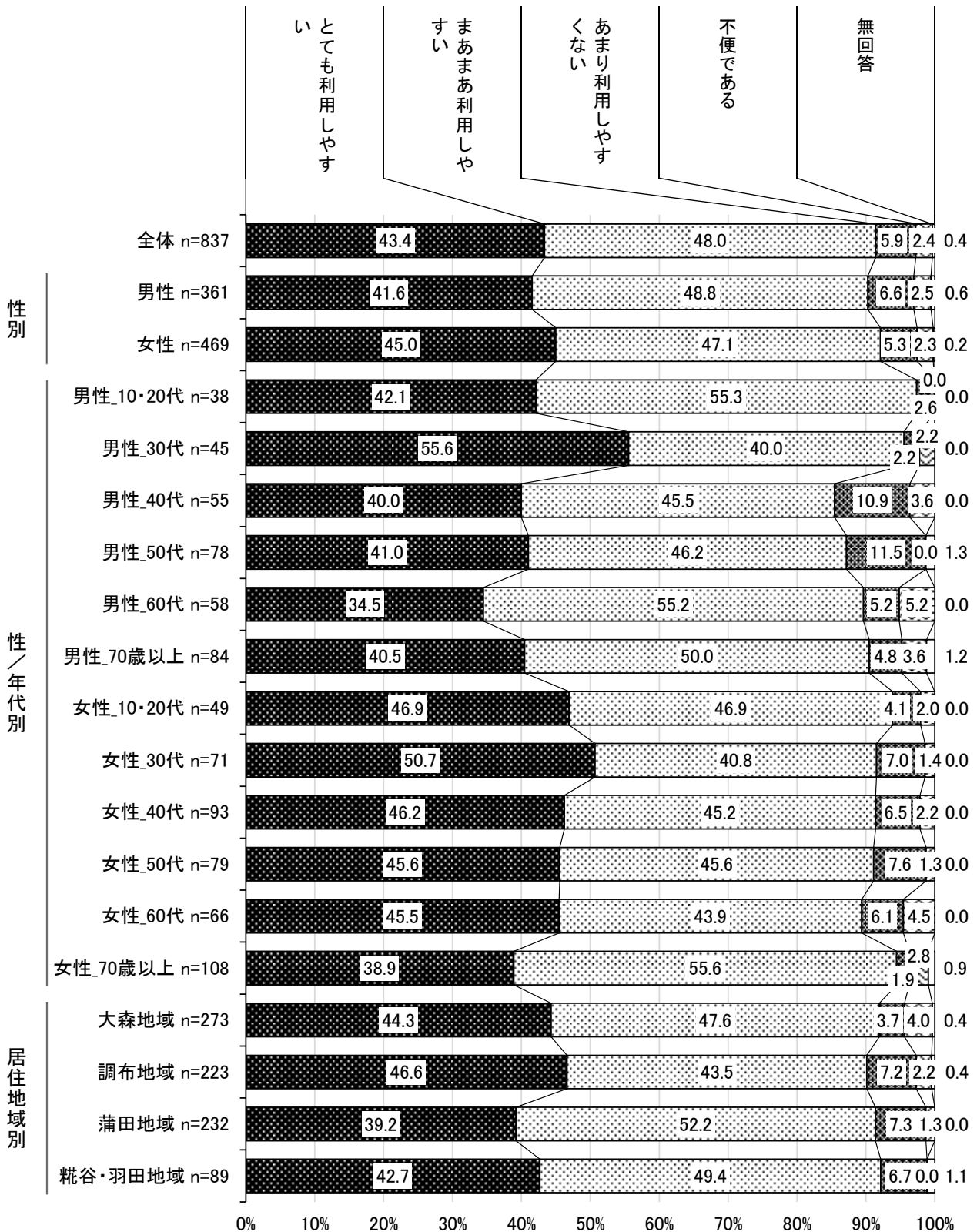


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「とても利用しやすい」は男性が41.6%、女性が45.0%と、女性が3.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「とても利用しやすい」は男性では30代で5割半ば、女性では30代で約5割となっている。

居住地域別でみると、「とても利用しやすい」は調布地域で5割弱と高くなっている。

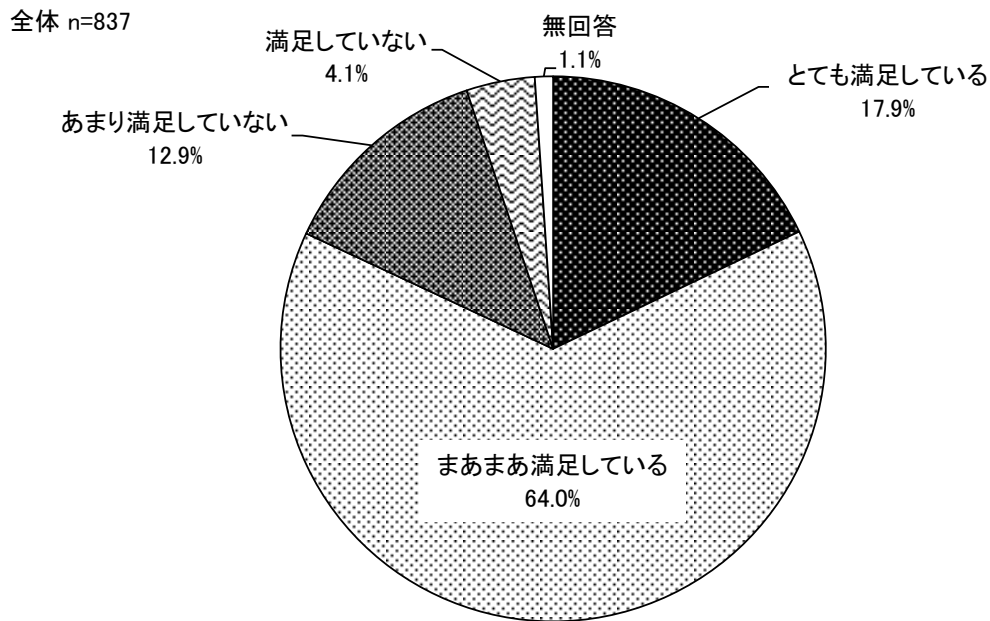


## (2) 大田区内の公共交通網への満足度

◇「とても満足している」は2割弱となっている

### 問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.9%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が17.0%と、《満足している》が64.9ポイント上回っている。

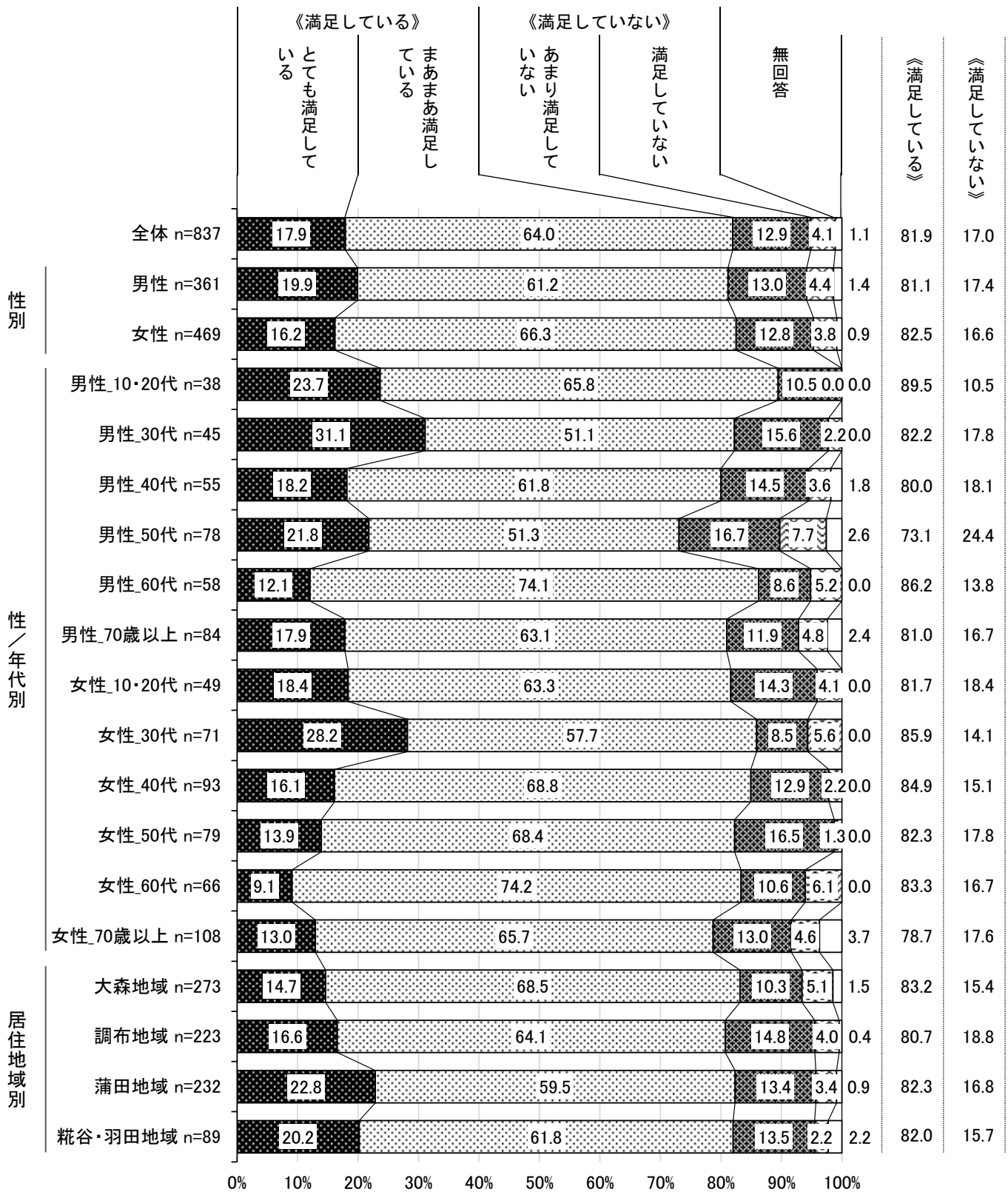


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性50代、女性70歳以上を除き8割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《満足している》が8割台となっている。



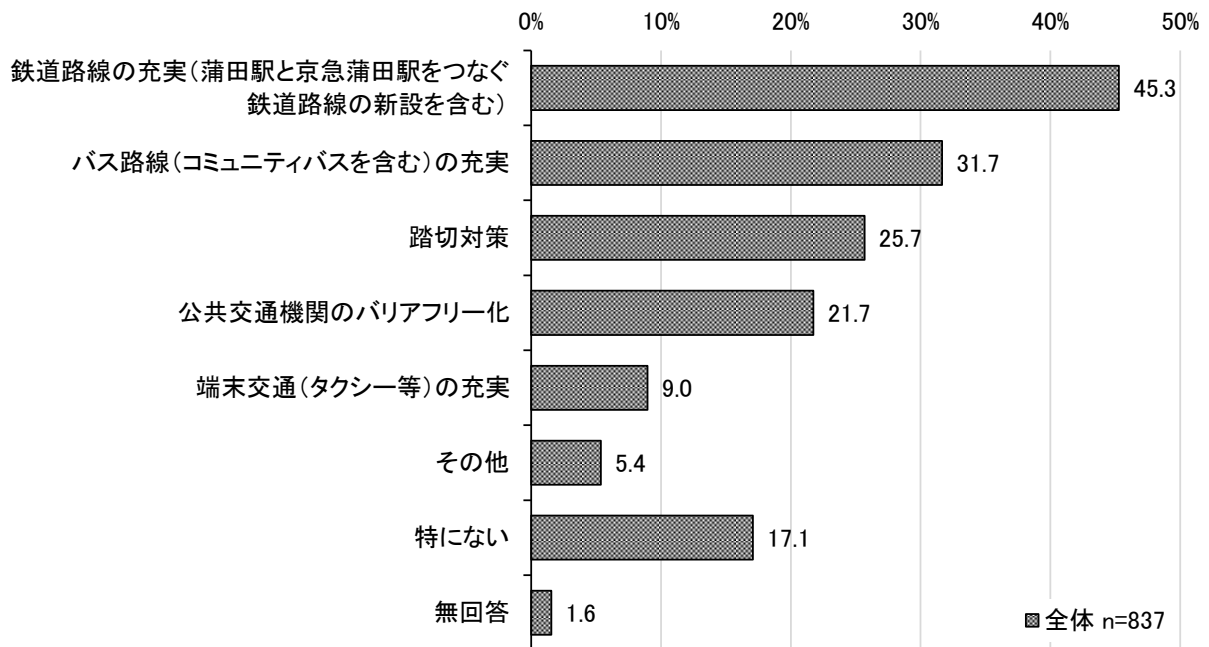
### (3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策

◇「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が4割半ばで最も高くなっている

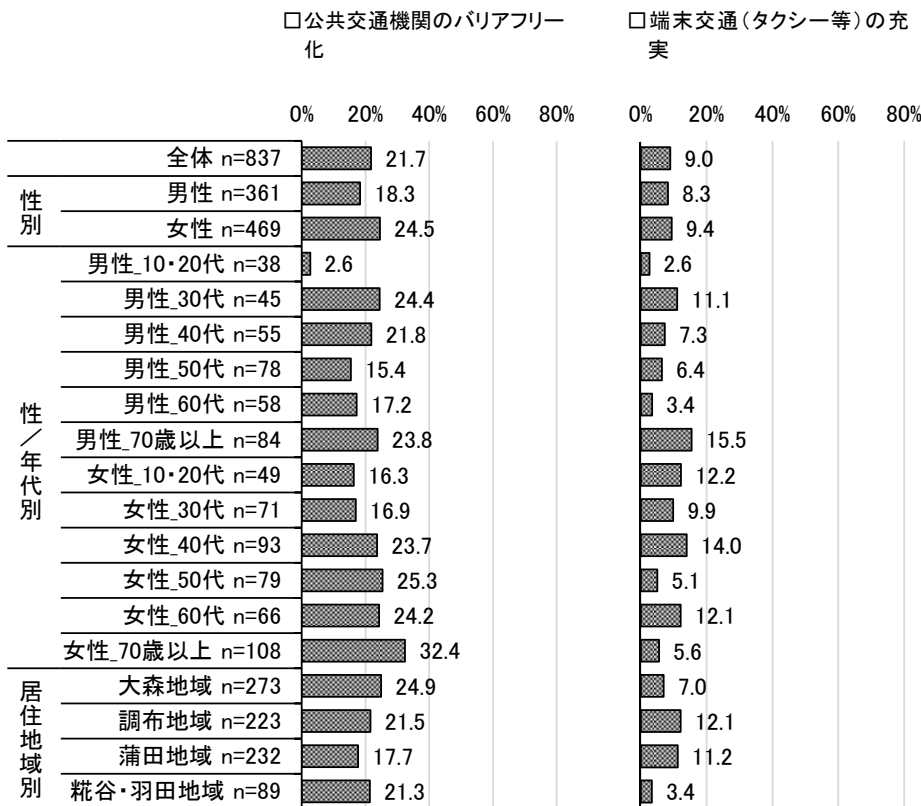
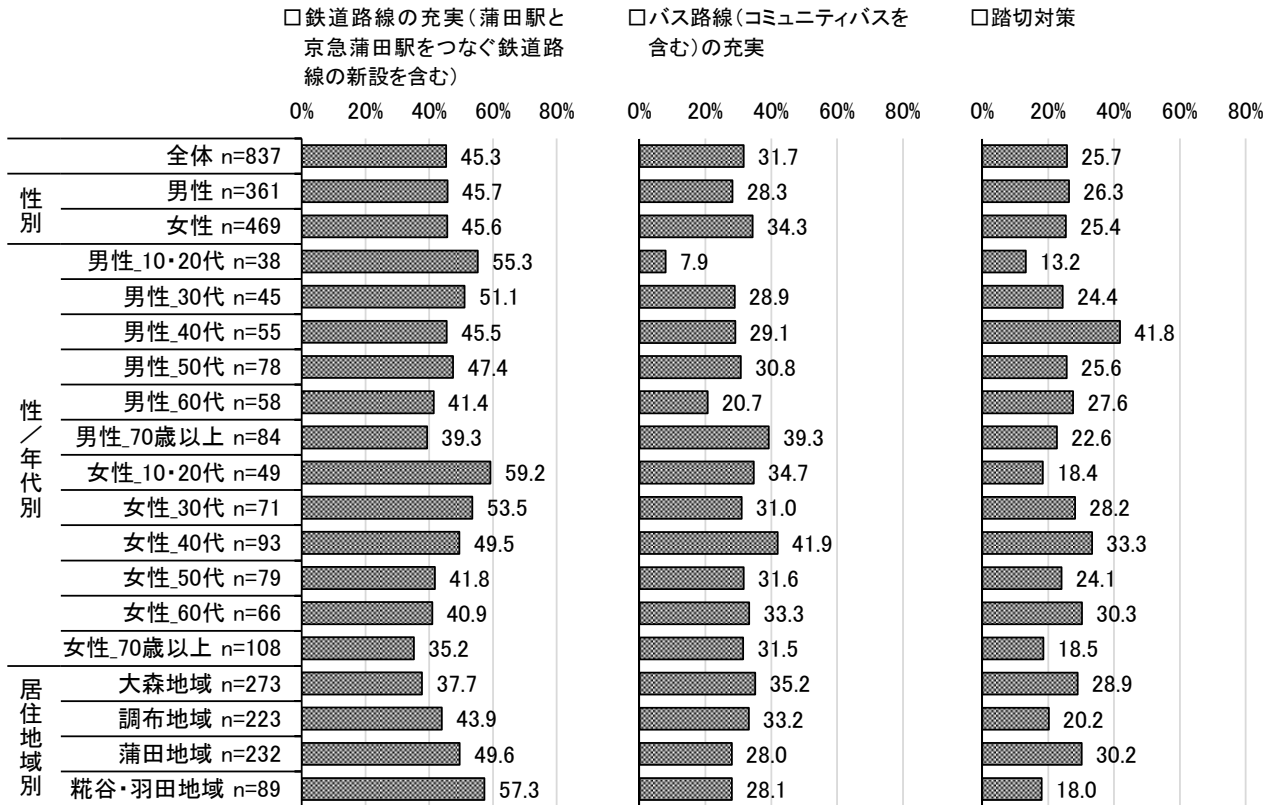
#### 問 16 アfterコロナにおいて、大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものがありますか。（いくつでも）

早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が45.3%で最も高く、次いで「バス路線（コミュニティバスを含む）の充実」が31.7%、「踏切対策」が25.7%となっている。

なお、「特にない」は17.1%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性、女性ともに「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性、女性ともに年代が下がるにつれて増加傾向であり、男性10・20代で5割半ば、女性10・20代で約6割となっている。「踏切対策」は男性40代で4割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高く、糀谷・羽田地域で6割弱となっている。



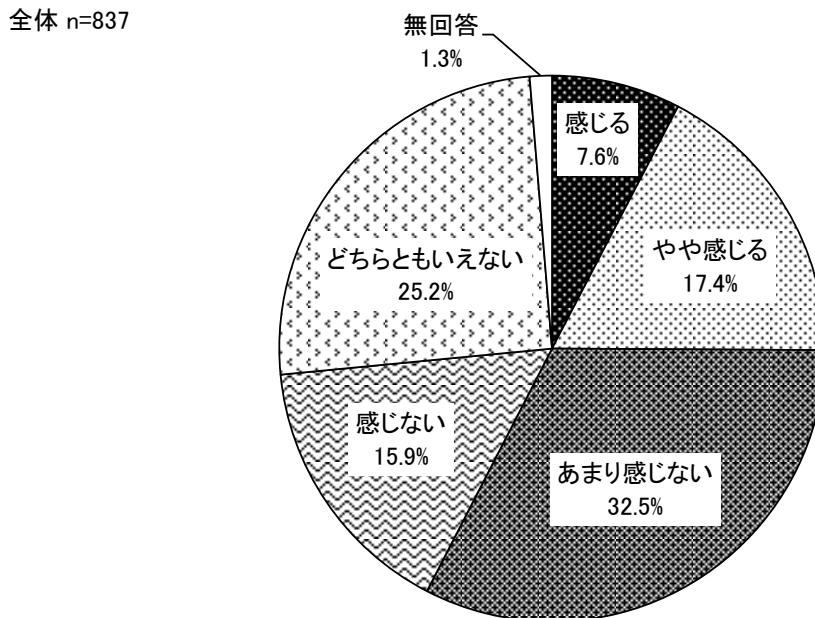
## 7 空港臨海部について

### (1) 空港臨海部へのアクセス

◇ 《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）は2割半ばとなっている

**問 17 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。（1つのみ）**

空港臨海部へアクセスしやすいと感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が25.0%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が48.4%と、《感じる》が23.4ポイント上回っている。

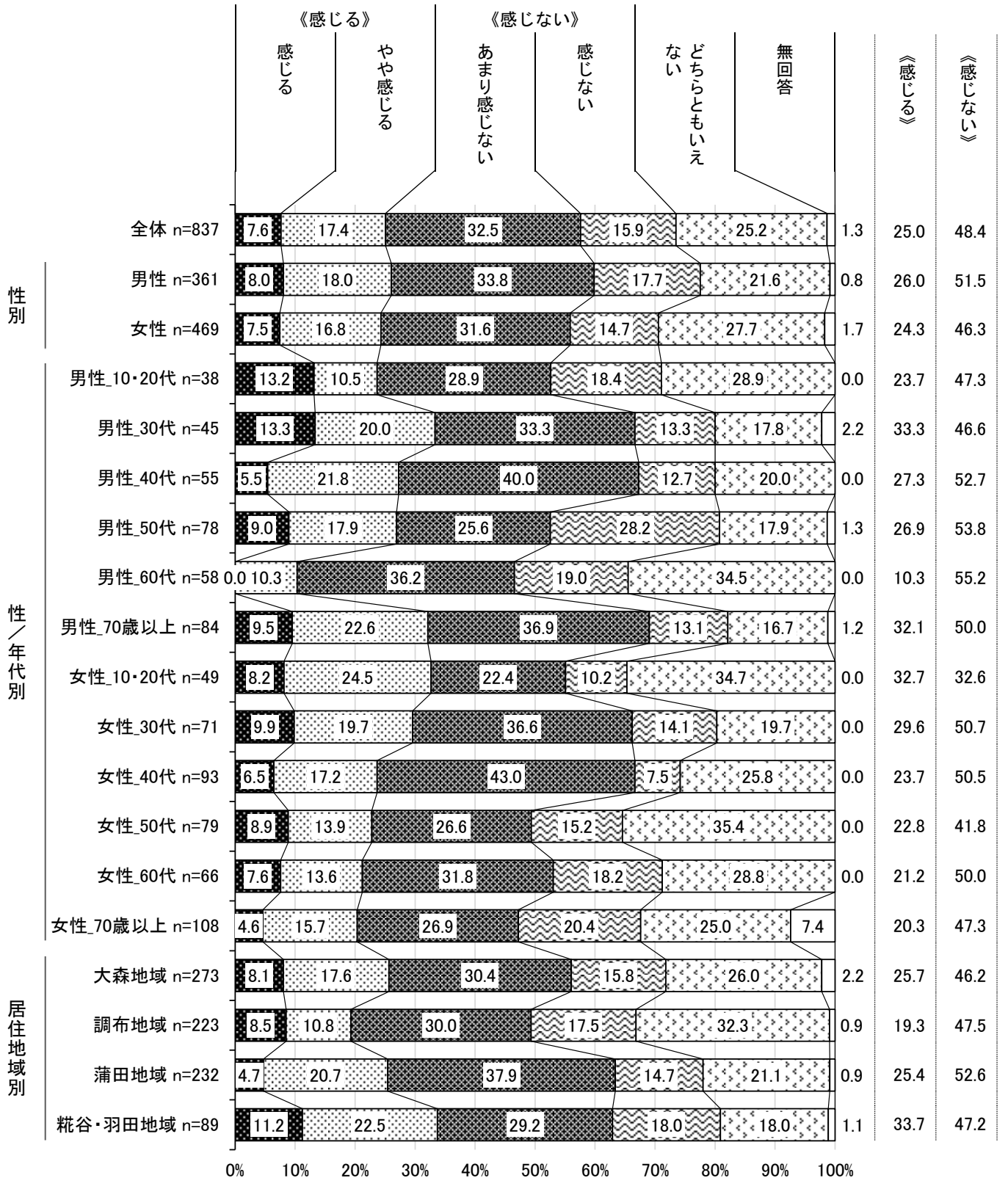


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》に大きな差はみられないものの、《感じない》では男性が51.5%、女性が46.3%と、男性が5.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性では30代、70歳以上で3割前半、女性では10・20代で3割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で3割前半と高くなっている。



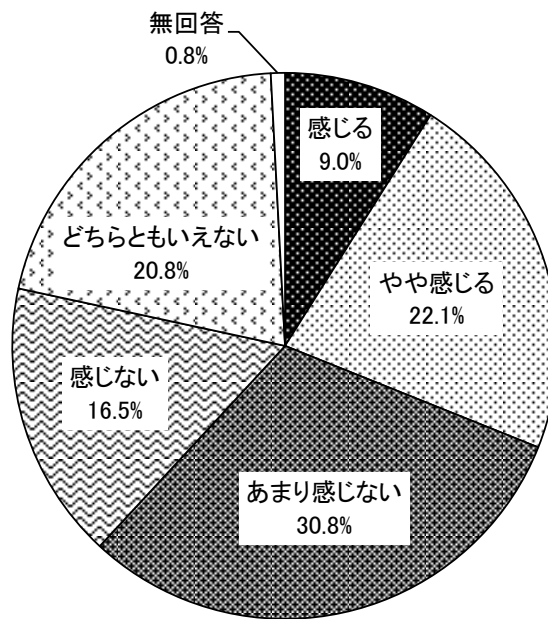
## (2) 空港臨海部の魅力度

◇ 《感じる》(「感じる」、「やや感じる」の合計値)は3割前半となっている

### 問 18 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

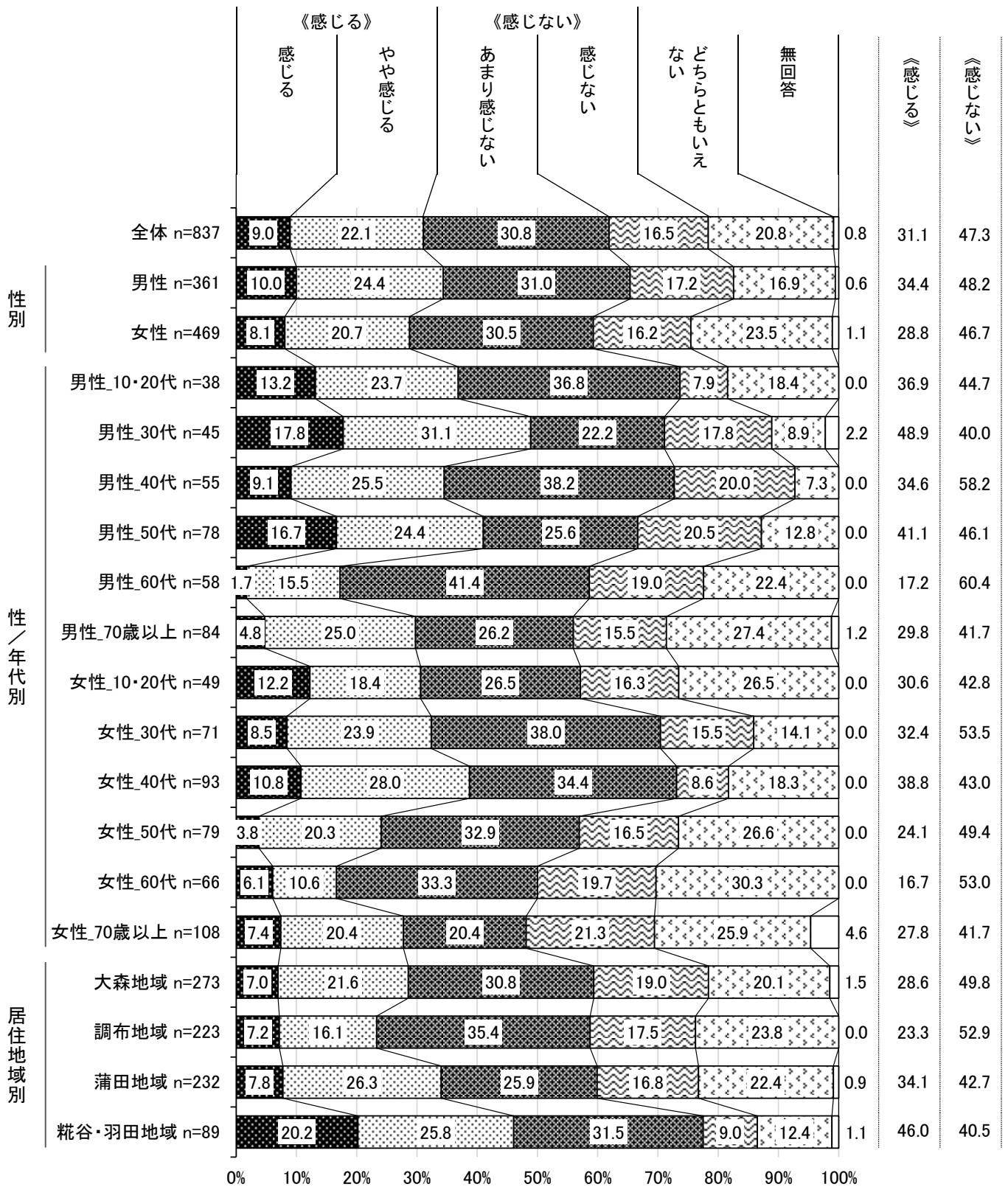
空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が31.1%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が47.3%と、《感じる》が16.2ポイント上回っている。

全体 n=837



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が34.4%、女性が28.8%と、男性が5.6ポイント上回っている。  
 性／年代別でみると、《感じる》は男性では30代で5割弱、女性では40代で4割弱と高くなっている。  
 居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



## 8 羽田空港跡地について

### (1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ

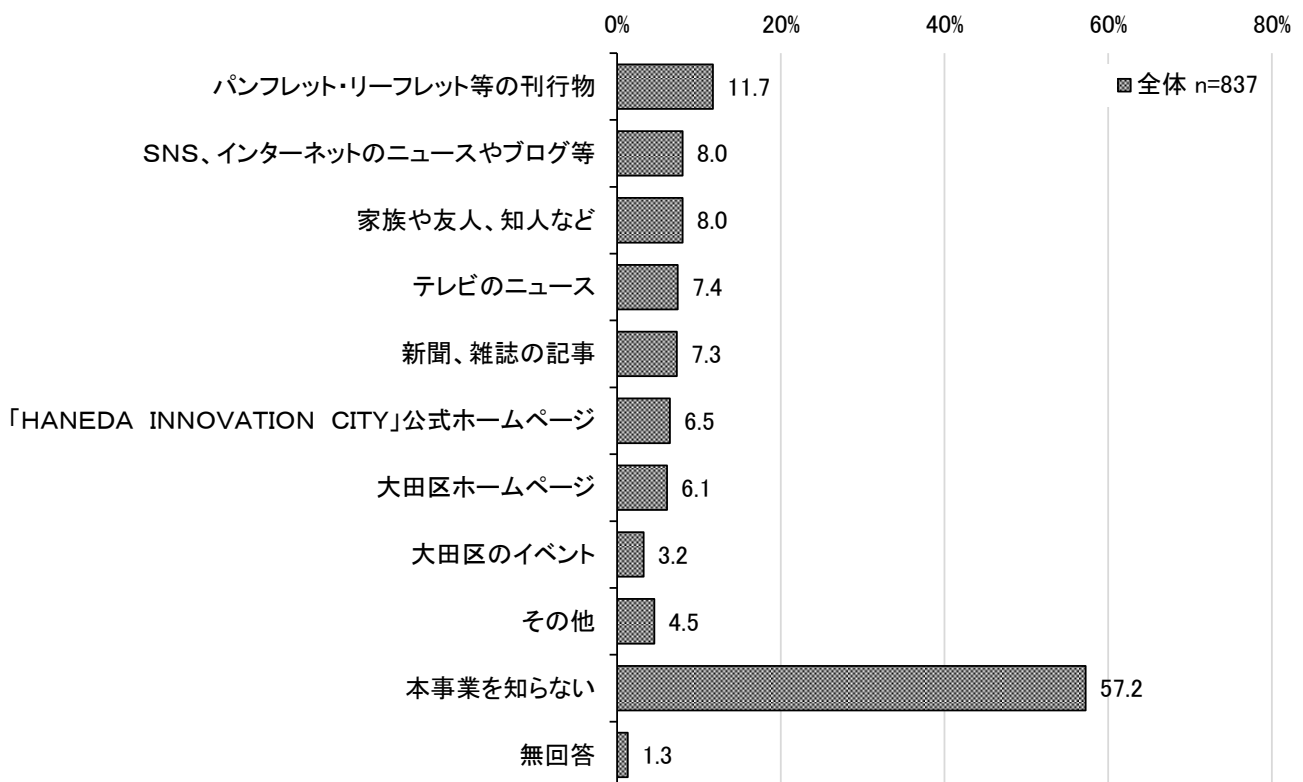
◇「本事業を知らない」が6割弱となっている

◇認知したきっかけは「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割前半で最も高くなっている

**問 19 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(いくつでも)**

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が11.7%で最も高く、次いで「SNS、インターネットのニュースやブログ等」、「家族や友人、知人など」がともに8.0%、「テレビのニュース」が7.4%となっている。

なお、「本事業を知らない」は57.2%となっている。

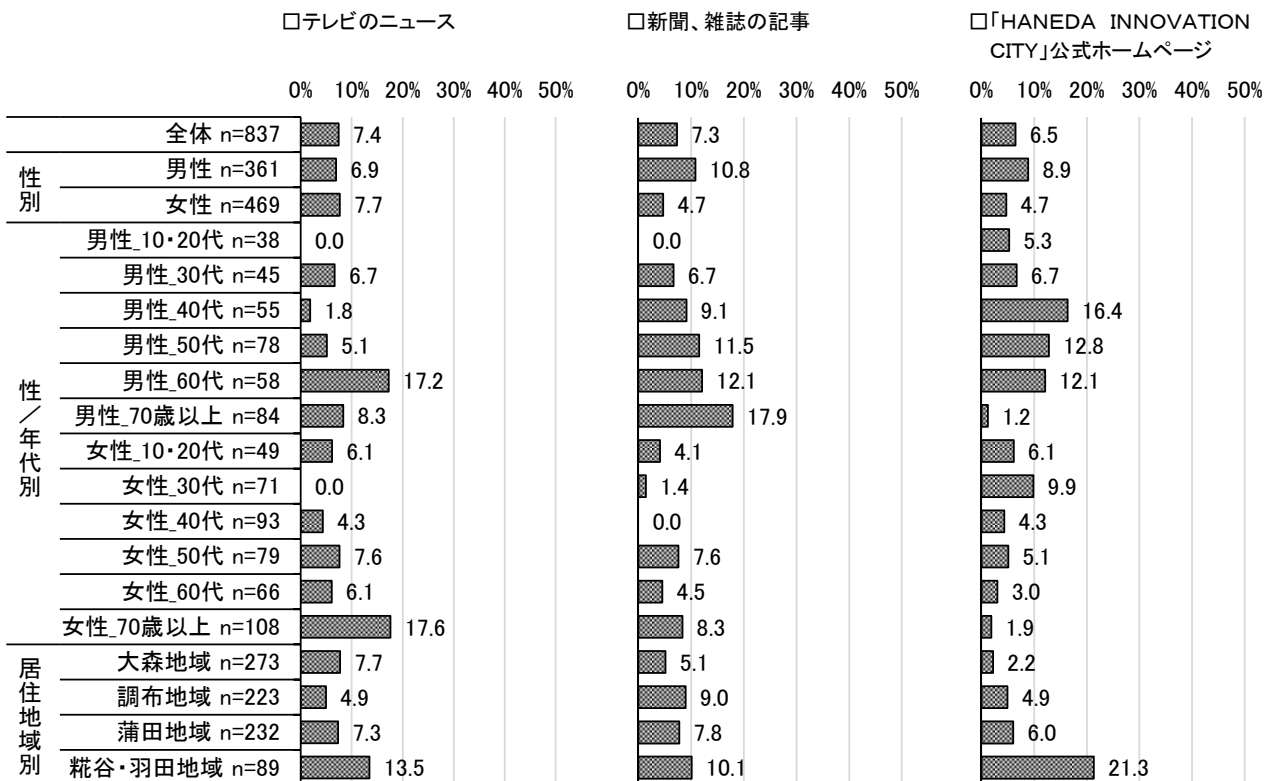
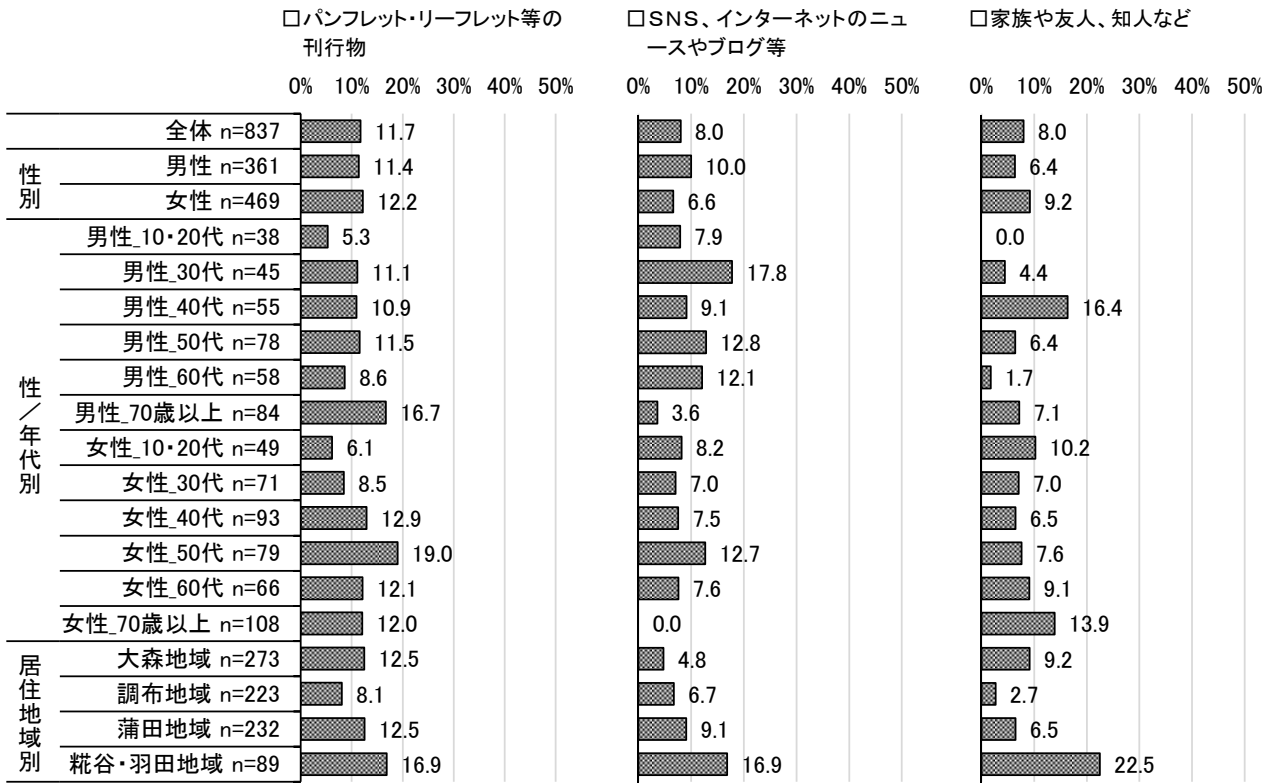


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「『HANEDA INNOVATION CITY』公式ホームページ」は男性40代から60代で1割台となっている。

居住地域別でみると、大森地域、蒲田地域では「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が、調布地域では「新聞、雑誌の記事」が、糀谷・羽田地域では「家族や友人、知人など」が最も高くなっている。



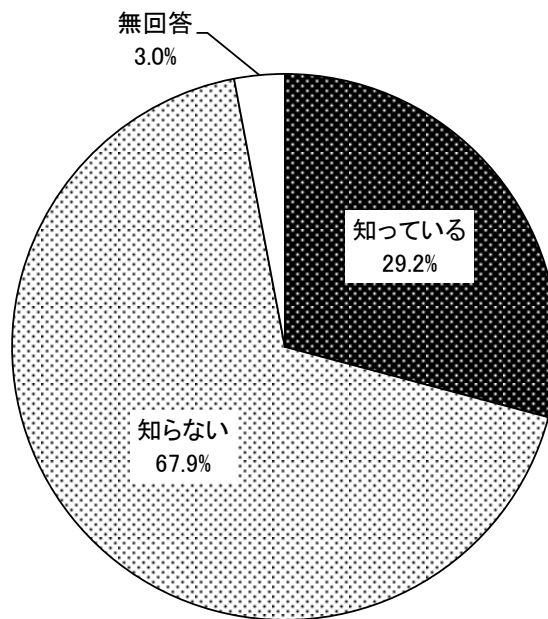
## (2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

◇「知っている」は約3割となっている

### 問 20 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業（羽田イノベーションシティ）について知っていますか。（1つのみ）

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が29.2%、「知らない」が67.9%と、「知らない」が38.7ポイント上回っている。

全体 n=837

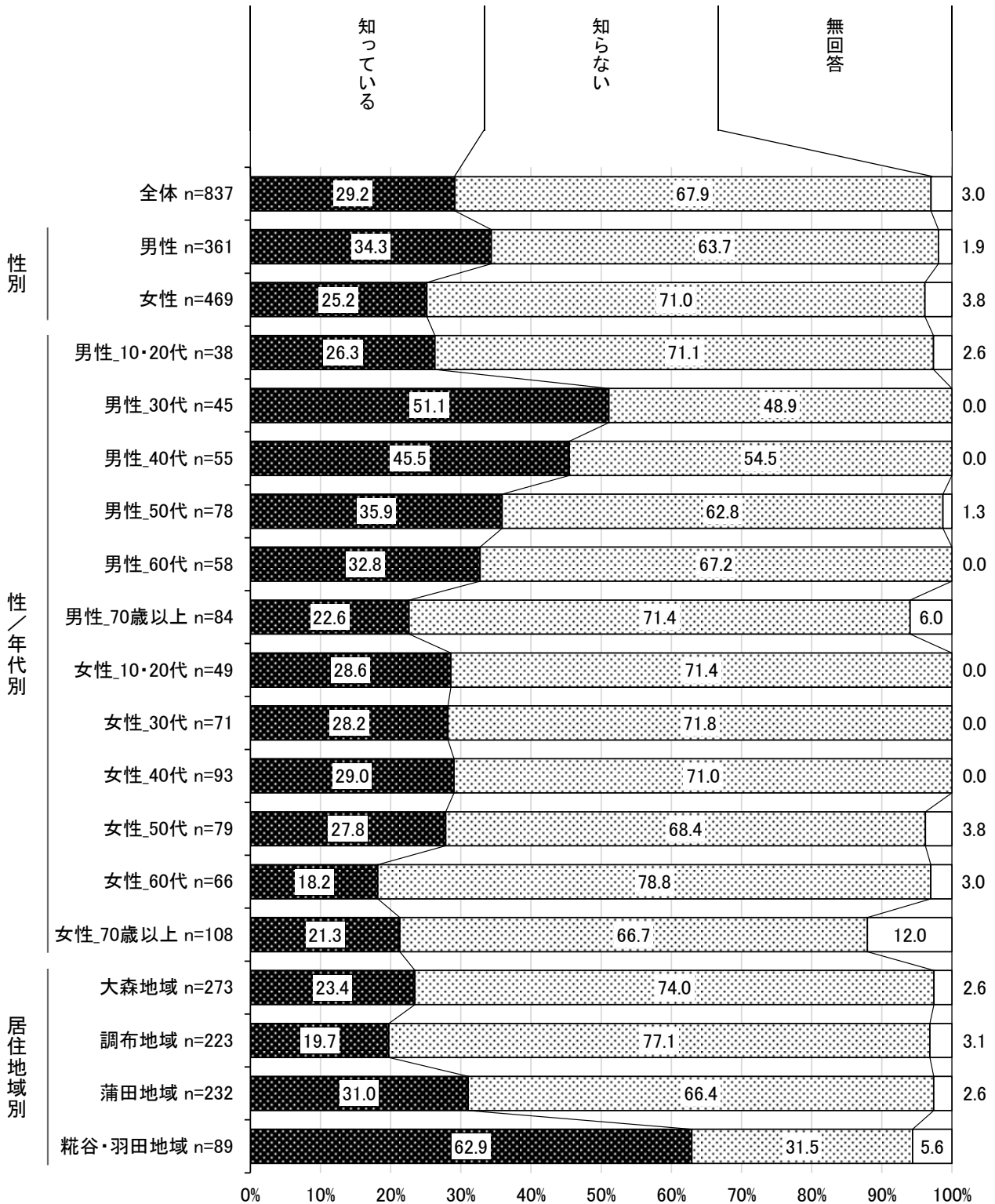


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が34.3%、女性が25.2%と、男性が9.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では30代で5割前半と高くなっている。女性では10・20代から50代で3割弱となっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で6割前半と高くなっている。



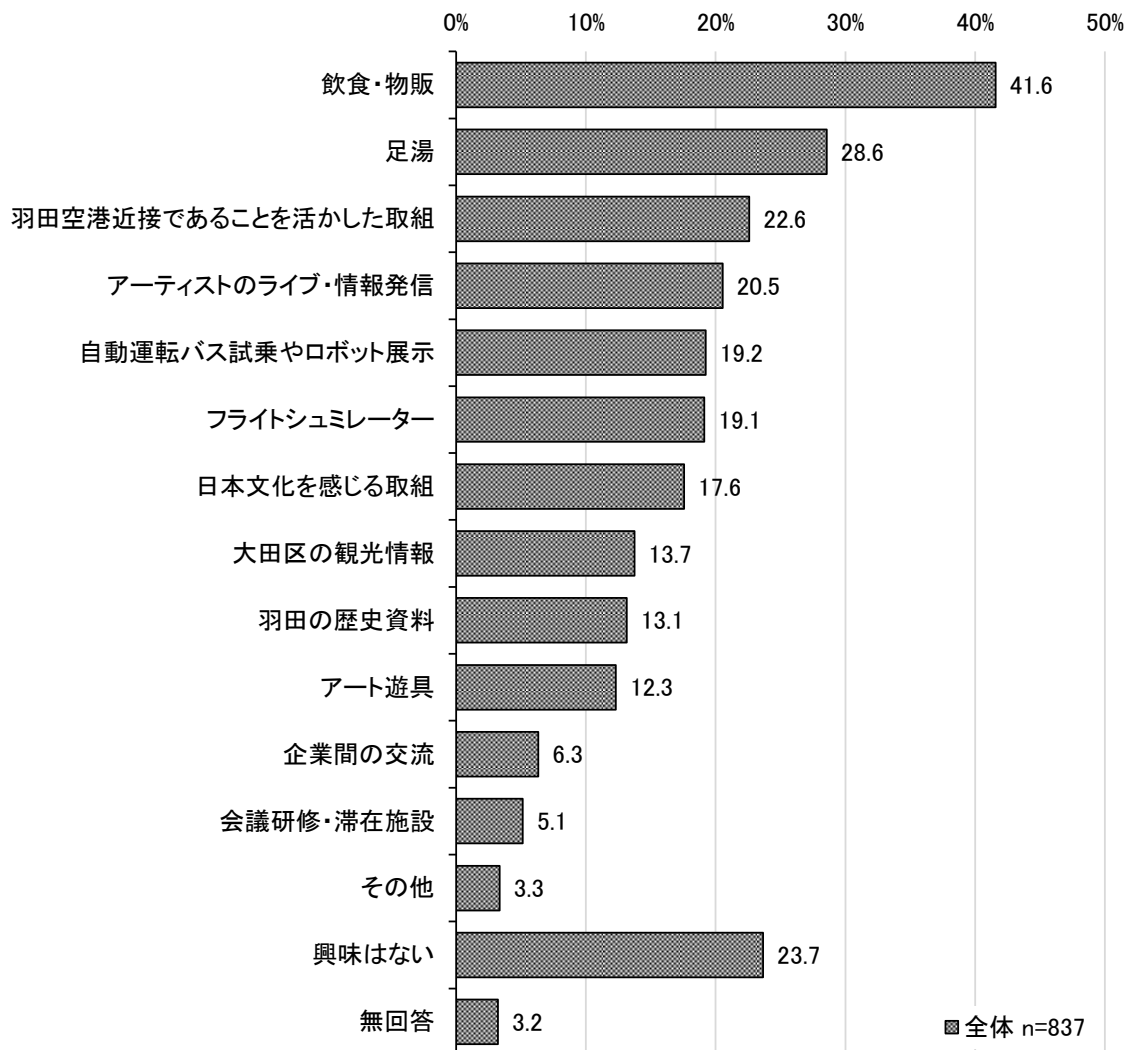


### (3) 「羽田イノベーションシティ」において興味があるもの

◇「飲食・物販」が4割前半で最も高くなっている

#### 問 21 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業（羽田イノベーションシティ）のうち、興味があるものはありますか。（いくつでも）

“羽田イノベーションシティ”において興味があるものについては、「飲食・物販」が41.6%で最も高く、次いで「足湯」が28.6%、「羽田空港近接であることを活かした取組」が22.6%となっている。なお、「興味はない」は23.7%となっている。

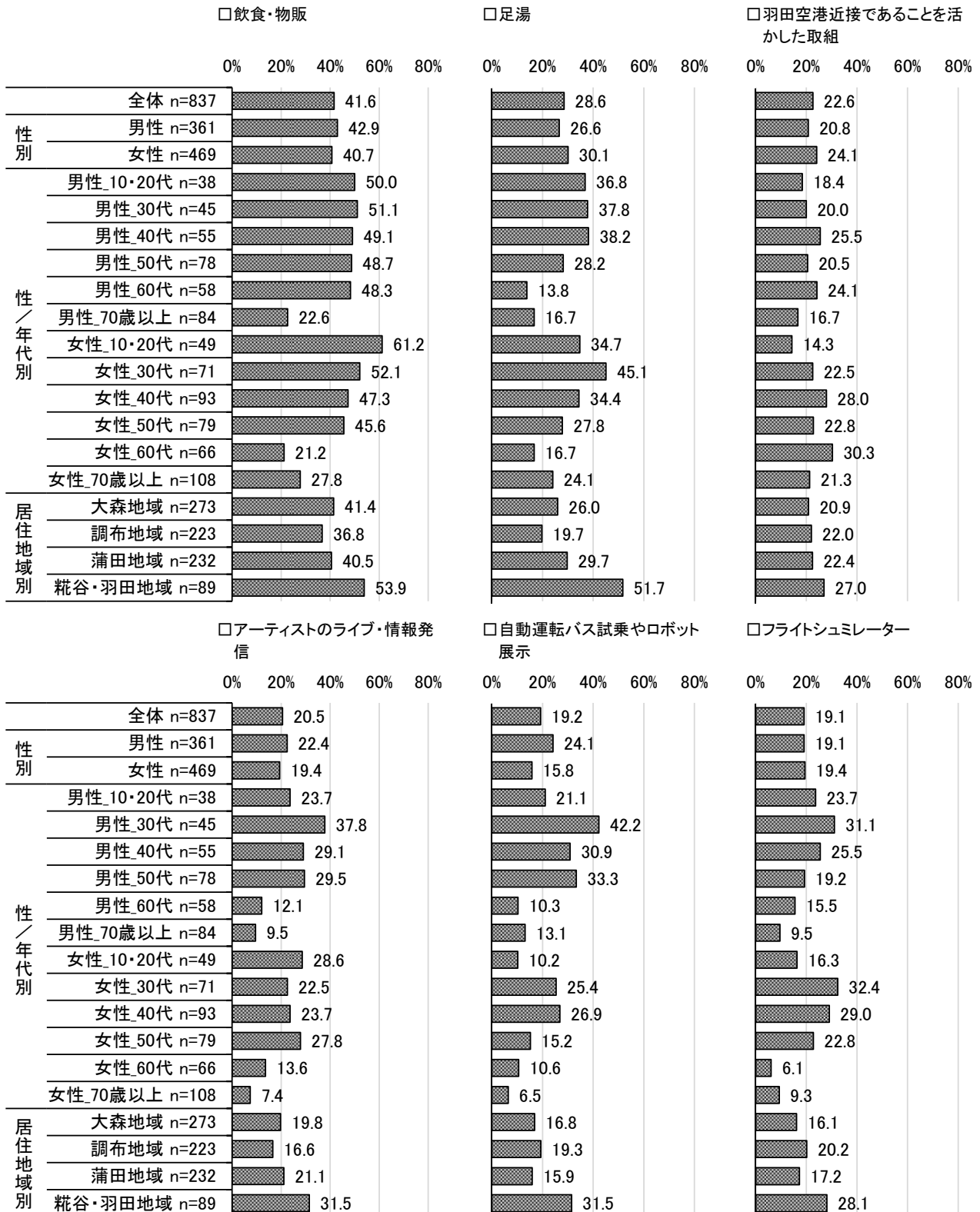


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「飲食・物販」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、女性60代を除き「飲食・物販」が最も高く、女性10・20代で6割前半となっている。「足湯」は女性30代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「飲食・物販」が最も高く、糀谷・羽田地域で5割前半となっている。

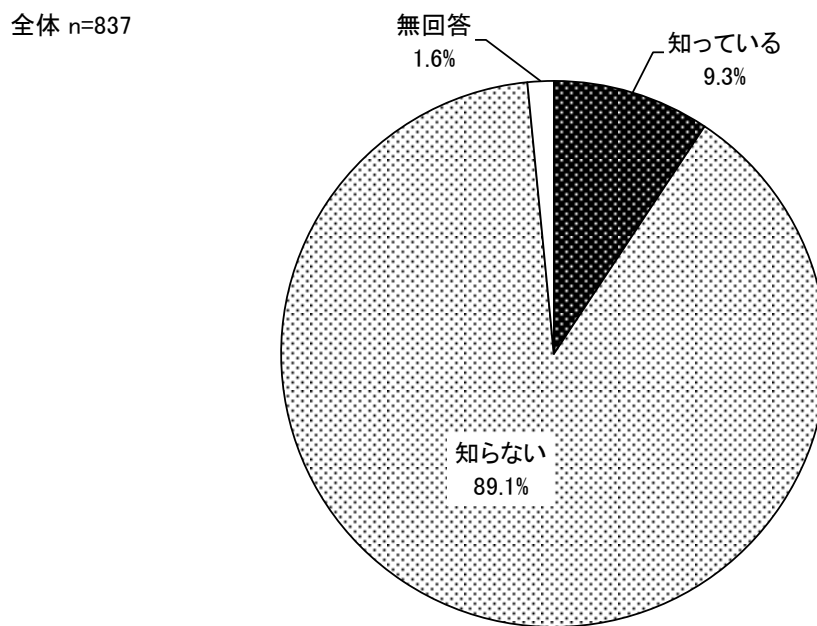


#### (4) 「羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備」の認知度

◇ 「知っている」は約1割となっている

**問 22 羽田空港跡地第1ゾーンに公園(300m×70m程度)が整備される予定があることを知っていますか。(1つのみ)**

“羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備”の認知度については、「知っている」が9.3%、「知らない」が89.1%と、「知らない」が79.8ポイント上回っている。

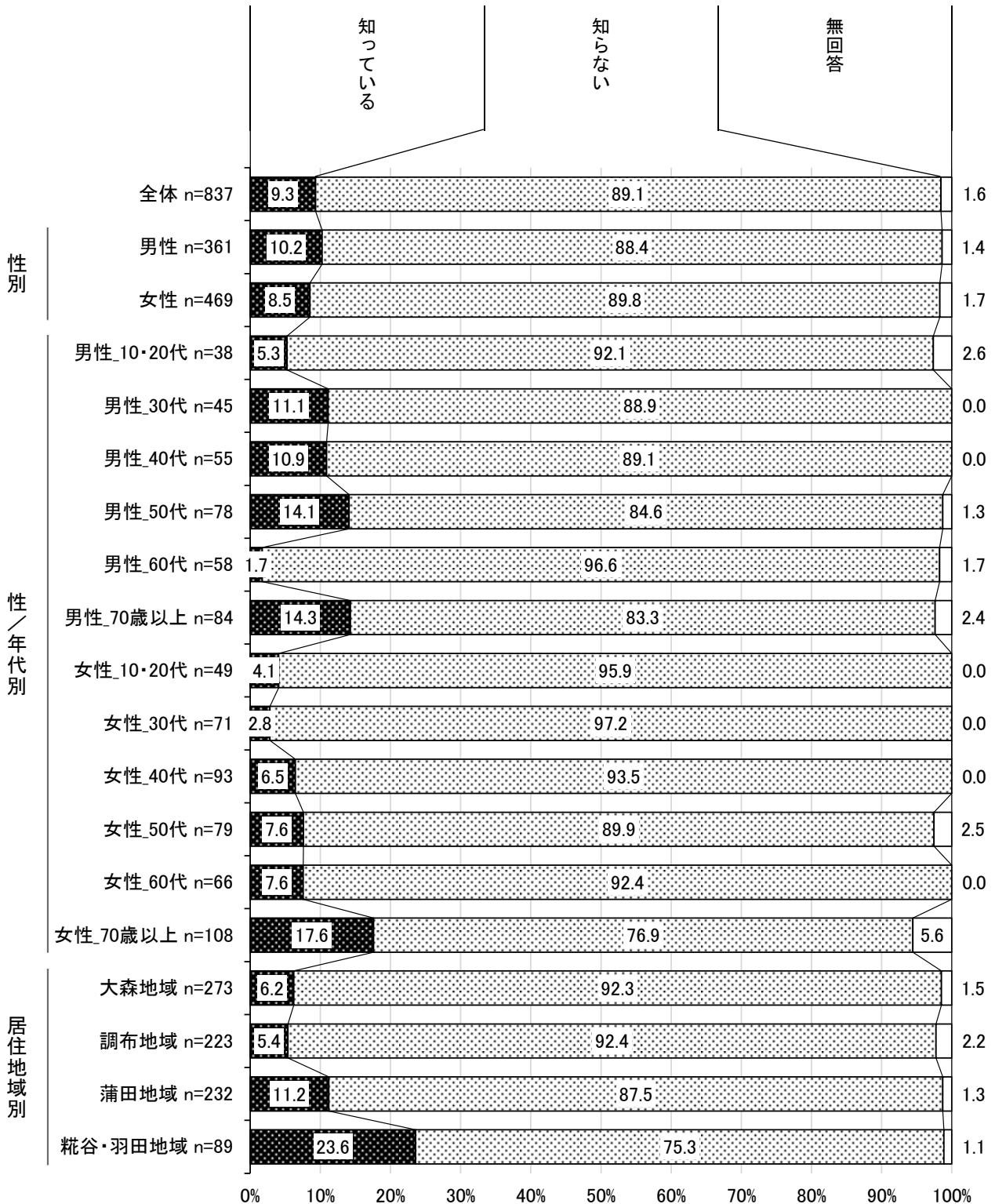


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性10・20代、男性60代、女性10・20代から60代で1割未満となっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で2割前半と高くなっている。

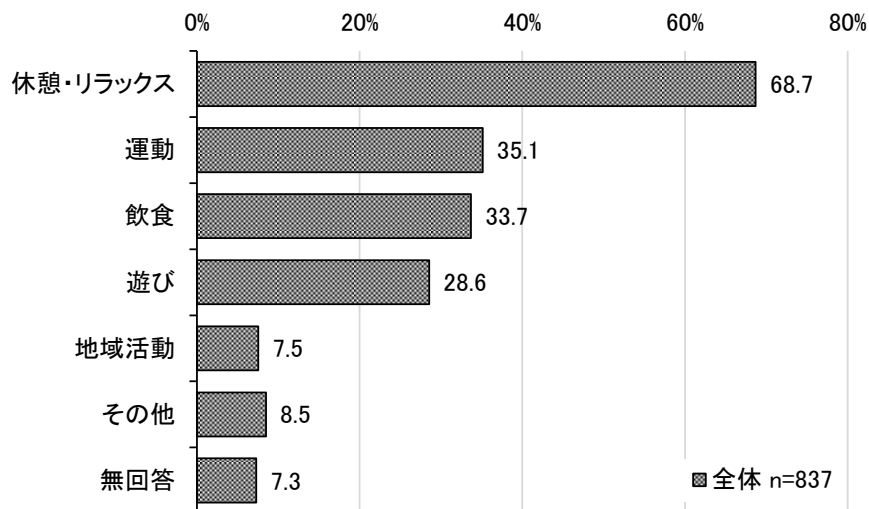


## (5) 整備される公園でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が7割弱で最も高くなっている

### 問 23 整備される予定の公園で、したいことはありますか。(いくつでも)

整備される公園でしたいことについては、「休憩・リラックス」が68.7%で最も高く、次いで「運動」が35.1%、「飲食」が33.7%となっている。

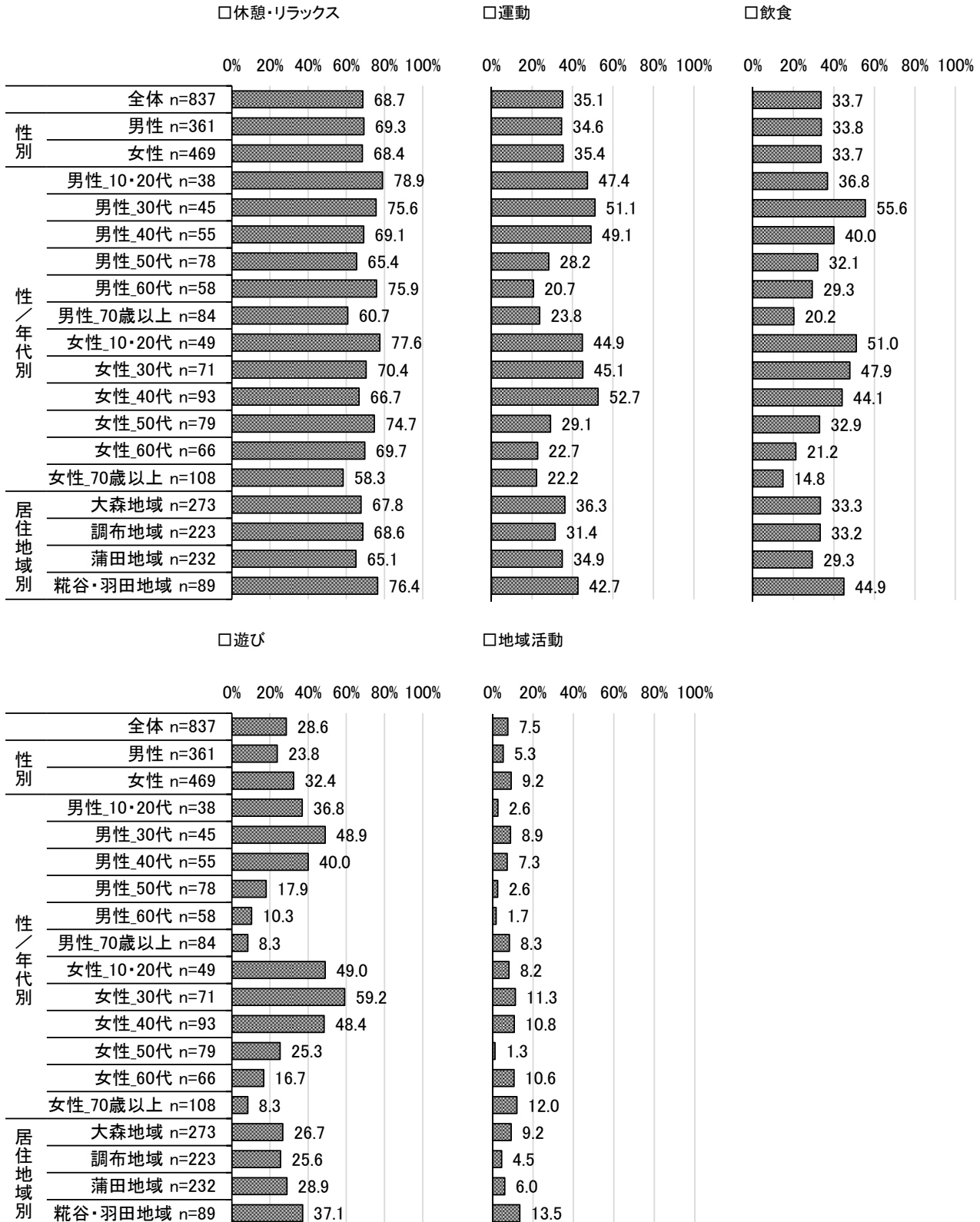


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、すべての性／年代で「休憩・リラックス」が最も高く、男性10・20代、女性10・20代で8割弱となっている。「遊び」は男性では30代で5割弱、女性では30代で約6割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、糀谷・羽田地域で8割弱となっている。

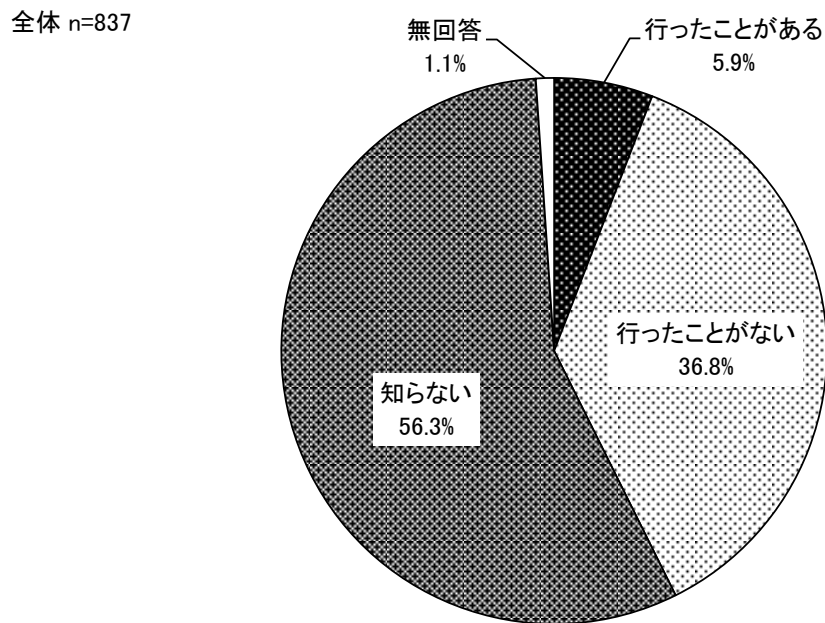


## (6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況

◇ 「行ったことがある」は1割未満となっている

**問 24 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に整備された「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）に行ったことはありますか。（1つのみ）**

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が56.3%で最も高く、次いで「行ったことがない」が36.8%、「行ったことがある」が5.9%となっている。

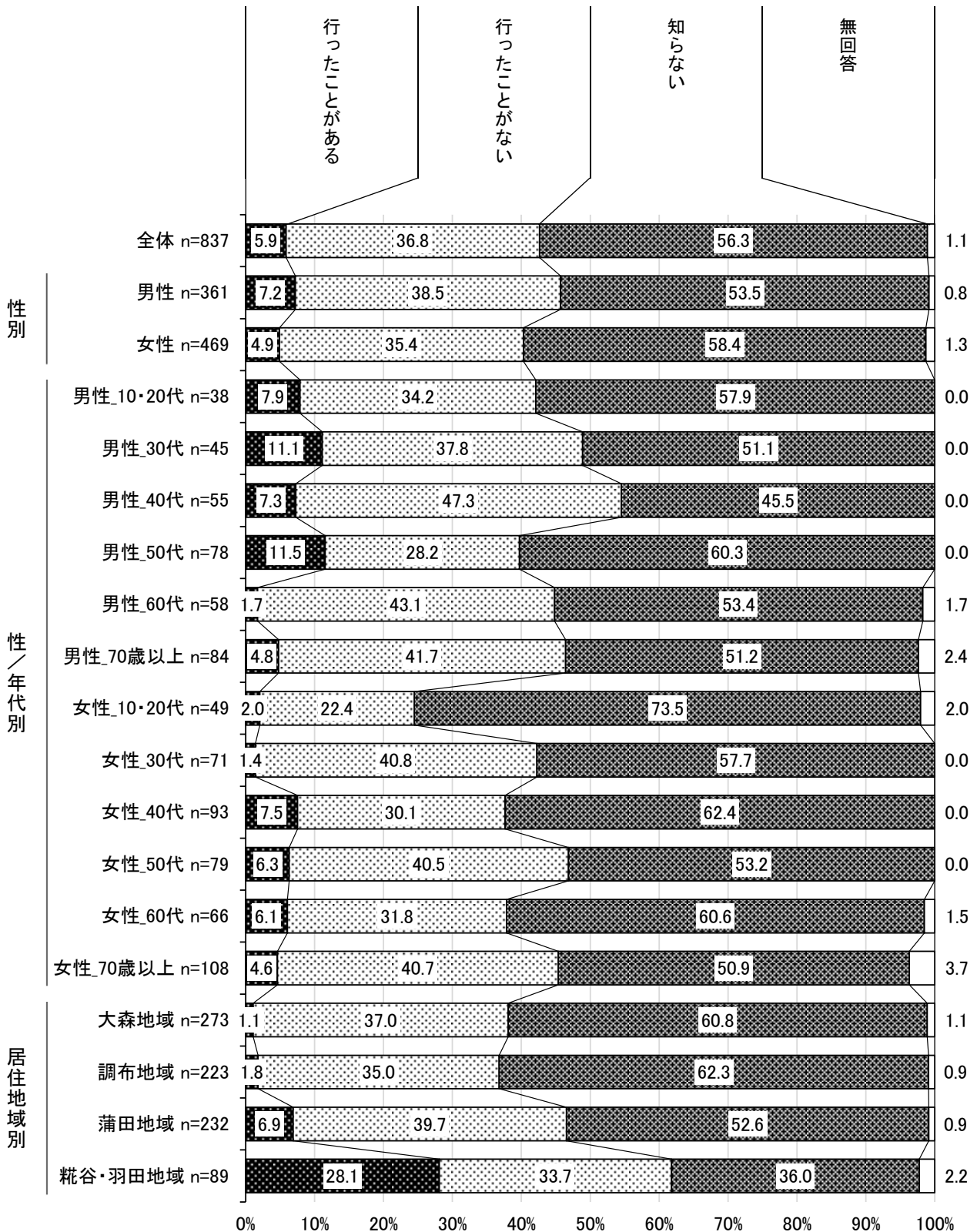


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「行ったことがある」に大きな差はみられないものの、「知らない」では男性が53.5%、女性が58.4%と、女性が4.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「行ったことがある」は男性では30代、50代で1割前半、女性では40代で1割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「行ったことがある」は糀谷・羽田地域で3割弱と高くなっている。



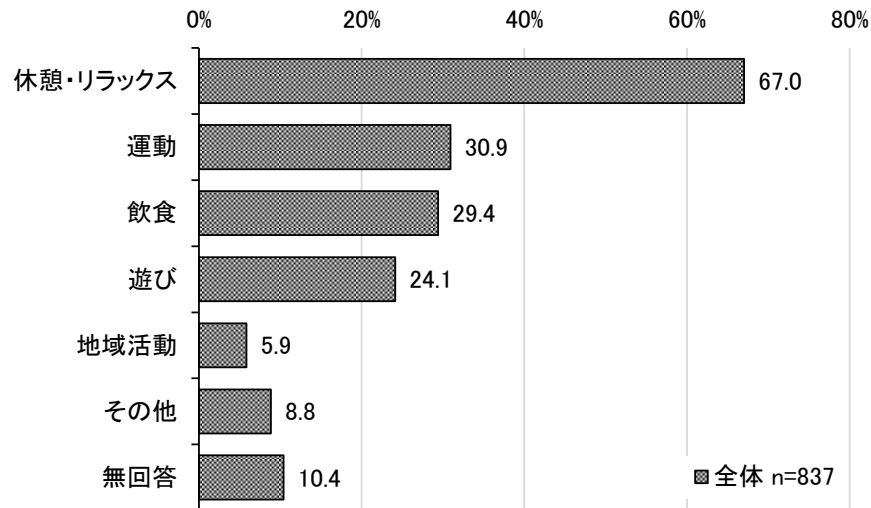


## (7) 「ソラムナード羽田緑地」でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が7割弱で最も高くなっている

### 問 25 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(いくつでも)

“ソラムナード羽田緑地”でしたいことについては、「休憩・リラックス」が67.0%で最も高く、次いで「運動」が30.9%、「飲食」が29.4%となっている。

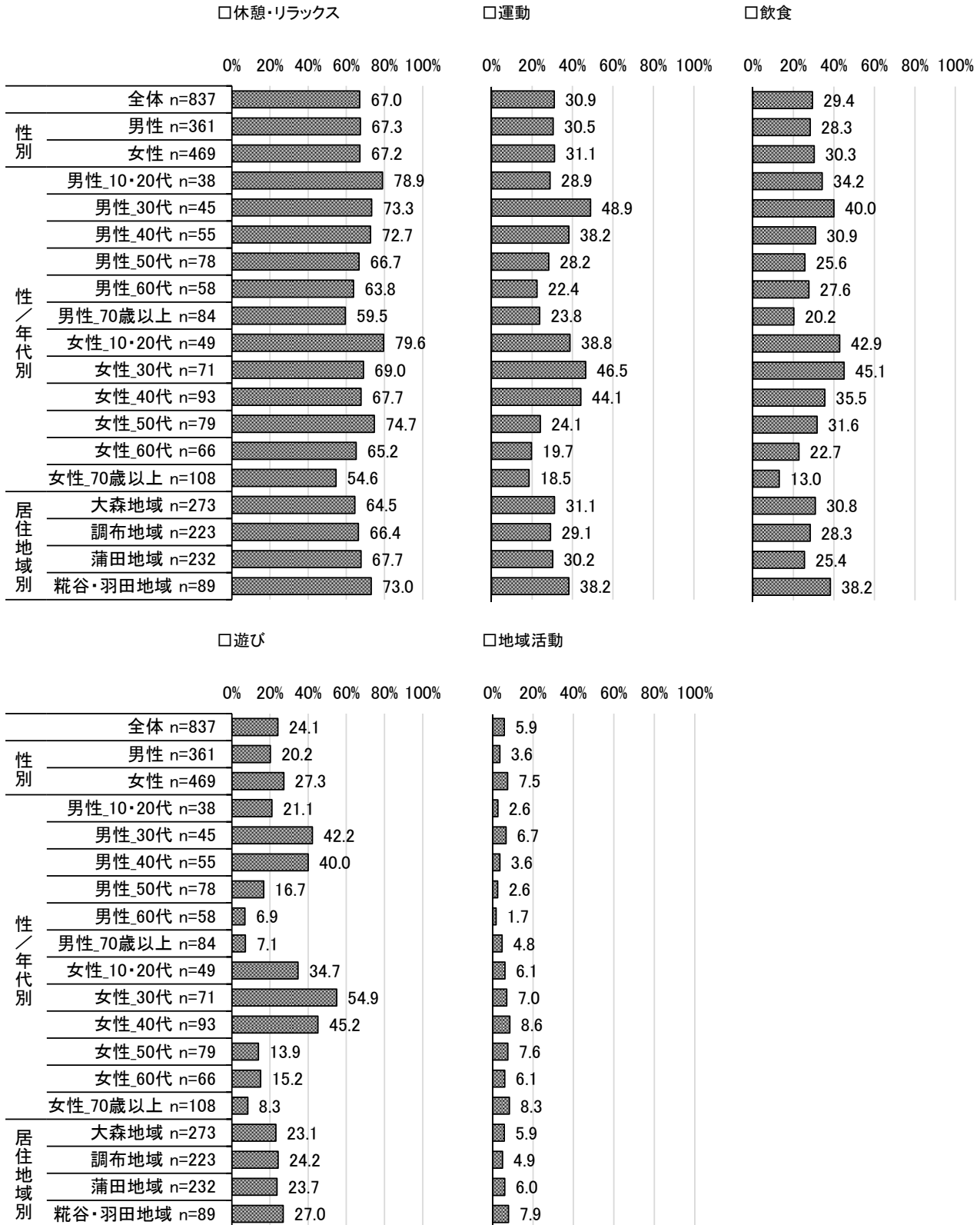


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、すべての性／年代で「休憩・リラックス」が最も高く、男性10・20代、女性10・20代で8割弱となっている。「遊び」は男性では30代、40代で4割台、女性では30代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、糀谷・羽田地域で7割前半となっている。



## 9 耐震改修について

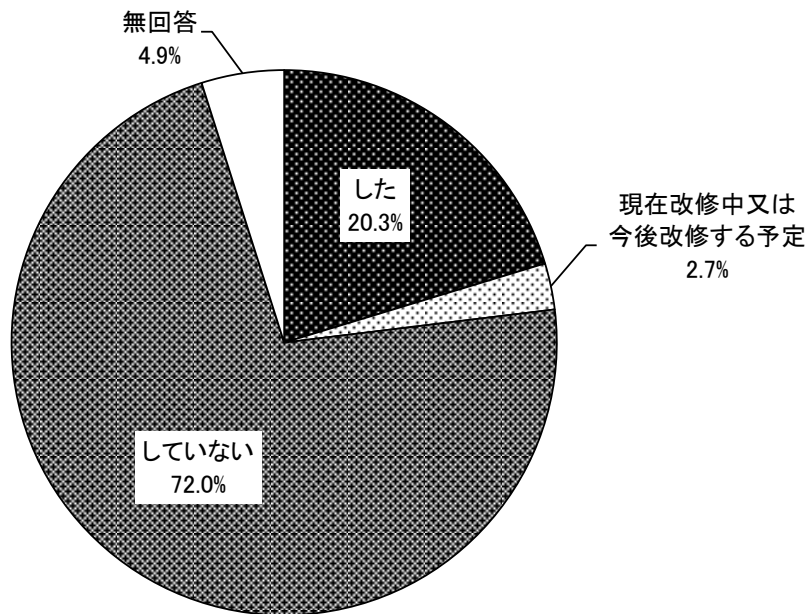
### (1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況

◇「した」が約2割となっている

#### 問 26 あなたは、現在のお住まいや区内に所有している建物の耐震改修をしましたか。(1つのみ)

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「していない」が72.0%で最も高く、次いで「した」が20.3%、「現在改修中又は今後改修する予定」が2.7%となっている。

全体 n=837

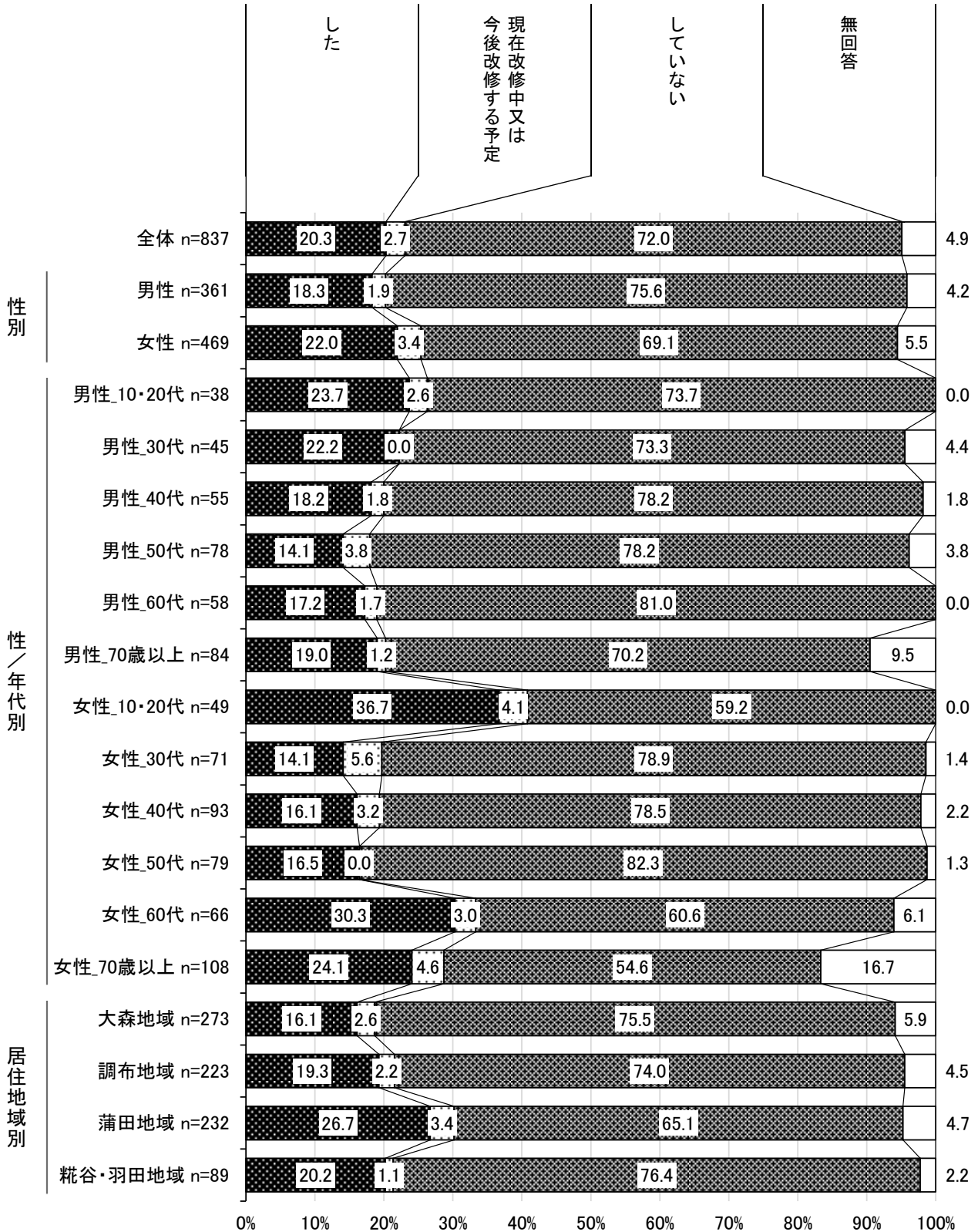


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「した」は男性が18.3%、女性が22.0%と、女性が3.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「した」は男性では10・20代、30代で2割前半、女性では10・20代で4割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「した」は蒲田地域で3割弱と高くなっている。



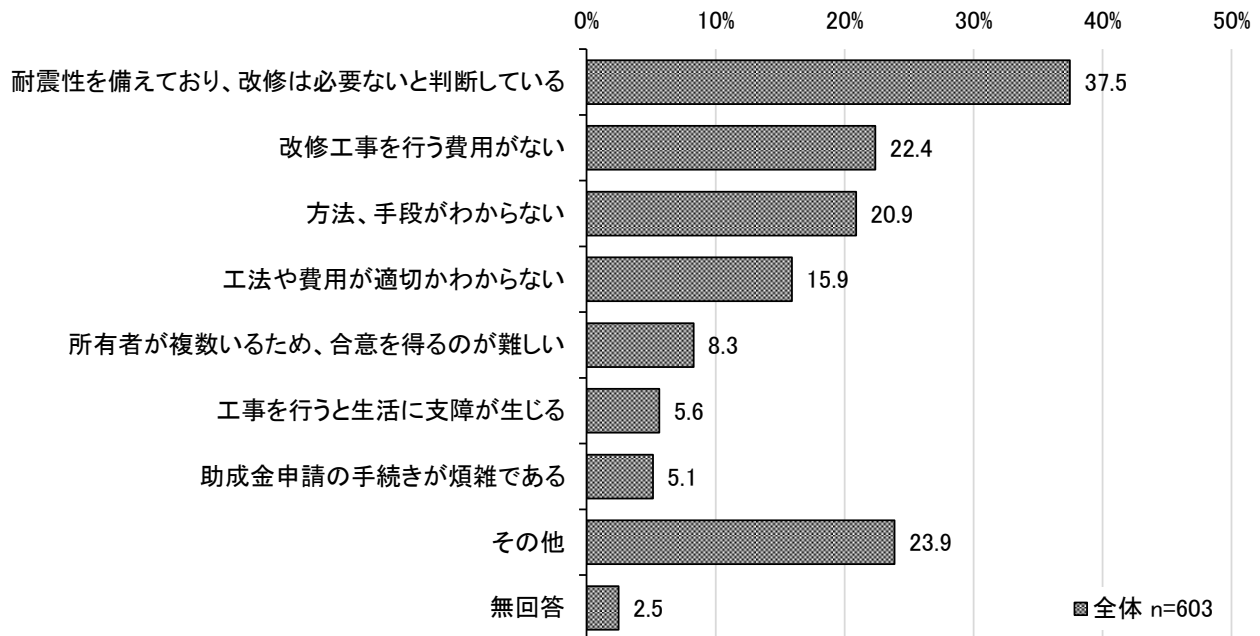
## (2) 耐震改修を行っていない理由

◇「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が4割弱で最も高くなっている

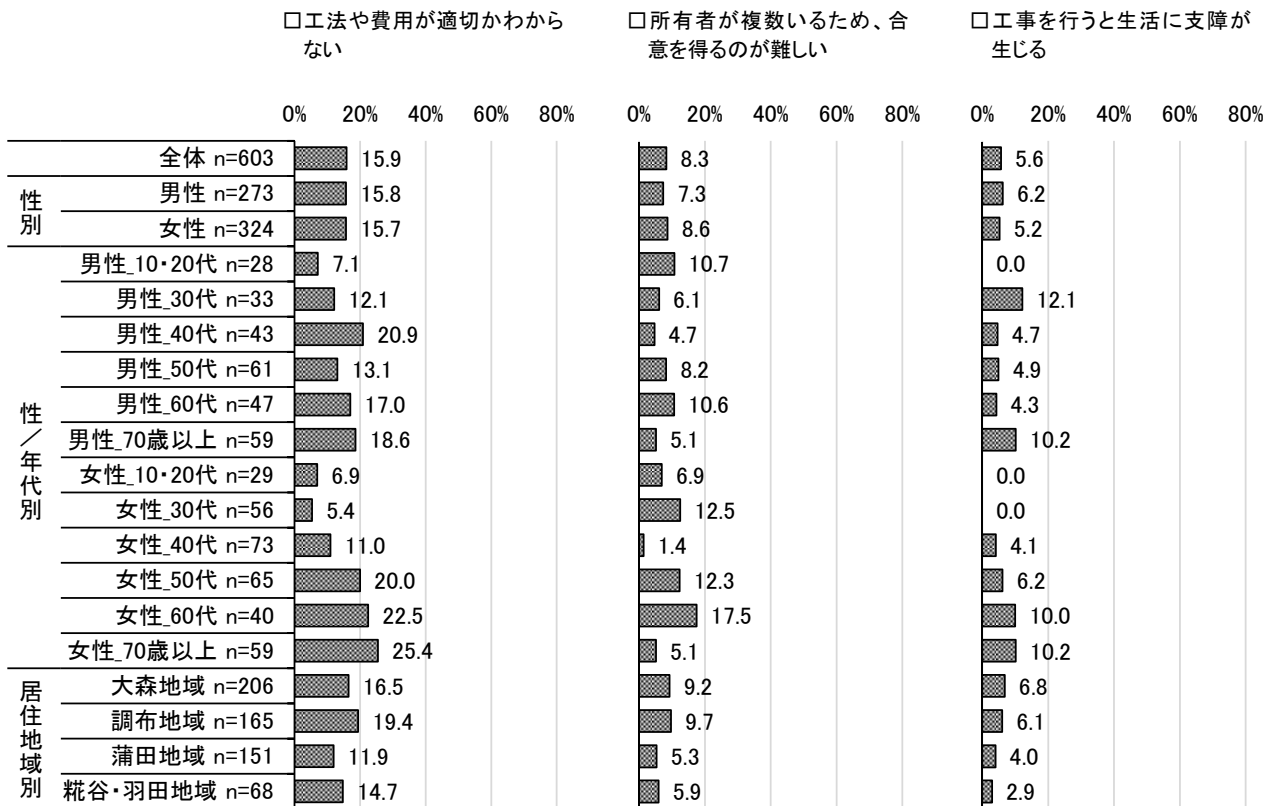
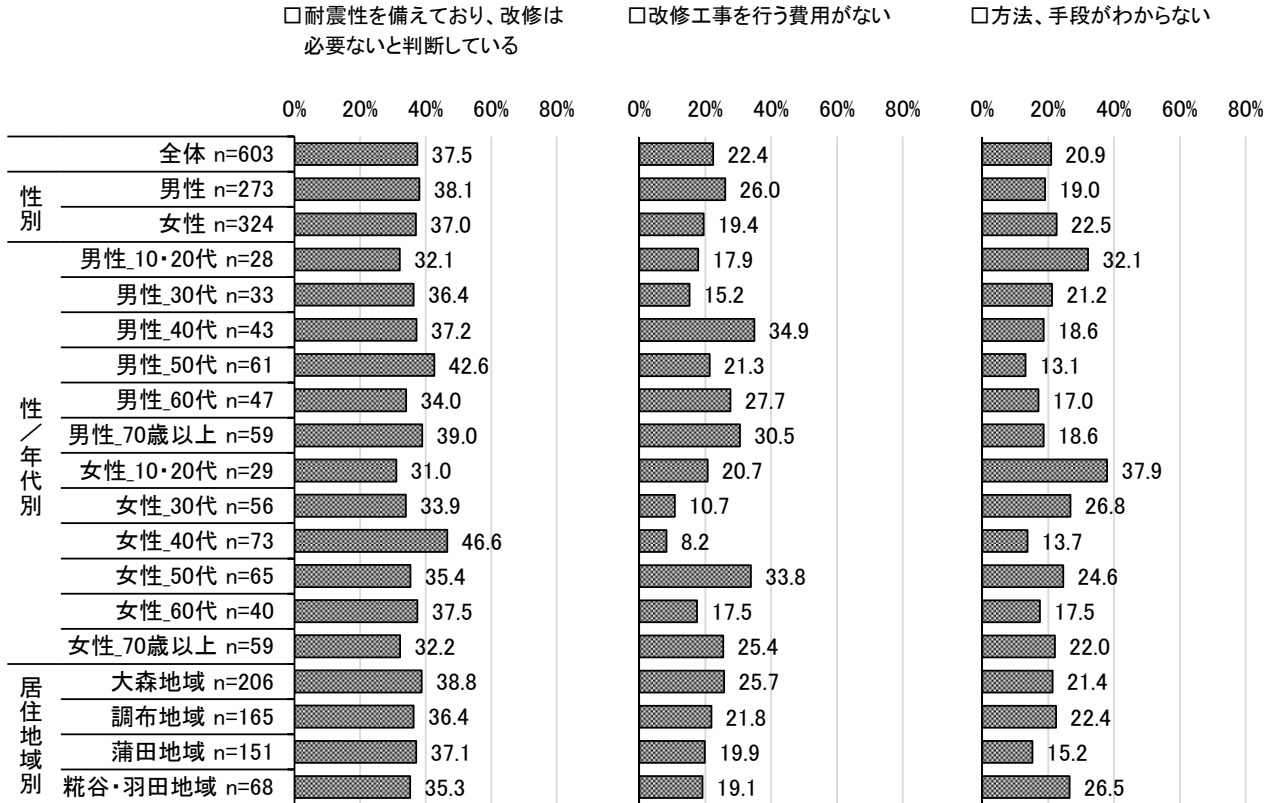
【問 26 で「していない」と回答した方に伺います。】

### 問 26-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

耐震改修を行っていない理由については、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が37.5%で最も高く、次いで「改修工事を行う費用がない」が22.4%、「方法、手段がわからない」が20.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、女性10・20代を除き「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高く、男性50代、女性40代で4割台となっている。「方法、手段がわからない」は男性では10・20代で3割前半、女性では10・20代で4割弱と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高くなっている。

## 10 空家について

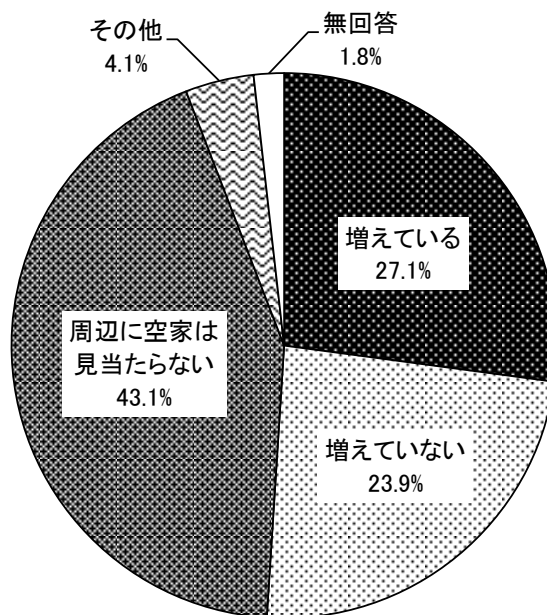
### (1) 自宅周辺の空家の状況

◇「増えている」は3割弱となっている

#### 問 27 ご自宅の周辺などで空家が増えていると感じますか。(1つのみ)

自宅周辺の空家の状況については、「周辺に空家は見当たらない」が43.1%で最も高く、次いで「増えている」が27.1%、「増えていない」が23.9%となっている。

全体 n=837



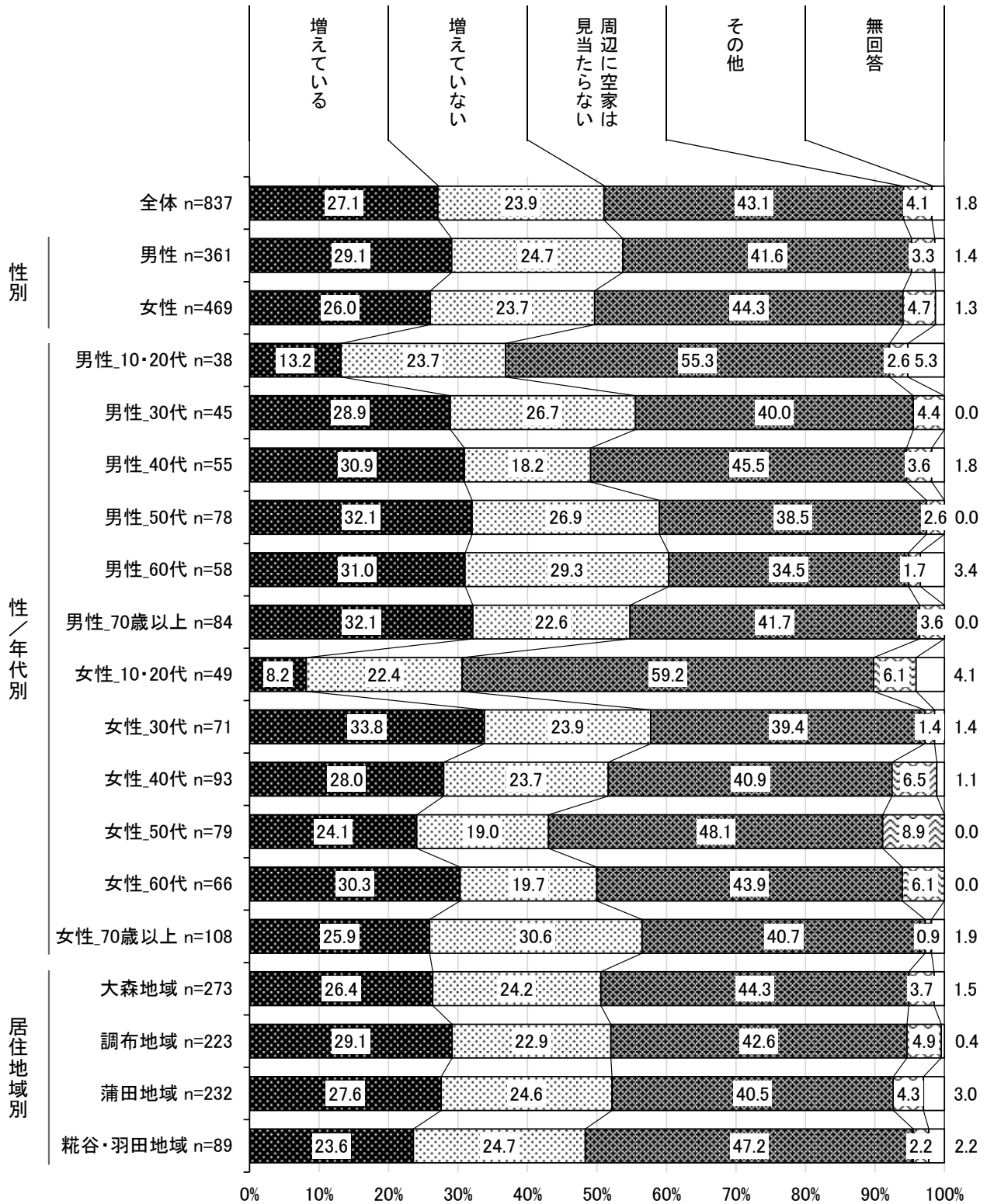


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「増えている」は男性40代から70歳以上、女性30代、女性60代で3割台となっている。

居住地域別でみると、「増えている」は調布地域で約3割と高くなっている。

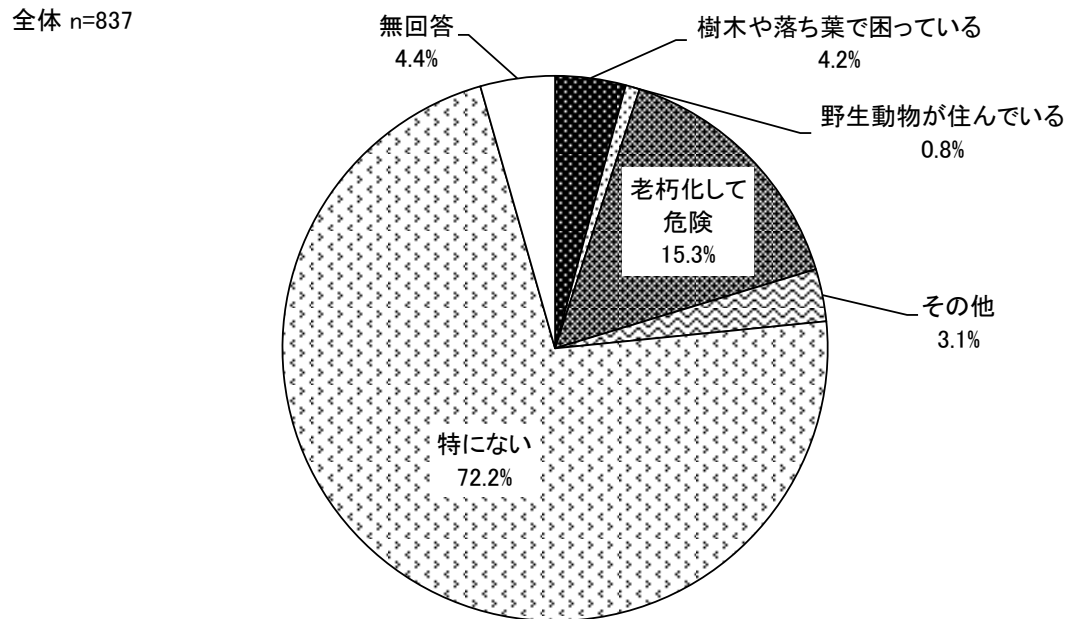


## (2) 空家によるトラブルや不都合

◇「老朽化して危険」が1割半ばとなっている

### 問 28 空家によりトラブルや不都合はありますか。(1つのみ)

空家によるトラブルや不都合については、「特にない」が72.2%で最も高く、次いで「老朽化して危険」が15.3%、「樹木や落ち葉で困っている」が4.2%となっている。

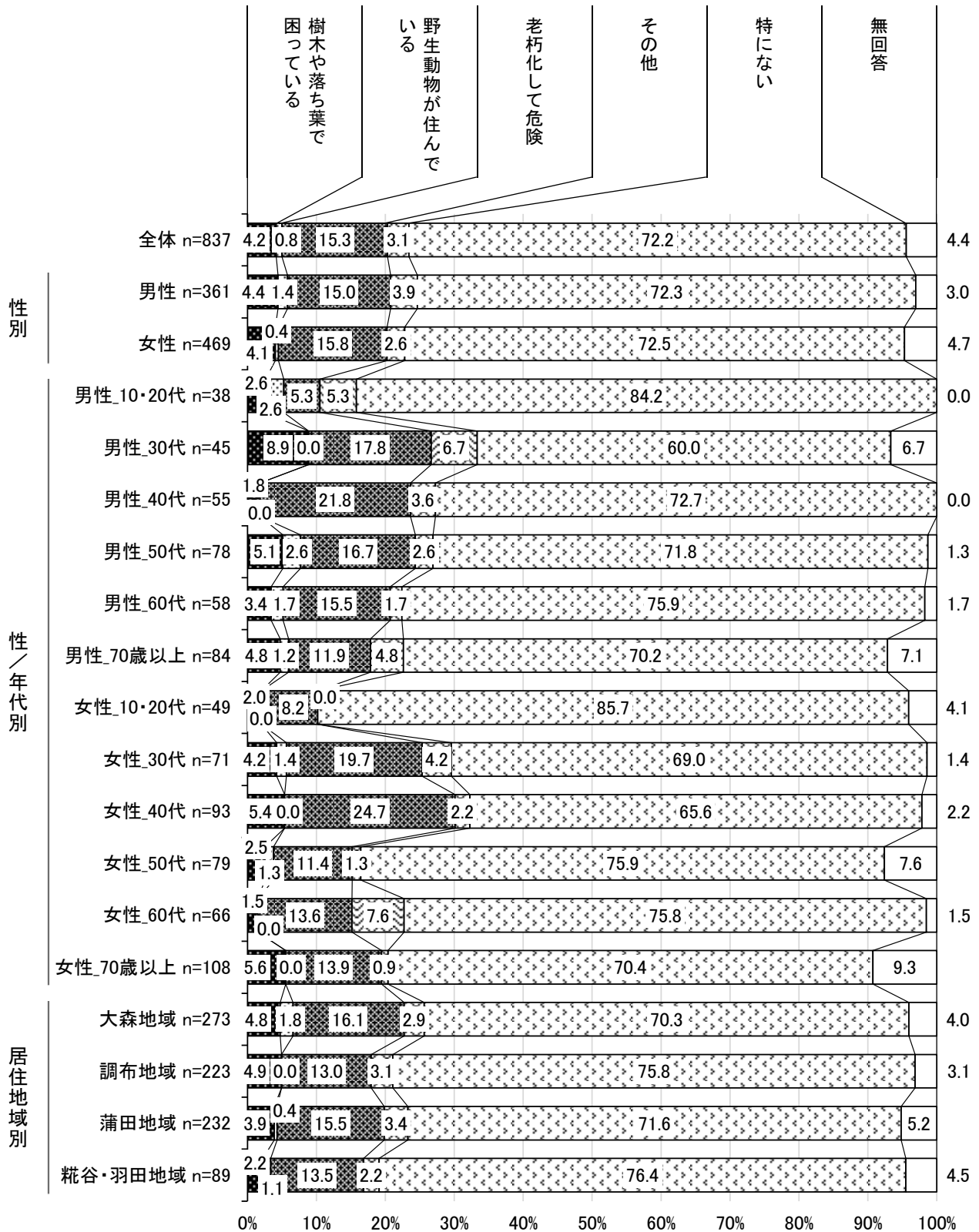


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「老朽化して危険」は男性では40代で2割前半、女性では40代で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「老朽化して危険」は大森地域、蒲田地域で1割半ばと高くなっている。



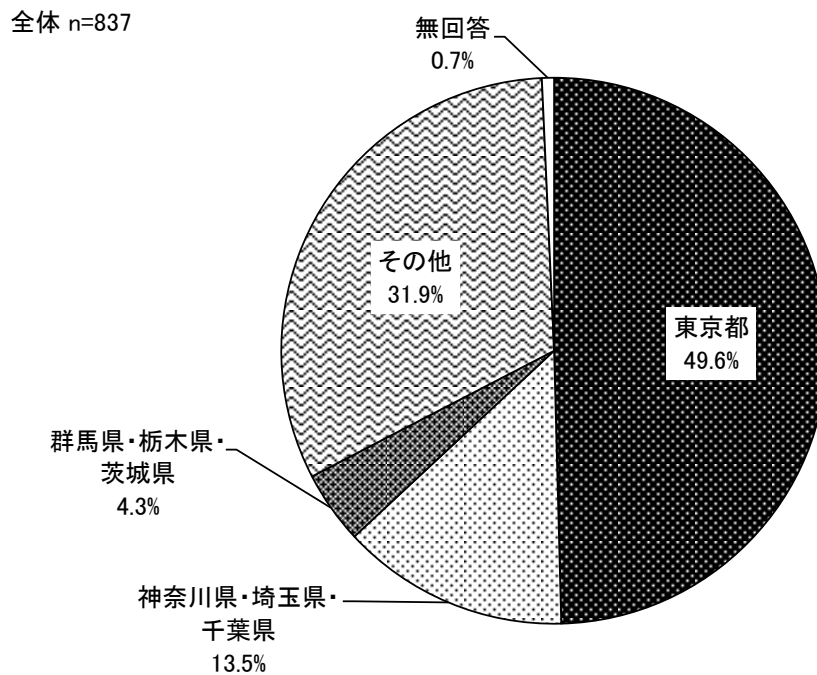
## 11 移住について

### (1) 自身の出身地

◇「東京都」が約5割となっている

#### 問 29 あなたの出身地はどこですか。(1つのみ)

自身の出身地については、「東京都」が49.6%で最も高く、次いで「神奈川県・埼玉県・千葉県」が13.5%、「群馬県・栃木県・茨城県」が4.3%となっている。

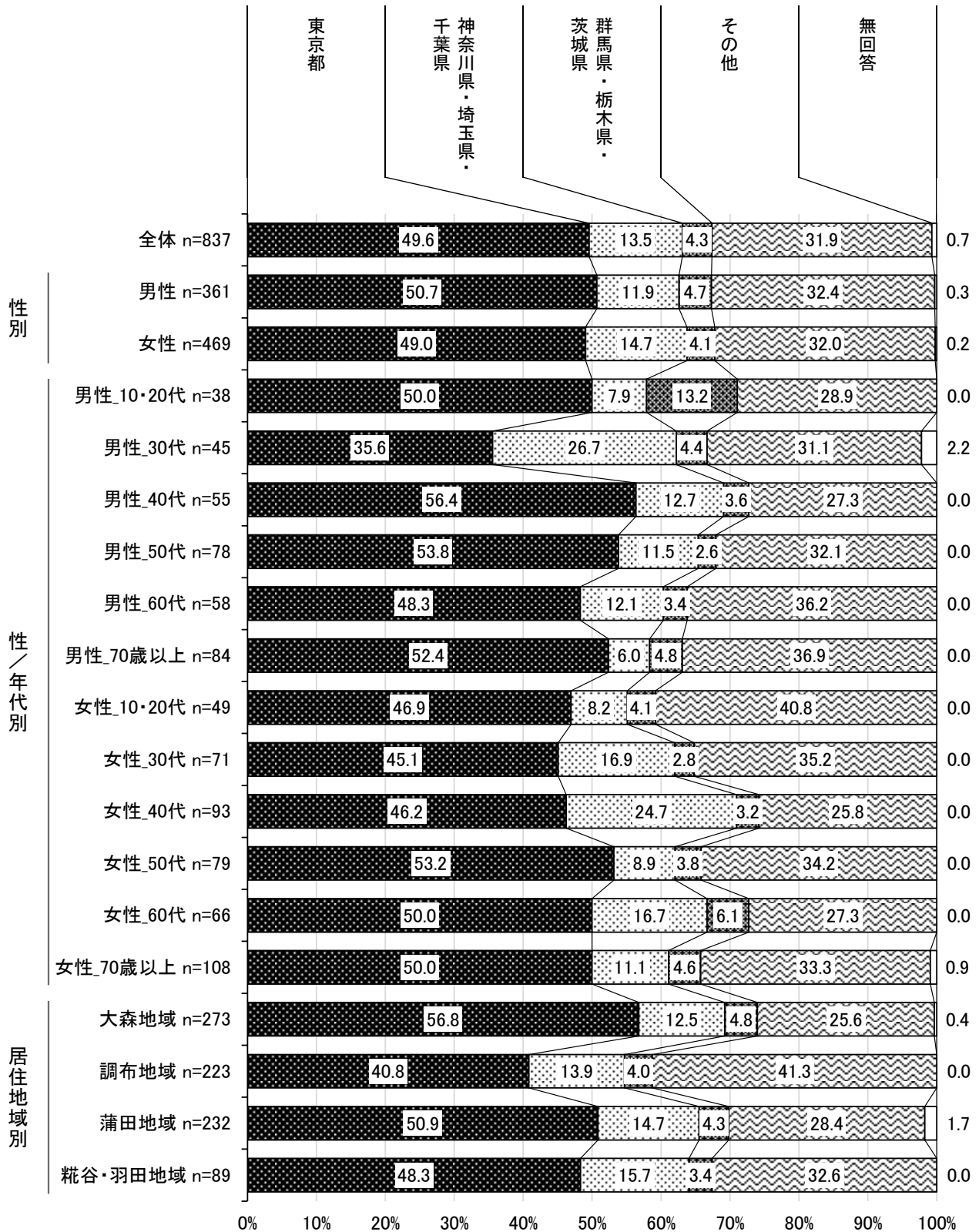


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

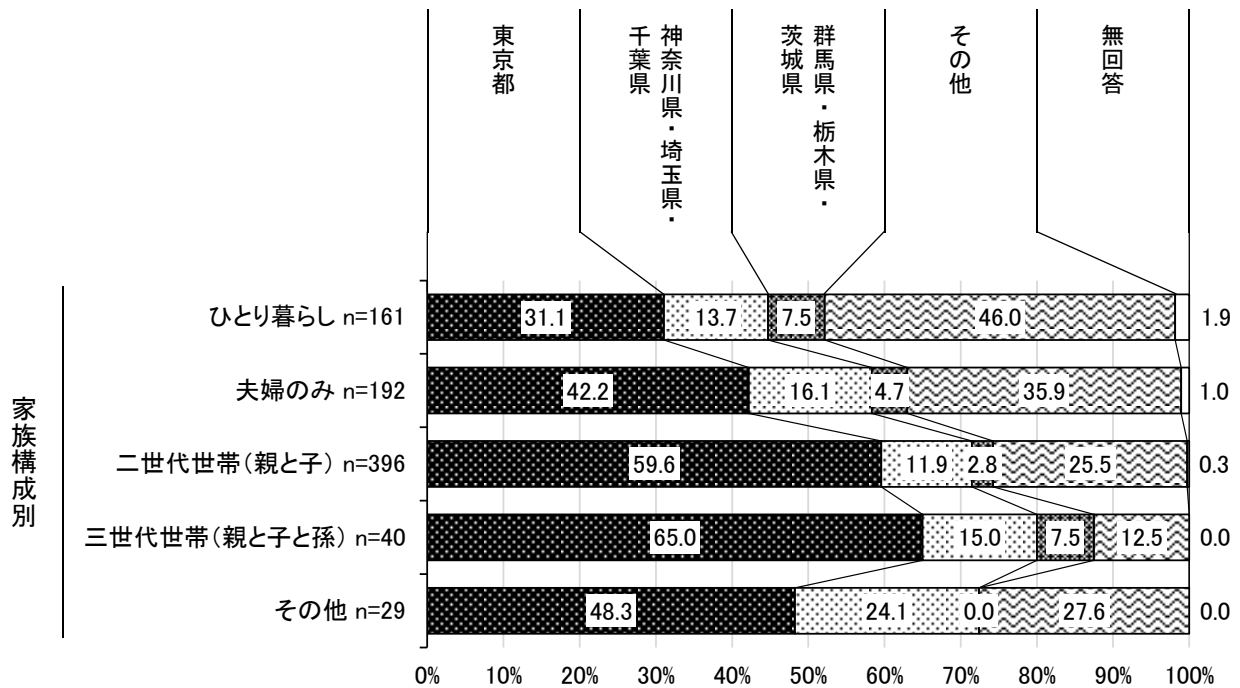
性／年代別でみると、「東京都」は男性10・20代、男性40代、男性50代、男性70歳以上、女性50代から70歳以上で5割台となっている。

居住地域別でみると、「東京都」は大森地域で6割弱と高くなっている。



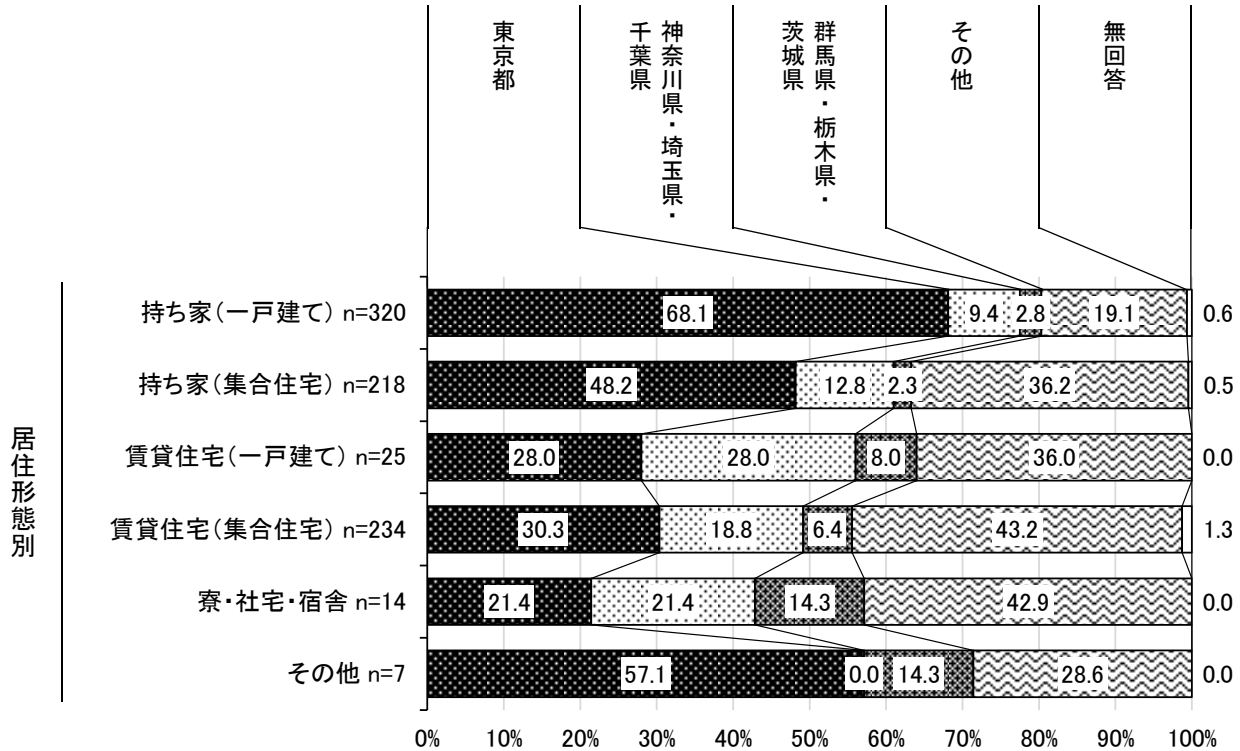
### ■ 家族構成別

家族構成別でみると、「東京都」は三世代世帯（親と子と孫）で6割半ばと高くなっている。



### ■ 居住形態別

居住形態別でみると、「東京都」は持ち家（一戸建て）で7割弱と高くなっている。

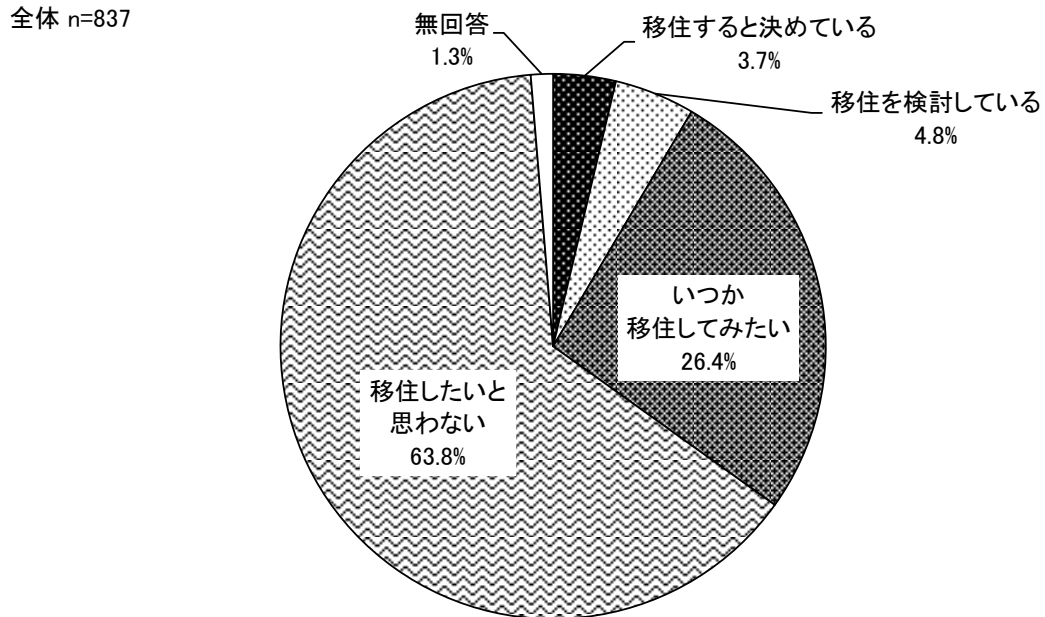


## (2) 東京都外への移住意向

◇「移住すると決めている」は4%未満となっている

### 問 30 あなたは東京都外へ移住したいと思いますか。(1つのみ)

東京都外への移住意向については、「移住したいと思わない」が63.8%で最も高く、次いで「いつか移住してみたい」が26.4%、「移住を検討している」が4.8%となっている。

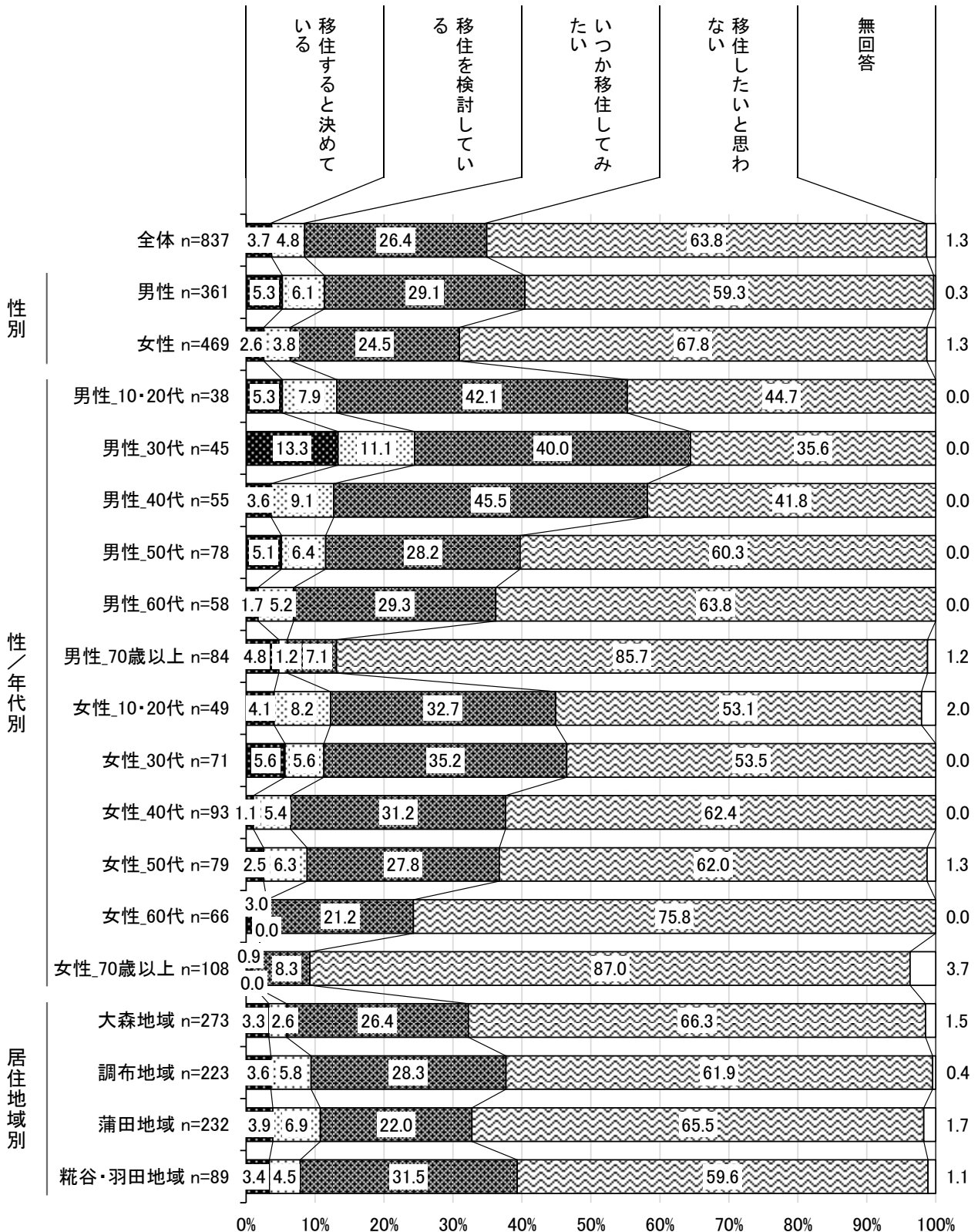


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「移住すると決めている」は男性が5.3%、女性が2.6%と、男性が2.7ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「移住すると決めている」は男性30代で1割前半と高くなっている。

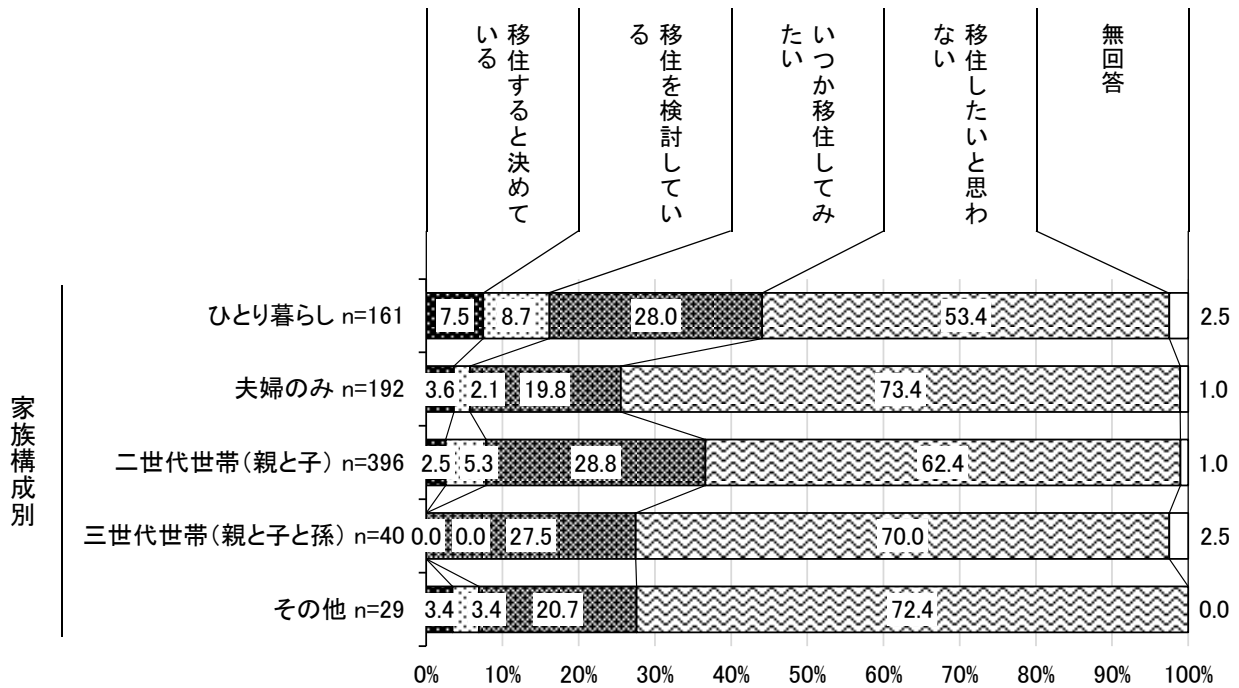
居住地域別でみると、すべての地域で「移住すると決めている」は4%未満となっている。





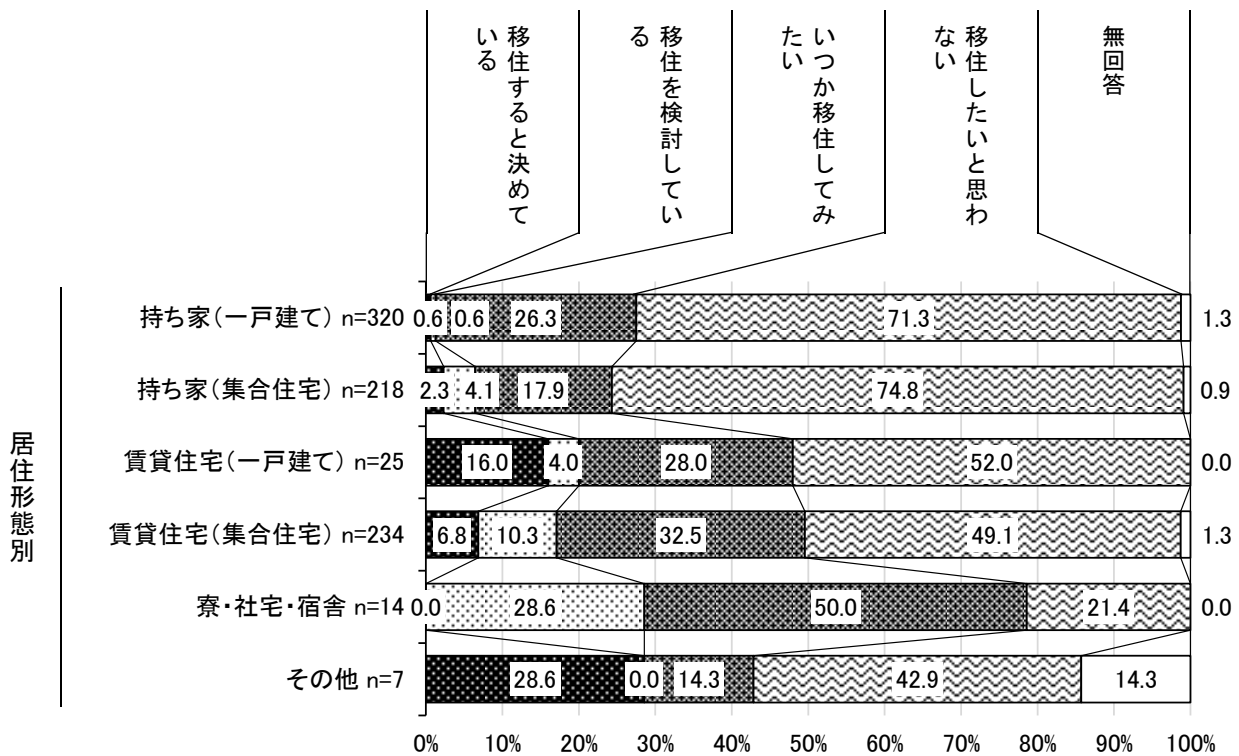
### ■ 家族構成別

家族構成別でみると、「移住すると決めている」はひとり暮らしで1割弱と高くなっている。また、「移住を検討している」でもひとり暮らしが1割弱と高くなっている。



### ■ 居住形態別

居住形態別でみると、「移住したいと思わない」は持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）で7割台と高くなっている。



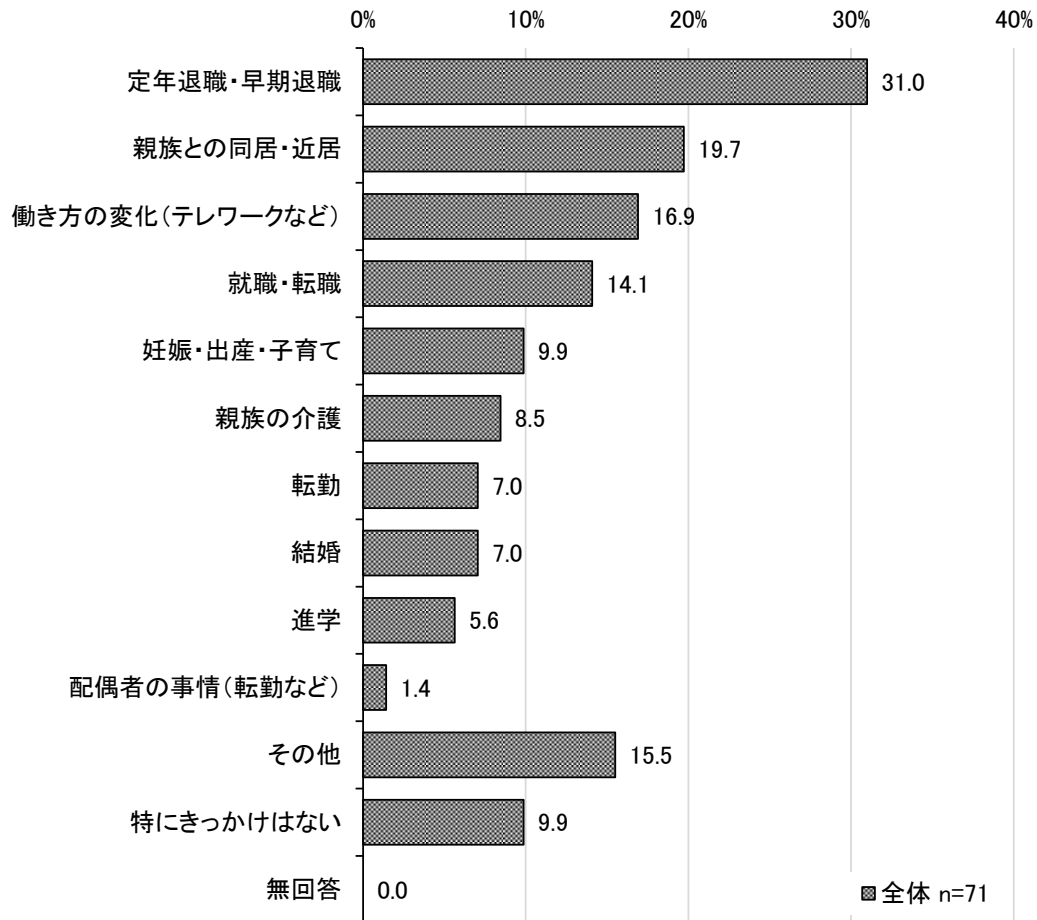
### (3) 移住を考えるようになったきっかけ

◇「定年退職・早期退職」が約3割となっている

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」と回答した方に伺います。】

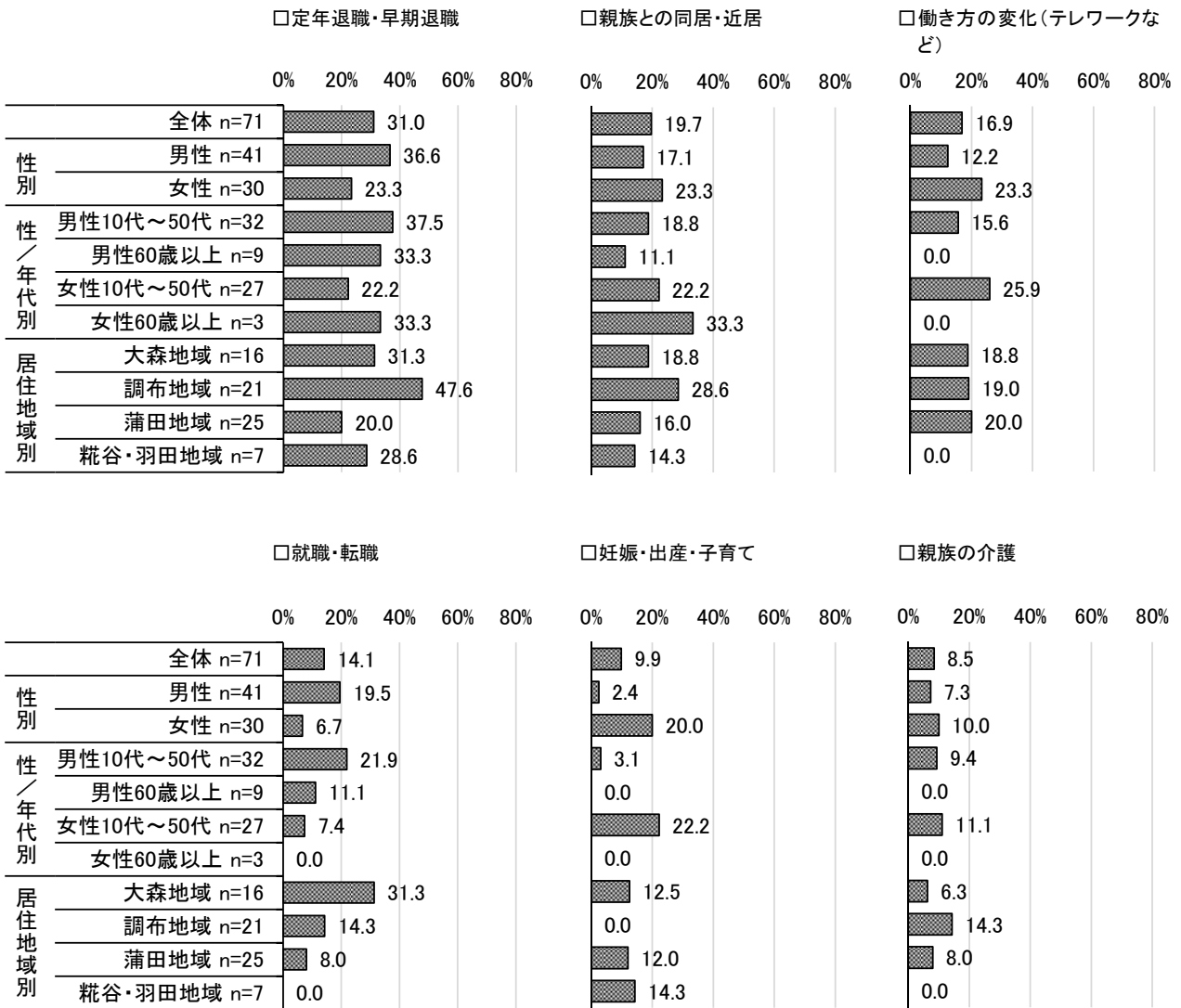
#### 問 30-1 移住を考えるようになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

移住を考えるようになったきっかけについては、「定年退職・早期退職」が31.0%で最も高く、次いで「親族との同居・近居」が19.7%、「働き方の変化(テレワークなど)」が16.9%となっている。



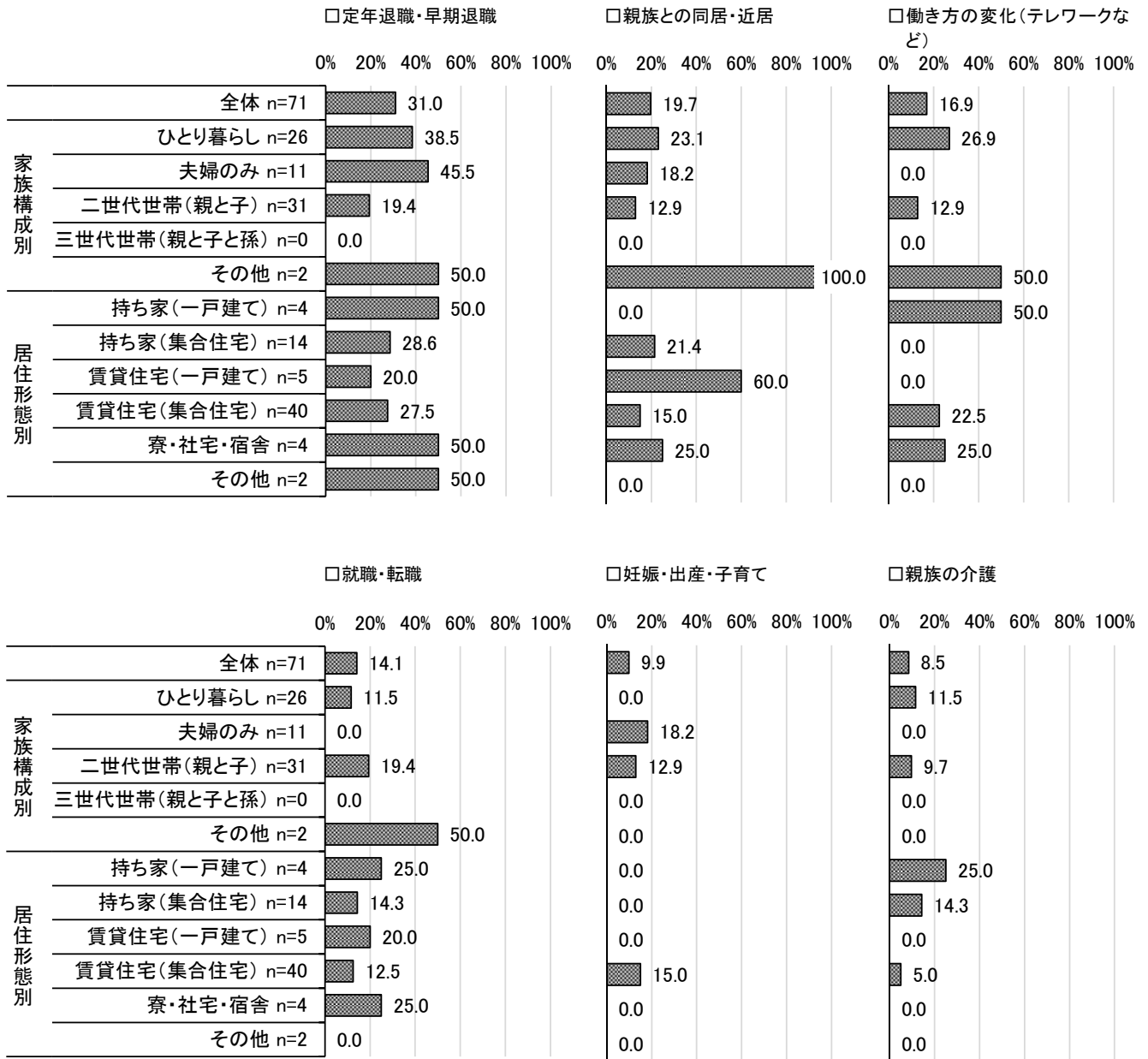
■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「定年退職・早期退職」は男性が36.6%、女性が23.3%と、男性が13.3ポイント上回っている。「妊娠・出産・子育て」は男性が2.4%、女性が20.0%と、女性が17.6ポイント上回っている。



■ 家族構成別・居住形態別（上位6項目）

家族構成別・居住形態別でみると、回答者数が30人未満の属性が半数以上のため、参考として示すにとどめる。



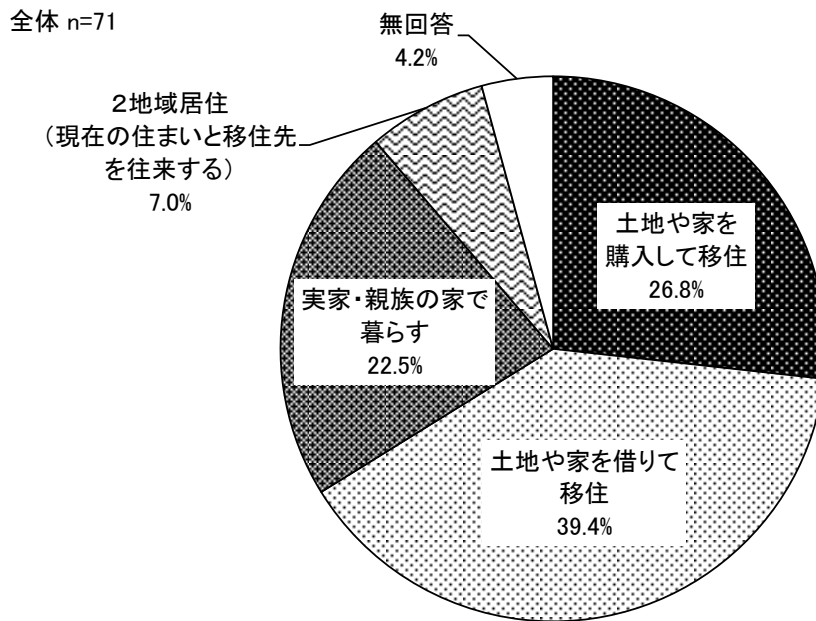
#### (4) 移住先での住まい

◇「土地や家を借りて移住」が約4割となっている

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」と回答した方に伺います。】

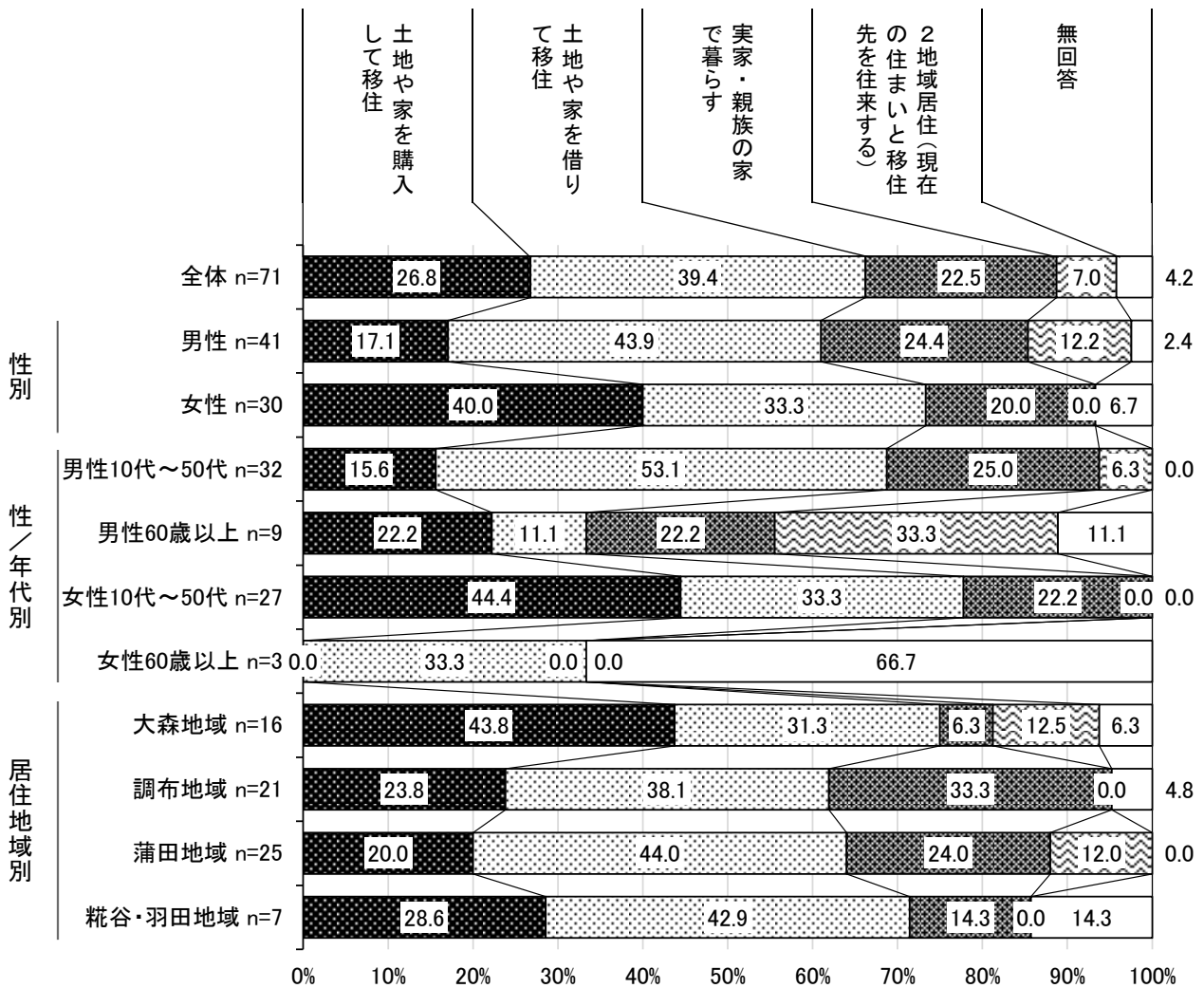
#### 問 30-2 移住する場合、住まいをどのように確保しようと考えていますか。(1つのみ)

移住先での住まいについては、「土地や家を借りて移住」が39.4%で最も高く、次いで「土地や家を購入して移住」が26.8%、「実家・親族の家で暮らす」が22.5%となっている。



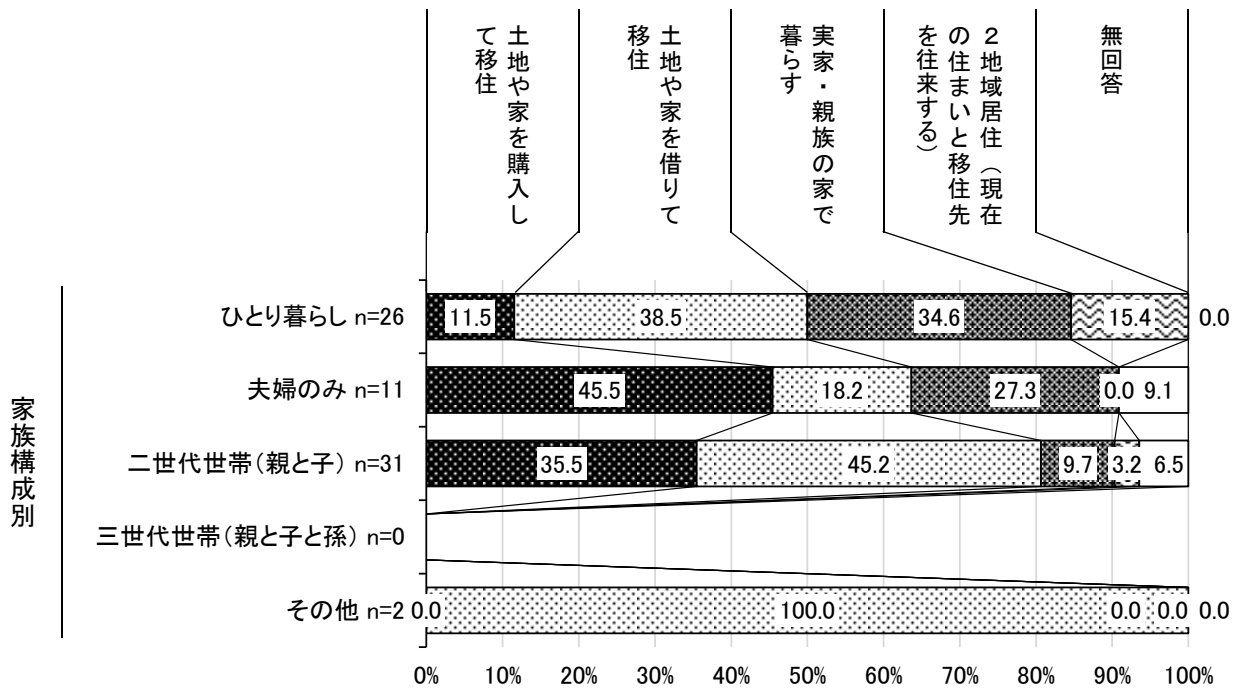
■性別・性/年代別・居住地域別

性別で見ると、「土地や家を借りて移住」は男性が43.9%、女性が33.3%と、男性が10.6ポイント上回っている。「土地や家を購入して移住」は男性が17.1%、女性が40.0%と、女性が22.9ポイント上回っている。



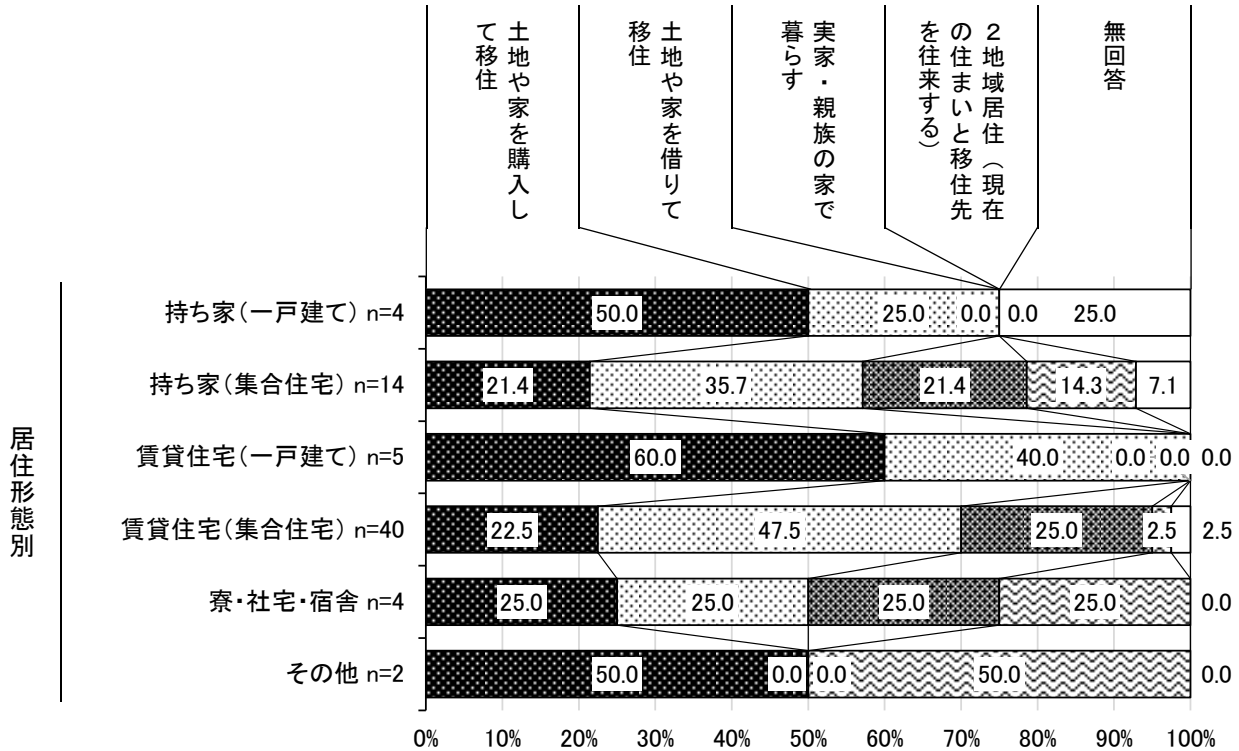
### ■ 家族構成別

家族構成別でみると、回答者数が 30 人未満の属性が半数以上のため、参考として示すにとどめる。



### ■ 居住形態別

居住形態別でみると、回答者数が 30 人未満の属性が半数以上のため、参考として示すにとどめる。



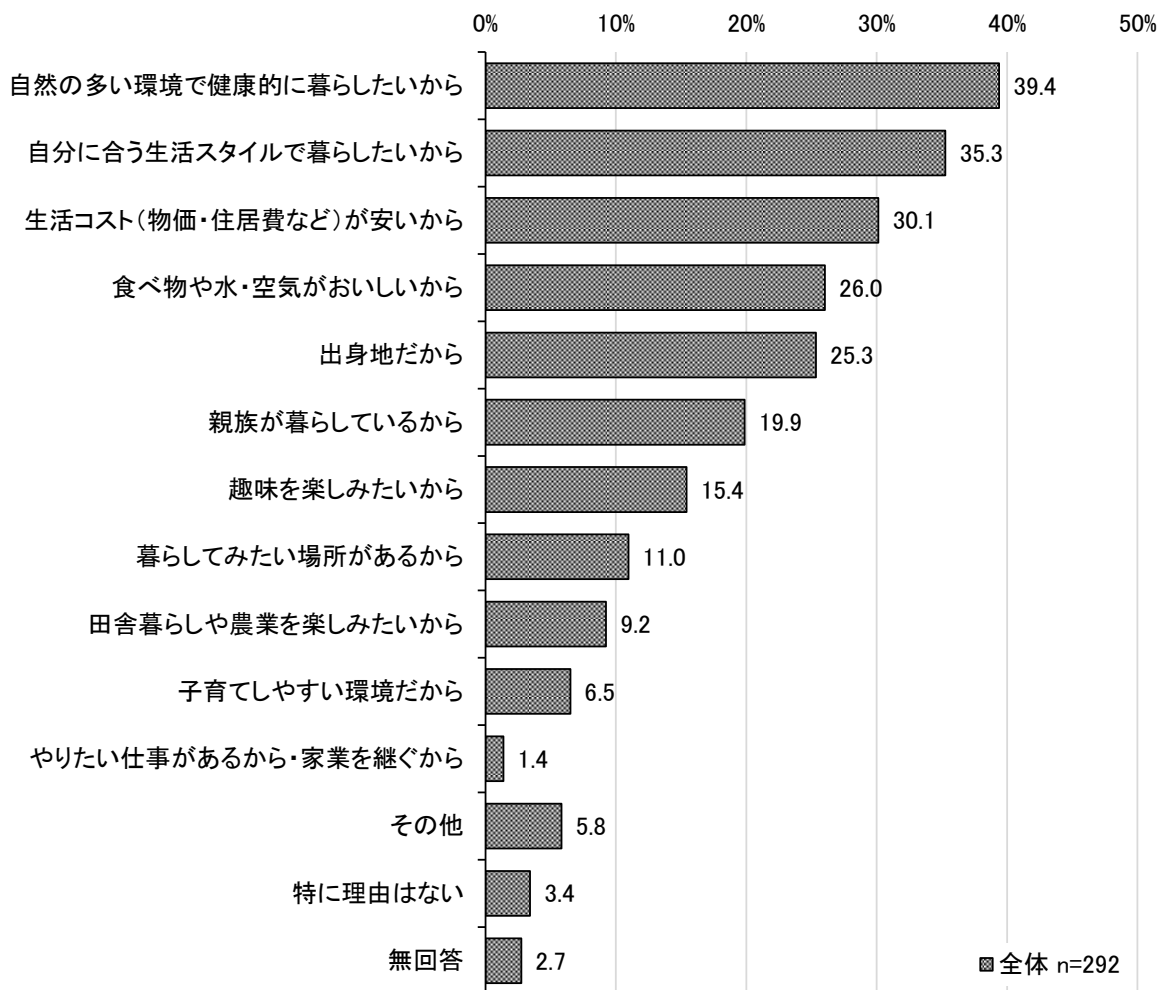
## (5) 移住したいと思う理由

◇「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が約4割で最も高くなっている

【問30で「移住すると決めている」「移住を検討している」「いつか移住してみたい」と回答した方に伺います。】

### 問30-3 移住したいと思う理由は何ですか。(3つまで)

移住したいと思う理由については、「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が39.4%で最も高く、次いで「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が35.3%、「生活コスト(物価・住居費など)が安いから」が30.1%となっている。



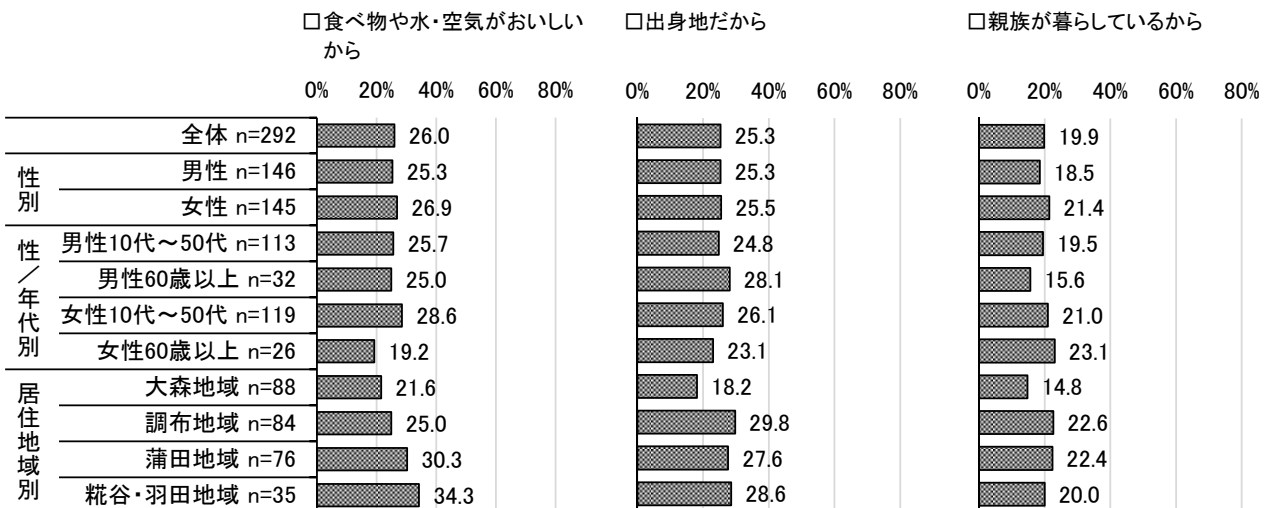
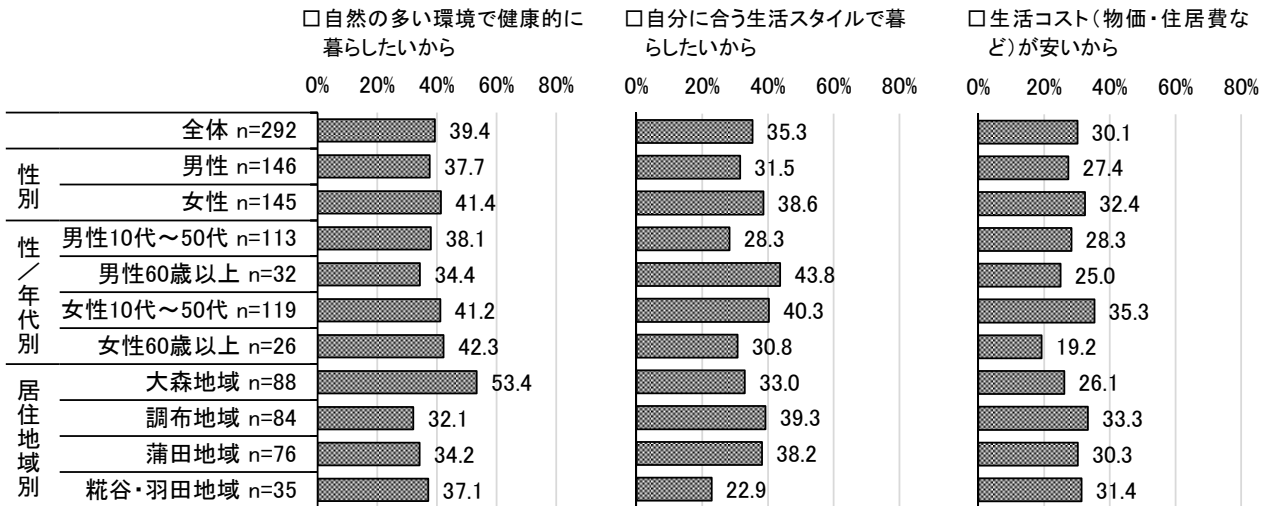


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が最も高く、男性が37.7%、女性が41.4%と、女性が3.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」は男性10代～50代が38.1%、女性10代～50代が41.2%と、女性10代～50代が3.1ポイント上回っている。「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」は男性60歳以上で4割前半と高くなっている。

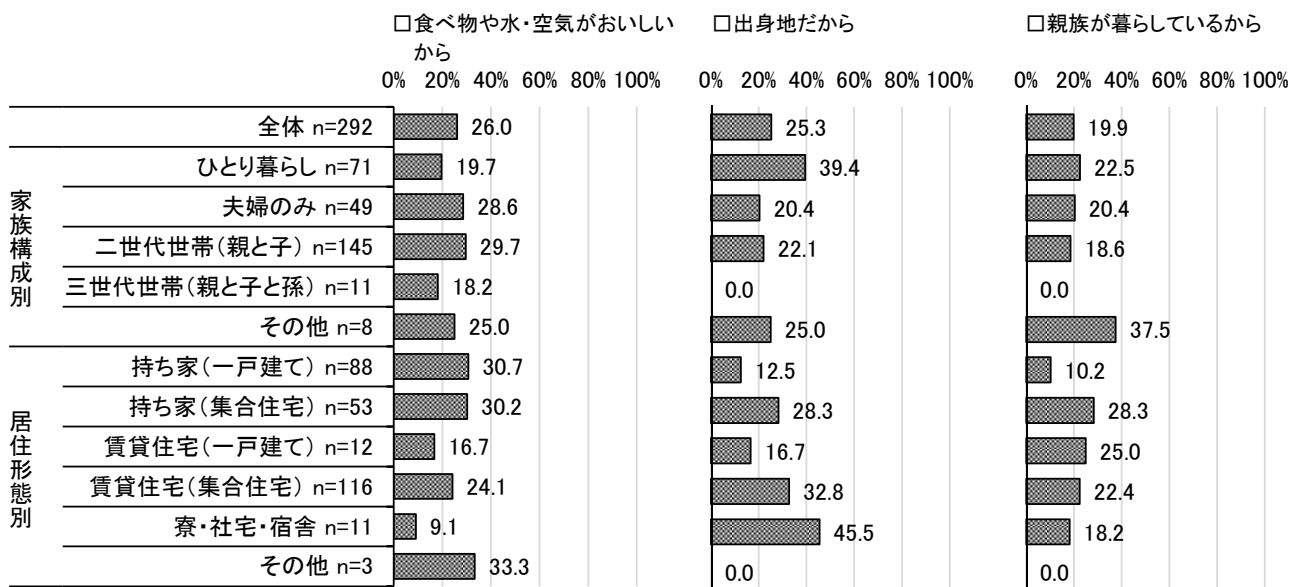
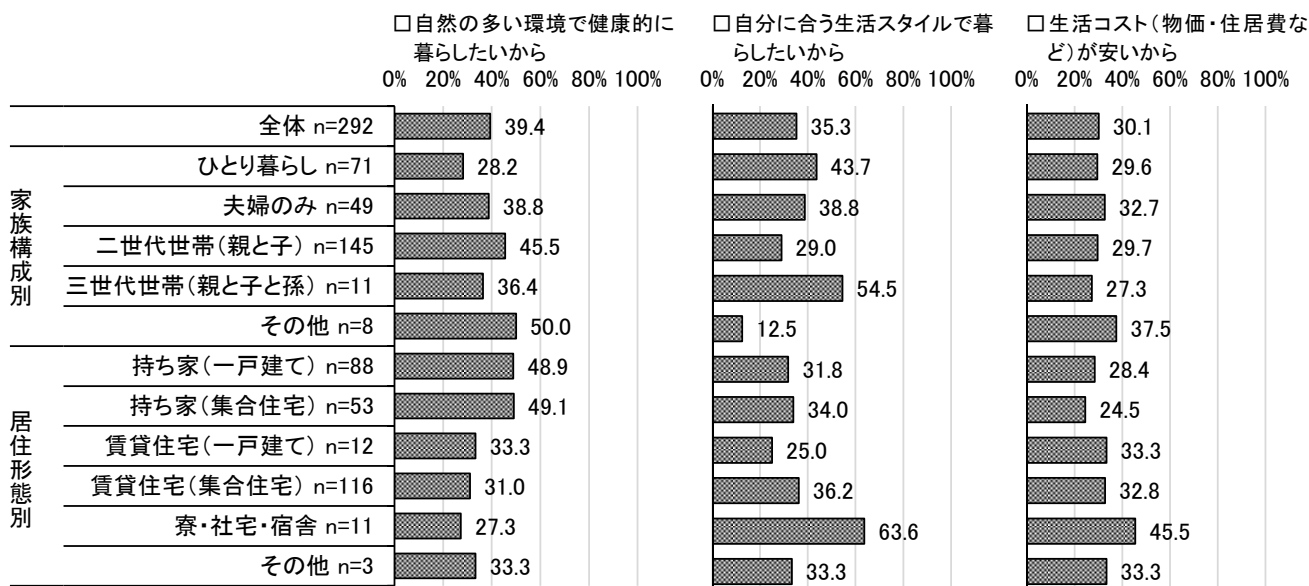
居住地域別でみると、大森地域、糀谷・羽田地域では「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が最も高く、調布地域、蒲田地域では「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が最も高くなっている。



### ■家族構成別・居住形態別（上位6項目）

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が最も高く、夫婦のみでは「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」、「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が最も高く、二世帯世帯（親と子）では「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が最も高くなっている。また、「出身地だから」はひとり暮らしで約4割と高くなっている。

居住形態別でみると、「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」は持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）で約5割と高くなっている。



## **IV 中学生以上の区民の方が対象**

～ 防災の分野・自転車の利用についてなど ～



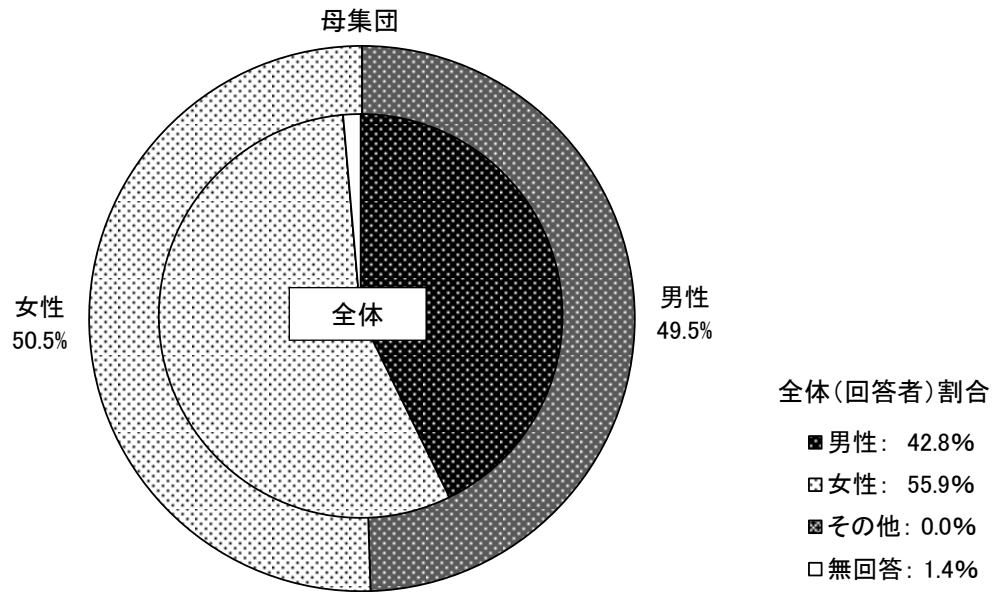
# 1 回答者の属性について

## (1) 性別

母集団：大田区 12 歳以上の人口 (n=666,095) 令和 4 年 1 月 1 日現在

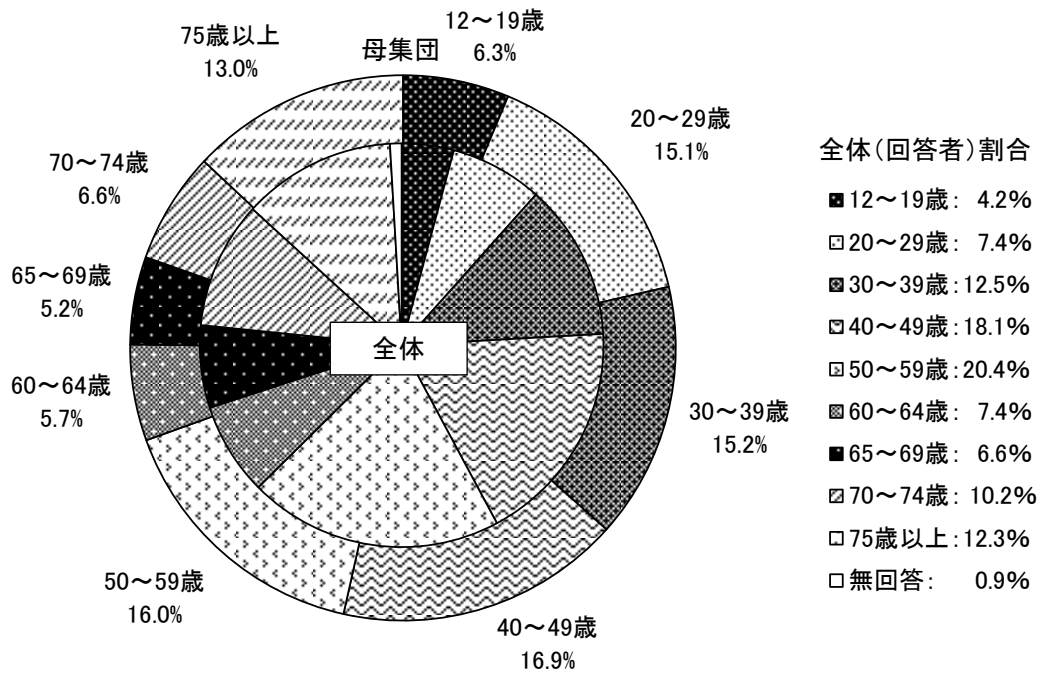
全 体：有効回収数 (n=863)

全体 n=863



## (2) 年齢

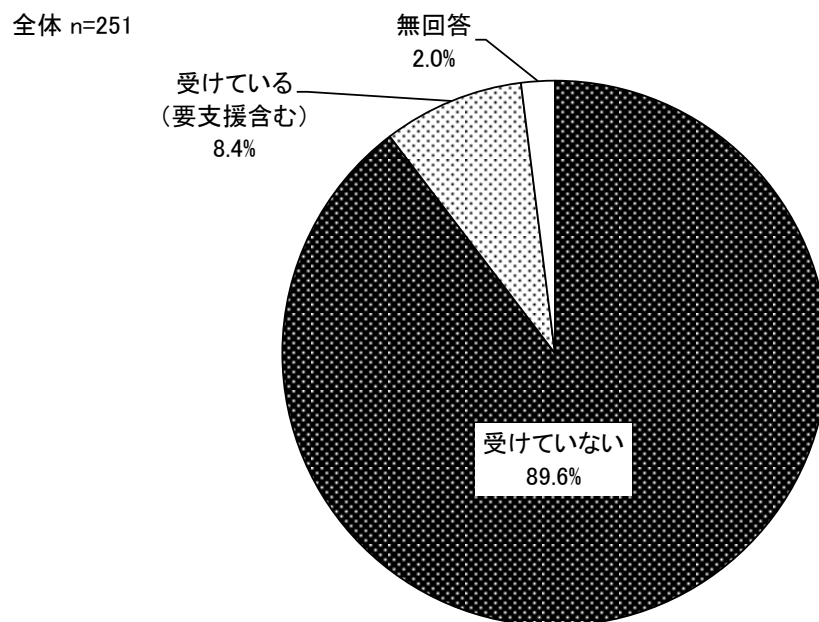
全体 n=863



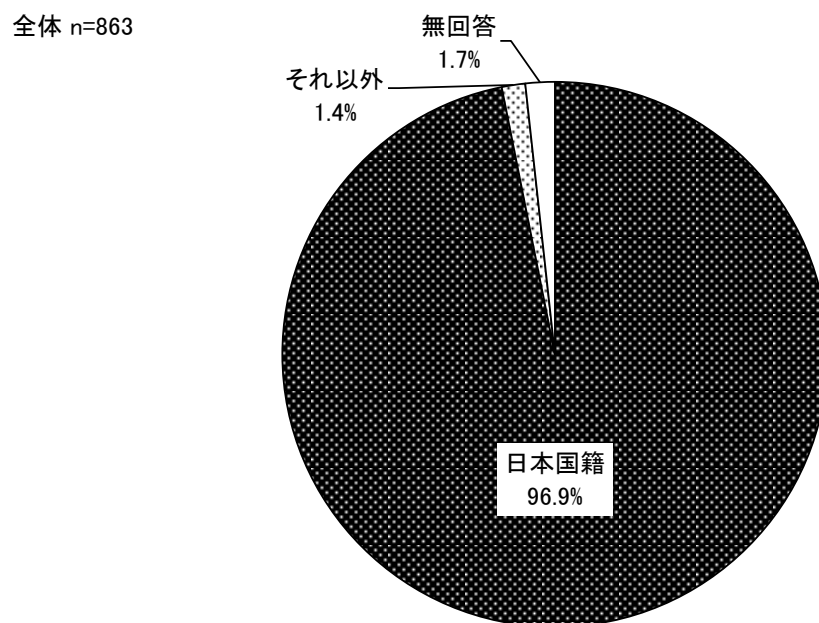
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 4 年 1 月 1 日現在

### (3) 要介護認定の状況

#### 【65歳以上の方】



### (4) 国籍

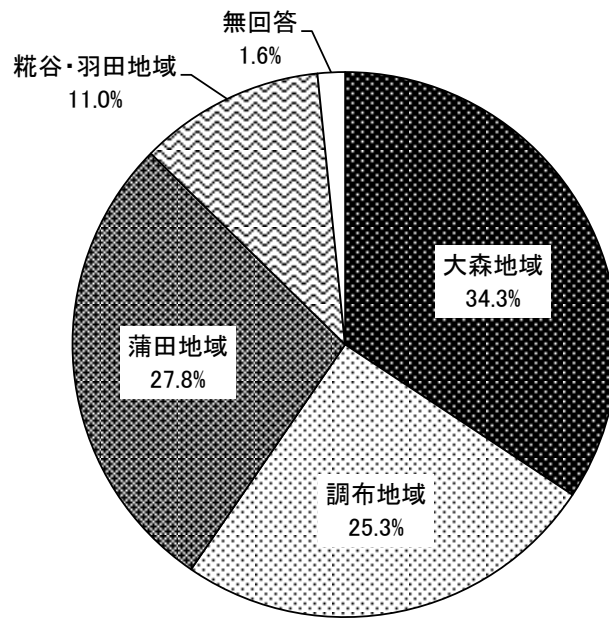


#### ■ 日本国籍以外

|    | 中国 | 韓国 | 台湾 | ネパール | ベトナム | アメリカ | フィリピン | 無回答 |
|----|----|----|----|------|------|------|-------|-----|
| 人数 | 3  | 3  | 1  | 1    | 1    | 1    | 1     | 1   |

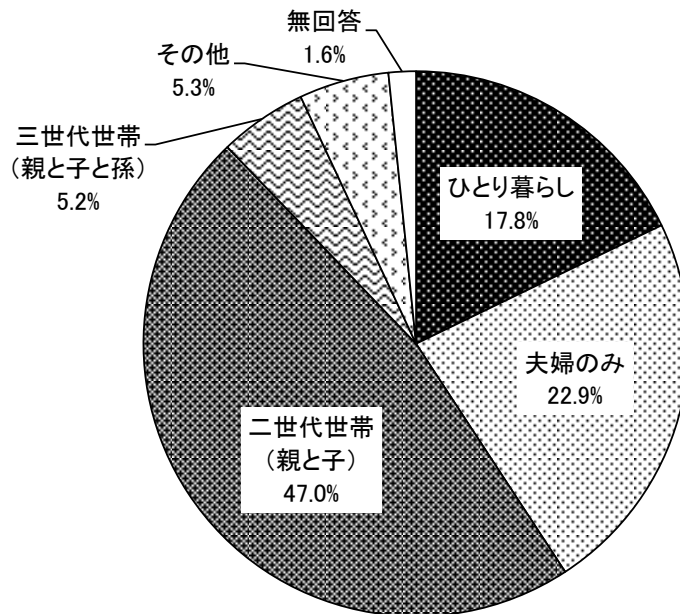
### (5) 居住地域

全体 n=863

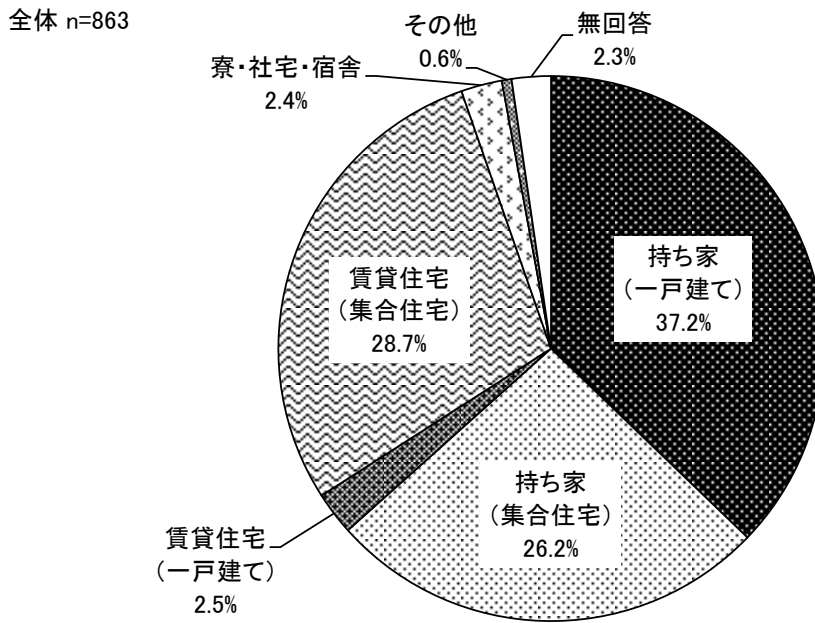


### (6) 家族構成

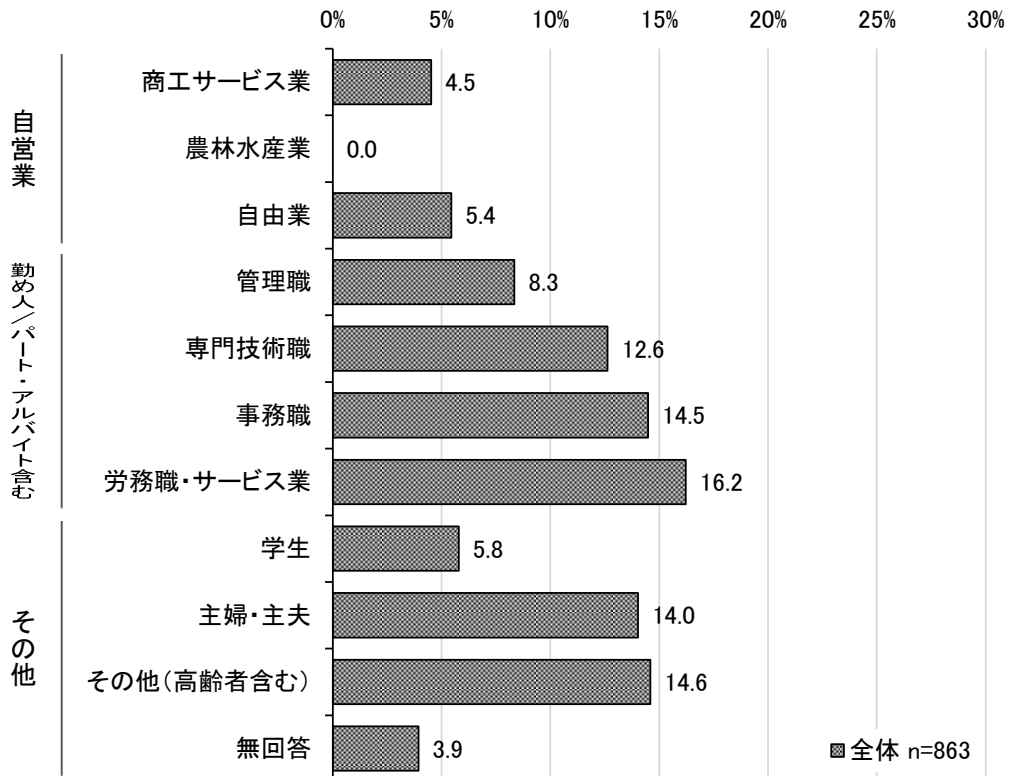
全体 n=863



### (7) 住まいの種類



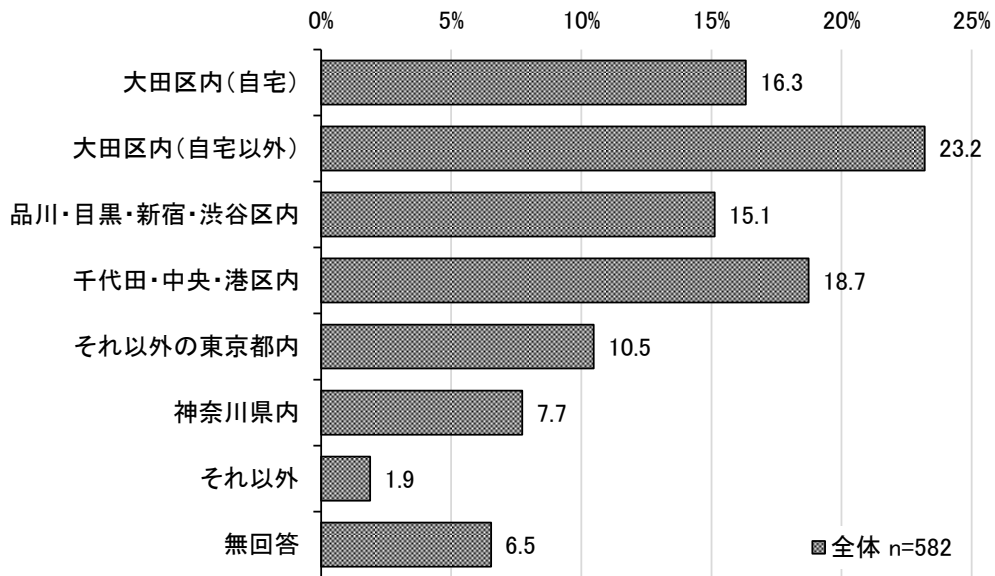
### (8) 職業



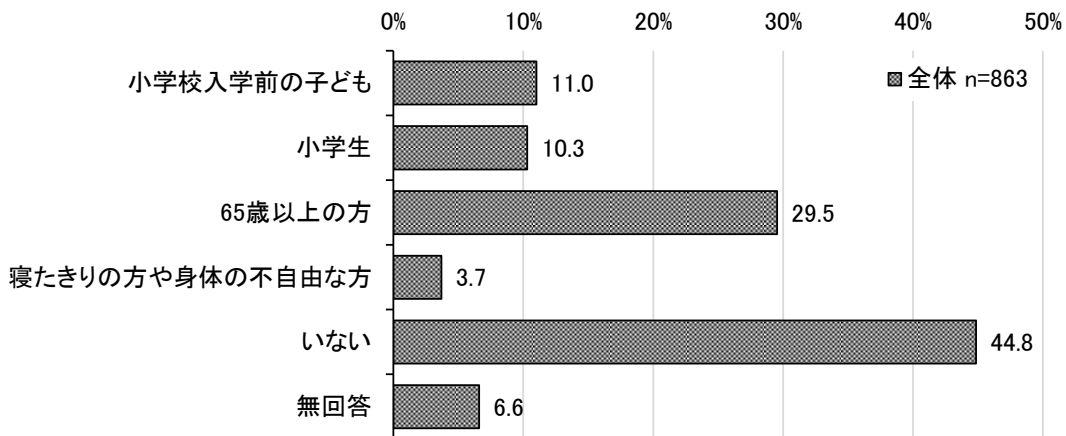


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

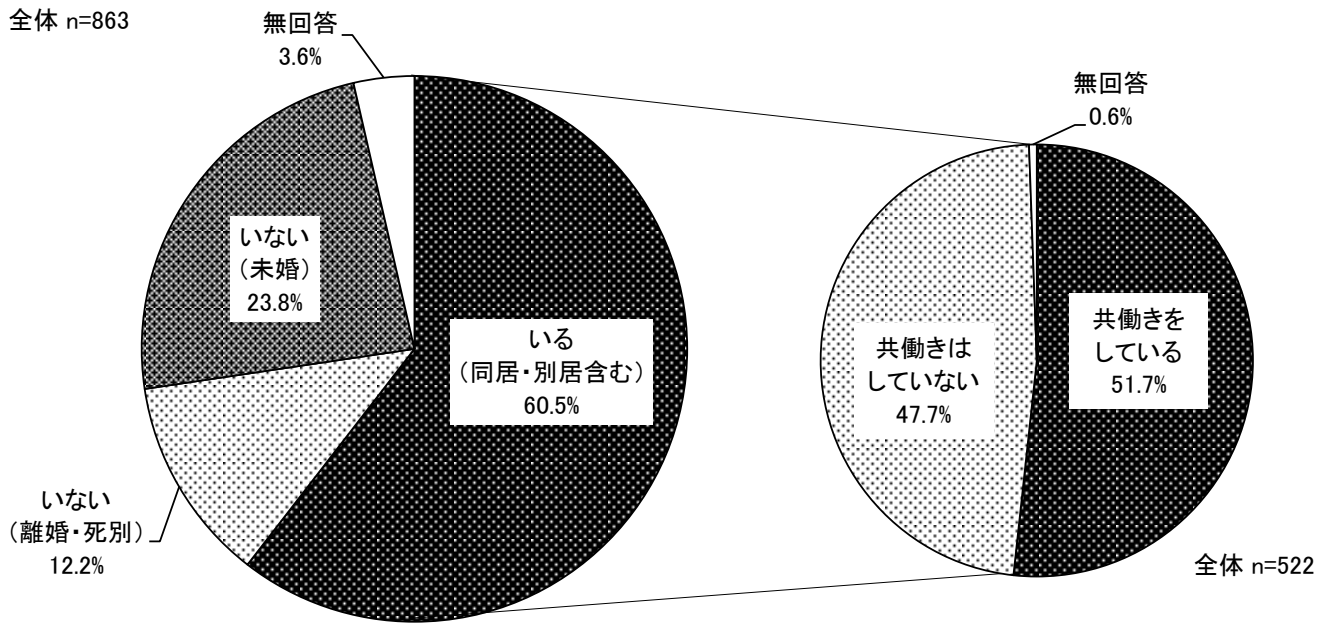


(10) 同居家族

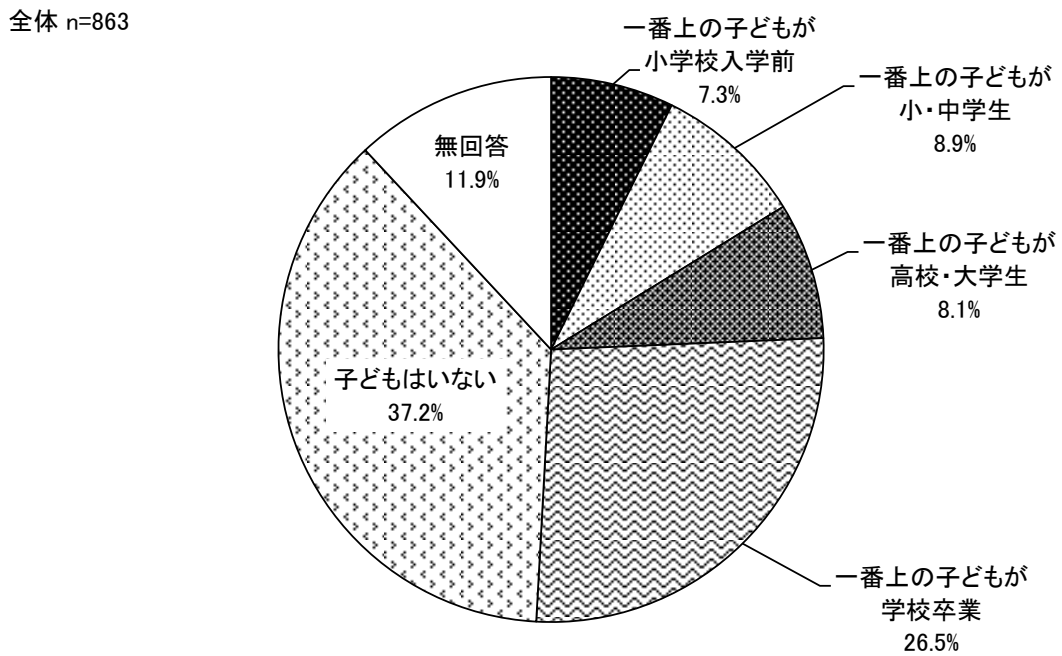


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

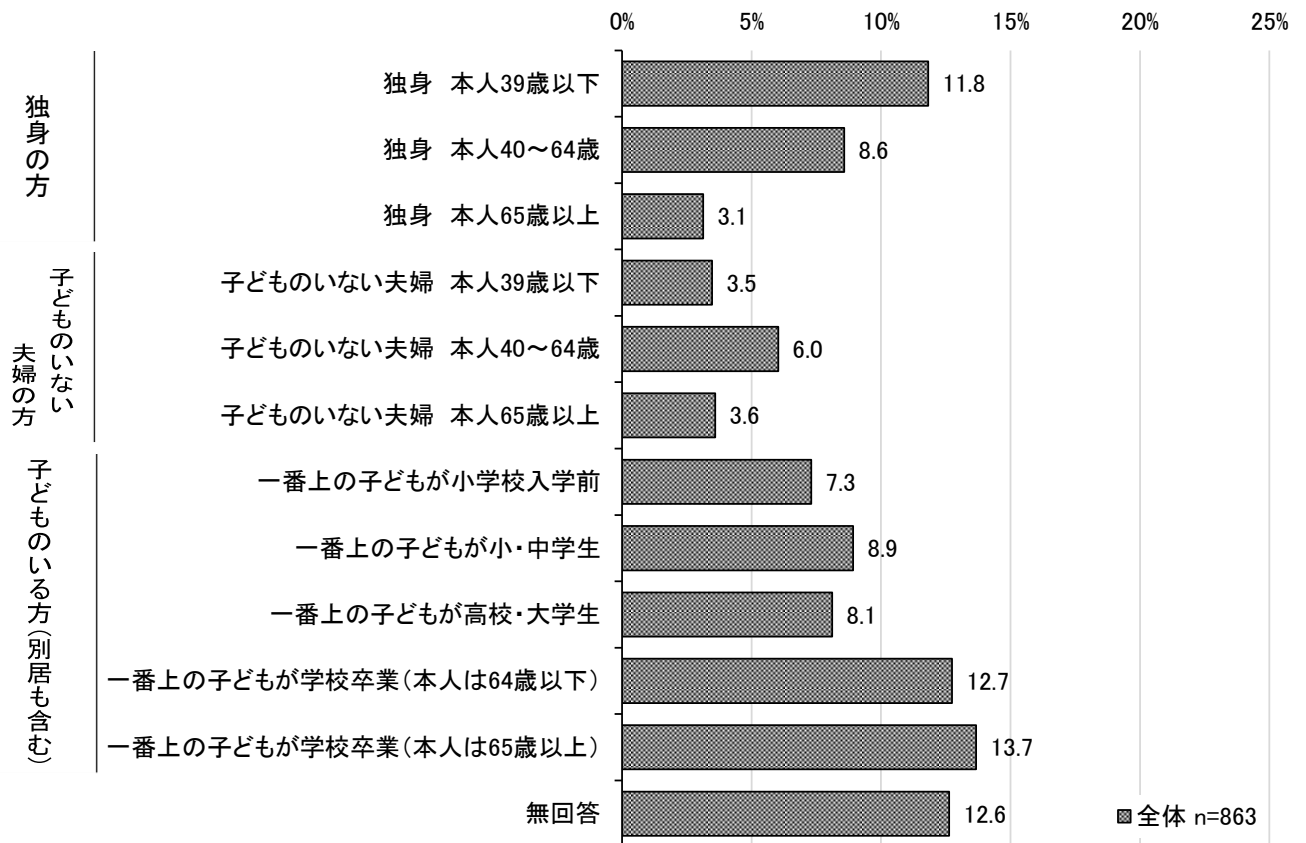
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



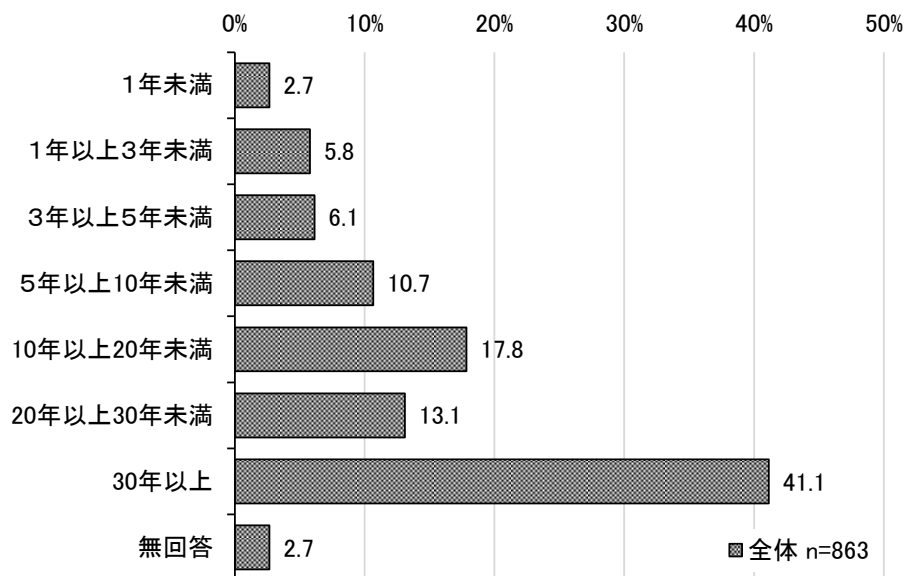
(13) 子どもの有無



### (14) 自身のステージ



### (15) 居住年数



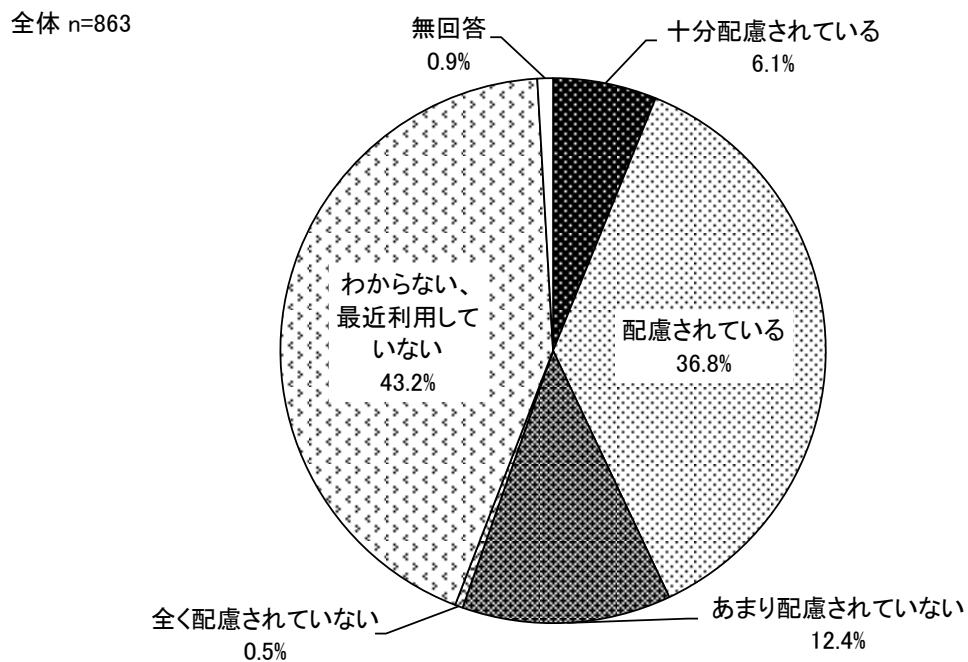
## 2 相談窓口について

### (1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示

◇ 《配慮されている》（「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値）は4割前半となっている

**問1 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障がい者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）**

大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示については、「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が42.9%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が12.9%と、《配慮されている》が30.0ポイント上回っている。

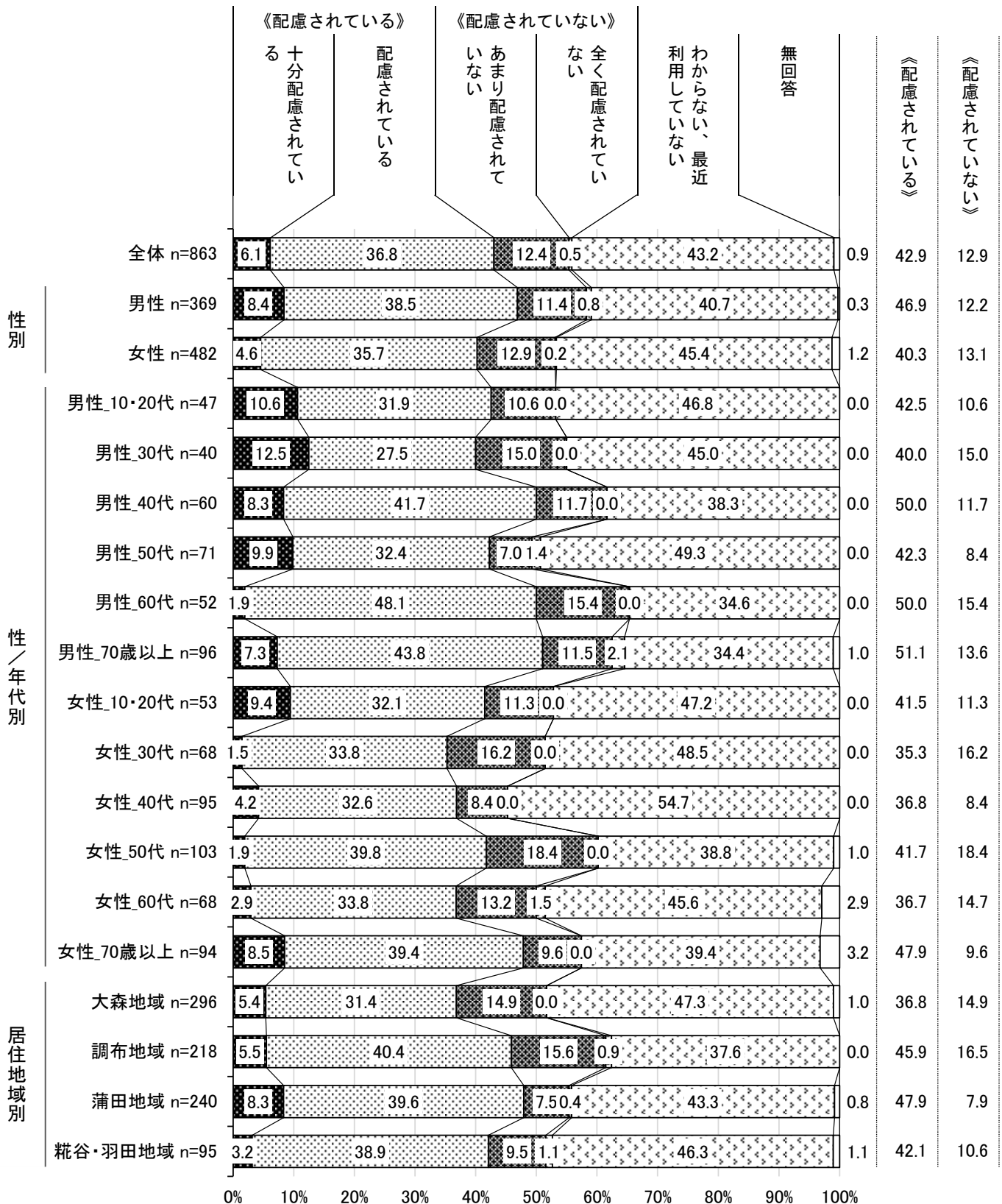


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《配慮されている》は男性が46.9%、女性が40.3%と、男性が6.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《配慮されている》は男性40代、男性60代、男性70歳以上で5割台となっている。

居住地域別でみると、《配慮されている》は蒲田地域で5割弱と高くなっている。



### 3 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

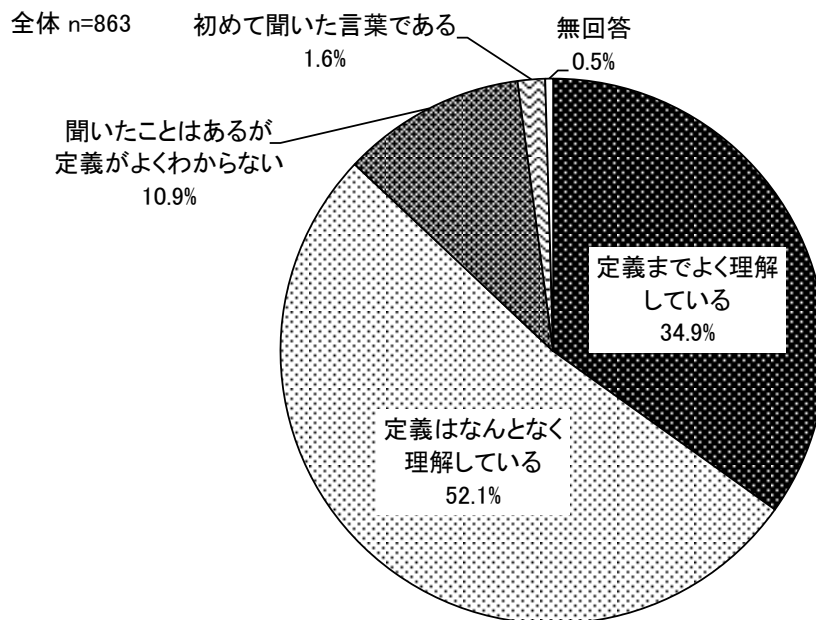
#### (1) 「バリアフリー」の認知度

◇《理解している》(「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値)は9割弱となっている

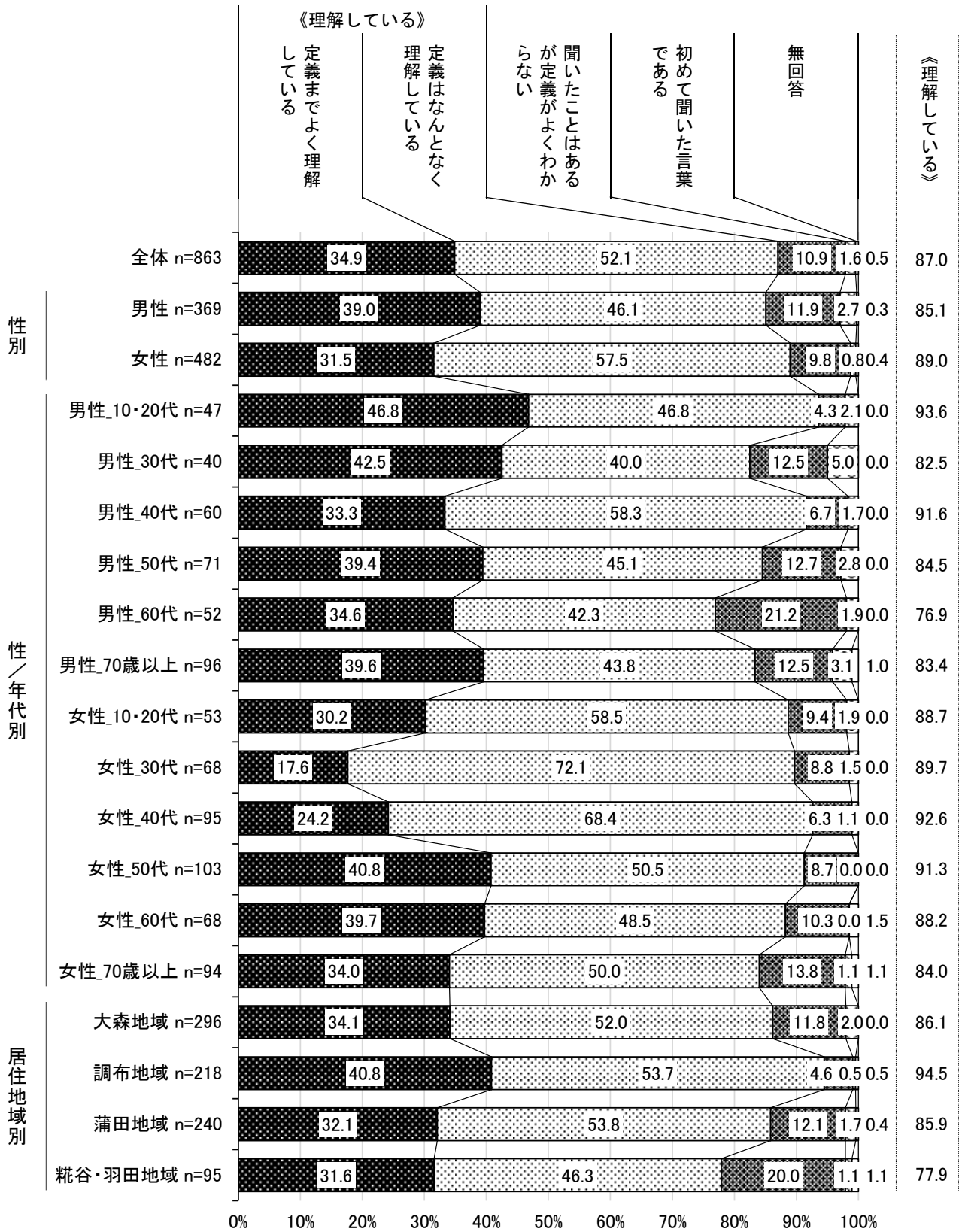
#### 問2 「バリアフリー」という言葉を知っていますか。(1つのみ)

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁(バリア)を取り除く考え方。

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》は87.0%となっている。その内、「定義までよく理解している」は34.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、《理解している》は男性が85.1%、女性が89.0%と、女性が3.9ポイント上回っている。その内、「定義までよく理解している」は男性が39.0%、女性が31.5%と、男性が7.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《理解している》は男性10・20代、男性40代、女性40代、女性50代で9割台となっている。その内、「定義までよく理解している」は男性10・20代、男性30代、女性50代で4割台となっている。

居住地域別で見ると、《理解している》は調布地域で9割半ばと高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が約4割と高くなっている。



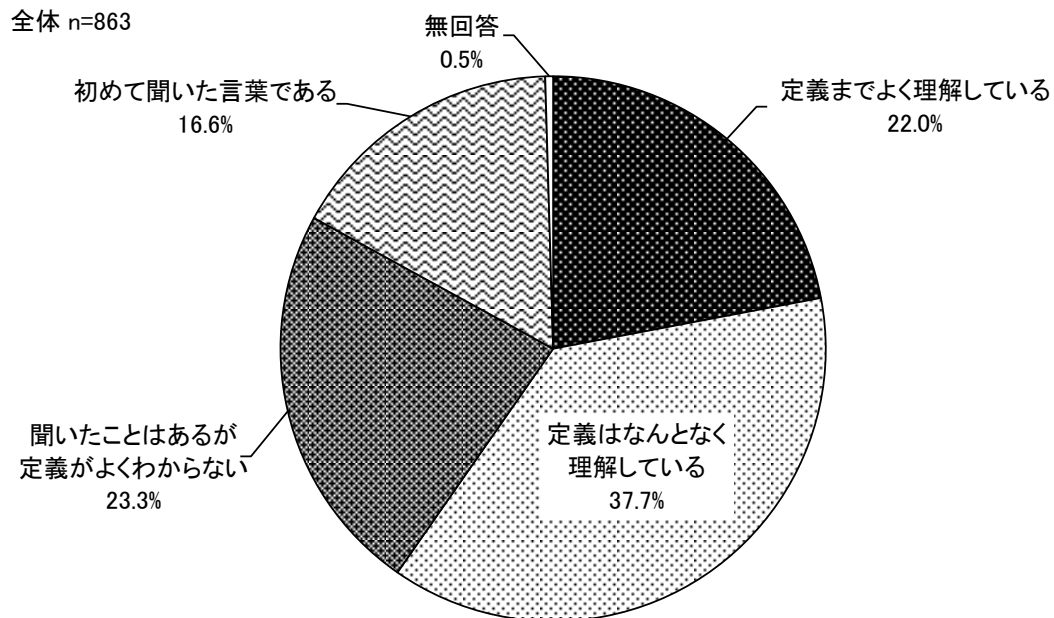
## (2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇ 《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は約6割となっている

### 問3 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方。

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》は59.7%となっている。その内、「定義までよく理解している」は22.0%となっている。

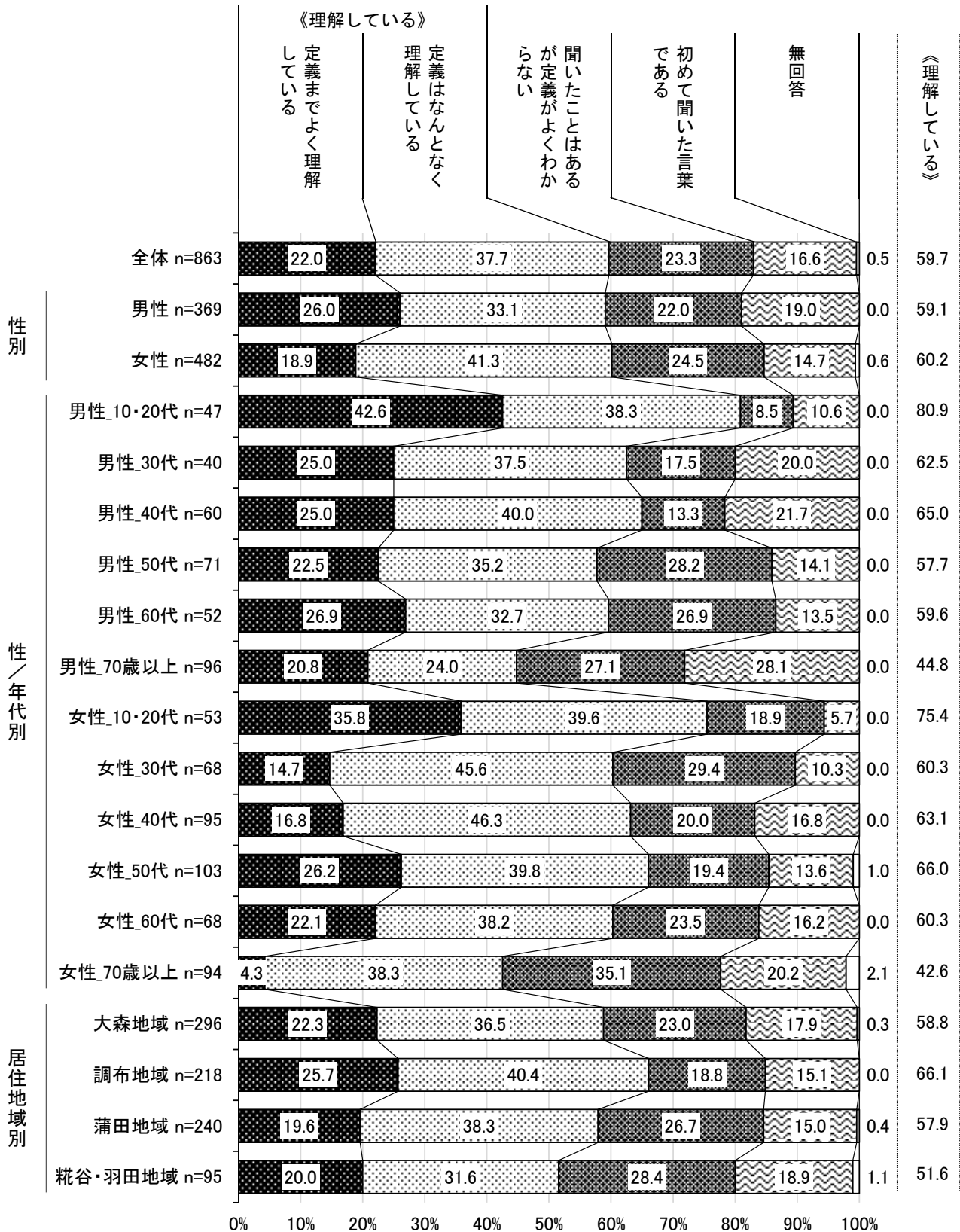


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性が26.0%、女性が18.9%と、男性が7.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《理解している》は男性10・20代で約8割と高くなっている。その内、「定義までよく理解している」は男性では10・20代が4割前半、女性では10・20代が3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で7割弱と高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が2割半ばと高くなっている。



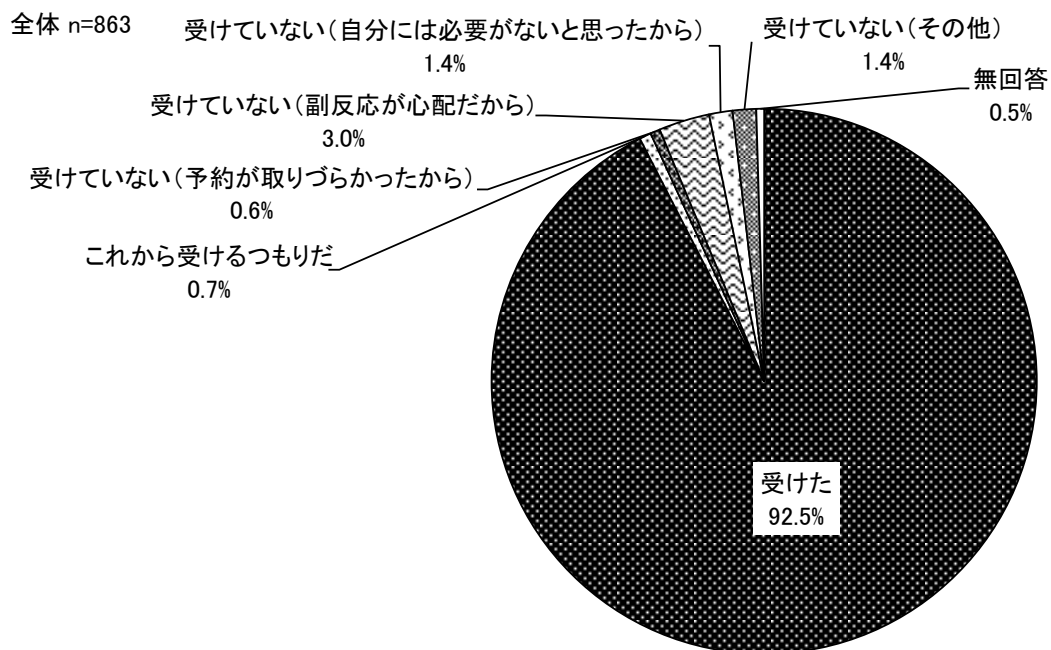
## 4 新型コロナウイルスワクチン接種について

### (1) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況

◇「受けた」は9割前半となっている

#### 問4 あなたは新型コロナウイルスワクチンの予防接種を受けましたか。(1つのみ)

新型コロナウイルスワクチンの接種状況については、「受けた」が92.5%で最も高く、次いで「受けていない(副反応が心配だから)」が3.0%、「受けていない(自分には必要がないと思ったから)」、「受けていない(予約が取りづらかったから)」、「これから受けるつもりだ」がともに1.4%となっている。

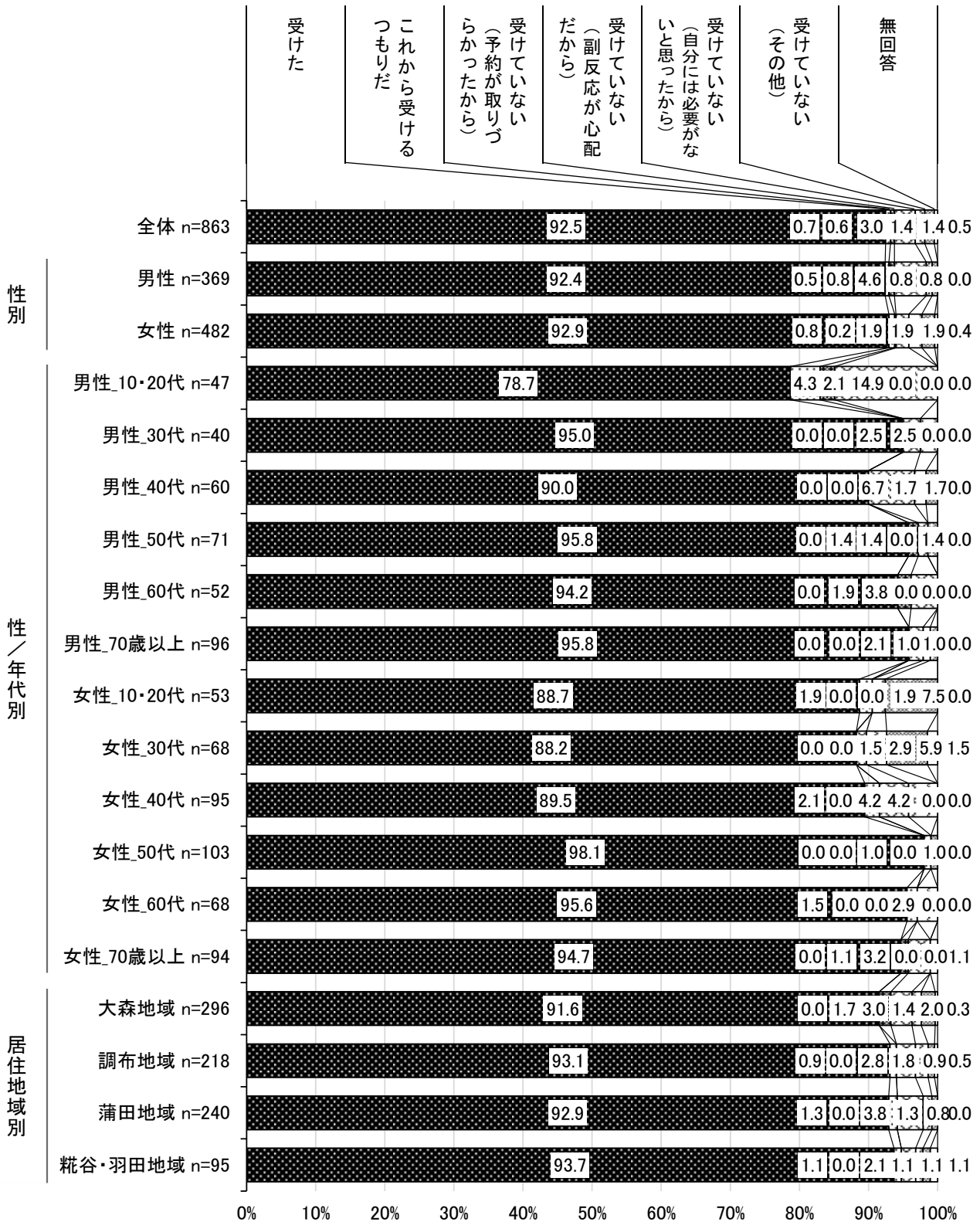


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

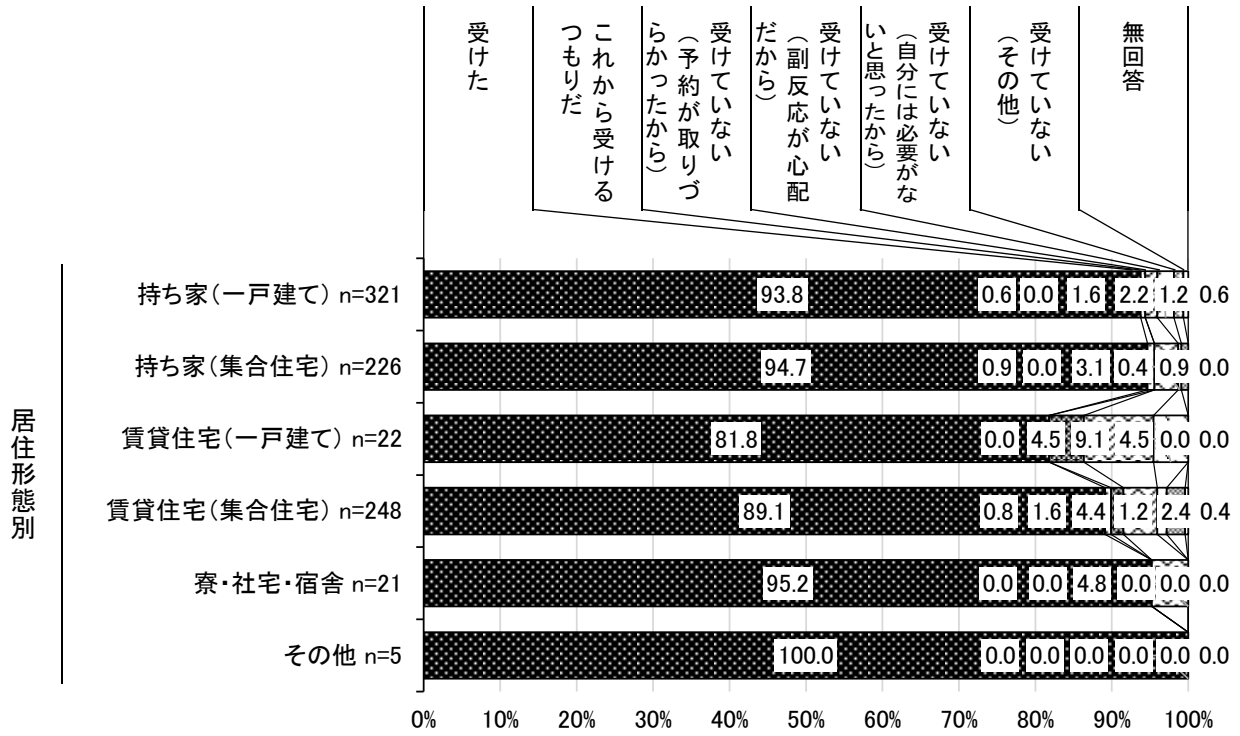
性／年代別でみると、「受けた」は男性 30 代から 70 歳以上、女性 50 代から 70 歳以上で 9 割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「受けた」は 9 割台となっている。



■ 居住形態別

居住形態別でみると、「受けた」は持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）で9割半ばと高くなっている。



## 5 災害時の避難等について

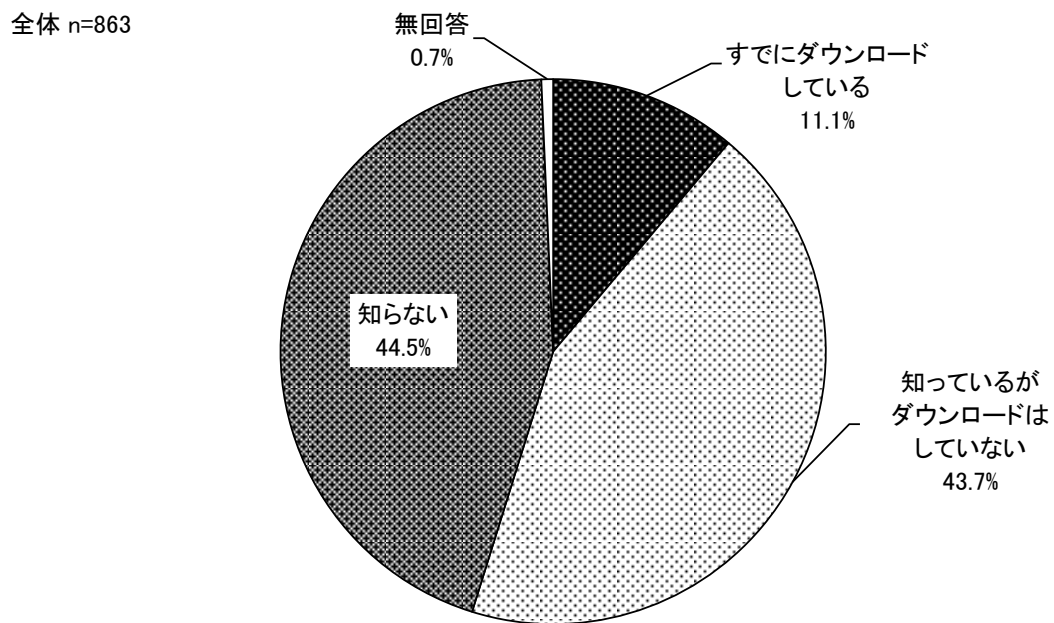
### (1) 「大田区防災アプリ」の認知度

◇ 《ダウンロードしている・知っている》（「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値）は5割半ばとなっている

#### 問5 「大田区防災アプリ」を知っていますか。（1つのみ）

“大田区防災アプリ”の認知度については、「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《ダウンロードしている・知っている》は54.8%となっている。その内、「すでにダウンロードしている」は11.1%となっている。

なお、「知らない」は44.5%となっている。

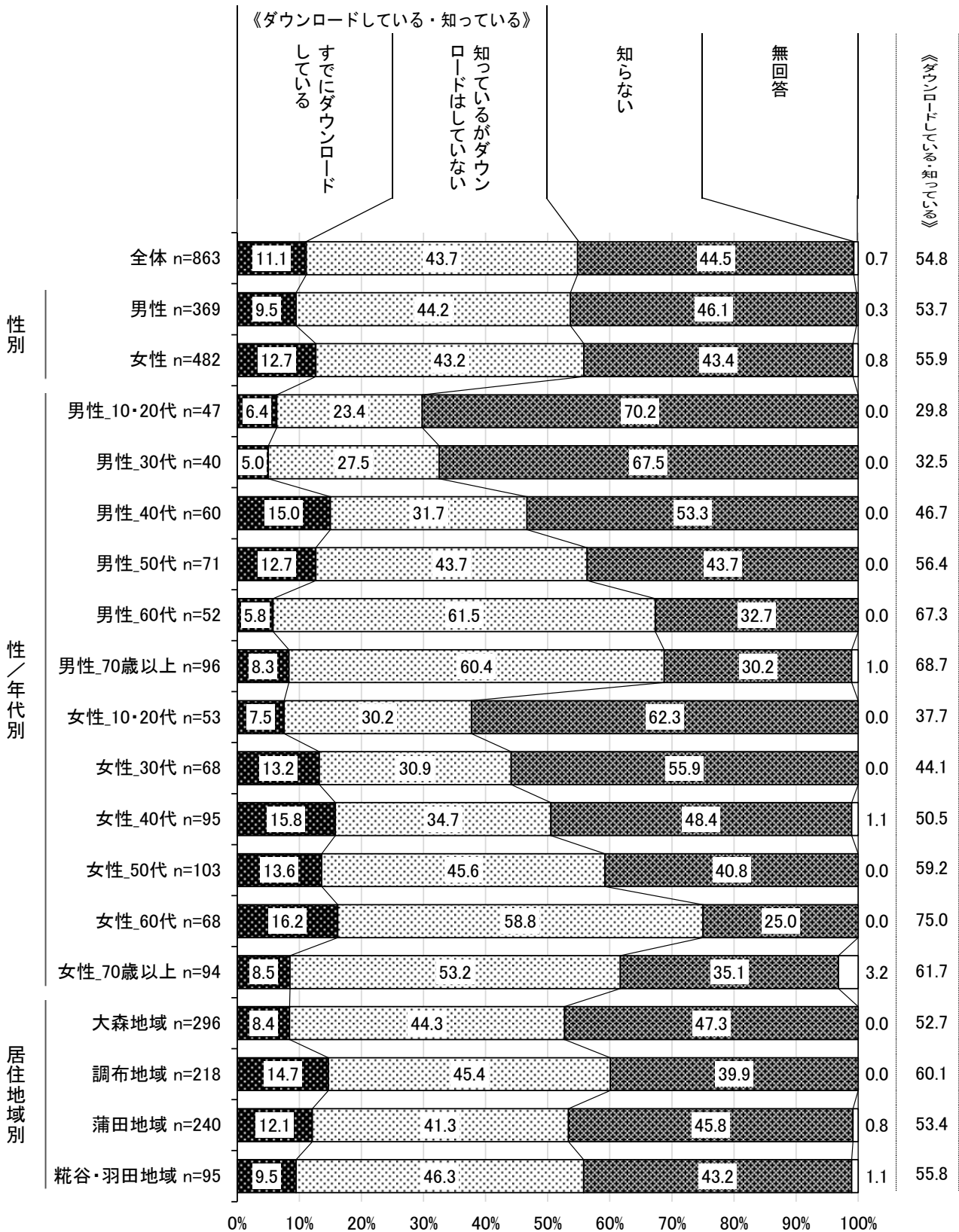


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《ダウンロードしている・知っている》は男性では年代が上がるにつれて増加傾向であり、60代、70歳以上で7割弱、女性では60代で7割半ばと高くなっている。その内、「すでにダウンロードしている」は男性では40代、50代、女性では30代から60代で1割台となっている。

居住地域別でみると、《ダウンロードしている・知っている》は調布地域で約6割と高く、「すでにダウンロードしている」でも調布地域が1割半ばと高くなっている。



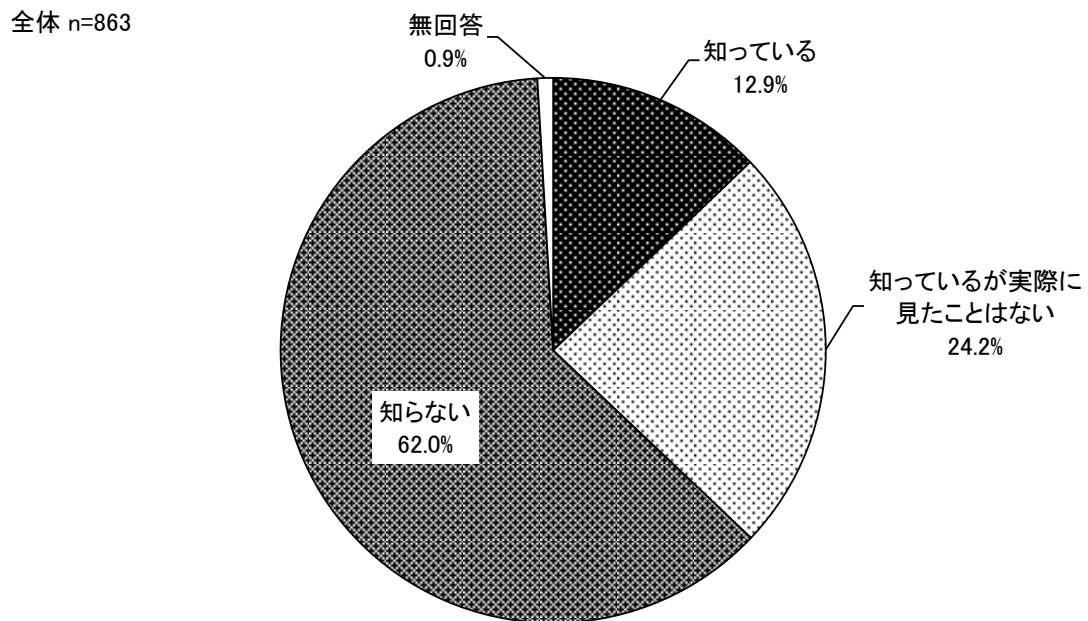
## (2) 「大田区防災ポータルサイト」の認知度

◇ 《知っている》（「知っている」、「知っているが実際に見たことはない」の合計値）は4割弱となっている

### 問6 「大田区防災ポータルサイト」を知っていますか。（1つのみ）

“大田区防災ポータルサイト”の認知度については、「知っている」、「知っているが実際に見たことはない」の合計値《知っている》は37.1%となっている。その内、「知っているが実際に見たことはない」は24.2%となっている。

なお、「知らない」は62.0%となっている。



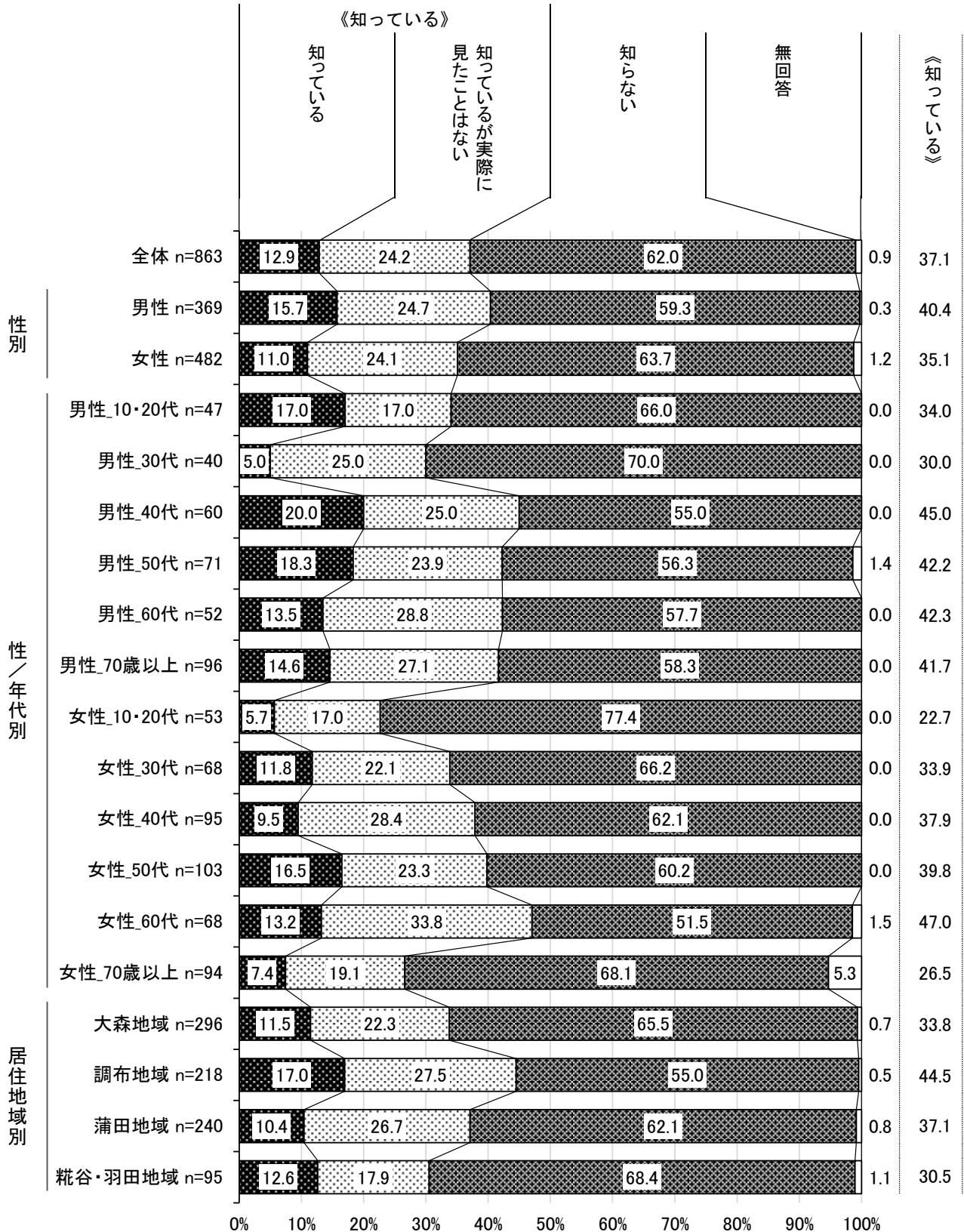


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が40.4%、女性が35.1%と、男性が5.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では40代で4割半ば、女性では60代で5割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は調布地域で4割半ばと高くなっている。



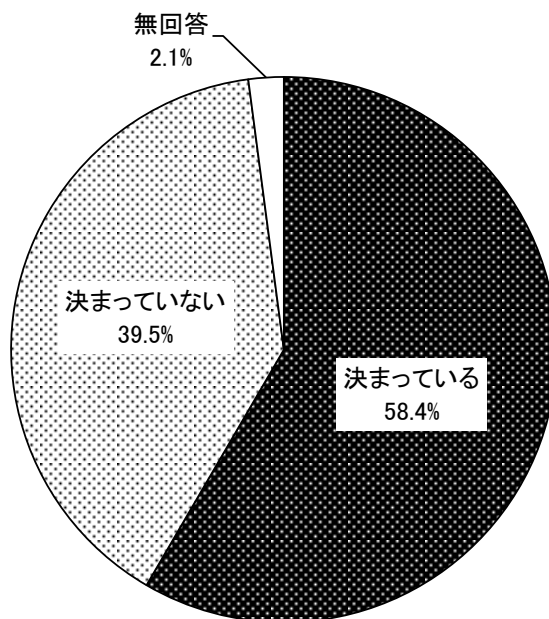
### (3) 災害時の避難先の決定状況

◇「決まっている」は6割弱となっている

#### 問7 災害時の避難先は決まっていますか。(1つのみ)

災害時の避難先の決定状況については、「決まっている」が58.4%、「決まっていない」が39.5%と、「決まっている」が18.9ポイント上回っている。

全体 n=863

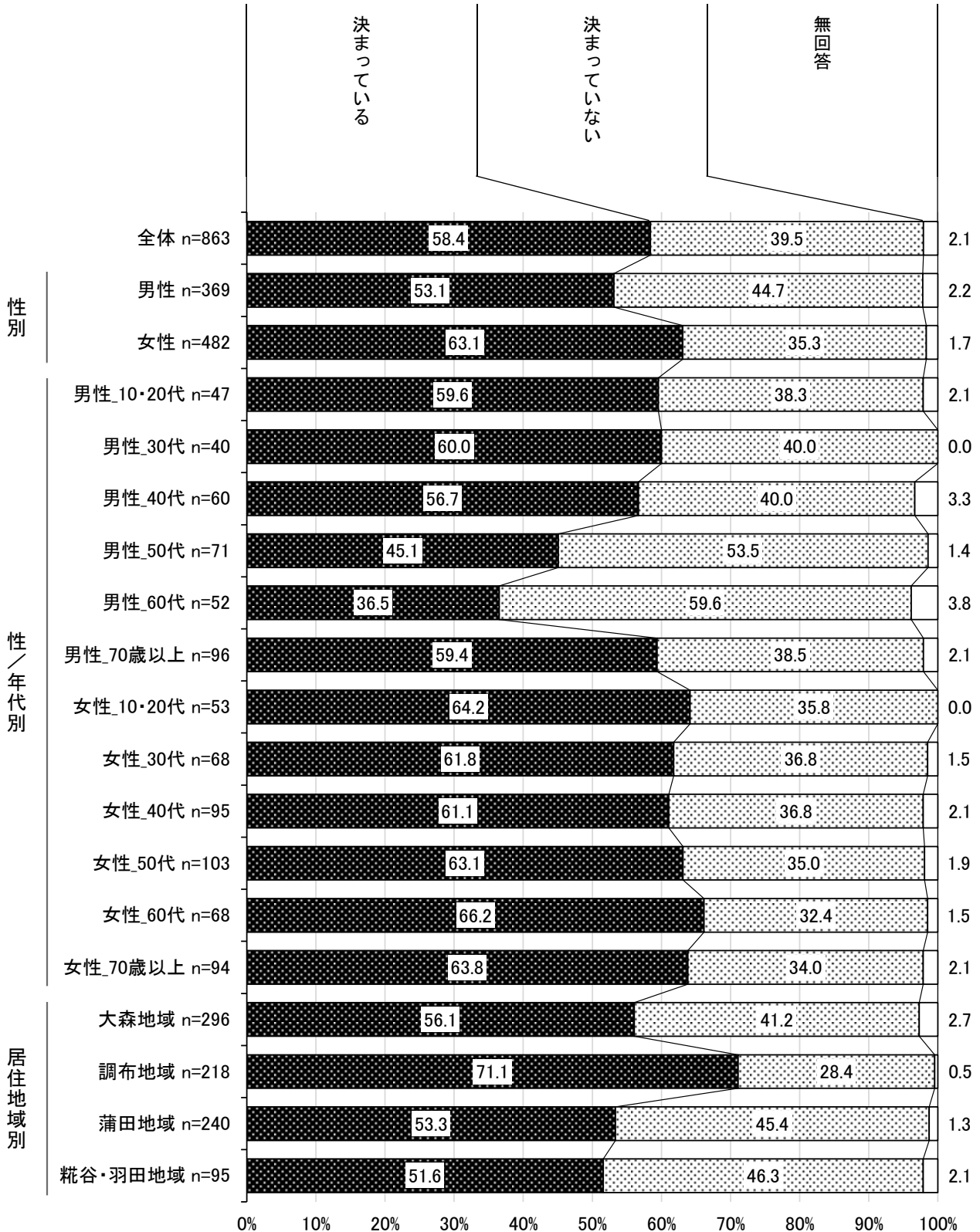


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「決まっている」は男性が53.1%、女性が63.1%と、女性が10.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「決まっている」は男性30代、女性ではすべての年代で6割台となっている。

居住地域別でみると、「決まっている」は調布地域で7割前半と高くなっている。



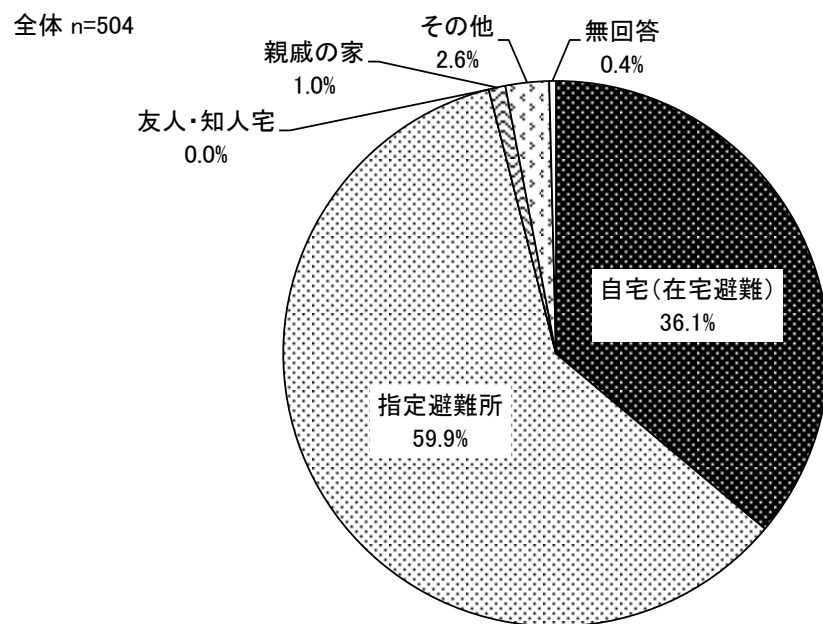
#### (4) 災害時の避難先

◇「指定避難所」が約6割となっている

【問7で「決まっている」と回答した方に伺います。】

##### 問7-1 避難先はどこですか。(1つのみ)

災害時の避難先については、「指定避難所」が59.9%で最も高く、次いで「自宅(在宅避難)」が36.1%、「親戚の家」が1.0%となっている。

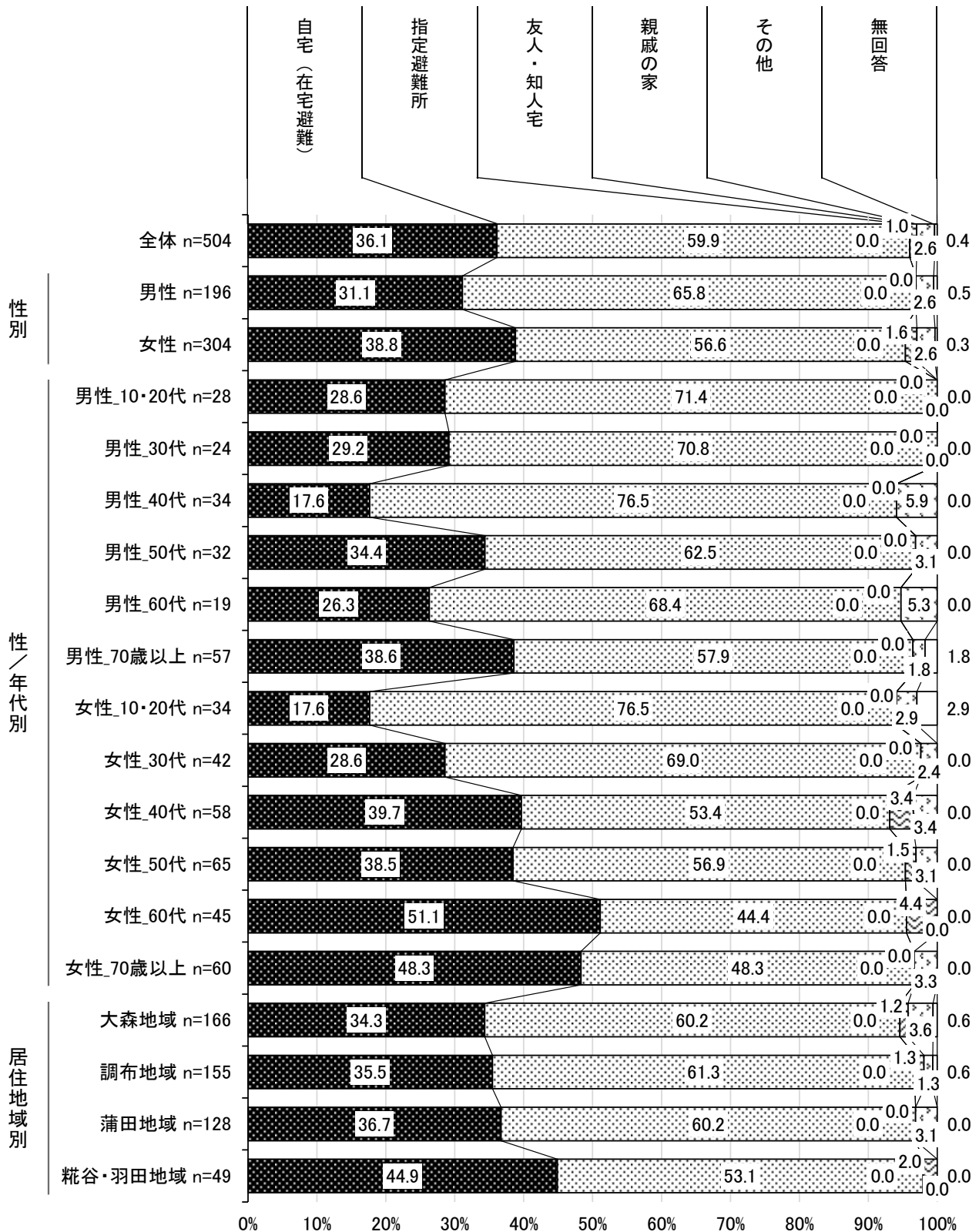


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「自宅（在宅避難）」は男性が31.1%、女性が38.8%と、女性が7.7ポイント上回っている。「指定避難所」は男性が65.8%、女性が56.6%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「自宅（在宅避難）」は女性では年代が上がるにつれて増加傾向であり、女性60代で5割前半、女性70歳以上で5割弱となっている。

居住地域別でみると、「自宅（在宅避難）」は糞谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



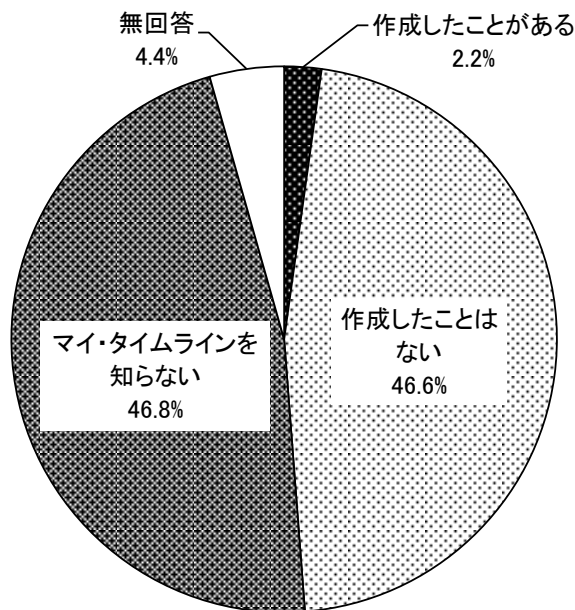
## (5) 「マイ・タイムライン」の作成状況

◇「作成したことがある」は3%未満となっている

**問8** 区は大規模災害に備え、家族構成や生活環境に合わせた防災行動をあらかじめ時系列にまとめておく「マイ・タイムライン（個人の避難計画）」の普及に努めていますが、あなたは「マイ・タイムライン」を作成したことがありますか。（1つのみ）

“マイ・タイムライン”の作成状況については、「マイ・タイムラインを知らない」が46.8%で最も高く、次いで「作成したことはない」が46.6%、「作成したことがある」が2.2%となっている。

全体 n=863

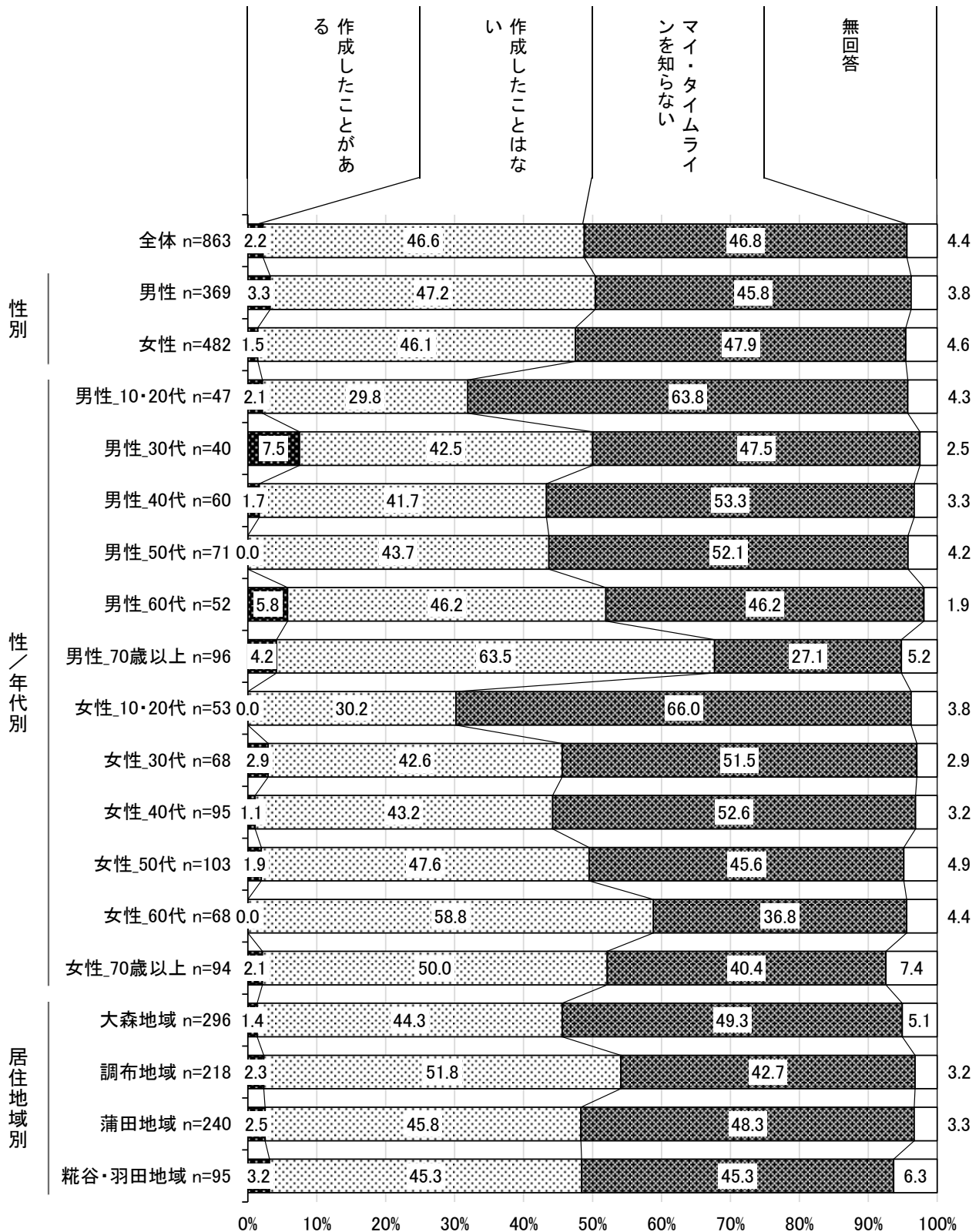


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「作成したことがある」は男性30代で1割弱と高くなっている。一方で、「マイ・タイムラインを知らない」は男性10・20代、女性10・20代で6割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「作成したことがある」は4%未満となっている。一方で、「マイ・タイムラインを知らない」はすべての地域で4割台となっている。



## (6) 「マイ・タイムライン」の作成方法

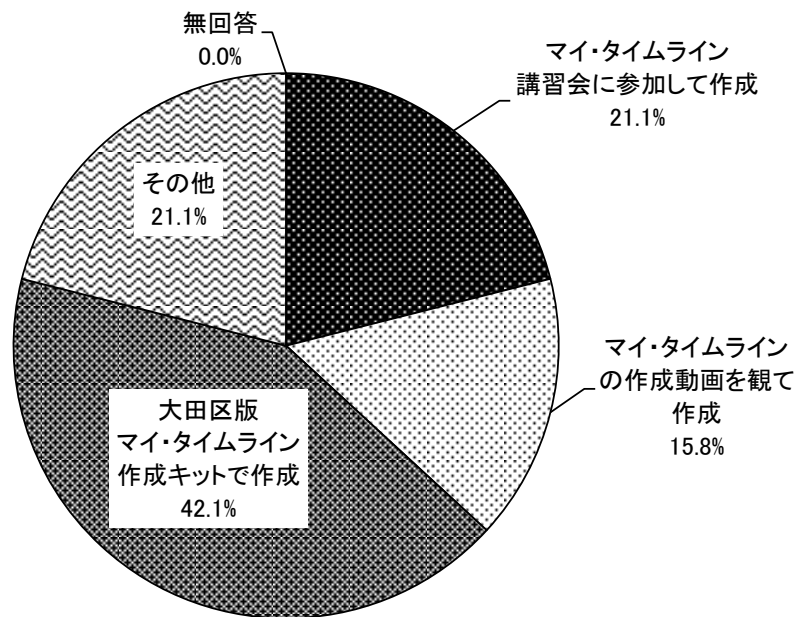
◇「大田区版マイ・タイムライン作成キットで作成」が4割前半となっている

【問8で「作成したことがある」と回答した方に伺います。】

### 問8-1 どのように作成しましたか。(1つのみ)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「大田区版マイ・タイムライン作成キットで作成」が42.1%で最も高く、次いで「マイ・タイムライン講習会に参加して作成」が21.1%、「マイ・タイムラインの作成動画を観て作成」が15.8%となっている。

全体 n=19





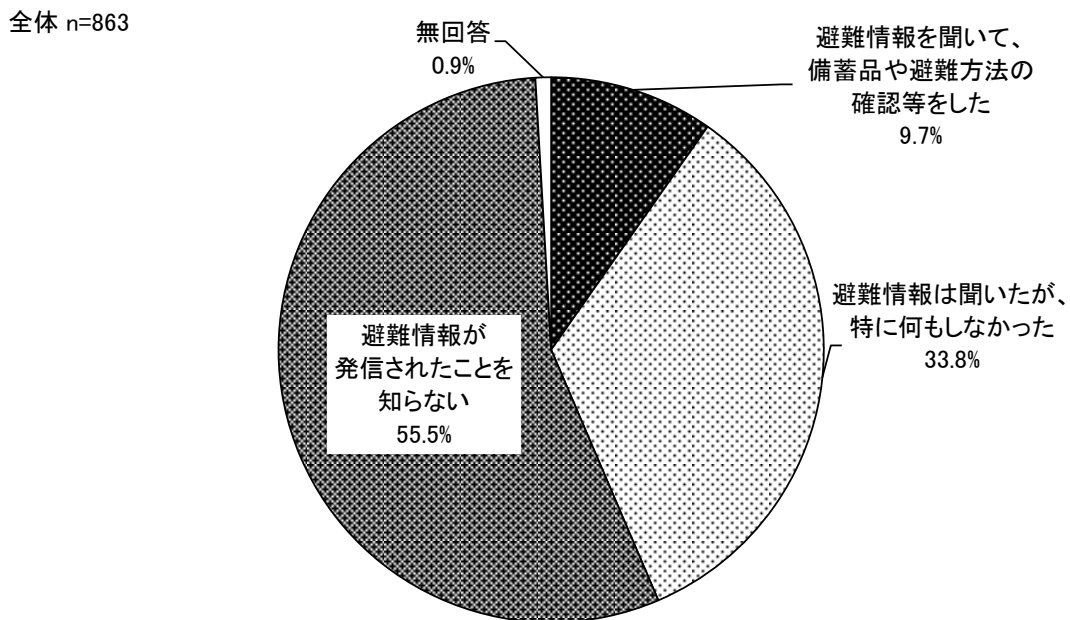
**(7) 令和3年9月12日、情報伝達訓練として区から避難情報を発信したことの認知度**

◇《避難情報を聞いた》(「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」、「避難情報は聞いたが、特に何もしなかった」の合計値)は4割前半となっている

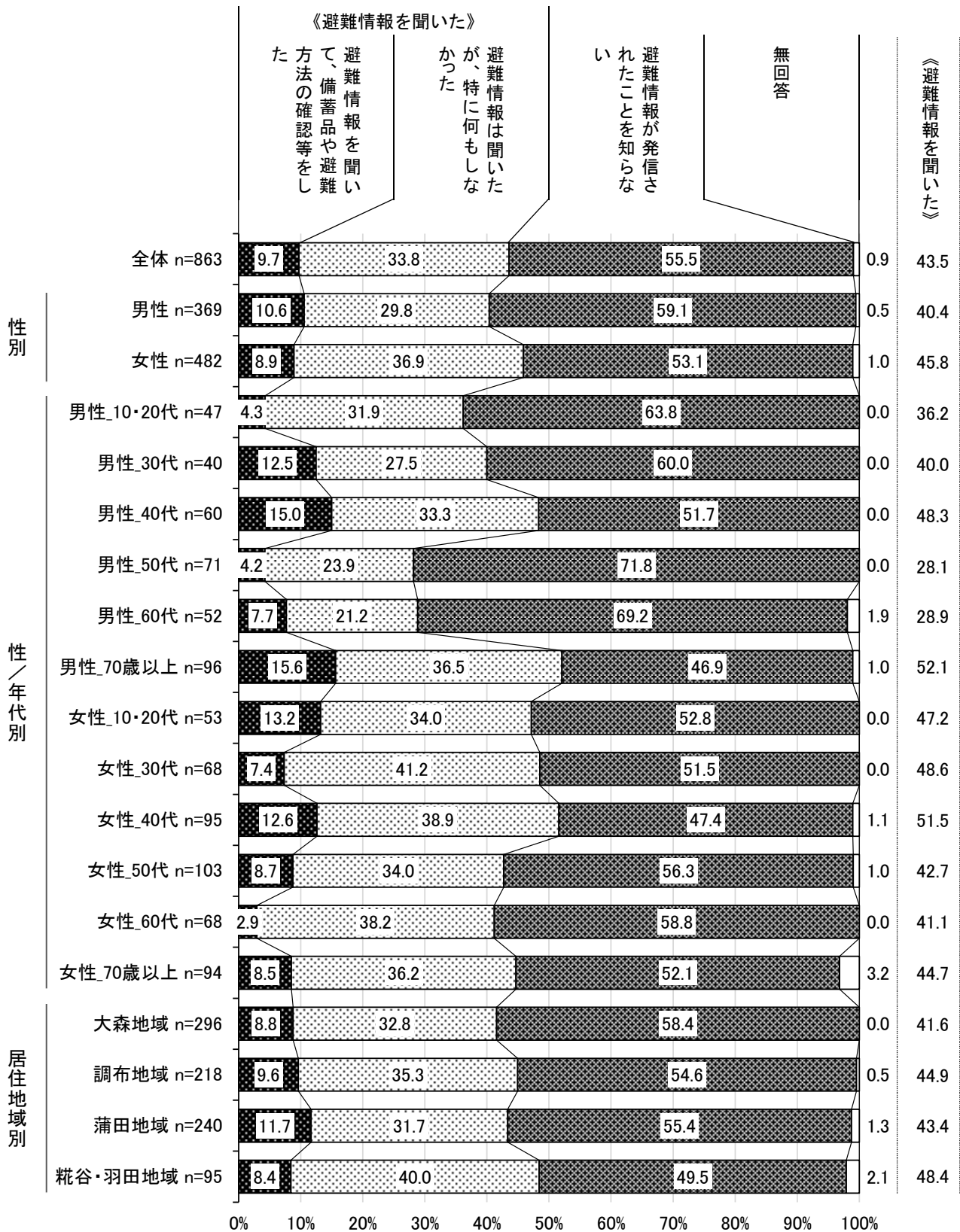
**問9 令和3年9月12日に行った大田区総合防災訓練(風水害編)で、情報伝達訓練として様々な媒体で区から避難情報を発信したことを知っていますか。(1つのみ)**

令和3年9月12日、情報伝達訓練として区から避難情報を発信したことの認知度については、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」、「避難情報は聞いたが、特に何もしなかった」の合計値《避難情報を聞いた》は43.5%となっている。その内、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」は9.7%となっている。

なお、「避難情報が発信されたことを知らない」は55.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、《避難情報を聞いた》は男性が40.4%、女性が45.8%と、女性が5.4ポイント上回っている。一方で、「避難情報が発信されたことを知らない」では男性が59.1%、女性が53.1%と、男性が6.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《避難情報を聞いた》は男性70歳以上、女性40代で5割台となっている。また、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」は男性30代、男性40代、男性70歳以上、女性10・20代、女性40代で1割台となっている。

居住地域別でみると、《避難情報を聞いた》は糀谷・羽田地域で5割弱と高くなっている。また、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」は蒲田地域で1割前半と高くなっている。

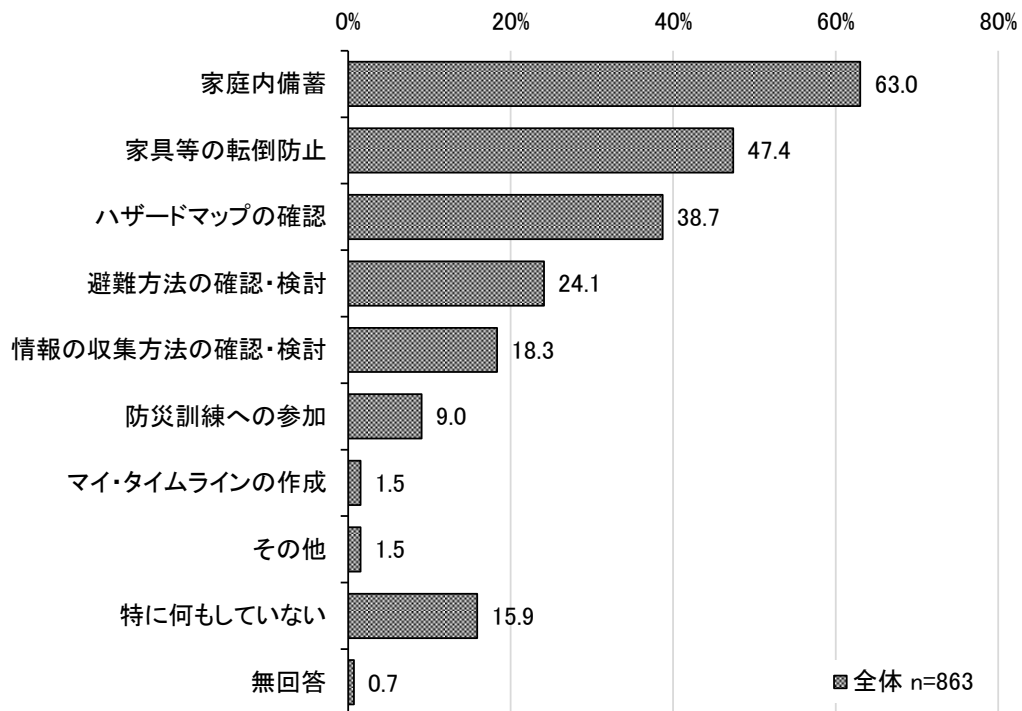
## (8) 災害から自身を守るための取組

◇「家庭内備蓄」が6割前半で最も高くなっている

### 問 10 災害から自身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(いくつでも)

災害から自身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が63.0%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が47.4%、「ハザードマップの確認」が38.7%となっている。

なお、「特に何もしていない」は15.9%となっている。

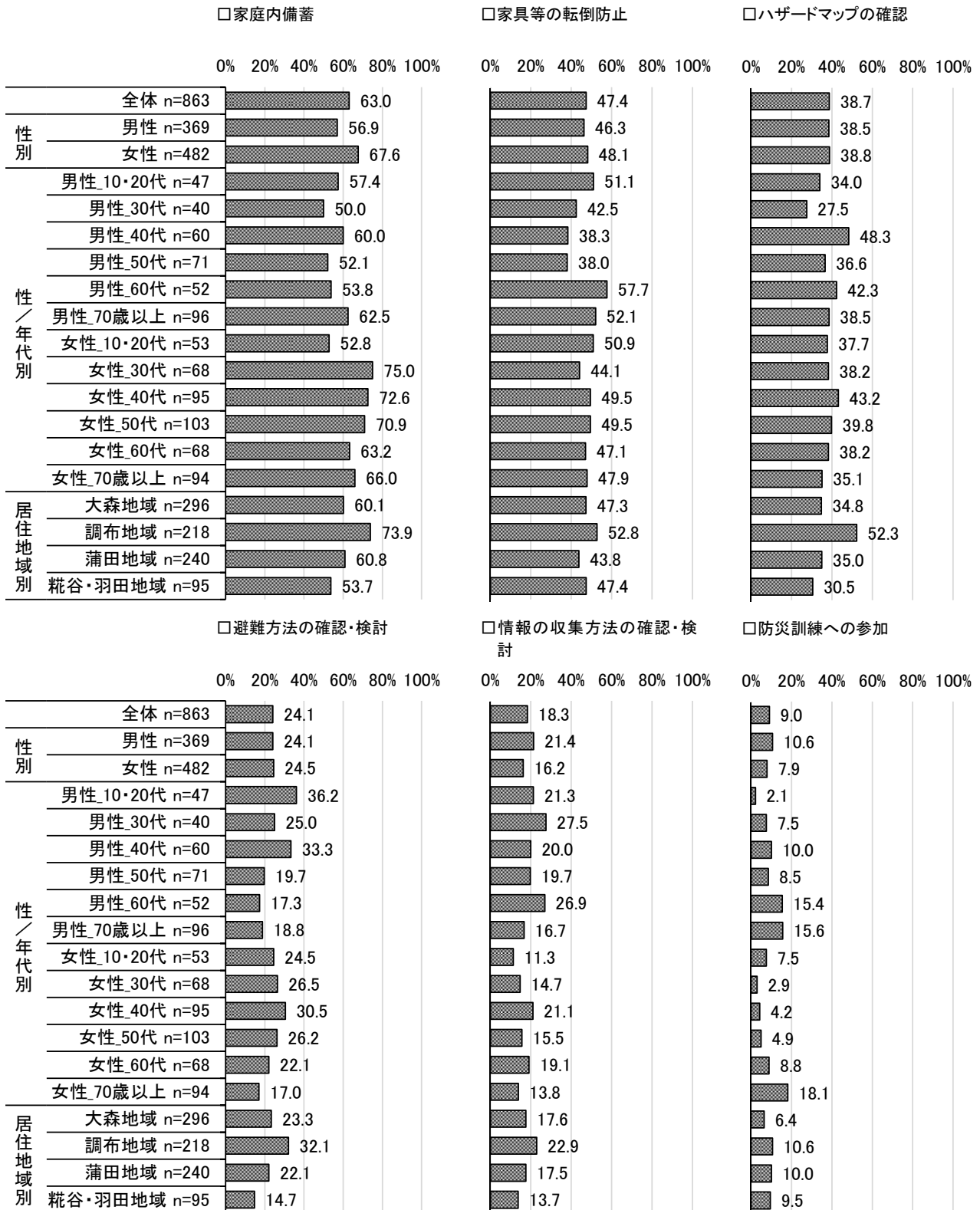


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「家庭内備蓄」が最も高く、男性が56.9%、女性が67.6%と、女性が10.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、男性60代を除き「家庭内備蓄」が最も高く、女性30代から50代で7割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「家庭内備蓄」が最も高く、調布地域で7割前半となっている。

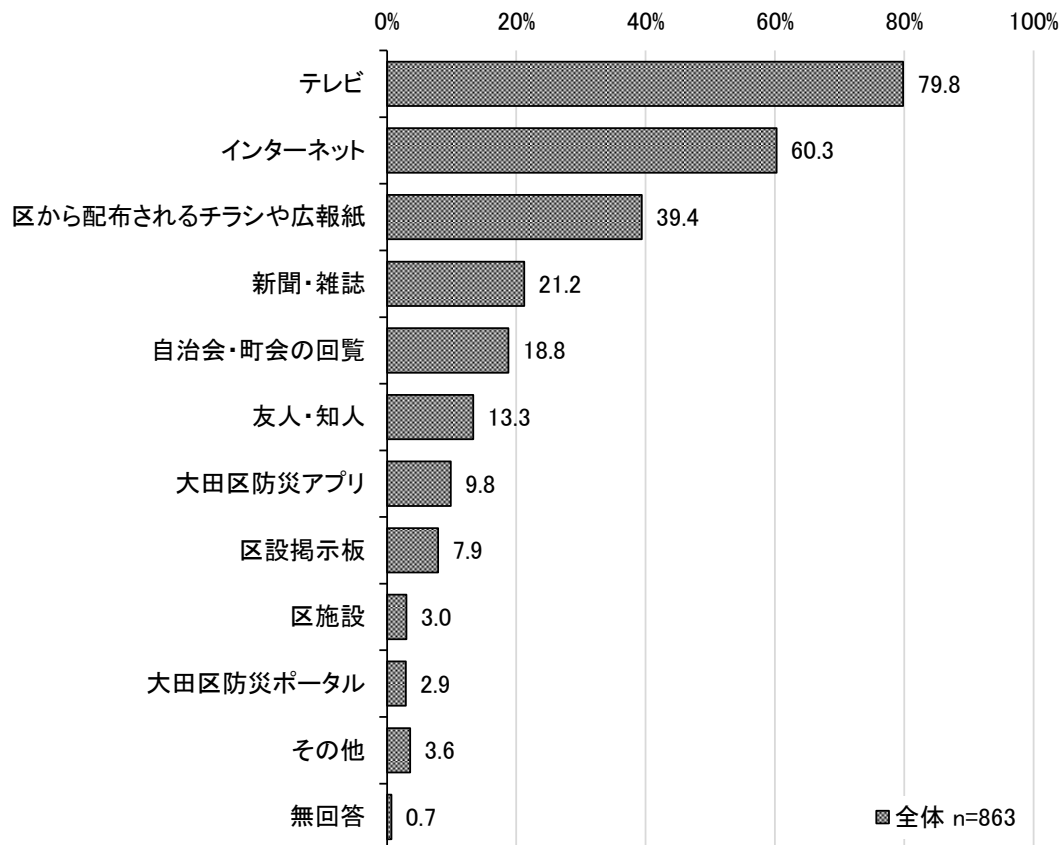


## (9) 防災に関する情報の収集方法

◇「テレビ」が約8割で最も高くなっている

### 問 11 防災に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)

防災に関する情報の収集方法については、「テレビ」が79.8%で最も高く、次いで「インターネット」が60.3%、「区から配布されるチラシや広報紙」が39.4%となっている。

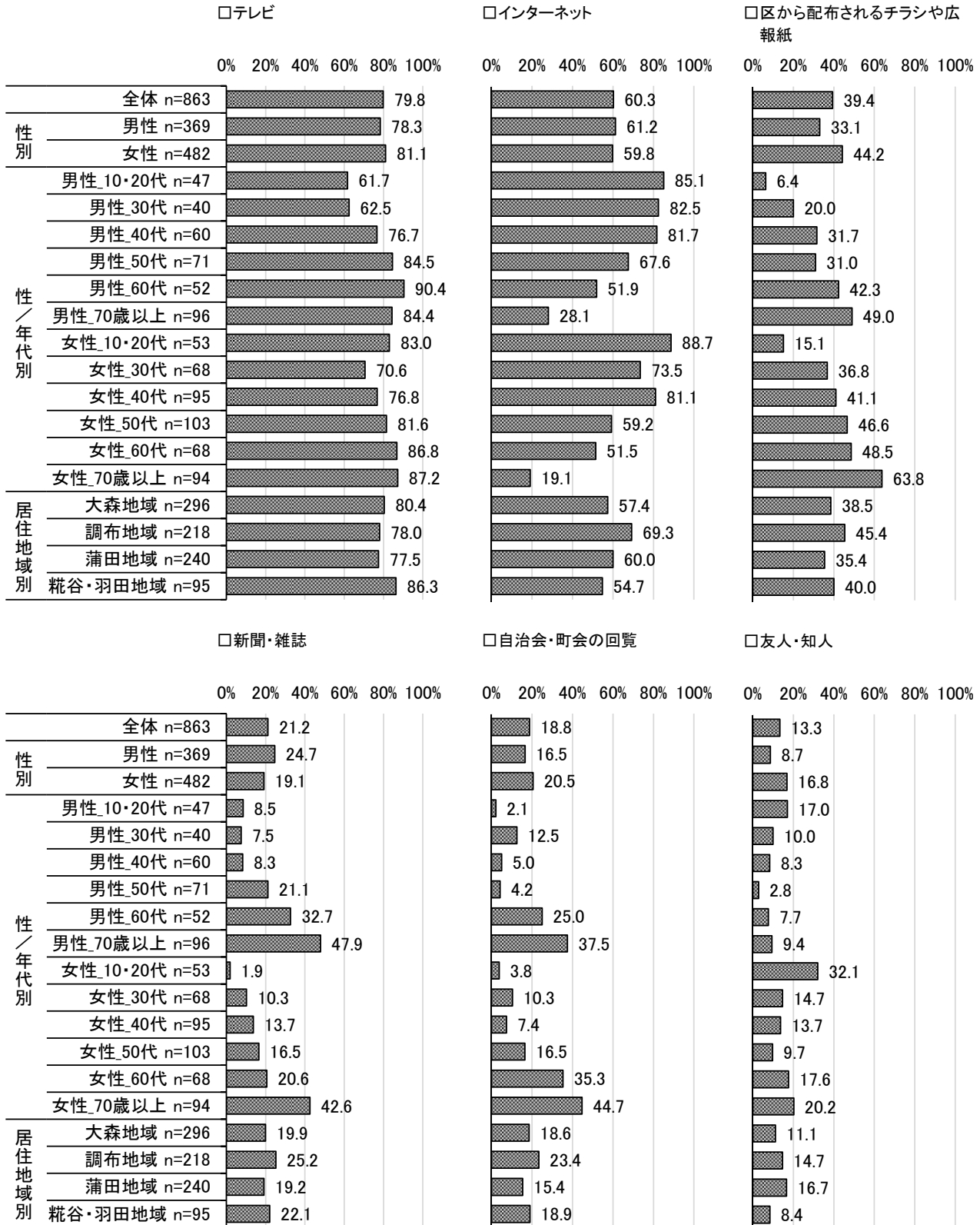


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「テレビ」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、男性、女性ともに10・20代から40代は「インターネット」が最も高くなっている。男性、女性ともに50代から70歳以上は「テレビ」が最も高くなっている。「区から配布されるチラシや広報紙」は男性、女性ともに年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で5割弱、女性70歳以上で6割前半となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「テレビ」が最も高く、糞谷・羽田地域で9割弱となっている。



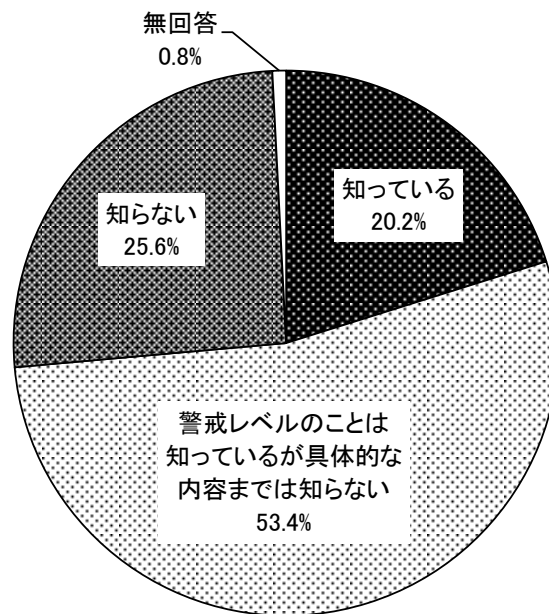
### (10) 警戒レベルに応じた避難行動の認知度

◇「知っている」は約2割となっている

**問 12 令和3年5月に、避難の判断をするための避難情報が見直され、警戒レベル3で高齢者・障がい者、乳幼児等は避難を開始し、警戒レベル4までに全ての人が避難することとなりました。各警戒レベルに応じてとるべき避難行動を知っていますか。(1つのみ)**

警戒レベルに応じた避難行動の認知度については、「警戒レベルのことは知っているが具体的な内容までは知らない」が53.4%で最も高く、次いで「知らない」が25.6%、「知っている」が20.2%となっている。

全体 n=863



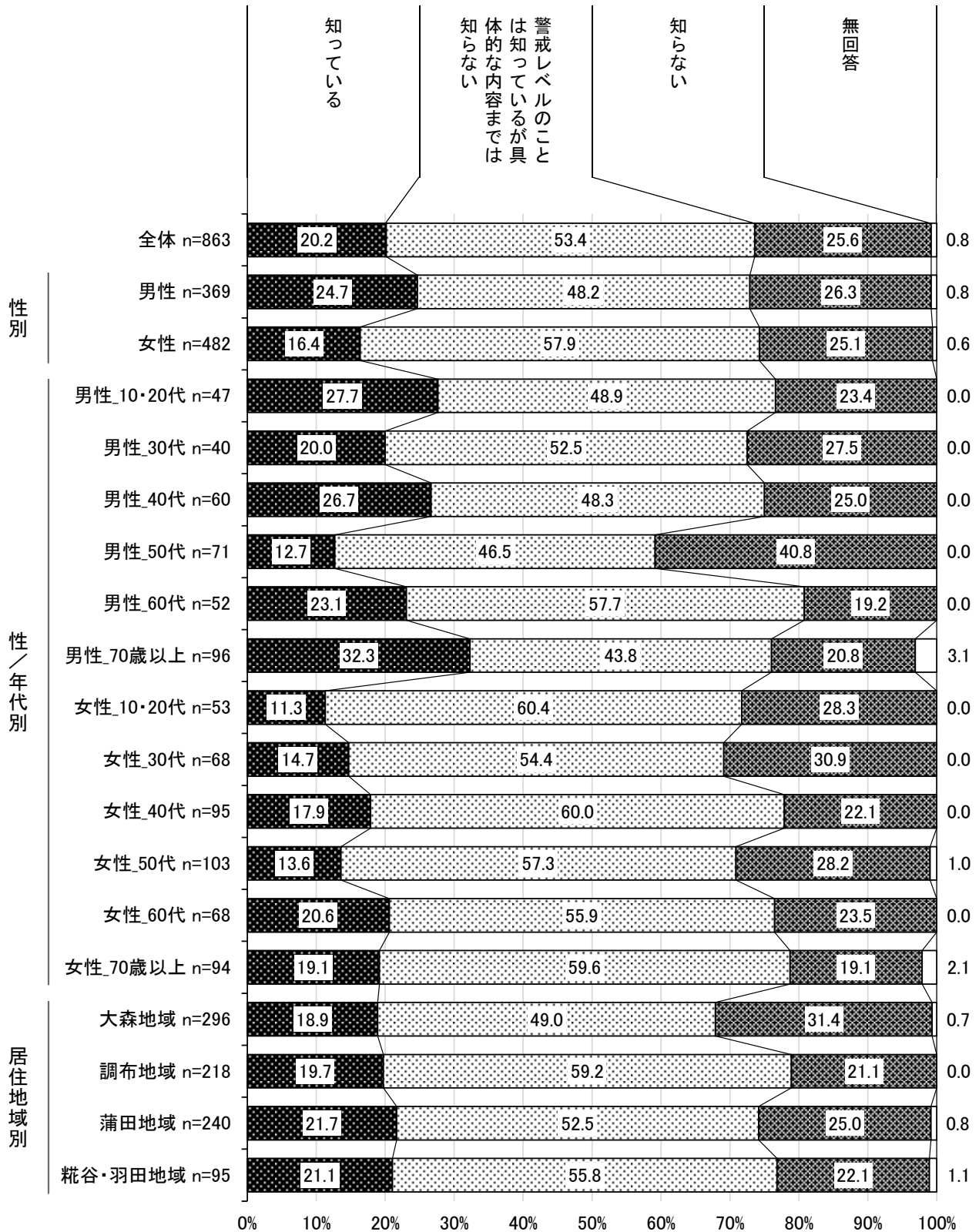


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が24.7%、女性が16.4%と、男性が8.3ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「知っている」は男性では70歳以上で3割前半、女性では60代、70歳以上で約2割と高くなっている。

居住地域別でみると、「知らない」は大森地域で3割前半と高くなっている。



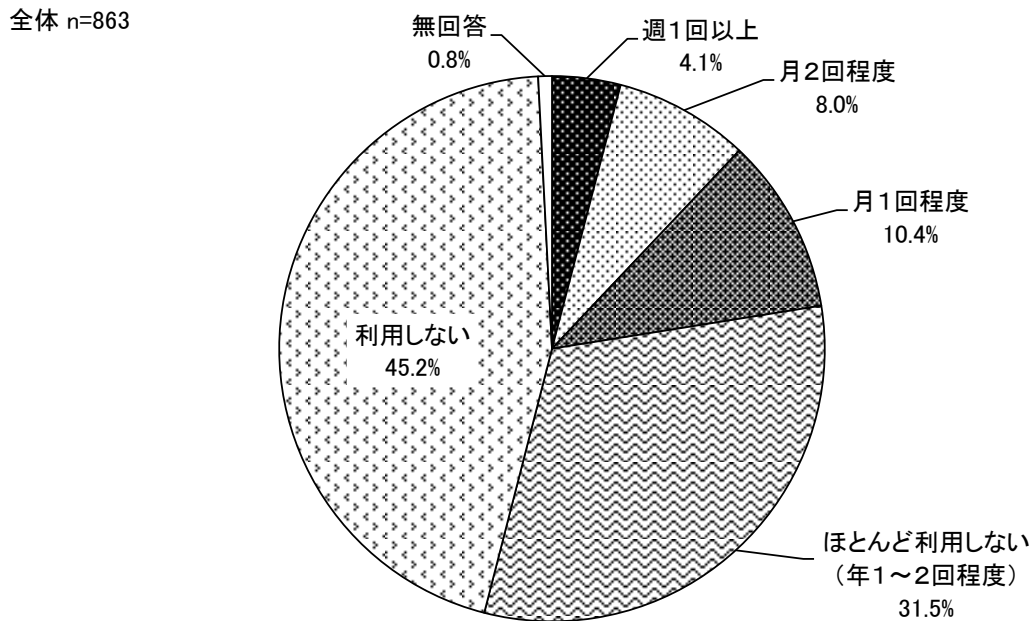
## 6 図書館について

### (1) 図書館等の利用頻度

◇ 《利用している》(「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値) は2割前半となっている

**問 13 あなたは、大田区立図書館又は大田文化の森情報館をどのくらい利用していますか。  
(1つのみ)**

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》は22.5%である一方で、「ほとんど利用しない(年1～2回程度)」、「利用しない」の合計値《利用しない》は76.7%と、《利用しない》が54.2ポイント上回っている。

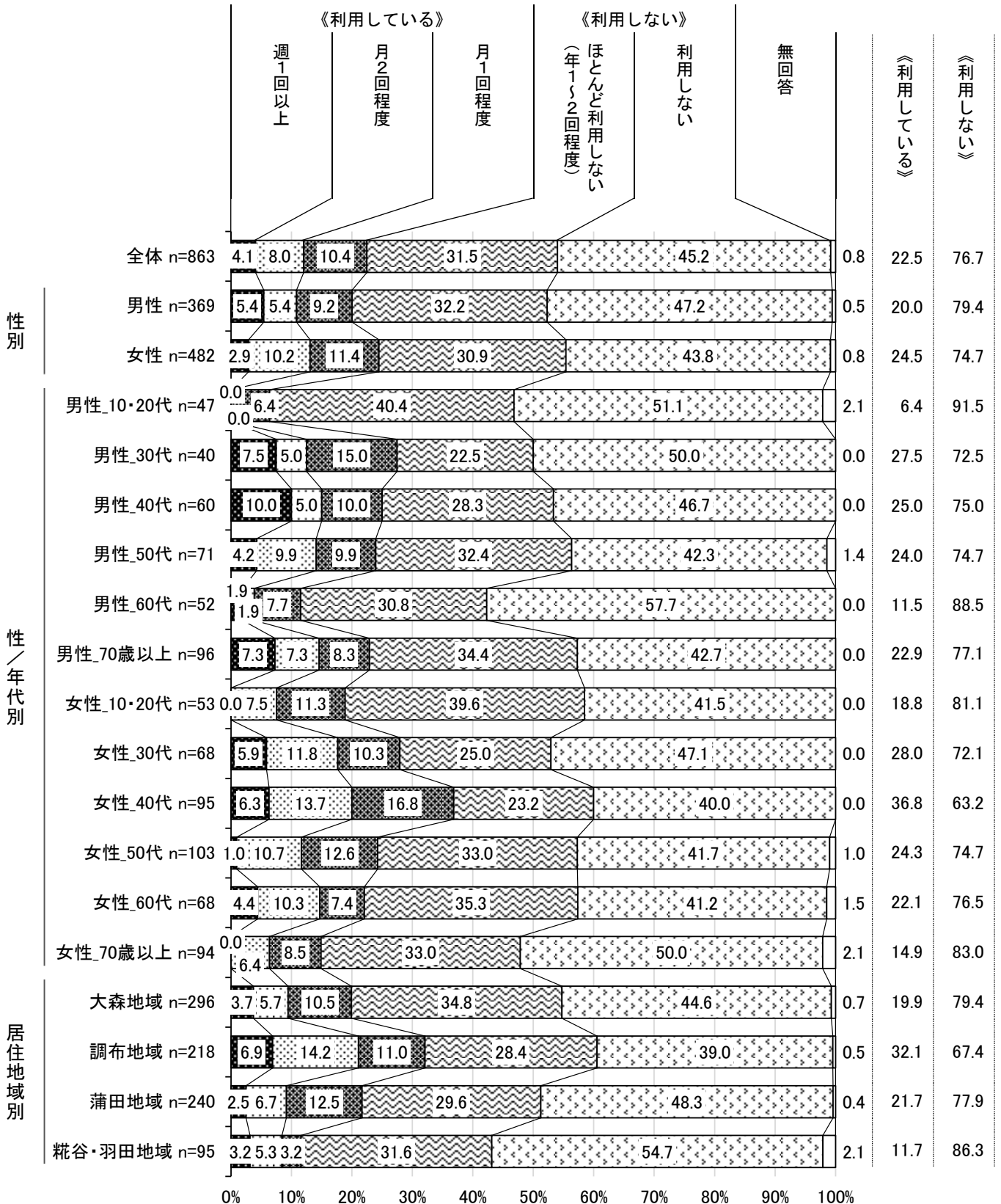


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《利用している》は男性が20.0%、女性が24.5%と、女性が4.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《利用している》は男性では30代で3割弱、女性では40代で4割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、《利用している》は調布地域で3割前半となっている。



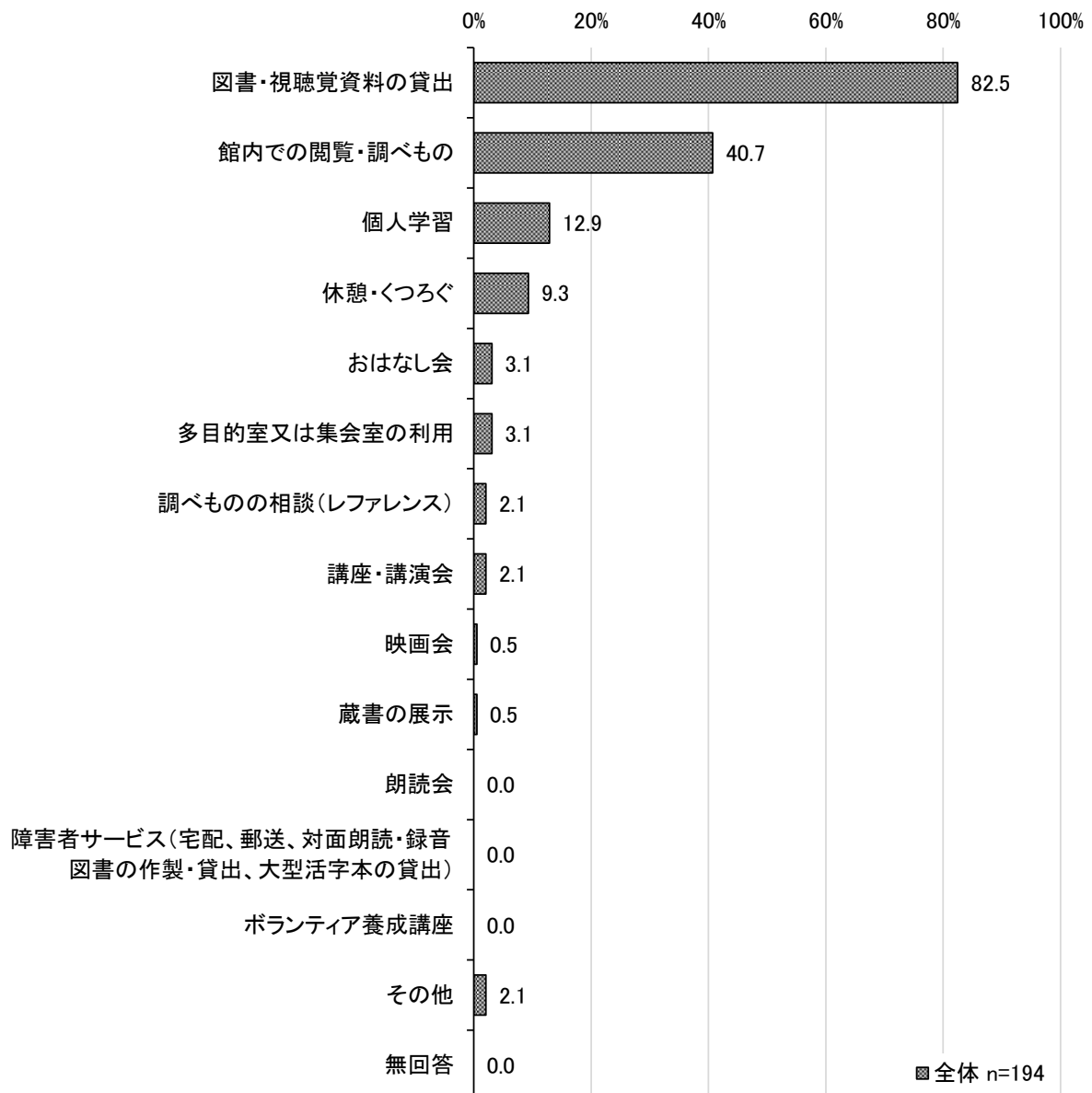
## (2) 図書館で主に利用する機能・サービス

◇「図書・視聴覚資料の貸出」が8割前半で最も高くなっている

【問 13 で「週 1 回以上」「月 2 回程度」「月 1 回程度」と回答した方に伺います。】

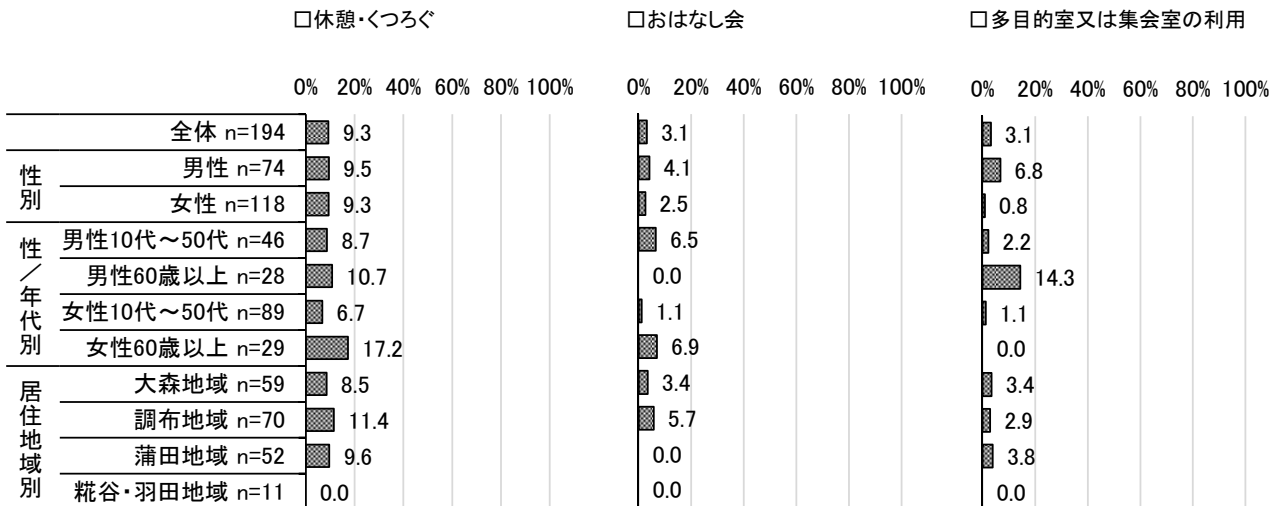
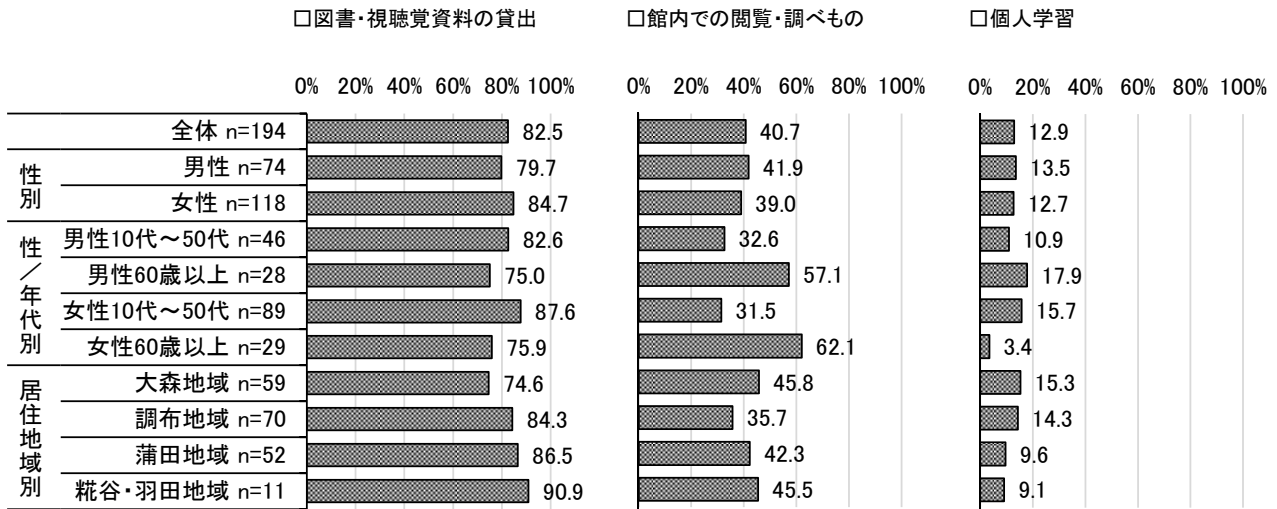
### 問 13-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(いくつでも)

図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が 82.5% で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が 40.7%、「個人学習」が 12.9% となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高く、男性が79.7%、女性が84.7%と、女性が5.0ポイント上回っている。



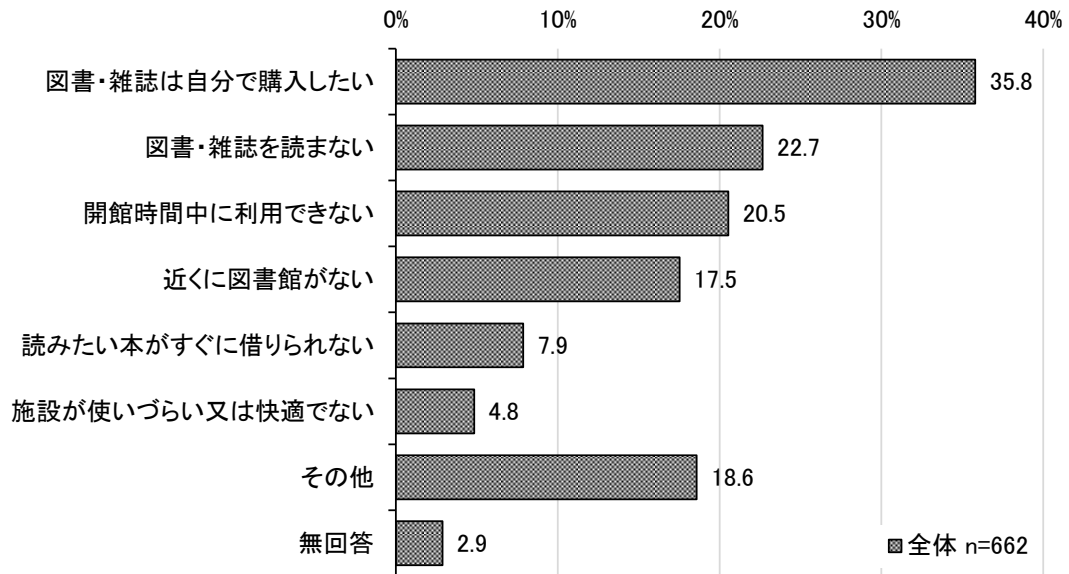
### (3) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が3割半ばで最も高くなっている

【問 13 で「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」「利用しない」と回答した方に伺います。】

#### 問 13-2 図書館を利用しない理由は何ですか。（いくつでも）

図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が35.8%で最も高く、次いで「図書・雑誌を読まない」が22.7%、「開館時間中に利用できない」が20.5%となっている。

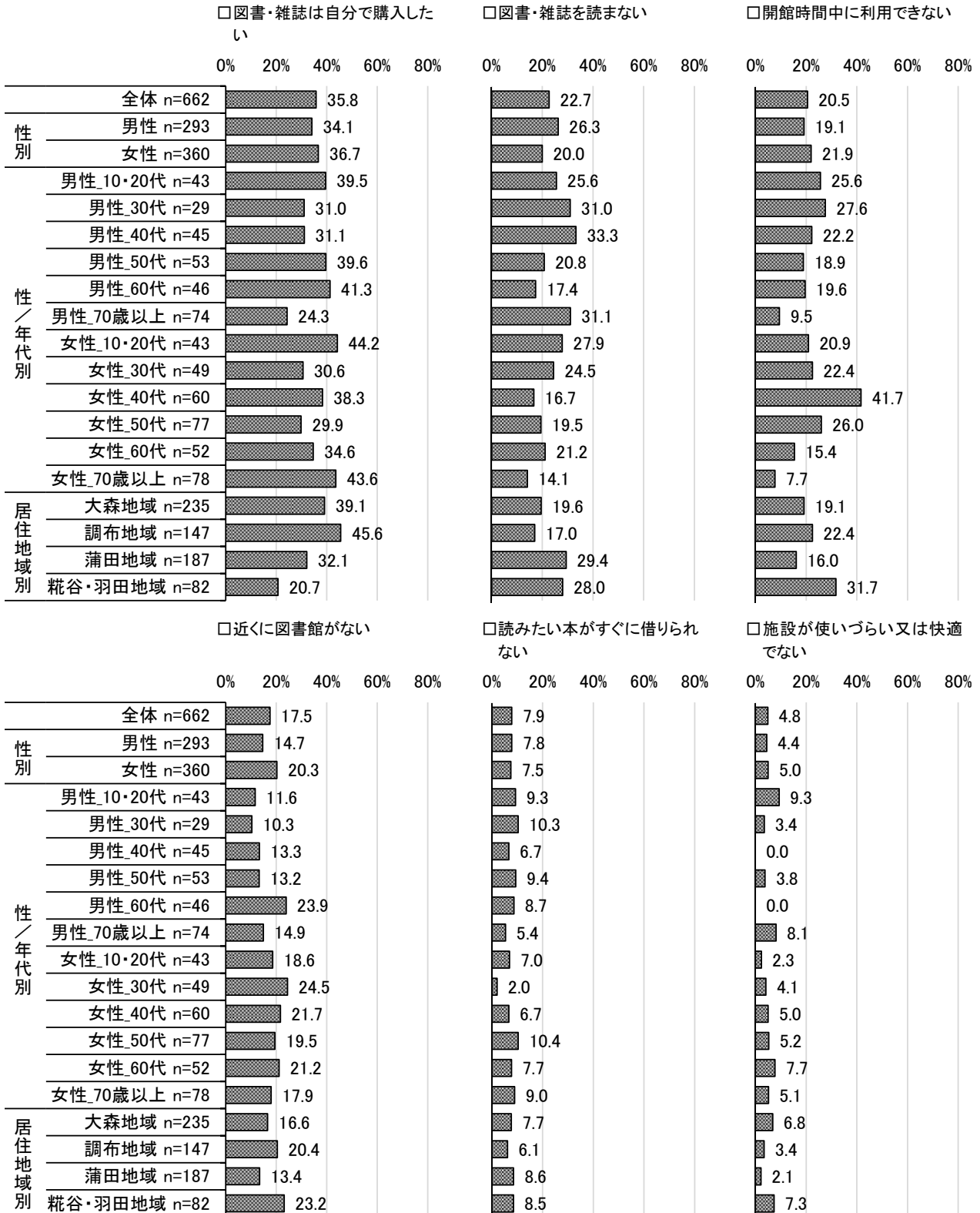


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「図書・雑誌は自分で購入したい」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は男性では60代で4割前半、女性では10・20代で4割半ばと高くなっている。「開館時間中に利用できない」は女性40代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「図書・雑誌は自分で購入したい」が、糎谷・羽田地域では「開館時間中に利用できない」が最も高くなっている。

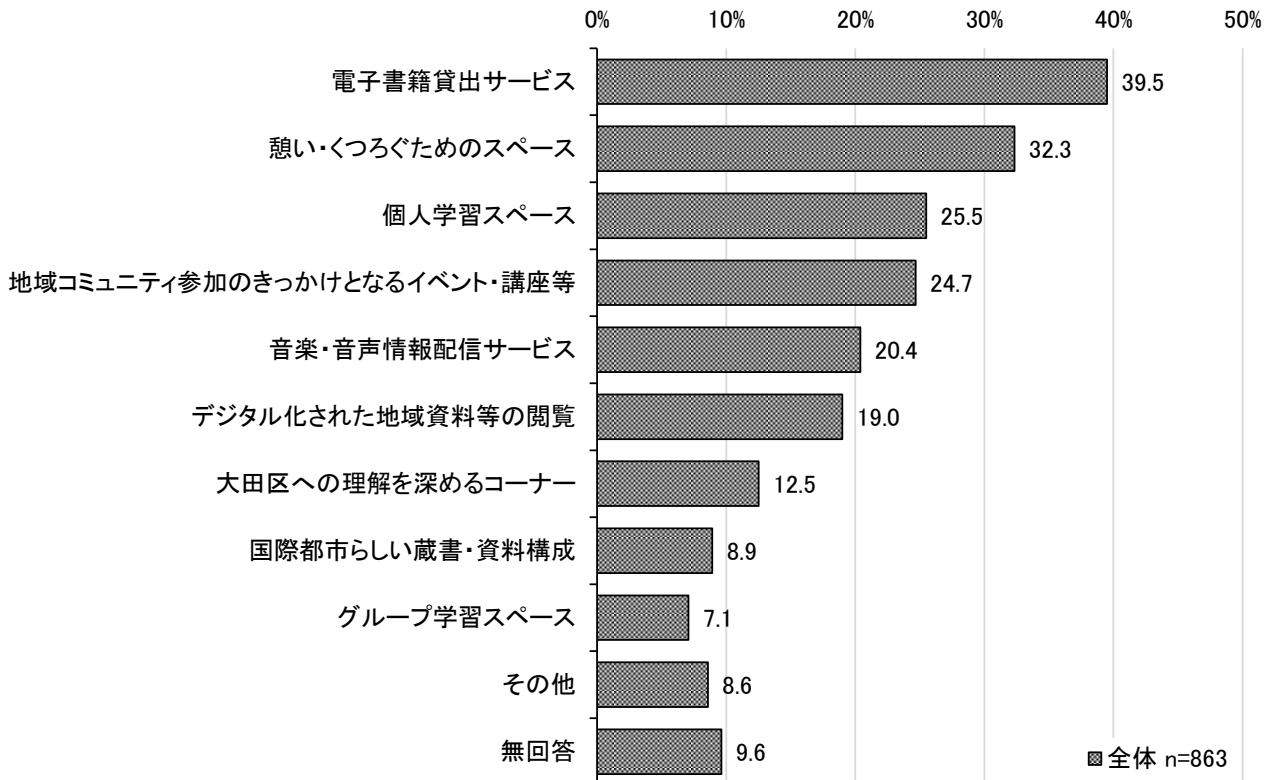


#### (4) 図書館に期待する機能・サービス

◇「電子書籍貸出サービス」が約4割で最も高くなっている

**問 14 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。  
(いくつでも)**

図書館に期待する機能・サービスについては、「電子書籍貸出サービス」が39.5%で最も高く、次いで「憩い・くつろぐためのスペース」が32.3%、「個人学習スペース」が25.5%となっている。



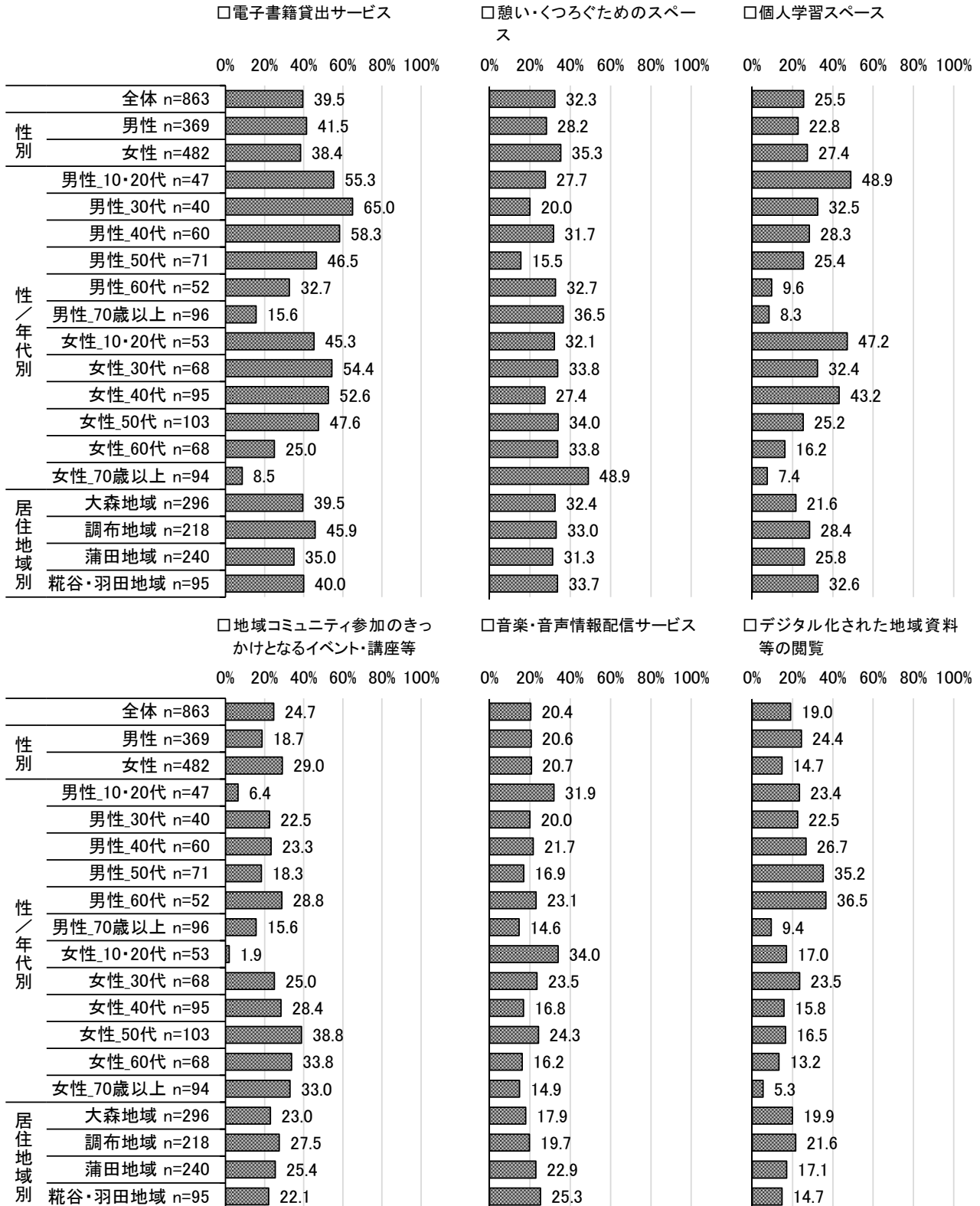


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「電子書籍貸出サービス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「電子書籍貸出サービス」は男性では30代で6割半ば、女性では30代で5割半ばと高くなっている。「個人学習スペース」は男性10・20代、女性10・20代、女性40代で4割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「電子書籍貸出サービス」が最も高く、調布地域で4割半ばとなっている。



## 7 自然環境について

### (1) 「コアジサシ」の認知度

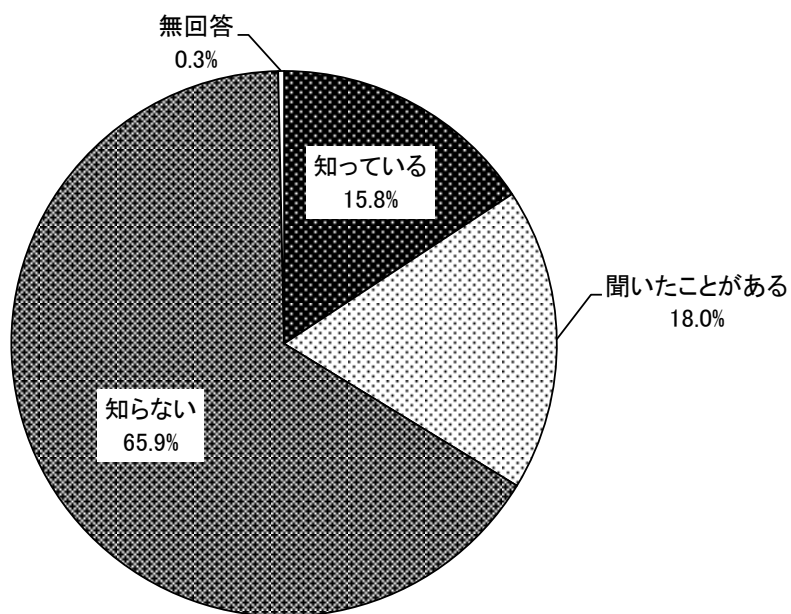
◇ 《知っている》（「知っている」、「聞いたことがある」の合計値）は3割前半となっている

#### 問 15 絶滅の恐れのある渡り鳥「コアジサシ」を知っていますか。（1つのみ）

“コアジサシ”の認知度については、「知っている」、「聞いたことがある」の合計値《知っている》は33.8%となっている。

なお、「知らない」は65.9%となっている。

全体 n=863

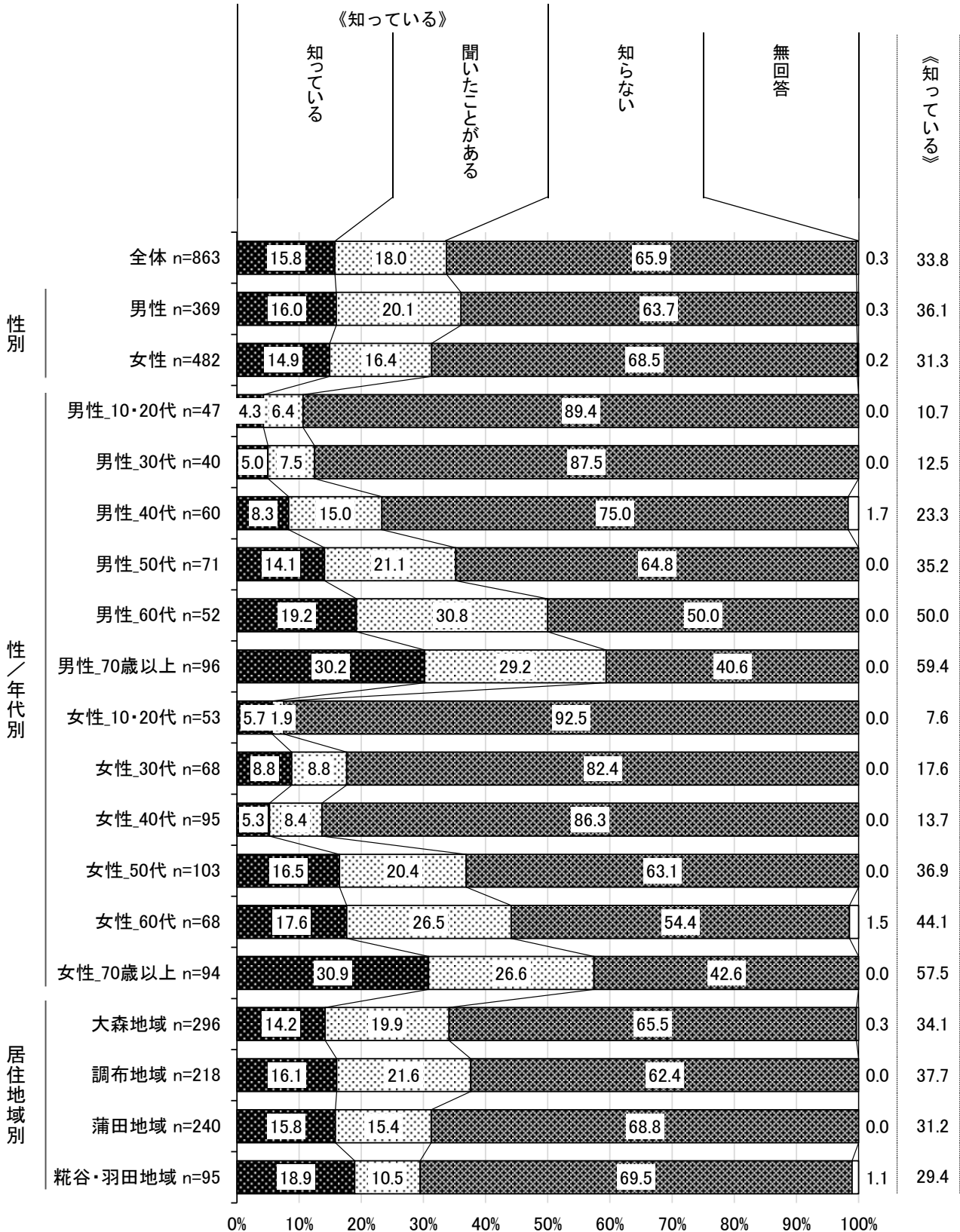


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が36.1%、女性が31.3%と、男性が4.8ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《知っている》は男性、女性ともに年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で約6割、女性70歳以上で6割弱となっている。

居住地域別でみると、《知っている》は調布地域で4割弱と高くなっている。



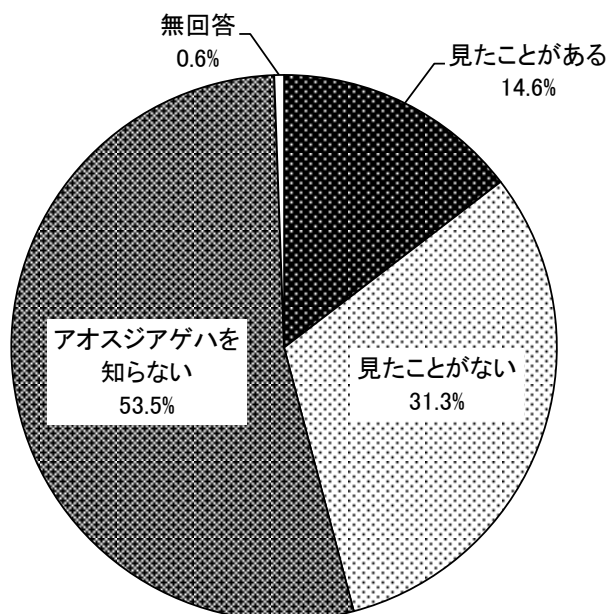
## (2) 「アオスジアゲハ」を見たこと

◇「見たことがある」は1割半ばとなっている

### 問 16 あなたは、大田区内で「アオスジアゲハ」という蝶を見たことがありますか。(1つのみ)

“アオスジアゲハ”を見たことについては、「アオスジアゲハを知らない」が53.5%で最も高く、次いで「見たことがない」が31.3%、「見たことがある」が14.6%となっている。

全体 n=863

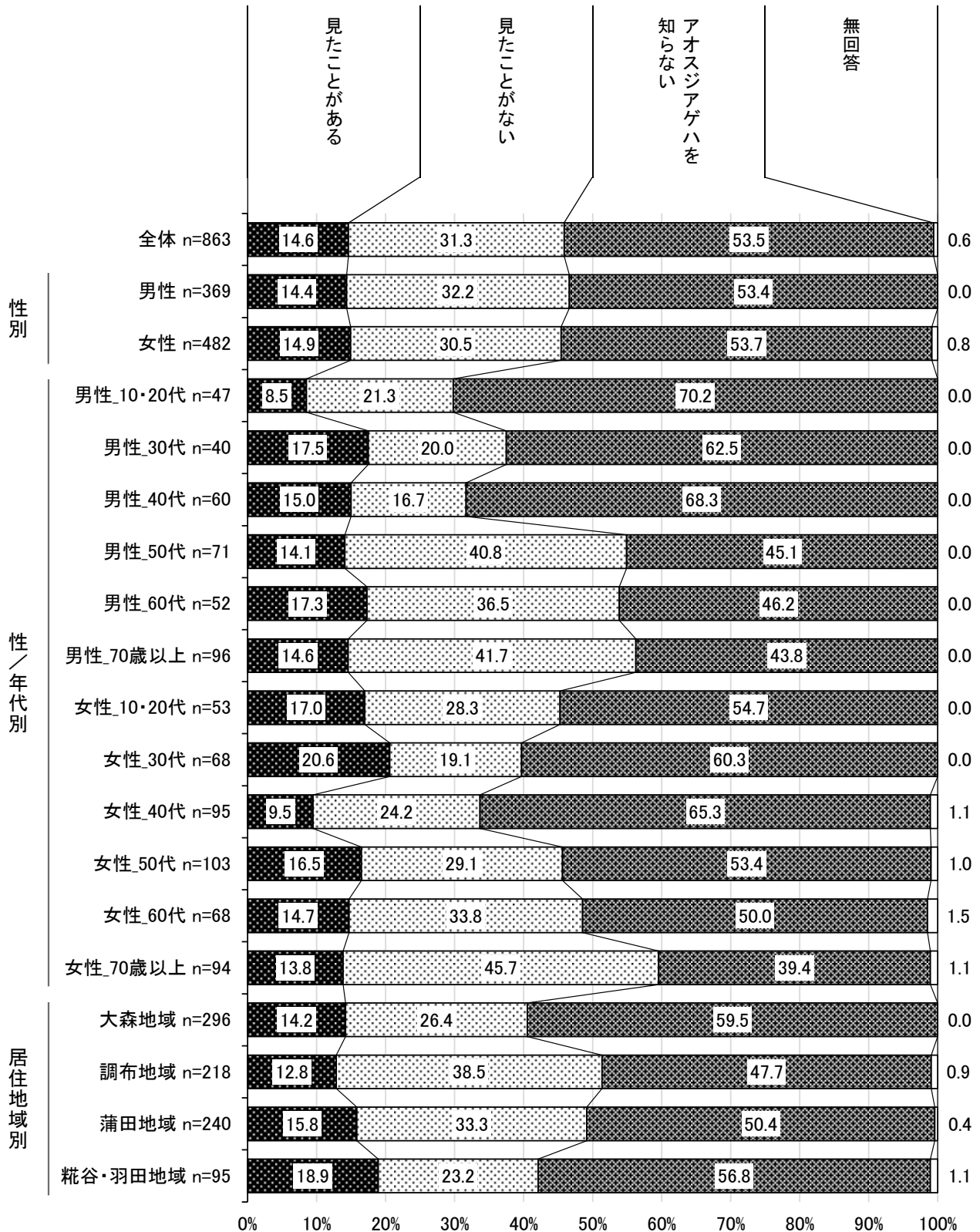


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「見たことがある」は男性では10・20代を除き1割台、女性では30代で約2割と高くなっている。

居住地域別でみると、「見たことがある」は糞谷・羽田地域で2割弱と高くなっている。



## 8 自転車の利用について

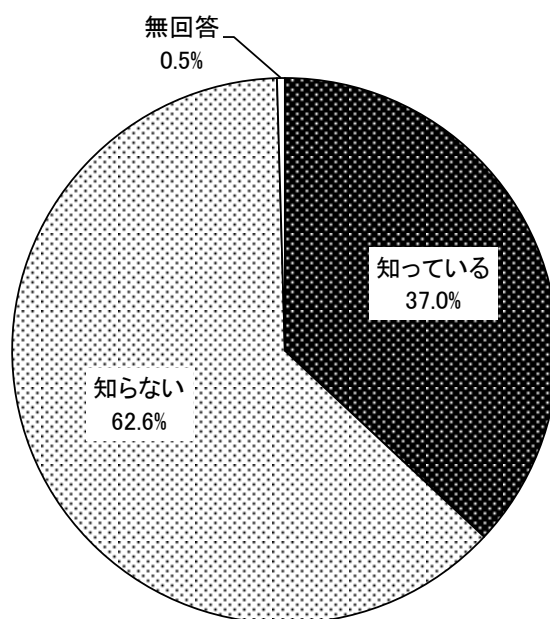
### (1) 「コミュニティサイクル」の認知度

◇「知っている」は4割弱となっている

**問 17 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。  
(1つのみ)**

“コミュニティサイクル”の認知度については、「知っている」が37.0%、「知らない」が62.6%と、「知らない」が25.6ポイント上回っている。

全体 n=863

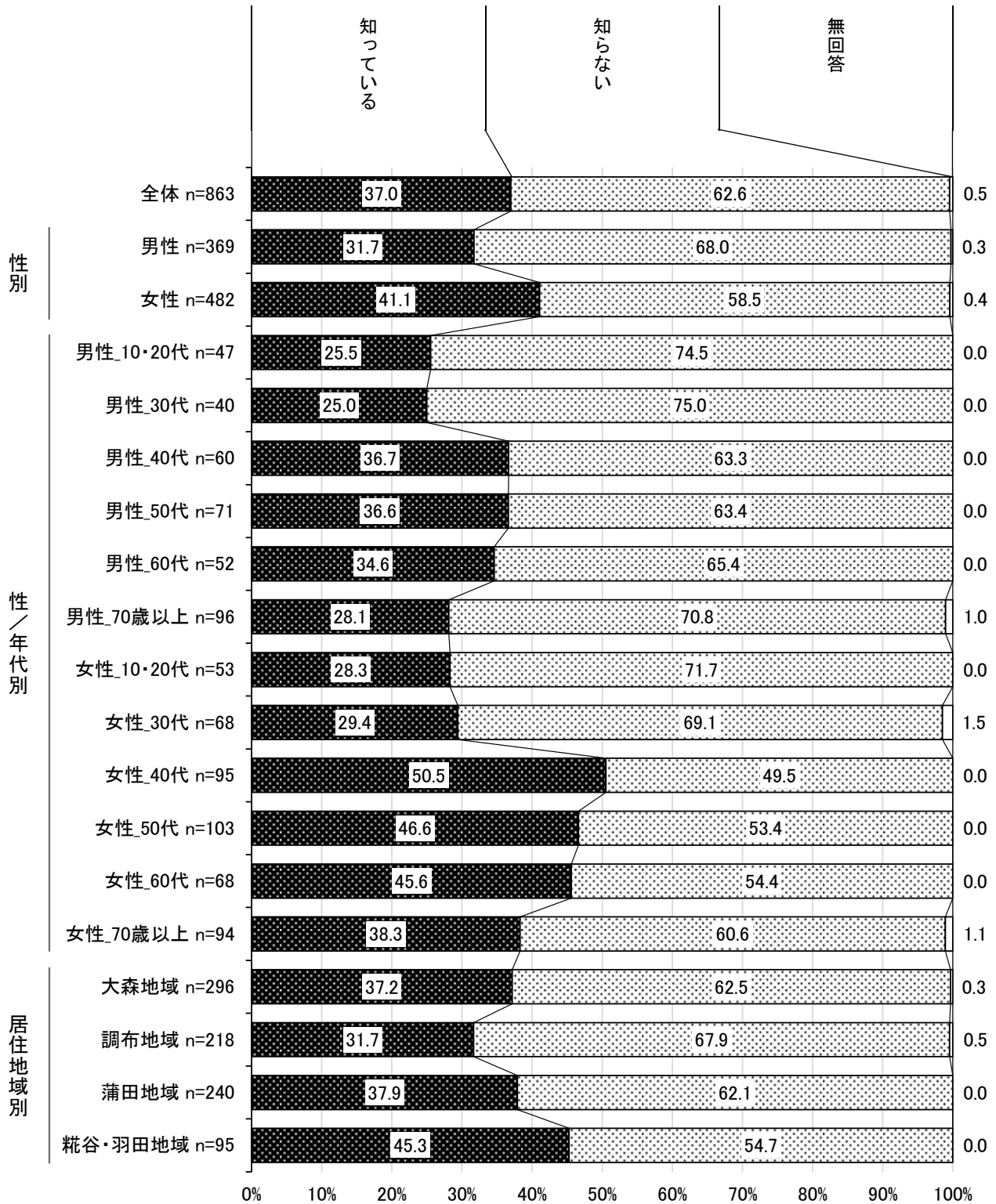


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が31.7%、女性が41.1%と、女性が9.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では40代から60代で3割台、女性では40代で約5割、50代、60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



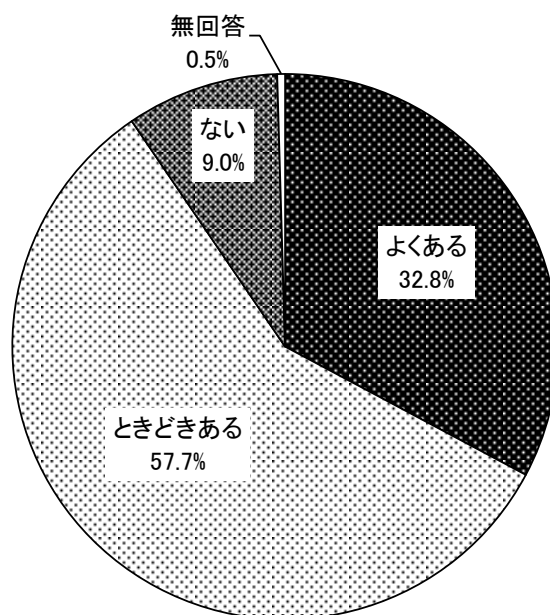
## (2) 歩行時等における自転車に対する危機感

◇「よくある」は3割前半となっている

**問 18 歩いているときなどに、他の人が乗る自転車に対して、怖いと思ったことや、ヒヤリとした経験はありますか。(1つのみ)**

歩行時等における自転車に対する危機感については、「ときどきある」が57.7%で最も高く、次いで「よくある」が32.8%、「ない」が9.0%となっている。

全体 n=863



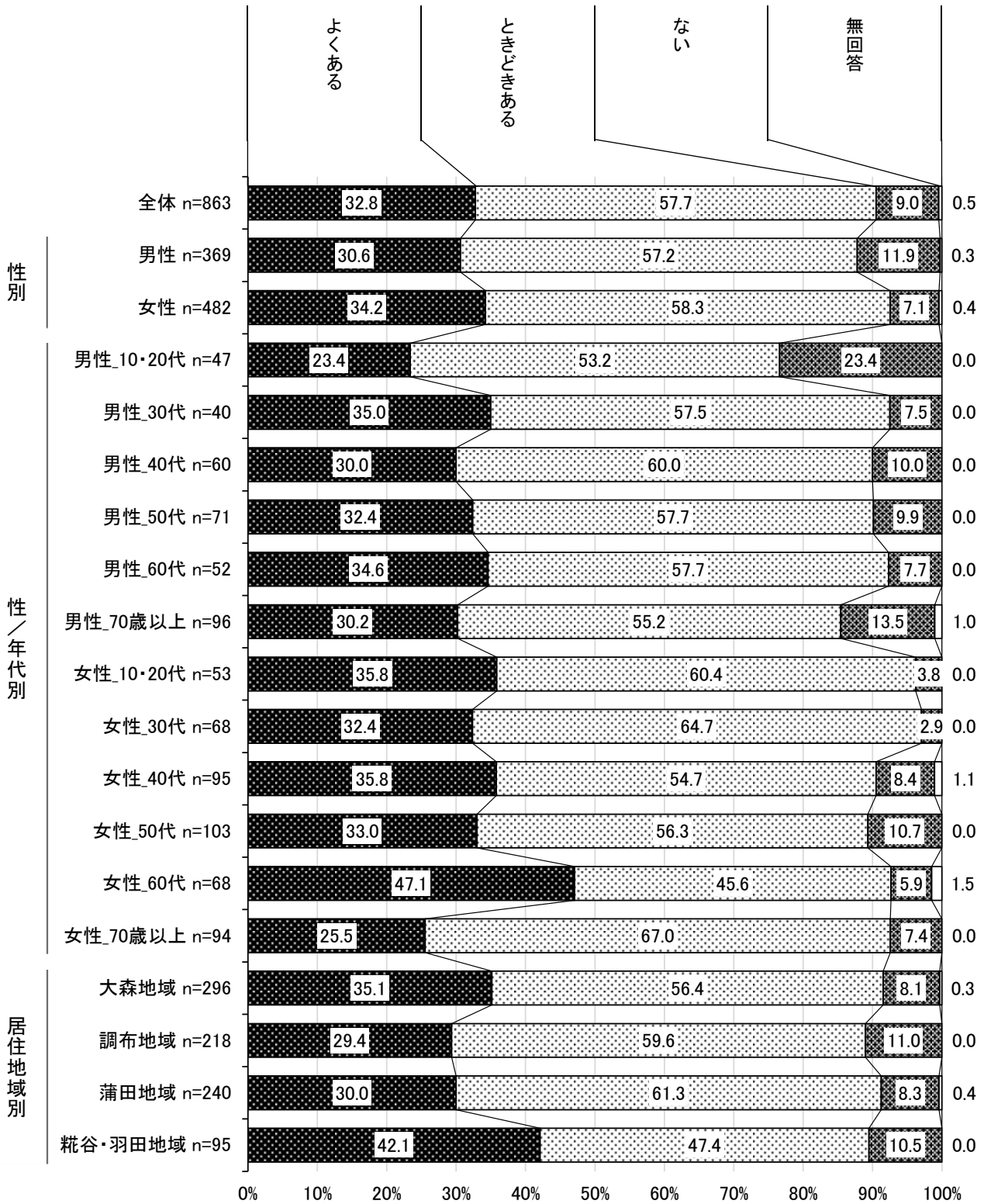


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「よくある」は女性60代で5割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「よくある」は糀谷・羽田地域で4割前半と高くなっている。



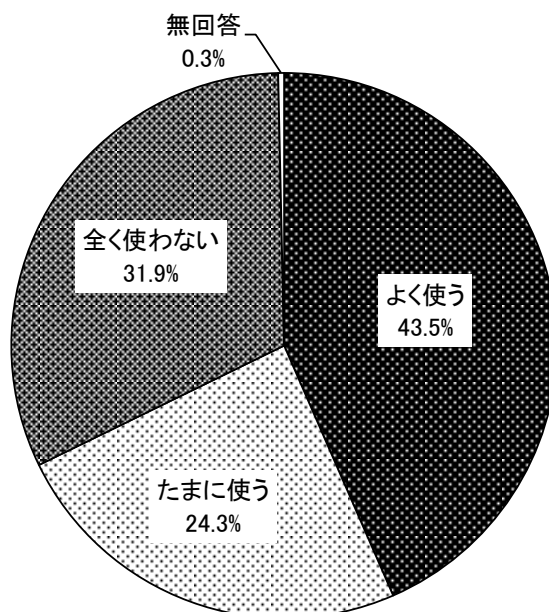
### (3) 自転車の利用状況

◇「よく使う」は4割前半となっている

#### 問 19 あなたは、普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況については、「よく使う」が43.5%で最も高く、次いで「全く使わない」が31.9%、「たまに使う」が24.3%となっている。

全体 n=863

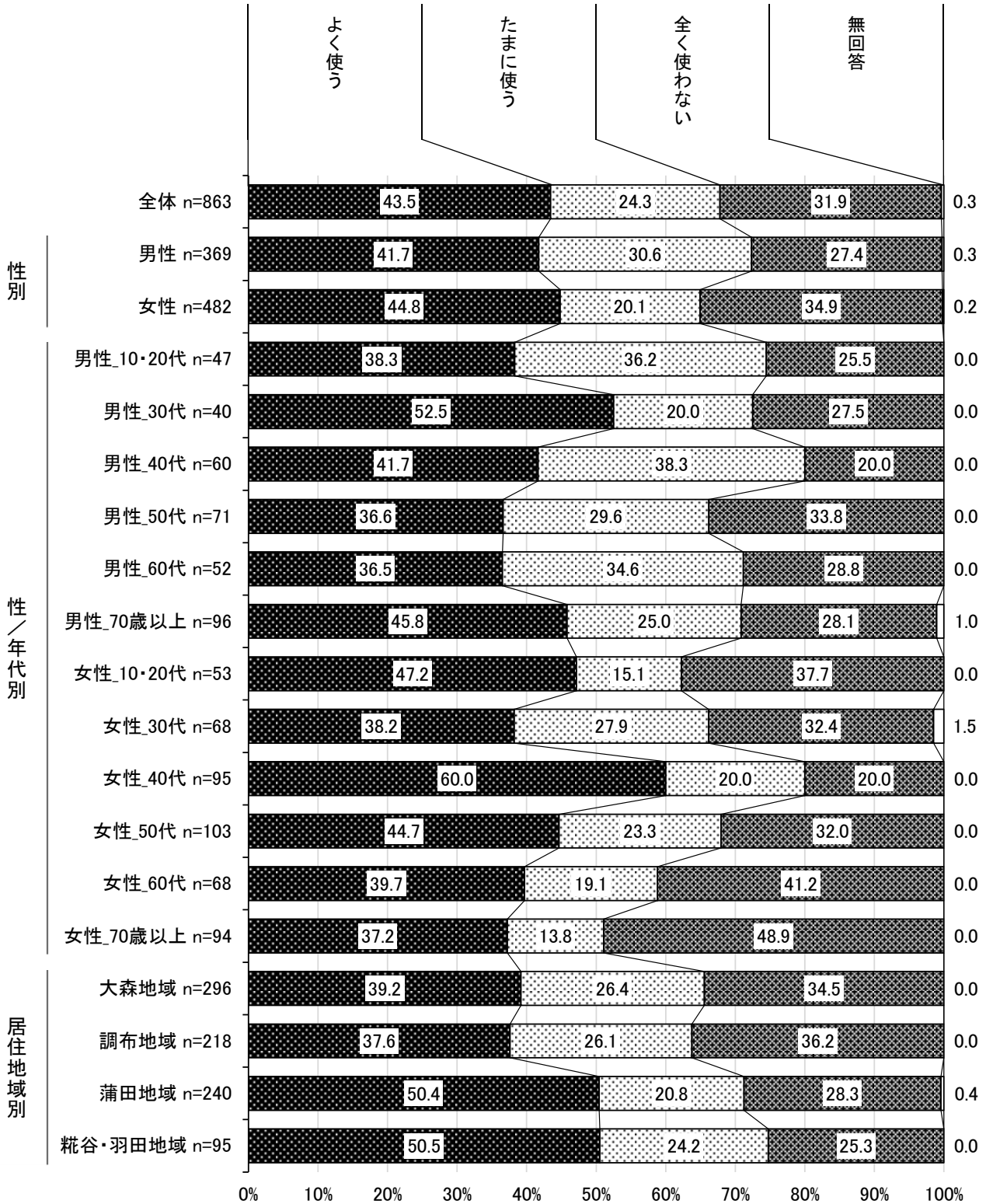


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よく使う」は男性が41.7%、女性が44.8%と、女性が3.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よく使う」は男性では30代で5割前半、女性では40代で6割と高くなっている。

居住地域別でみると、「よく使う」は蒲田地域、糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。



#### (4) 自転車の盗難被害の有無

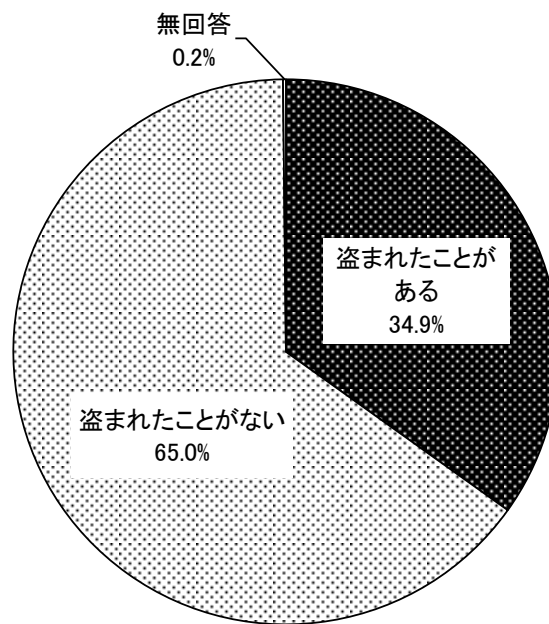
◇「盗まれたことがある」は3割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-1 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(1つのみ)

自転車の盗難被害の有無については、「盗まれたことがある」が 34.9%、「盗まれたことがない」が 65.0%と、「盗まれたことがない」が 30.1 ポイント上回っている。

全体 n=585

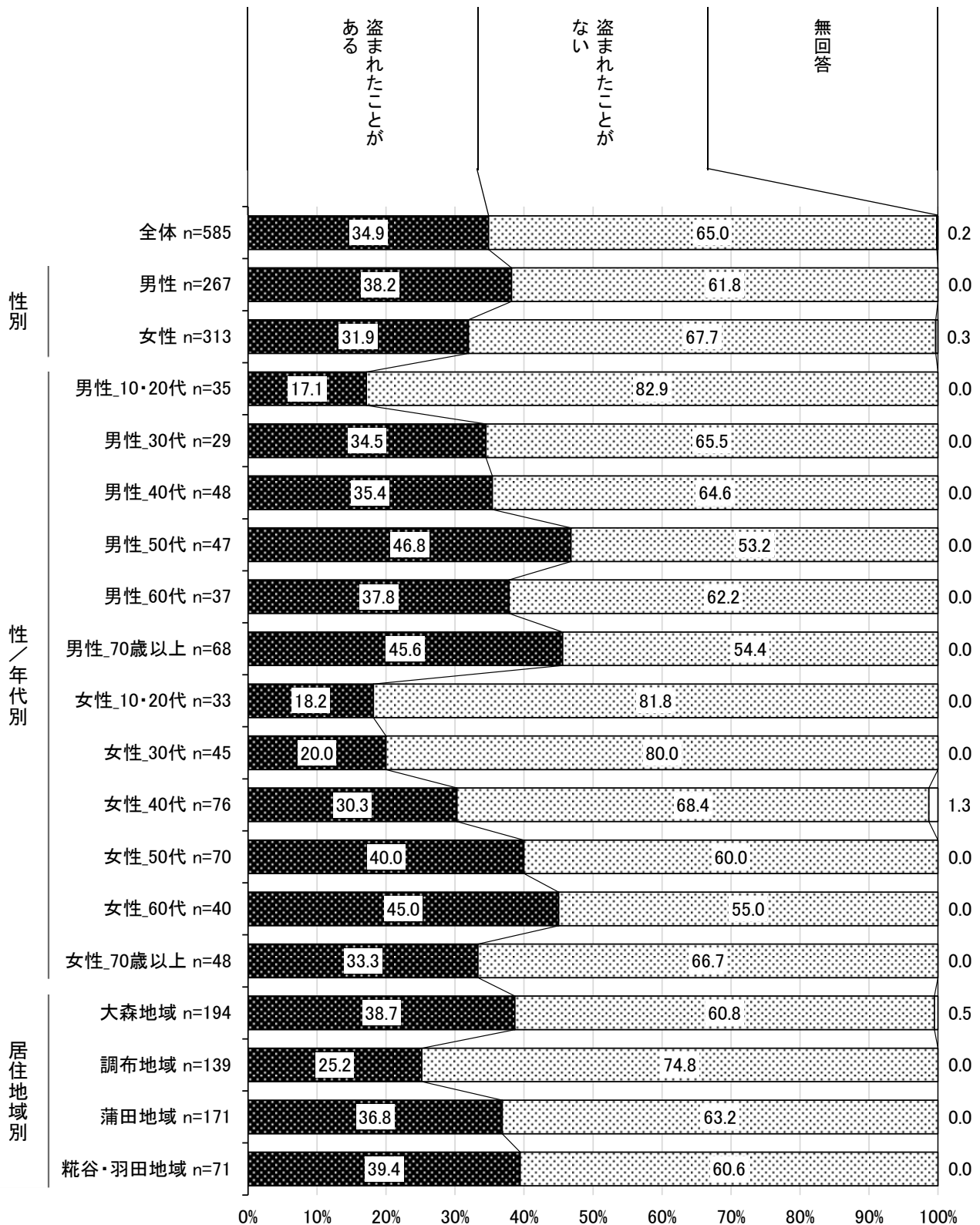


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「盗まれたことがある」は男性が38.2%、女性が31.9%と、男性が6.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「盗まれたことがある」は男性50代、男性70歳以上、女性50代、女性60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、「盗まれたことがある」は大森地域、蒲田地域、糎谷・羽田地域で3割台となっている。



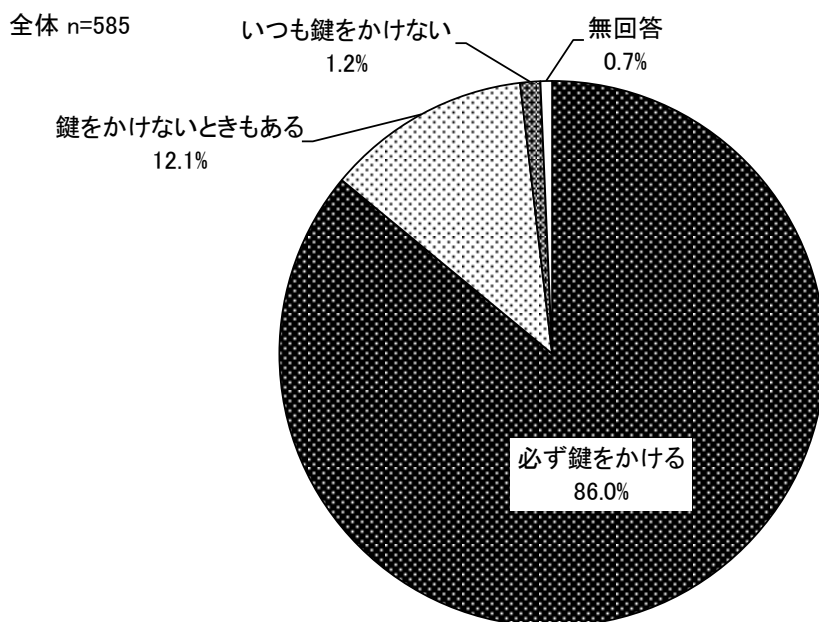
## (5) 自転車の施錠状況

◇「必ず鍵をかける」は8割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-2 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(1つのみ)

自転車の施錠状況については、「必ず鍵をかける」が86.0%で最も高く、次いで「鍵をかけないときもある」が12.1%、「いつも鍵をかけない」が1.2%となっている。

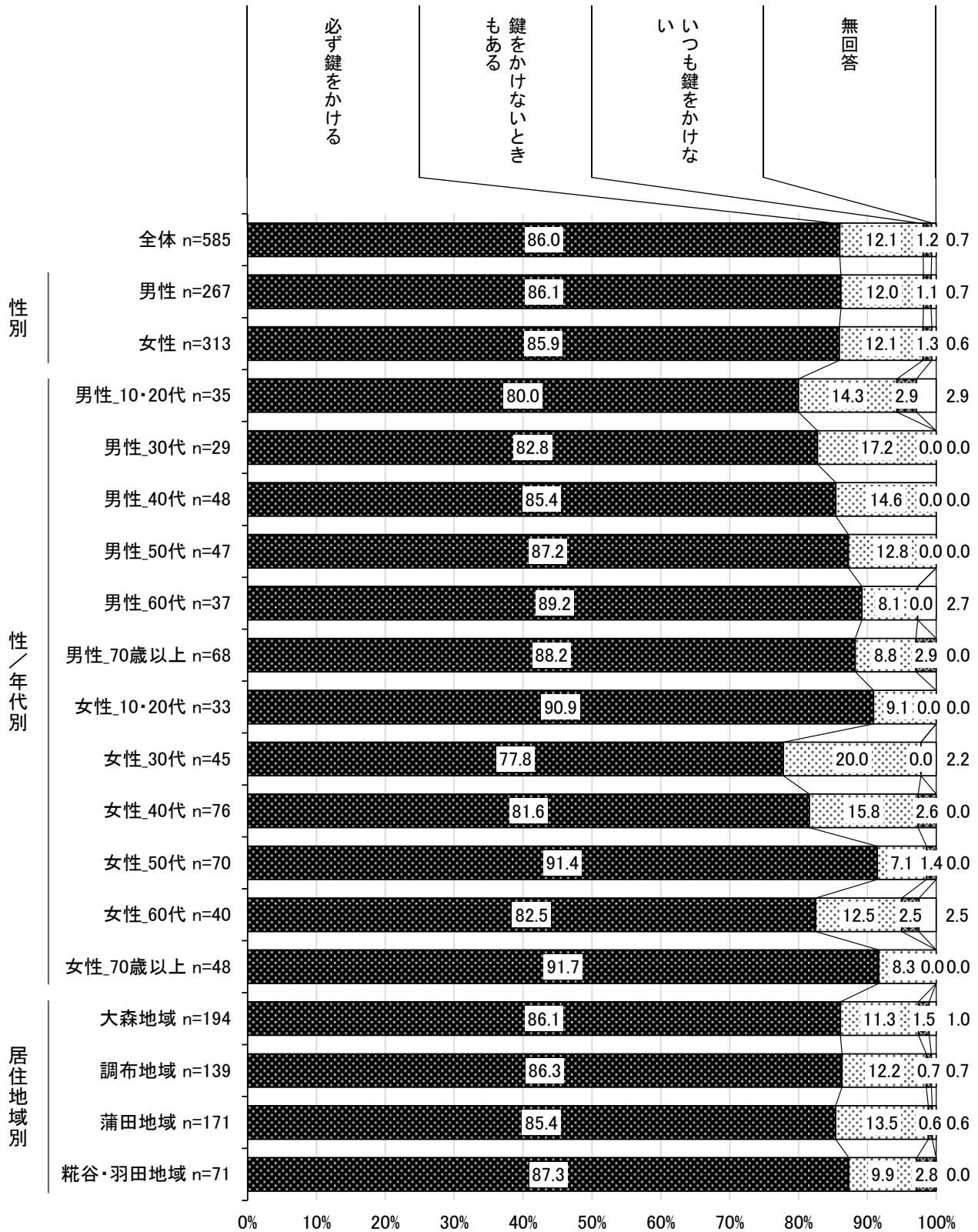


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「必ず鍵をかける」は女性 30 代を除き 8 割以上となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「必ず鍵をかける」が 8 割台となっている。



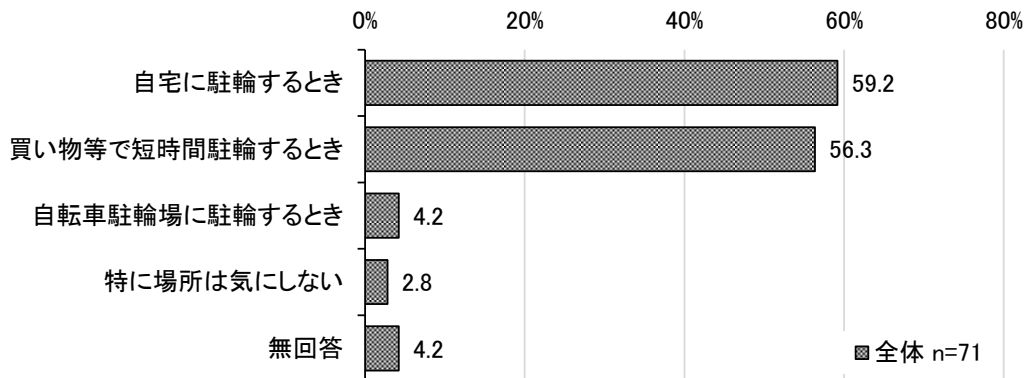
## (6) 自転車を施錠しないときの状況

◇「自宅に駐輪するとき」が約6割で最も高くなっている

【問 19-2で「鍵をかけないときもある」と回答した方に伺います。】

### 問 19-3 あなたが自転車の鍵をかけないのはどのようなときですか。(いくつでも)

自転車を施錠しないときの状況については、「自宅に駐輪するとき」が59.2%で最も高く、次いで「買い物等で短時間駐輪するとき」が56.3%、「自転車駐輪場に駐輪するとき」が4.2%となっている。





## (7) 区営駐輪場で不便に感じていること

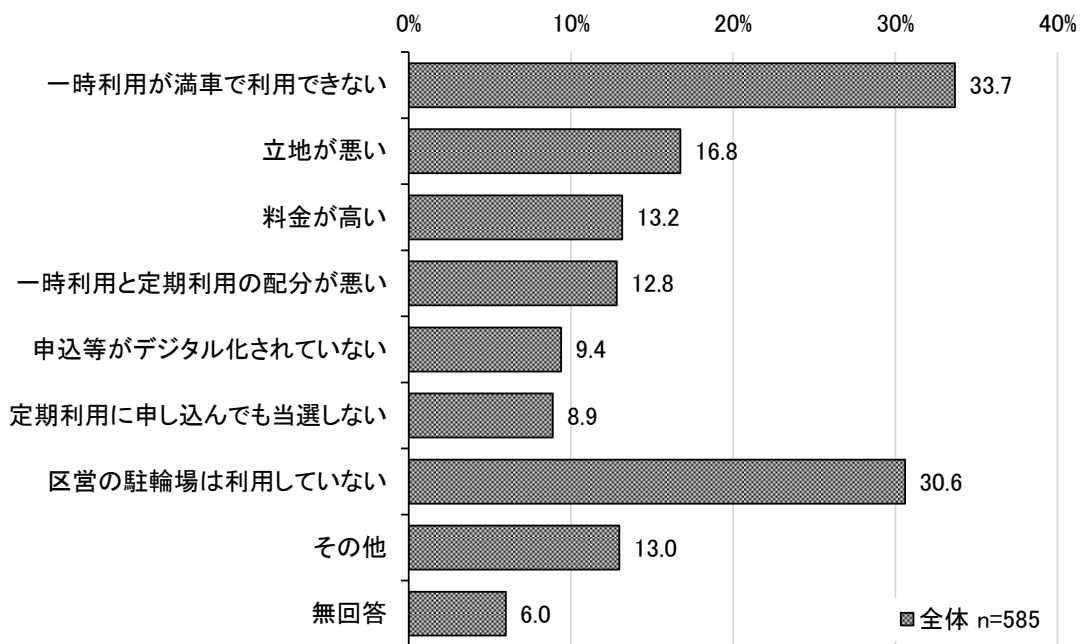
◇「一時利用が満車で利用できない」が3割前半で最も高くなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

**問 19-4 あなたが区営の駐輪場を利用する際に不便に感じていることは何ですか。  
(いくつでも)**

区営駐輪場で不便に感じていることについては、「一時利用が満車で利用できない」が33.7%で最も高く、次いで「立地が悪い」が16.8%、「料金が低い」が13.2%となっている。

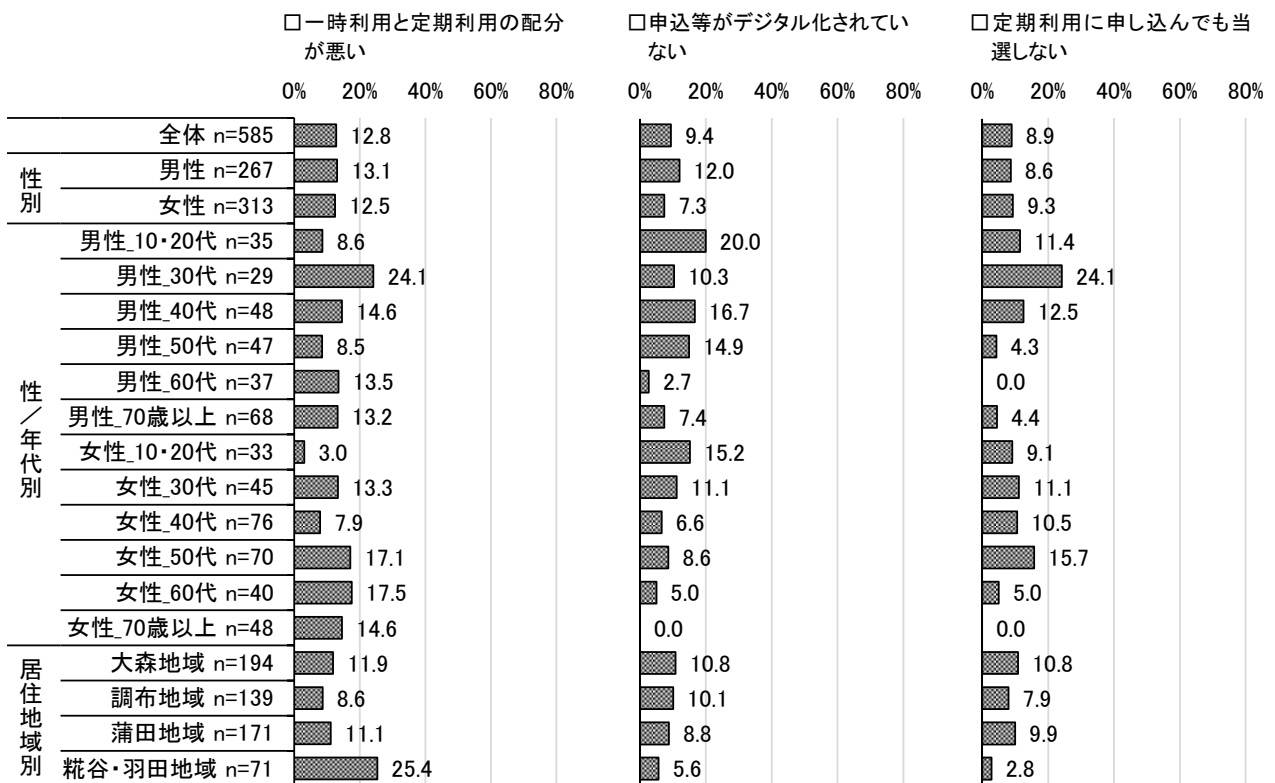
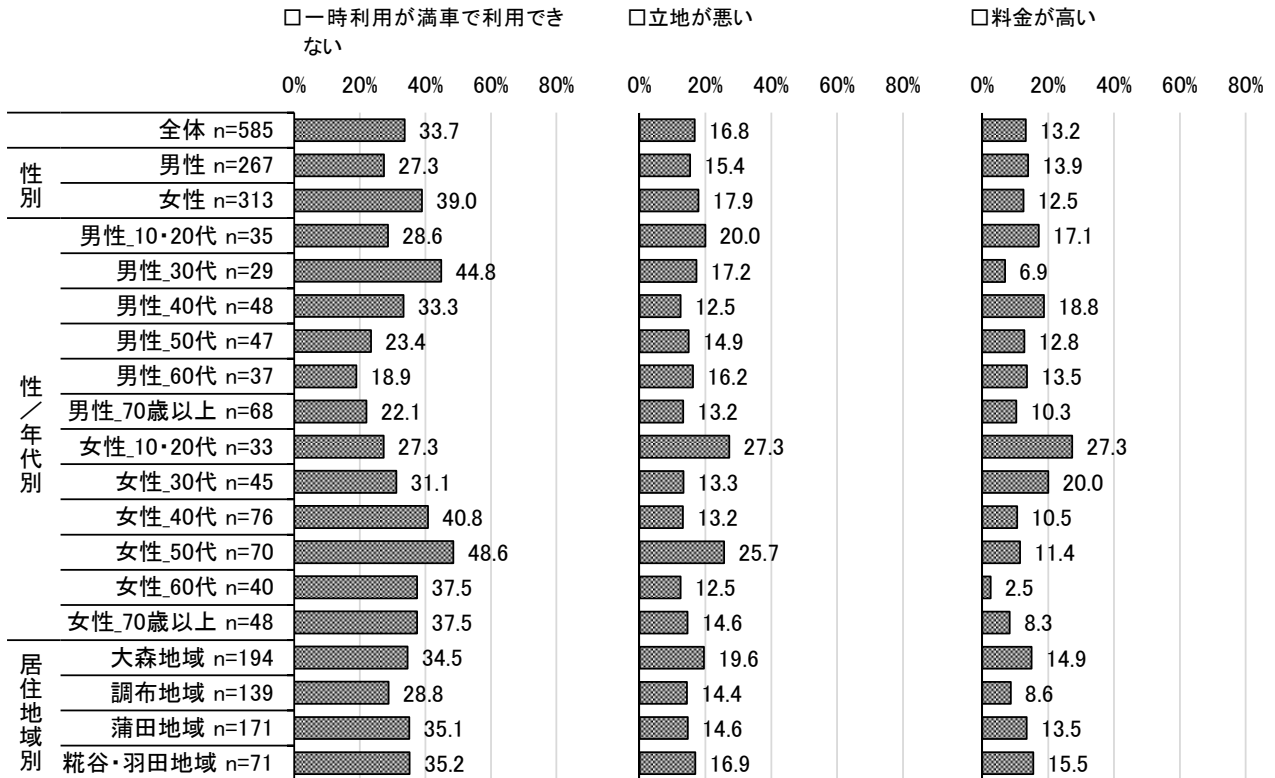
なお、「区営の駐輪場は利用していない」は30.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、男性が27.3%、女性が39.0%と、女性が11.7ポイント上回っている。

居住地域別でみると、すべての地域で「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、大森地域、蒲田地域、糞谷・羽田地域で3割半ばとなっている。



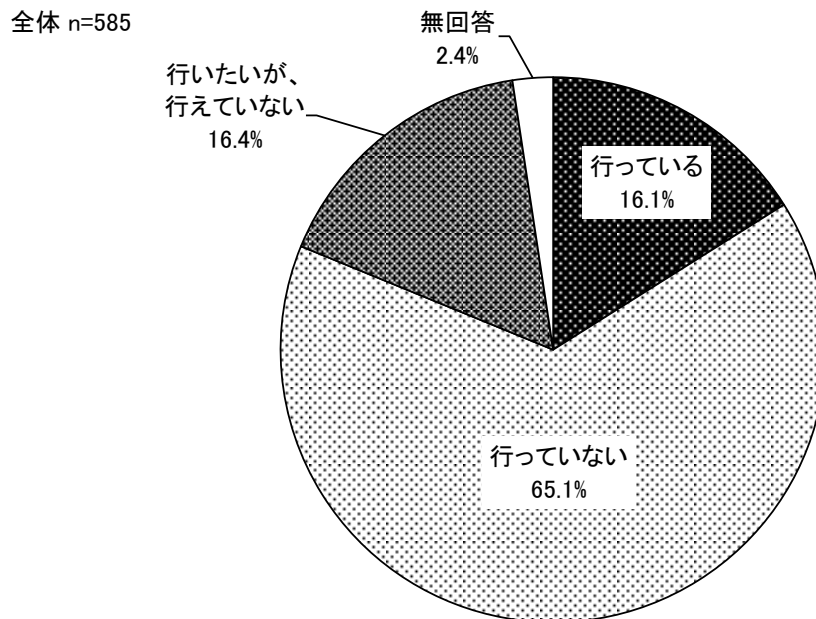
## (8) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

◇「行っている」は1割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

**問 19-5 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。  
(1つのみ)**

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が65.1%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が16.4%、「行っている」が16.1%となっている。

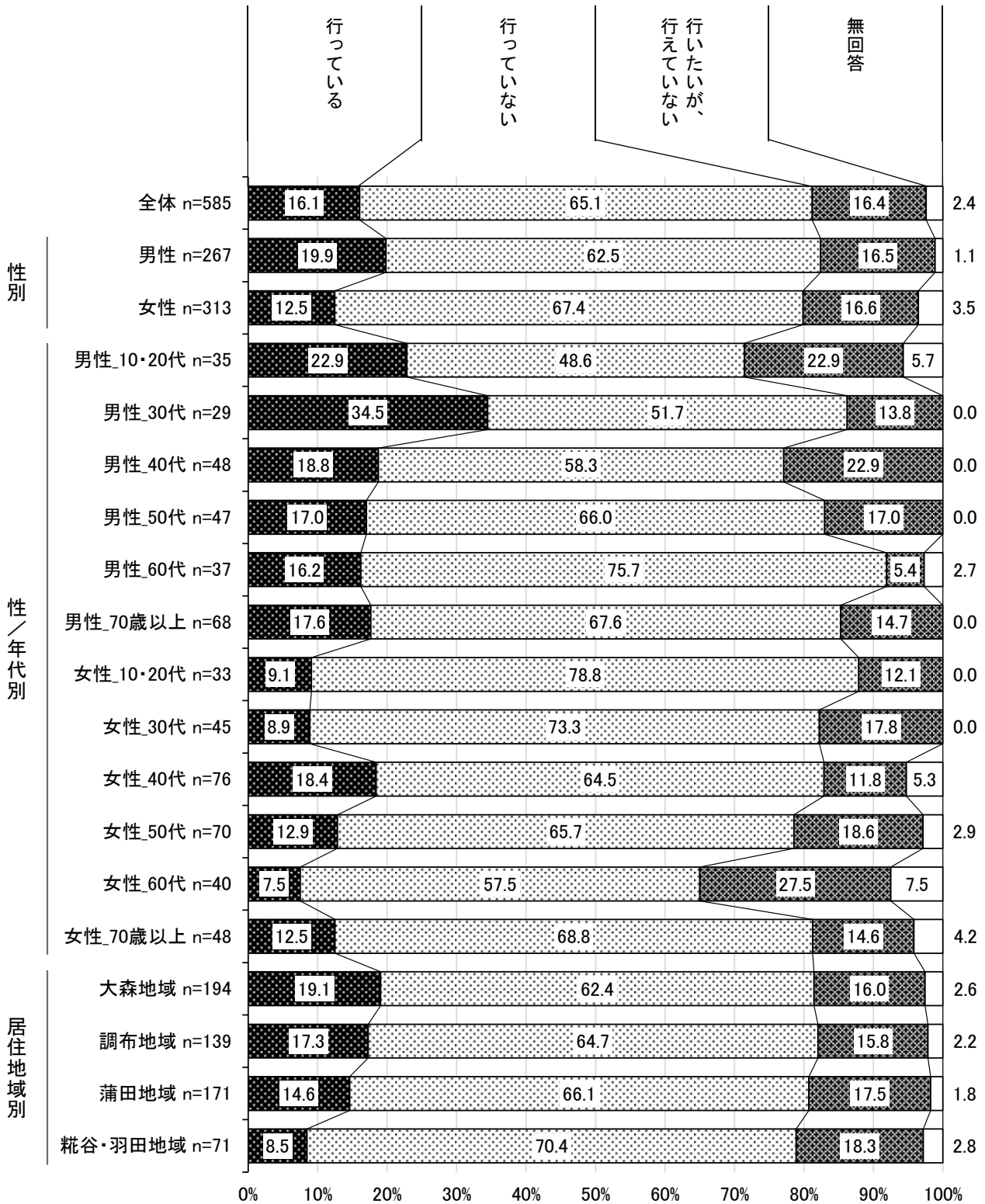


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行っている」は男性が19.9%、女性が12.5%と、男性が7.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行っている」は男性では30代で3割半ば、女性では40代で2割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「行っている」は大森地域で約2割と高くなっている。



## (9) 守れていないと思う交通ルール

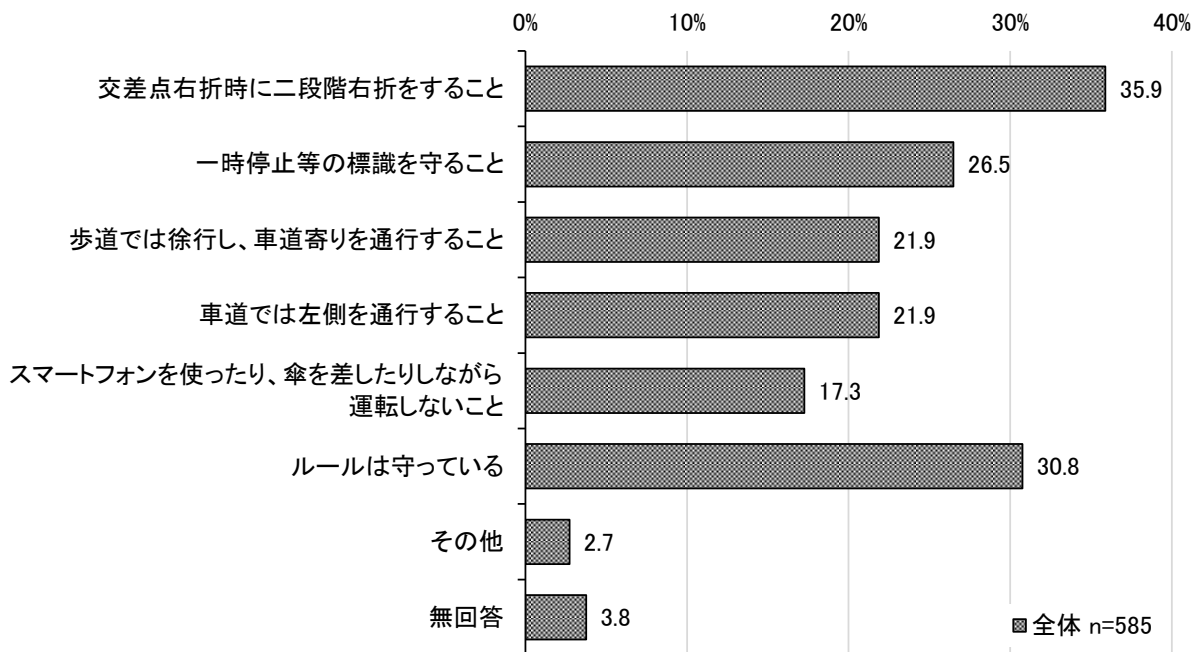
- ◇「交差点右折時に二段階右折をすること」が3割半ばで最も高くなっている
- ◇「ルールは守っている」は約3割となっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

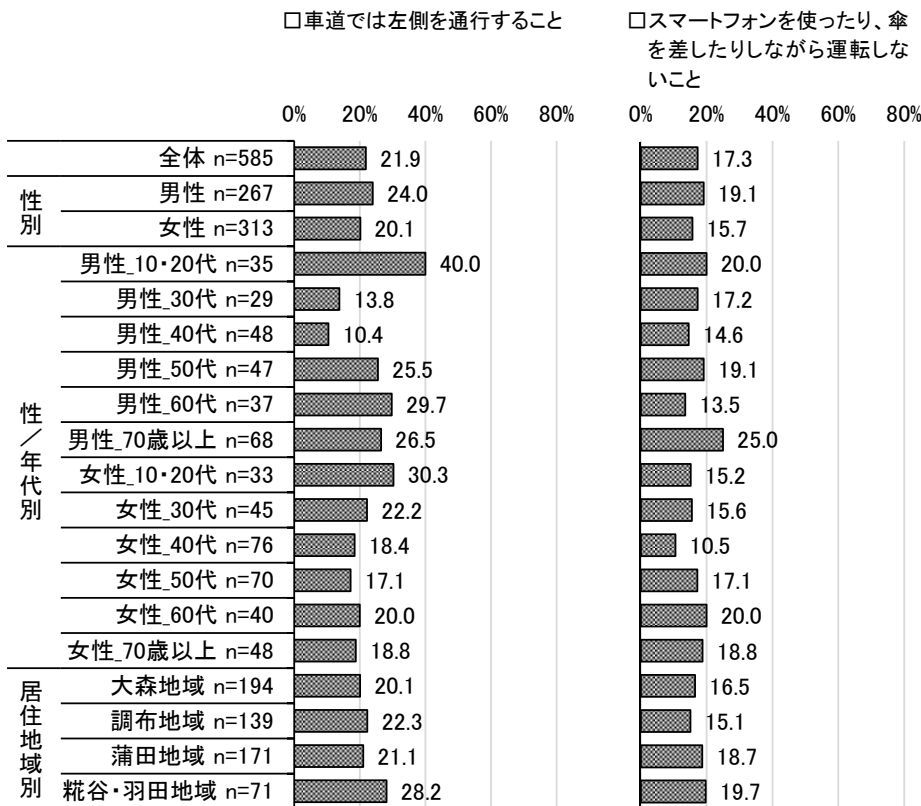
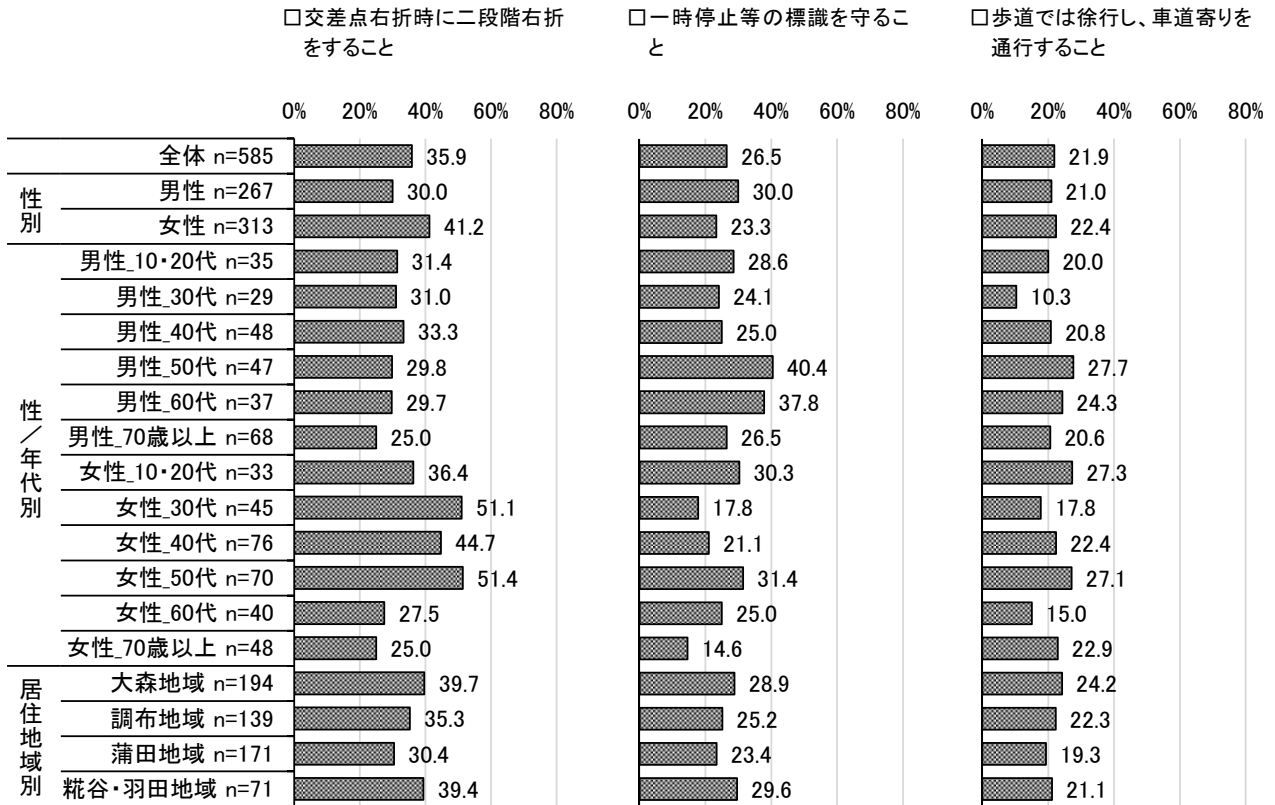
### 問 19-6 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(いくつでも)

守れていないと思う交通ルールについては、「交差点右折時に二段階右折をすること」が35.9%で最も高く、次いで「一時停止等の標識を守ること」が26.5%、「歩道では徐行し、車道寄りを通行すること」、「車道では左側を通行すること」がともに21.9%となっている。

なお、「ルールは守っている」は30.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、男性では「交差点右折時に二段階右折をすること」、「一時停止等の標識を守ること」が、女性では「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高くなっている。「交差点右折時に二段階右折をすること」は男性が30.0%、女性が41.2%と、女性が11.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「交差点右折時に二段階右折をすること」は女性30代、女性50代で5割前半と高くなっている。「車道では左側を通行すること」は男性10・20代で4割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高く、大森地域、糎谷・羽田地域で約4割となっている。「車道では左側を通行すること」は糎谷・羽田地域で3割弱と高くなっている。

### (10) 「自転車等放置禁止区域」の認知度

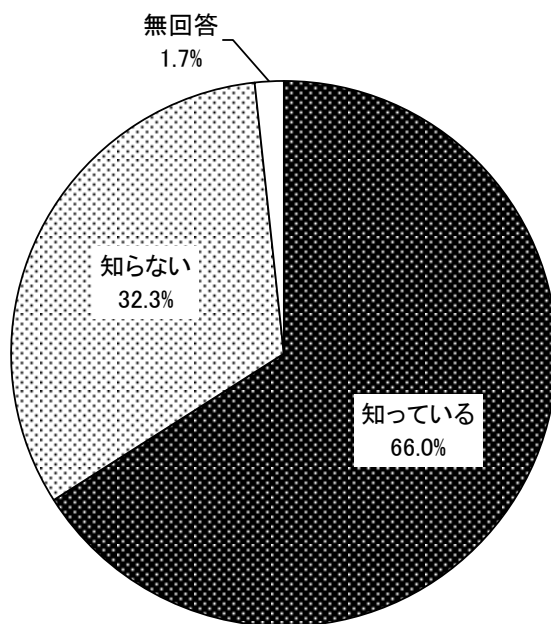
◇「知っている」は6割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-7 あなたは、自転車等放置禁止区域を知っていますか。(1つのみ)

“自転車等放置禁止区域”の認知度については、「知っている」が66.0%、「知らない」が32.3%と、「知っている」が33.7ポイント上回っている。

全体 n=585



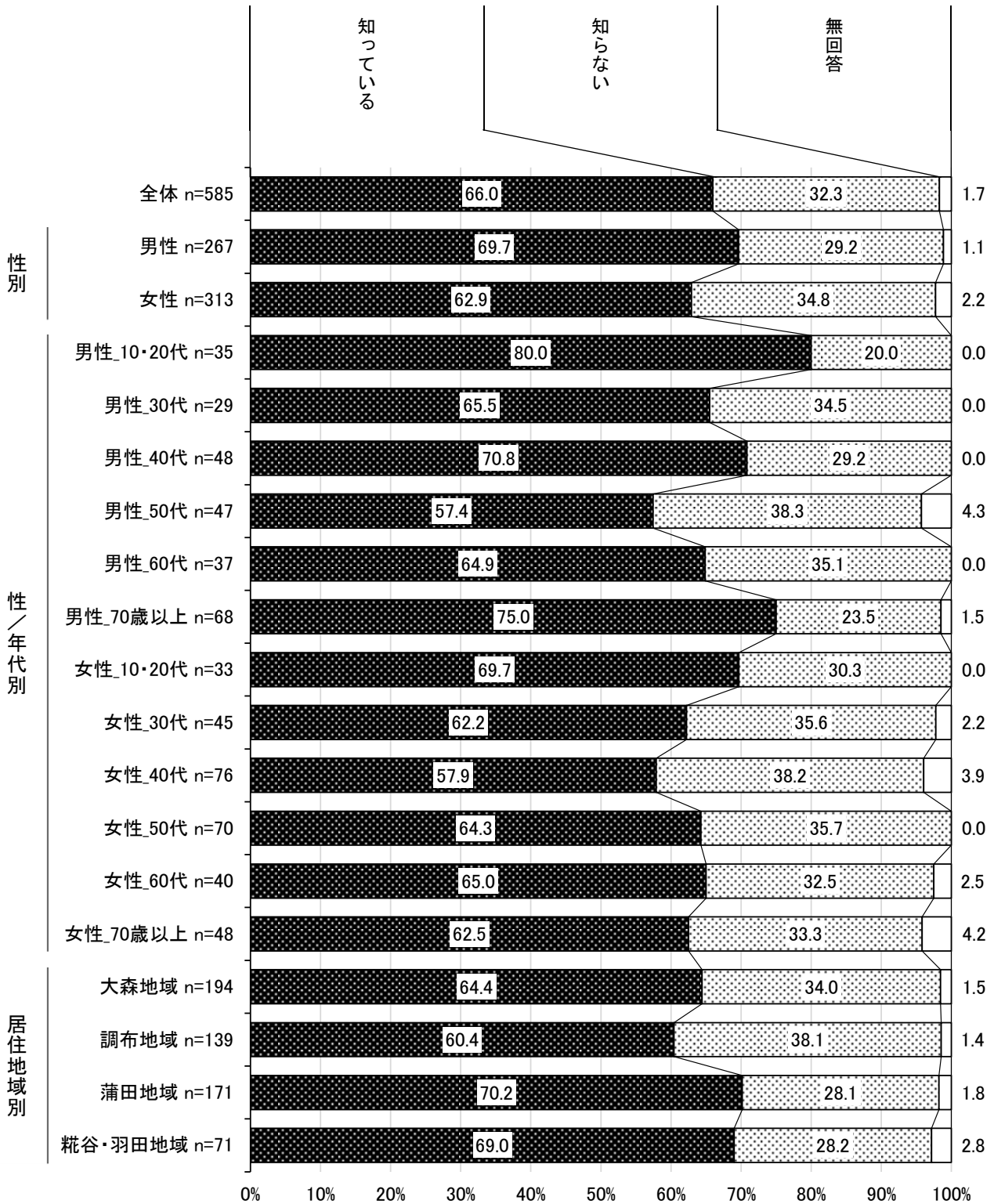


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が69.7%、女性が62.9%と、男性が6.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では10・20代で8割、女性では10・20代で約7割と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は蒲田地域、糞谷・羽田地域で約7割と高くなっている。



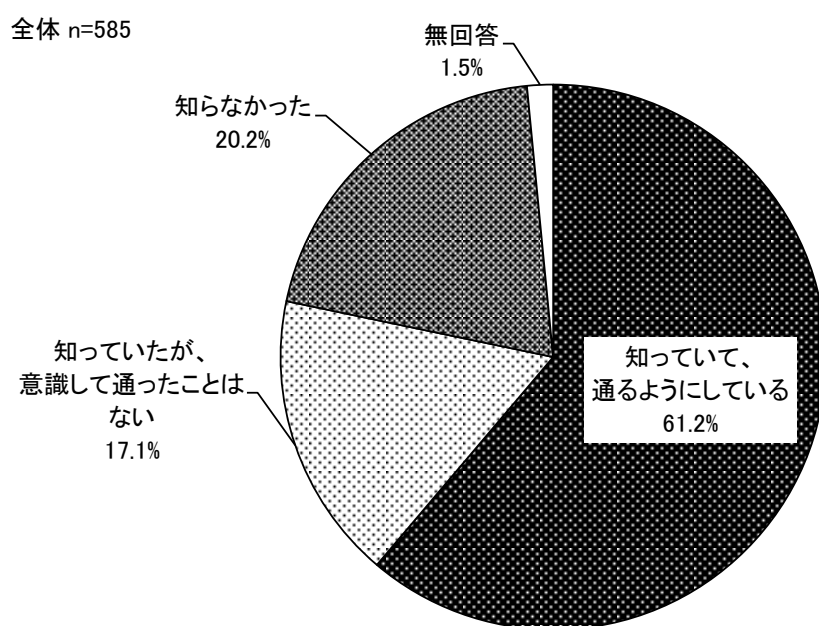
### (11) 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度

◇「知っていて、通るようにしている」は6割前半となっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

**問 19-8 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン（矢羽根型路面表示）」を知っていますか。（1つのみ）**

“自転車ナビマーク・ナビライン”の認知度については、「知っていて、通るようにしている」が61.2%で最も高く、次いで「知らなかった」が20.2%、「知っていたが、意識して通ったことはない」が17.1%となっている。

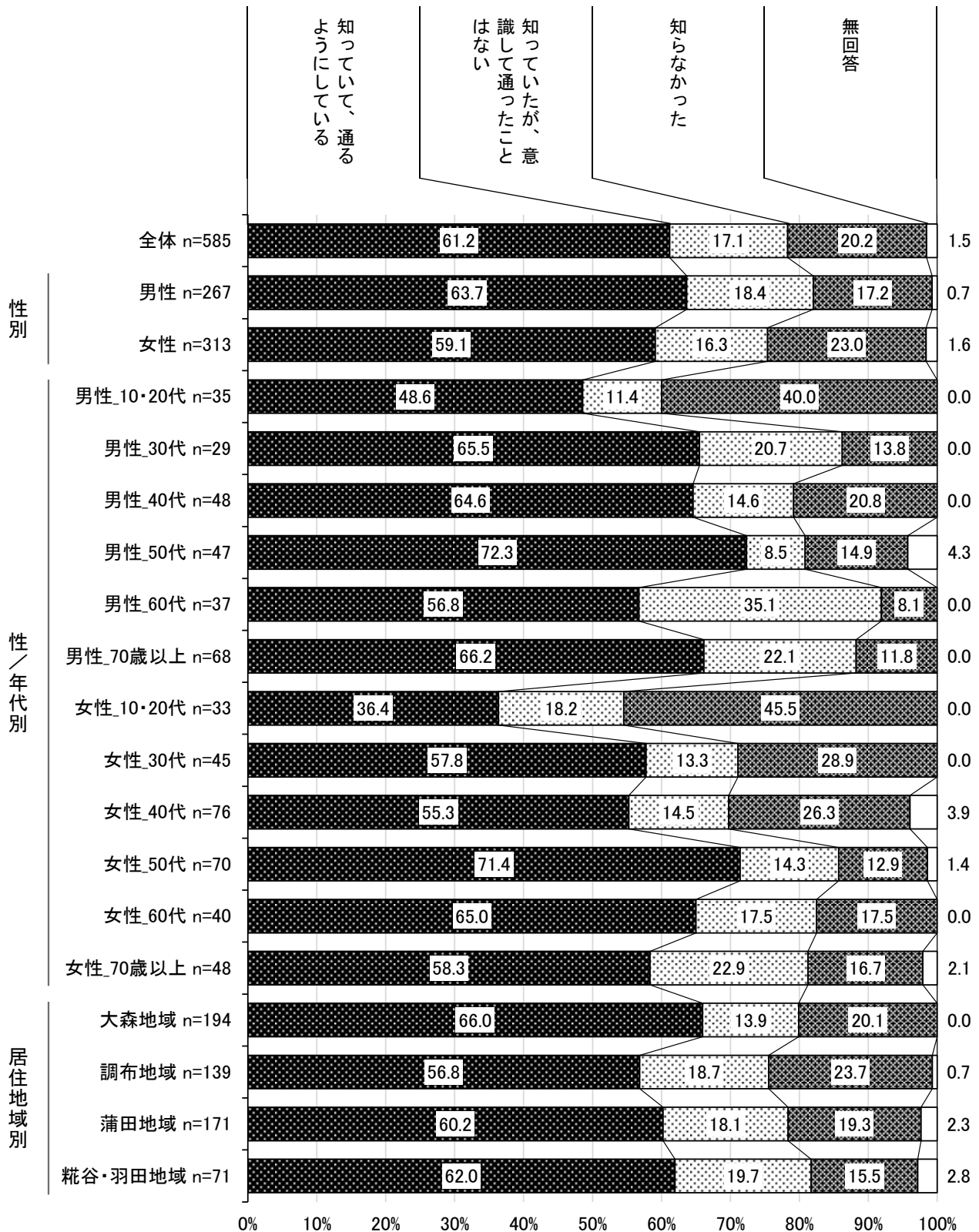


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っていて、通るようにしている」は男性が63.7%、女性が59.1%と、男性が4.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っていて、通るようにしている」は男性では50代で7割前半、女性では50代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っていて、通るようにしている」は大森地域で6割半ばと高くなっている。



## (12) 損害賠償保険への加入状況

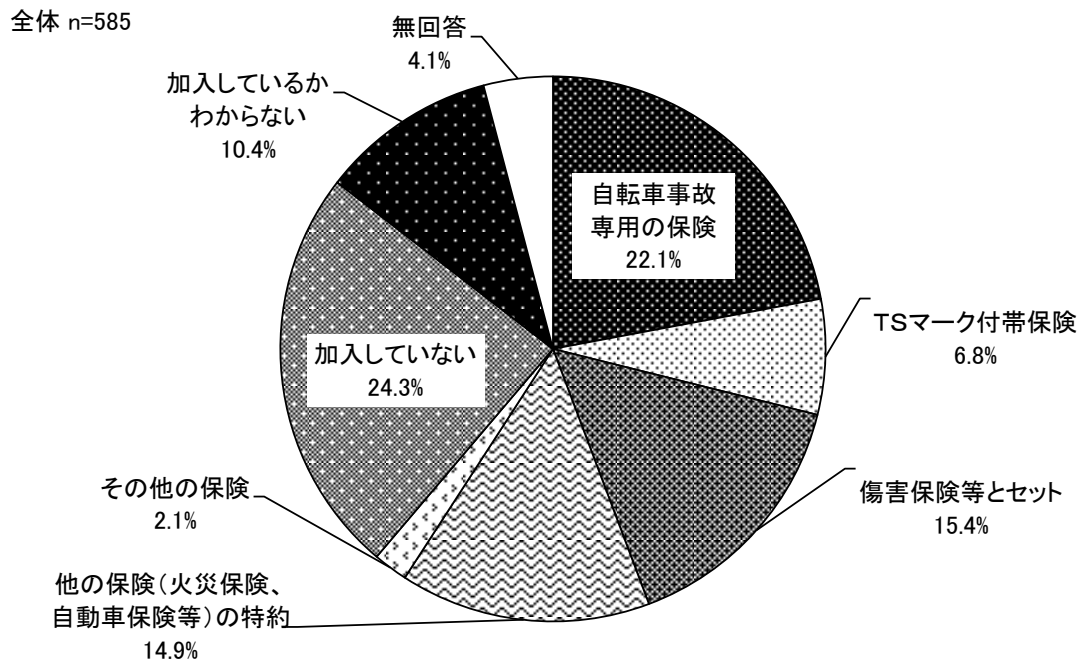
◇ 《加入している》（「自転車事故専用の保険」、「TSマーク付帯保険」、「傷害保険等とセット」、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」、「その他の保険」の合計値）は約6割となっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

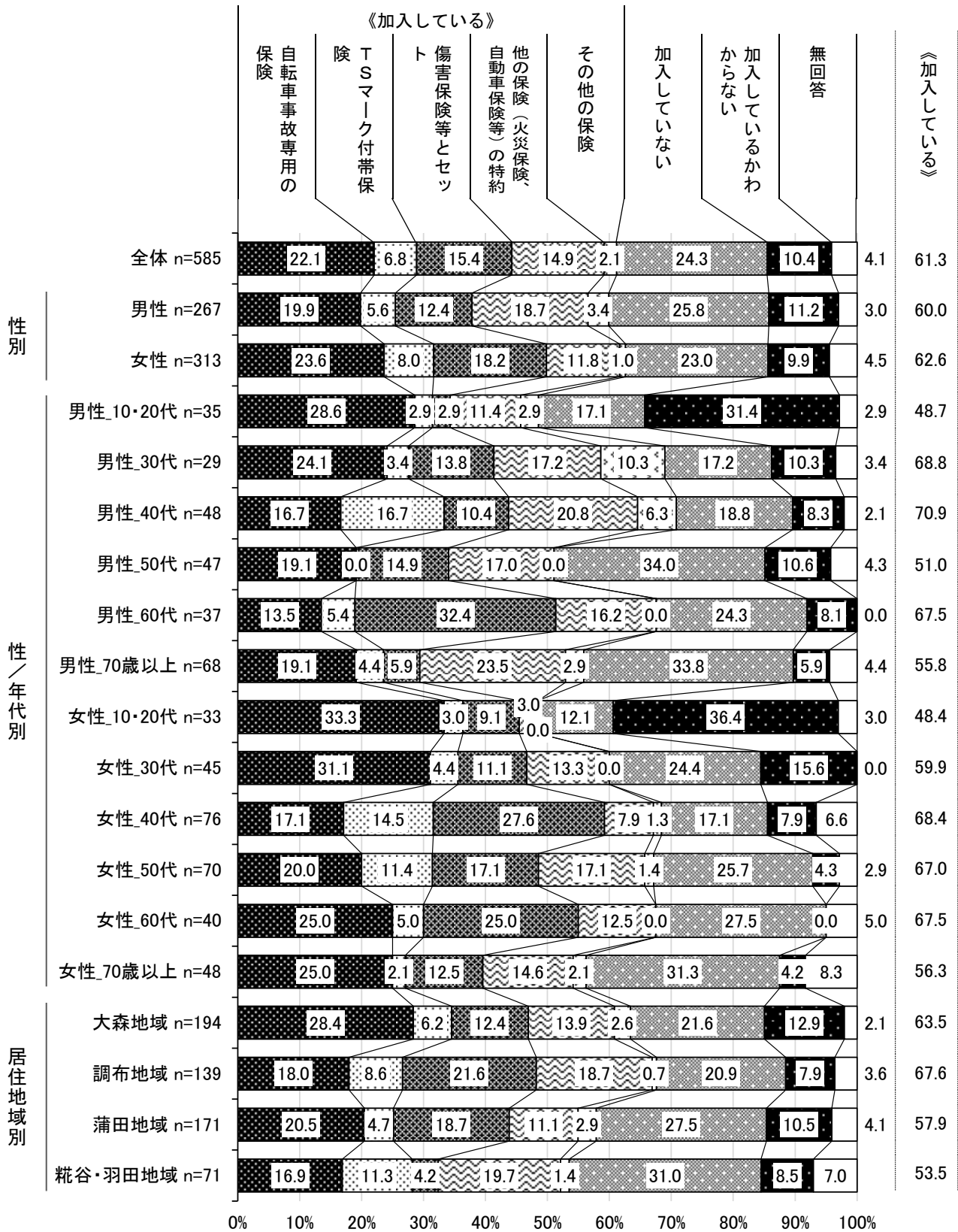
### 問 19-9 あなたは、自転車事故に係る損害賠償保険に加入していますか。（1つのみ）

損害賠償保険への加入状況については、「自転車事故専用の保険」、「TSマーク付帯保険」、「傷害保険等とセット」、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」、「その他の保険」の合計値《加入している》は61.3%である一方で、「加入していない」は24.3%と、《加入している》が37.0ポイント上回っている。

なお、《加入している》の内、「自転車事故専用の保険」が22.1%で最も高く、次いで「傷害保険等とセット」が15.4%、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」が14.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、《加入している》は男性が 60.0%、女性が 62.6%と、女性が 2.6 ポイント上回っている。その内、「自転車事故専用の保険」は男性が 19.9%、女性が 23.6%と、女性が 3.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《加入している》は男性では 30 代、40 代で約 7 割、女性では 40 代から 60 代で 7 割弱となっている。その内、「自転車事故専用の保険」は女性 10・20 代、女性 30 代で 3 割前半と高くなっている。一方で、「加入していない」は男性 50 代、男性 70 歳以上、女性 70 歳以上で 3 割台となっている。また、「加入しているかわからない」は男性、女性ともに 10・20 代が 3 割台となっている。

居住地域別でみると、《加入している》は調布地域で 7 割弱と高くなっている。その内、「自転車事故専用の保険」は大森地域で 3 割弱と高くなっている。一方で、「加入していない」は糀谷・羽田地域で約 3 割と高くなっている。

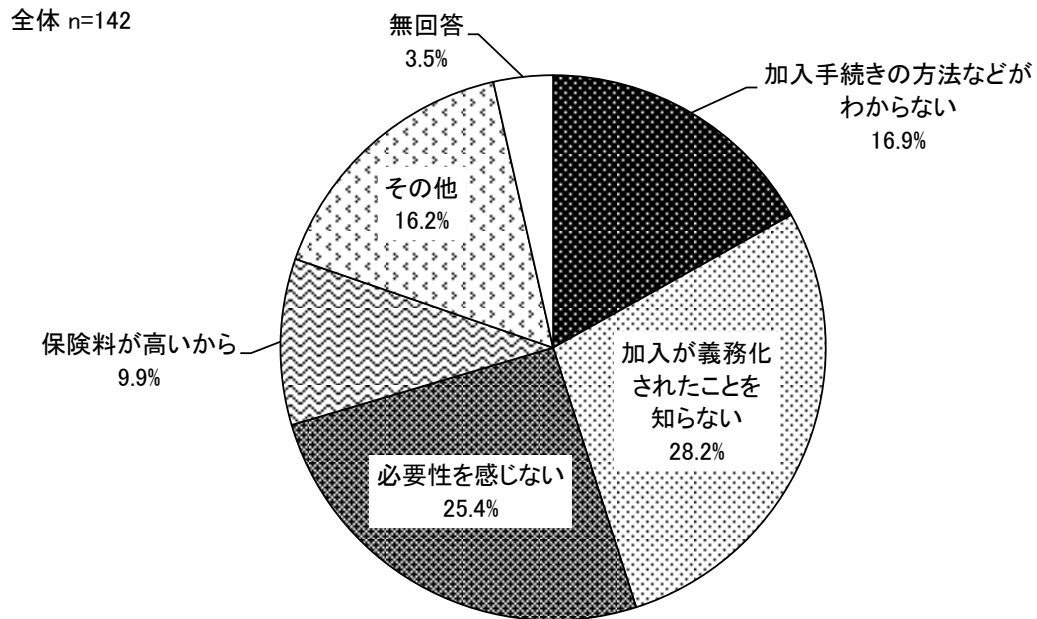
### (13) 損害賠償保険に加入していない理由

◇「加入が義務化されたことを知らない」が3割弱となっている

【問 19-9で「加入していない」と回答した方に伺います。】

#### 問 19-10 あなたが保険に加入していない理由は何ですか。(1つのみ)

損害賠償保険に加入していない理由については、「加入が義務化されたことを知らない」が28.2%で最も高く、次いで「必要性を感じない」が25.4%、「加入手続きの方法などがわからない」が16.9%となっている。







# **V 資料編**

**～ 使用した調査票 ～**



## 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

(18歳以上の区民の方\_暮らし・保健・環境の分野など)

～ ご協力をお願い ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年11月

大田区 企画経営部 企画課

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。  
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

■申請者 ID

■パスワード

2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えに「 (シ点)」をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を( )内に記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

**令和3年11月30日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。**

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

### 大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答に「 (レ点)」をつけてください。

## 1. 各種認知度について

問1 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、あなたは  
この言葉を知っていますか。(1つのみ)

- 内容まで知っている
- 内容は知らないが言葉は聞いたことがある
- 知らない

問2 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施し  
ています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を  
知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない

問3 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぼぼ相談」で女性の様々な  
悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない

問4 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック  
・バイオレンス=DV)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない

問5 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障がい・精神障がいなどによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、  
法律的に支援する制度。

- 内容まで知っている
- 内容は知らないが言葉は聞いたことがある
- 知らない

**問6 大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)**

- 相談したことがある
- 各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている
- 業務内容は分からないが、名前は知っている
- 知らない

**問7 大田区に住む外国人向けに、外国語で生活相談ができる窓口(多言語相談窓口)があることを知っていますか。(1つのみ)**

- 知っていて、利用又は外国人に紹介したことがある
- 知っているが、利用又は外国人に紹介したことはない
- 知らない

**問8 「ヘルプカード(たすけてねカード)」を知っていますか。(1つのみ)**

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード(大田区が作成)。

- 知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

**問9 「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」を知っていますか。(1つのみ)**

※障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に施行、令和3年5月に改正された法律。

- 法律の内容まで知っている
- 法律があることは知っている
- 知らない

**問10 大田区では、子どもたちを誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、社会的に包み込むような支援「社会的包摂」(ソーシャル・インクルージョン)に取り組んでいます。**

「社会的包摂」という言葉を知っていますか。(1つのみ)

- 意味まで知っている
- 意味は知らなかったが聞いたことはある
- 知らない



【問 11 の①で「1」～「14」のいずれかに回答した方に伺います。】

問 11-1 あなたは生涯学習をどこで行いましたか。(いくつでも)

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 区立図書館        | <input type="checkbox"/> 区立小・中学校                |
| <input type="checkbox"/> 区内の博物館・記念館   | <input type="checkbox"/> 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅 |
| <input type="checkbox"/> 文化センター       | <input type="checkbox"/> 区内の高校・大学・専門学校          |
| <input type="checkbox"/> 区民センター・集会所   | <input type="checkbox"/> 民間施設（カルチャースクール等）       |
| <input type="checkbox"/> 区民活動（支援）施設   | <input type="checkbox"/> 自宅                     |
| <input type="checkbox"/> 青少年交流センター    | <input type="checkbox"/> 区外施設（具体的： )            |
| <input type="checkbox"/> 区内のスポーツ施設・公園 | <input type="checkbox"/> その他（ )                 |

【問 11 の①で「1」～「14」のいずれかに回答した方に伺います。】

問 11-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 人生がより豊かになっている   | <input type="checkbox"/> 地域や社会での活動に活かしている |
| <input type="checkbox"/> 家庭・日常の生活に活かしている | <input type="checkbox"/> 知人や仲間ができています     |
| <input type="checkbox"/> 心身の健康を維持・増進している | <input type="checkbox"/> その他（ )           |
| <input type="checkbox"/> 仕事や学業に活かしている    | <input type="checkbox"/> 活かしていない          |

【問 11 の①で「1」～「14」のいずれかに回答した方に伺います。】

問 11-3 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

| 項目                        | あてはまる                    | あてはまる<br>どちらかといえば        | あてはまらない<br>どちらかといえば      | あてはまらない                  | どちらともいえない                |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 学んだことを活かす機会が充実している     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 学びに関する情報が分りやすく提供されている  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 学びや活動を充実させる施設が整っている    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

### 3. スポーツ・運動について

問 12 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべてお選びください。(いくつでも)

- ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）
  - ランニング、ジョギング
  - サイクリング、モータースポーツ
  - 体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む）
  - ダンス、民謡踊り
  - 室内運動器具（ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動）
  - 水泳（水中歩行も含む）
  - 軽い球技（キャッチボール、親子での卓球等）
  - 競技的球技（野球、サッカー、卓球、テニス等）
  - ボッチャ
  - ボウリング
  - ゲートボール、グランドゴルフ
  - スポーツ吹矢などニュースポーツ
  - ゴルフ
  - ハイキング、登山
  - スキー、スノーボード
  - スケートボード、ローラースケート
  - 釣り
  - キャンプ、オートキャンプ
  - ヨット、ボート、(スキン)ダイビング、サーフィン等
  - 柔道、剣道、空手、弓道等武道
  - ボクシング等格闘技
  - その他競技スポーツ
  - その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動
- スポーツや身体活動は実施しなかった ⇒ 問 13 へ ➤ 問 12-1 へ

【問 12 で「スポーツや身体活動は実施しなかった」“以外”を回答した方に伺います。】

問 12-1 この1年間にスポーツ・運動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。  
(週での換算日数) (1つのみ)

- 週に3日以上（年 151 日以上）
- 週に2日（年 101～150 日）
- 週に1日（年 51～100 日）
- 月に1～3回（年 12～50 日）
- 3か月に1～2回（年 4～11 日）
- 年に1～3回
- わからない



**問 13 東京 2020 大会を契機に大田区の事業を知り、経験したことで、自身の行動や意識に変化はありましたか。(いくつでも)**

- 区にゆかりのある選手への関心が高まった
- スポーツに取り組むことになった
- スポーツ観戦に興味があった
- スポーツ以外で何かに挑戦したいという思いを強くした
- パラアスリートの活躍を通じて共生社会への理解が深まった
- ブラジル事前キャンプをきっかけに国際理解を深めることができた
- ボランティア活動への関心が高まり、今後も活動してみたいと思えるようになった
- 勝海舟・川端龍子・川瀬巴水といった区ゆかりの文化人や絵画・版画のを知る機会となった
- その他（）
- 特に変化はない

## 4. 文化・芸術について

**問 14 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものは、どのようなものですか。(いくつでも)**

- 歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）
- 田園調布をはじめとしたまちなみや景観
- 地域に伝わる伝統文化や技法（六郷とんび凧、大森麦わら細工、海苔の養殖等）
- 寺社仏閣で行われる伝統行事（池上本門寺をはじめとするお会式、神社の祭礼等）
- 地域が主催するまつりや行事・イベント
- 芸術文化作品（川端龍子の日本画、熊谷恒子のかな書等）
- 区で行われているイベント（春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」、OTA ふれあいフェスタ等）
- 大田区民プラザや大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森等で実施しているイベント（下丸子 JAZZ 倶楽部、下丸子らくご倶楽部、アプリコみんなの音楽祭、大田区在住作家美術展等）
- 文化センターや区民センター、大田文化の森等で実施している区民の文化活動（絵画、写真、書道、華道、合唱等）
- 新たな文化・芸術創作活動（ポップカルチャー、現代美術、ストリートダンス等）
- その他（）
- 思い浮かぶものはない

## 5. 観光について

問 15 友人や知人にお勧めしたい大田区の観光資源はどれですか。(いくつでも)

- 勝海舟記念館 (旧清明文庫)
- 郷土博物館
- 龍子記念館
- 熊谷恒子記念館
- 馬込文士村資料展示室
- 大森 海苔のふるさと館
- 多摩川台公園古墳展示室
- 羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナー
- 大田区観光情報センター
- 池上梅園
- タイヤ公園 (西六郷公園)
- 大森ふるさとの浜辺公園
- 洗足池
- 羽田イノベーションシティ
- その他 ( )
- 勧めたいものはない

## 6. 普段の生活について

問 16 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

| 項目                  | あてはまる                    | あてはまる<br>どちらかといえ<br>ば    | あてはまる<br>ない<br>どちらかといえ<br>ば | あてはまる<br>ない              | どちらともい<br>えない            |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 心身共に健やかな生活を送っている | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 自分らしく生きている       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 充実した生活を送っている     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 住んでいる地域に愛着を感じる   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 孤立感や孤独感がない       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 7. 地域活動について

問 17 あなたは地域の行事やボランティア活動に参加していますか。(1つのみ)

- |   |         |
|---|---------|
| <input type="checkbox"/> 参加している ⇒ 問 17-1へ | } 問 18へ |
| <input type="checkbox"/> 今後、参加したい         |         |
| <input type="checkbox"/> 参加したくない          |         |
| <input type="checkbox"/> 参加できない           |         |

### 地域の行事やボランティア活動の例

- ・清掃やリサイクル活動
- ・お祭りや地域行事
- ・文化やスポーツ等の講座・教室や催し物
- ・地域の防災訓練
- ・PTA活動、子育て支援、子どもの健全育成、通学路等での子どもの見守り
- ・交通安全、地域安全・安心パトロール等の活動
- ・高齢者や障がいのある方に対する支援
- ・国際交流
- ・募金・献血・ボランティア活動
- ・自治会・町会活動、PTA活動 など

【問 17で「参加している」と回答した方に伺います。】

問 17-1 参加している地域活動で、新型コロナウイルス感染症の影響はどのようなものがあると感じますか。(いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 感染対策を行ったうえで参加している               |   |
| <input type="checkbox"/> Web会議や動画配信など新たな日常に対応した活動を実施している |   |
| <input type="checkbox"/> 感染対策が徹底されており、普段通りの活動ができている      |   |
| <input type="checkbox"/> 活動再開の見通しが立たない                   |   |
| <input type="checkbox"/> 感染対策により活動が制限されている               |   |
| <input type="checkbox"/> 会議はできているがイベントができない              |   |
| <input type="checkbox"/> 他のメンバーとの交流ができなくなった              |   |
| <input type="checkbox"/> 他団体と連携した活動ができない                 |   |
| <input type="checkbox"/> 参加者（利用者）が減少している                 |   |
| <input type="checkbox"/> 施設の休館などにより活動場所の確保が困難            |   |
| <input type="checkbox"/> 感染対策経費の負担が大きい                   |   |
| <input type="checkbox"/> 活動資金の調達が難しい                     |   |
| <input type="checkbox"/> その他（                            | ） |
| <input type="checkbox"/> 特に影響はない                         |   |

**問 18 あなたが近所の方から次のことを頼まれた場合、手助けできると思うことを教えてください。  
(いくつでも)**

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 日々の見守りのための声かけ    | <input type="checkbox"/> ごみ出し            |
| <input type="checkbox"/> 話し相手             | <input type="checkbox"/> 電球交換などのちょっとした作業 |
| <input type="checkbox"/> 短時間での子どもの預かり     | <input type="checkbox"/> 郵便・宅配物の一時預かり    |
| <input type="checkbox"/> 外出（買い物や通院など）の手伝い | <input type="checkbox"/> 手助けできることはない     |
| <input type="checkbox"/> 庭の手入れや掃除の手伝い     |  |

## 8. 健康づくりについて

**問 19 大田区の健康づくりポイント事業「はねびよん健康ポイント」を知っていますか。  
(1つのみ)**

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 知っており、アプリで参加している |
| <input type="checkbox"/> 知っており、台紙で参加している  |
| <input type="checkbox"/> 知っているが、参加していない   |
| <input type="checkbox"/> 知らない             |

## 9. 喫煙について

**問 20 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)**

- |  |           |
|--|-----------|
| <input type="checkbox"/> 毎日吸っている               | } 問 20-1へ |
| <input type="checkbox"/> ときどき吸う日がある            |           |
| <input type="checkbox"/> 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない | } 問 21へ   |
| <input type="checkbox"/> 吸わない                  |           |

**【問 20 で「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」と回答した方に伺います。】**

**問 20-1 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(いくつでも)**

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 指定の喫煙所以外では吸わない        |
| <input type="checkbox"/> 禁煙場所では吸わない            |
| <input type="checkbox"/> 子どもや妊産婦、病人がいる場所では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 混雑している場所では吸わない        |
| <input type="checkbox"/> 公共の場所では吸わない           |
| <input type="checkbox"/> 周囲に食事の人がいる場合は吸わない     |
| <input type="checkbox"/> 屋内では吸わない              |
| <input type="checkbox"/> 周囲の了解を得てから吸う          |
| <input type="checkbox"/> 気をつけていることはない          |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )               |

**問 21 1年以内に、受動喫煙を経験された場所があれば教えてください。(いくつでも)**

- 路上及び事業所の敷地内屋外
- 飲食店内
- 自身が勤務する事業所内
- 学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎の敷地内
- その他 ( )
- ない

**問 22 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(いくつでも)**

- 飲食店に対する喫煙状況の店頭表示義務の徹底
- 施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及
- 区報やホームページによる受動喫煙の健康影響についての情報提供
- 効果的な受動喫煙防止対策についての情報提供
- 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく施設管理者の義務についてのPR
- 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく指導、勧告、命令(罰則の適用を含む)
- 屋内の喫煙室の設置等に関する相談
- 施設利用者に対する屋内の喫煙ルールのPR
- 公衆喫煙所の設置
- 屋外の喫煙マナーのPR
- 禁煙を希望する喫煙者の禁煙支援
- 道路等の屋外における喫煙ルールづくり
- その他 ( )
- 特になし

**10. 医療について****問 23 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(いくつでも)**

- |                                      |                                     |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> かかりつけ医はいる   | <input type="checkbox"/> かかりつけ薬局はある |
| <input type="checkbox"/> かかりつけ歯科医はいる | <input type="checkbox"/> いずれもない     |

**問 24 在宅医療の制度や仕組みについて知っていますか。(1つのみ)**

※医師や看護師、薬剤師、理学療法士、ケアマネジャー、ホームヘルパーなど、医療や介護の専門職が連携して定期的にご自宅などを訪問し、チームとなって治療やケアを行うことで、住み慣れた自宅や施設での療養生活を支える仕組み

- |                                      |                               |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 知っている       | <input type="checkbox"/> 知らない |
| <input type="checkbox"/> 言葉は聞いたことがある |                               |

## 11. 災害時について

問 25 区内で震度 6 弱以上の大地震が発生し、ライフラインが停止した場合、診療所等は休診し、緊急医療救護所（16 か所）及び軽症者救護所（3 か所）を開設することになっています。あなたは緊急医療救護所及び軽症者救護所の開設場所を知っていますか。（1 つのみ）

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 開設場所を知っている          | <input type="checkbox"/> 緊急医療救護所等が開設されることを知らない |
| <input type="checkbox"/> 名称は知っているが、開設場所は知らない |  |

## 12. 食品ロス・フードドライブについて

問 26 あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか。（1 つのみ）

※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 言葉の意味まで良く理解している        |
| <input type="checkbox"/> 聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった |
| <input type="checkbox"/> 知らなかった                 |

問 27 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。（いくつでも）

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする         |
| <input type="checkbox"/> 賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する               |
| <input type="checkbox"/> 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する                    |
| <input type="checkbox"/> 出された料理を残さず食べきる                            |
| <input type="checkbox"/> 食べきれなかったものを他の料理に作り替える                     |
| <input type="checkbox"/> 料理を作り過ぎない                                 |
| <input type="checkbox"/> 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材を無駄なく使う                  |
| <input type="checkbox"/> 飲食店等で注文し過ぎない                              |
| <input type="checkbox"/> その他（ <span style="float: right;">）</span> |
| <input type="checkbox"/> 特にない                                      |

問 28 食品ロス削減に取り組む飲食店や食料品小売店等の情報があれば、そのお店を利用したいと思いますか。（1 つのみ）

- |                                   |                                     |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 利用したいと思う | <input type="checkbox"/> 利用したいと思わない |
|-----------------------------------|-------------------------------------|

問 29 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。

あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。(1つのみ)

- 提供したいと思う  提供したいと思わない

**フードドライブに提供できる食品**

主に米などの穀類、調味料、缶詰、インスタント食品など

**13. 環境問題について**

問 30 地球温暖化によって、自然界や人間生活に様々な影響が出るのが予測されています。

あなたはどのようなことが問題であると考えますか。(いくつでも)

- 熱帯・亜熱帯では食糧生産量が低下し、貧困地域の飢餓、難民の危険が増大する  
 降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる  
 海面が上昇し、高潮被害を受けやすい人口が増加する  
 マラリアなどの伝染病や花粉症などのアレルギーなど健康への影響が高まる  
 世界の森林での、植物の種類が大きく変わる  
 とても深刻な影響が出るとは思わない  
 わからない

**14. あなたご自身について**

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- 男性  女性  その他

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- |                                  |         |                                  |         |
|----------------------------------|---------|----------------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 18~19 歳 | } F 4 へ | <input type="checkbox"/> 65~69 歳 | } F 3 へ |
| <input type="checkbox"/> 20~29 歳 |         | <input type="checkbox"/> 70~74 歳 |         |
| <input type="checkbox"/> 30~39 歳 |         | <input type="checkbox"/> 75 歳以上  |         |
| <input type="checkbox"/> 40~49 歳 |         |                                  |         |
| <input type="checkbox"/> 50~59 歳 |         |                                  |         |
| <input type="checkbox"/> 60~64 歳 |         |                                  |         |

**【65歳以上の方に伺います。】**

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- 受けていない  受けている(要支援含む)

**F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)**

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 日本国籍 | <input type="checkbox"/> それ以外 (国籍名: _____ ) |
|-------------------------------|---|

**F 5 あなたのお住まいを教えてください。(1つのみ)**

※各地域の ( ) 内は、管轄する特別出張所です。

|   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿) |
| <input type="checkbox"/> 調布地域 (嶺町、田園調布、鵜の木、久が原、雪谷、千束) |
| <input type="checkbox"/> 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)         |
| <input type="checkbox"/> 糎谷・羽田地域 (糎谷、羽田)              |

**F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ひとり暮らし      | <input type="checkbox"/> 三世代世帯 (親と子と孫) |
| <input type="checkbox"/> 夫婦のみ        | <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) |
| <input type="checkbox"/> 二世代世帯 (親と子) |  |

**F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 持ち家 (一戸建て)  | <input type="checkbox"/> 賃貸住宅 (集合住宅)   |
| <input type="checkbox"/> 持ち家 (集合住宅)  | <input type="checkbox"/> 寮・社宅・宿舍       |
| <input type="checkbox"/> 賃貸住宅 (一戸建て) | <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) |

**F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)**

| 項目                     | 選択肢  |
|------------------------|--|
| <b>自営業</b>             | <input type="checkbox"/> 商工サービス業<br><input type="checkbox"/> 農林水産業<br><input type="checkbox"/> 自由業                                   |
| <b>勤め人/パート・アルバイト含む</b> | <input type="checkbox"/> 管理職<br><input type="checkbox"/> 専門技術職<br><input type="checkbox"/> 事務職<br><input type="checkbox"/> 労務職・サービス業 |
| <b>その他</b>             | <input type="checkbox"/> 学生<br><input type="checkbox"/> 主婦・主夫<br><input type="checkbox"/> その他 (高齢者含む)                                |

} F 8 - 1へ

} F 9へ



【F8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

**F8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)**

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大田区内(自宅)      | <input type="checkbox"/> それ以外の東京都内   |
| <input type="checkbox"/> 大田区内(自宅以外)    | <input type="checkbox"/> 神奈川県内       |
| <input type="checkbox"/> 品川・目黒・新宿・渋谷区内 | <input type="checkbox"/> それ以外(具体的: ) |
| <input type="checkbox"/> 千代田・中央・港区内    |                                      |

**F9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)**

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 小学校入学前の子ども | <input type="checkbox"/> 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| <input type="checkbox"/> 小学生        | <input type="checkbox"/> いない             |
| <input type="checkbox"/> 65歳以上の方    |  |

**F10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)**

|   |        |
|---|--------|
| <input type="checkbox"/> いる(同居・別居含む) ⇒ F10-1へ |        |
| <input type="checkbox"/> いない(離婚・死別)           | } F11へ |
| <input type="checkbox"/> いない(未婚)              |        |

【F10で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

**F10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)**

|                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> している | <input type="checkbox"/> していない |
|-------------------------------|--------------------------------|

**F11 子どもはいらっしゃいますか(別居も含む)。(1つのみ)**

|   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小学校入学前 | <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが学校卒業 |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小・中学生  | <input type="checkbox"/> 子どもはいない      |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが高校・大学生 |                                       |

**F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(1つのみ)**

|                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1年未満      | <input type="checkbox"/> 10年以上20年未満 |
| <input type="checkbox"/> 1年以上3年未満  | <input type="checkbox"/> 20年以上30年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3年以上5年未満  | <input type="checkbox"/> 30年以上      |
| <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 |                                     |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

## 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 (18歳以上の区民の方\_デジタル化・まちづくり・住まいの分野など) ～ ご協力のお願ひ ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年11月

大田区 企画経営部 企画課

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。  
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

■申請者ID

■パスワード

2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えに「 (し点)」をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を( )内に記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

**令和3年11月30日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。**

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

### 大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答に「 (レ点)」をつけてください。

## 1. デジタル化について

**問1 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものは何ですか。(1つのみ)**

- 窓口でのキャッシュレス決済
- 手続きのオンライン化
- 証明書の自動交付機の導入
- 小中学校におけるICT教育の充実
- 利活用可能な区保有データの提供
- 公共施設におけるインターネット利用環境の整備
- 希望するものは無い

**問2 行政手続きの中で最もオンライン化を希望するものは何ですか。(1つのみ)**

- 子育て関係手続き
- 住民票、戸籍等の証明書の申請・発行
- 引越し関係手続き
- 税金・国保料等の収納手続き
- 公共施設（会議室・運動場含む）利用料の支払い
- その他（)
- 希望するものは無い

**問3 国が今後進めていくとしている「地域社会のデジタル化」にあたり、最も支援・配慮を希望するものは何ですか。(1つのみ)**

- パソコン・スマートフォンの活用を支援する講座の開催
- パソコン・スマートフォン等の機器貸し出し
- 自宅のインターネット環境整備のための支援
- 希望するものは無い

## 2. 商店街について

問4 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する「①業態」と、「②その理由」を、選択肢の中からそれぞれ1つを選んで、四角の中に数字とアルファベットを記入してください。(それぞれ1つのみ)

| 項目      | ①<br>業態                  | ②<br>理由                  |
|---------|--------------------------|--------------------------|
| (記入例)   | 1                        | C                        |
| 1. 食料品  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 衣類   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 日用雑貨 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

**①業態：選択肢**

1. 商店街のお店
2. 近所のスーパーマーケット
3. 大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗
4. コンビニエンスストア
5. インターネット等の通販や生協等の配達

**②理由：選択肢**

- A. 自宅の近くにあるから
- B. 品揃えが豊富だから
- C. 仕事帰りに立ち寄れるから
- D. 価格が安いから
- E. 出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから
- F. 少ない量でも買えるから
- G. その他

問5 平日に食料品や日用品の買い物をする主な時間帯はどれですか。(1つのみ)

- 午前中
- 午後1時から4時台
- 午後5時から7時台
- 午後8時以降
- 平日はほとんど買い物をしない

**問6 あなたにとって、商店街はどのような場所ですか。(いくつでも)**

- 買い物をする場所
- 飲食をする場所
- 各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所
- イベントに参加するなどまちのにぎわいを楽しむ場所
- 人に会うなど、地域のコミュニケーションをとる場所
- 地域の治安・防犯のための拠点
- その他（)
- わからない、ほとんど利用しない

**問7 あなたが商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(いくつでも)**

- 専門性を持った診療所や介護サービス施設
- 託児所や児童館などの子育て支援サービス施設
- 自治会・町会やNPO等の活動拠点施設
- 空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設
- 創業や起業家の活動拠点（希望者に格安で貸すチャレンジショップやオフィスなど）
- 地方や区のアンテナショップ
- その他（)
- 特にない

### 3. キャッシュレスについて

**問8 あなたは普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払いをしていますか。(1つのみ)**

- |                                  |   |            |
|----------------------------------|---|------------|
| <input type="checkbox"/> よくする    | } | 問8-1、問8-2へ |
| <input type="checkbox"/> ときどきする  |   |            |
| <input type="checkbox"/> ほとんどしない | } | 問8-3へ      |
| <input type="checkbox"/> まったくしない |   |            |

【問8で「よくする」「ときどきする」と回答した方に伺います。】

**問8-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)**

- クレジットカード
- 電子マネー（交通系・流通系）
- スマートフォンによるQRコード決済
- デビットカード
- その他（)

【問8で「よくする」「ときどきする」と回答した方に伺います。】

問8-2 キャッシュレスで支払いをする理由は何ですか。(いくつでも)

- カード会社等、決済事業者によるポイント還元
- 支払い時間が短くて済むから
- 現金を持つ必要がないから
- マイナポイント事業によるポイント付与
- その他 ( )

【問8で「ほとんどしない」「まったくしない」と回答した方に伺います。】

問8-3 キャッシュレスで支払いをしない(あまりしない)理由は何ですか。(いくつでも)

- 現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから
- キャッシュレス支払いに関心がないから
- キャッシュレスの支払方法がよくわからないから
- 普段買い物するお店が現金しか使えないから
- その他 ( )

問9 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

- クレジットカード
- 電子マネー(交通系・流通系)
- スマートフォンによるQRコード決済
- デビットカード
- その他 ( )
- キャッシュレスは利用しない

## 4. まちづくりについて

問10 大田区では、活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

### 活力・国際性のある都市の例

- ・来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめる
- ・日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できる
- ・国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している
- ・人が集まる交流・滞在空間が充実している
- ・区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している
- ・大田区内外への移動が便利である など

**問 11 大田区では、暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)**

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う      | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う    | <input type="checkbox"/> わからない  |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない |                                 |

**暮らしやすい都市の例**

- ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい
- ・良好なまちなみ・景色が整っている
- ・商店街に人が集まりにぎわっている
- ・住む場所と働く場所がバランス良くある
- ・区内を移動するための公共交通が充実している
- ・快適で歩きたくなる空間がある など

**問 12 大田区では、安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)**

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う      | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う    | <input type="checkbox"/> わからない  |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない |                                 |

**安全・安心な都市の例**

- ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている
- ・災害時に救助や避難できる道路や施設が整備されている
- ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている
- ・地域の防災・防犯活動が充実している
- ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など

**問 13 大田区では、環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)**

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う      | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う    | <input type="checkbox"/> わからない  |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない |                                 |

**環境に配慮した都市の例**

- ・豊かな水と緑が守られている
- ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している
- ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる
- ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている
- ・省エネ建築物や緑化などによる二酸化炭素の削減がなされている など

## 5. 公共交通機関について

問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

- |                                     |                                      |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> とても利用しやすい  | <input type="checkbox"/> あまり利用しやすくない |
| <input type="checkbox"/> まあまあ利用しやすい | <input type="checkbox"/> 不便である       |

問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

- |                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> とても満足している  | <input type="checkbox"/> あまり満足していない |
| <input type="checkbox"/> まあまあ満足している | <input type="checkbox"/> 満足していない    |

問 16 アfterコロナにおいて、大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(いくつでも)

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）          |
| <input type="checkbox"/> バス路線（コミュニティバスを含む）の充実                      |
| <input type="checkbox"/> 公共交通機関のバリアフリー化                            |
| <input type="checkbox"/> 端末交通（タクシー等）の充実                            |
| <input type="checkbox"/> 踏切対策                                      |
| <input type="checkbox"/> その他（ <span style="float: right;">）</span> |
| <input type="checkbox"/> 特にない                                      |

## 6. 空港臨海部について

問 17 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。(1つのみ)

- |                                |                                  |                                    |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感じる   | <input type="checkbox"/> あまり感じない | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| <input type="checkbox"/> やや感じる | <input type="checkbox"/> 感じない    |                                    |

問 18 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

- |                                |                                  |                                    |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感じる   | <input type="checkbox"/> あまり感じない | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| <input type="checkbox"/> やや感じる | <input type="checkbox"/> 感じない    |                                    |



## 7. 羽田空港跡地について

問 19 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。

(いくつでも)

- 大田区ホームページ
- 「HANEDA INNOVATION CITY」公式ホームページ
- 大田区のイベント
- SNS、インターネットのニュースやブログ等
- パンフレット・リーフレット等の刊行物
- テレビのニュース
- 新聞、雑誌の記事
- 家族や友人、知人など
- その他 ( )
- 本事業を知らない

問 20 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業（羽田イノベーションシティ）について知っていますか。(1つのみ)

- 知っている
- 知らない

問 21 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業（羽田イノベーションシティ）のうち、興味があるものはありますか。(いくつでも)

- 足湯
- アーティストのライブ・情報発信
- 日本文化を感じる取組
- 飲食・物販
- フライトシュミレーター
- 大田区の観光情報
- 羽田の歴史資料
- 企業間の交流
- 会議研修・滞在施設
- 羽田空港近接であることを活かした取組
- アート遊具
- 自動運転バス試乗やロボット展示
- その他 ( )
- 興味はない

問 22 羽田空港跡地第1ゾーンに公園(300m×70m程度)が整備される予定があることを知っていますか。(1つのみ)

- 知っている  知らない

問 23 整備される予定の公園で、したいことはありますか。(いくつでも)

- 運動  休憩・リラックス  
 遊び  地域活動  
 飲食  その他 ( )

問 24 羽田空港跡地の多摩川沿い(第2ゾーン)に整備された「ソラムナード羽田緑地」(1,100m×15m程度)に行ったことはありますか。(1つのみ)

- 行ったことがある  行ったことがない  知らない

問 25 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(いくつでも)

- 運動  休憩・リラックス  
 遊び  地域活動  
 飲食  その他 ( )

## 8. 耐震改修について

問 26 あなたは、現在のお住まいや区内に所有している建物の耐震改修をしましたか。(1つのみ)

- した } 問 27 へ  
 現在改修中又は今後改修する予定 }  
 していない ⇒ 問 26-1 へ

【問 26 で「していない」と回答した方に伺います。】

問 26-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

- 改修工事を行う費用がない  
 方法、手段がわからない  
 工法や費用が適切かわからない  
 工事を行うと生活に支障が生じる  
 所有者が複数いるため、合意を得るのが難しい  
 助成金申請の手続きが煩雑である  
 耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している  
 その他 ( )

## 9. 空家について

問 27 ご自宅の周辺などで空家が増えていると感じますか。(1つのみ)

- |                                 |                                       |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 増えている  | <input type="checkbox"/> 周辺に空家は見当たらない |
| <input type="checkbox"/> 増えていない | <input type="checkbox"/> その他 ( )      |

問 28 空家によりトラブルや不都合はありますか。(1つのみ)

- |                                       |                                  |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 樹木や落ち葉で困っている | <input type="checkbox"/> その他 ( ) |
| <input type="checkbox"/> 野生動物が住んでいる   | <input type="checkbox"/> 特にない    |
| <input type="checkbox"/> 老朽化して危険      |                                  |

## 10. 移住について

問 29 あなたの出身地はどこですか。(1つのみ)

- |                                       |                                      |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 東京都          | <input type="checkbox"/> 群馬県・栃木県・茨城県 |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県・埼玉県・千葉県 | <input type="checkbox"/> その他 ( )     |

問 30 あなたは東京都外へ移住したいと思いますか。(1つのみ)

- |                                     |                         |
|-------------------------------------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> 移住すると決めている | } 問 30-1、問 30-2、問 30-3へ |
| <input type="checkbox"/> 移住を検討している  |                         |
| <input type="checkbox"/> いつか移住してみたい | ⇒ 問 30-3へ               |
| <input type="checkbox"/> 移住したいと思わない | ⇒ F1へ                   |

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」と回答した方に伺います。】

問 30-1 移住を考えるようになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 定年退職・早期退職       |  |
| <input type="checkbox"/> 親族の介護           |  |
| <input type="checkbox"/> 親族との同居・近居       |  |
| <input type="checkbox"/> 就職・転職           |  |
| <input type="checkbox"/> 転勤              |  |
| <input type="checkbox"/> 働き方の変化(テレワークなど) |  |
| <input type="checkbox"/> 進学              |  |
| <input type="checkbox"/> 結婚              |  |
| <input type="checkbox"/> 妊娠・出産・子育て       |  |
| <input type="checkbox"/> 配偶者の事情(転勤など)    |  |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )         |  |
| <input type="checkbox"/> 特にきっかけはない       |  |

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」と回答した方に伺います。】

問 30-2 移住する場合、住まいをどのように確保しようと考えていますか。(1つのみ)

- 土地や家を購入して移住
- 土地や家を借りて移住
- 実家・親族の家で暮らす
- 2地域居住（現在の住まいと移住先を往来する）

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」「いつか移住してみたい」と回答した方に伺います。】

問 30-3 移住したいと思う理由は何ですか。(3つまで)

- 出身地だから
- 親族が暮らしているから
- 自分に合う生活スタイルで暮らしたいから
- 食べ物や水・空気がおいしいから
- 生活コスト（物価・住居費など）が安いから
- 子育てしやすい環境だから
- 趣味を楽しみたいから
- 自然の多い環境で健康的に暮らしたいから
- やりたい仕事があるから・家業を継ぐから
- 暮らしてみたい場所があるから
- 田舎暮らしや農業を楽しみたいから
- その他（）
- 特に理由はない

## 11. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- 男性
- 女性
- その他

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- |  |         |   |         |
|--|---------|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 18～19 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 20～29 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 30～39 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 40～49 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 50～59 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 60～64 歳</li> </ul> | } F 4 へ | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 65～69 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 70～74 歳</li> <li><input type="checkbox"/> 75 歳以上</li> </ul> | } F 3 へ |
|--|---------|---|---------|

**【65歳以上の方に伺います。】**

**F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)**

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 受けていない | <input type="checkbox"/> 受けている (要支援含む) |
|---------------------------------|--|

**F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)**

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 日本国籍 | <input type="checkbox"/> それ以外 (国籍名: _____ ) |
|-------------------------------|---|

**F 5 あなたのお住まいを教えてください。(1つのみ)**

※各地域の ( ) 内は、管轄する特別出張所です。

|   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)<br><input type="checkbox"/> 調布地域 (嶺町、田園調布、鷺の木、久が原、雪谷、千束)<br><input type="checkbox"/> 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)<br><input type="checkbox"/> 糎谷・羽田地域 (糎谷、羽田) |
|---|

**F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ひとり暮らし      | <input type="checkbox"/> 三世代世帯 (親と子と孫) |
| <input type="checkbox"/> 夫婦のみ        | <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) |
| <input type="checkbox"/> 二世代世帯 (親と子) |  |

**F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 持ち家 (一戸建て)  | <input type="checkbox"/> 賃貸住宅 (集合住宅)   |
| <input type="checkbox"/> 持ち家 (集合住宅)  | <input type="checkbox"/> 寮・社宅・宿舍       |
| <input type="checkbox"/> 賃貸住宅 (一戸建て) | <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) |

**F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)**

| 項目                     | 選択肢  |
|------------------------|--|
| <b>自営業</b>             | <input type="checkbox"/> 商工サービス業<br><input type="checkbox"/> 農林水産業<br><input type="checkbox"/> 自由業                                   |
| <b>勤め人/パート・アルバイト含む</b> | <input type="checkbox"/> 管理職<br><input type="checkbox"/> 専門技術職<br><input type="checkbox"/> 事務職<br><input type="checkbox"/> 労務職・サービス業 |
| <b>その他</b>             | <input type="checkbox"/> 学生<br><input type="checkbox"/> 主婦・主夫<br><input type="checkbox"/> その他 (高齢者含む)                                |

} F 8 - 1 へ

} F 9 へ

【F8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

**F8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)**

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大田区内(自宅)      | <input type="checkbox"/> それ以外の東京都内   |
| <input type="checkbox"/> 大田区内(自宅以外)    | <input type="checkbox"/> 神奈川県内       |
| <input type="checkbox"/> 品川・目黒・新宿・渋谷区内 | <input type="checkbox"/> それ以外(具体的: ) |
| <input type="checkbox"/> 千代田・中央・港区内    |                                      |

**F9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)**

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 小学校入学前の子ども | <input type="checkbox"/> 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| <input type="checkbox"/> 小学生        | <input type="checkbox"/> いない             |
| <input type="checkbox"/> 65歳以上の方    |  |

**F10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)**

|   |        |
|---|--------|
| <input type="checkbox"/> いる(同居・別居含む) ⇒ F10-1へ |        |
| <input type="checkbox"/> いない(離婚・死別)           | } F11へ |
| <input type="checkbox"/> いない(未婚)              |        |

【F10で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

**F10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)**

|                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> している | <input type="checkbox"/> していない |
|-------------------------------|--------------------------------|

**F11 子どもはいらっしゃいますか(別居も含む)。(1つのみ)**

|   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小学校入学前 | <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが学校卒業 |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小・中学生  | <input type="checkbox"/> 子どもはいない      |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが高校・大学生 |                                       |

**F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(1つのみ)**

|                                     |                                      |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1年未満       | <input type="checkbox"/> 10年以上 20年未満 |
| <input type="checkbox"/> 1年以上 3年未満  | <input type="checkbox"/> 20年以上 30年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3年以上 5年未満  | <input type="checkbox"/> 30年以上       |
| <input type="checkbox"/> 5年以上 10年未満 |                                      |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

## 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

(中学生以上の区民の方\_防災の分野・自転車の利用についてなど)

～ ご協力をお願い ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの中学生以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年11月

大田区 企画経営部 企画課

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。  
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

■申請者 ID

■パスワード

2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えに「 (シ点)」をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を( )内に記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

**令和3年11月30日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。**

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

### 大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答に「 (レ点)」をつけてください。

## 1. 相談窓口について

問1 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障がい者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 十分配慮されている   | <input type="checkbox"/> 全く配慮されていない      |
| <input type="checkbox"/> 配慮されている     | <input type="checkbox"/> わからない、最近利用していない |
| <input type="checkbox"/> あまり配慮されていない |  |

## 2. バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

問2 「バリアフリー」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 定義までよく理解している        |
| <input type="checkbox"/> 定義はなんとなく理解している      |
| <input type="checkbox"/> 聞いたことはあるが定義がよくわからない |
| <input type="checkbox"/> 初めて聞いた言葉である         |

問3 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの人が利用しやすいように生活環境を構築する考え方。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 定義までよく理解している        |
| <input type="checkbox"/> 定義はなんとなく理解している      |
| <input type="checkbox"/> 聞いたことはあるが定義がよくわからない |
| <input type="checkbox"/> 初めて聞いた言葉である         |

## 3. 新型コロナウイルスワクチン接種について

問4 あなたは新型コロナウイルスワクチンの予防接種を受けましたか。（1つのみ）

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 受けた                     |
| <input type="checkbox"/> これから受けるつもりだ             |
| <input type="checkbox"/> 受けていない（予約が取りづらかったから）    |
| <input type="checkbox"/> 受けていない（副反応が心配だから）       |
| <input type="checkbox"/> 受けていない（自分には必要がないと思ったから） |
| <input type="checkbox"/> 受けていない（その他： _____ )     |



## 4. 災害時の避難等について

問5 「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

- すでにダウンロードしている                       知らない  
 知っているがダウンロードはしていない

問6 「大田区防災ポータルサイト」を知っていますか。(1つのみ)

- 知っている     知らない  
 知っているが実際に見たことはない

問7 災害時の避難先は決まっていますか。(1つのみ)

- 決まっている ⇒ 問7-1へ                       決まっていない ⇒ 問8へ

【問7で「決まっている」と回答した方に伺います。】

問7-1 避難先はどこですか。(1つのみ)

- 自宅（在宅避難）                                       親戚の家  
 指定避難所     その他（                                      ）  
 友人・知人宅

問8 区は大規模災害に備え、家族構成や生活環境に合わせた防災行動をあらかじめ時系列にまとめておく「マイ・タイムライン（個人の避難計画）」の普及に努めていますが、あなたは「マイ・タイムライン」を作成したことがありますか。(1つのみ)

- 作成したことがある ⇒ 問8-1へ  
 作成したことはない  
 マイ・タイムラインを知らない } 問9へ

【問8で「作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問8-1 どのように作成しましたか。(1つのみ)

- マイ・タイムライン講習会に参加して作成  
 マイ・タイムラインの作成動画を観て作成  
 大田区版マイ・タイムライン作成キットで作成  
 その他（    ）



【問 13 で「週 1 回以上」「月 2 回程度」「月 1 回程度」と回答した方に伺います。】

問 13-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(いくつでも)

- 図書・視聴覚資料の貸出
- 館内での閲覧・調べもの
- 個人学習
- 調べものの相談（レファレンス）
- おはなし会
- 朗読会
- 講座・講演会
- 映画会
- 蔵書の展示
- 障害者サービス（宅配、郵送、対面朗読・録音図書の作製・貸出、大型活字本の貸出）
- ボランティア養成講座
- 休憩・くつろぐ
- 多目的室又は集会室の利用
- その他（ )

【問 13 で「ほとんど利用しない（年 1～2 回程度）」「利用しない」と回答した方に伺います。】

問 13-2 図書館を利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

- 図書・雑誌を読まない
- 図書・雑誌は自分で購入したい
- 読みたい本がすぐに借りられない
- 近くに図書館がない
- 開館時間中に利用できない
- 施設が使いづらい又は快適でない
- その他（ )

問 14 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。  
(いくつでも)

- 電子書籍貸出サービス
- デジタル化された地域資料等の閲覧
- 音楽・音声情報配信サービス
- 憩い・くつろぐためのスペース
- グループ学習スペース
- 個人学習スペース
- 地域コミュニティ参加のきっかけとなるイベント・講座等
- 大田区への理解を深めるコーナー
- 国際都市らしい蔵書・資料構成
- その他（ )



【問 19-2 で「鍵をかけないときもある」と回答した方に伺います。】

問 19-3 あなたが自転車に鍵をかけないのはどのようなときですか。(いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 自宅に駐輪するとき     | <input type="checkbox"/> 買い物等で短時間駐輪するとき |
| <input type="checkbox"/> 自転車駐輪場に駐輪するとき | <input type="checkbox"/> 特に場所は気にしない     |

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-4 あなたが区営の駐輪場を利用する際に不便に感じていることは何ですか。(いくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 立地が悪い            |  |
| <input type="checkbox"/> 料金が安い            |  |
| <input type="checkbox"/> 申込等がデジタル化されていない  |  |
| <input type="checkbox"/> 一時利用と定期利用の配分が悪い  |  |
| <input type="checkbox"/> 定期利用に申し込んでも当選しない |  |
| <input type="checkbox"/> 一時利用が満車で利用できない   |  |
| <input type="checkbox"/> 区営の駐輪場は利用していない   |  |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )          |  |

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-5 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。  
(1つのみ)

- |                                 |                                      |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 行っている  | <input type="checkbox"/> 行いたい、行えていない |
| <input type="checkbox"/> 行っていない |                                      |

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-6 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(いくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 歩道では徐行し、車道寄りを通行すること            |  |
| <input type="checkbox"/> 車道では左側を通行すること                  |  |
| <input type="checkbox"/> 交差点右折時に二段階右折をすること              |  |
| <input type="checkbox"/> 一時停止等の標識を守ること                  |  |
| <input type="checkbox"/> スマートフォンを使ったり、傘を差したりしながら運転しないこと |  |
| <input type="checkbox"/> ルールは守っている                      |  |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )                        |  |

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-7 あなたは、自転車等放置禁止区域を知っていますか。(1つのみ)

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 知っている | <input type="checkbox"/> 知らない |
|--------------------------------|-------------------------------|



## 8. あなたご自身について

### F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- 男性                                       女性                                       その他

### F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- |                                  |         |                                  |         |
|----------------------------------|---------|----------------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 12～19 歳 | } F 4 へ | <input type="checkbox"/> 65～69 歳 | } F 3 へ |
| <input type="checkbox"/> 20～29 歳 |         | <input type="checkbox"/> 70～74 歳 |         |
| <input type="checkbox"/> 30～39 歳 |         | <input type="checkbox"/> 75 歳以上  |         |
| <input type="checkbox"/> 40～49 歳 |         |                                  |         |
| <input type="checkbox"/> 50～59 歳 |         |                                  |         |
| <input type="checkbox"/> 60～64 歳 |         |                                  |         |

#### 【65 歳以上の方に伺います。】

### F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- 受けていない                                       受けている (要支援含む)

### F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- 日本国籍                                       それ以外 (国籍名:                                      )

### F 5 あなたのお住まいを教えてください。(1つのみ)

※各地域の ( ) 内は、管轄する特別出張所です。

- 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)  
 調布地域 (嶺町、田園調布、鷺の木、久が原、雪谷、千束)  
 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)  
 糎谷・羽田地域 (糎谷、羽田)

### F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- ひとり暮らし                                       三世帯世帯 (親と子と孫)  
 夫婦のみ                                       その他 (                                      )  
 二世帯世帯 (親と子)

**F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)**

|                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 持ち家（一戸建て）  | <input type="checkbox"/> 賃貸住宅（集合住宅） |
| <input type="checkbox"/> 持ち家（集合住宅）  | <input type="checkbox"/> 寮・社宅・宿舍    |
| <input type="checkbox"/> 賃貸住宅（一戸建て） | <input type="checkbox"/> その他（ ）     |

**F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)**

| 項目              | 選択肢  |
|-----------------|--|
| 自営業             | <input type="checkbox"/> 商工サービス業<br><input type="checkbox"/> 農林水産業<br><input type="checkbox"/> 自由業                                   |
| 勤め人／パート・アルバイト含む | <input type="checkbox"/> 管理職<br><input type="checkbox"/> 専門技術職<br><input type="checkbox"/> 事務職<br><input type="checkbox"/> 労務職・サービス業 |
| その他             | <input type="checkbox"/> 学生<br><input type="checkbox"/> 主婦・主夫<br><input type="checkbox"/> その他（高齢者含む）                                 |

F 8 - 1へ  
 F 9へ

【F 8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

**F 8 - 1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)**

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大田区内（自宅）      | <input type="checkbox"/> それ以外の東京都内   |
| <input type="checkbox"/> 大田区内（自宅以外）    | <input type="checkbox"/> 神奈川県内       |
| <input type="checkbox"/> 品川・目黒・新宿・渋谷区内 | <input type="checkbox"/> それ以外（具体的： ） |
| <input type="checkbox"/> 千代田・中央・港区内    |                                      |

**F 9 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)**

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 小学校入学前の子ども | <input type="checkbox"/> 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| <input type="checkbox"/> 小学生        | <input type="checkbox"/> いない             |
| <input type="checkbox"/> 65歳以上の方    |  |



**F10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)**

- |                                      |          |
|--------------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> いる(同居・別居含む) | ⇒ F10-1へ |
| <input type="checkbox"/> いない(離婚・死別)  | } F11へ   |
| <input type="checkbox"/> いない(未婚)     |          |

**【F10で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】**

**F10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)**

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> している | <input type="checkbox"/> していない |
|-------------------------------|--------------------------------|

**F11 子どもはいらっしゃいますか(別居も含む)。(1つのみ)**

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小学校入学前 | <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが学校卒業 |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小・中学生  | <input type="checkbox"/> 子どもはいない      |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが高校・大学生 |                                       |

**F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(1つのみ)**

- |                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1年未満      | <input type="checkbox"/> 10年以上20年未満 |
| <input type="checkbox"/> 1年以上3年未満  | <input type="checkbox"/> 20年以上30年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3年以上5年未満  | <input type="checkbox"/> 30年以上      |
| <input type="checkbox"/> 5年以上10年未満 |                                     |

**調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。**

**令和3年度  
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査  
【報告書】**

**令和4年2月**

発行：大田区企画経営部企画課  
〒144-8621  
大田区蒲田五丁目13番14号  
電話：03-5744-1444（直通）  
FAX：03-5744-1502